

フルカラー版

機動戦士ガンダム

10

THE ORIGIN

—シャア・セイラ編・後—

安彦良和

原案

矢立肇・富野由悠季

メカニックデザイン

大河原邦男



シャア・セイラ編
ILLUSTRATION
GALLERY



一瞬にして幸せな
日々を失った兄妹



渦巻く陰謀の中では
彼らが安息できる場所は
もうなかった...



美しく成長した

キャスバルとセイラ

そして遂に明かされる

シャア・アズナブルの秘密



機動戦士ガンダム THE ORIGIN¹⁰ —シャア・セイラ編・後—

C O N T E N T S

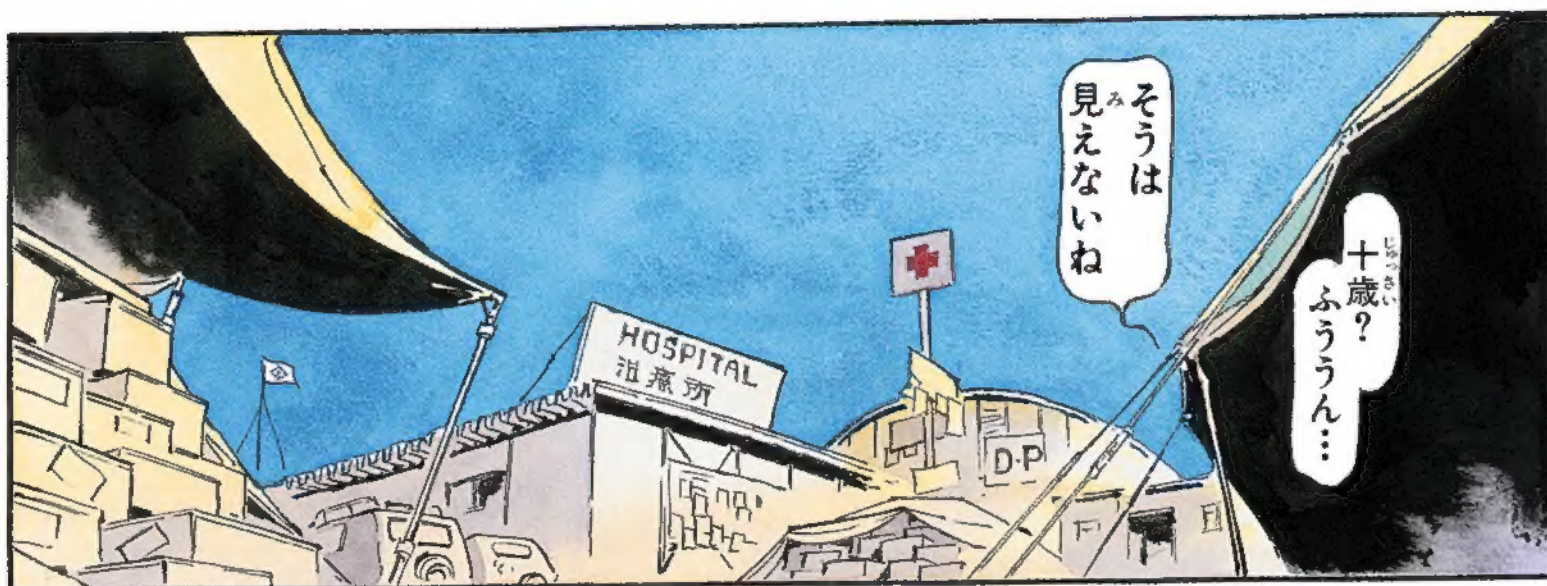
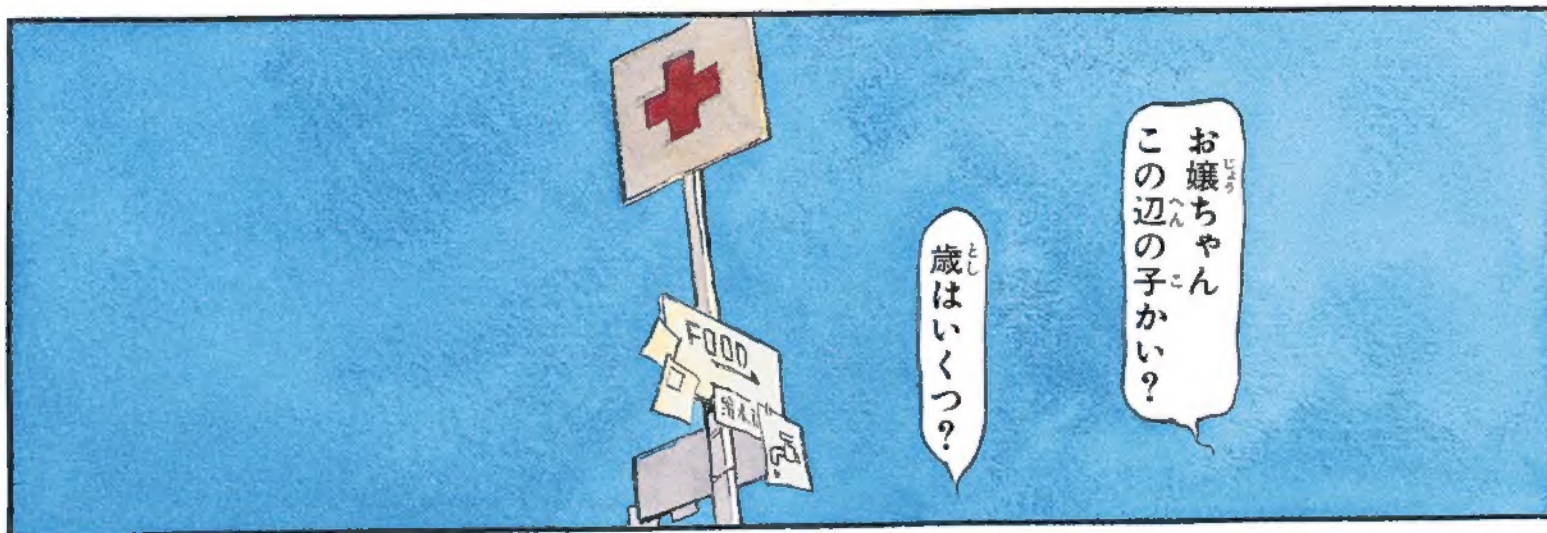
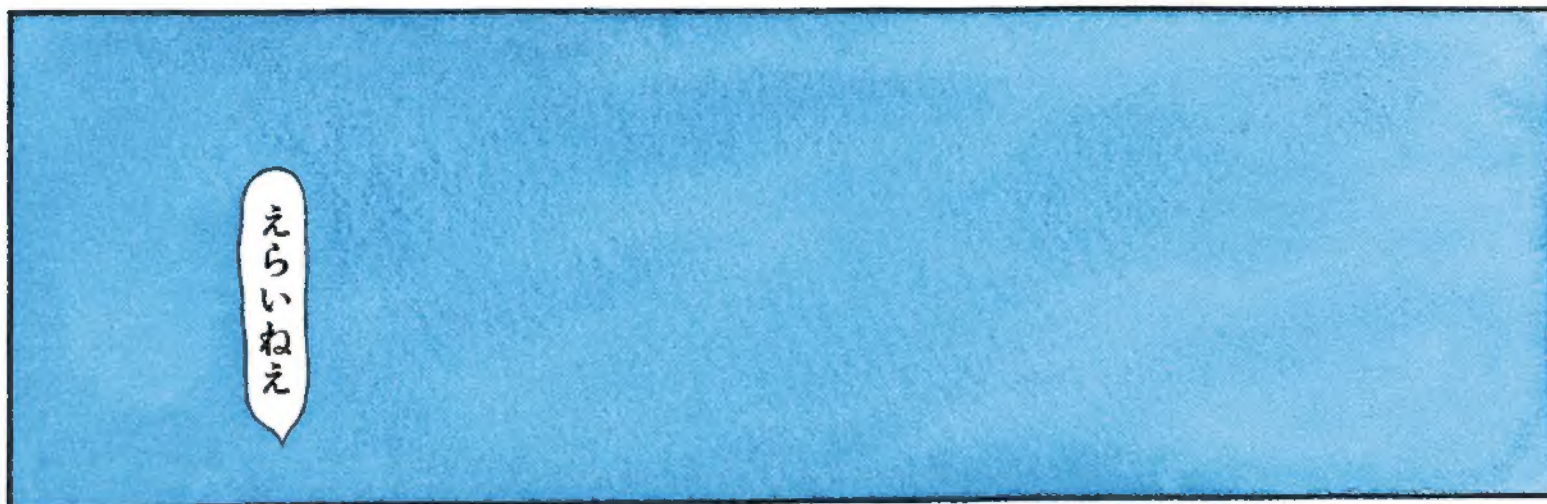
SECTION V ————— 005

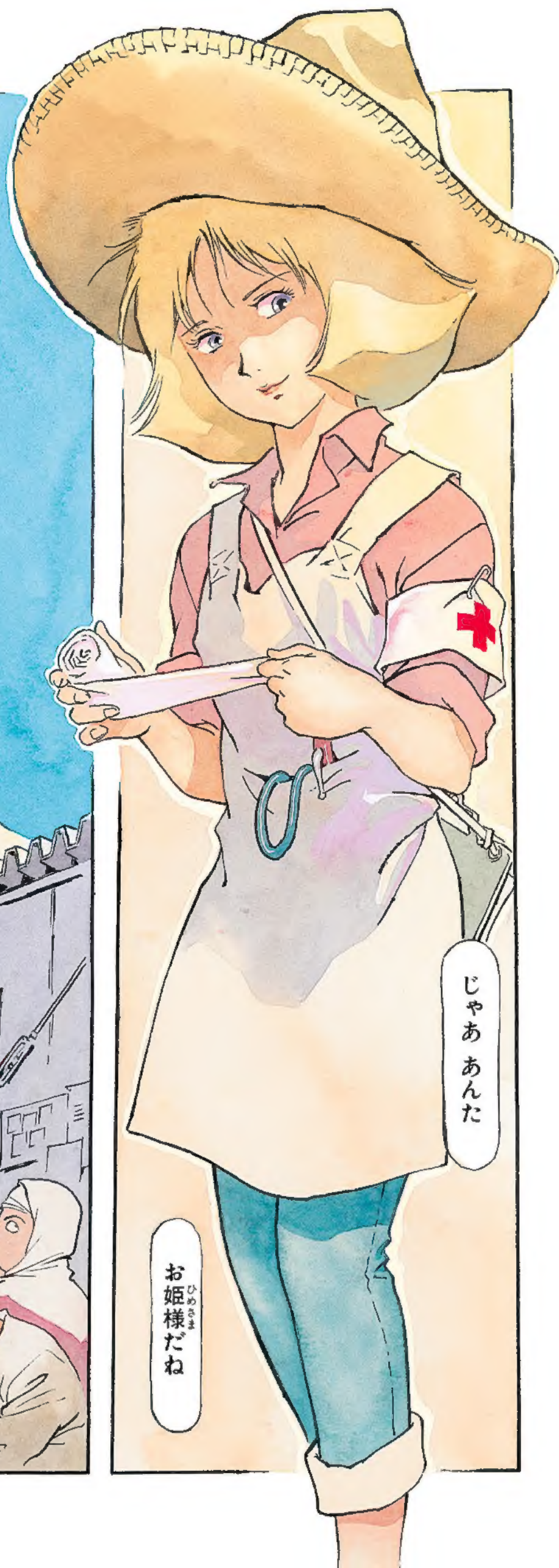
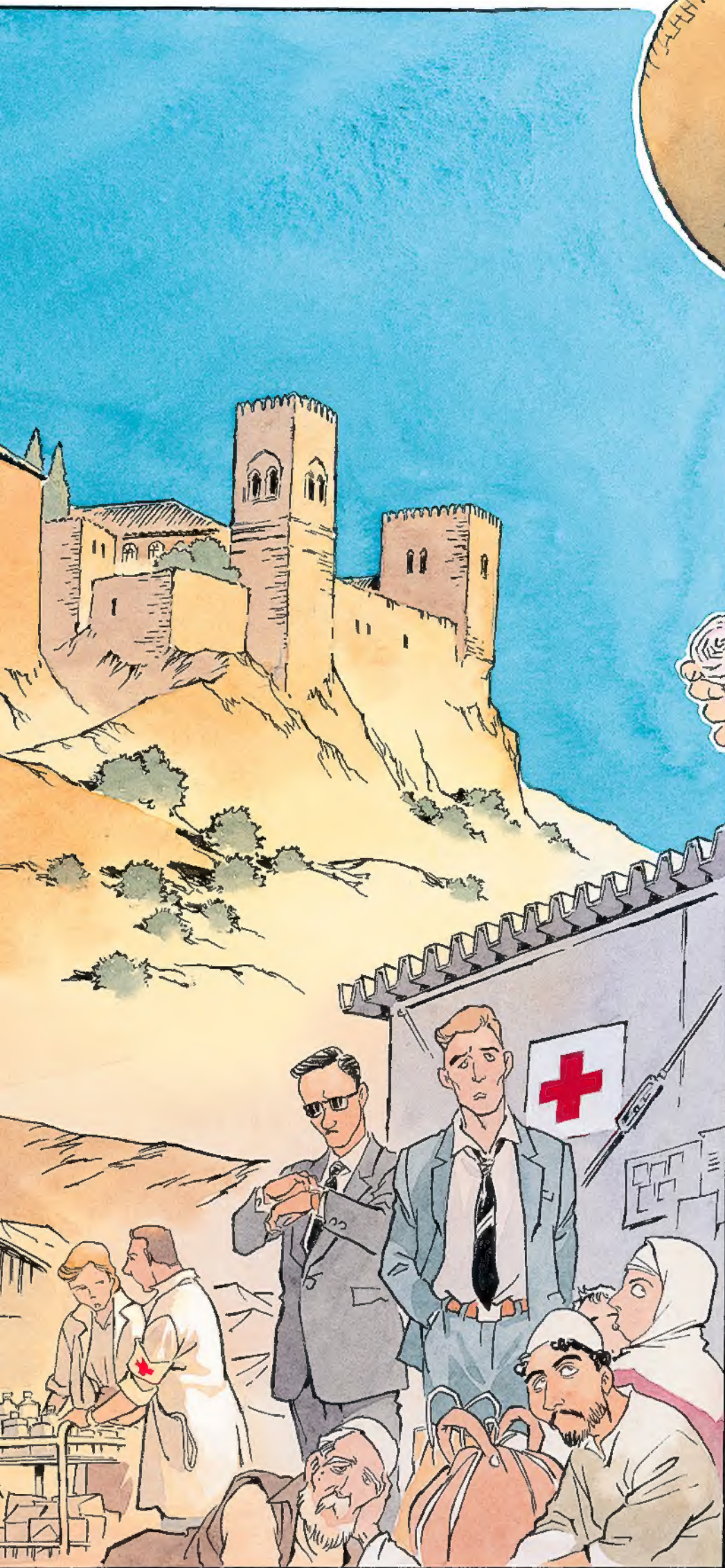
SECTION VI ————— 057

SECTION VII ————— 113

SECTION VIII ————— 165

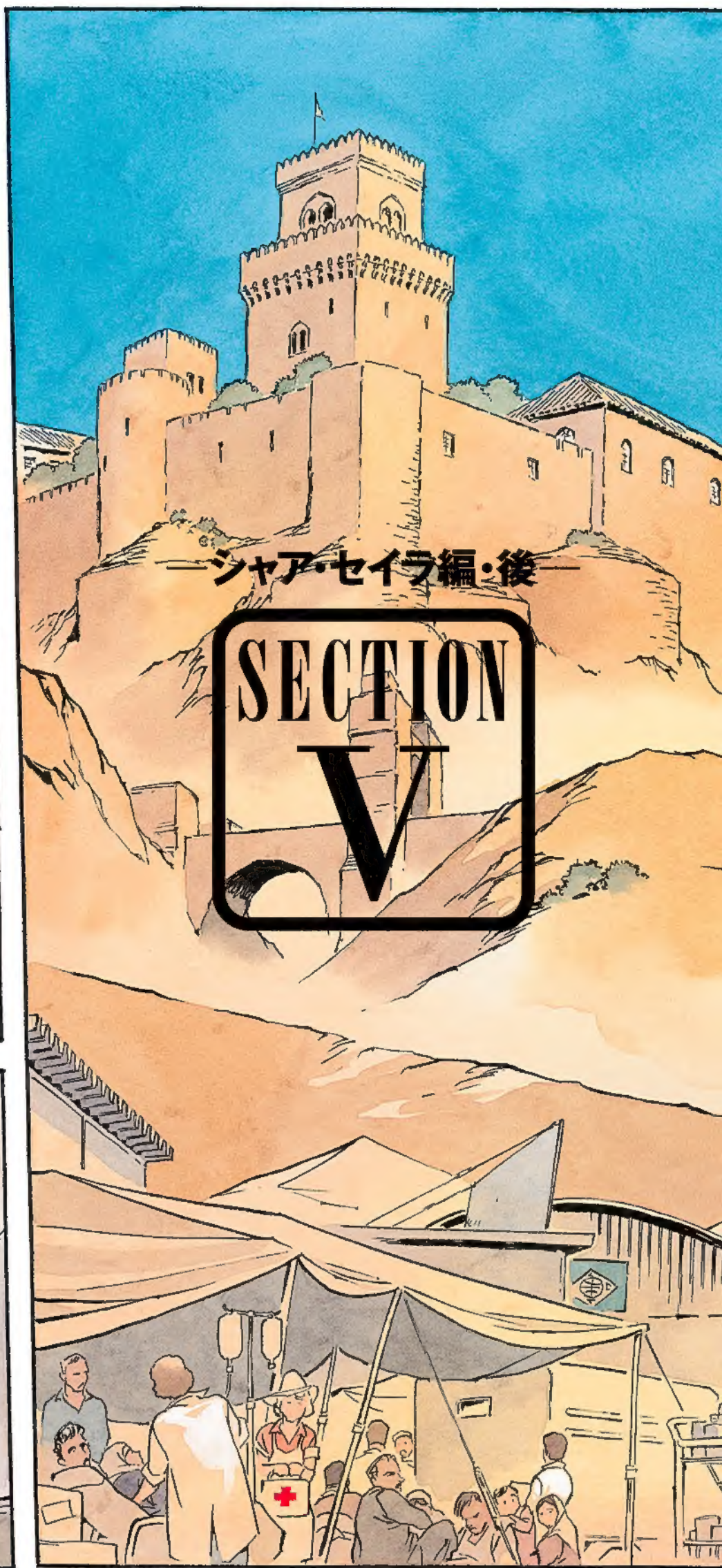
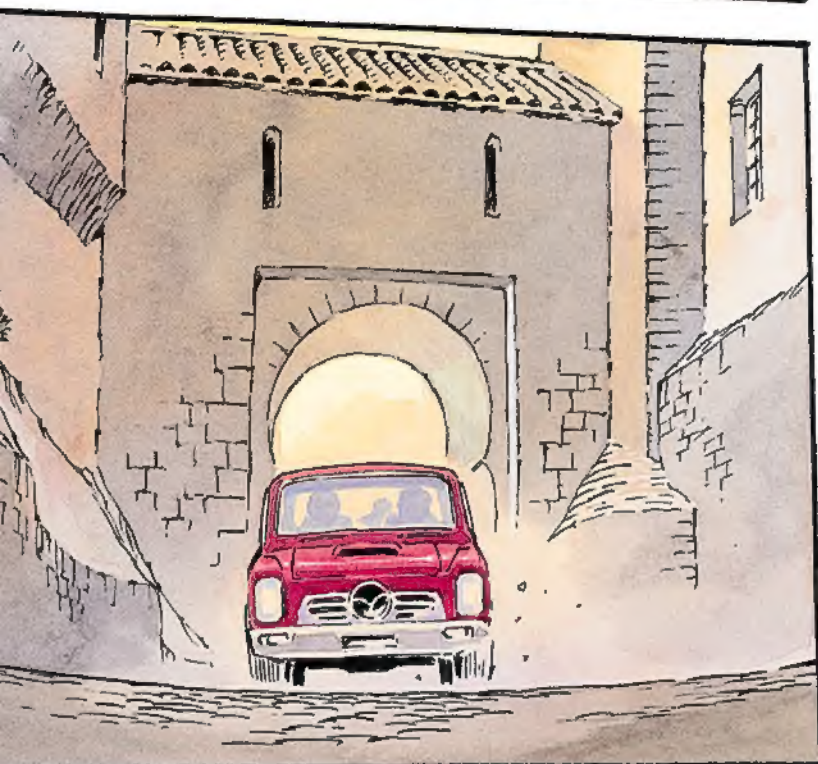
SECTION IX ————— 217

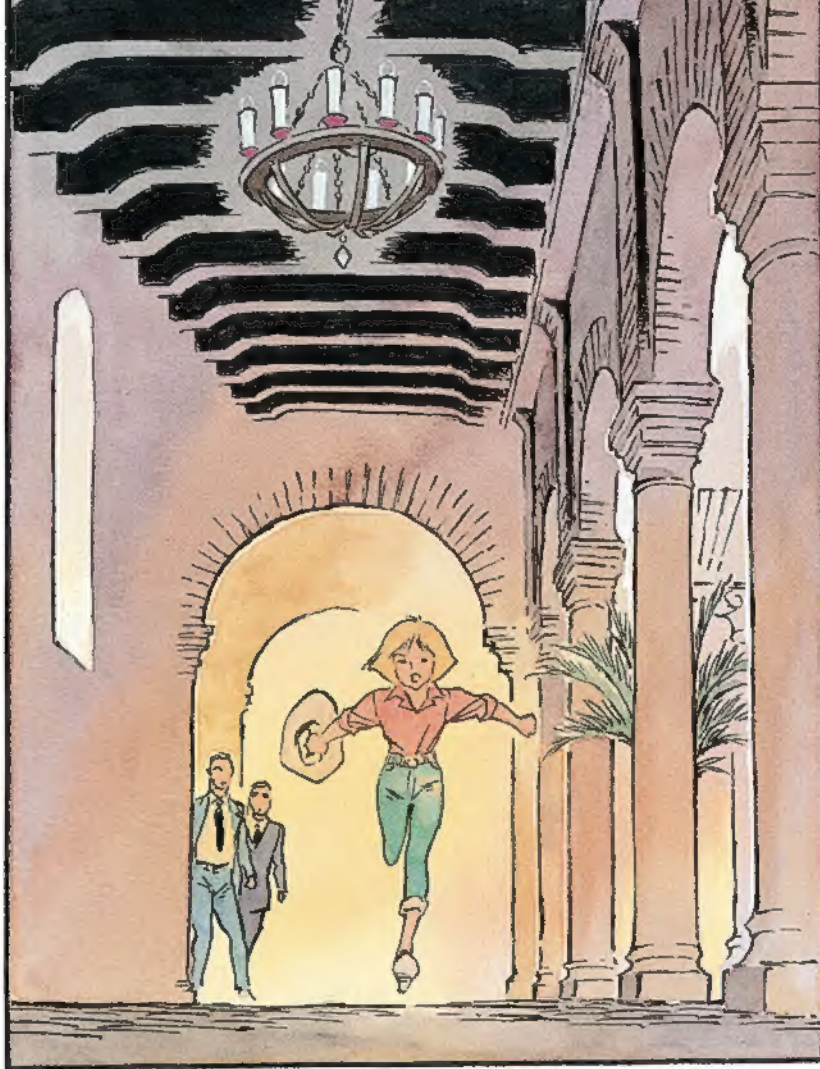


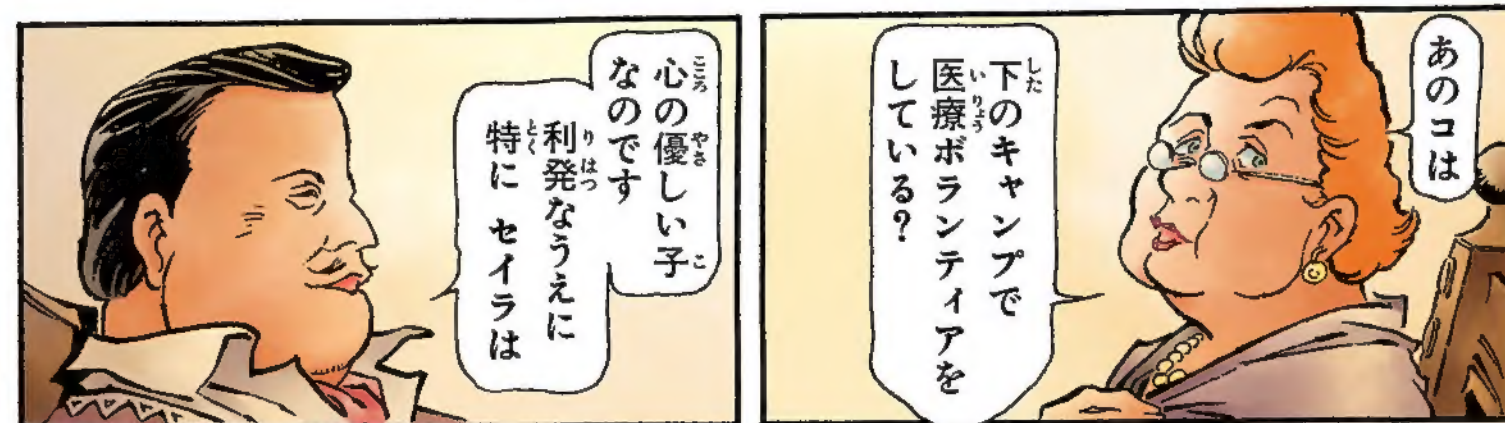
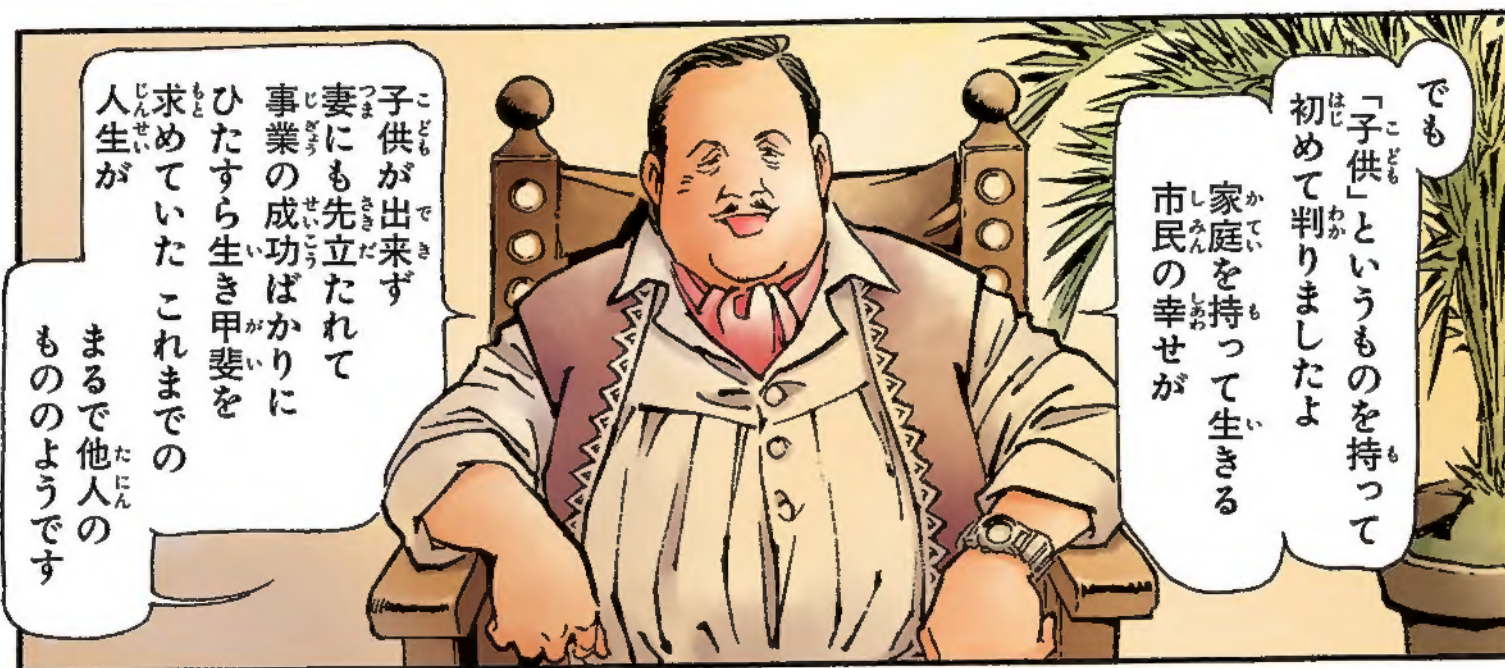
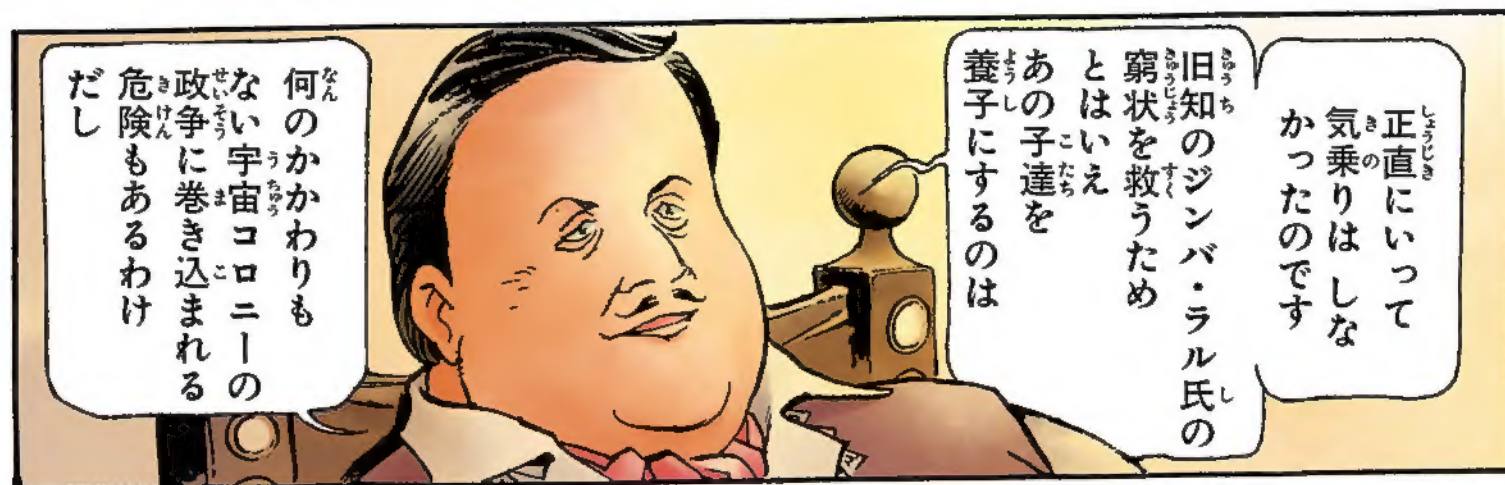
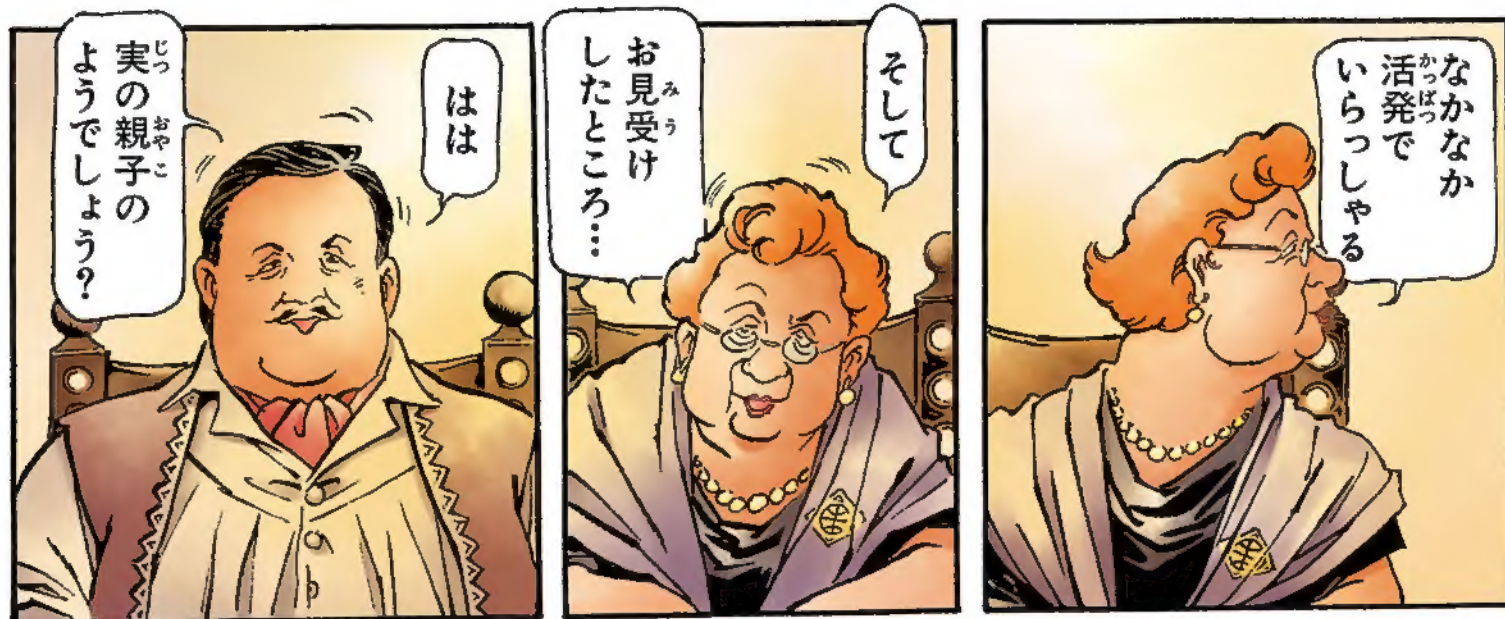


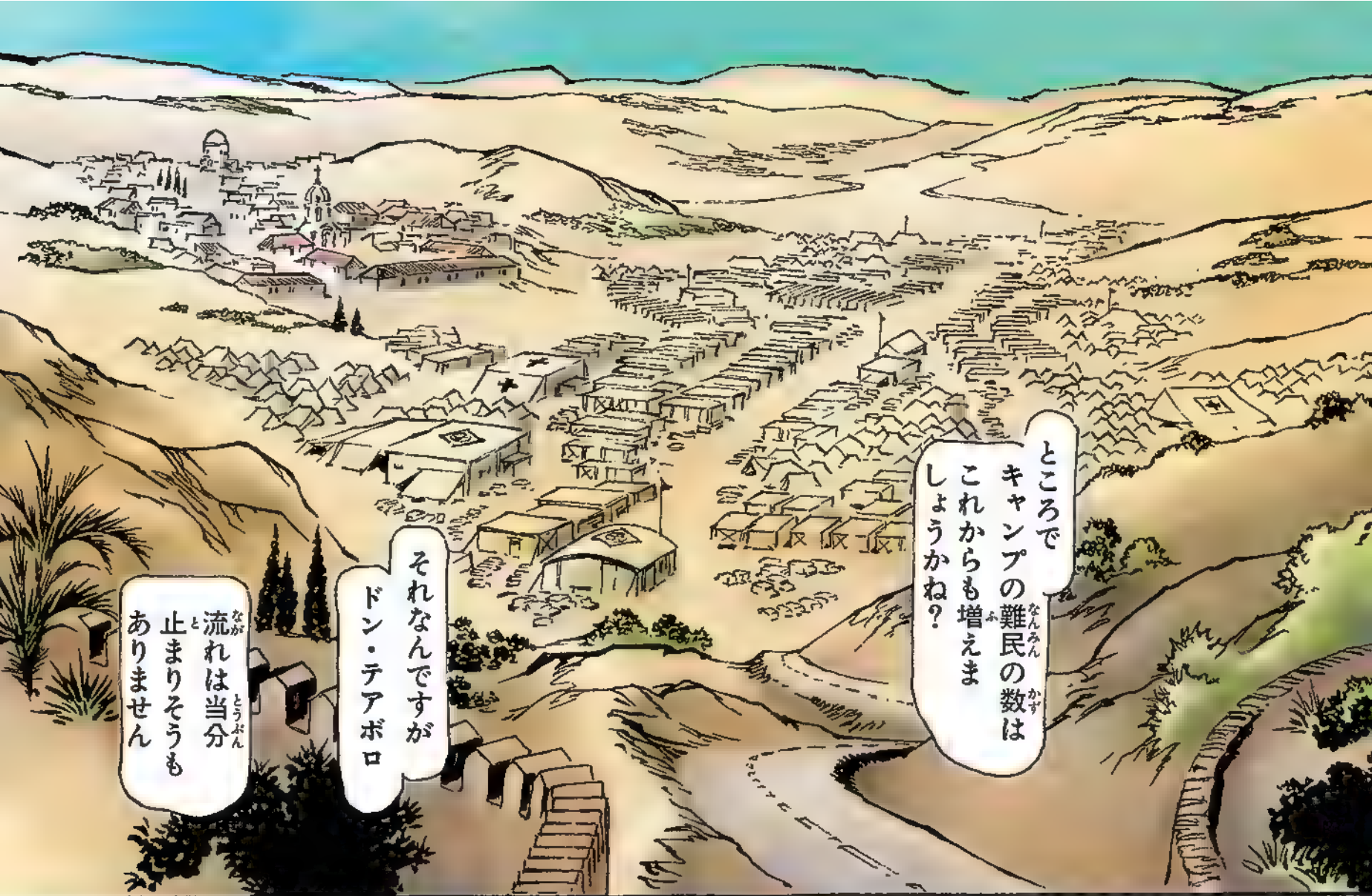
じゃあ あんた

お姫様だね
ひめさま









ところで
キャンプの難民の数は
これからも増えま
しょうかね？

それなんですが
ドン・テアボロ

なが
流れは当分
止まりそうも
ありません

地球連邦難民高等弁務官
E・F・H・C・Rの
力の限界を
越えています

こんばんてき じんこう
根本的な人口と
かんきょうたいさく ひつよう
環境対策が必要
なのですよ

アルジェもマラケシュも
砂に埋もれました

コンゴより北の
アフリカにはもう人は
住めないのですよ

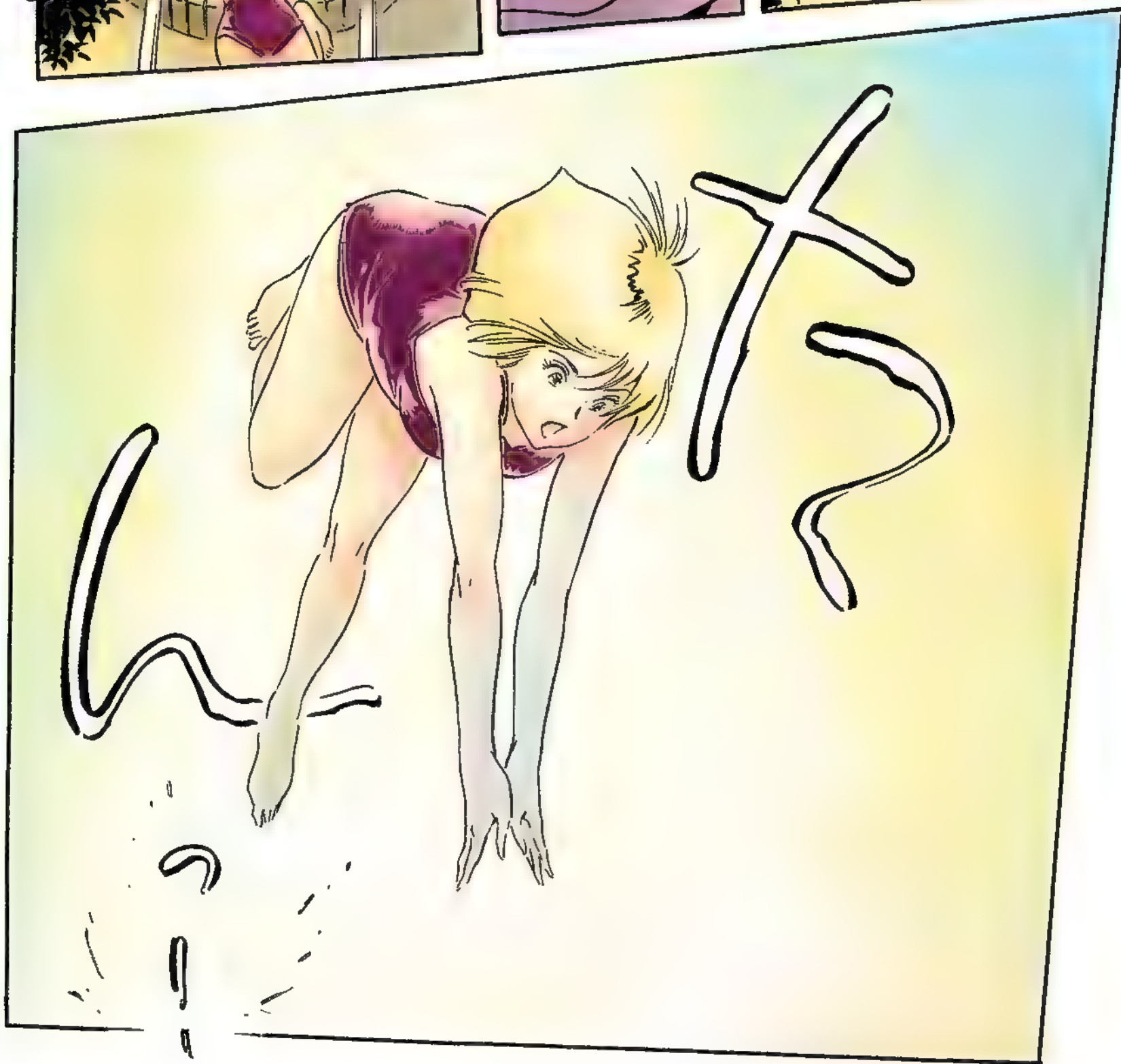
ジブラルタルには
難民の橋が出来た
ようなものです

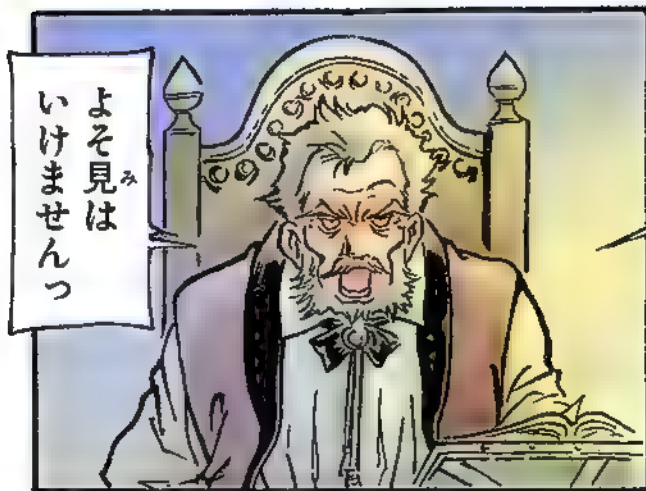
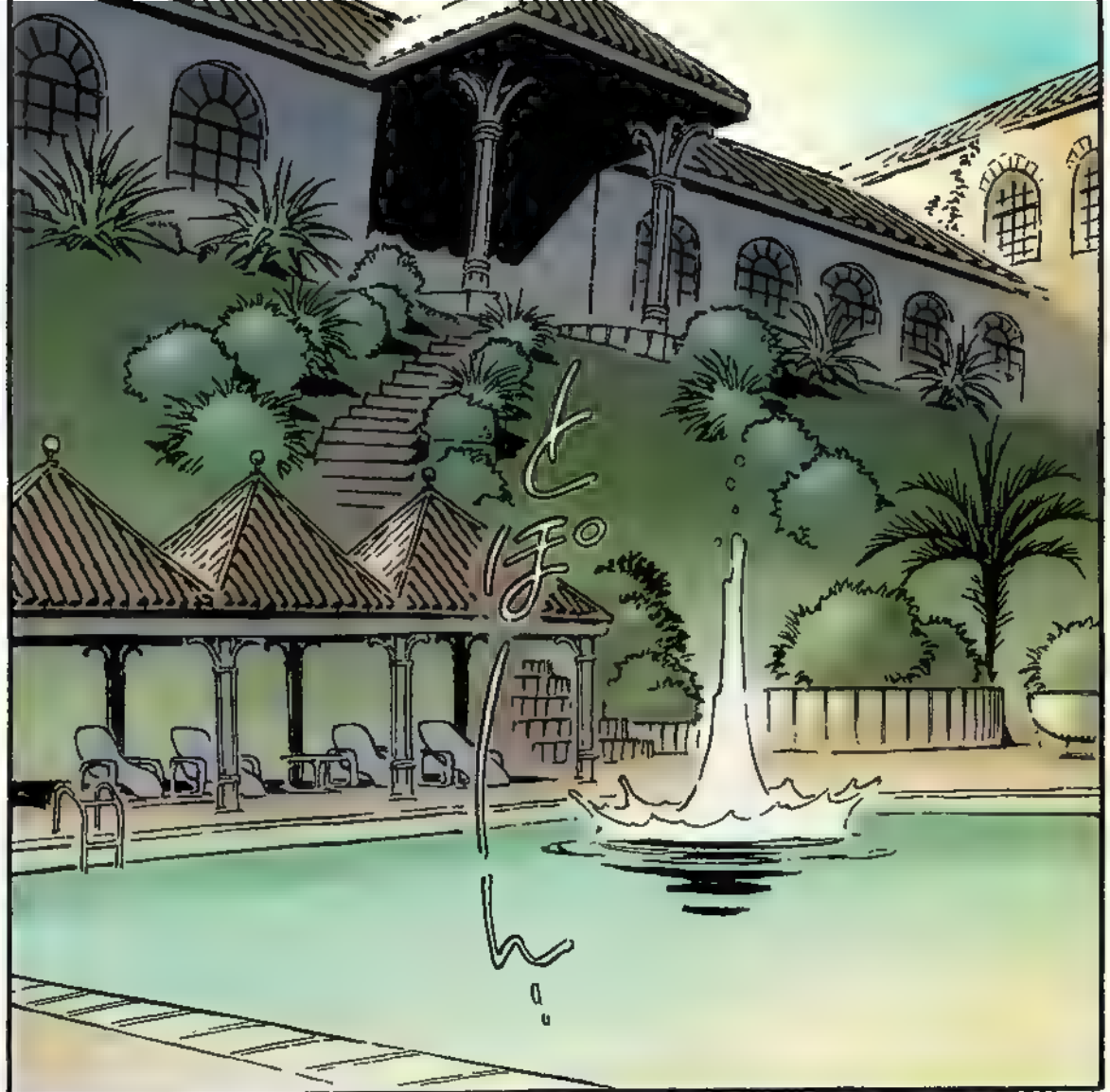
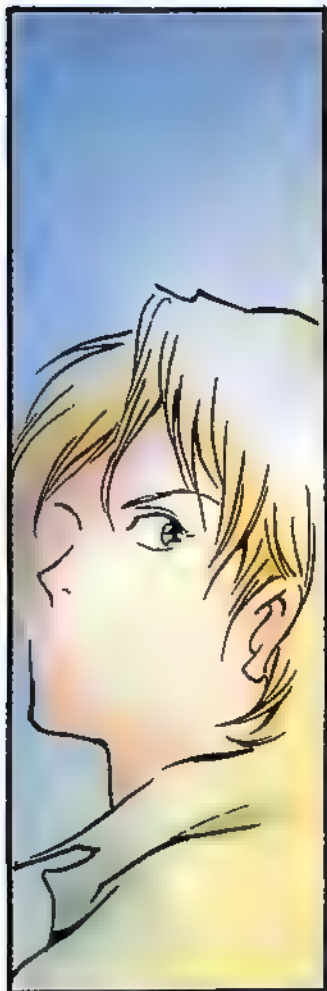
宇宙移民事業さえ
事態の解決には
役立たなかった
わけですねえ

こんなことなら
むしろコロニー建設に
要したたいへんなお金と
技術を使っ
たとえ

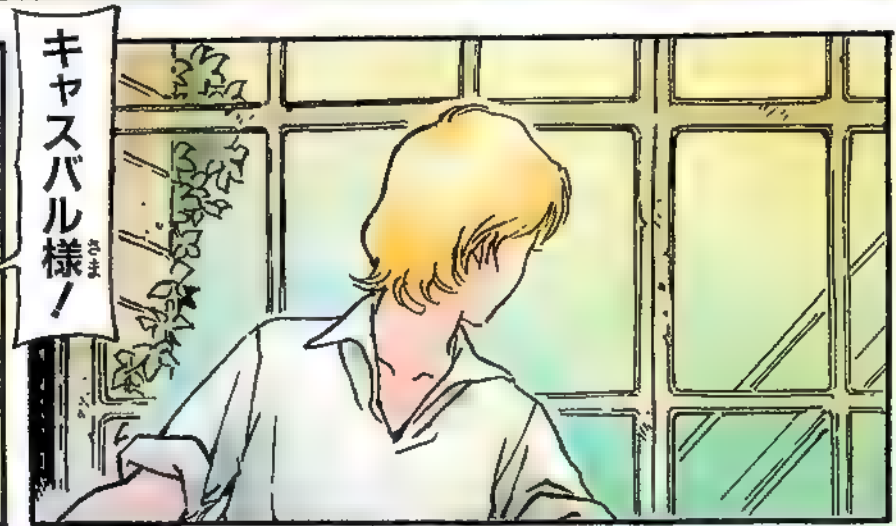
サハラ
の緑化にでも
努めていた
ほうが

……

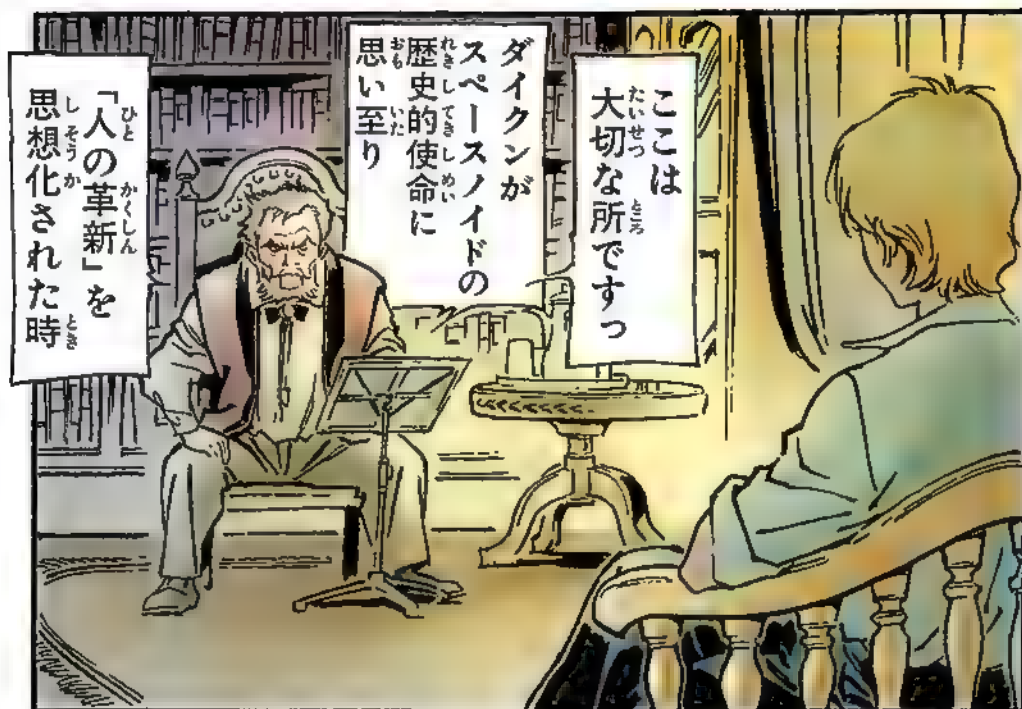




よそ見は
いけませんっ



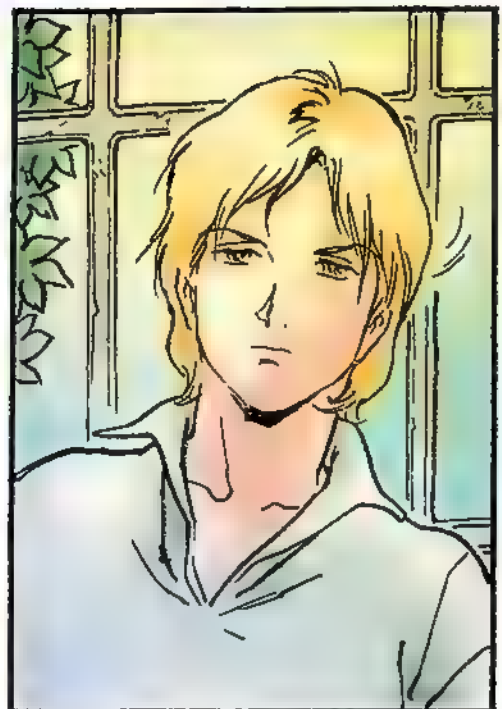
キャスバル様！
さま

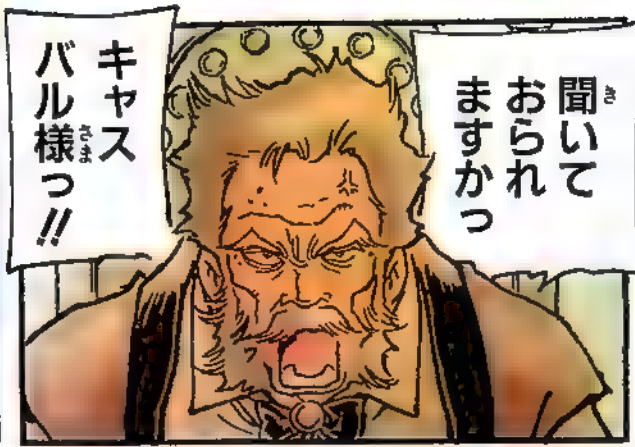
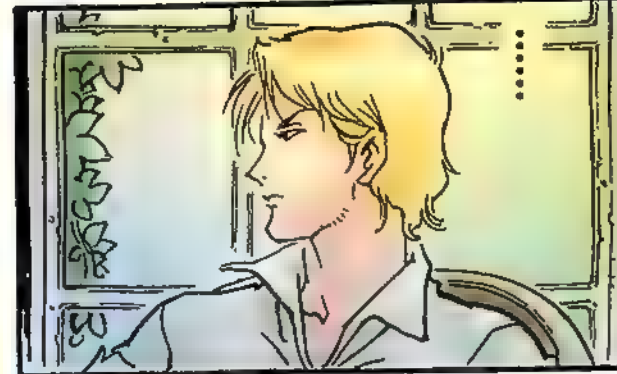
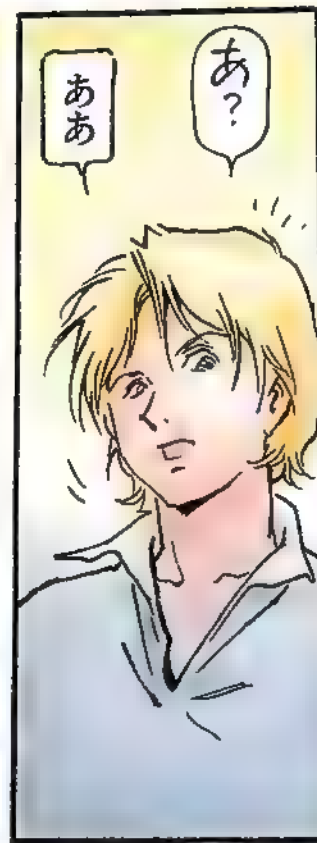
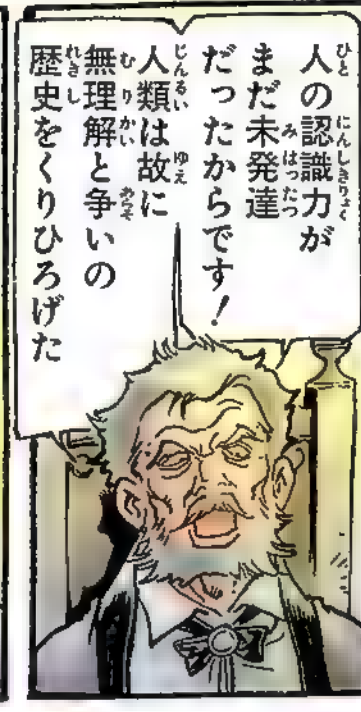


「人の革新」を
思想化された時

ダイクンが
スペースノイドの
歴史的使命に
思い至り

ここは
大切な所ですっ





人類が地球外へ出
地球を一生命体として
外から見ることで
できるようになって
初めて

人類には新たな
進化の時代が与え
られたのです

不完全なる言葉による
相互理解を越え

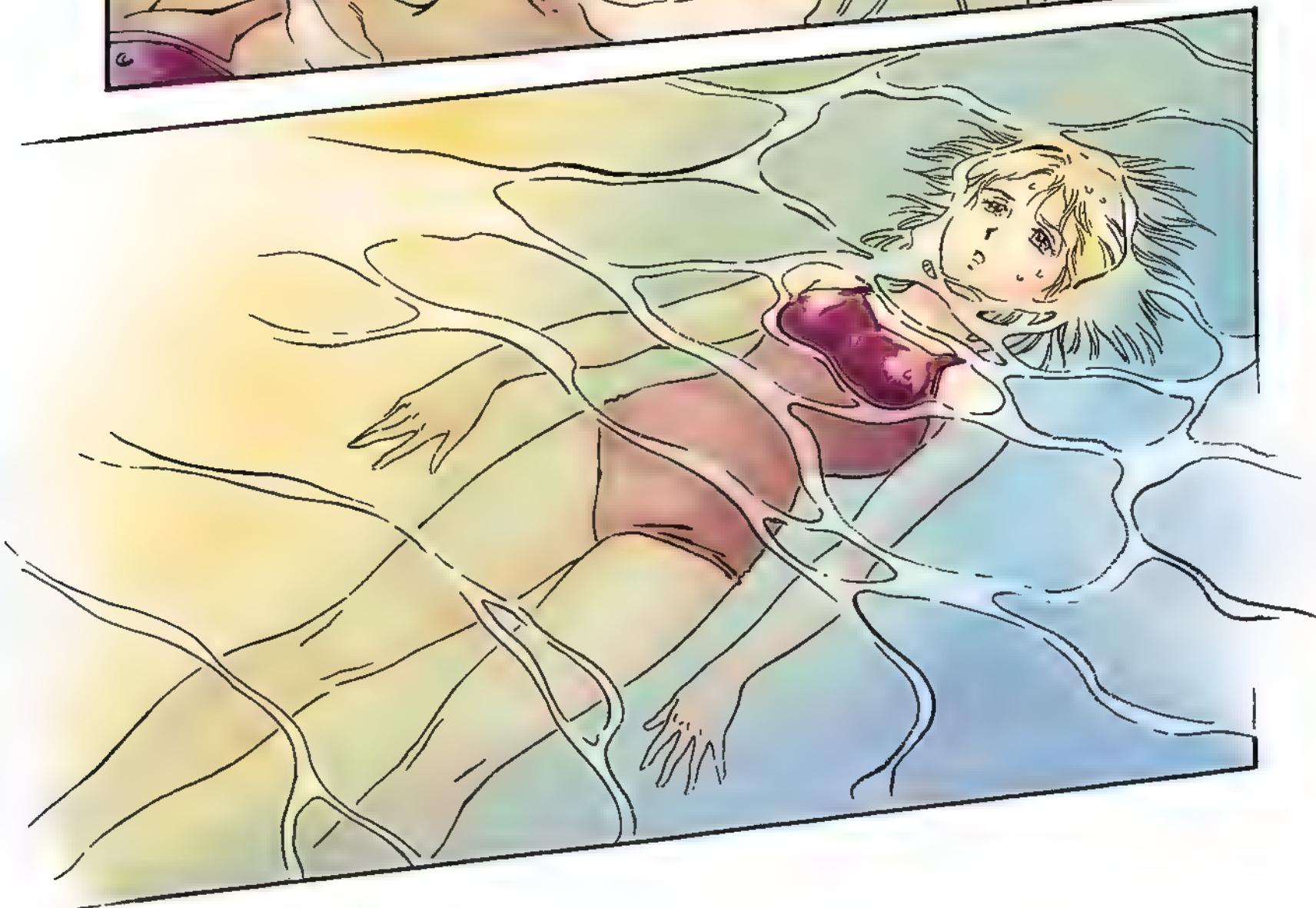
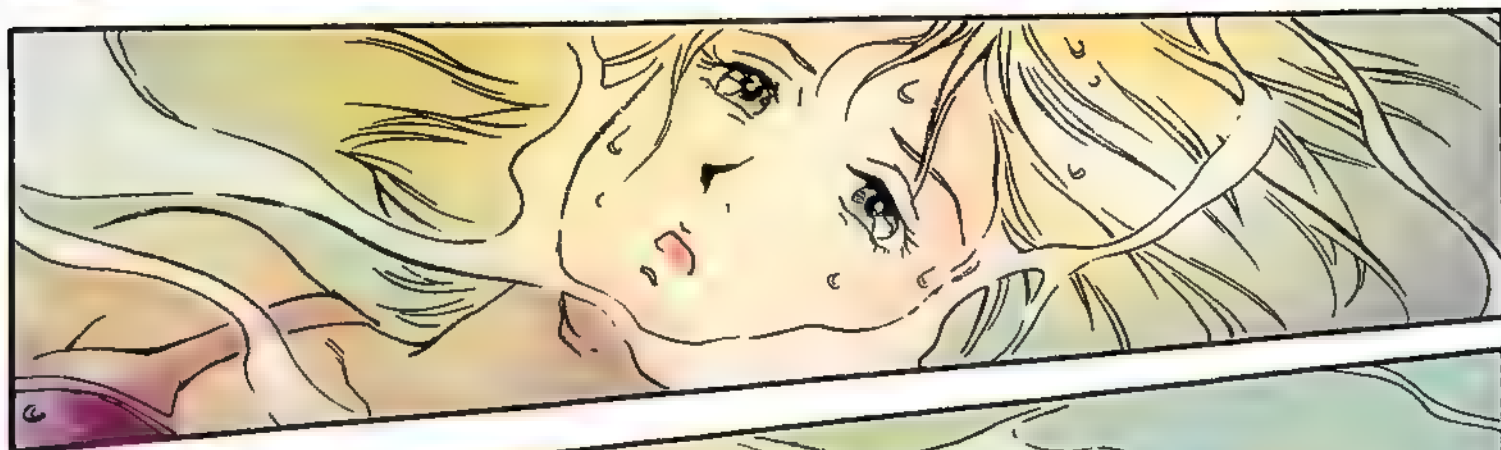
相互に
理解を

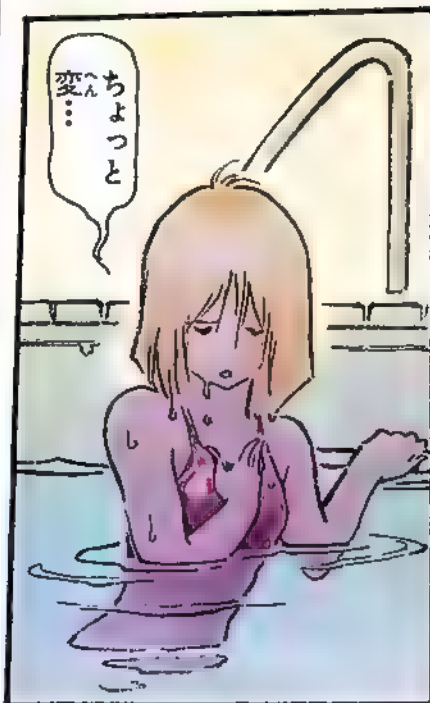
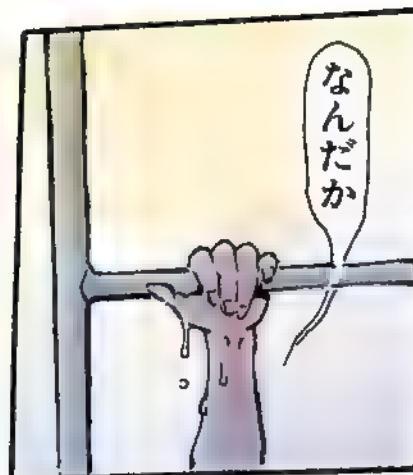
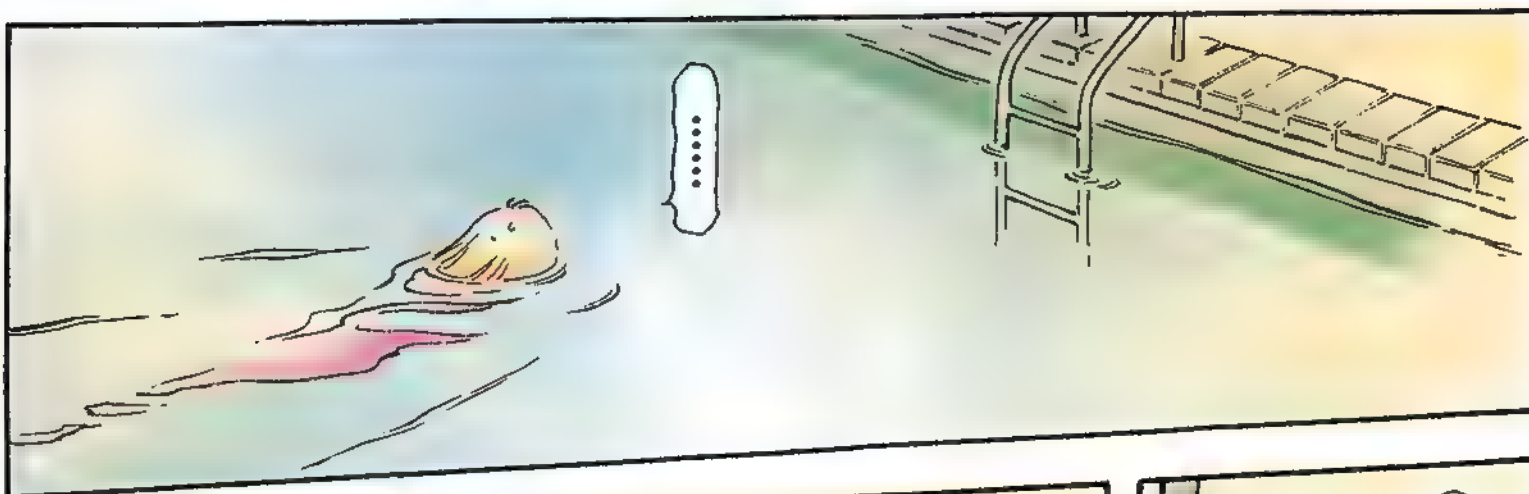
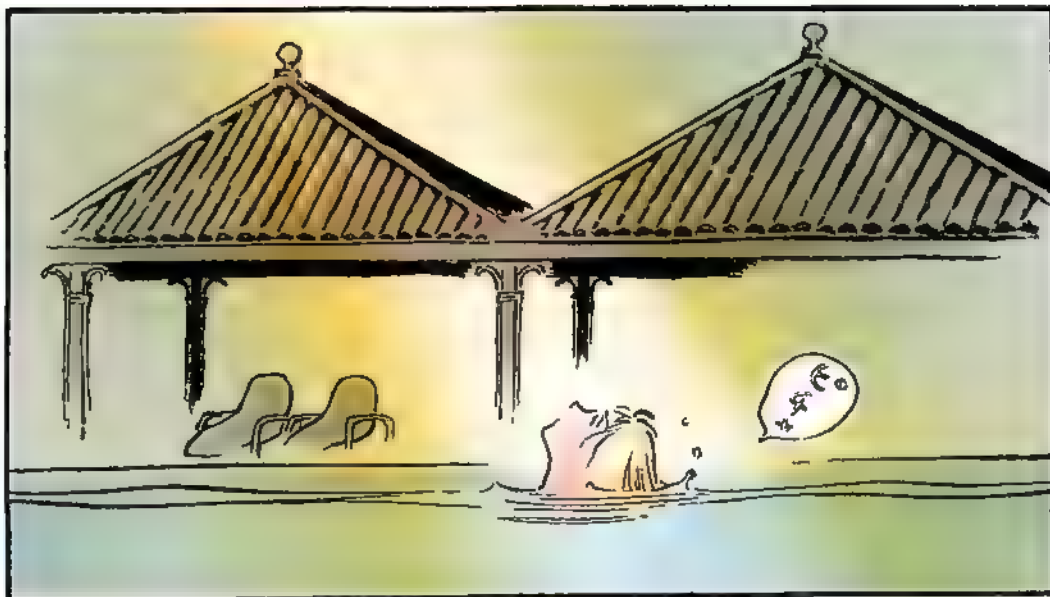
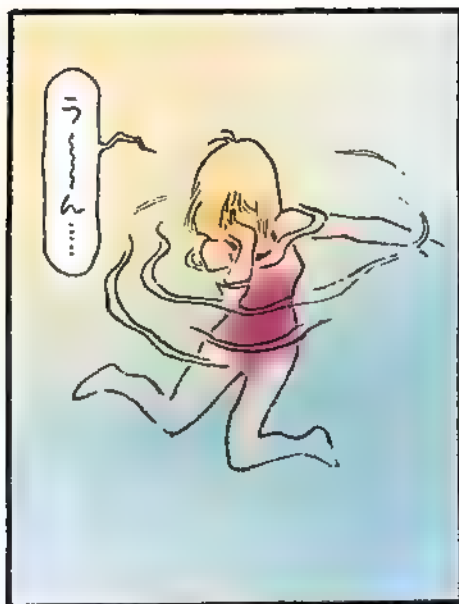
のみならず

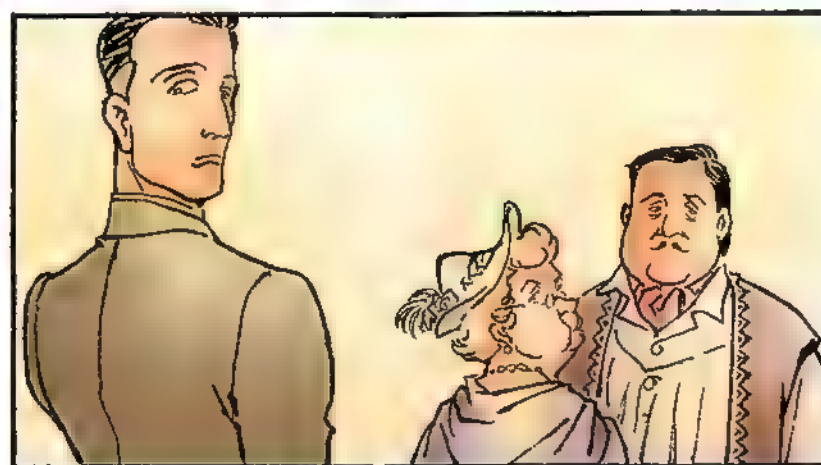
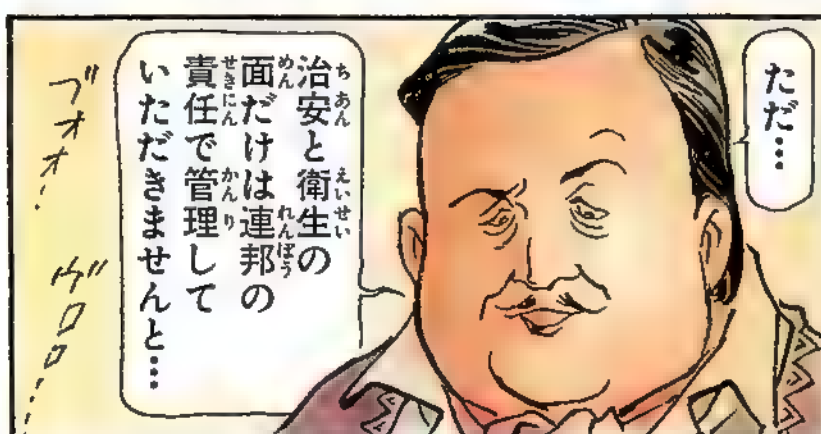
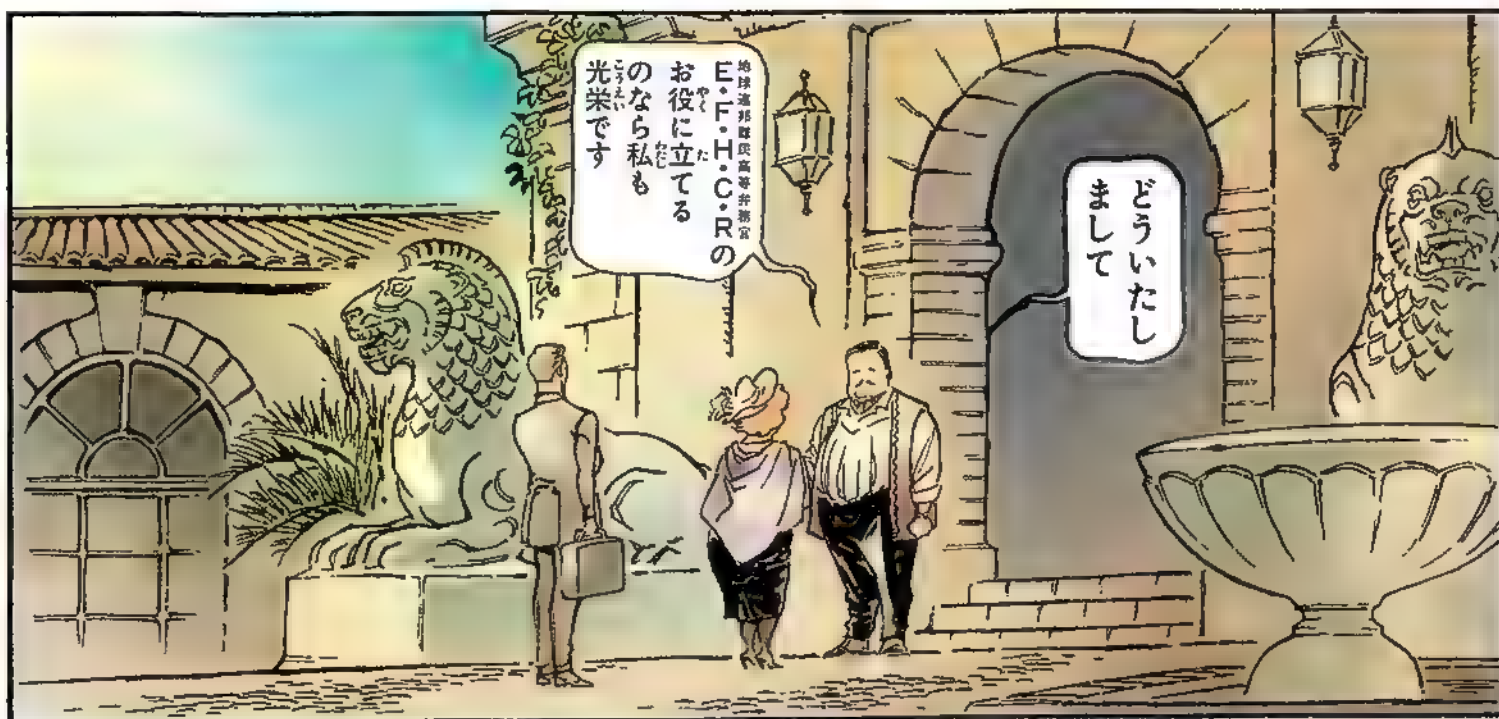
行動においても

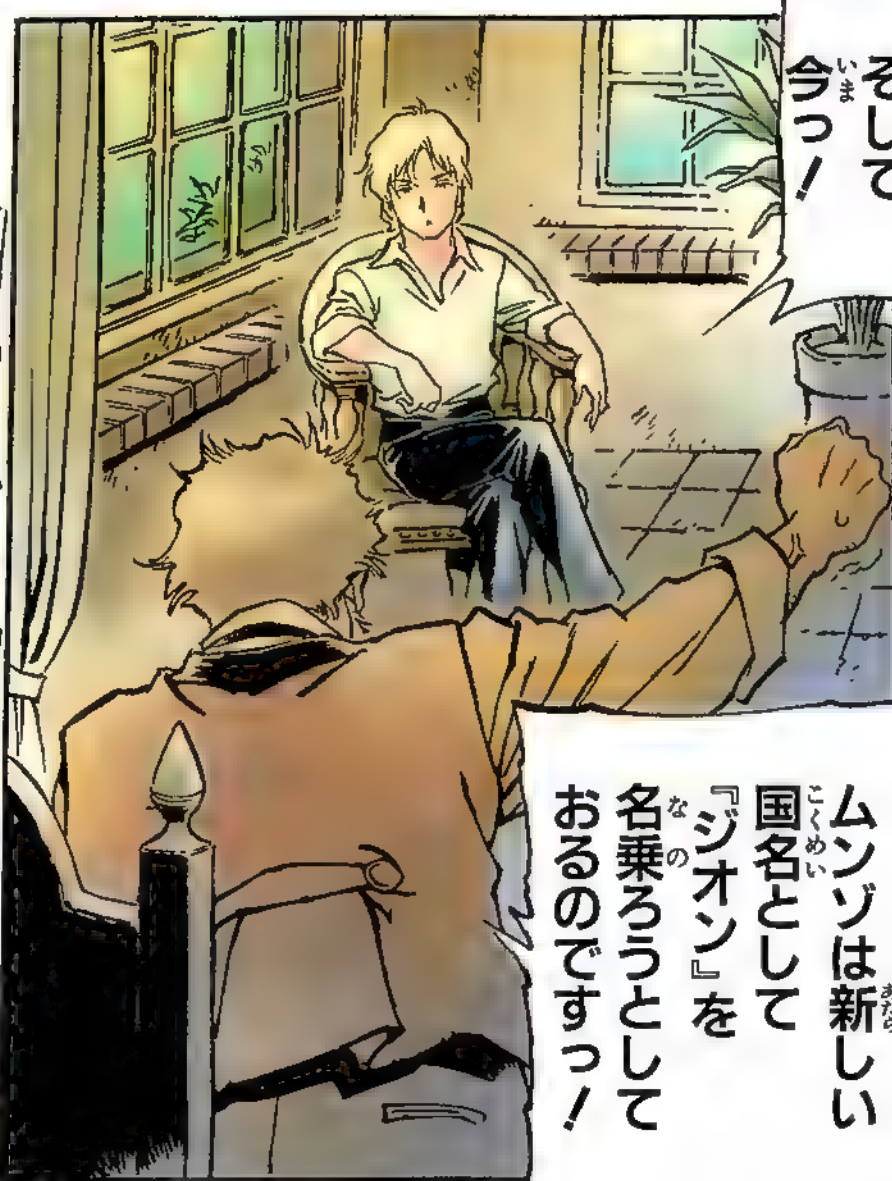
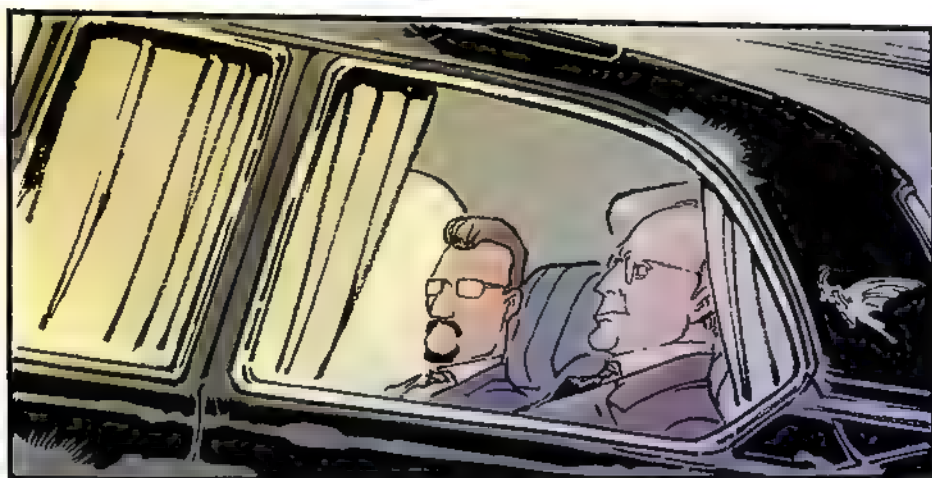
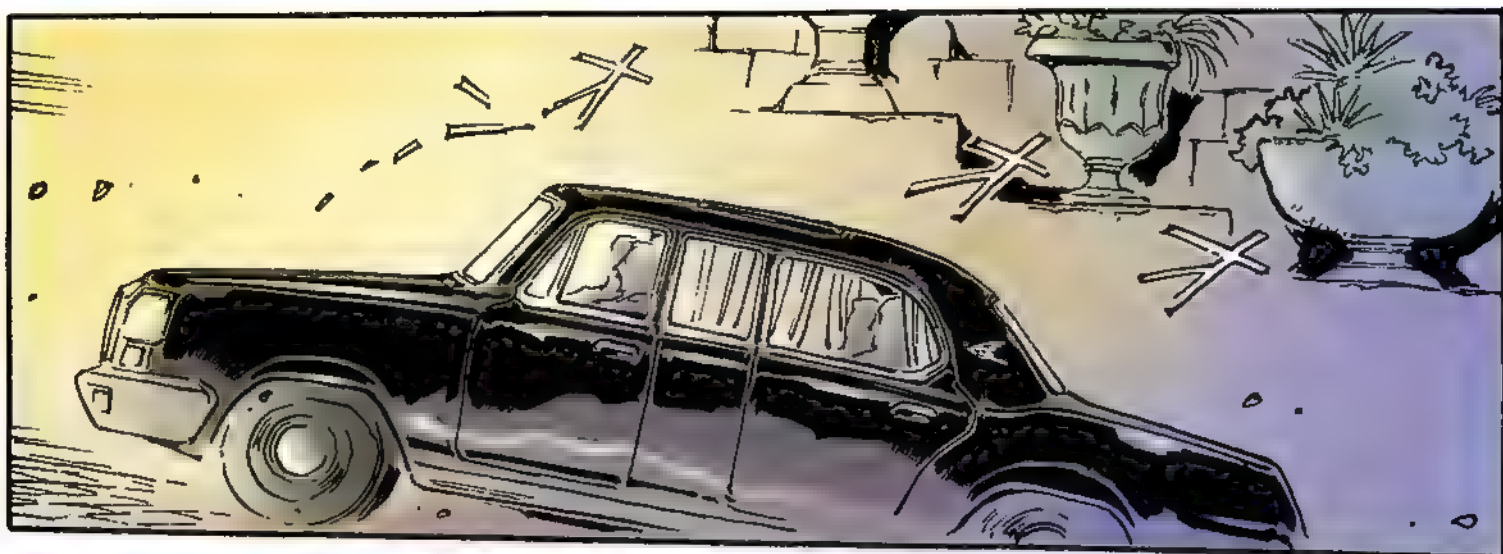
新たな可能性を

身体的に獲得したニュータイプが









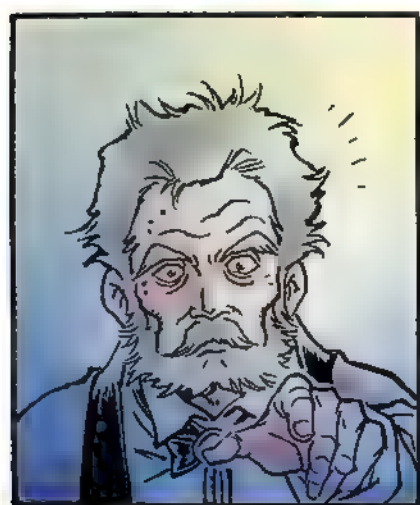
そして
今っ!



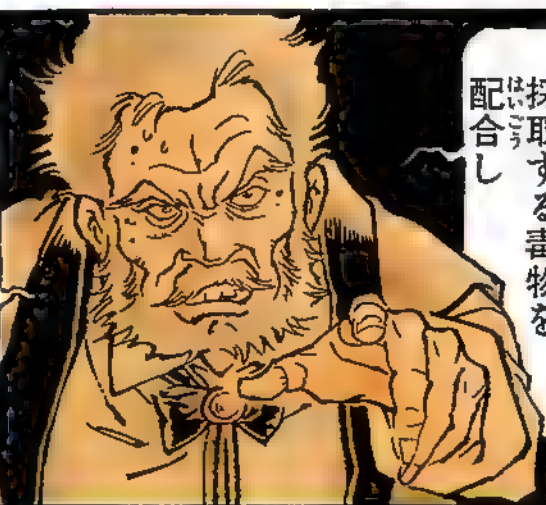
お父様の死因が
毒殺であることは
日々明白になって
きつつあります

ザビ家の妨害で
検死はままなり
ませんでした

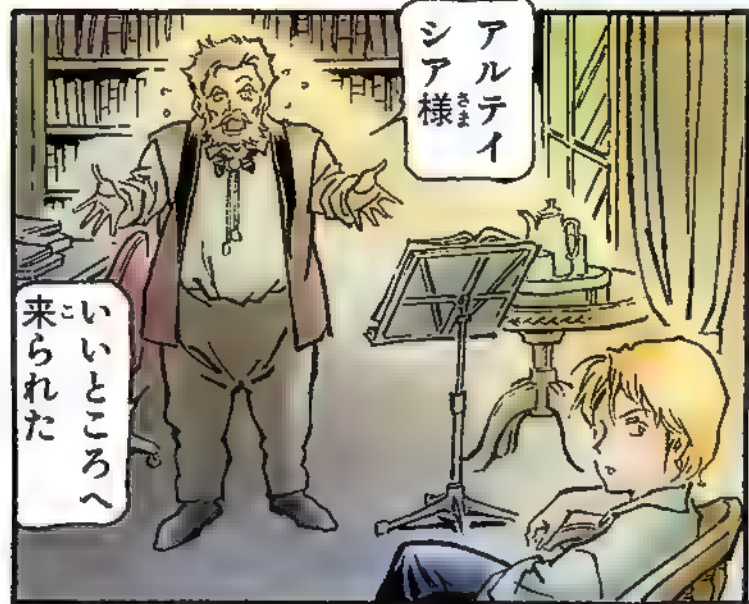
有力な情況証拠から
幾人もの科学者が
そう結論づけています



それを長期間
服用し続けることで
心臓機能は衰え
強いストレスに耐え
きれぬように...

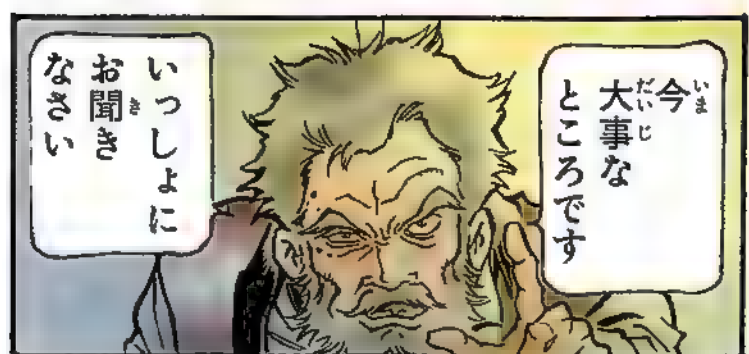
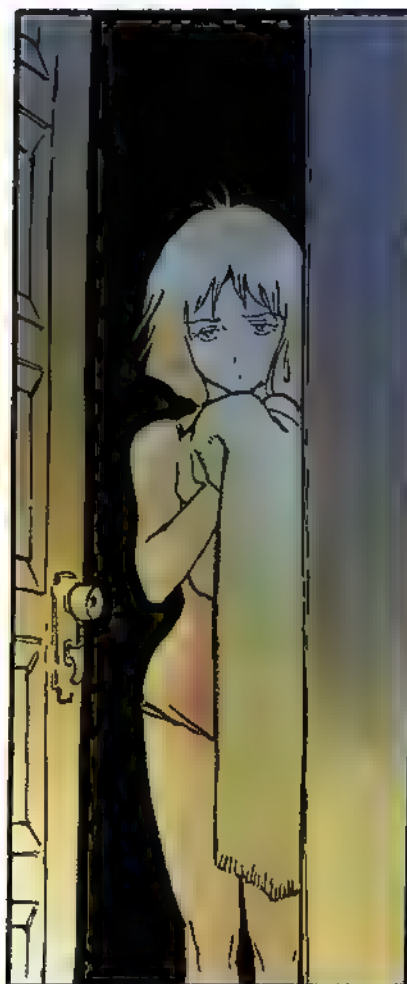


トリカブトと
東洋で産する
ある種のキノコから
採取する毒物を
配合し



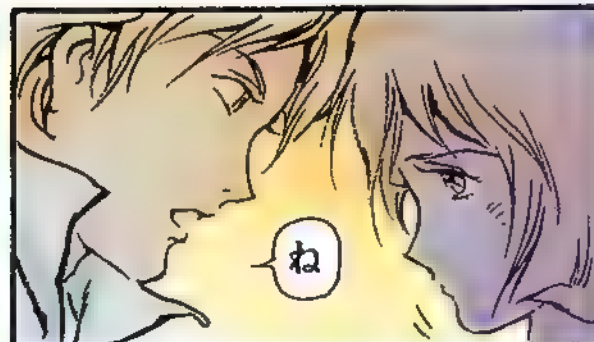
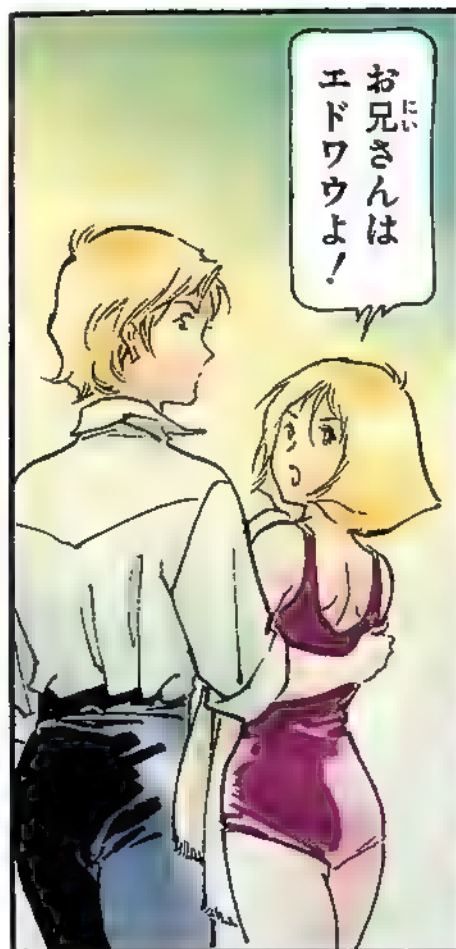
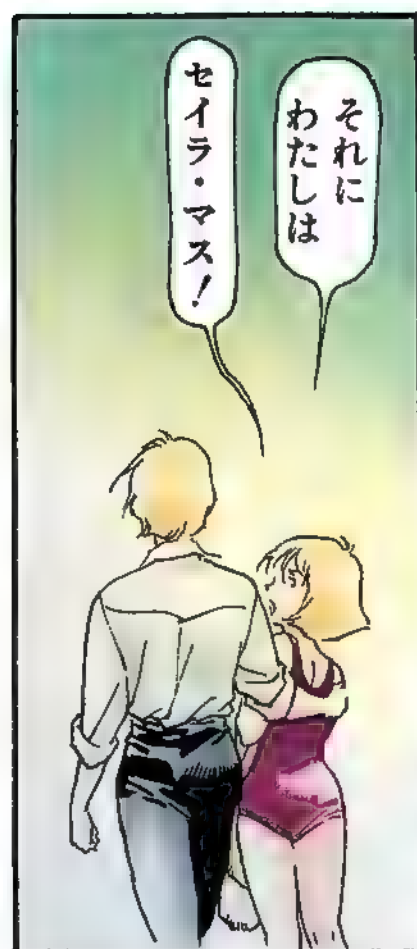
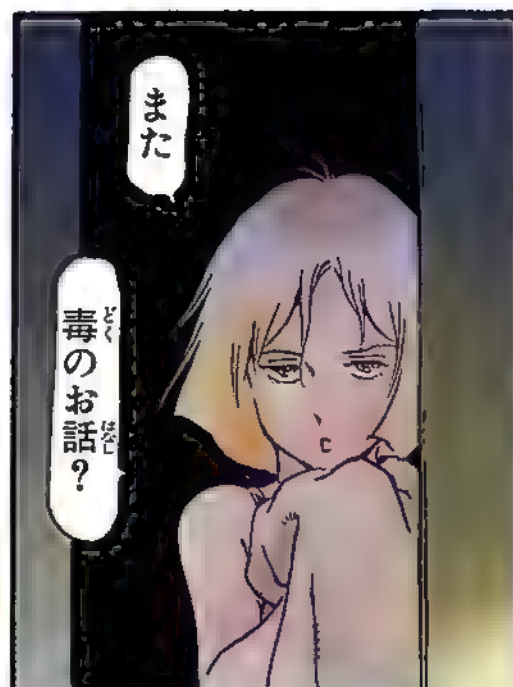
アルテイ
シア様

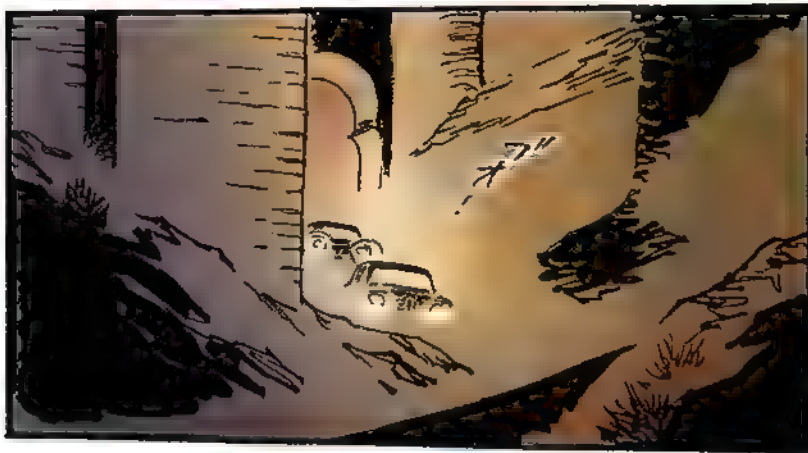
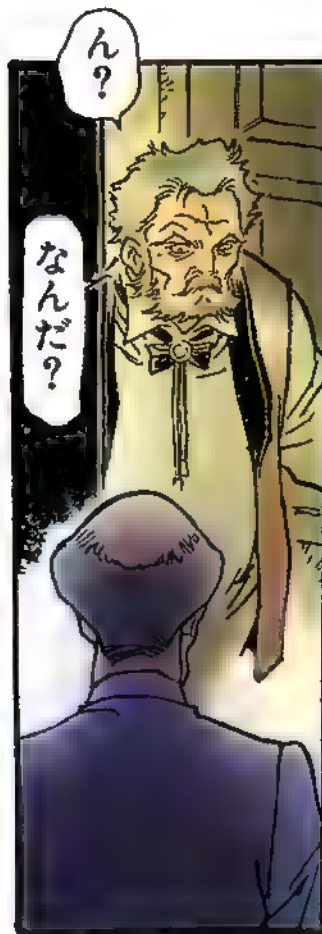
いいところへ
来られた

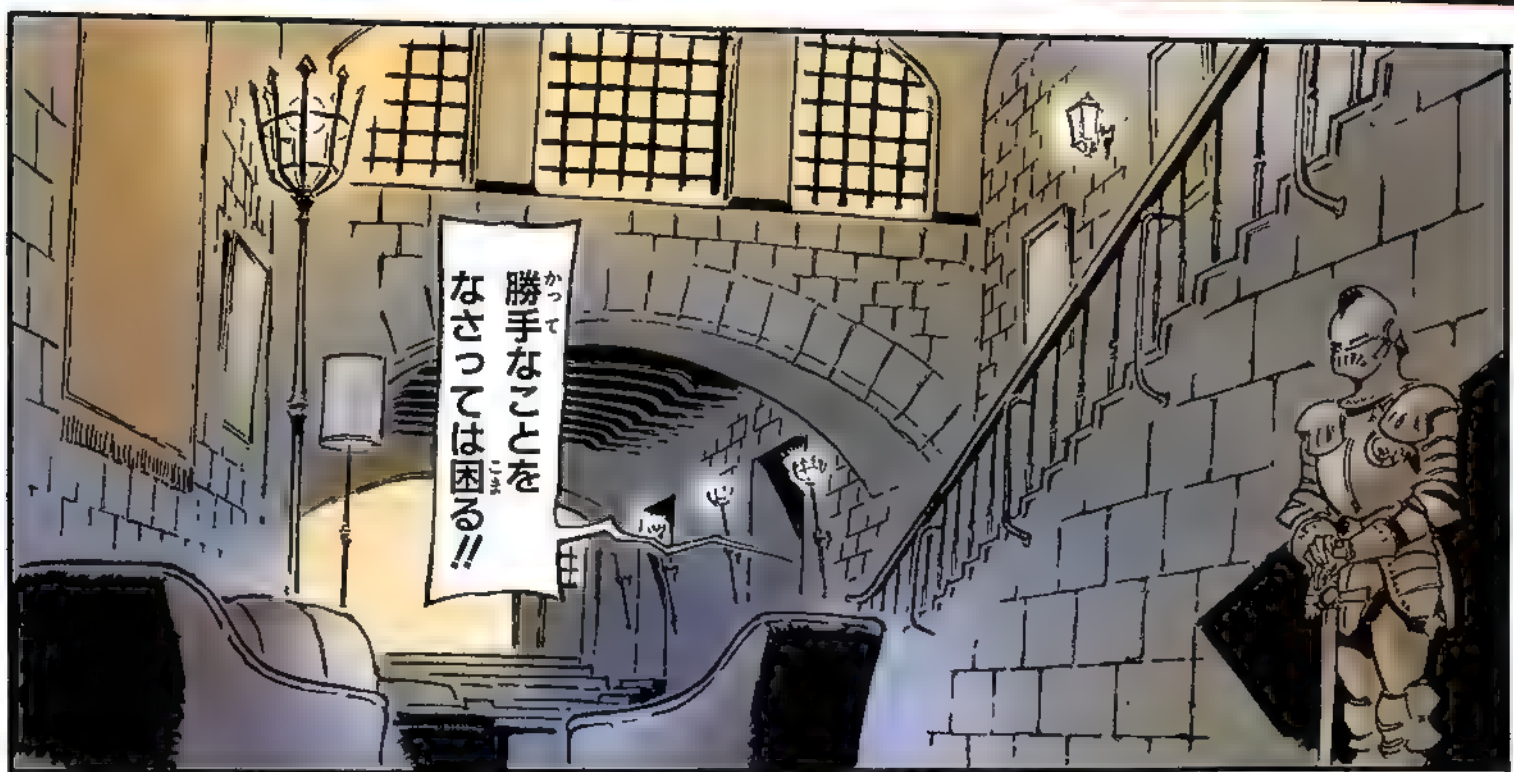


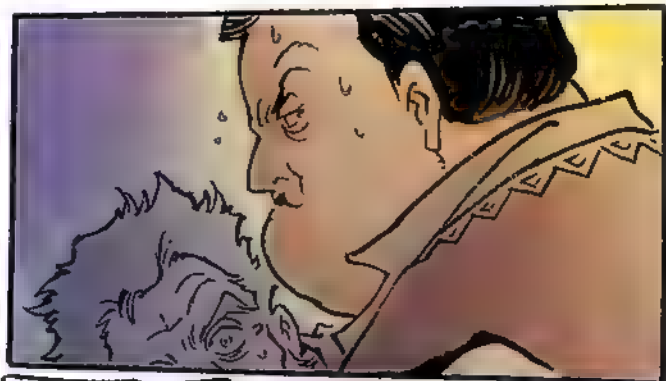
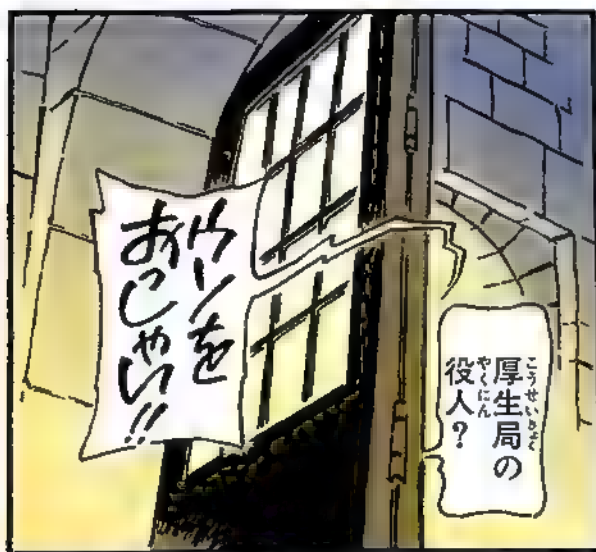
今
大事な
ところです

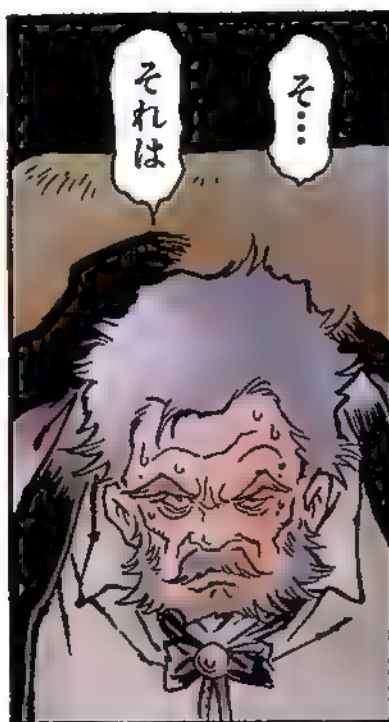
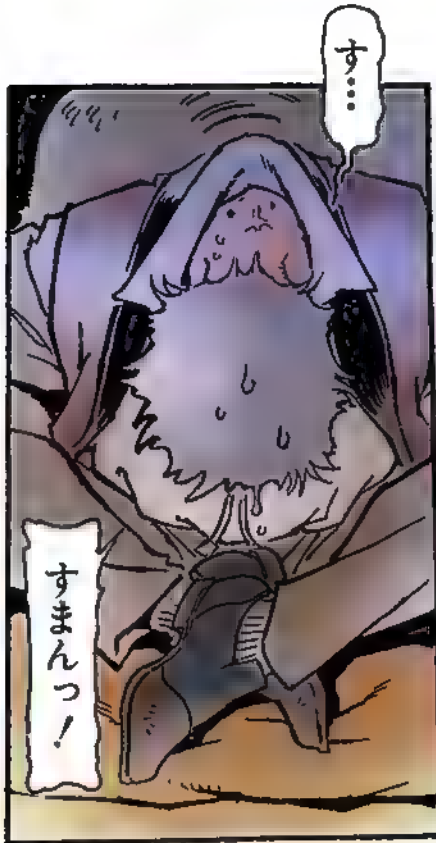
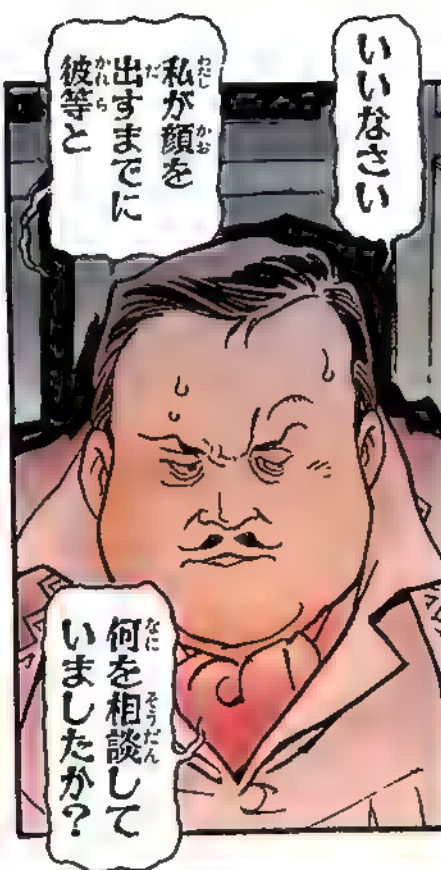
いっしょに
お聞き
なさい











アナハイム社は
全面的に協力
すると言っ
てくれた!!

必要な武器は何でもそろえ
資金は低利の長期融資!

加えて

連邦中枢にも強力に
働きかけて支持を
とりつけるともっ!

それでも成功
しないと言える
だろうかっ!?

しかも
我々の側にはっ

我々の
側には
...?

我々の

がわには...

ダイクンの
残された
御子達が
いるっ!!

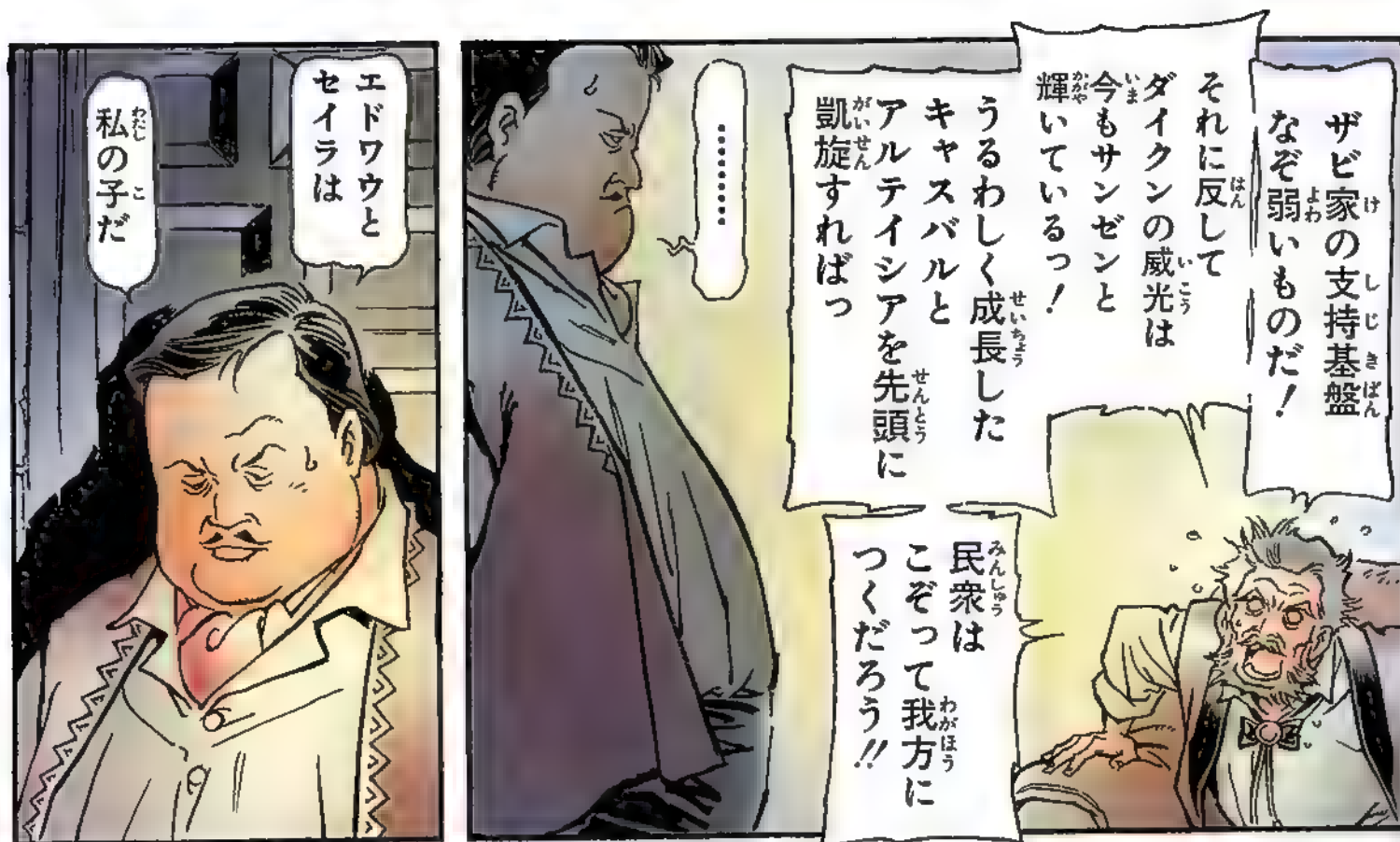
これぞ
錦の御旗だっ!

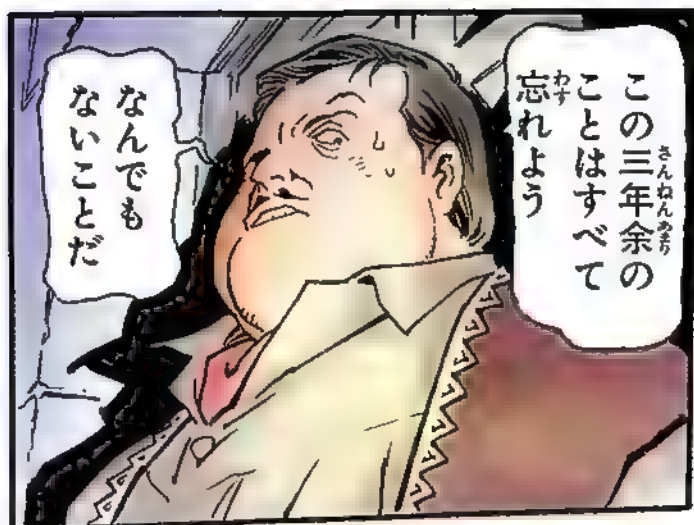
完璧では
ないかっ

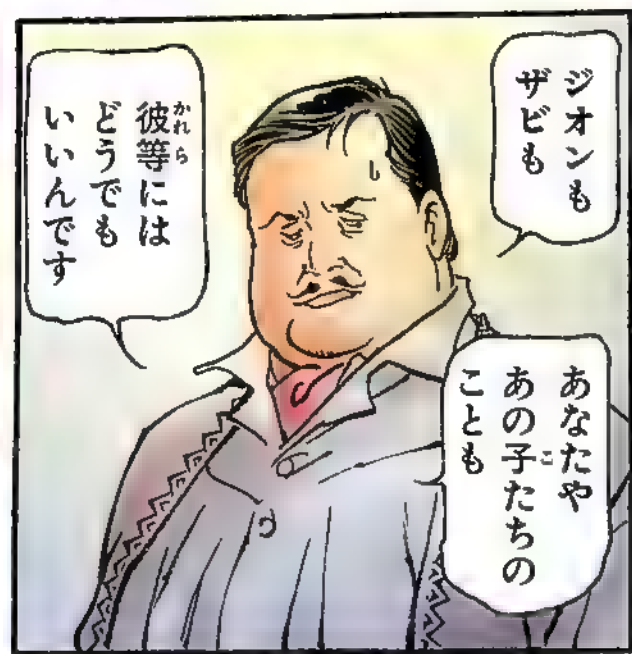
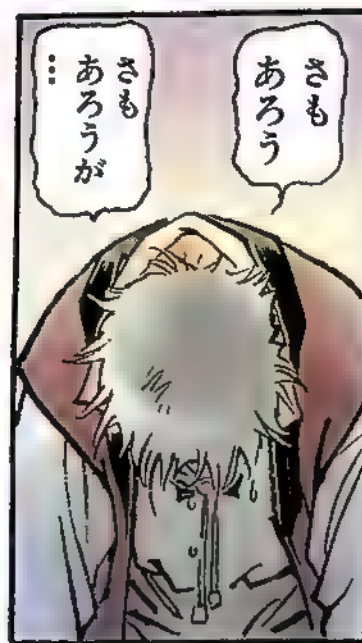
あ?

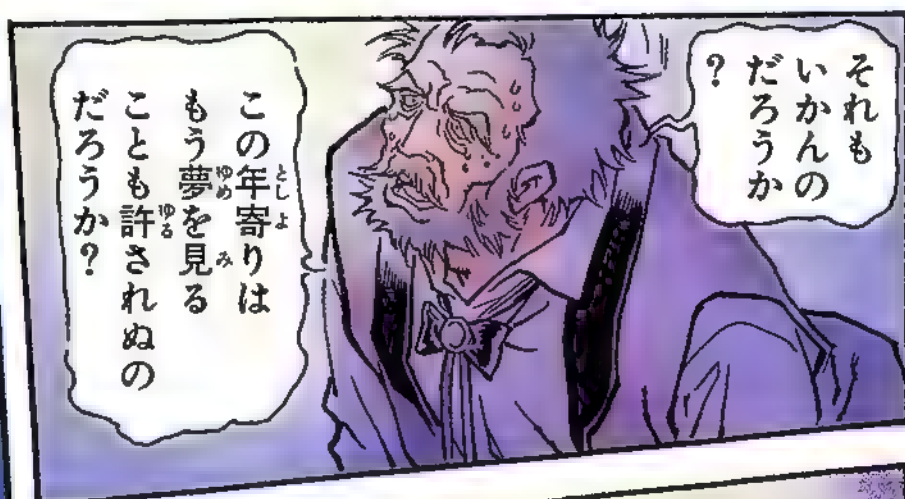
ドン・
テアボロ

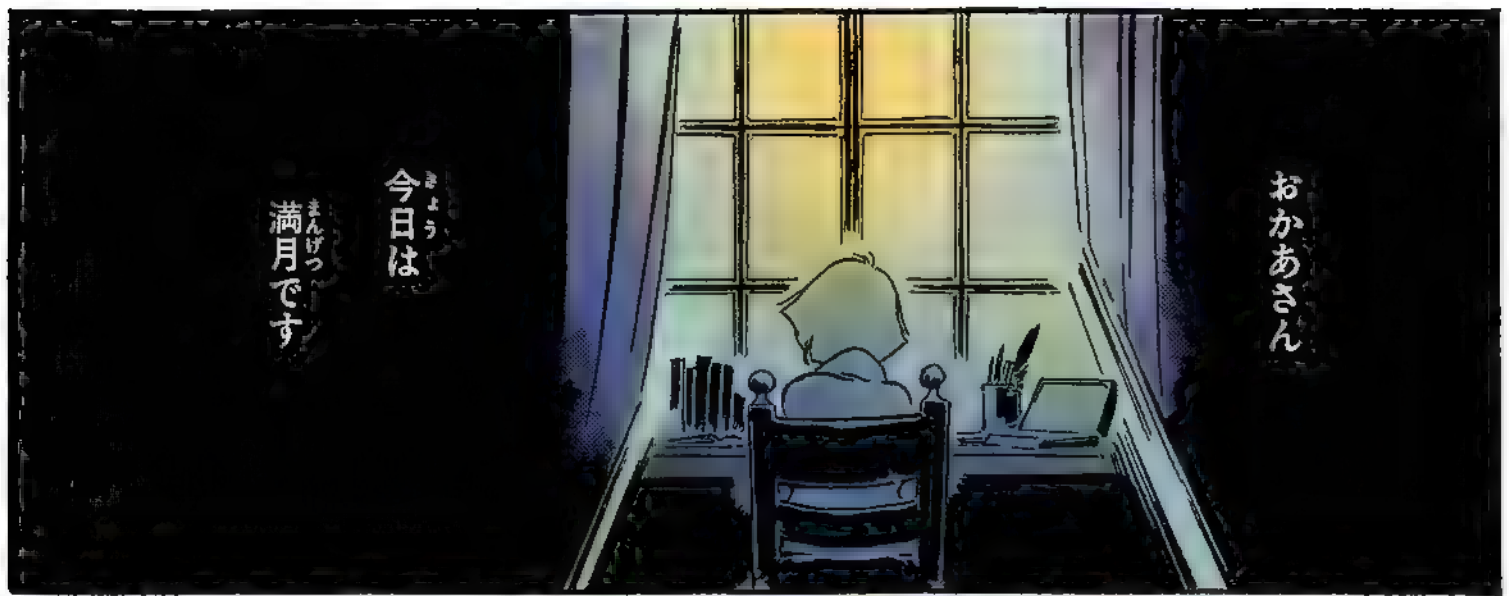
これで
ザビ家打倒が
ならぬわけが
あろうかっ!?







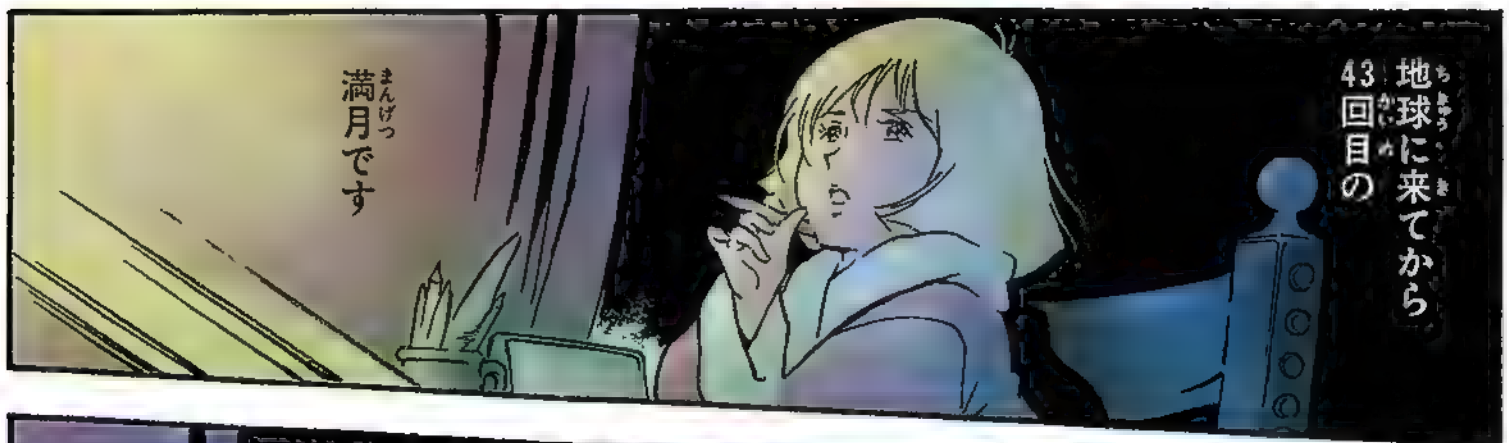




おかあさん

今日は

満月です



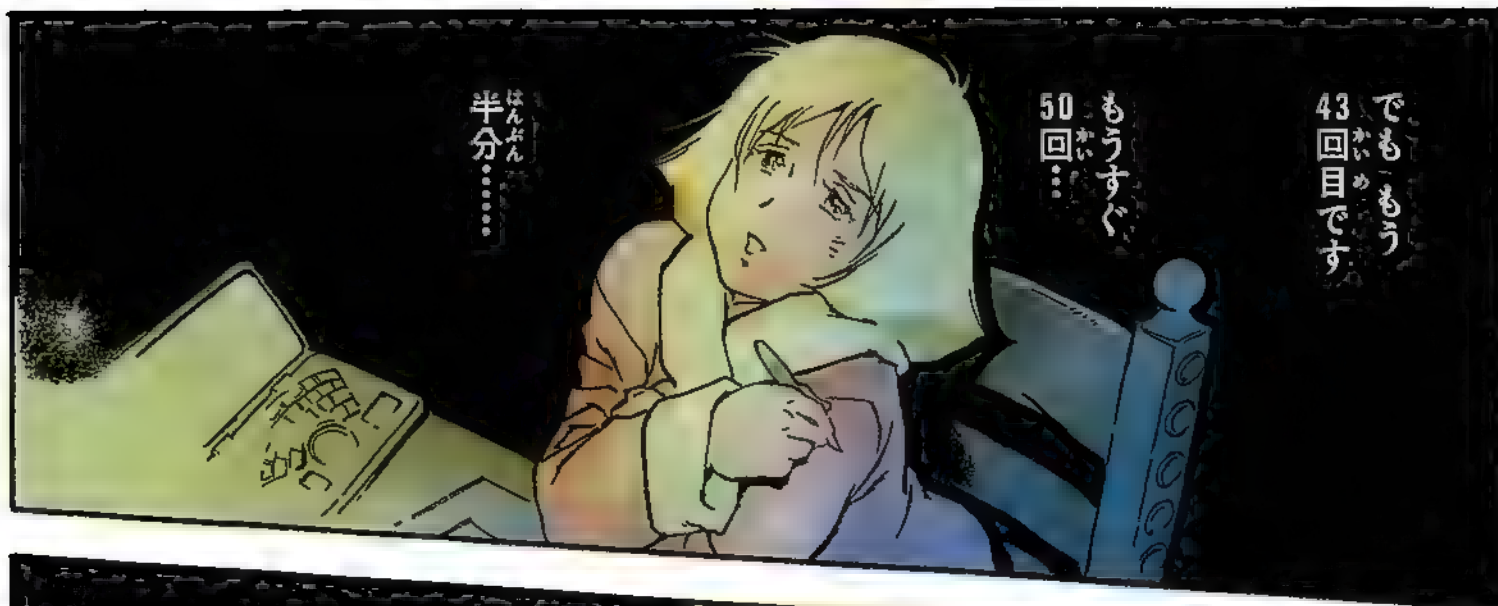
地球に来てから
43回目の

満月です



満月から次の満月までの
日数が一ヶ月も
あると知った時は

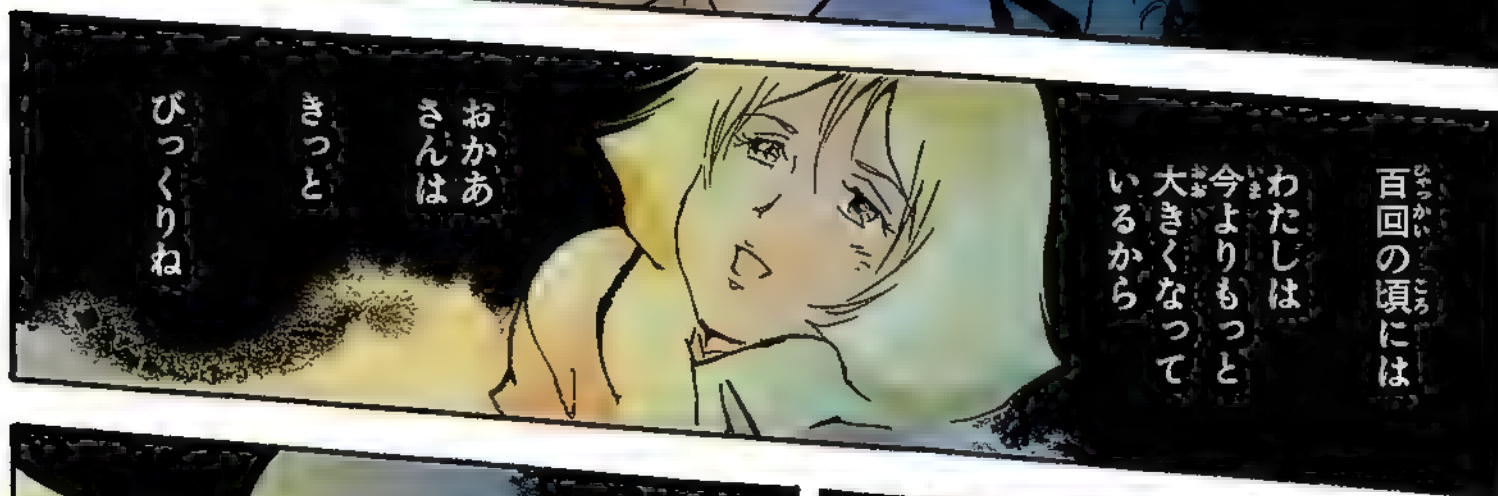
おかあさんは
ひどいと
思いました



でももう
43回目です

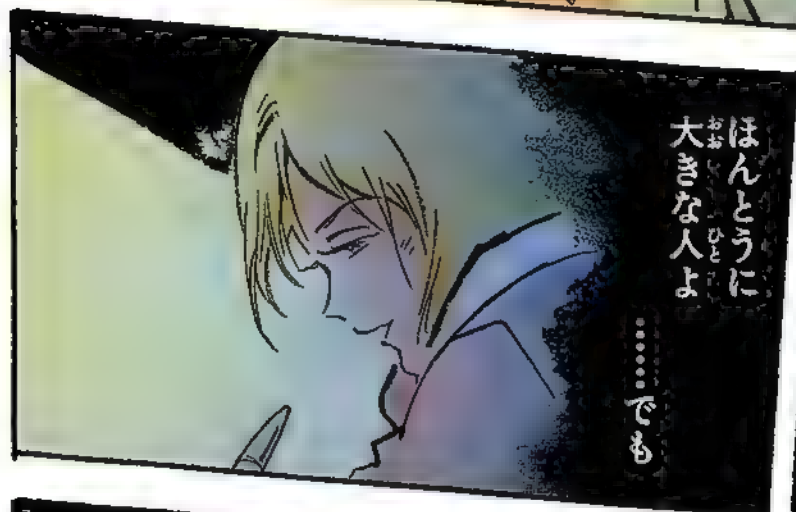
もうすぐ
50回...

半分.....
はんぶん



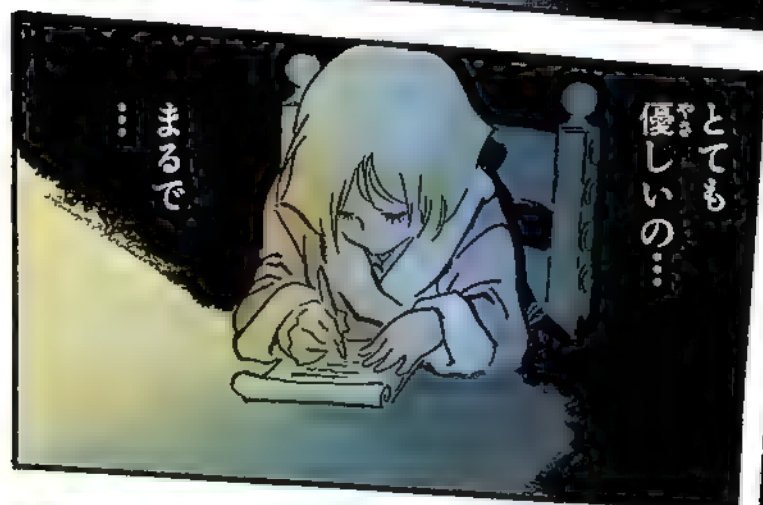
百回の頃には
わたしは
今よりもっと
大きくなって
いるから

おかあ
さんは
きっと
びっくりね



ほんとうに
大きな人よ

.....でも



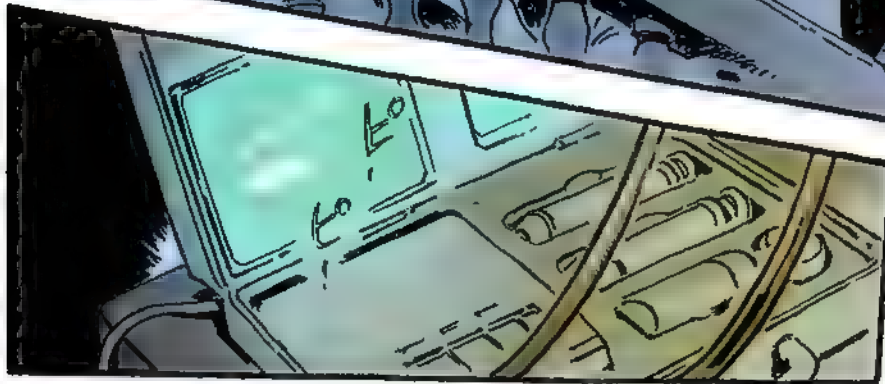
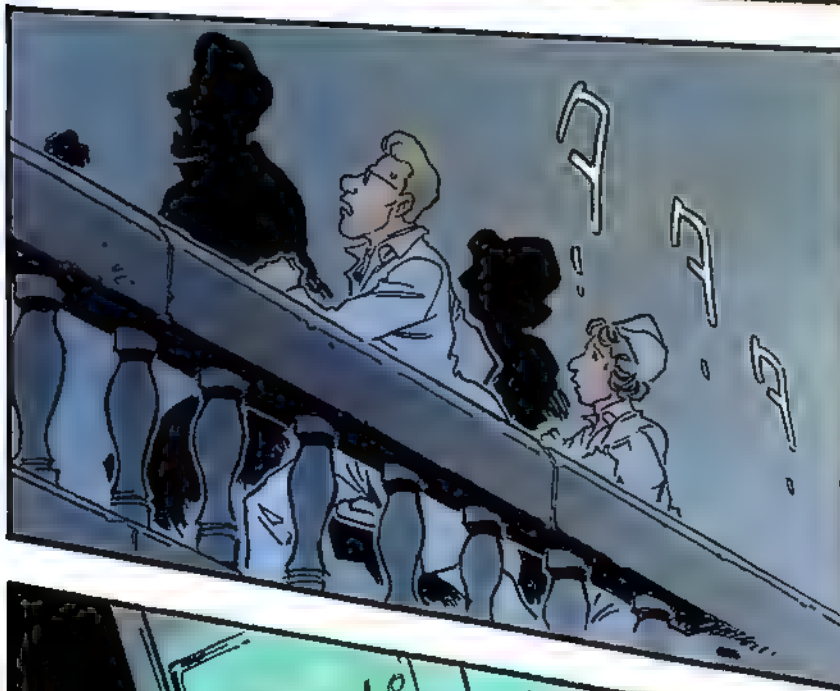
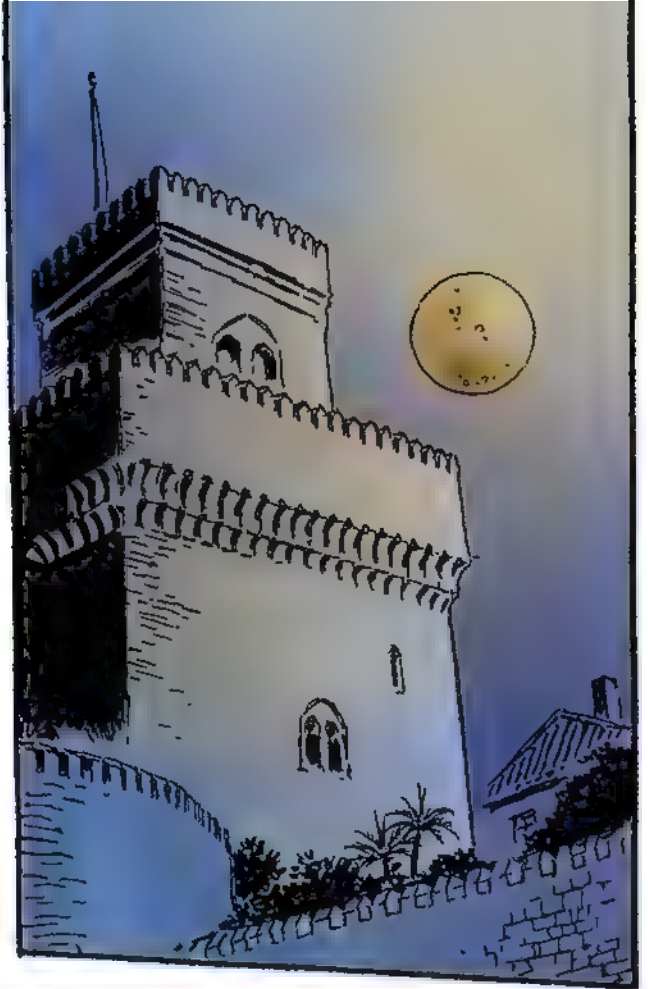
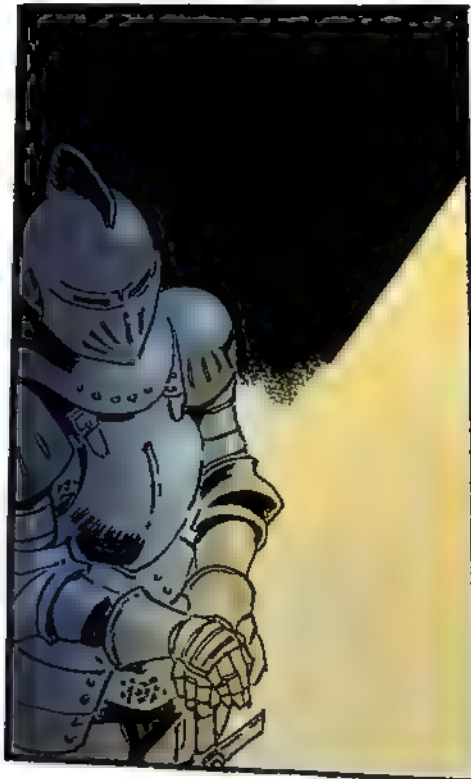
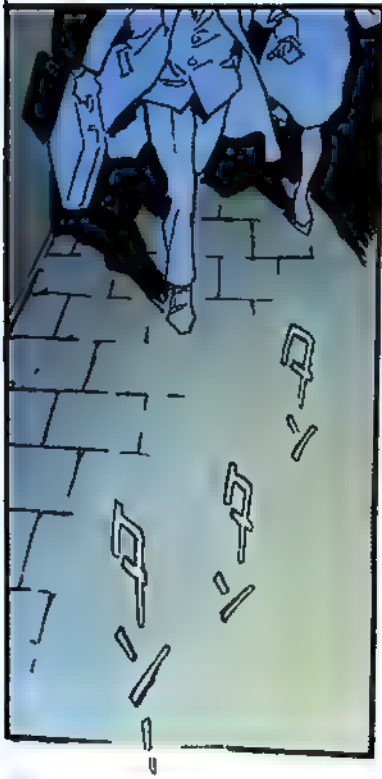
とても
優しいの...

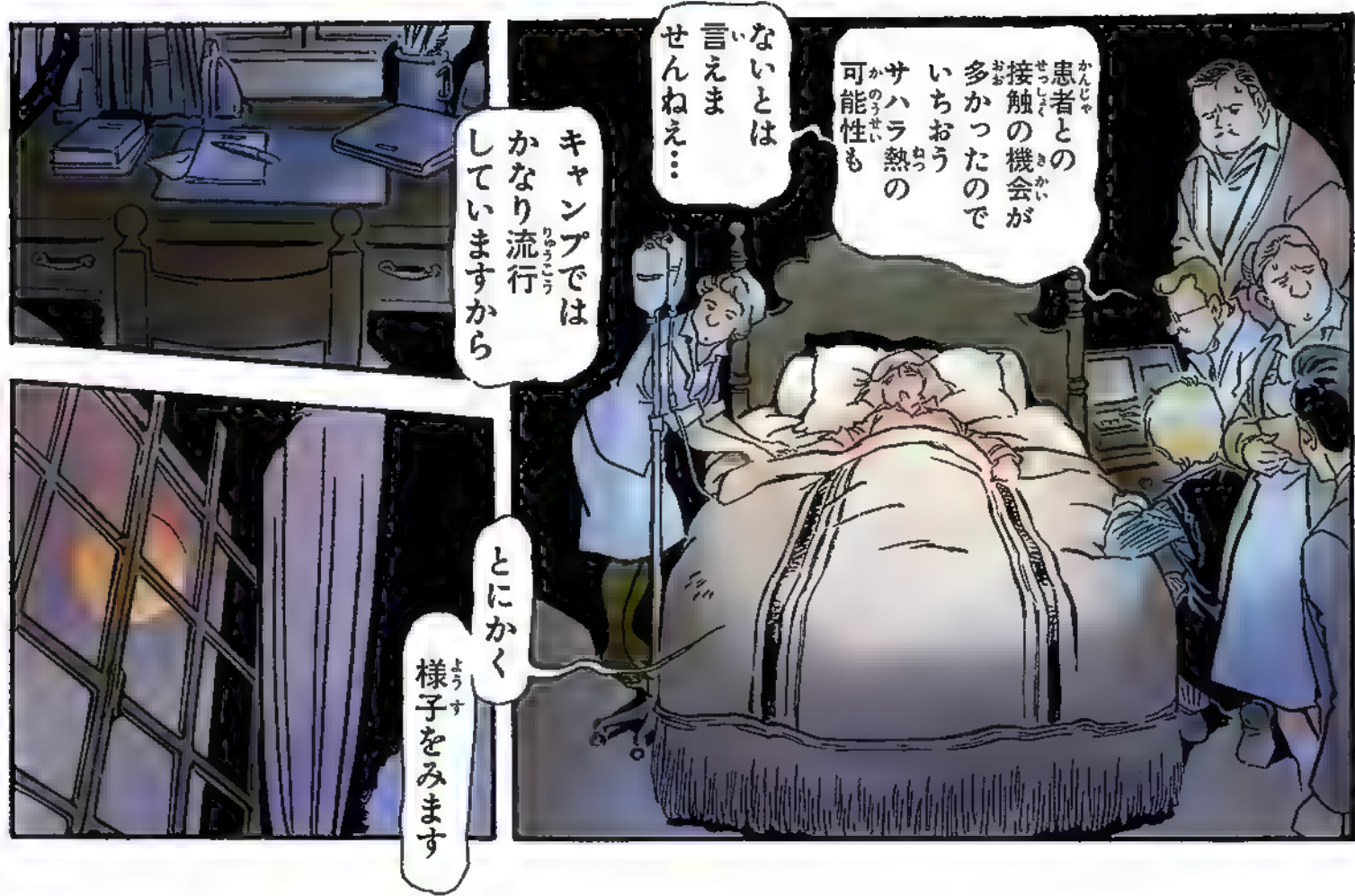
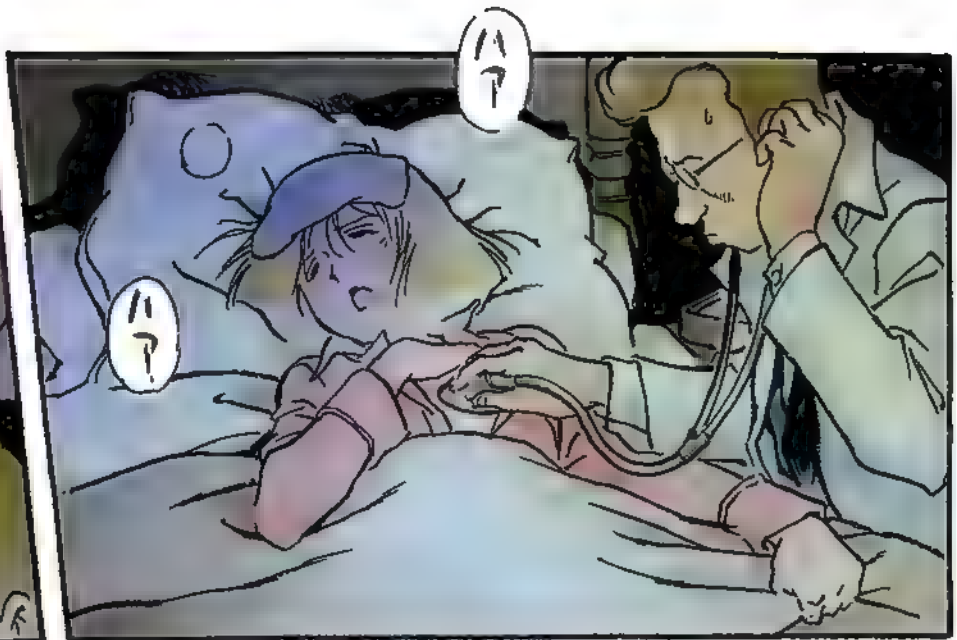
まるで
...

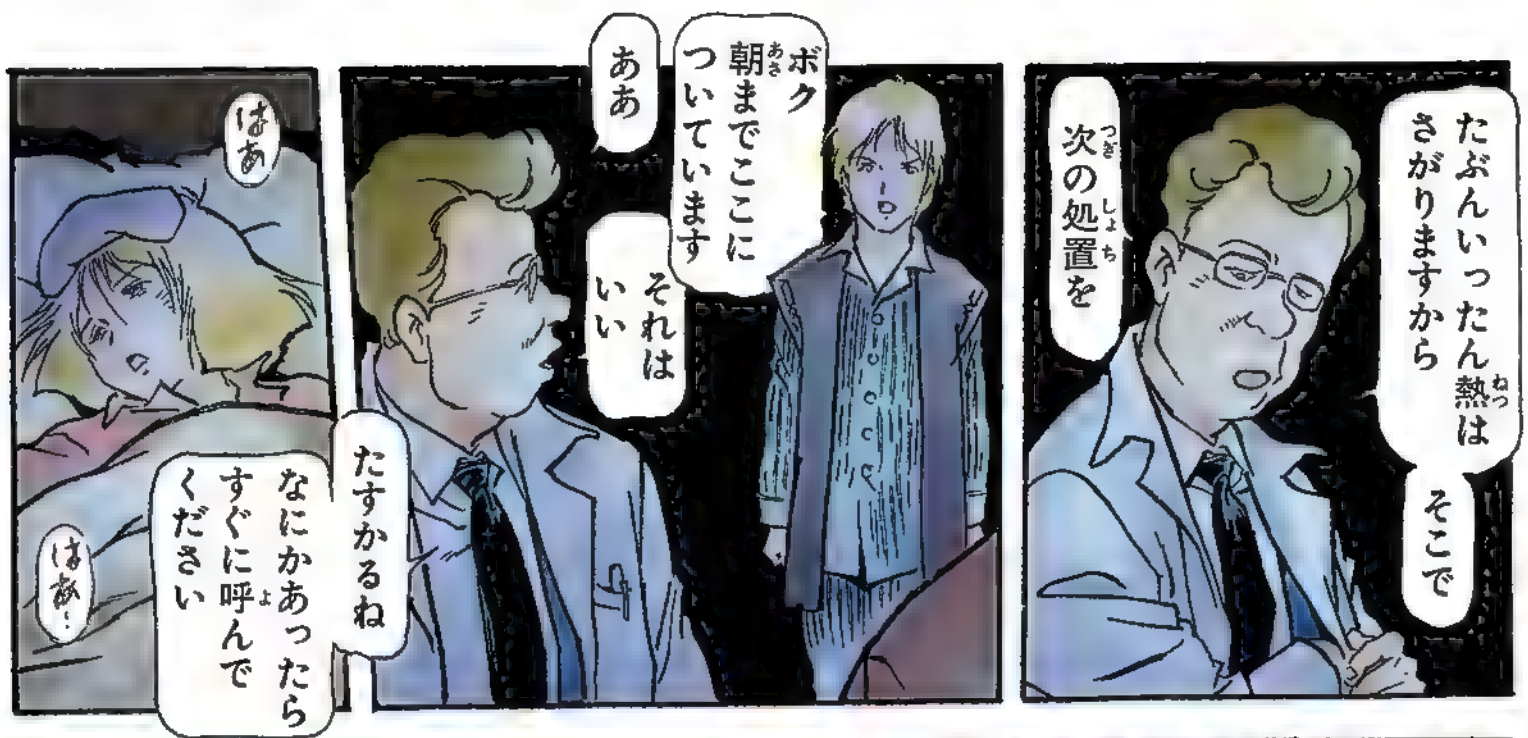


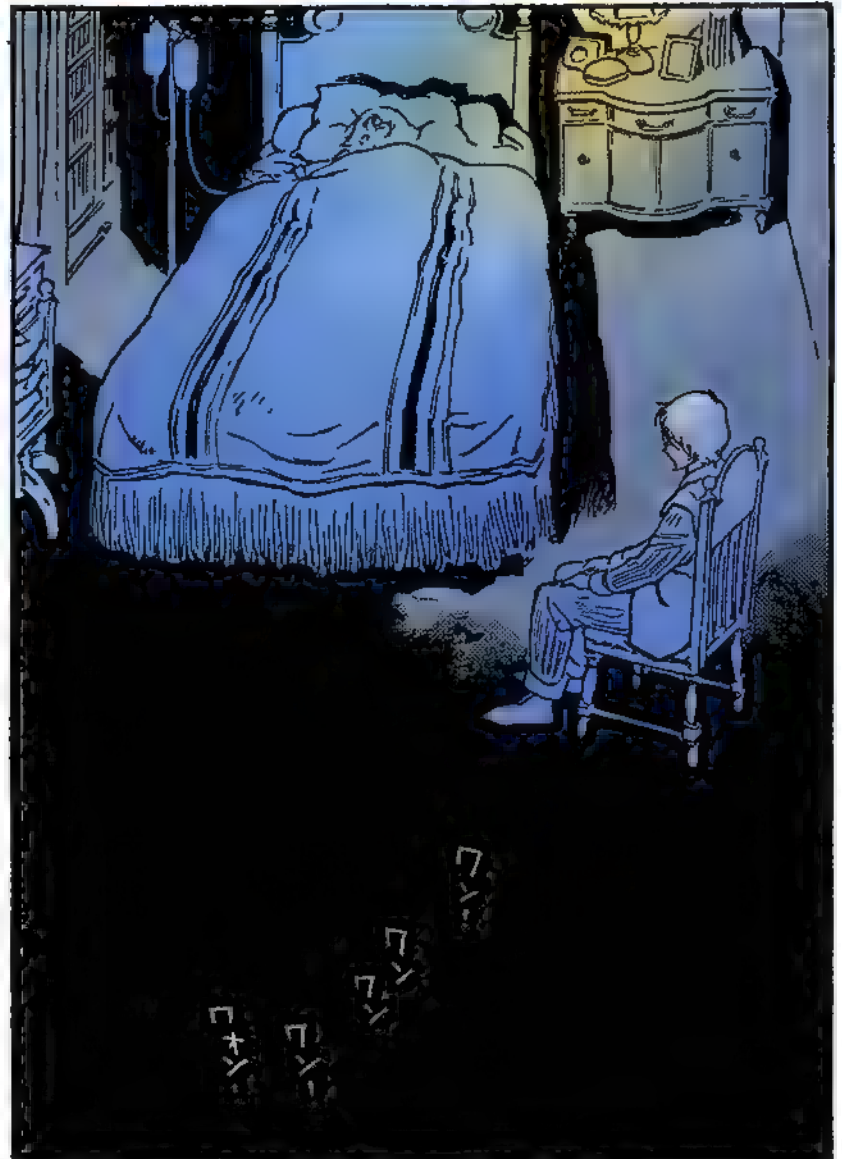
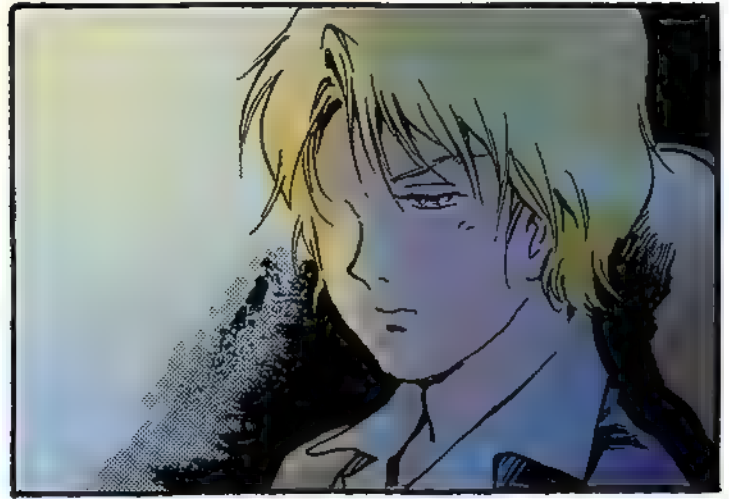
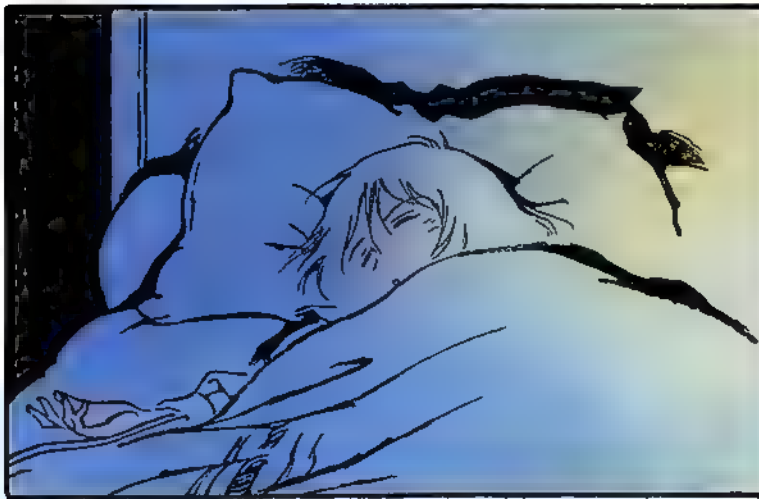
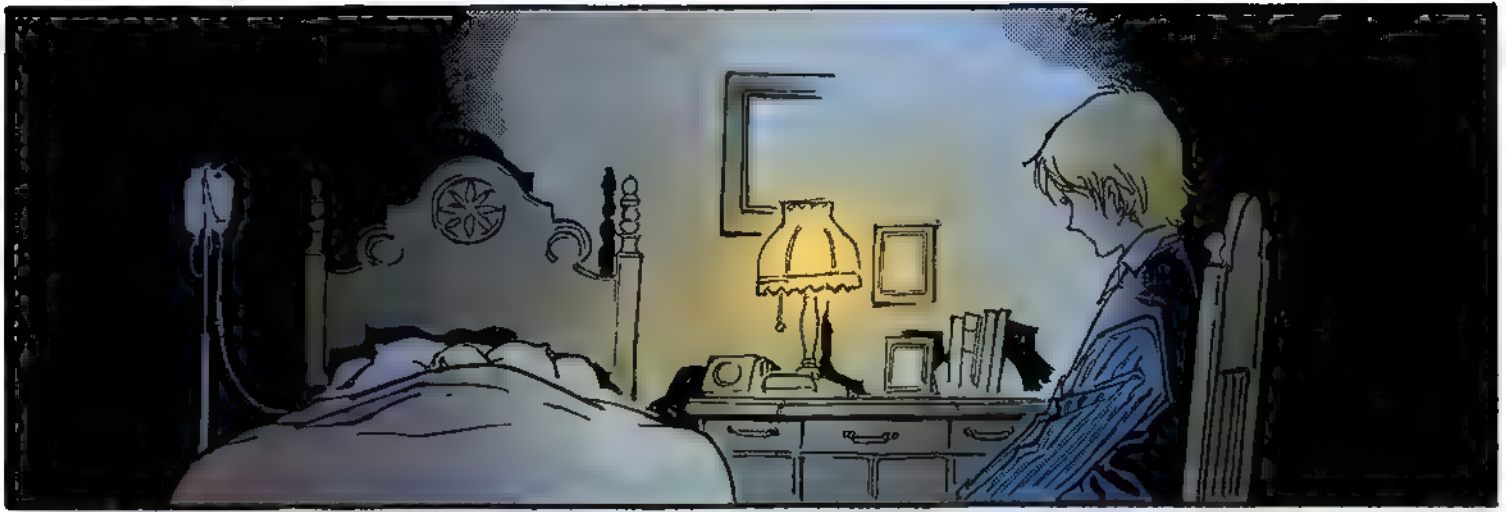
おにいさんはもう
シンバ・ラルさんより
背が高く
なりました

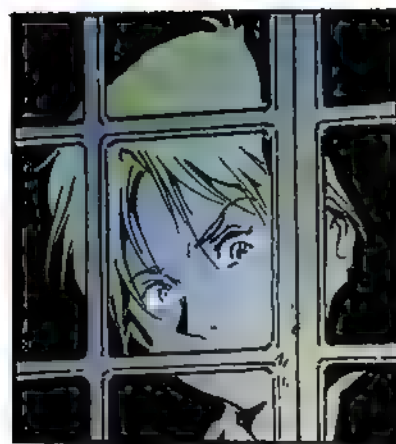
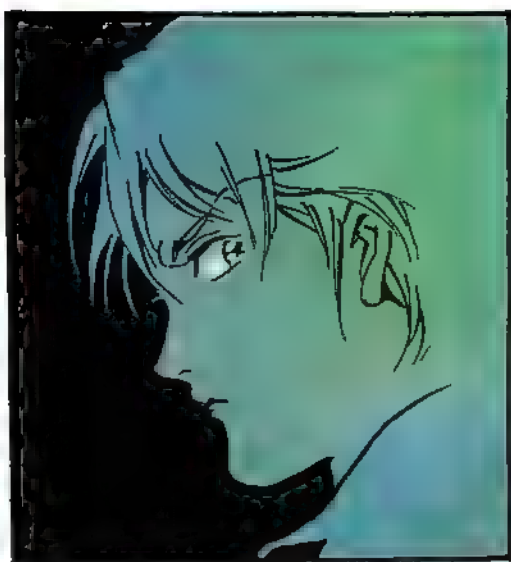
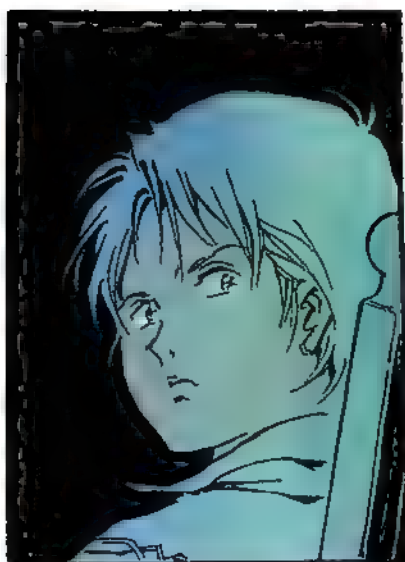
テアポロさんは
また
太りました

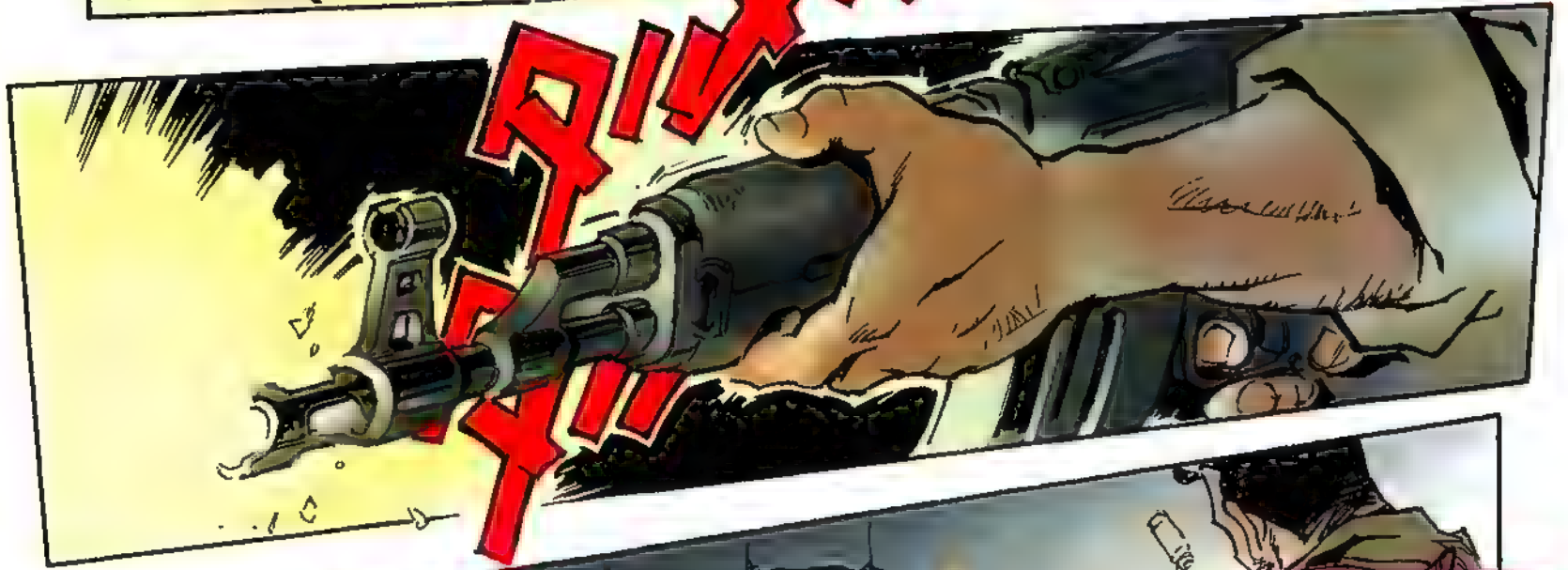
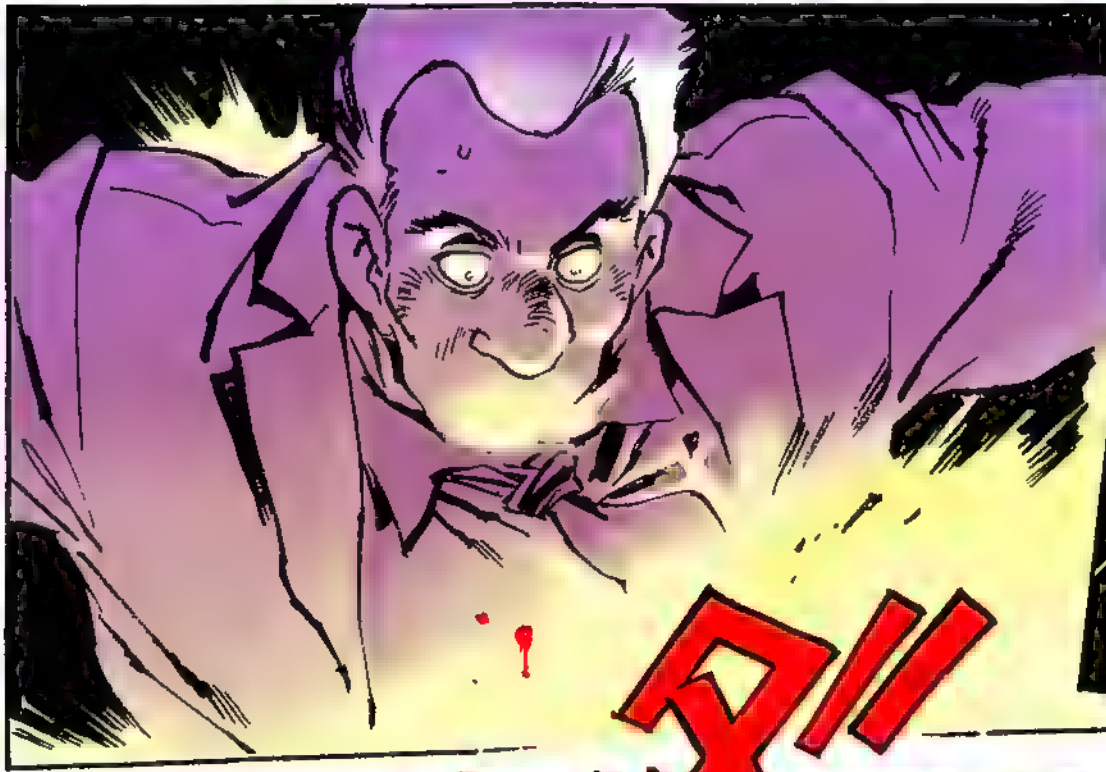


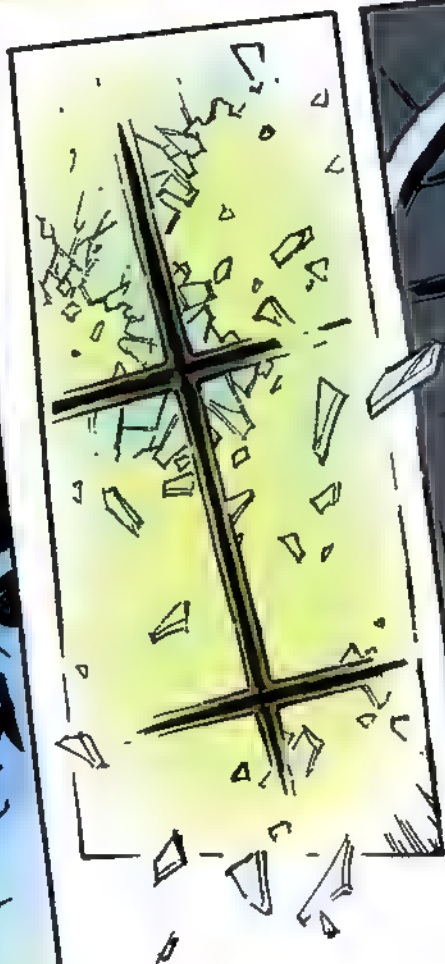
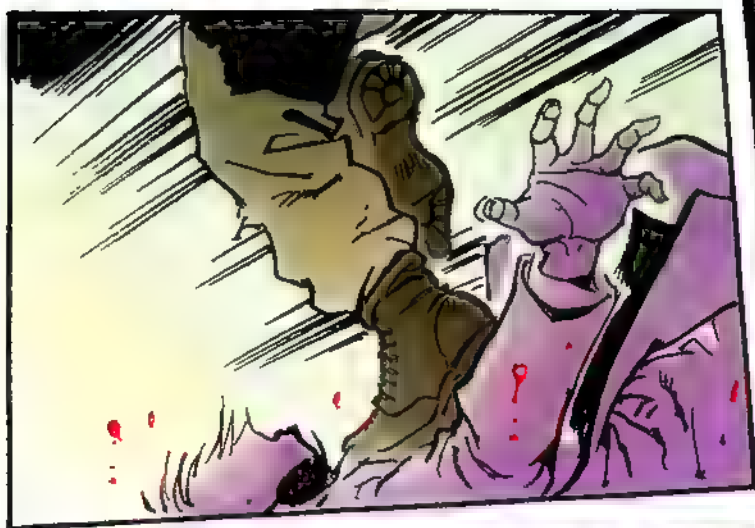


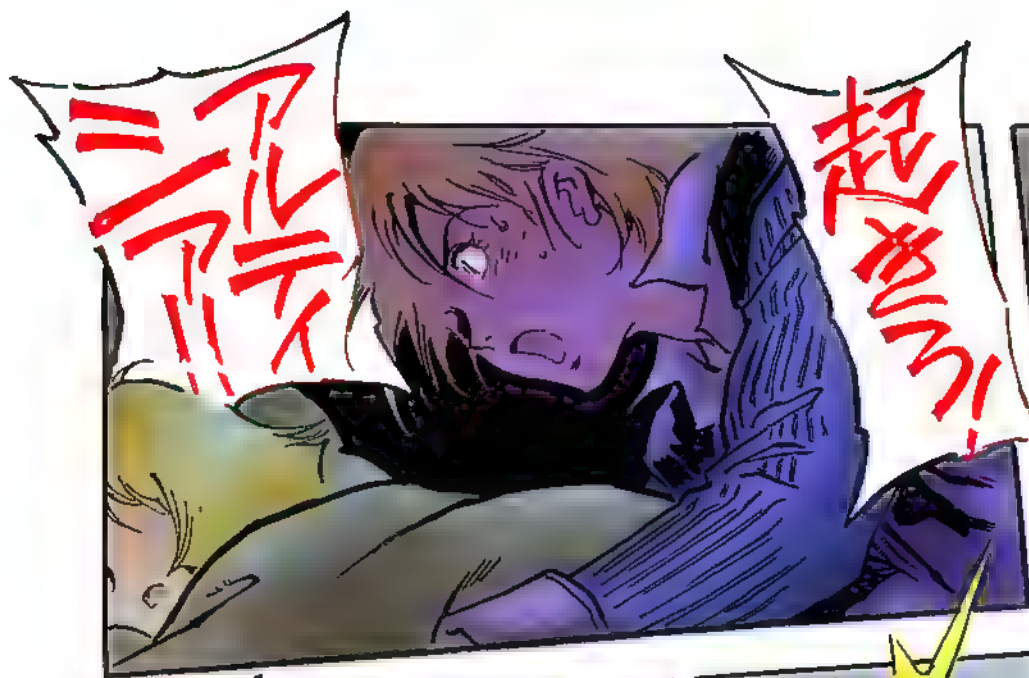




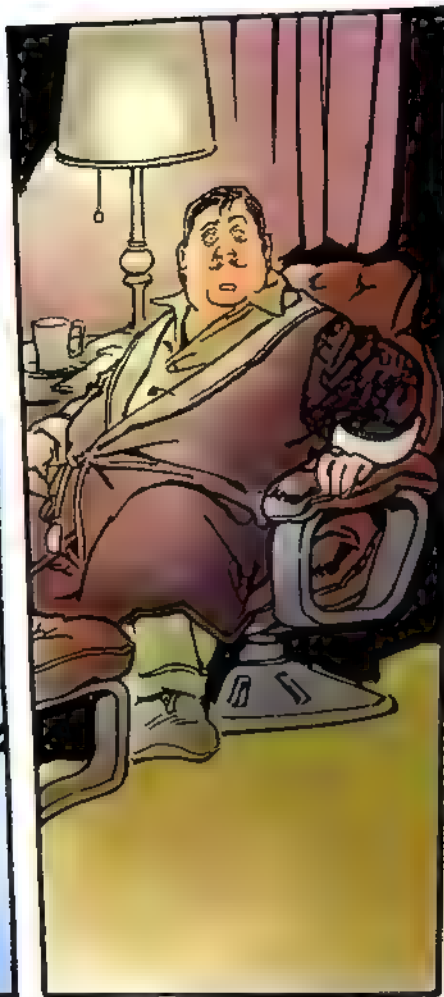
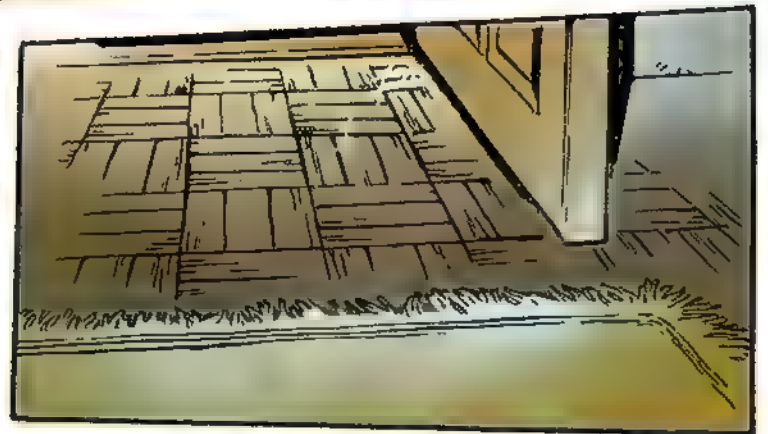
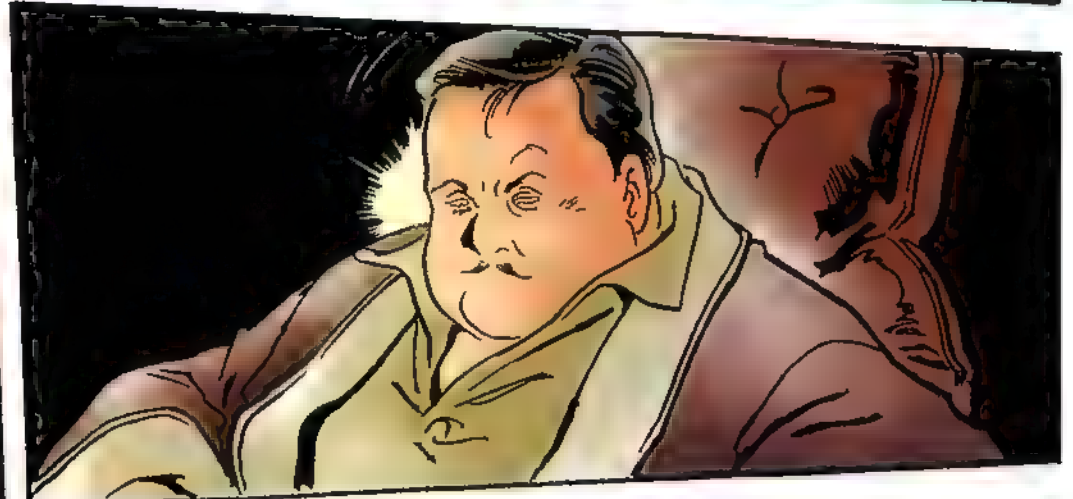


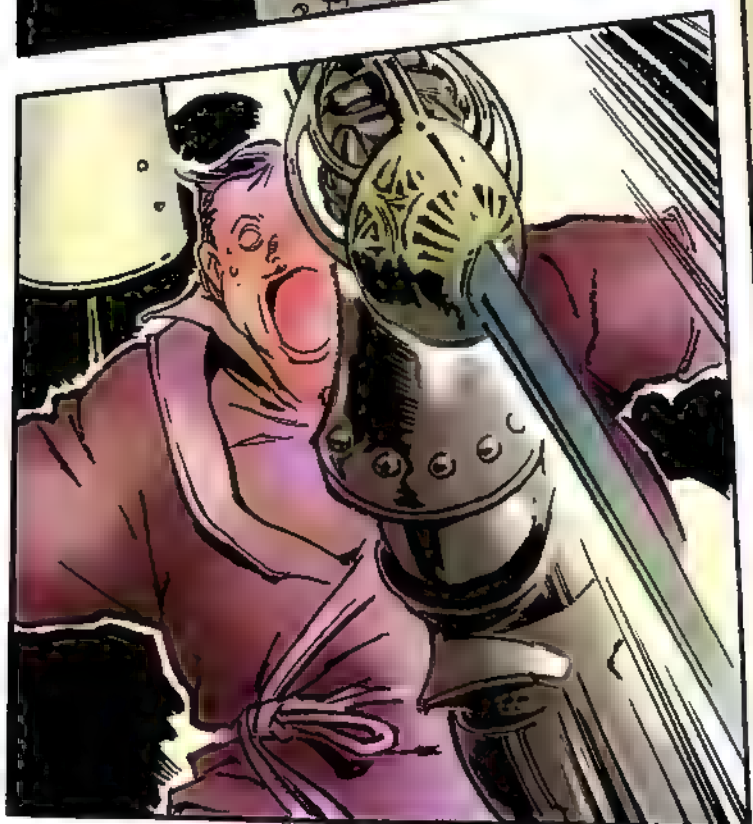
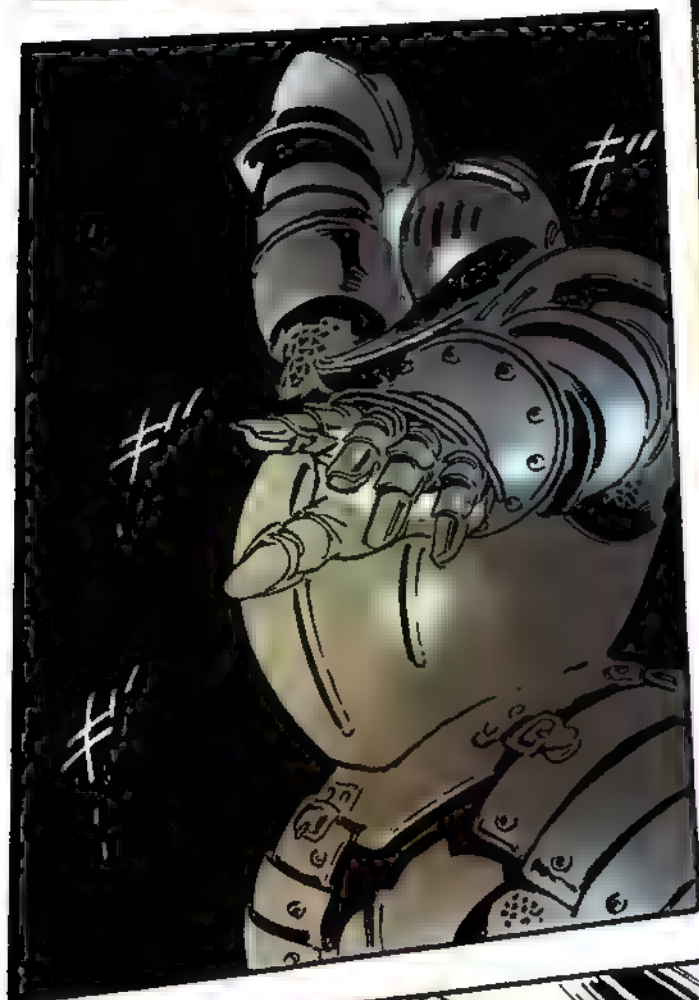
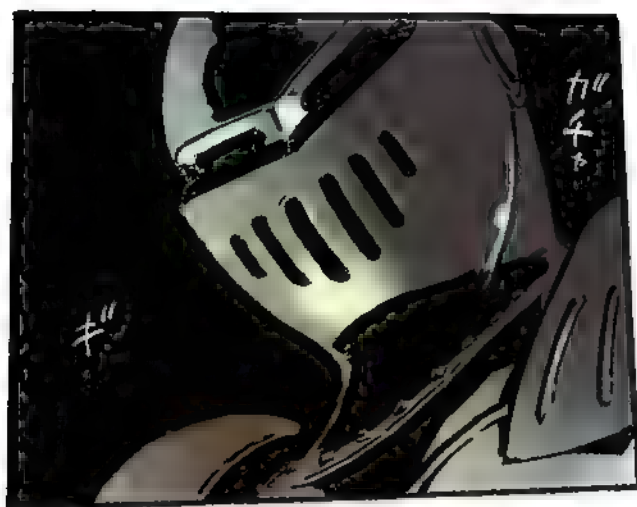
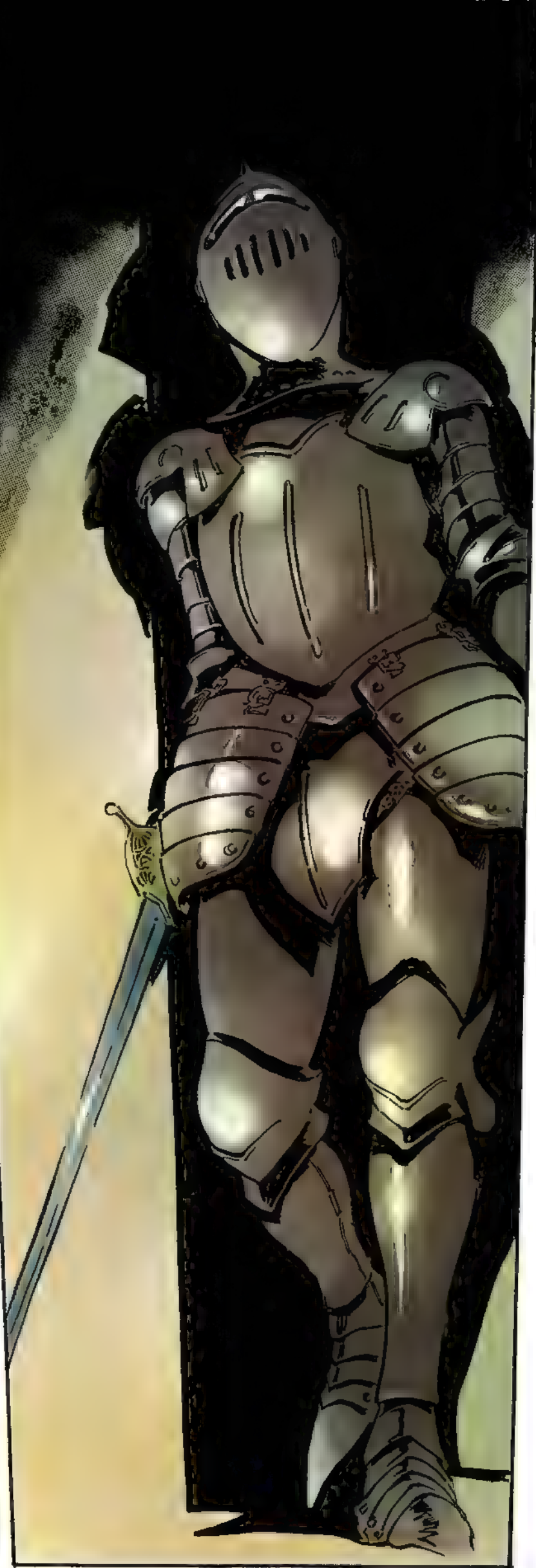


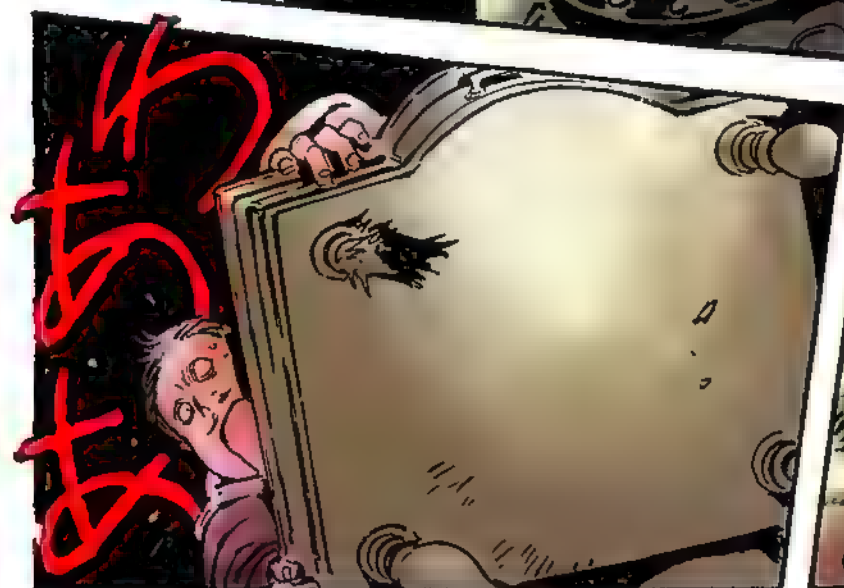
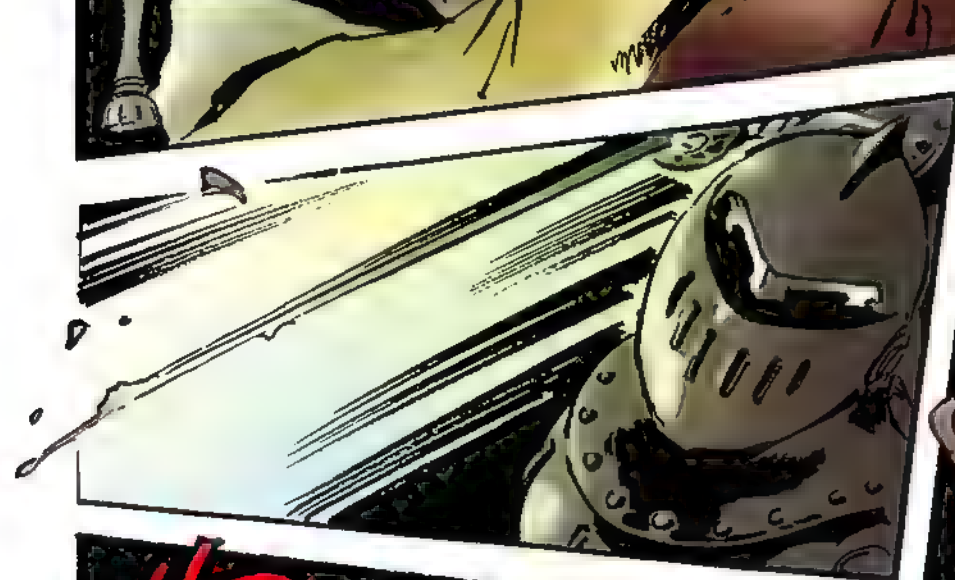
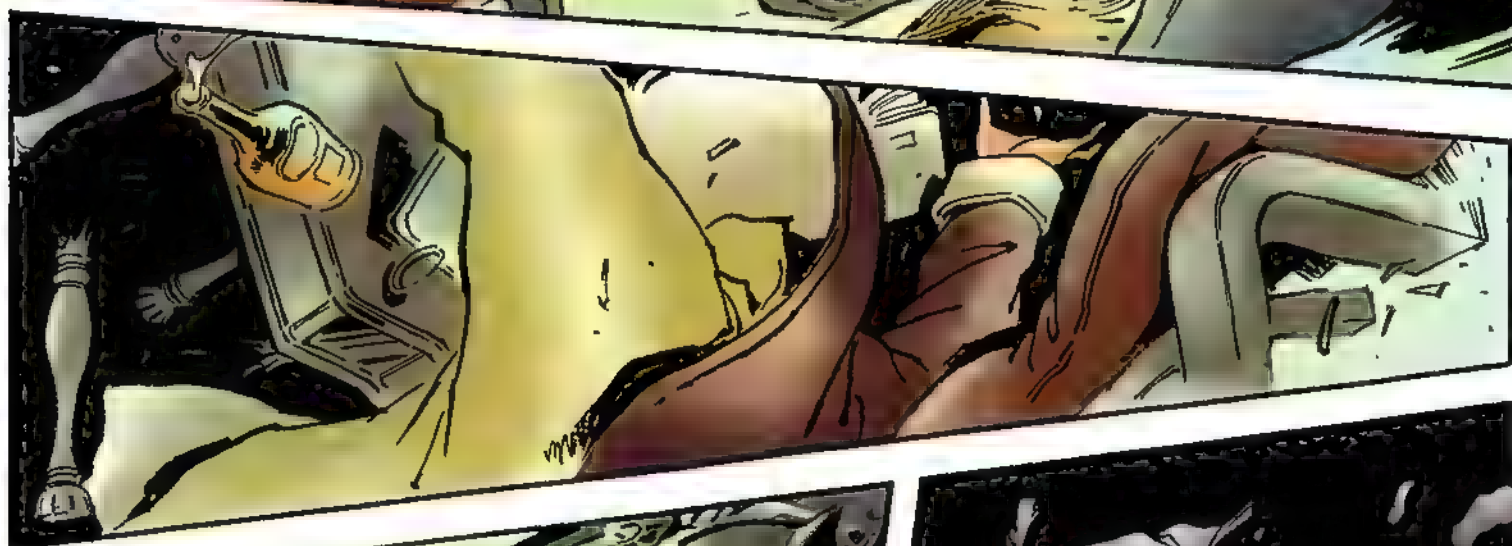
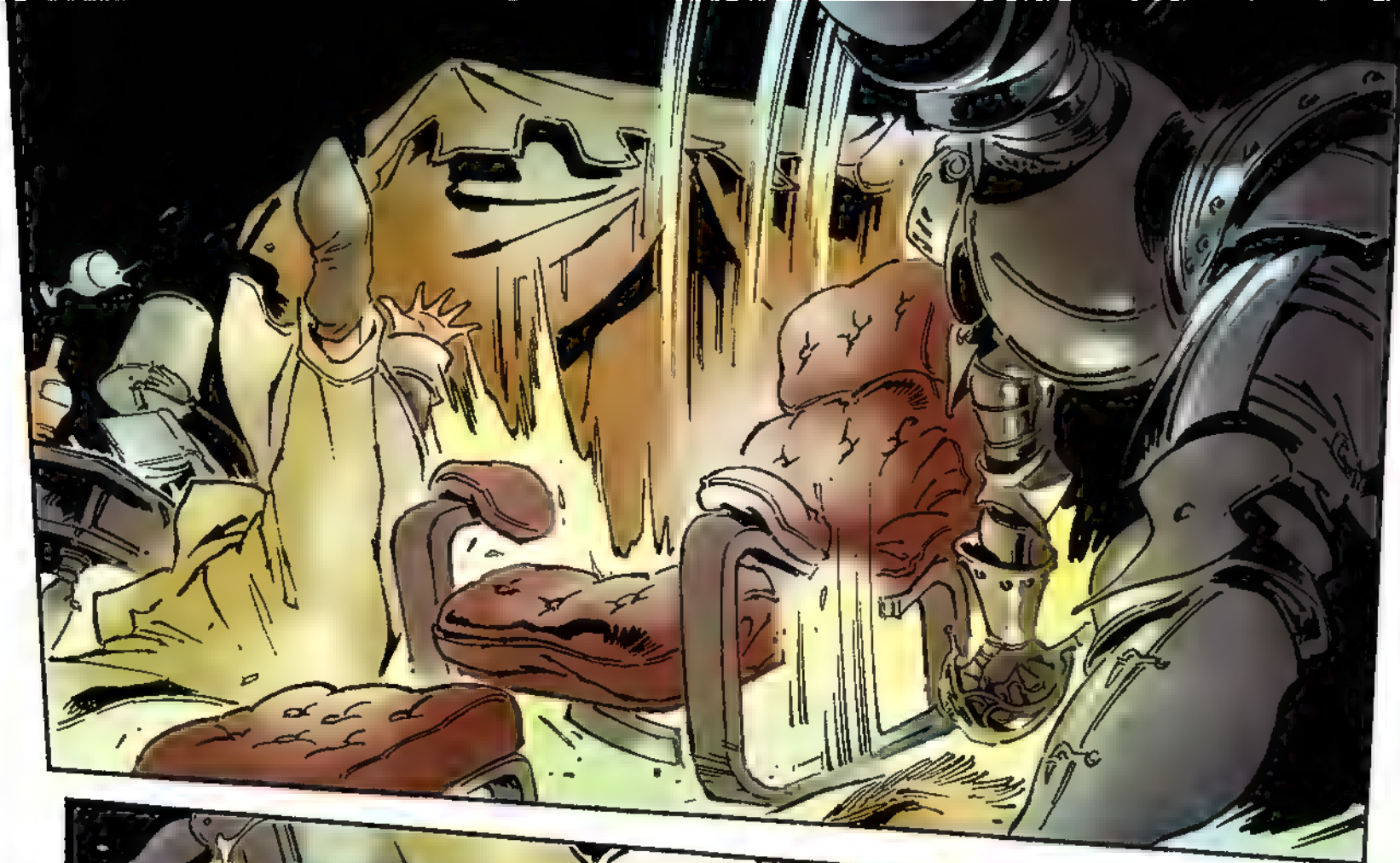


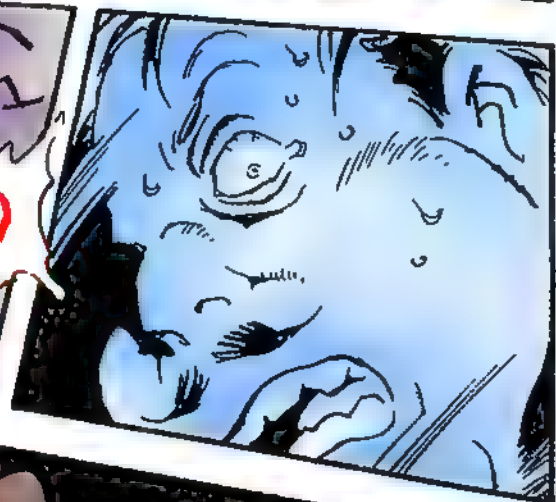
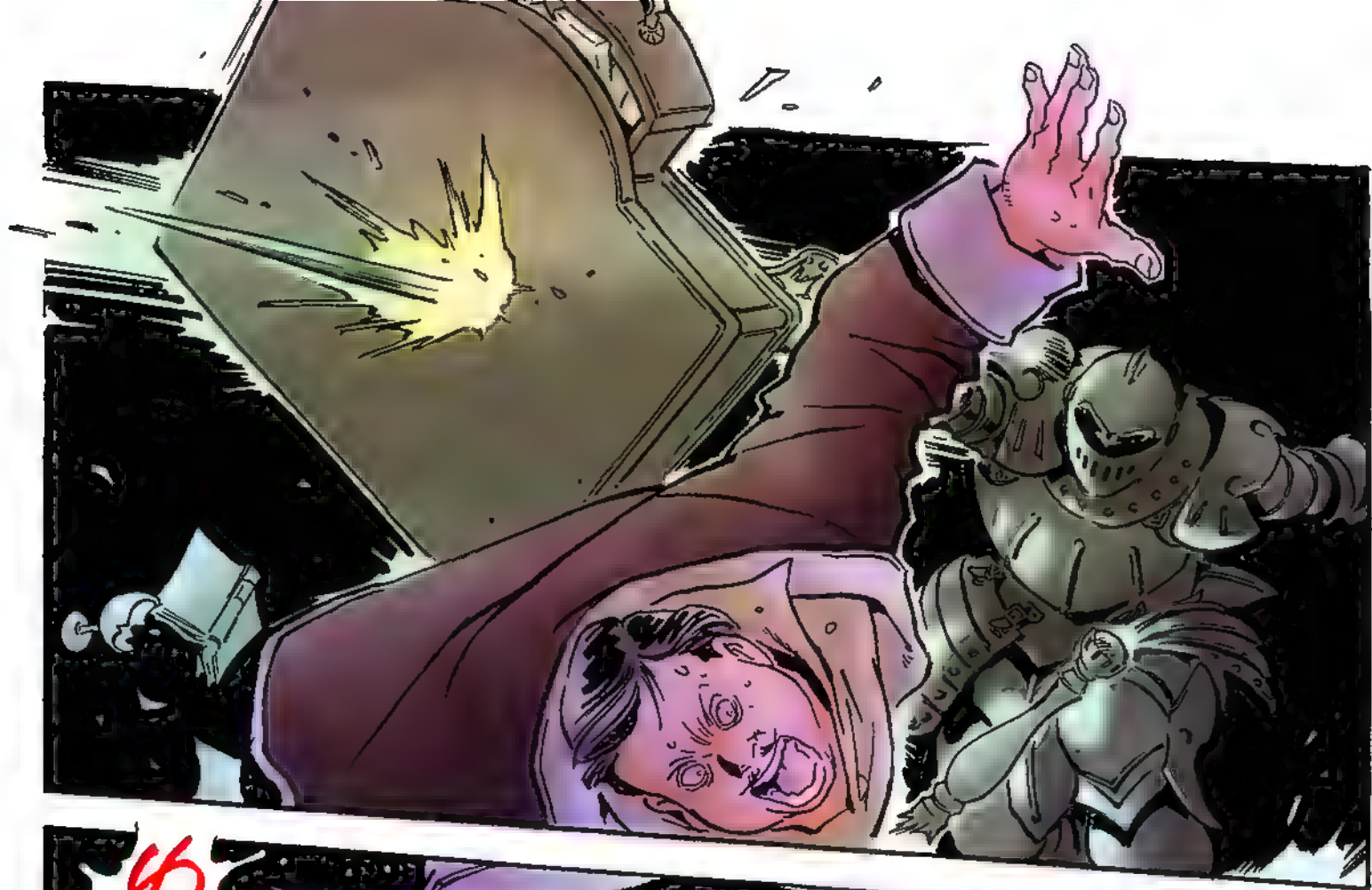


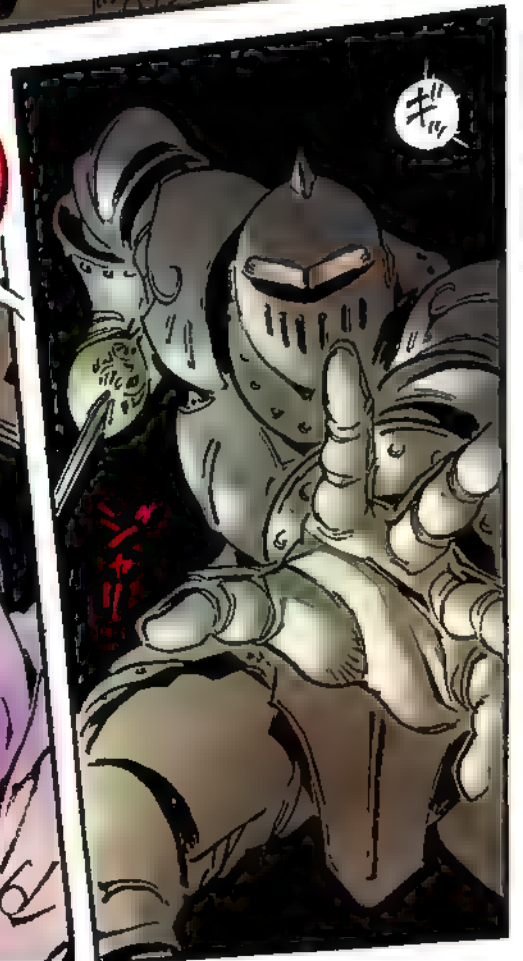
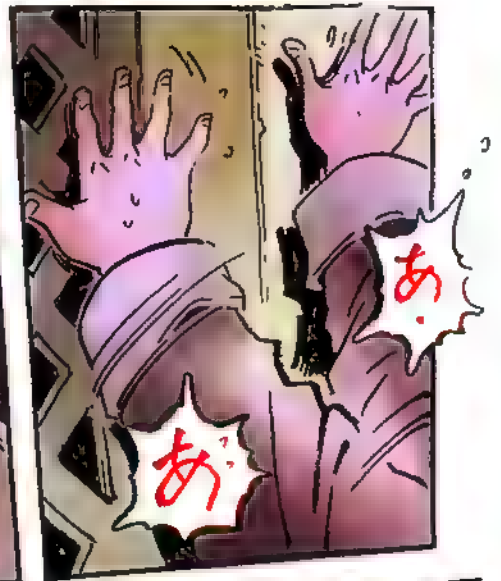
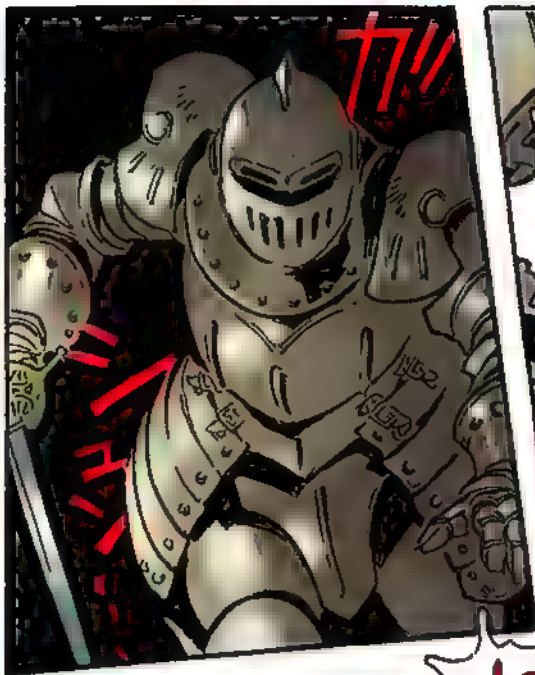
キ
ッ
ッ
ッ

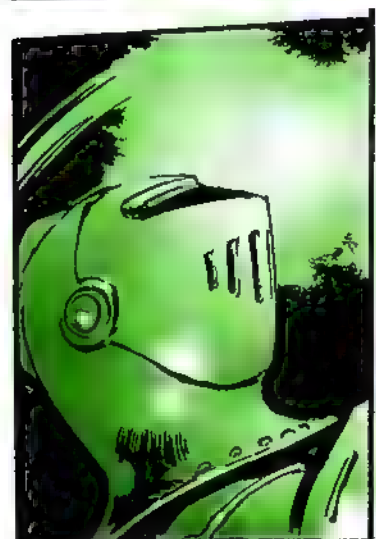
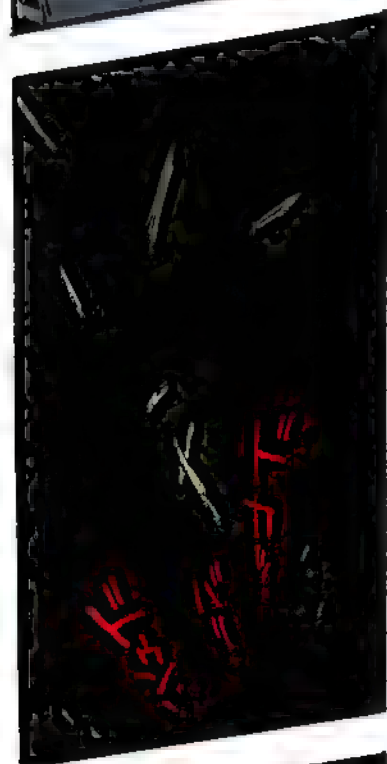


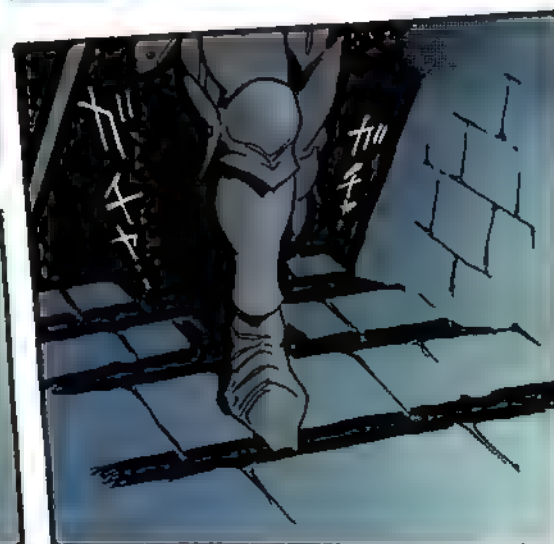
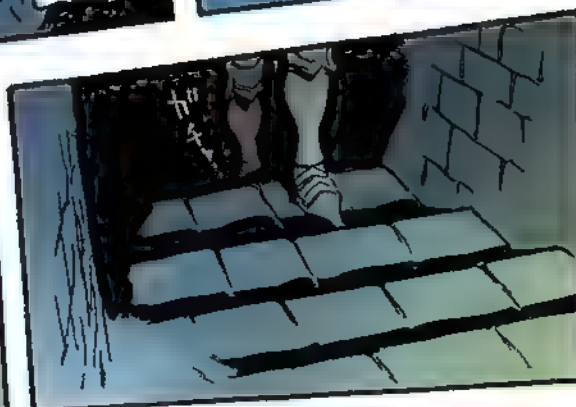
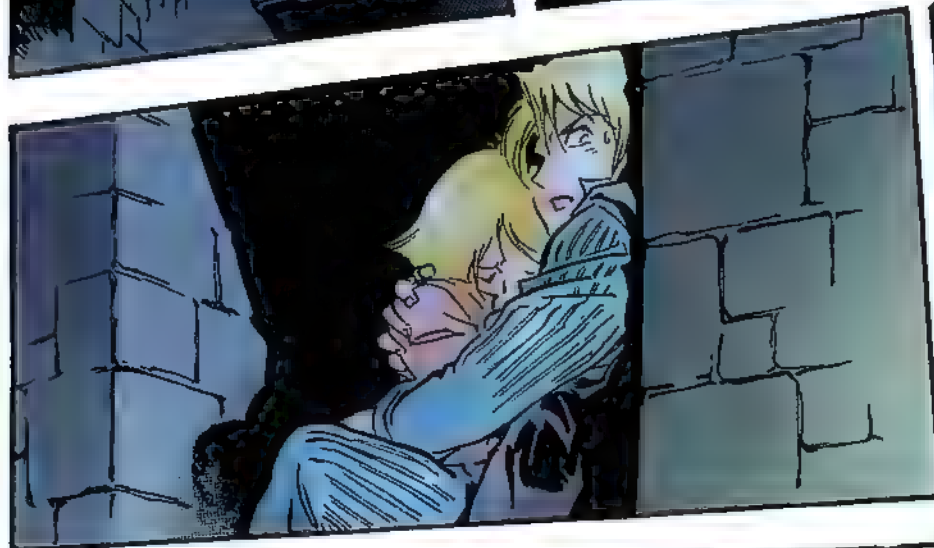
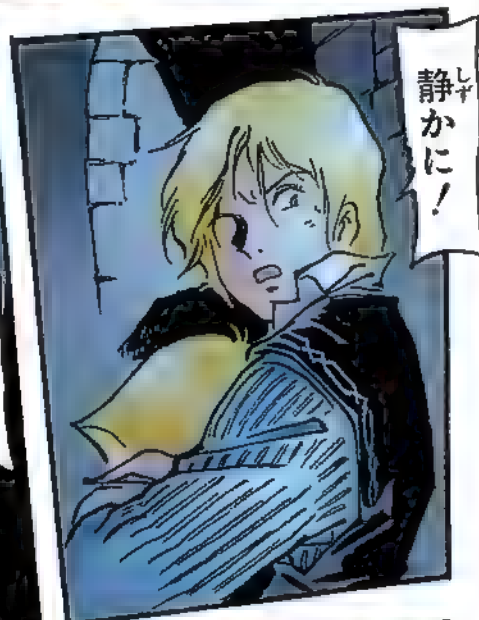
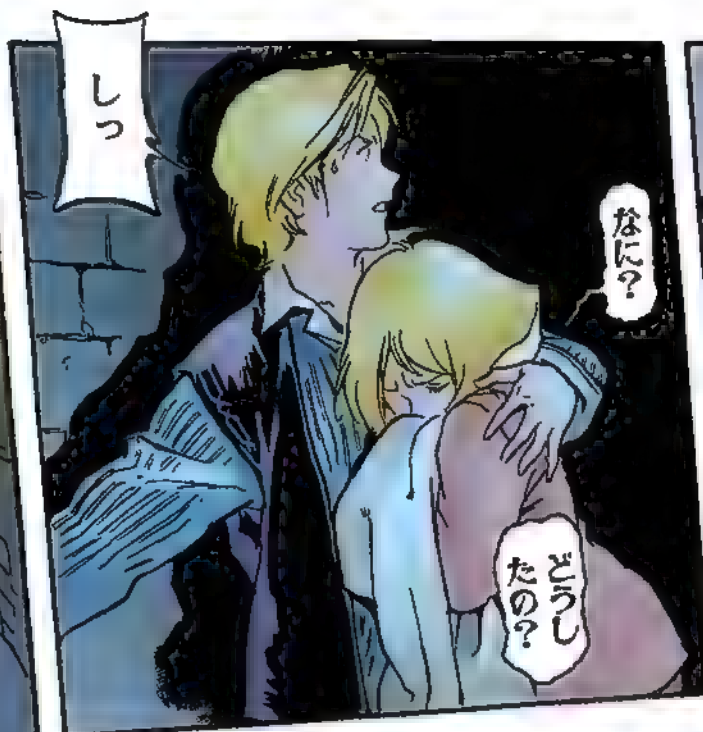
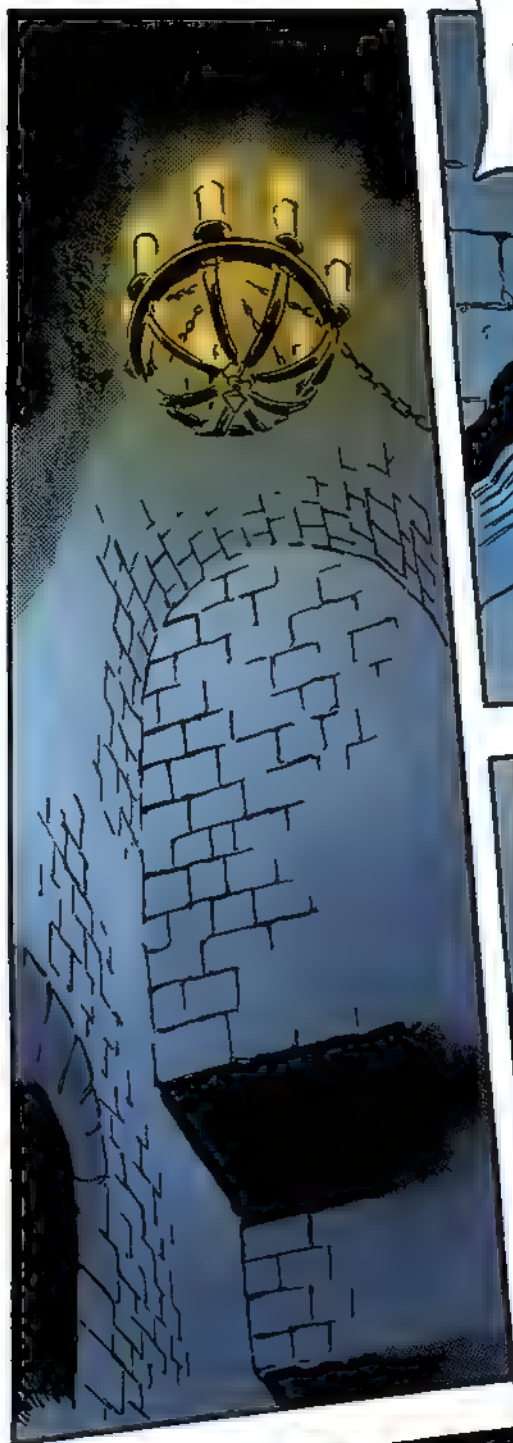


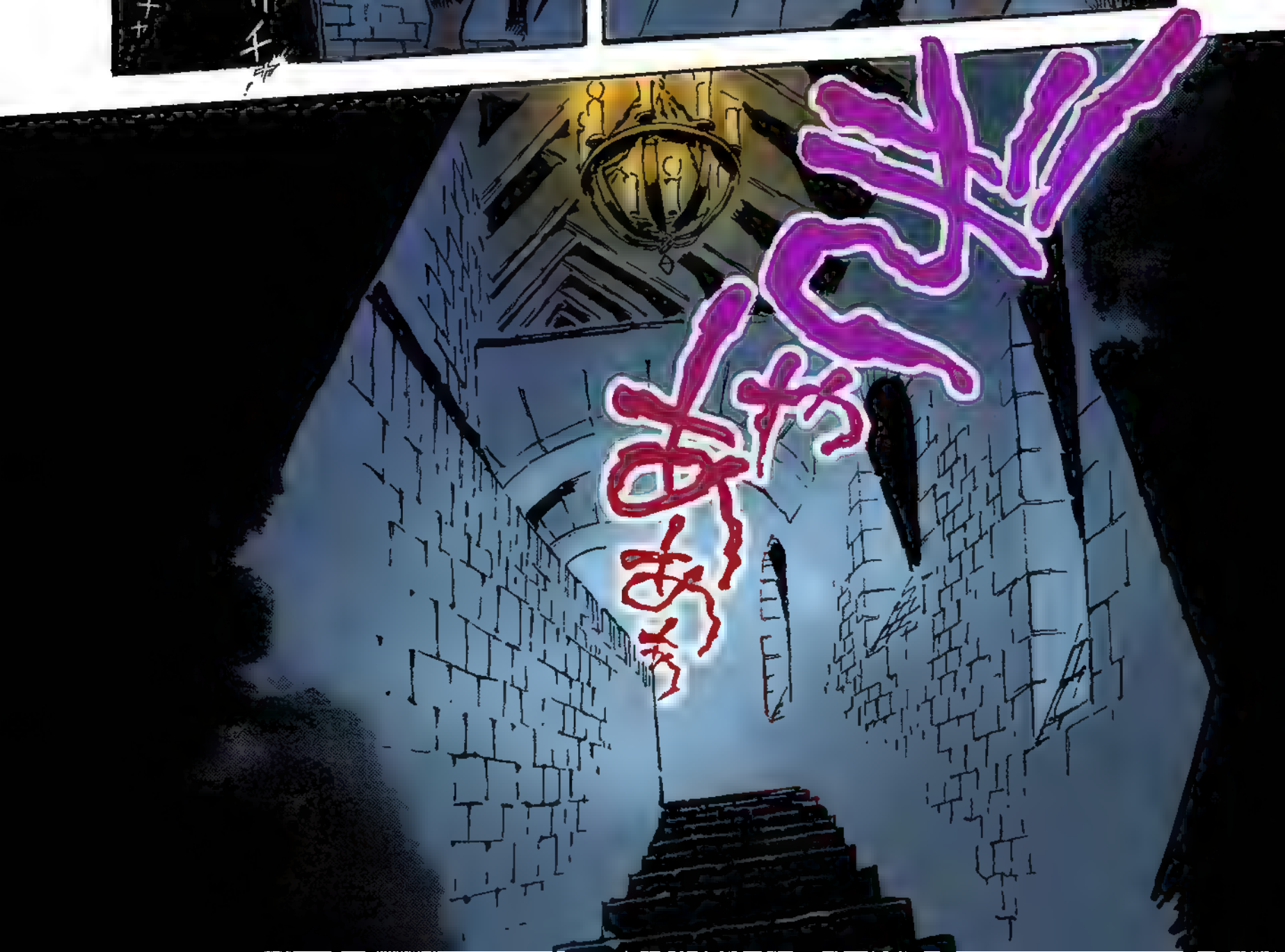
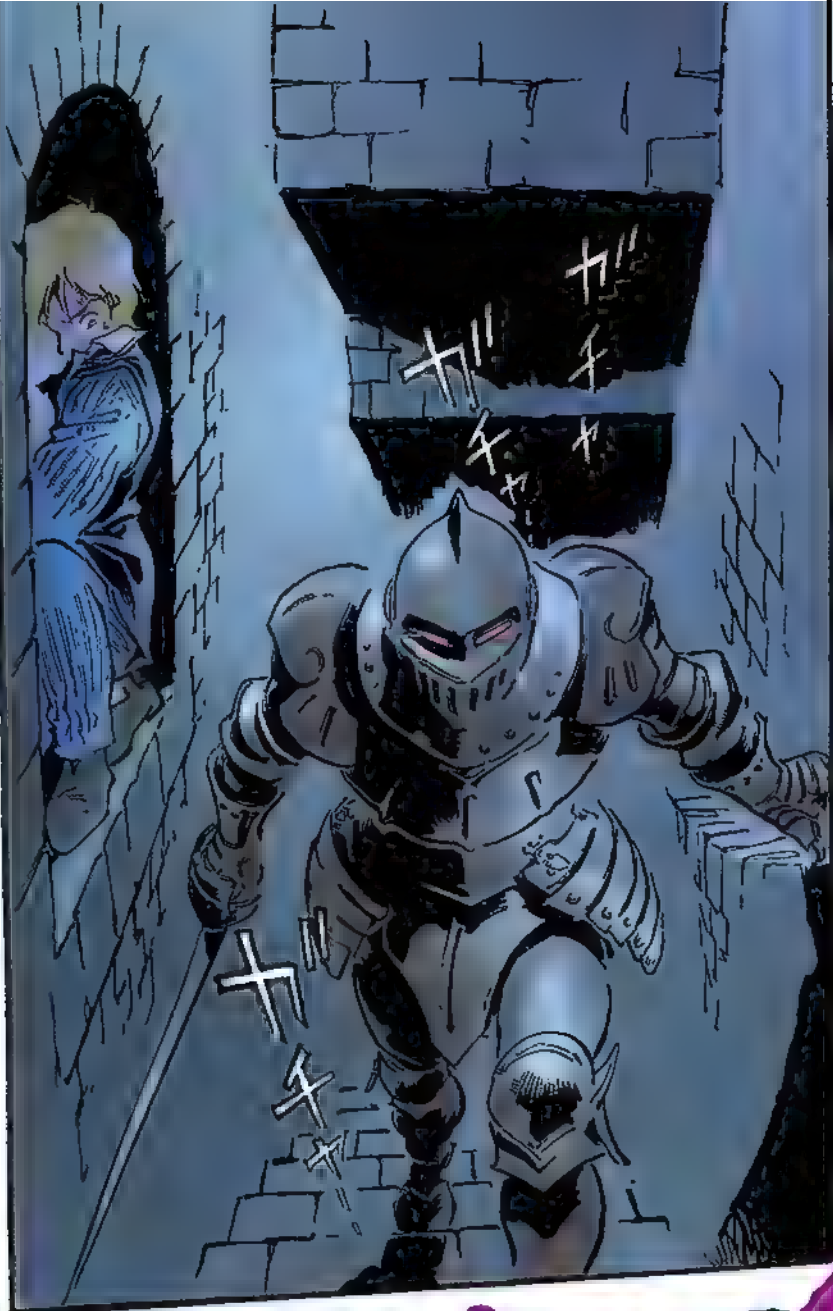
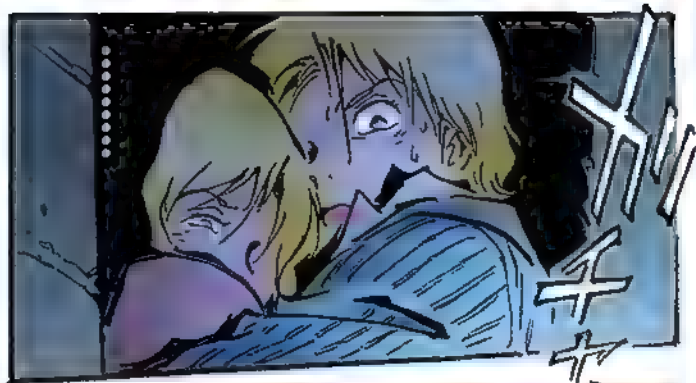


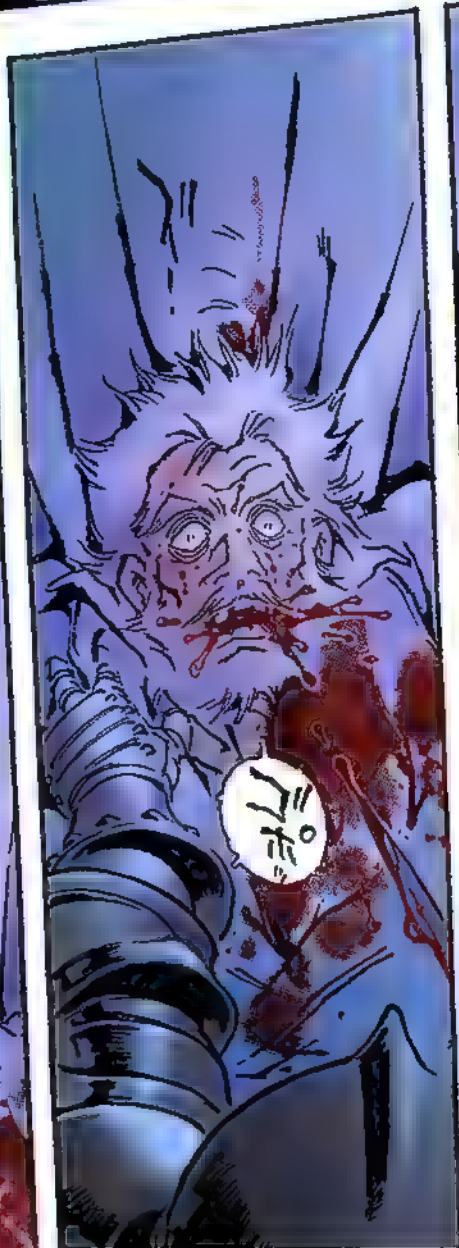
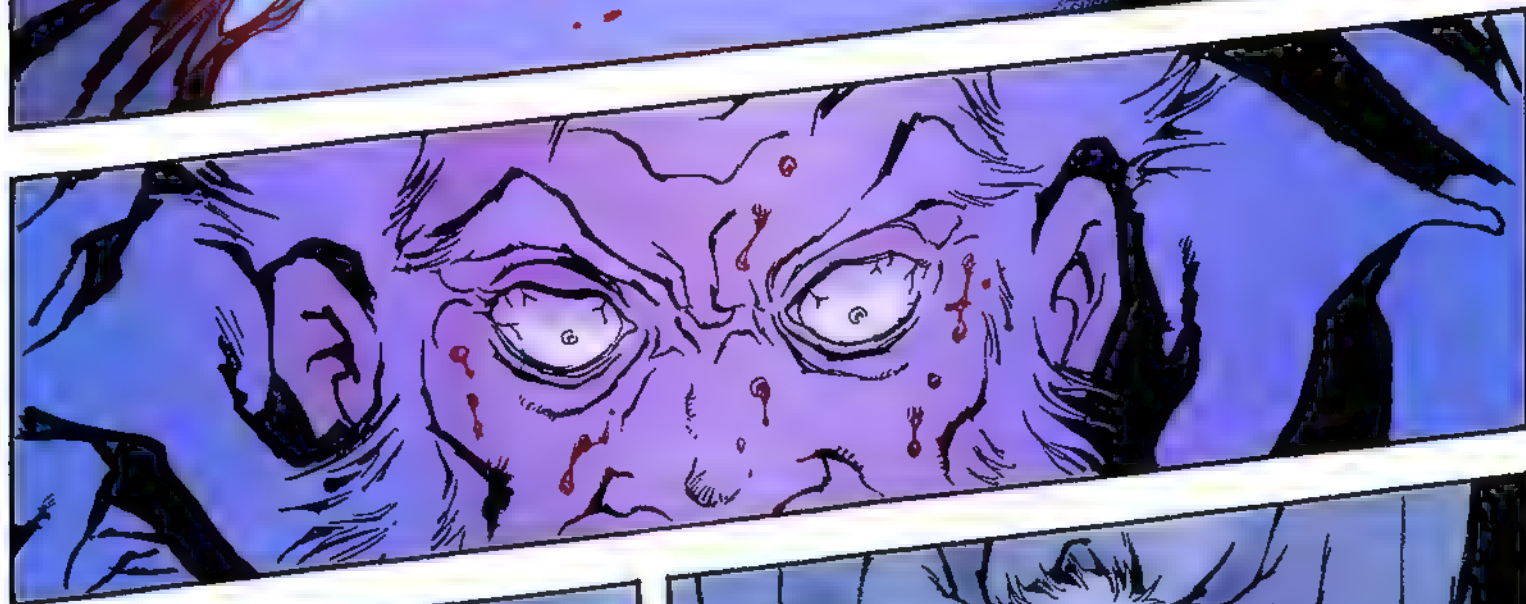
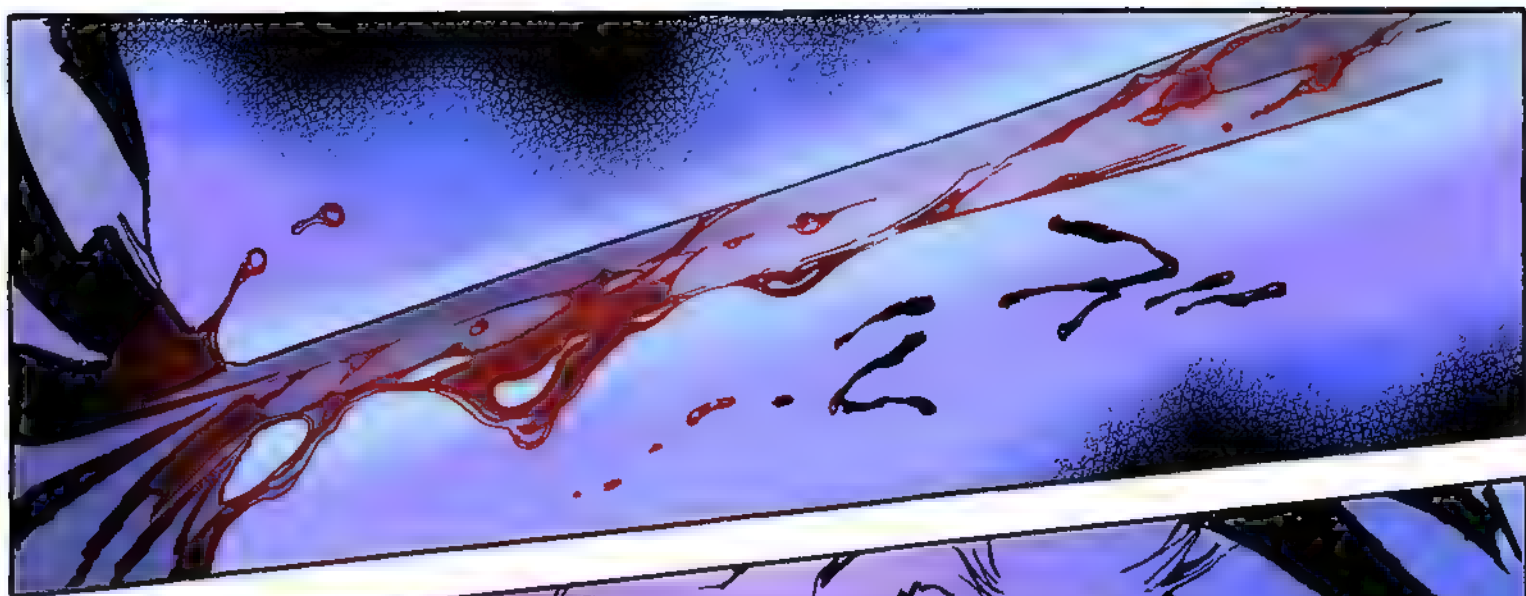


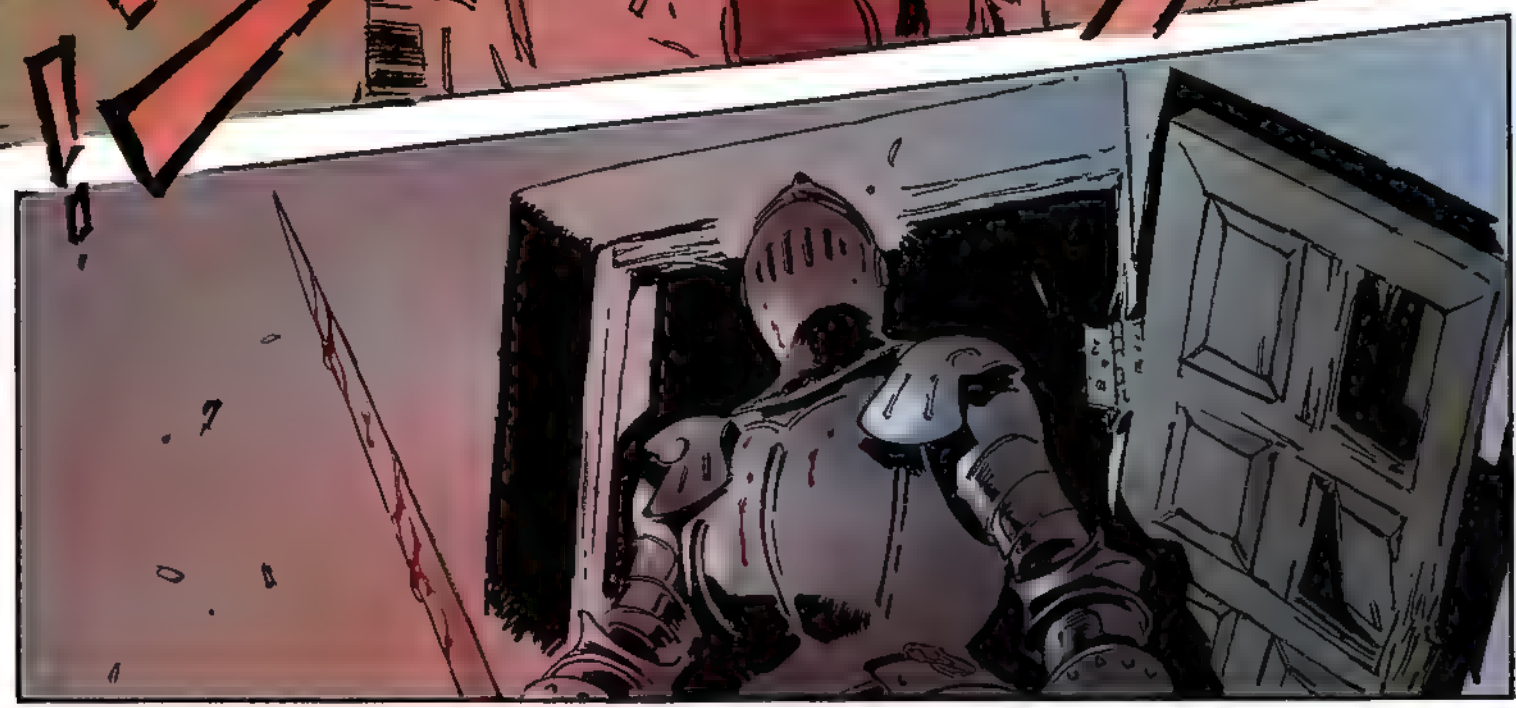
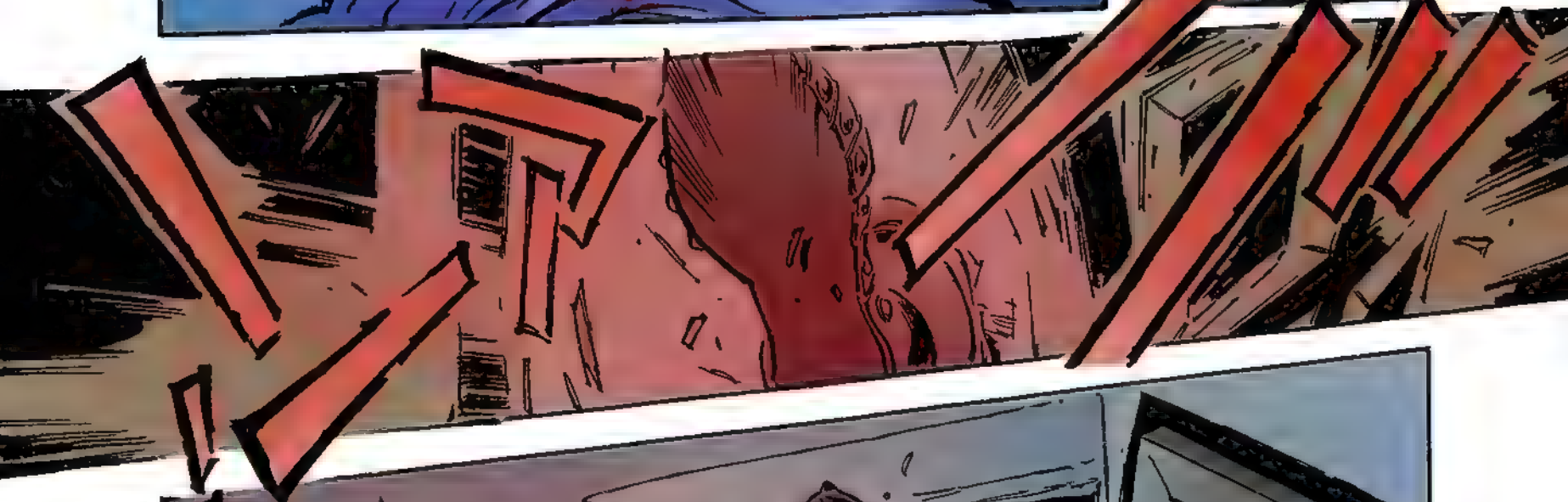
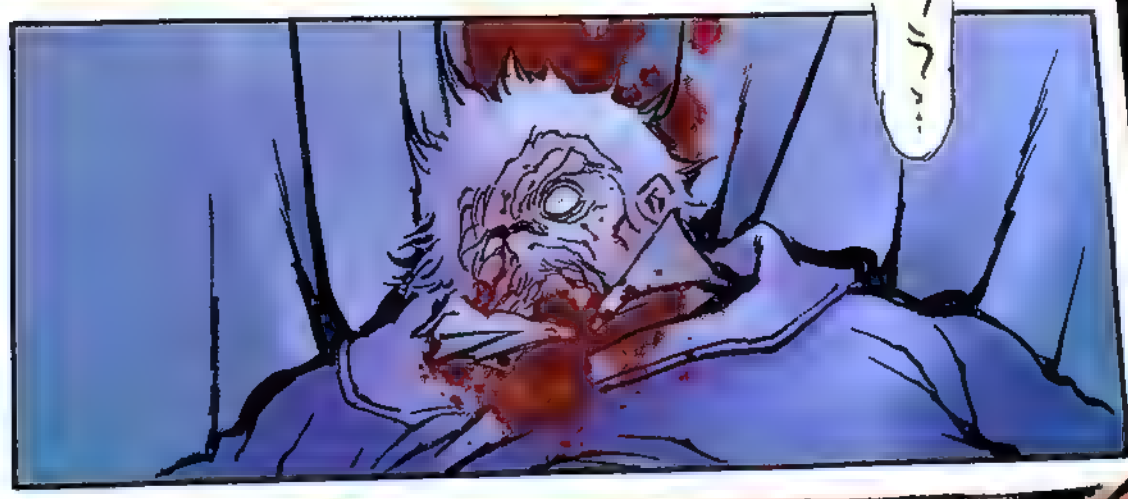
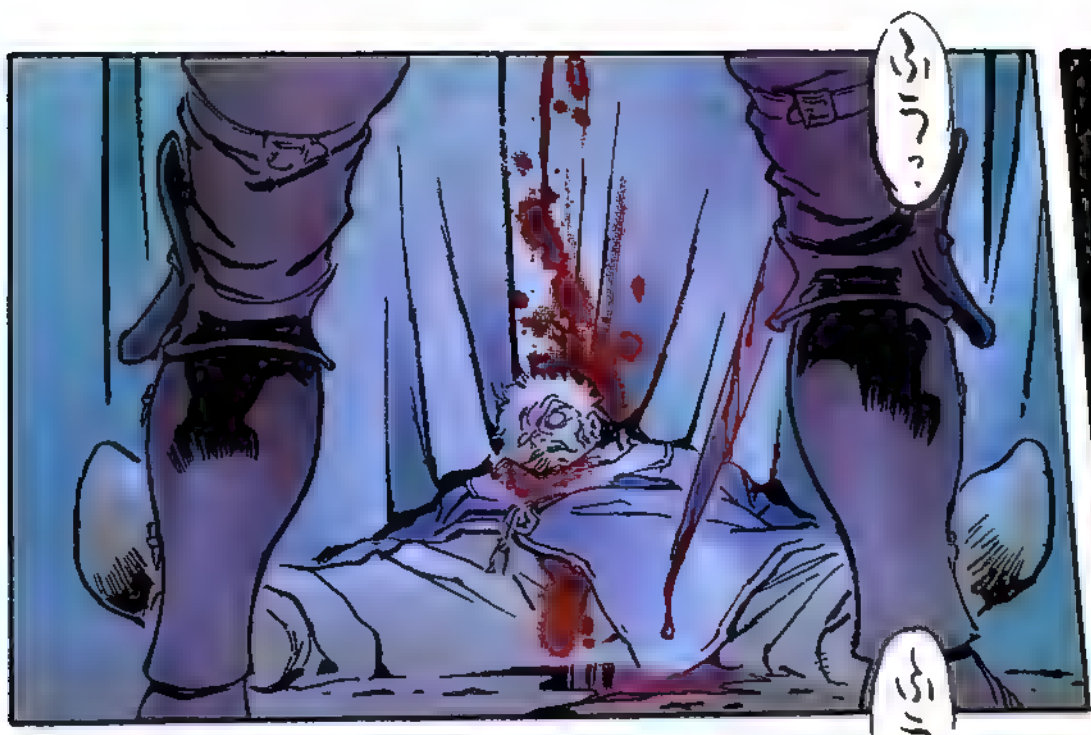


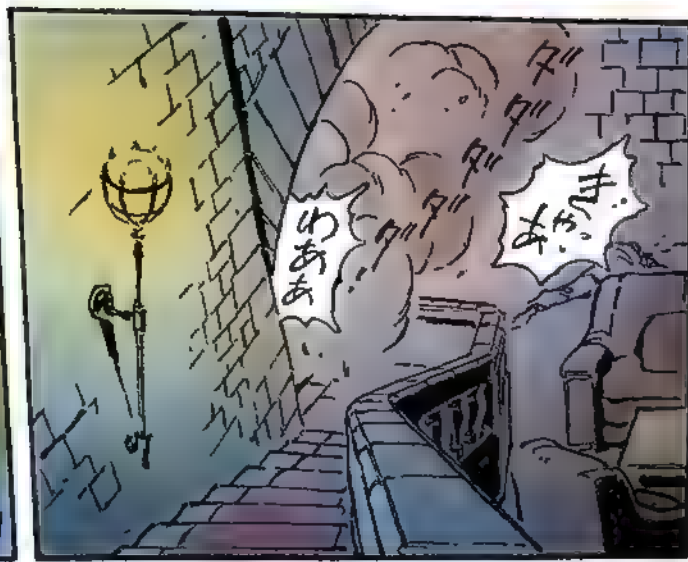
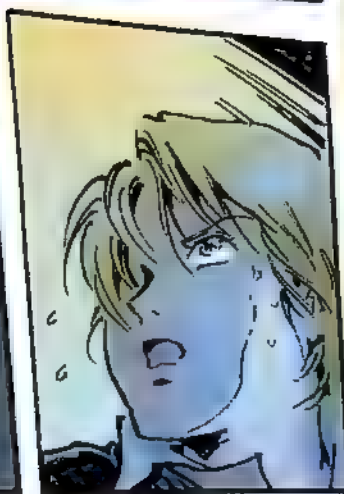
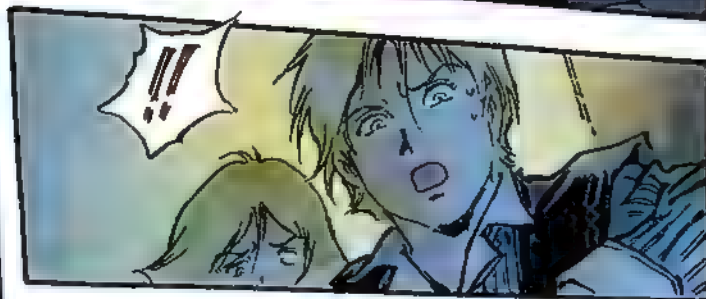
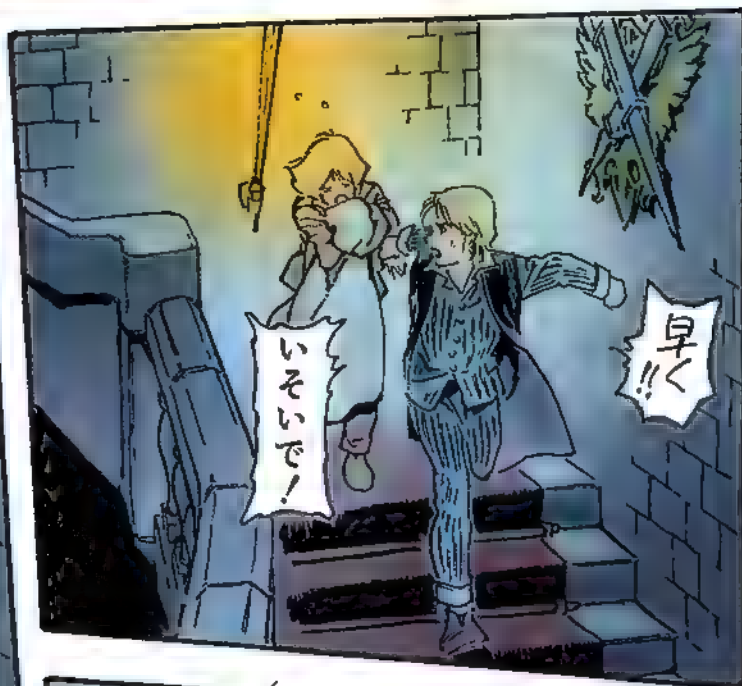
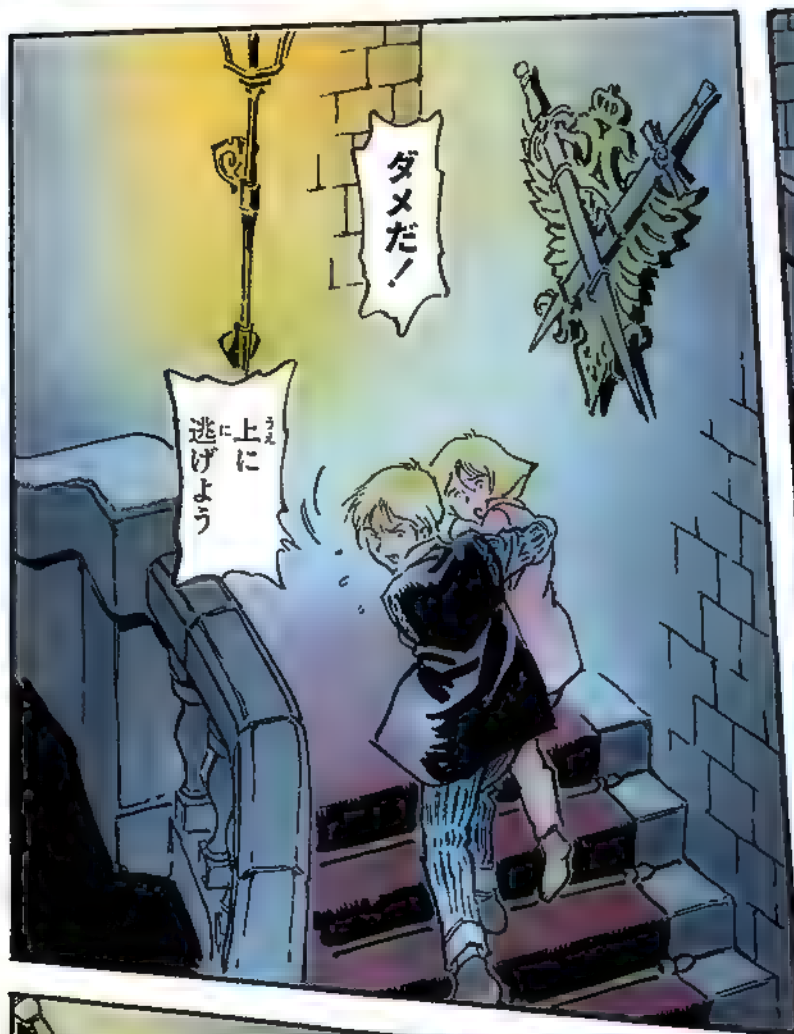
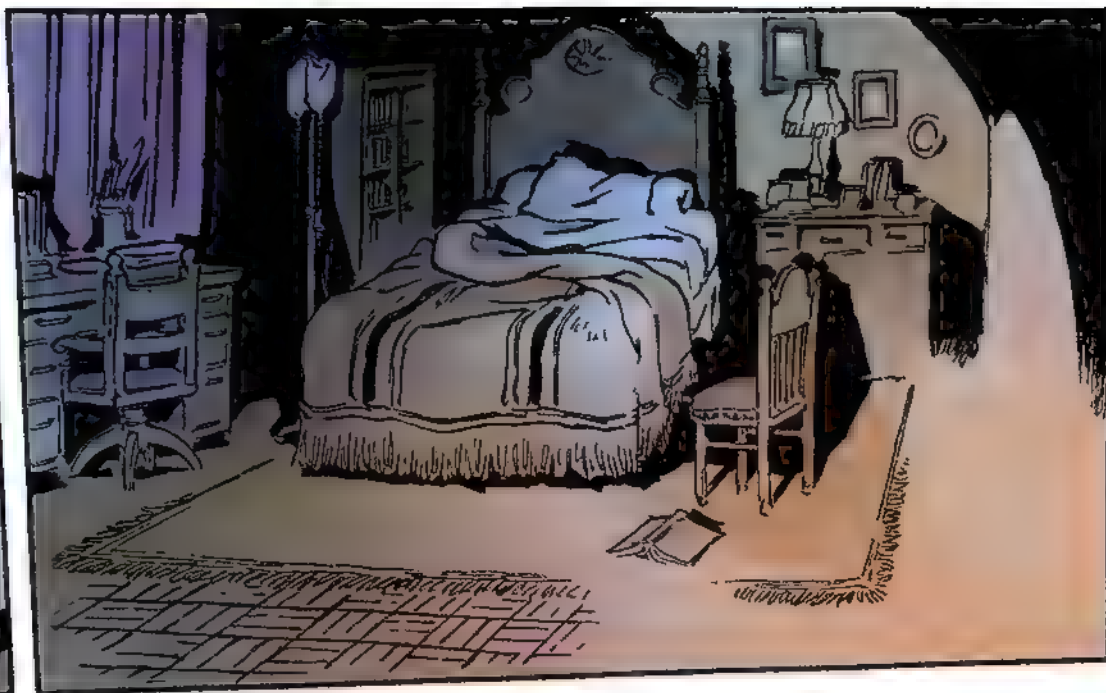
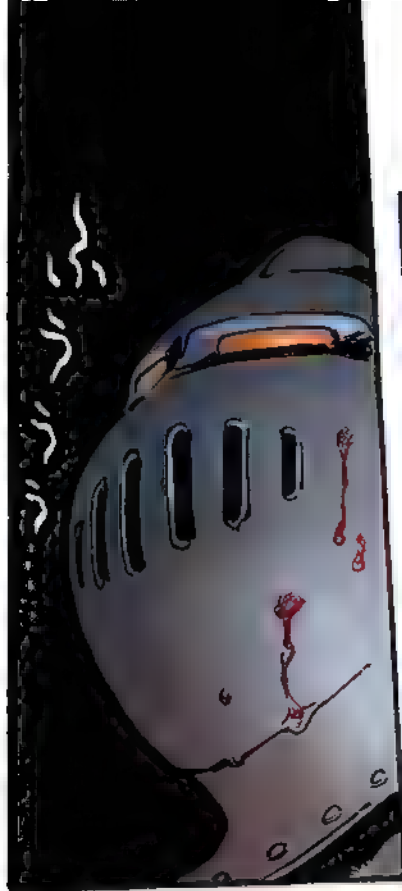


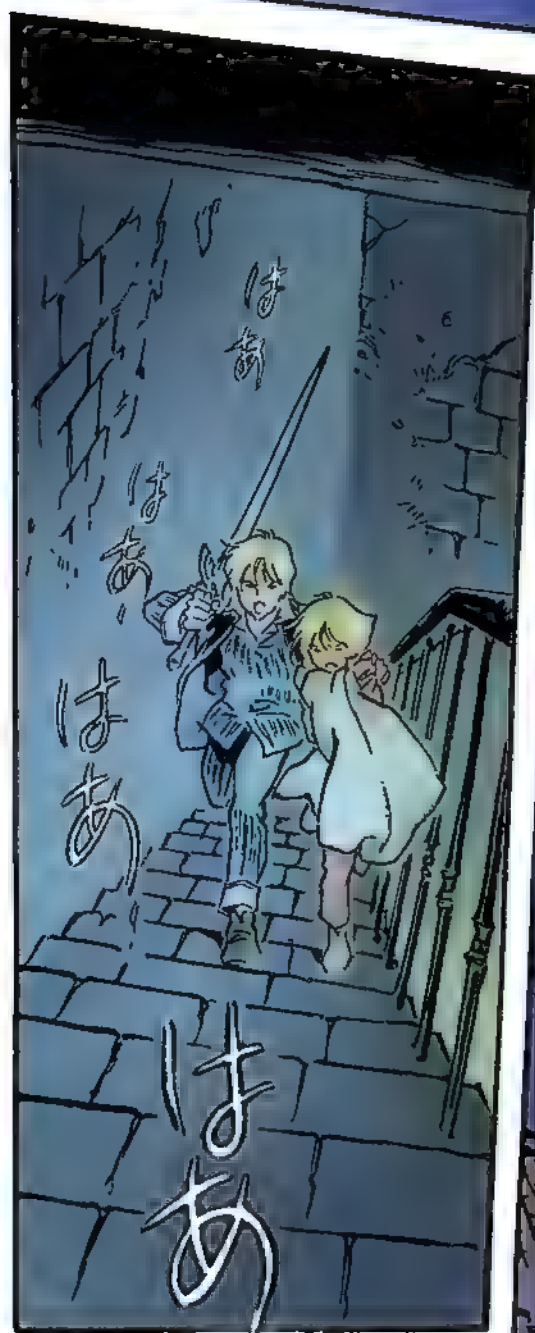
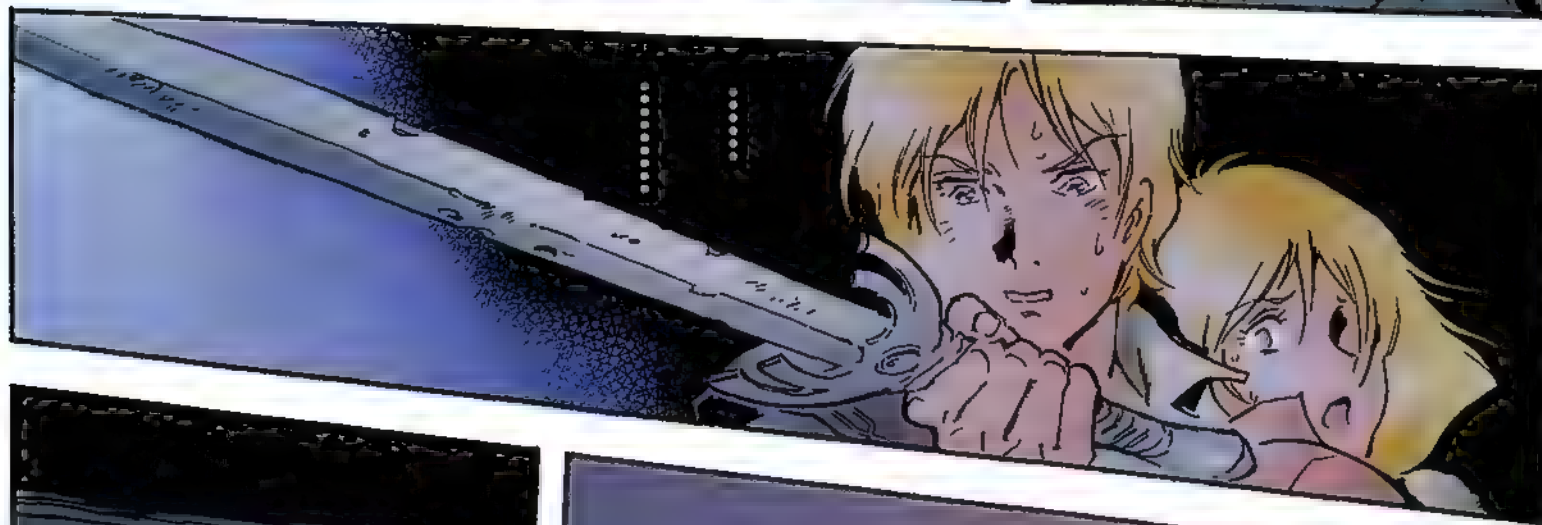
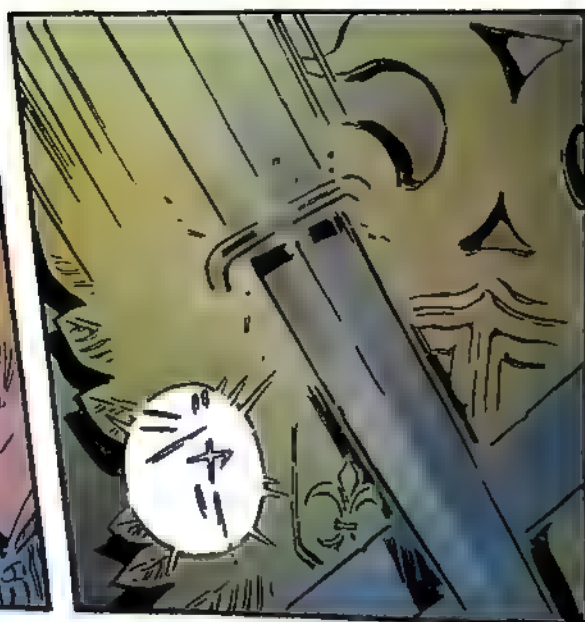
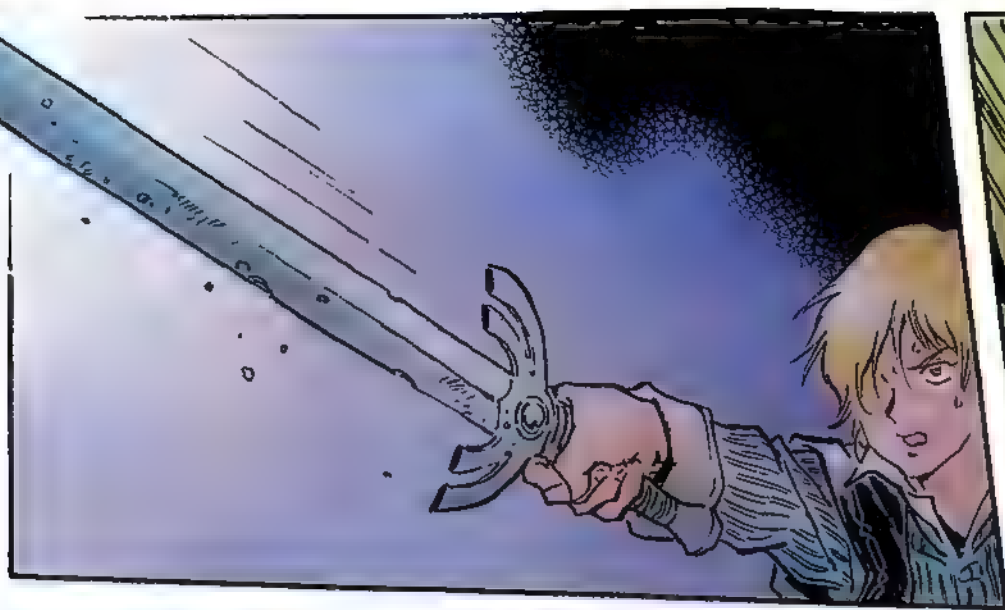


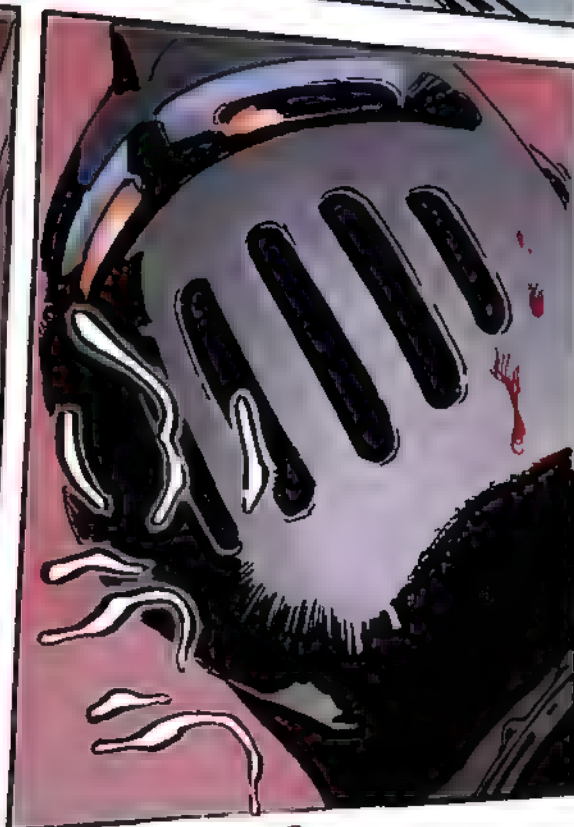
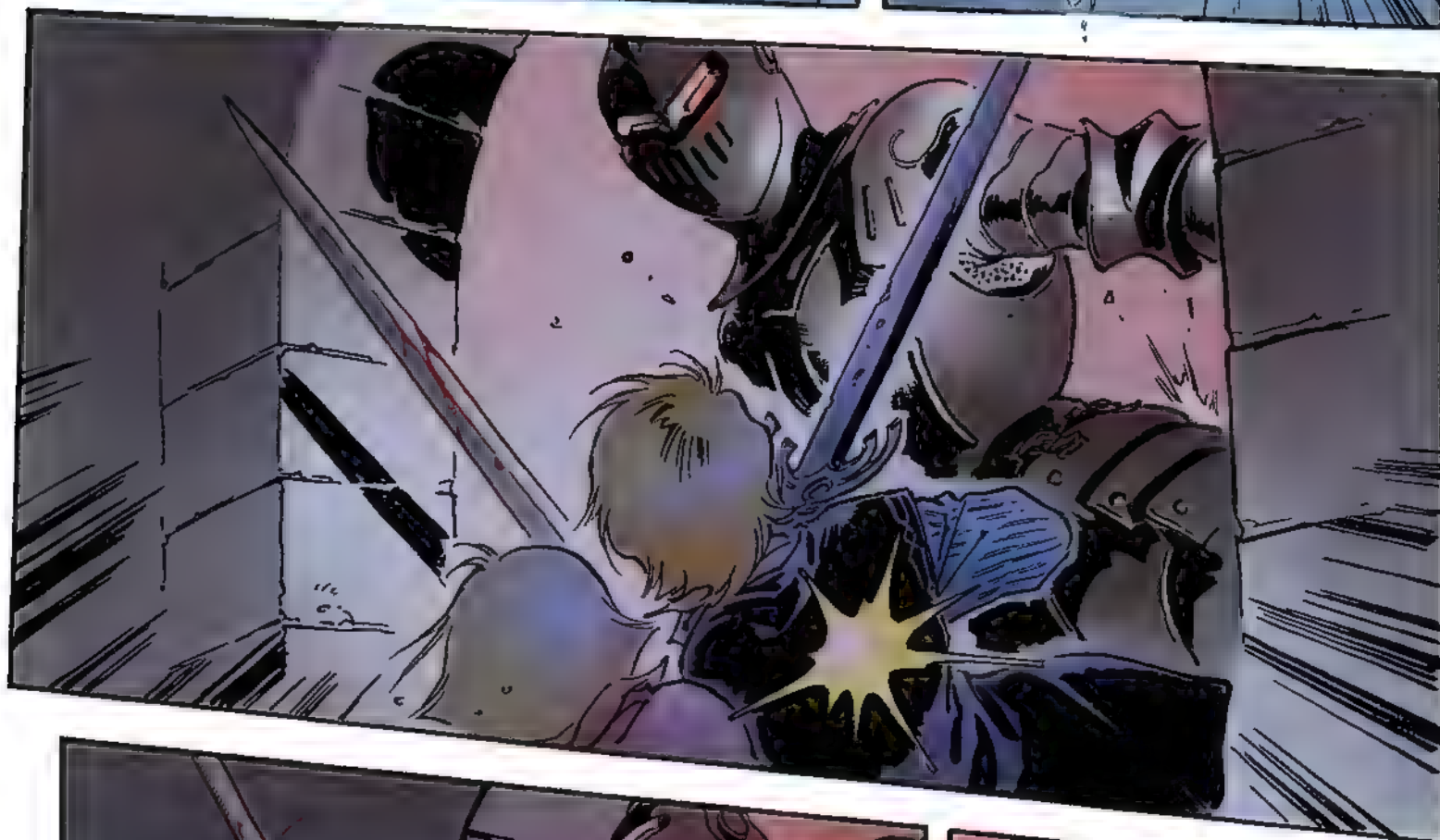
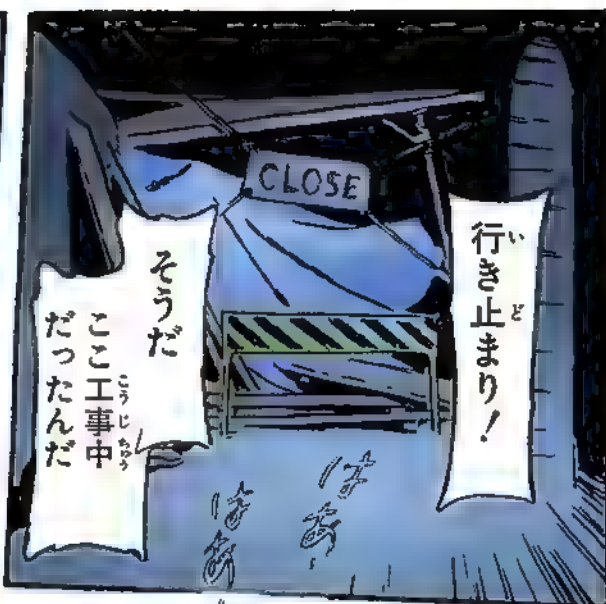
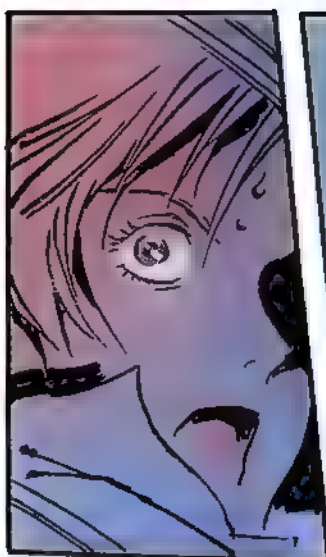


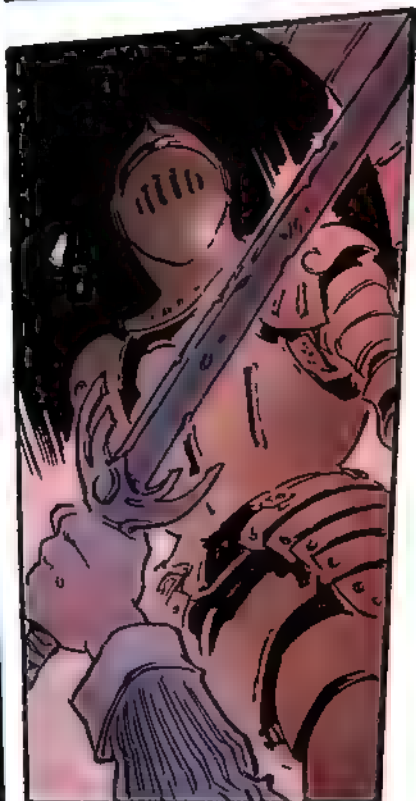
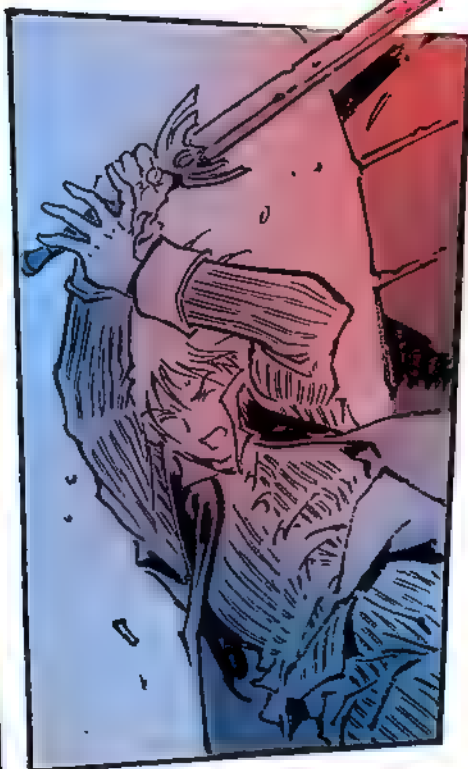
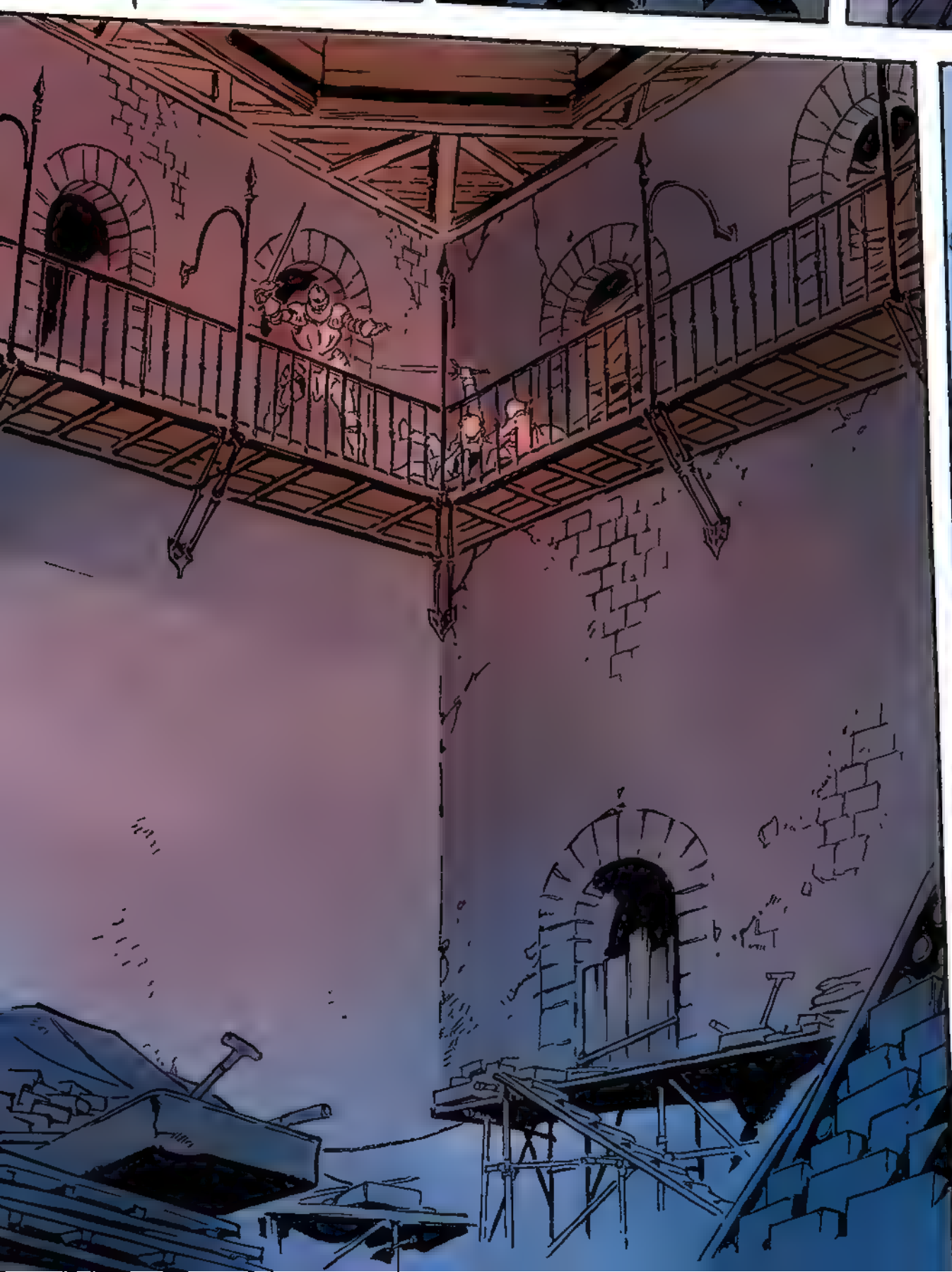
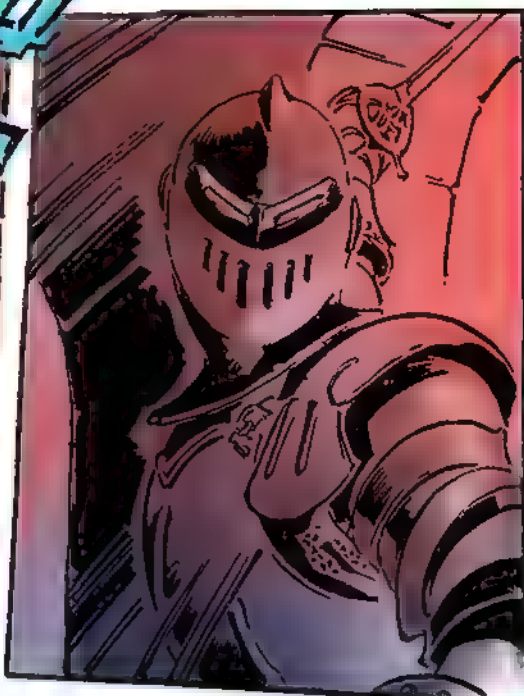
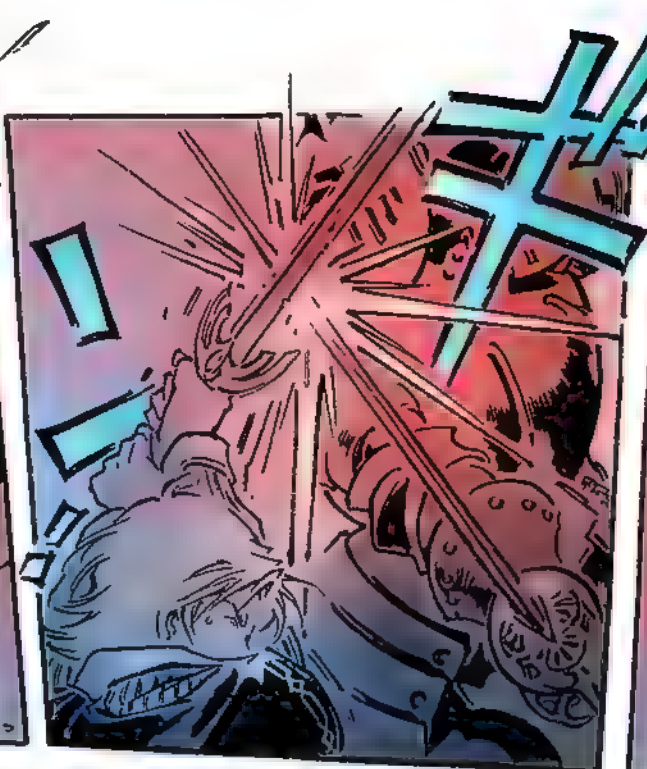
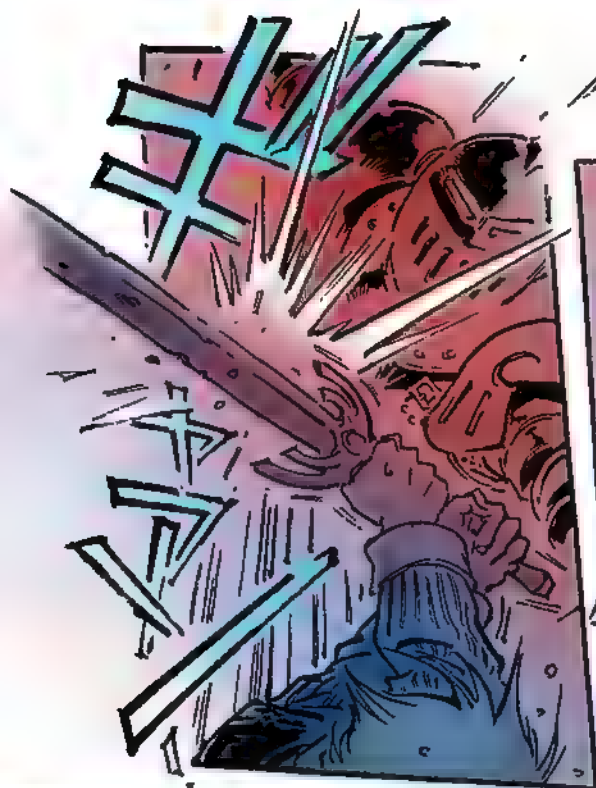


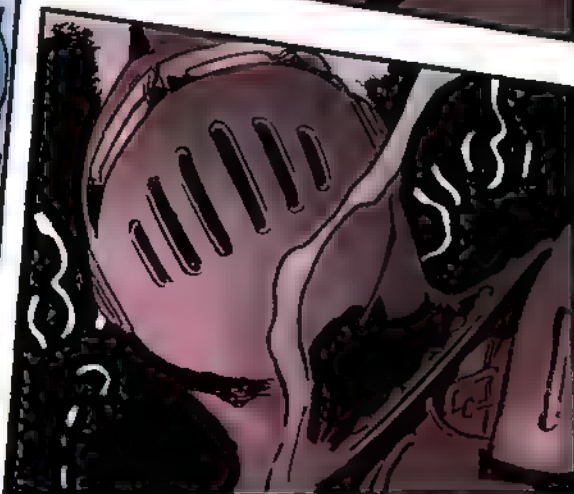
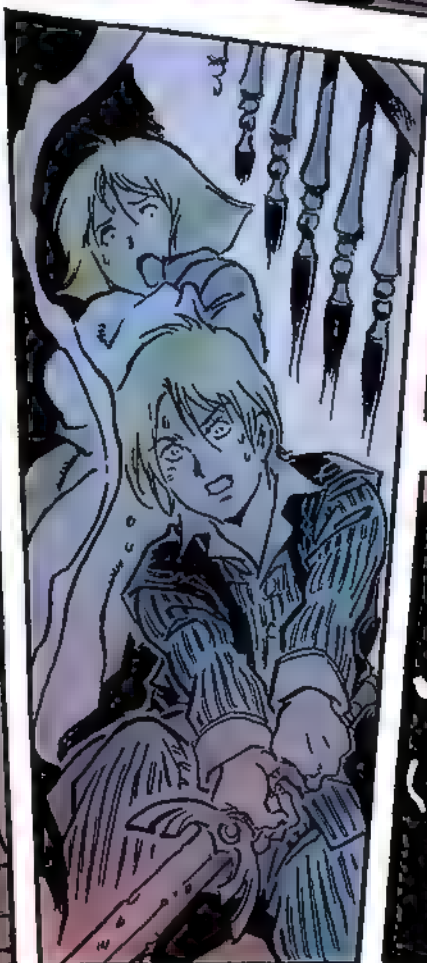
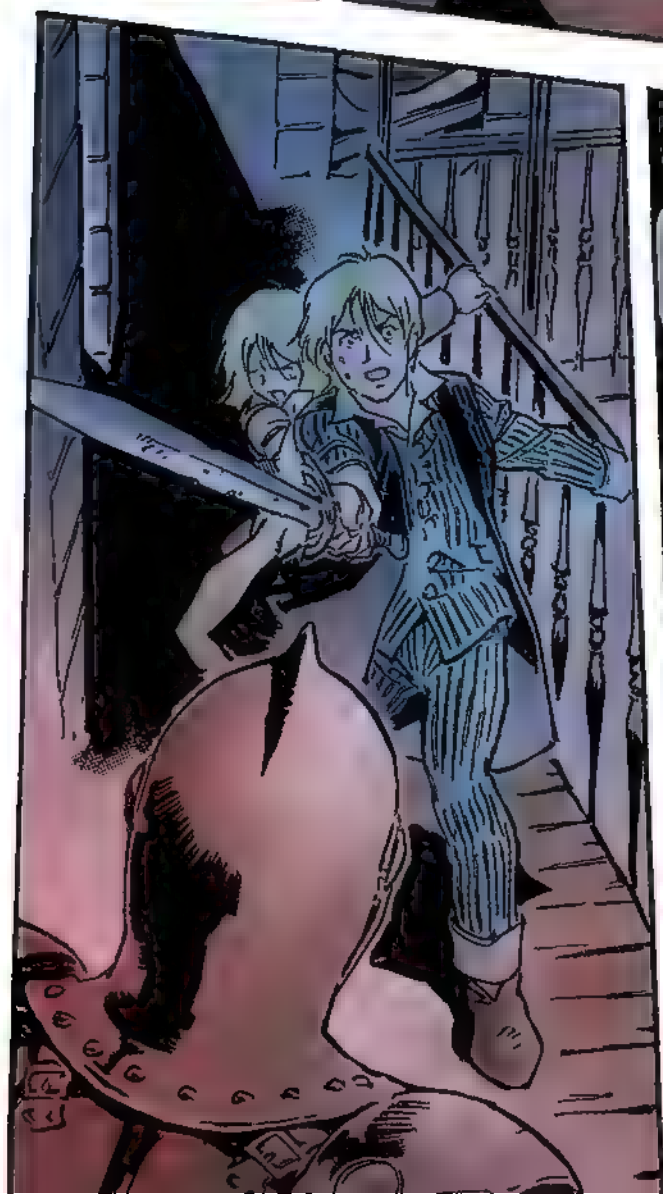
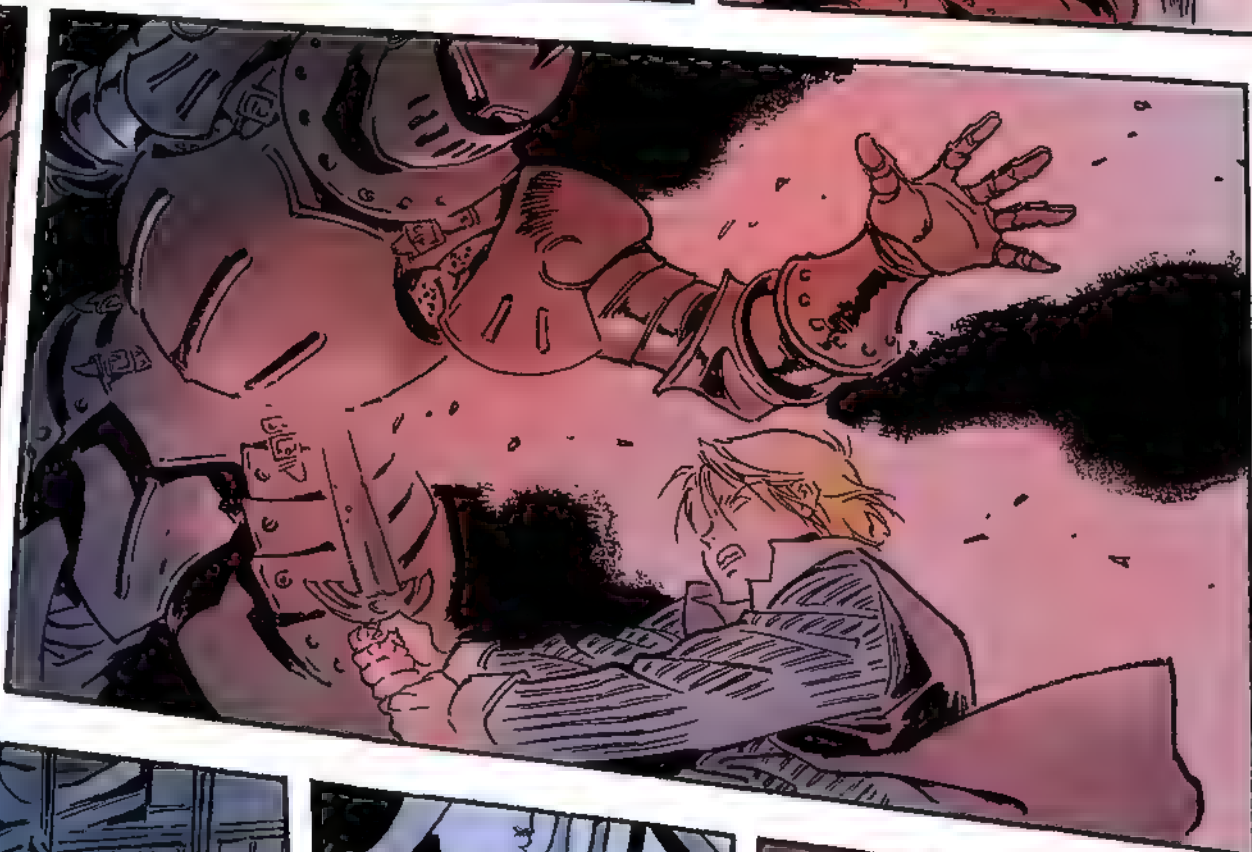


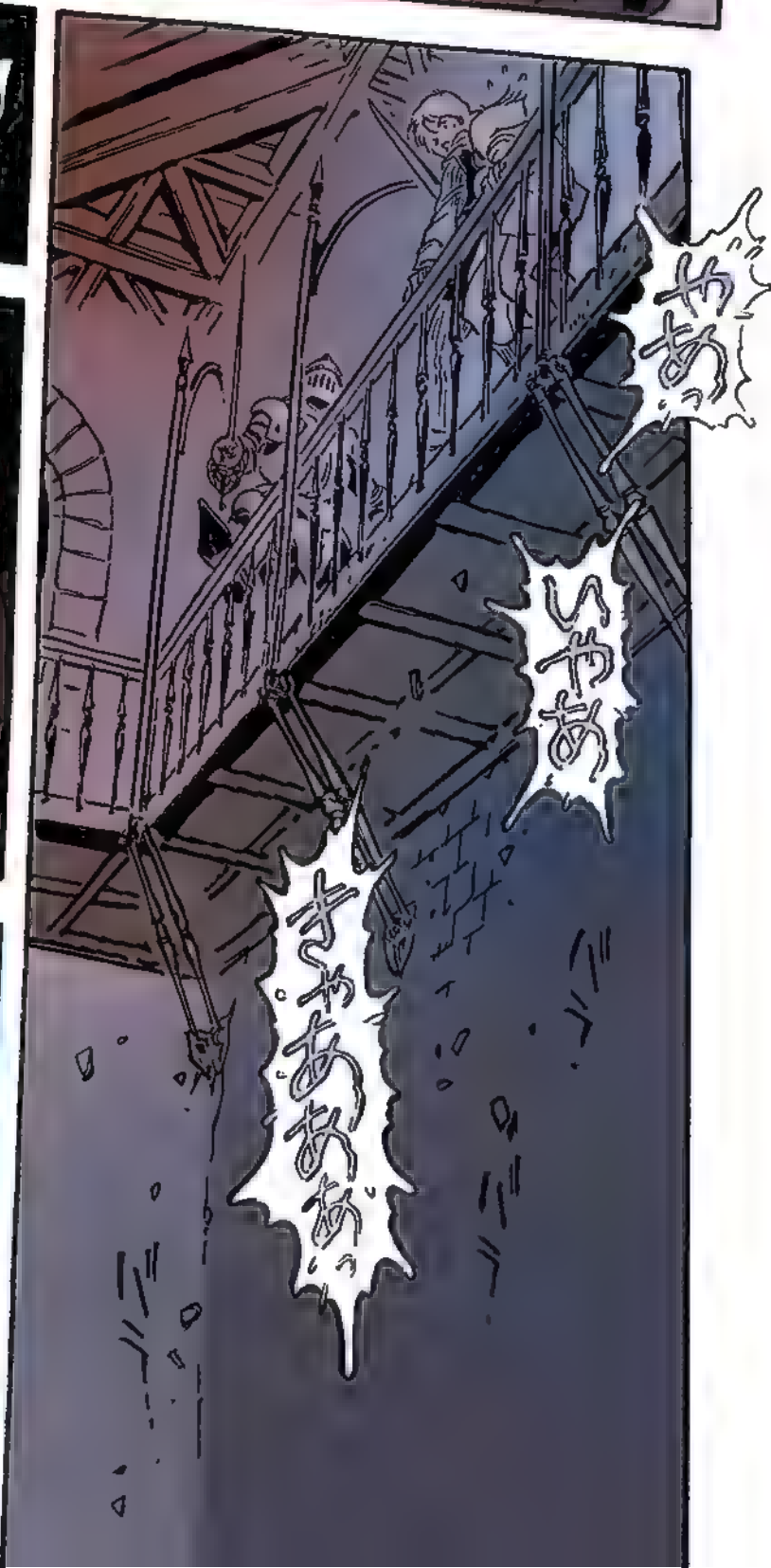
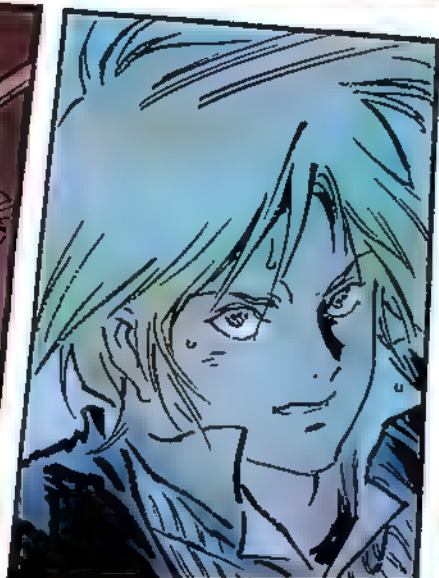
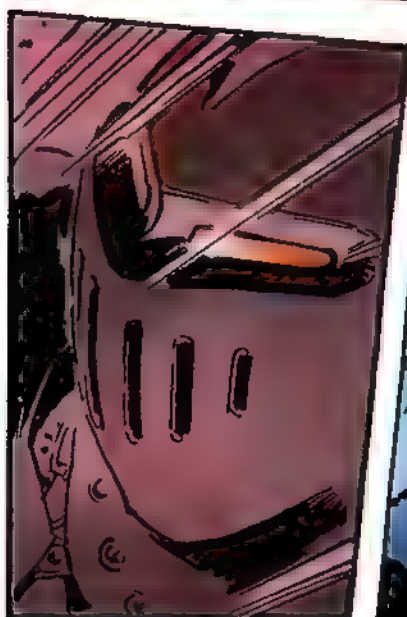
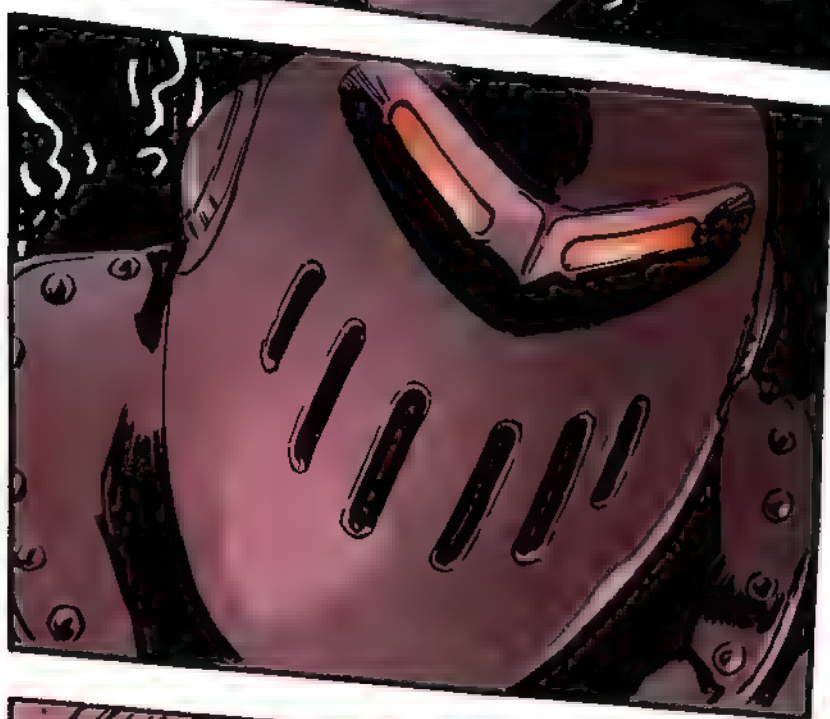
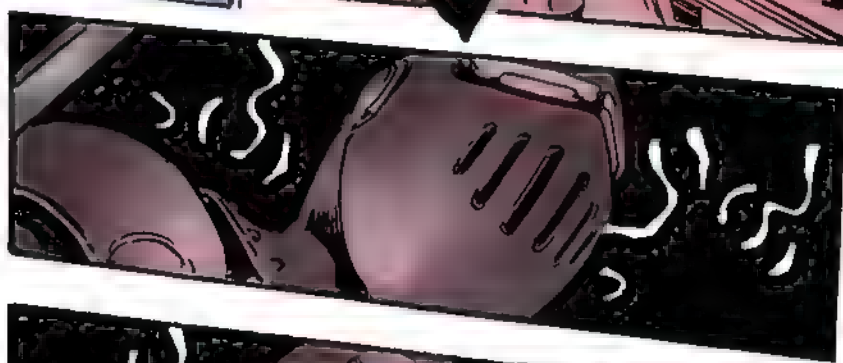
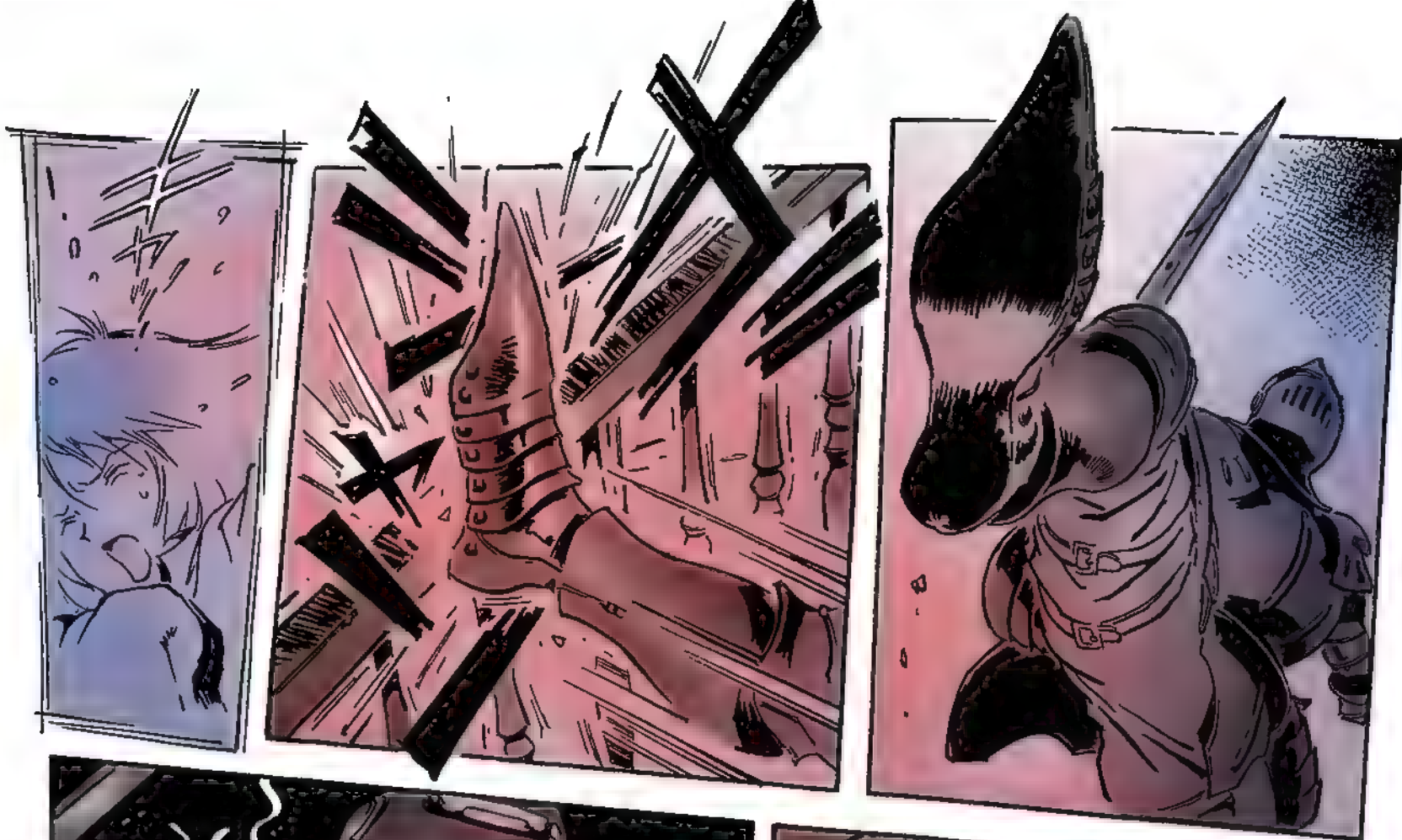


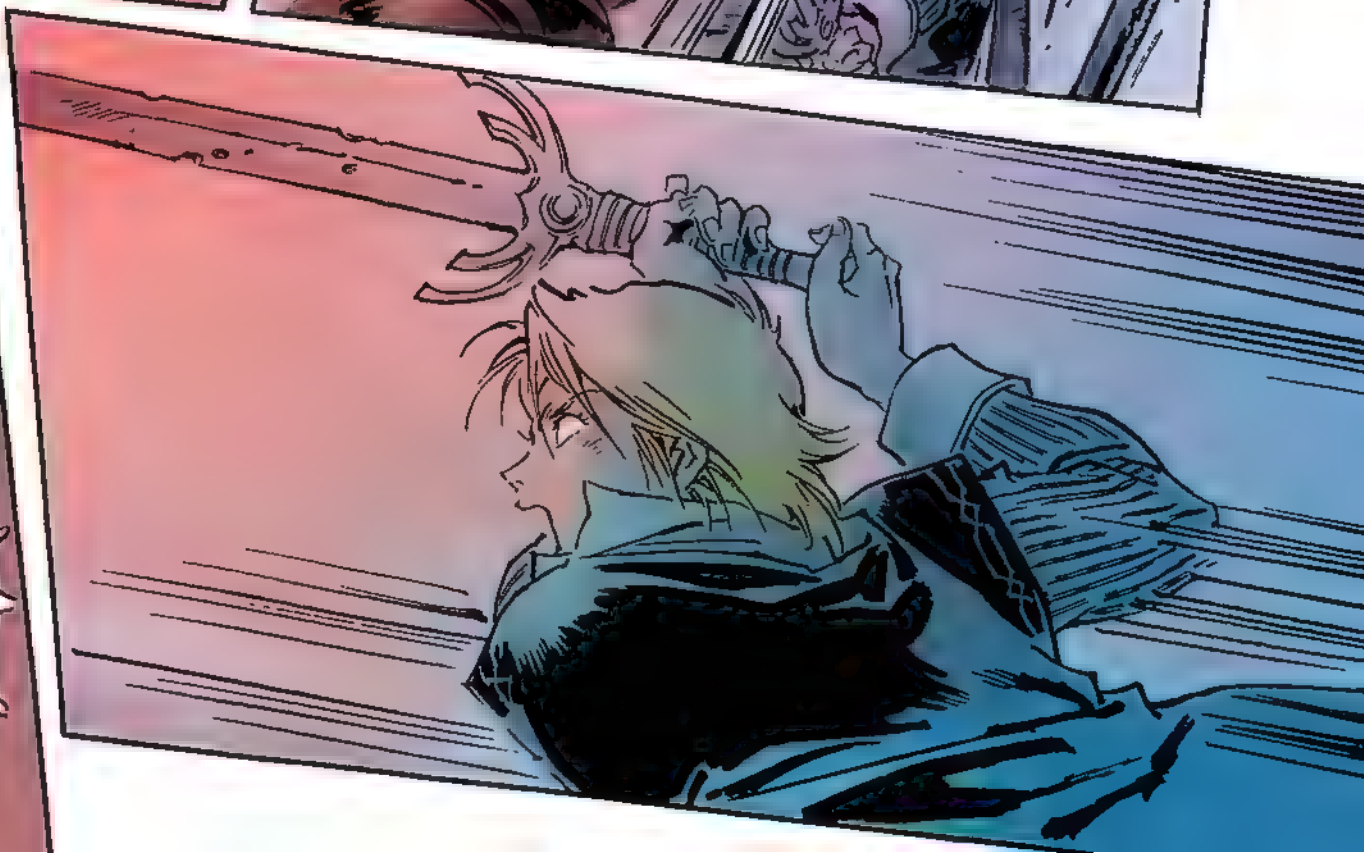
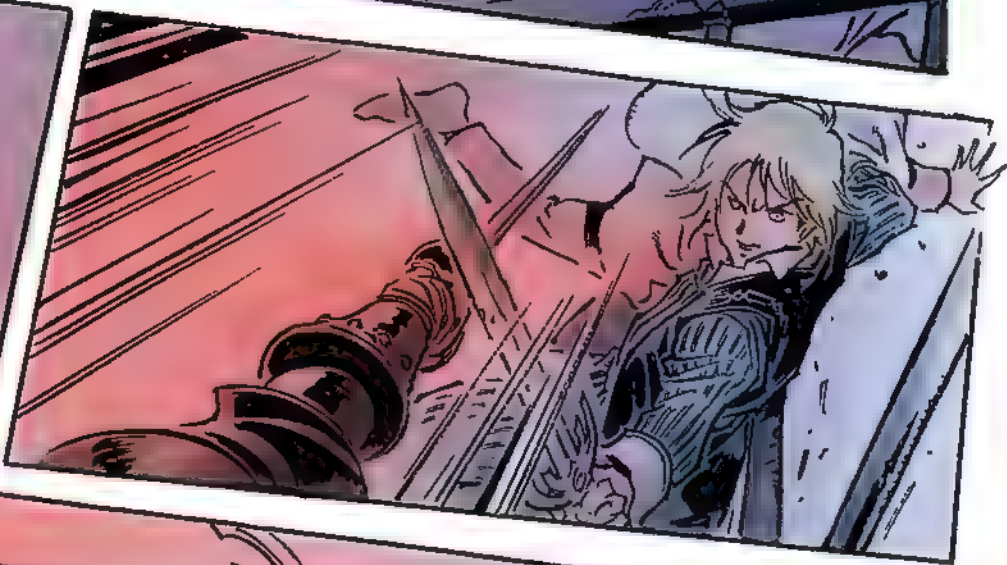
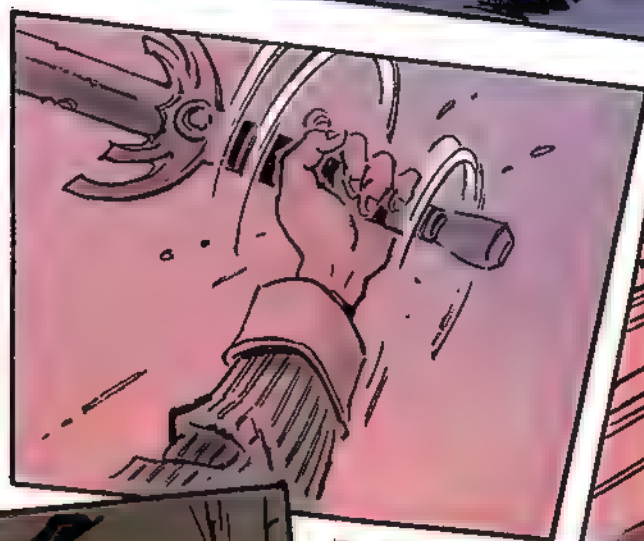
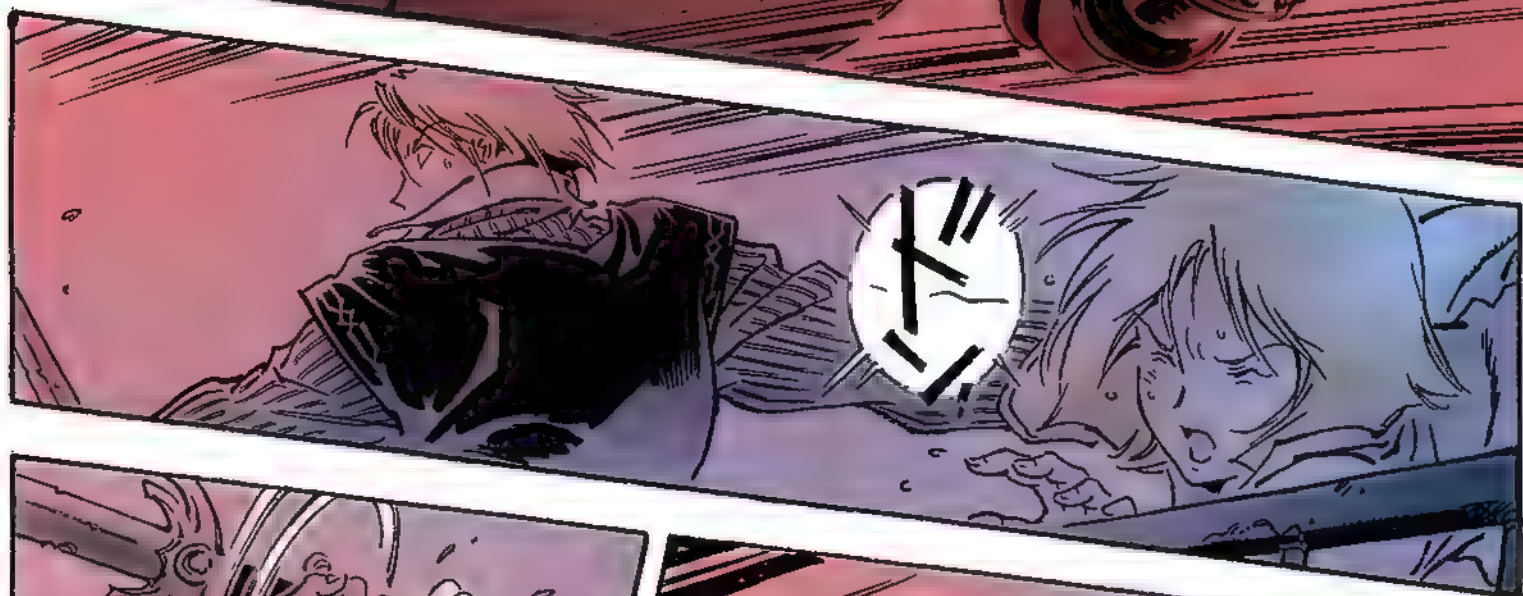
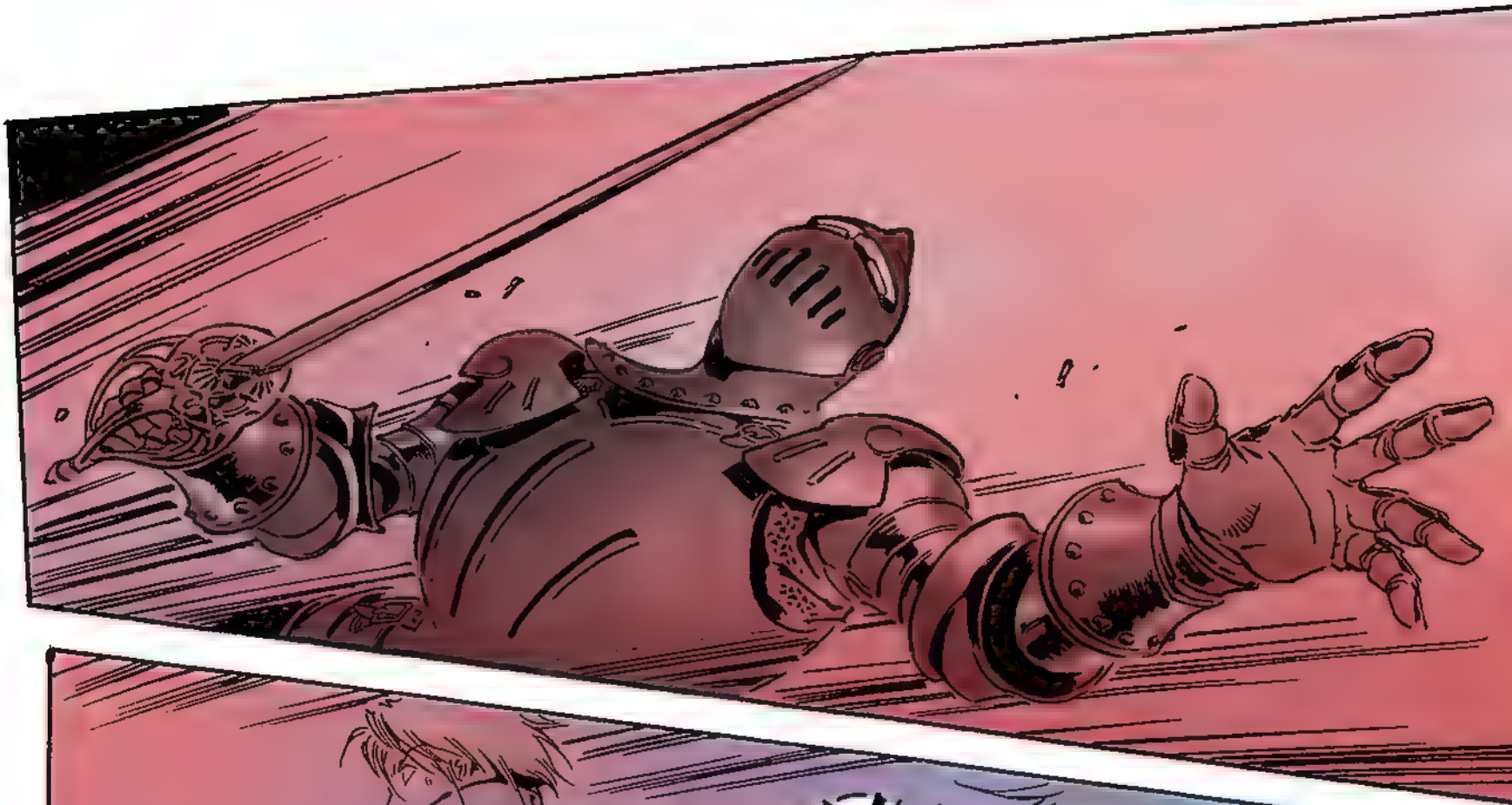


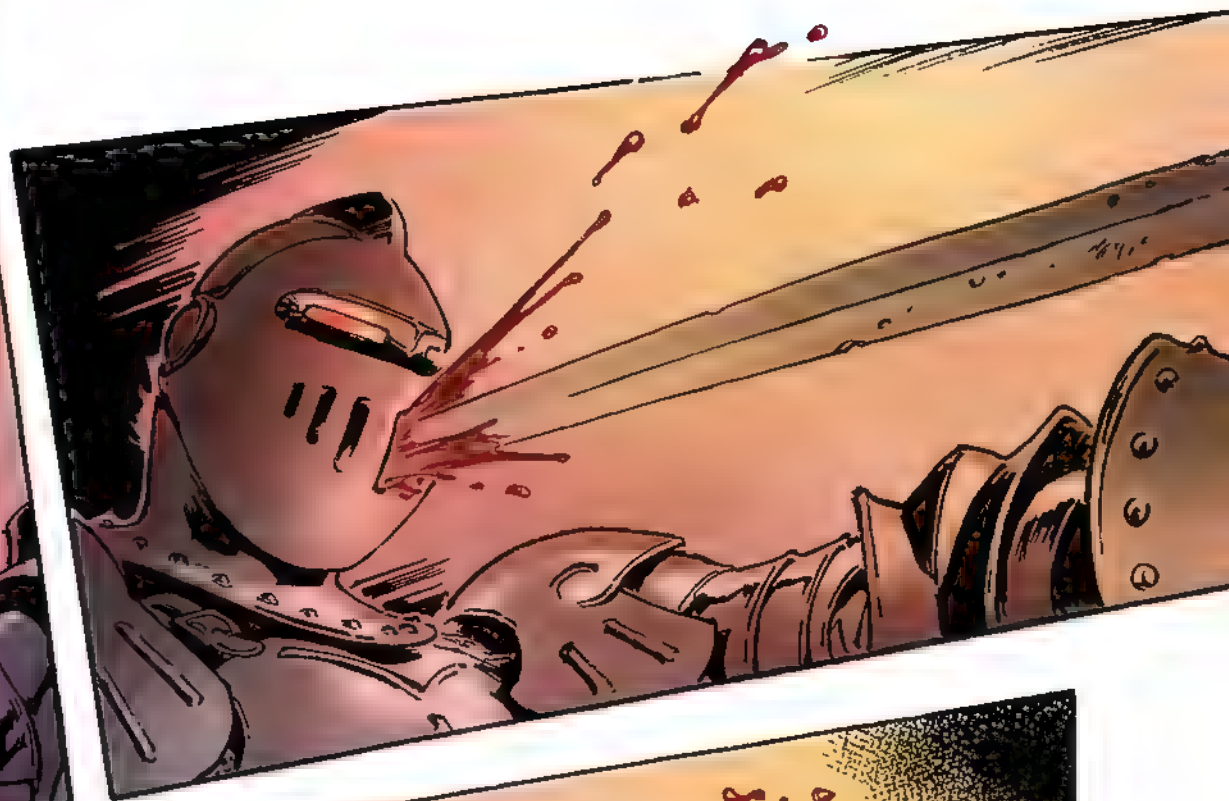
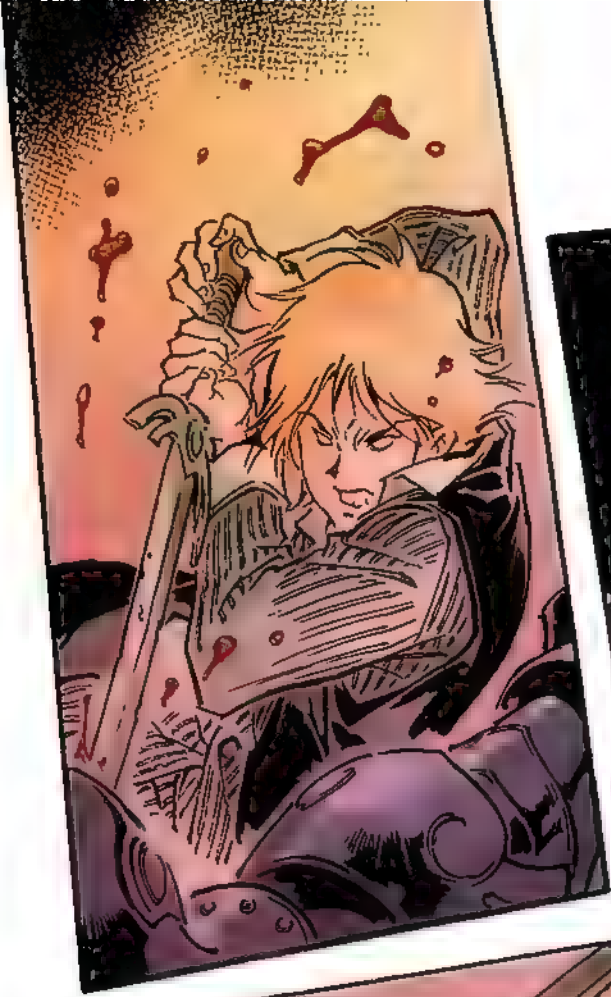








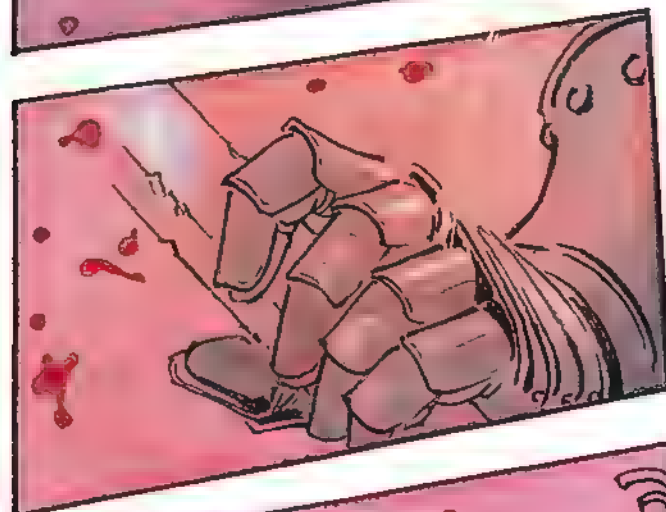
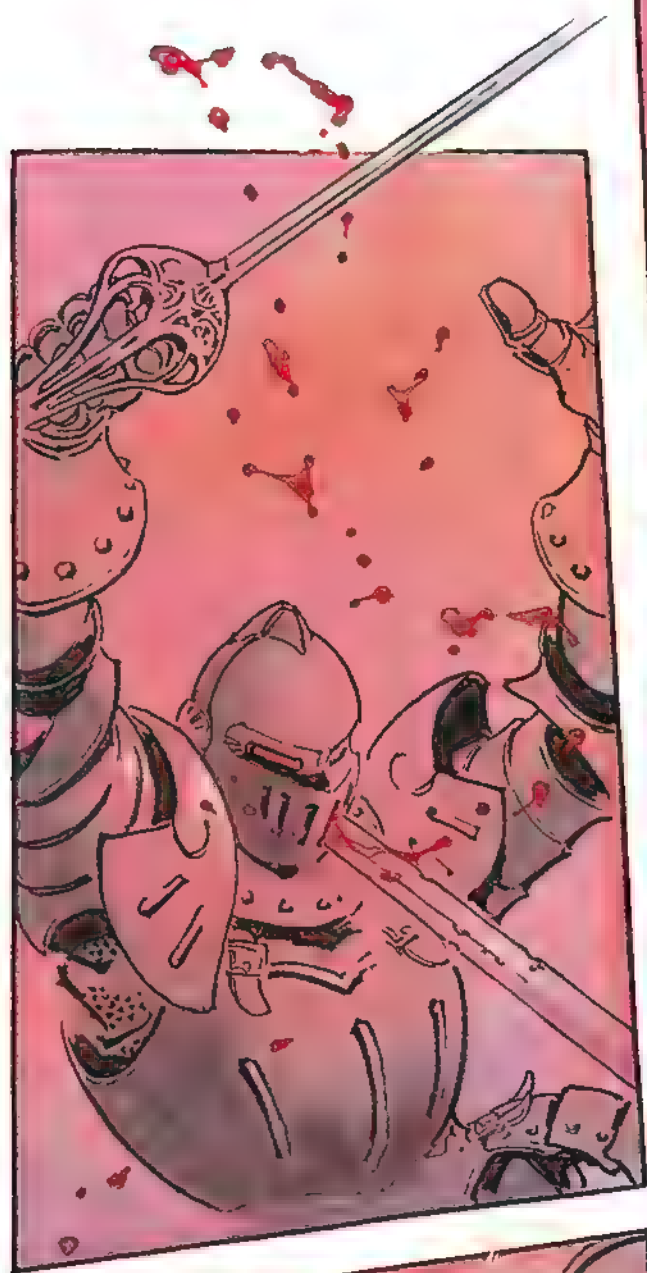


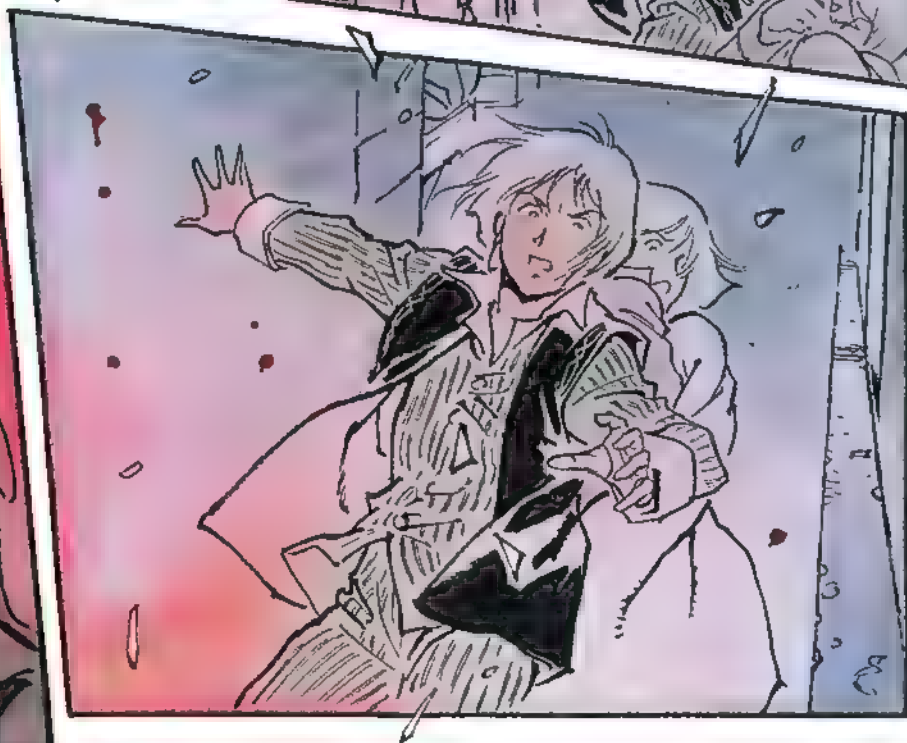
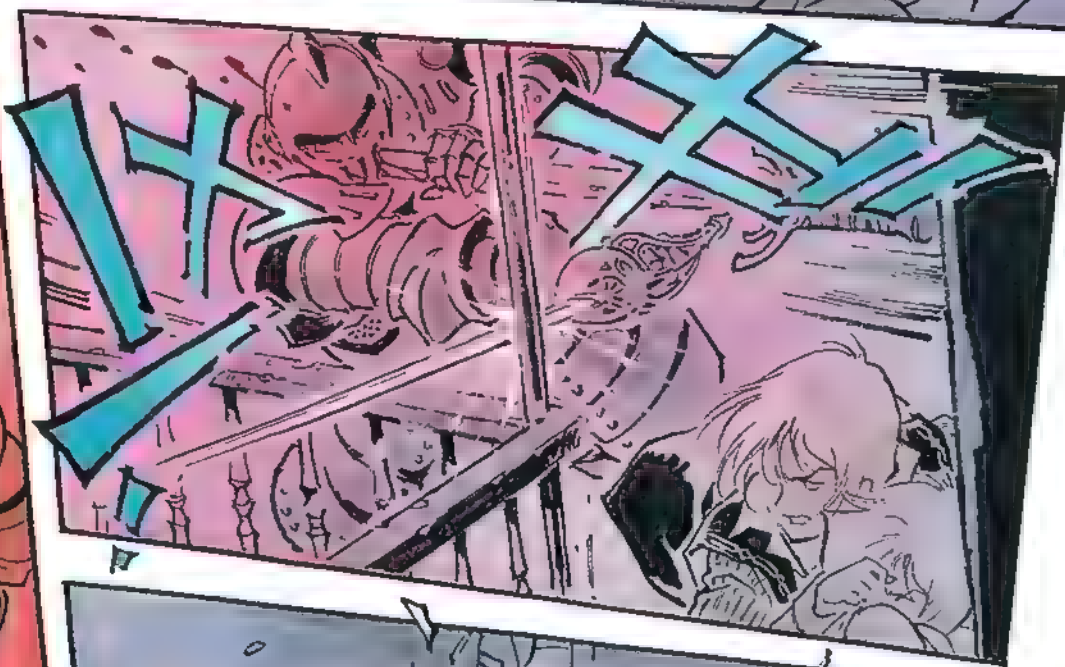
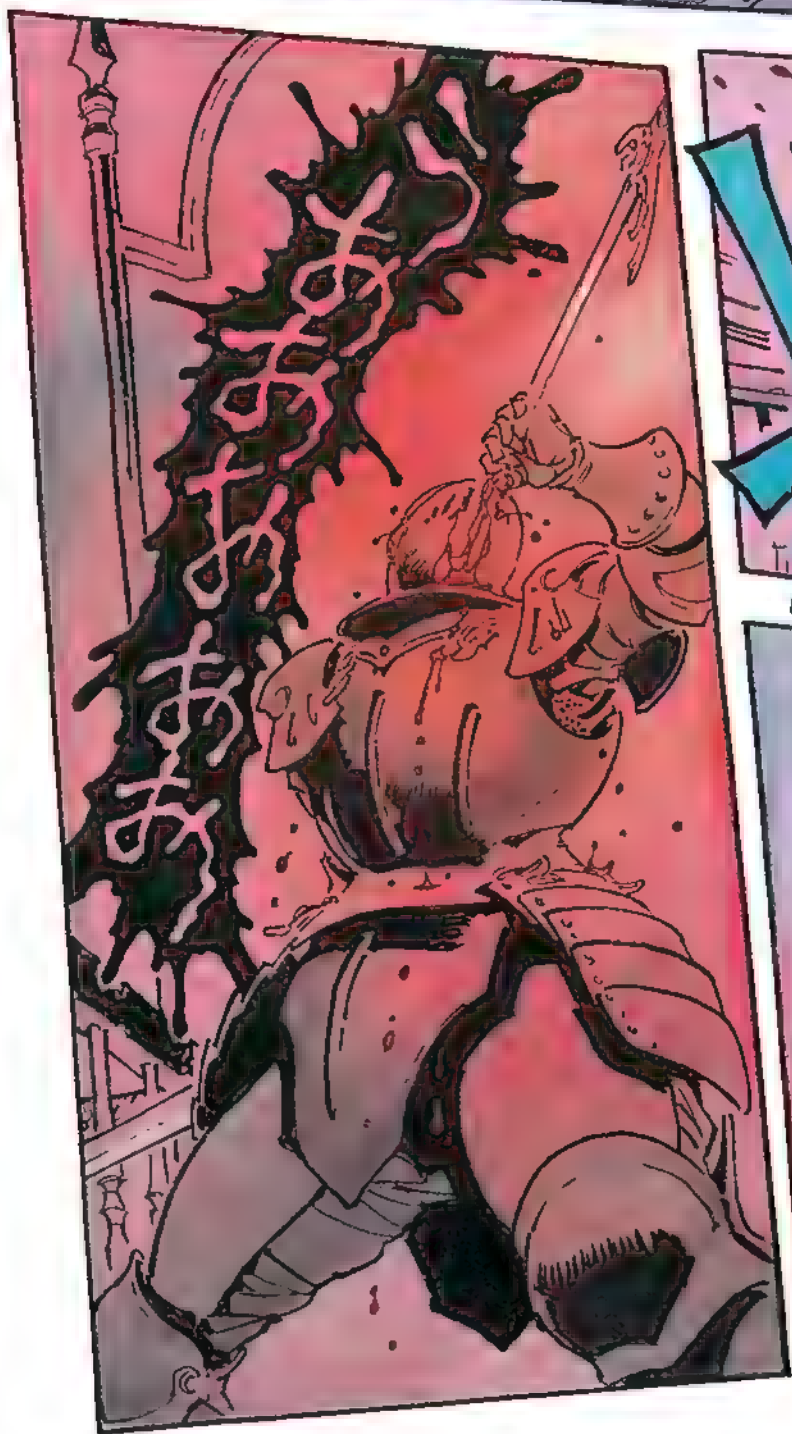
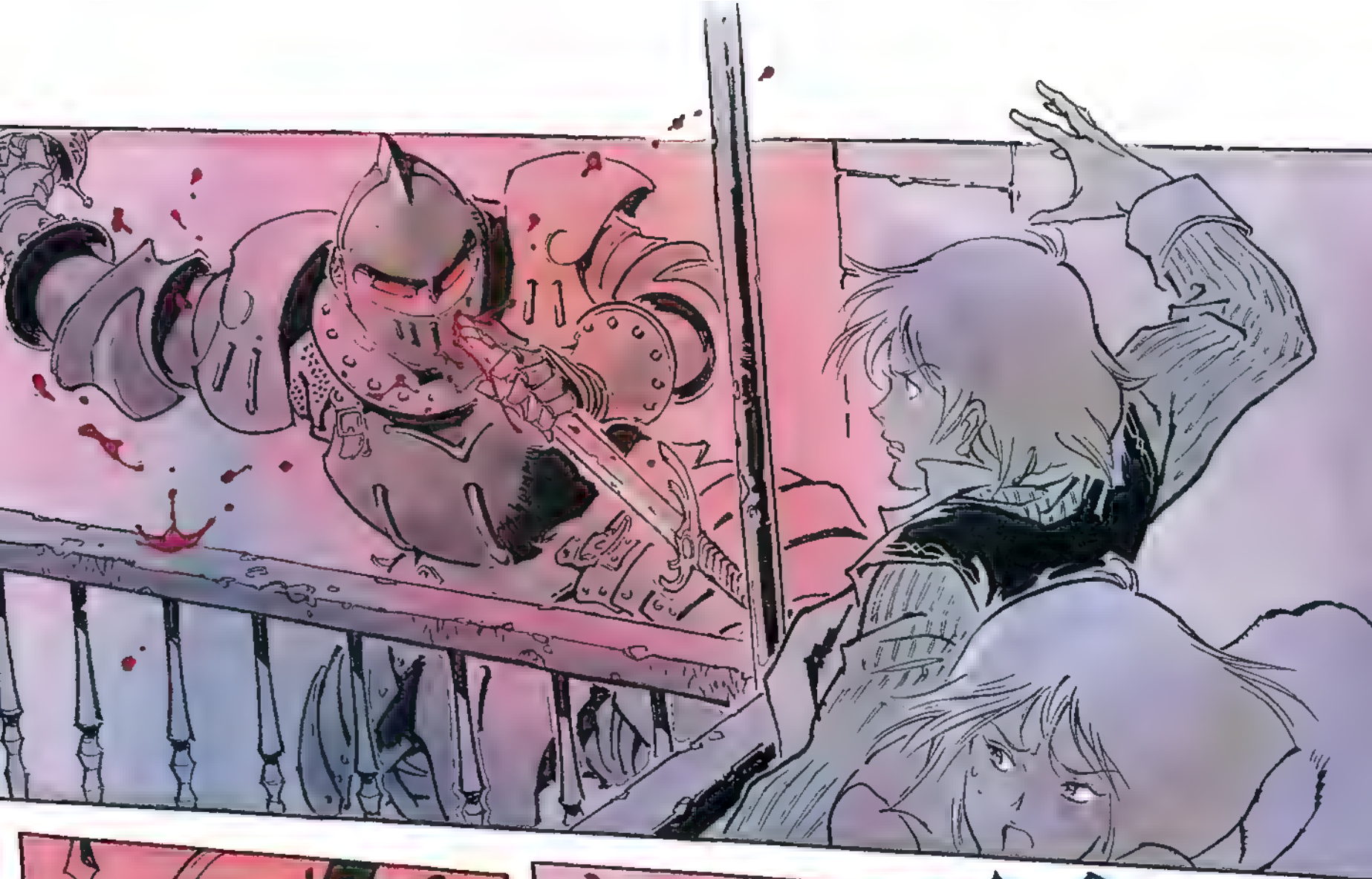


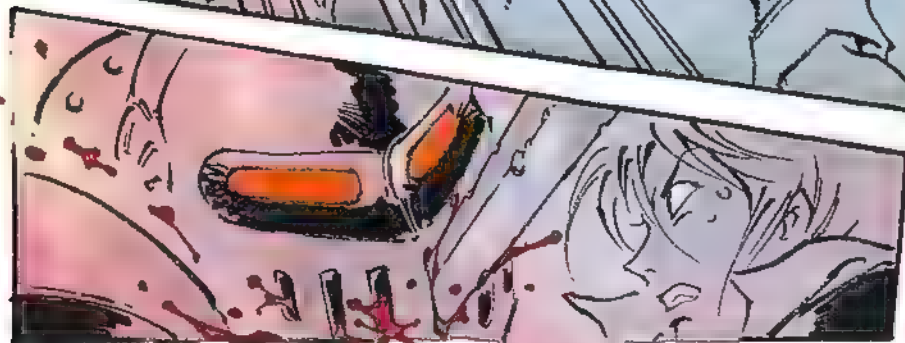
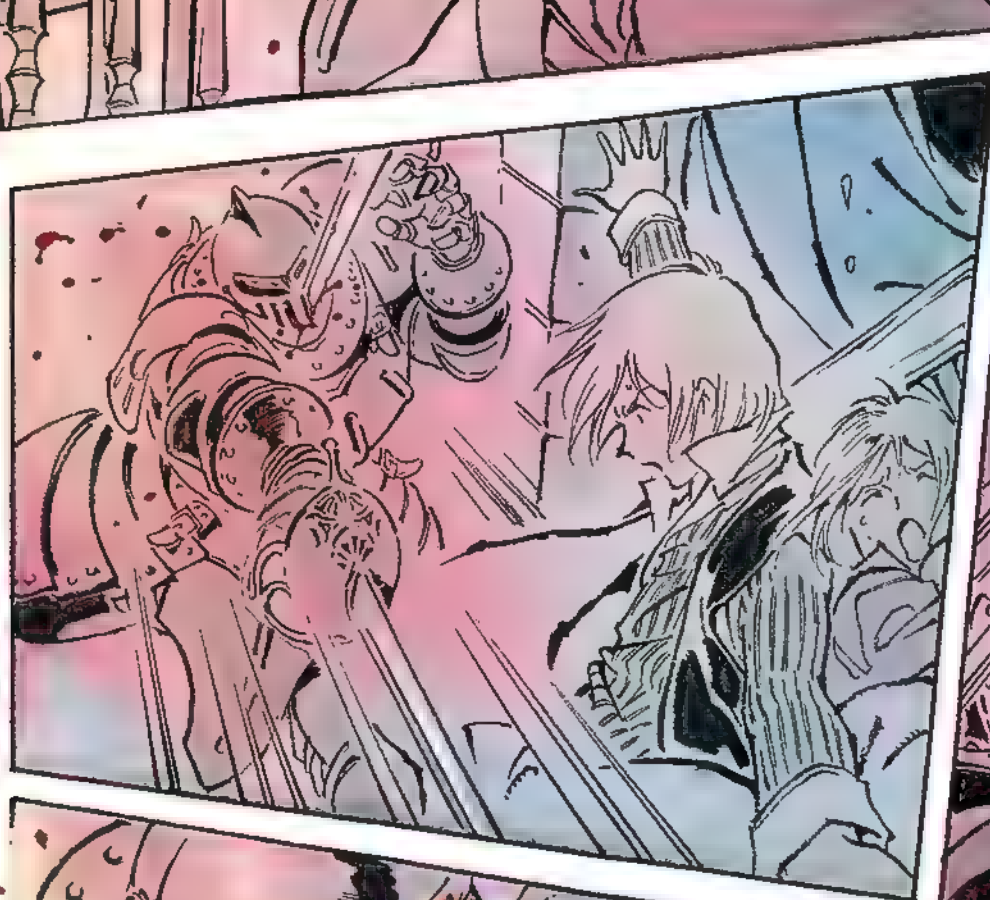
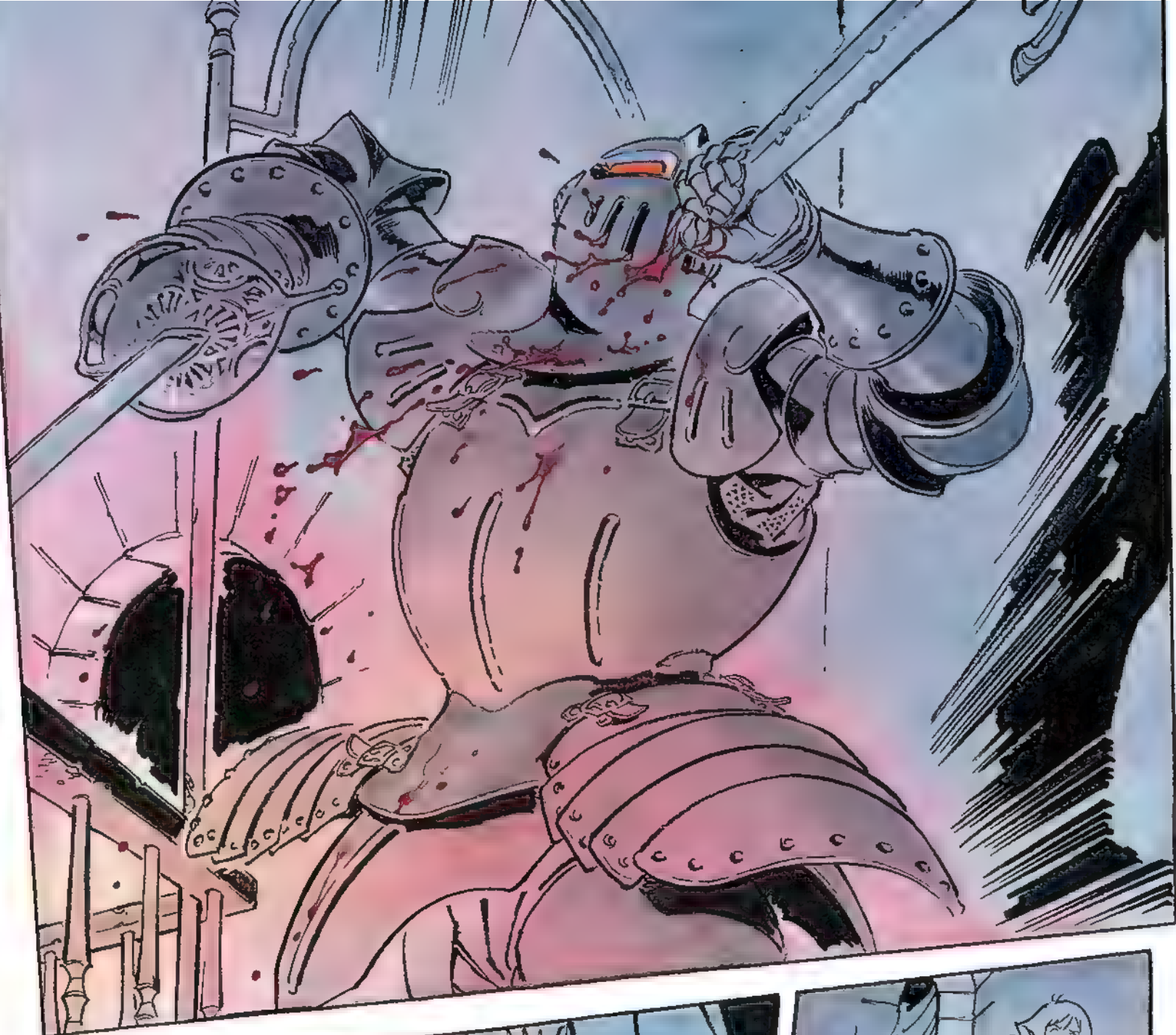
—シャア・セイラ編・後—

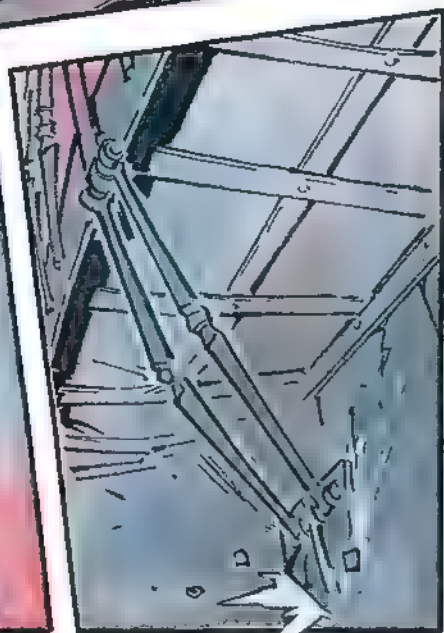
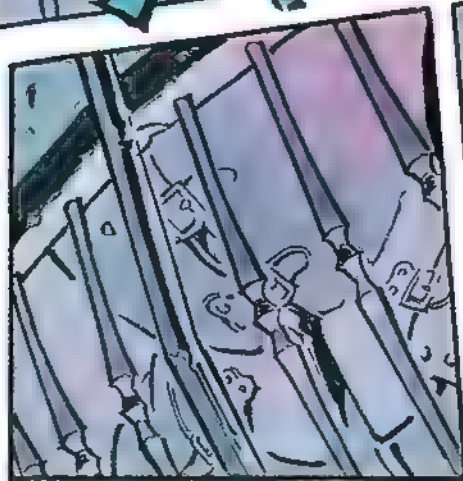
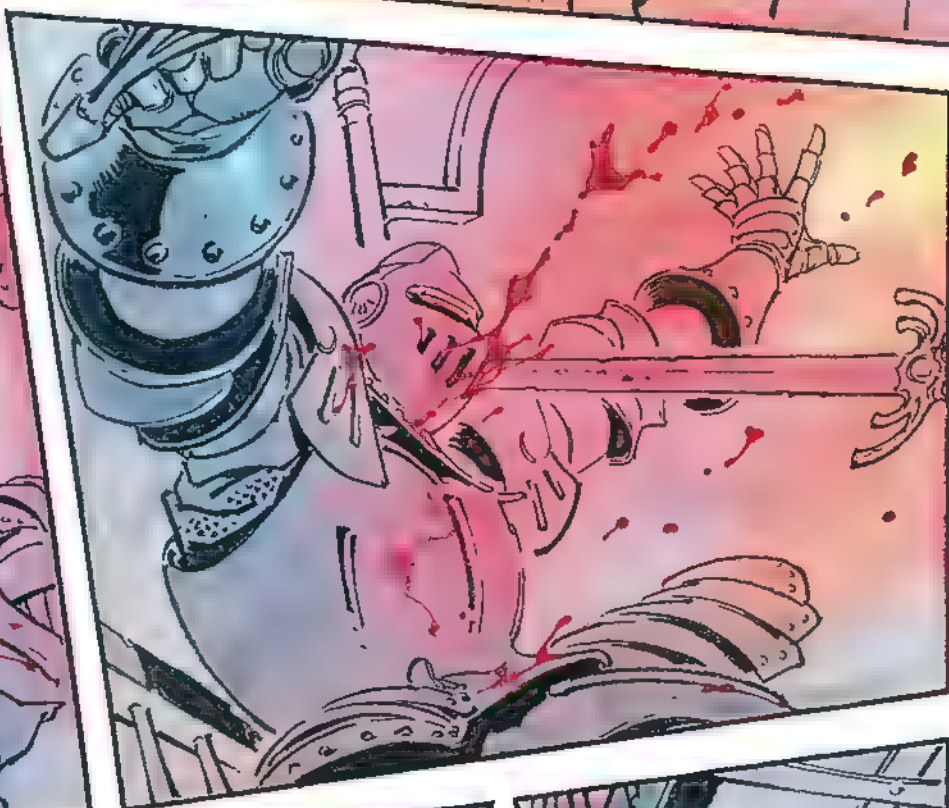
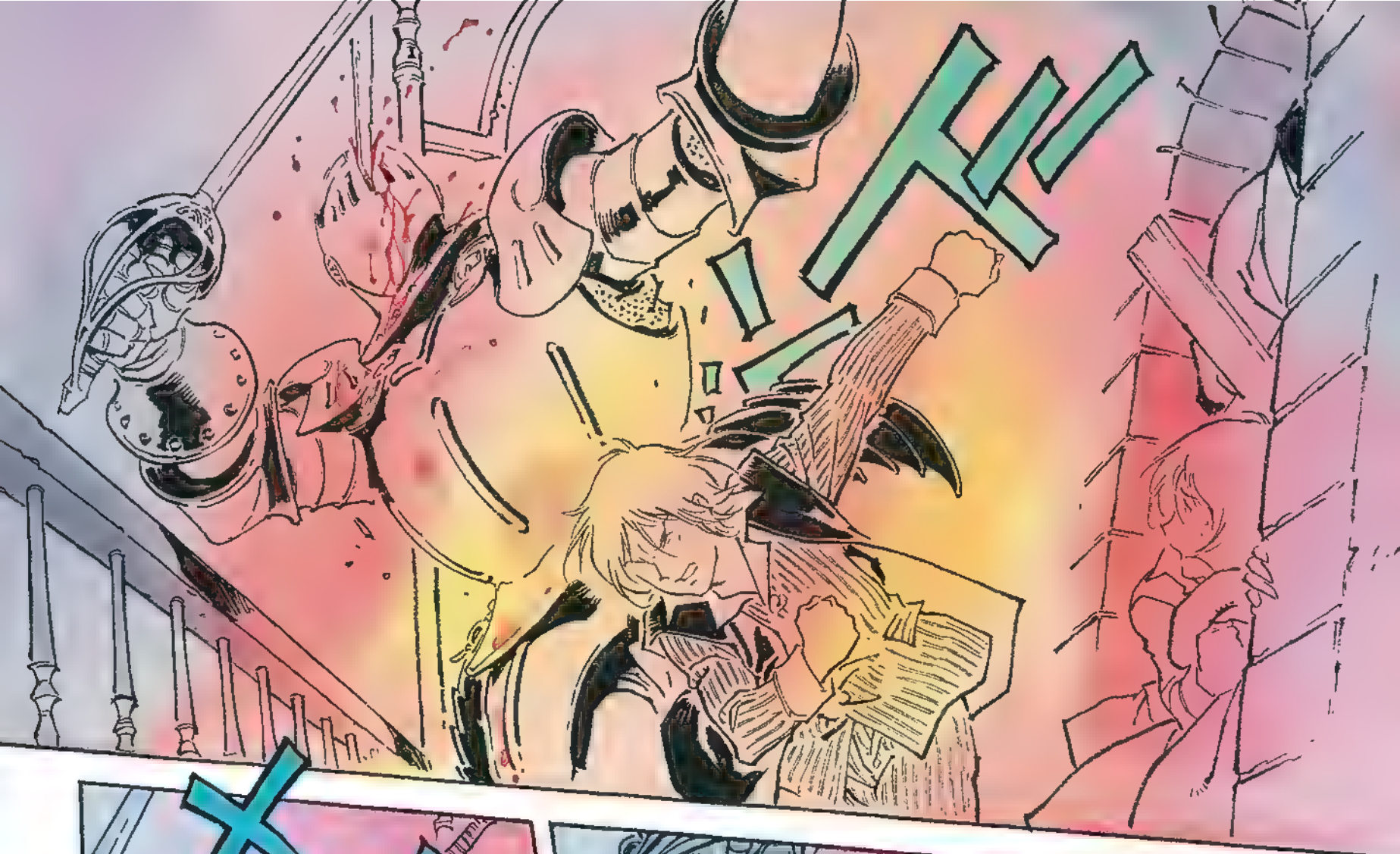
SECTION VI

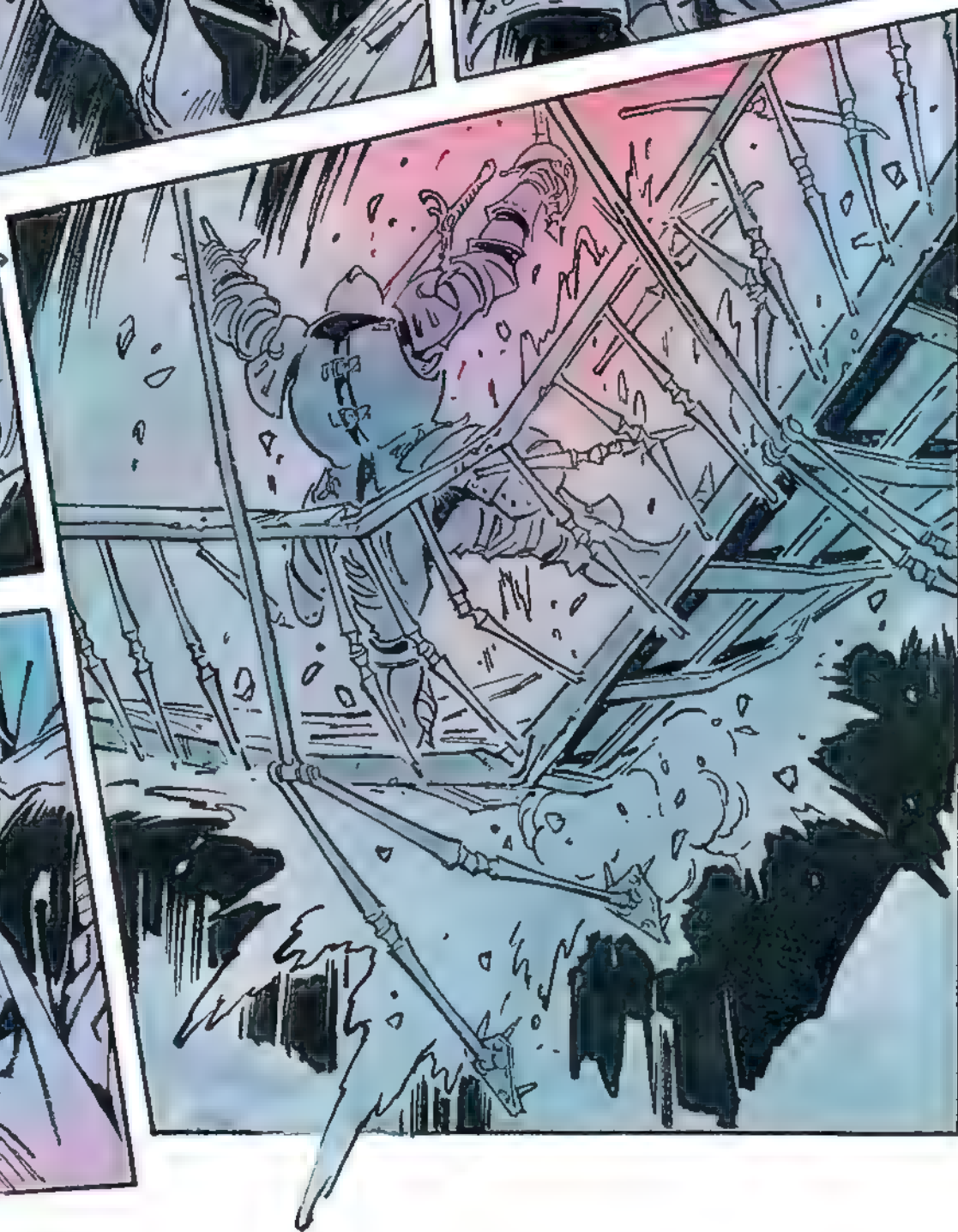
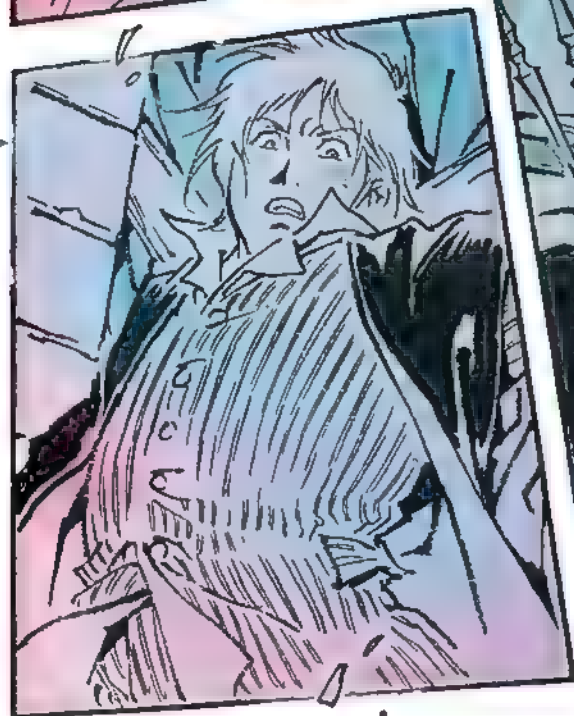
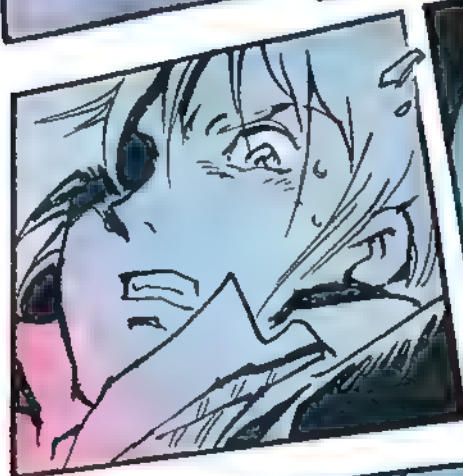
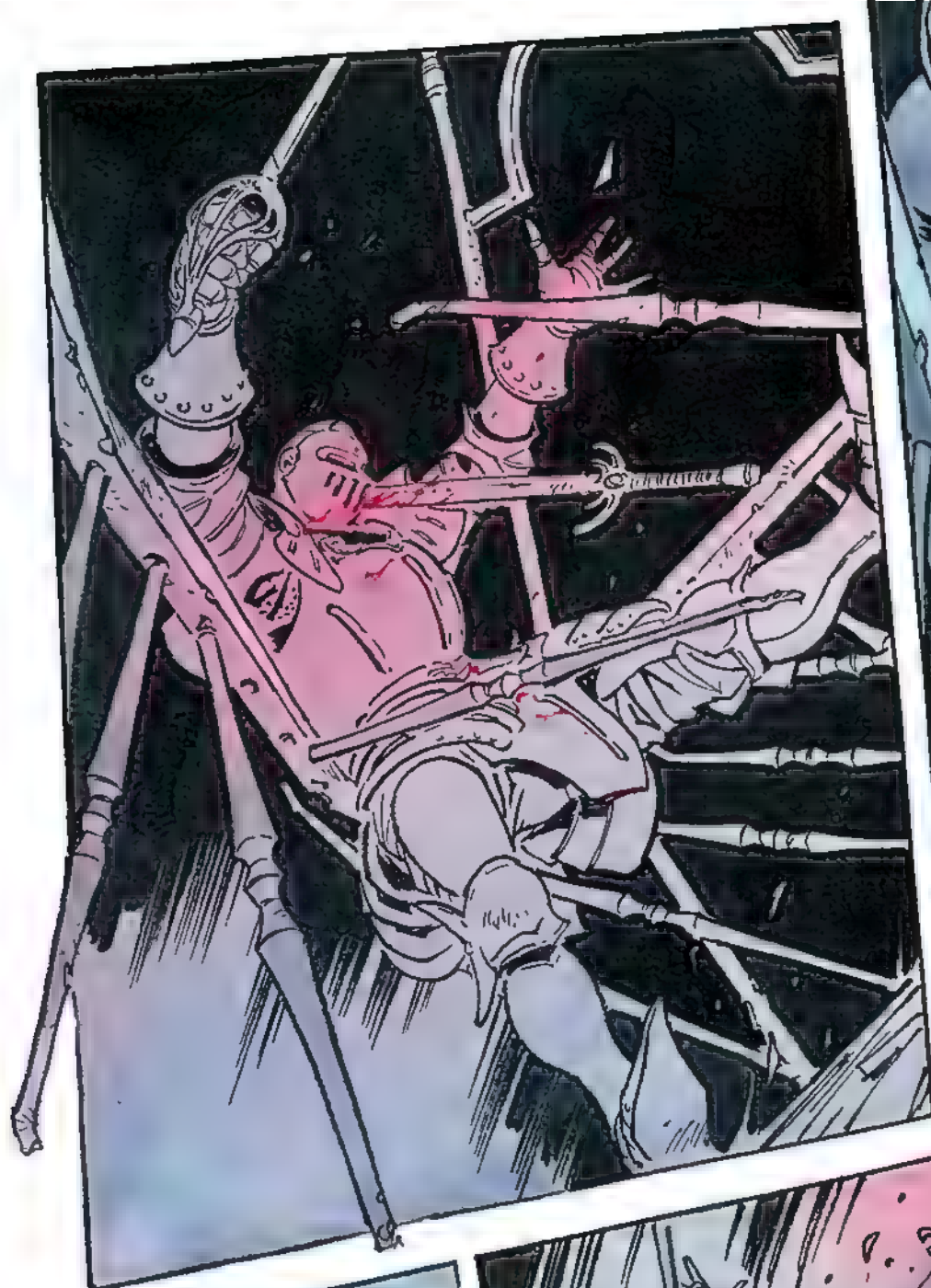


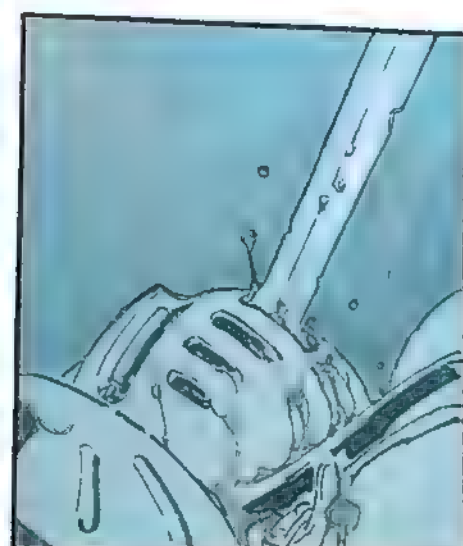
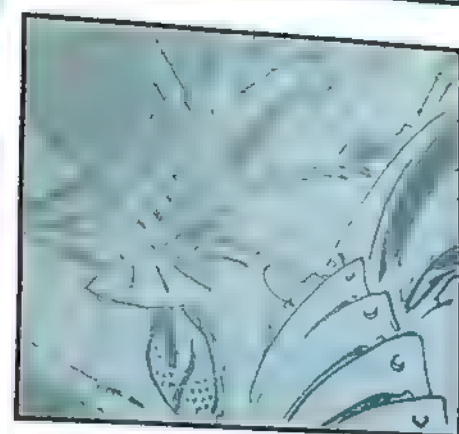
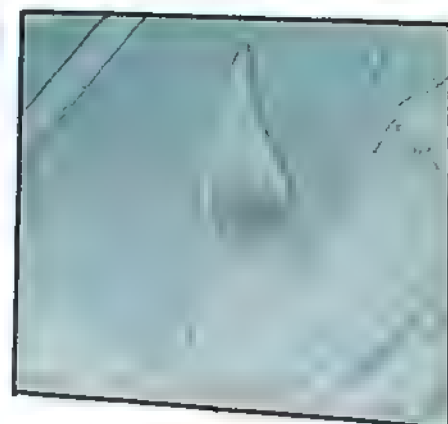
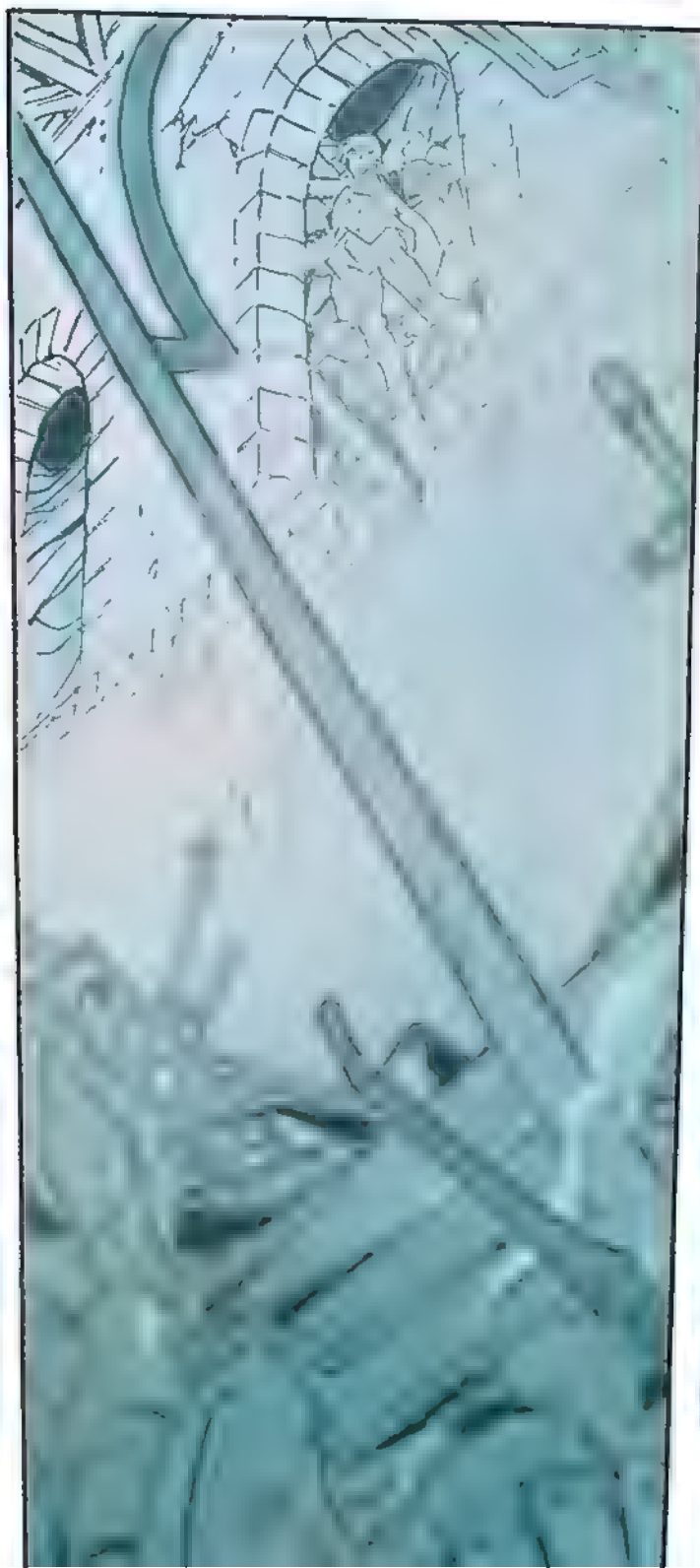


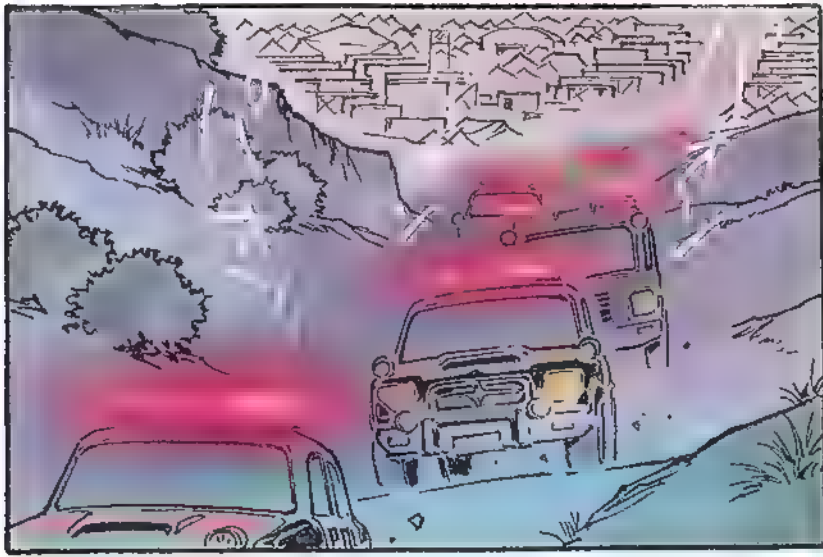


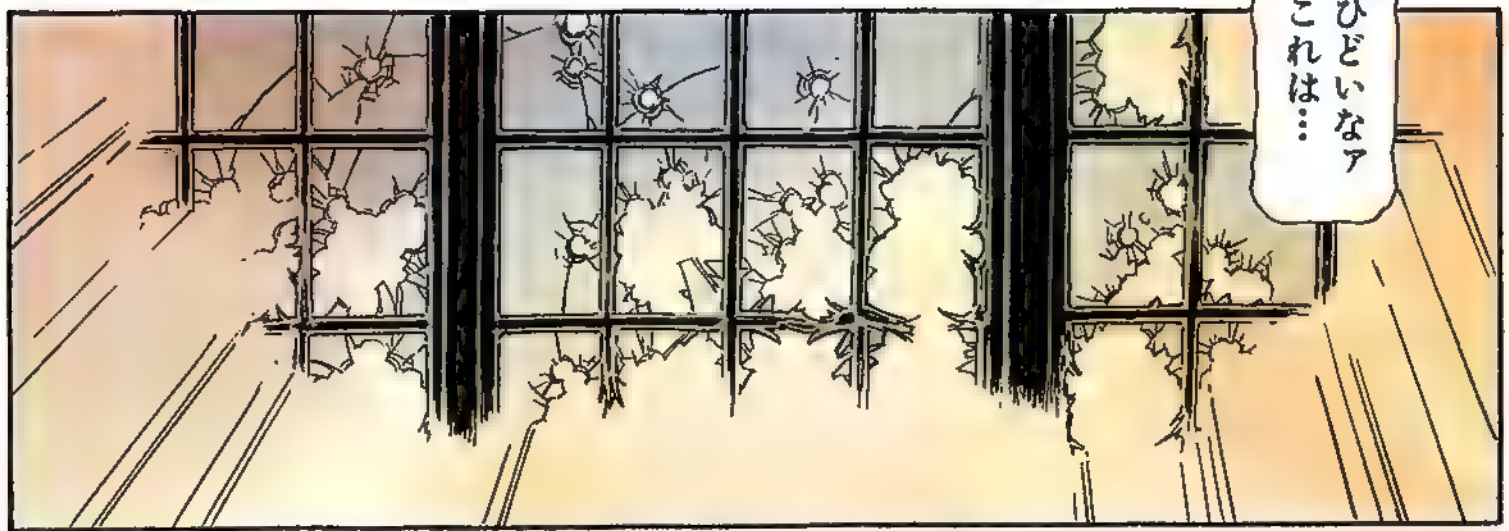




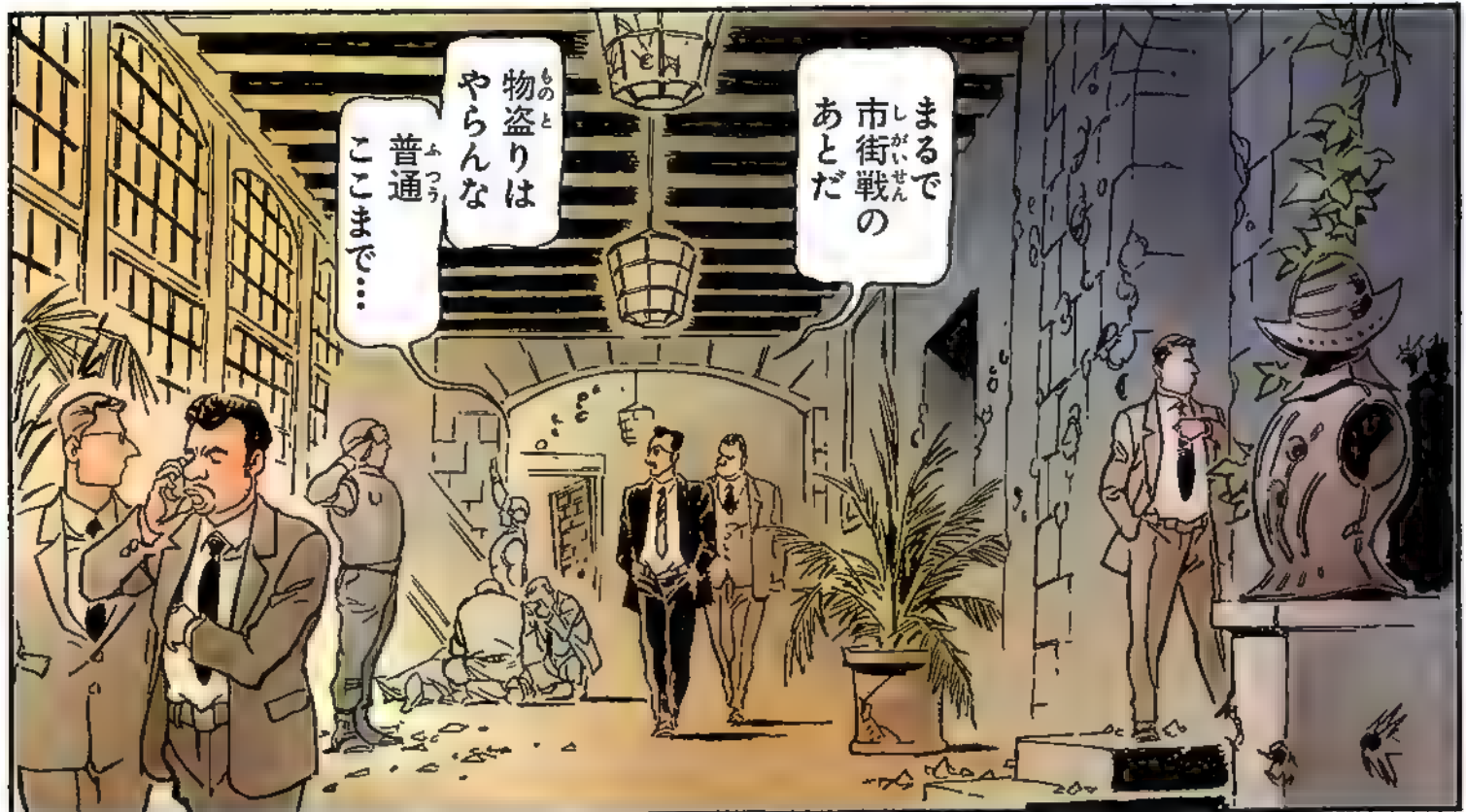








ひどいなア
これは…



まるで
市街戦の
あとだ

物盗りは
やらない
普通

ここまで…

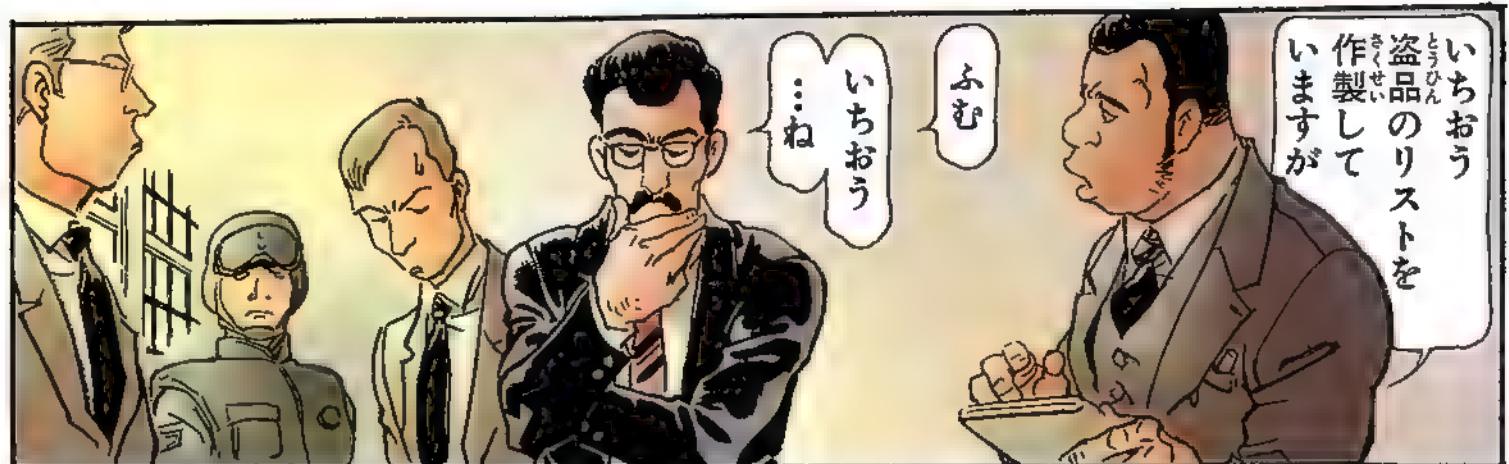


医者や
看護婦まで
殺されている
とはな…

怨恨
ですかね

それとも

なにかの
見せしめ



いちおう
盗品のリストを
作製して
いますか

ふむ

いちおう
…ね

そのリストが

おとし所に
役立たずかも
しれん...

キャンプは
厳重に封鎖しろ

武器類は
発見したものを
すべて押収!

この件に
関係が
あろうと
なかろう
とだ

はっ

警部!

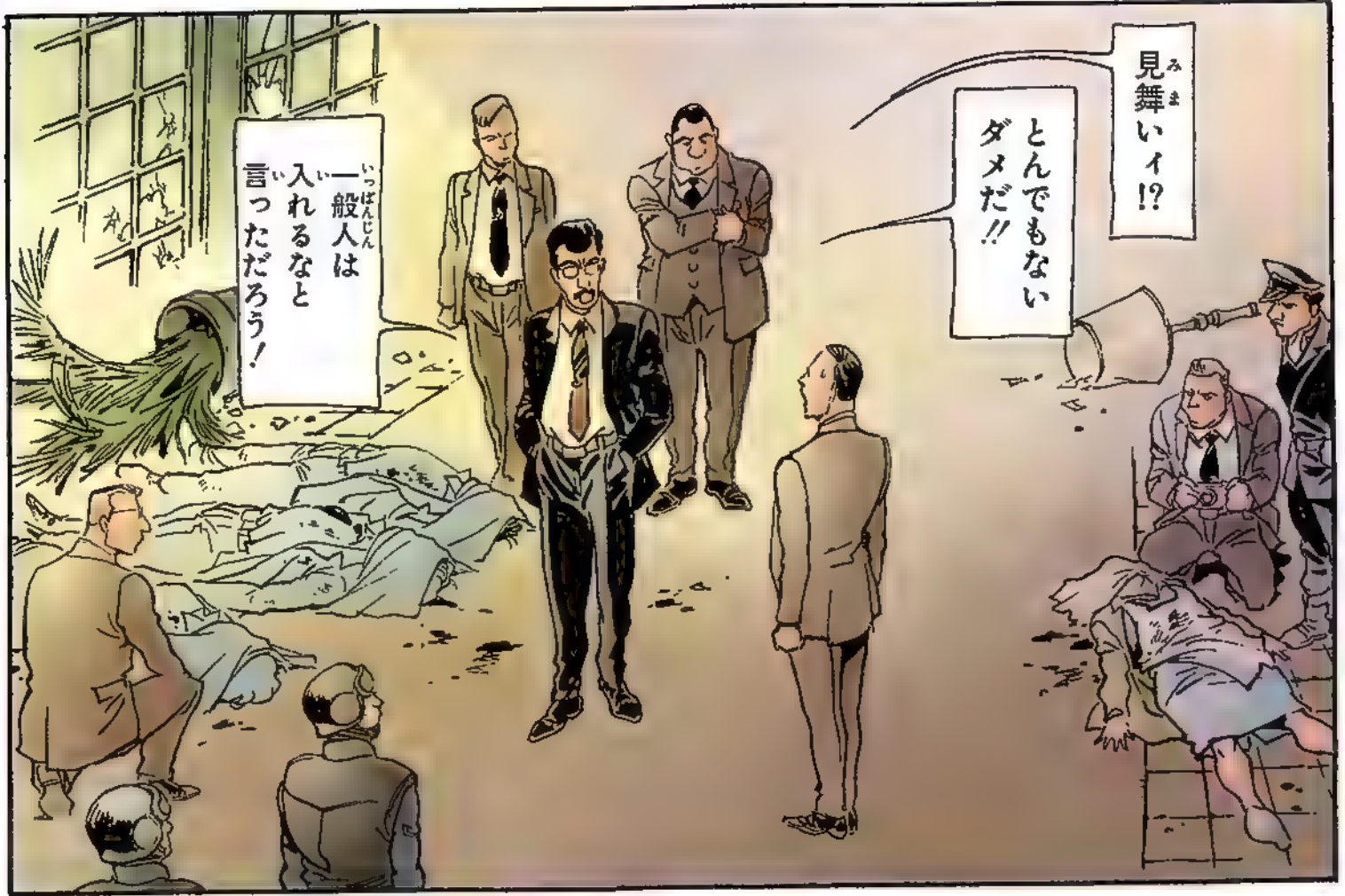
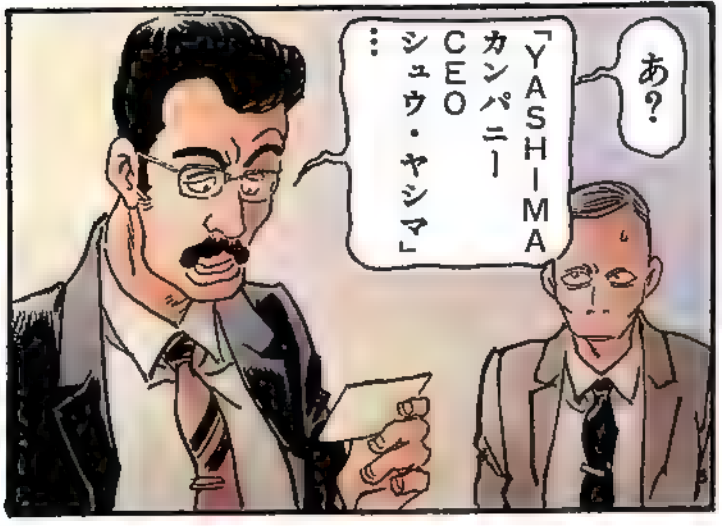
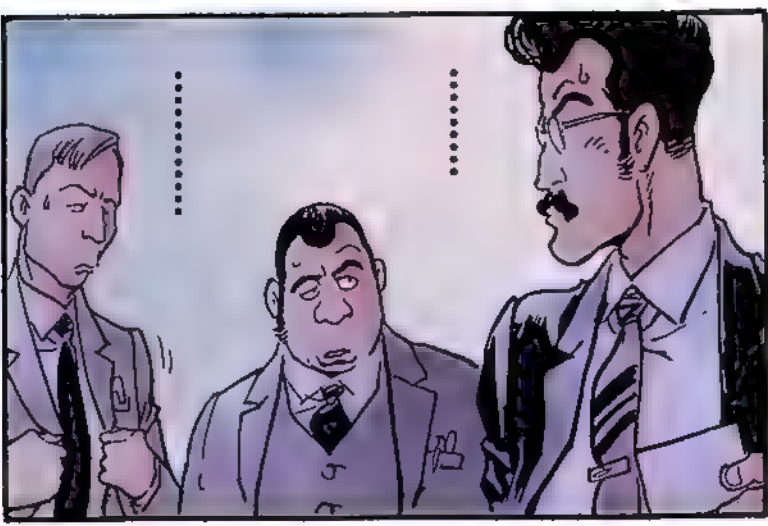
見舞いイ!?

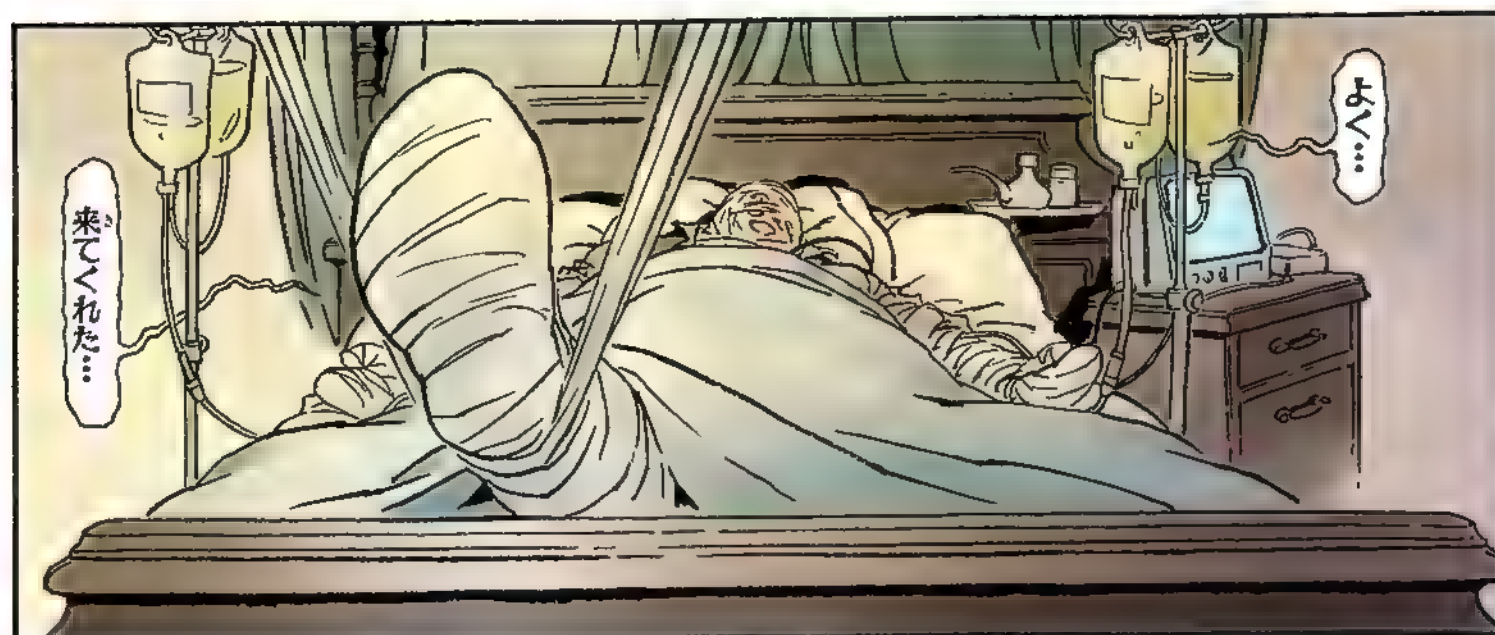
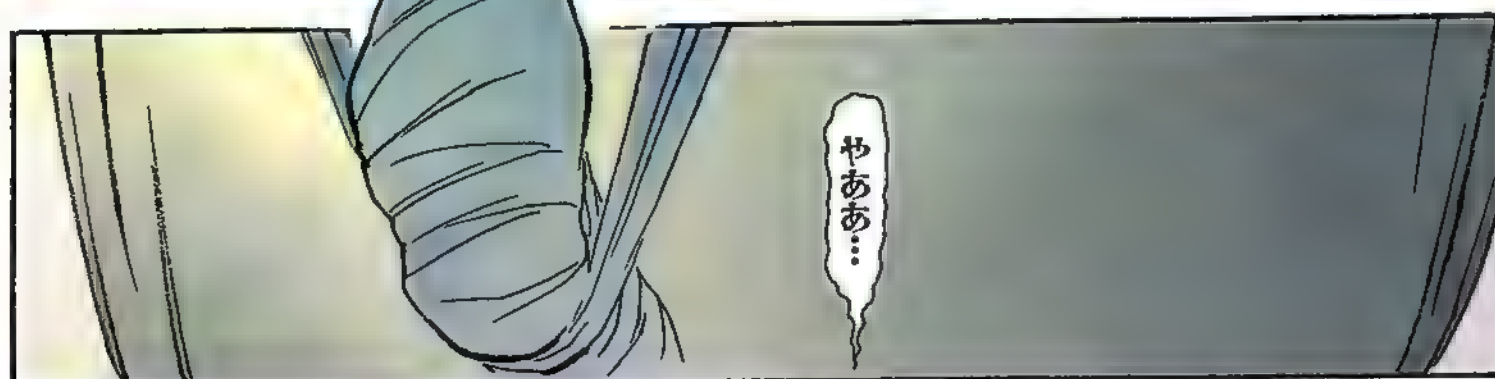
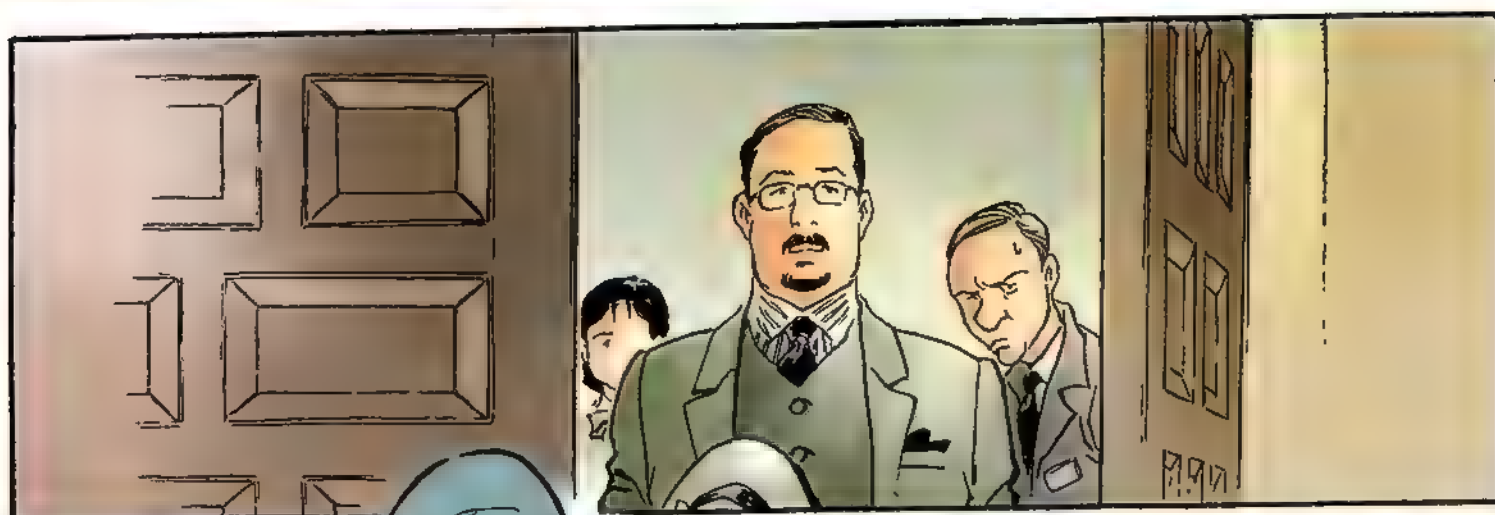
とんでもない
ダメだ!!

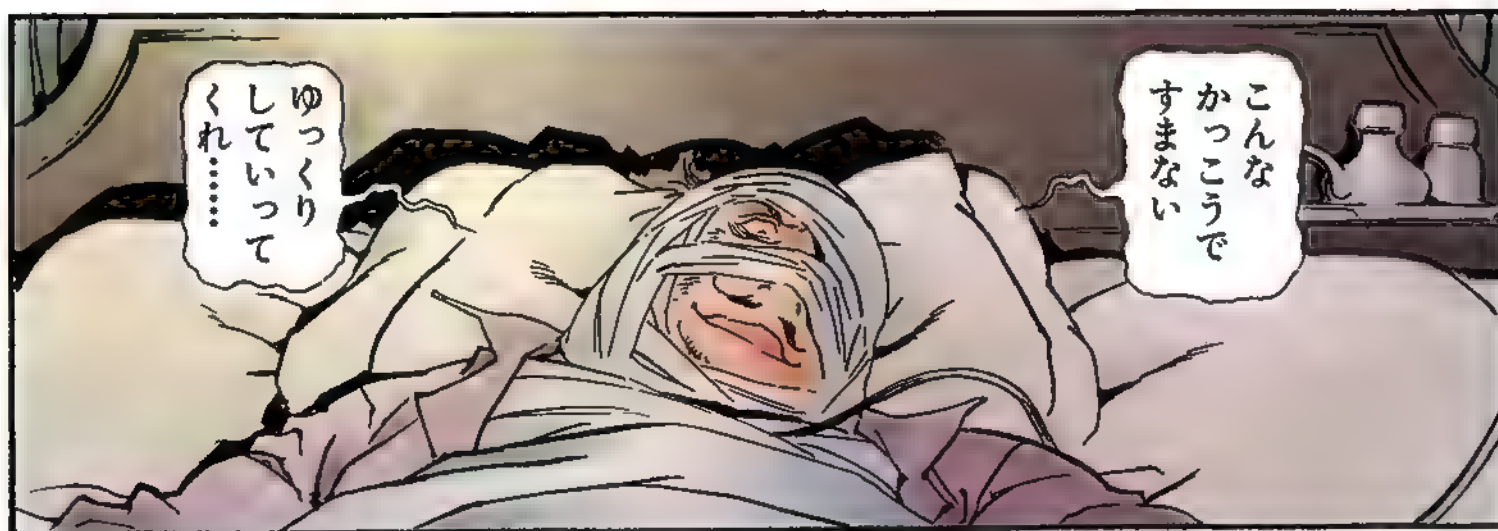
一般人は
入れるなど
言っただろう!

あ?

「YASHIMA
カンパニー
CEO
シュウ・ヤシマ」

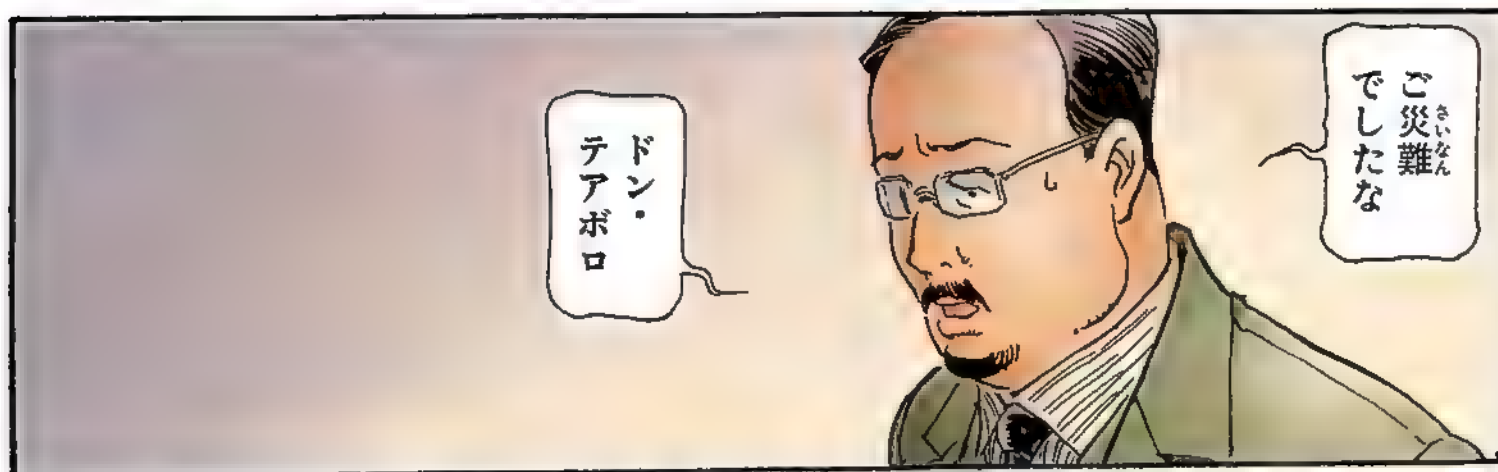






こんな
かつこうで
すまない

ゆっくり
していつて
くれ……



ご災難
でしたな

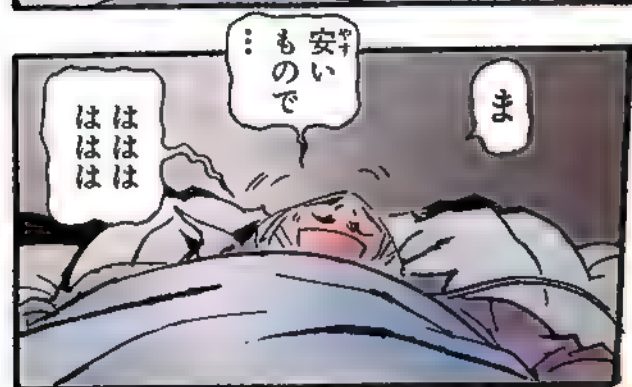
ドン・
テアボロ



目方が
助けてくれたの
ですよ

でも

屋根は
修理しま
せんと……



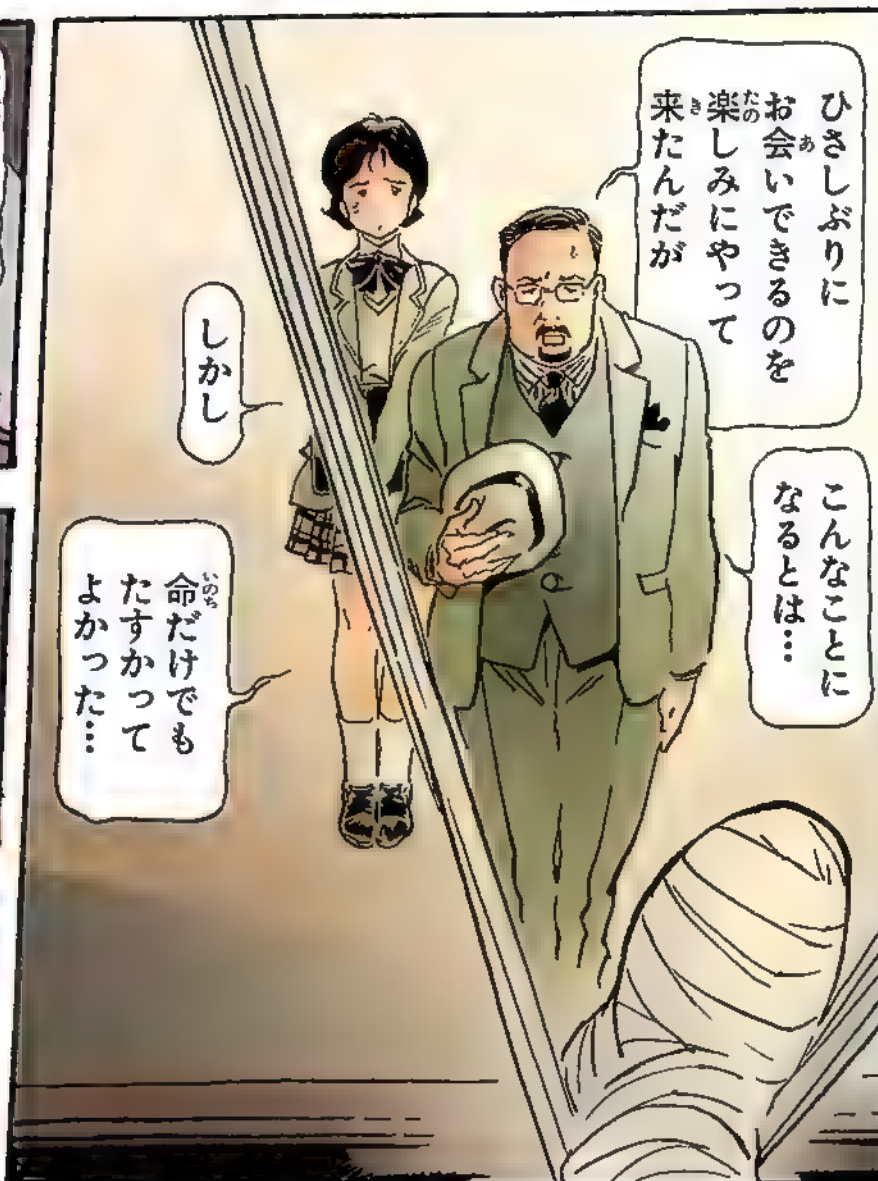
ま

安いで
もので

ははは
ははは



いたたた……

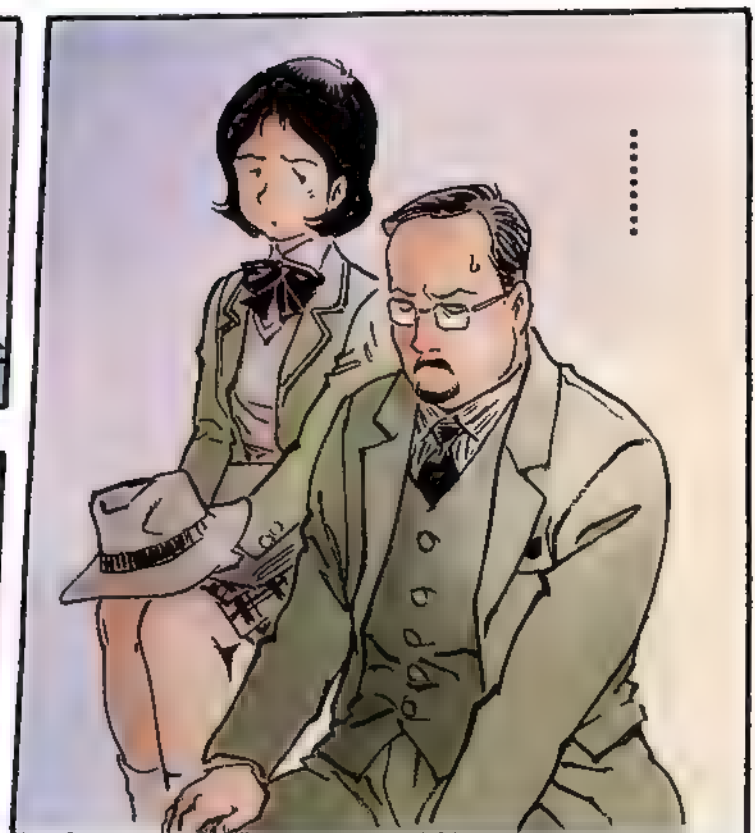
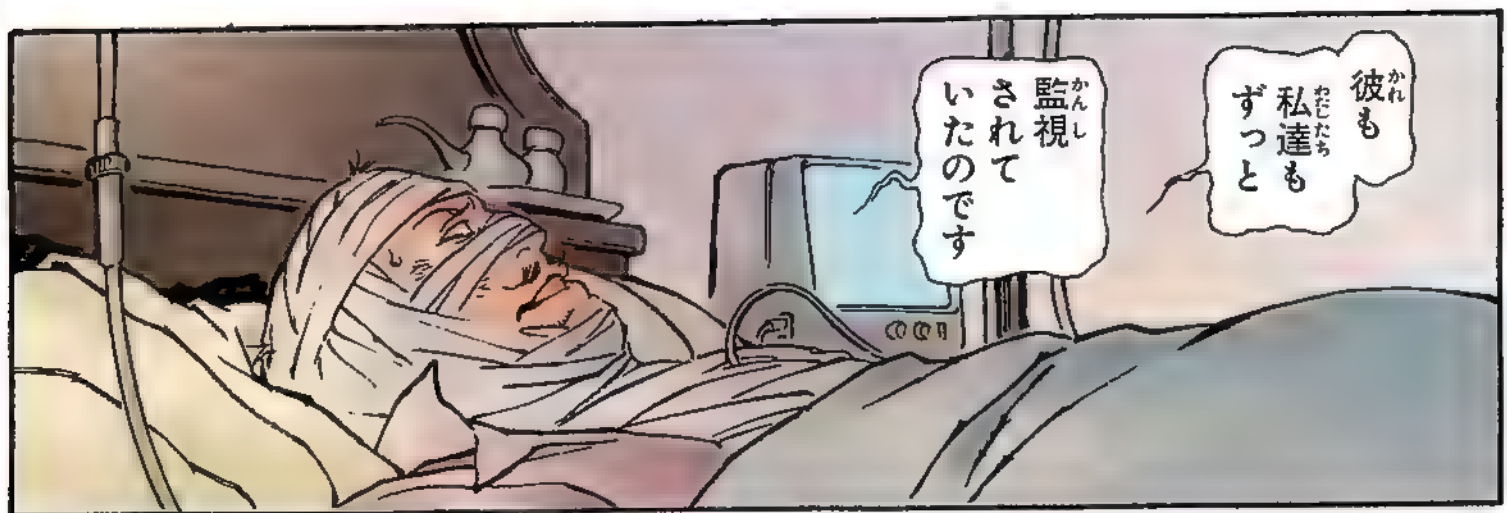
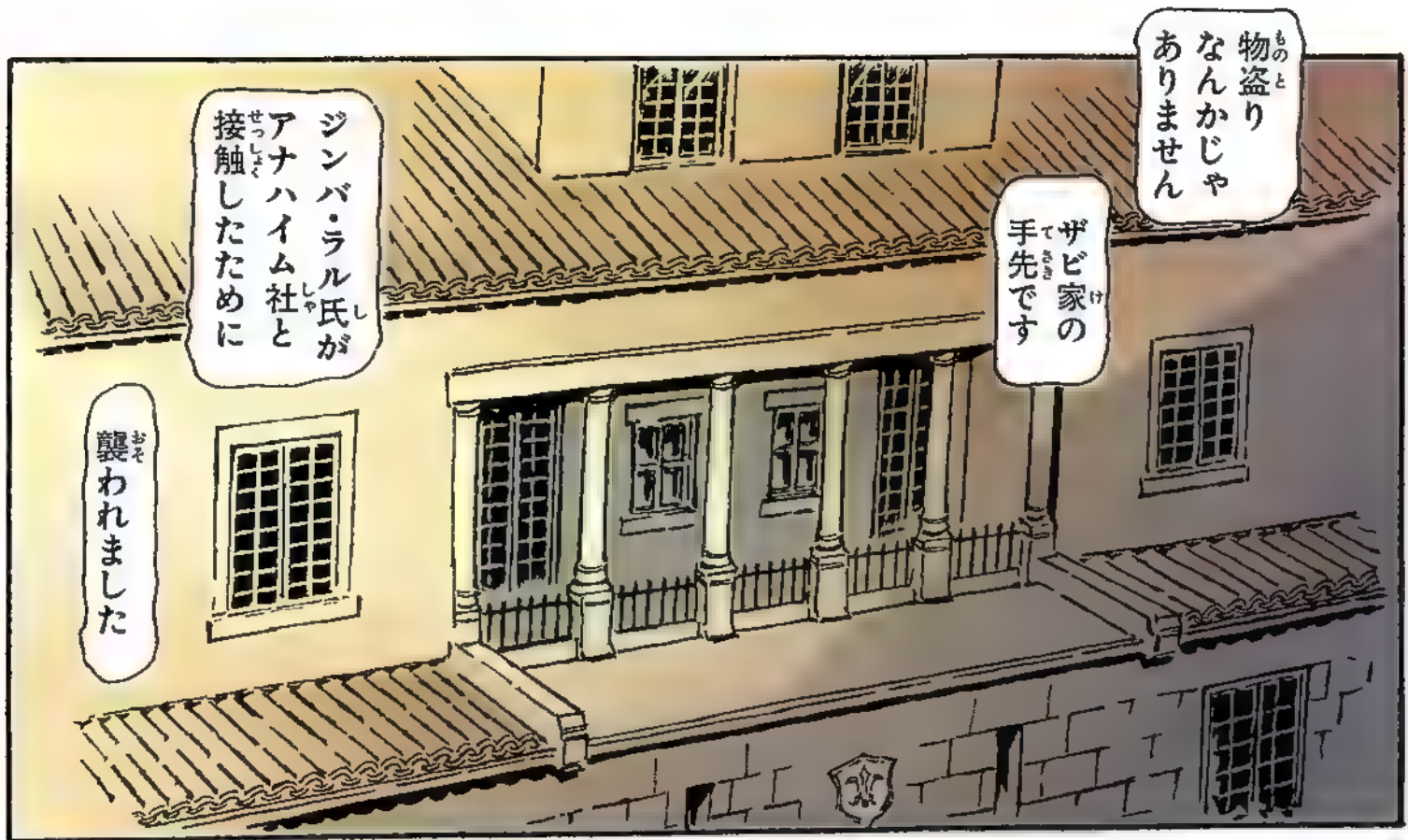


ひさしぶりに
お会いできるのを
楽しみにやって
来たんだが

こんなことに
なるとは……

しかし

命だけでも
たすかって
よかった……



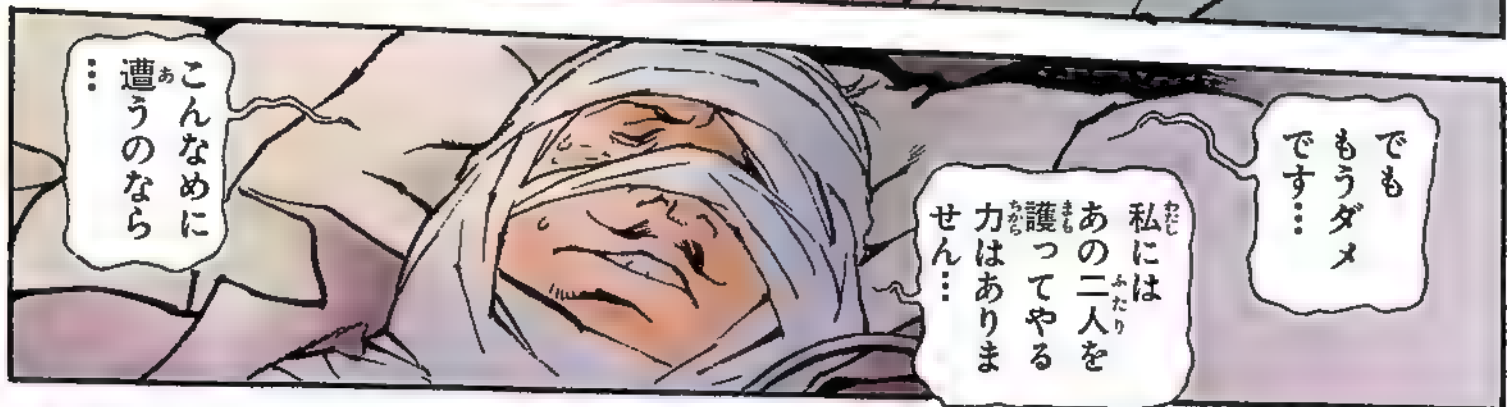


ふたりは
二人は

ふじ
無事
でした…

かみ
神の
ご
御加護です

ラル氏は
気の毒な
ことでしたが…



でも
もうダメ
です…

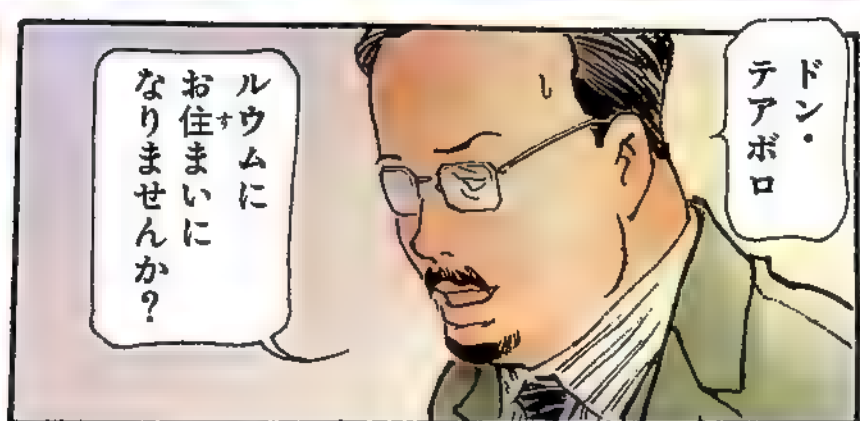
わたし
私には
あふたり
あの二人を
護つてやる
力はありま
せん…

こんなめに
遭うのなら
…



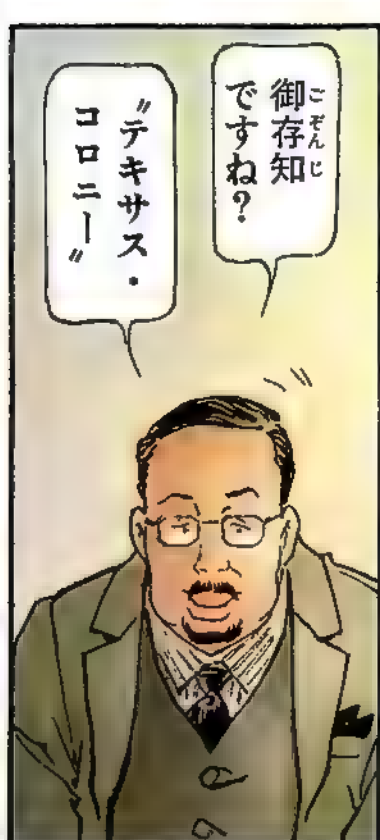
ルウム？

サイド5!?



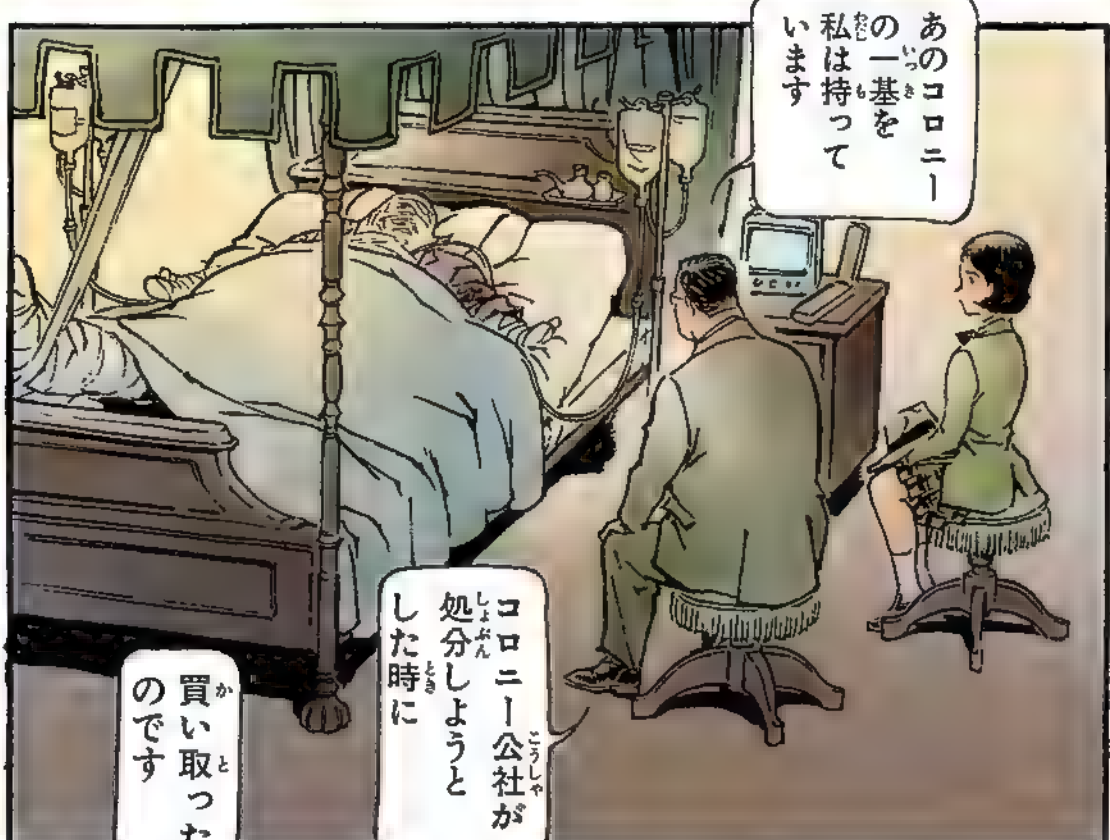
ドン・
テアボロ

ルウムに
お住まいに
なりませんか？



ごぞんじ
御存知
ですね？

“テキサス・
コロニー”



あのコロニー
の一基を
私は持って
います

コロニー会社が
処分しようと
した時に

か
買い取った
のです

かつて経済がバブル
状態にあった時
ルウムがテーマパーク
として建設
しました

しかしその後
不況になり
コロニーは工事が中断したまま
無用の長物…

あやうく廃棄
されかかったのを
競売にかけさせ
ました

御心配
なく

私費を
使つて工事は
継続させました

使用に
たえます

快適とは
いいかね
でしょうか

その
テキサス・
コロニーに

なぜ…?

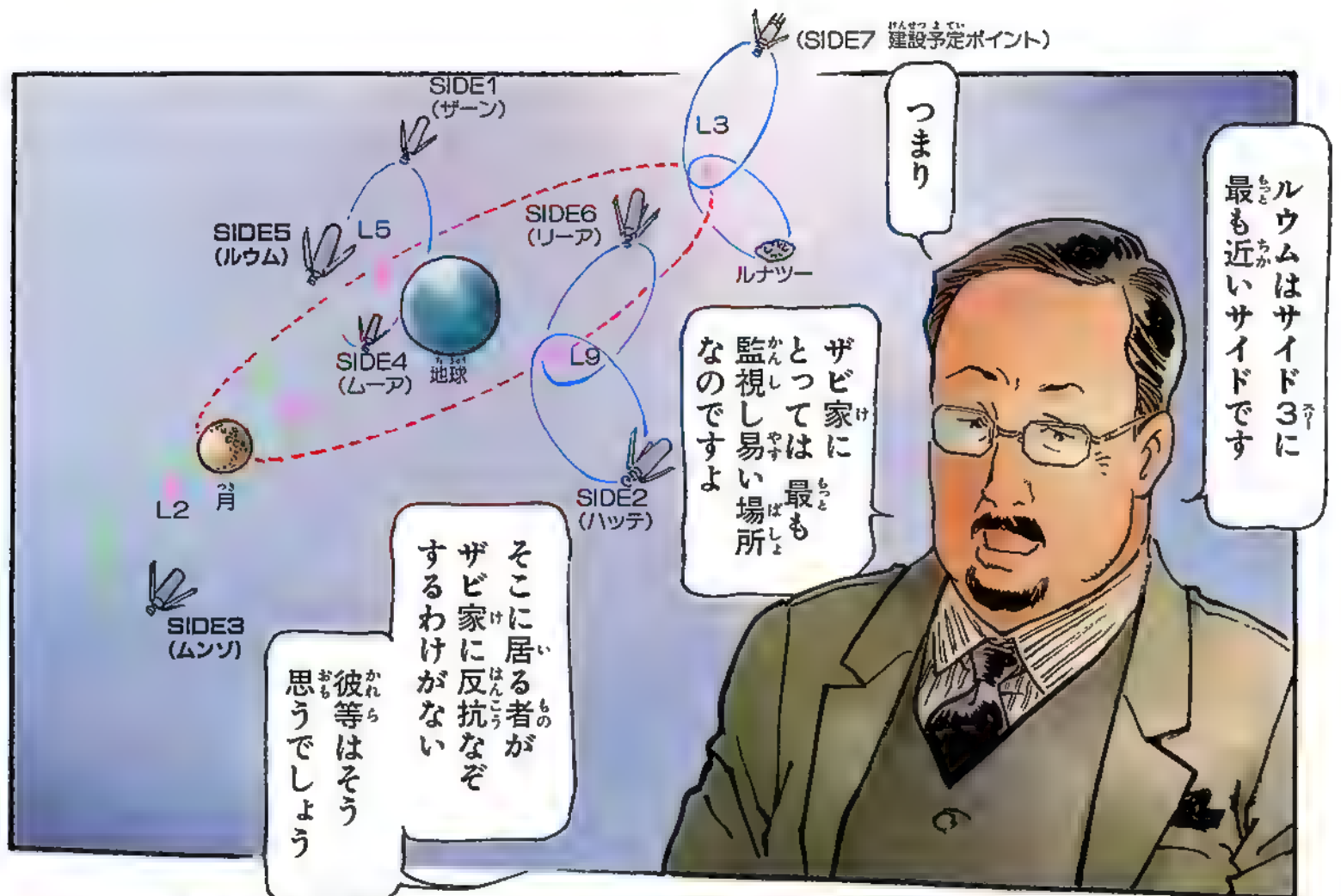
ザビ家に

恭順の意を
顕すのです

ザビ家に反抗する
気がないと
いうことを

はっきり
行動で示す
のですよ

恭順…?

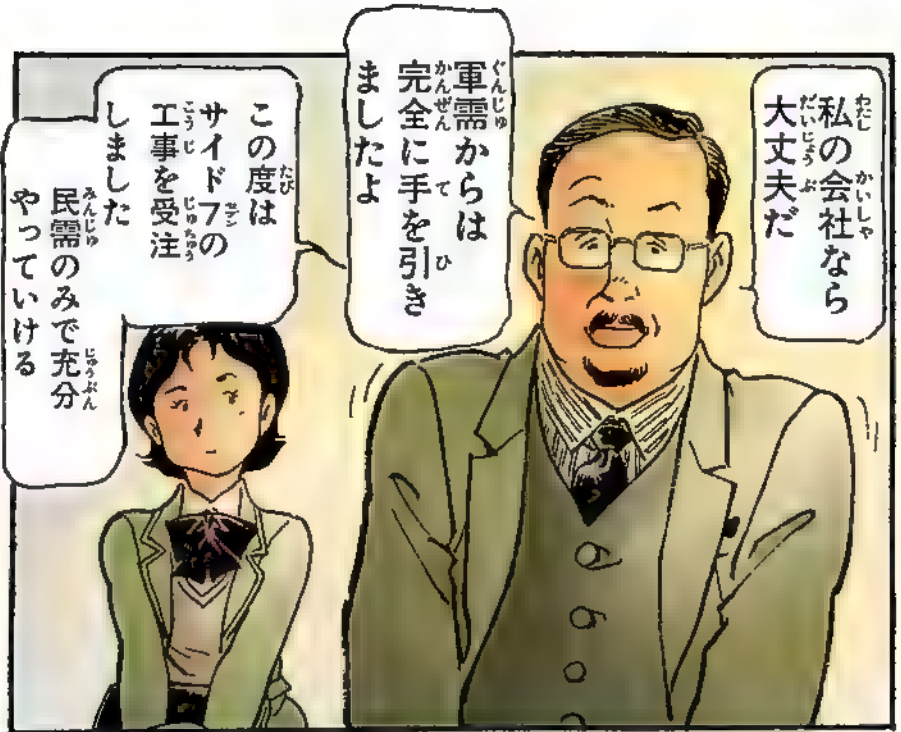




.....



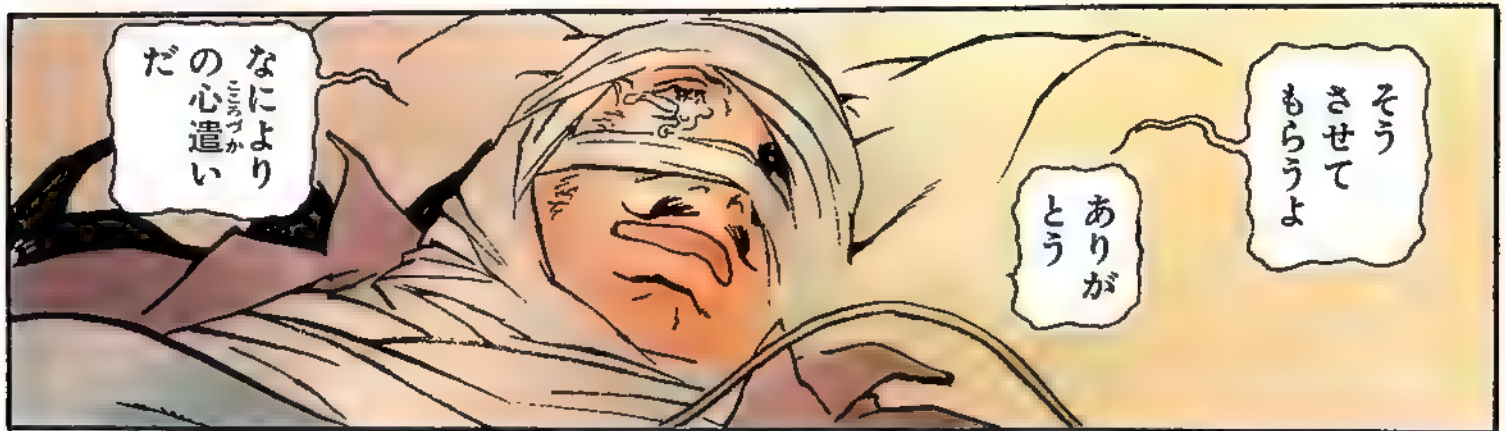
ありがとう...
ヤシマ君



私の会社なら
大丈夫だ

軍需からは
完全に手を引き
ましたよ

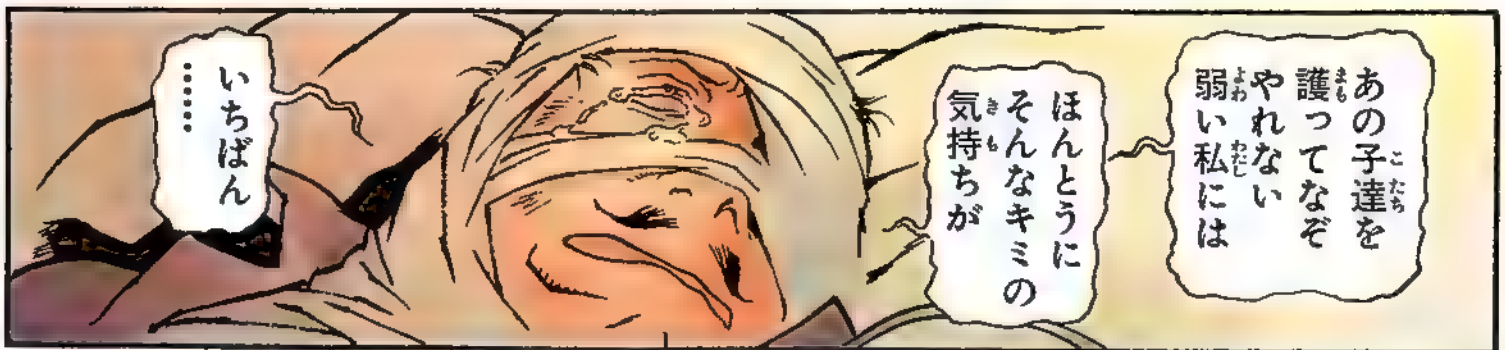
この度は
サイド7の
工事を受注
しました
民需のみで充分
やっていける



そう
させて
もらうよ

ありが
とう

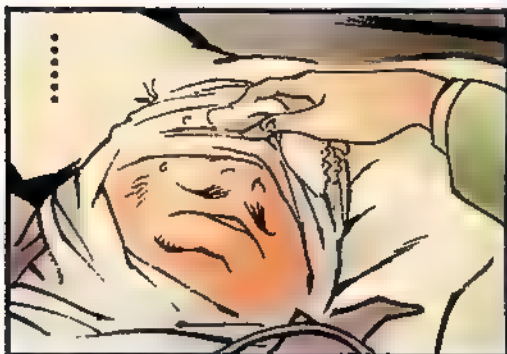
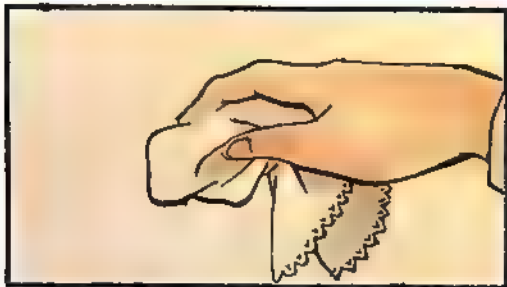
なにより
の心遣い
だ



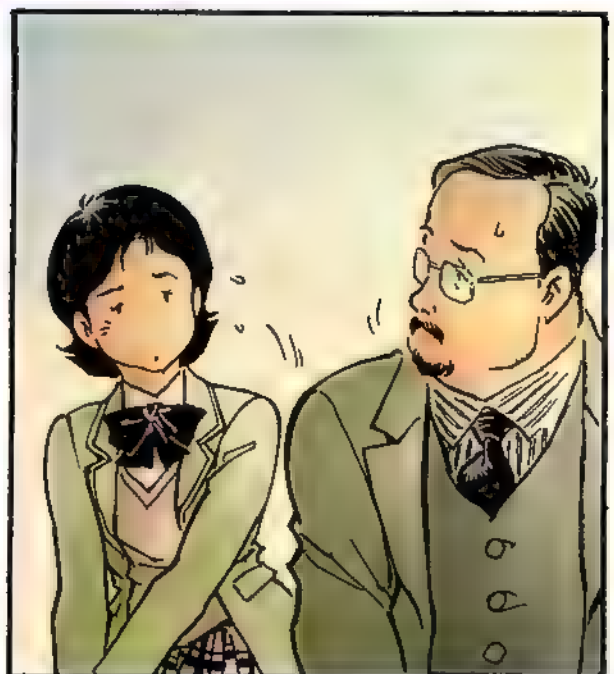
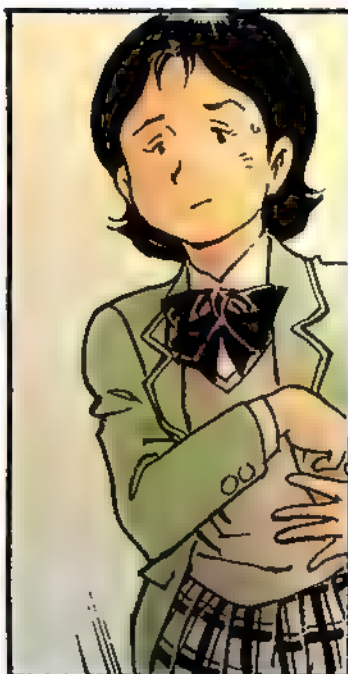
あの子達を
護ってなぞ
やれない
弱い私には

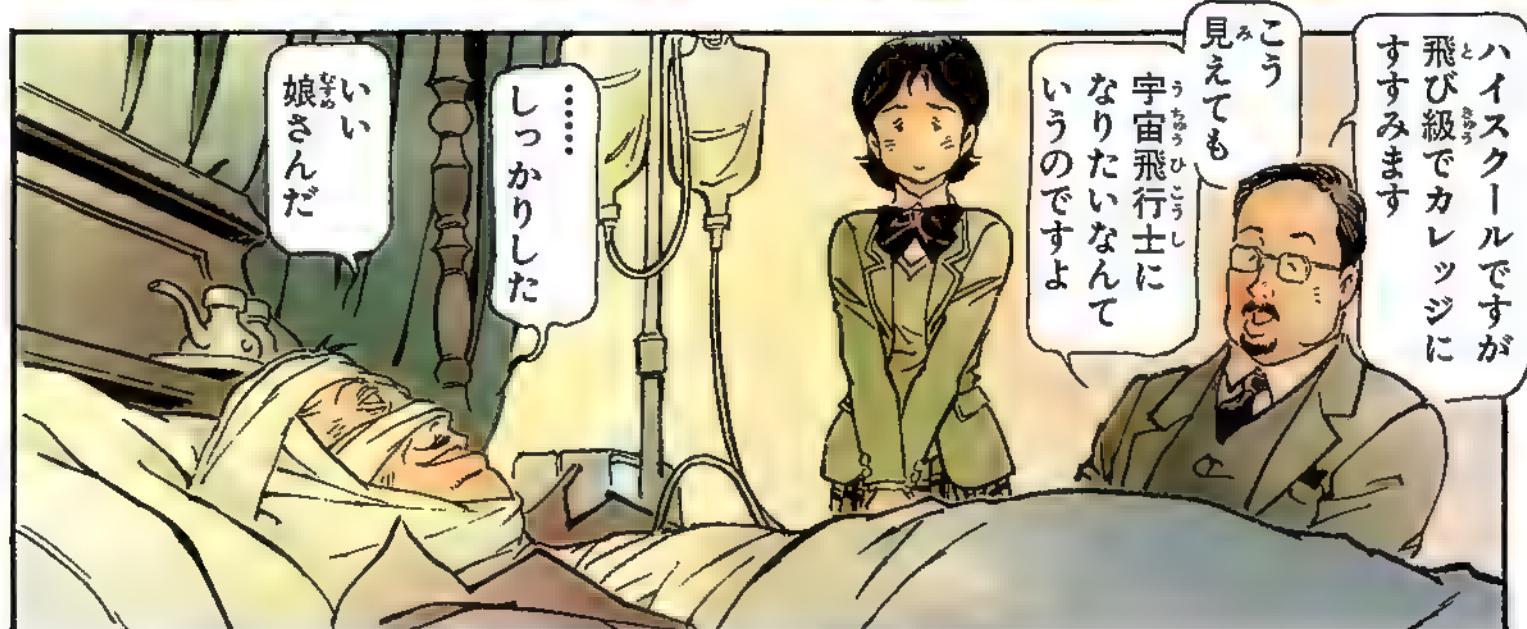
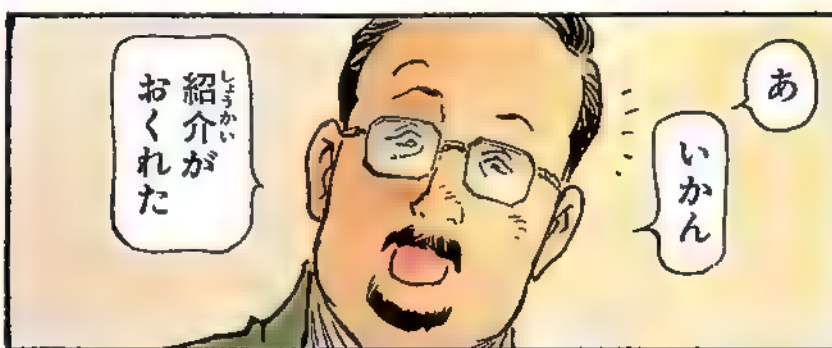
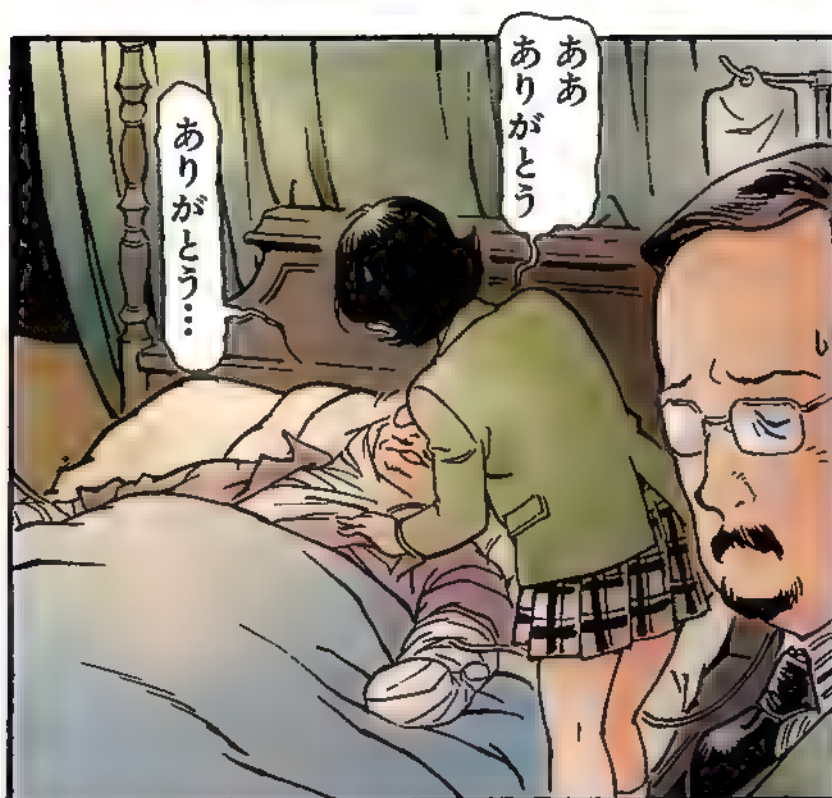
ほんとうに
そんなキミの
気持ち

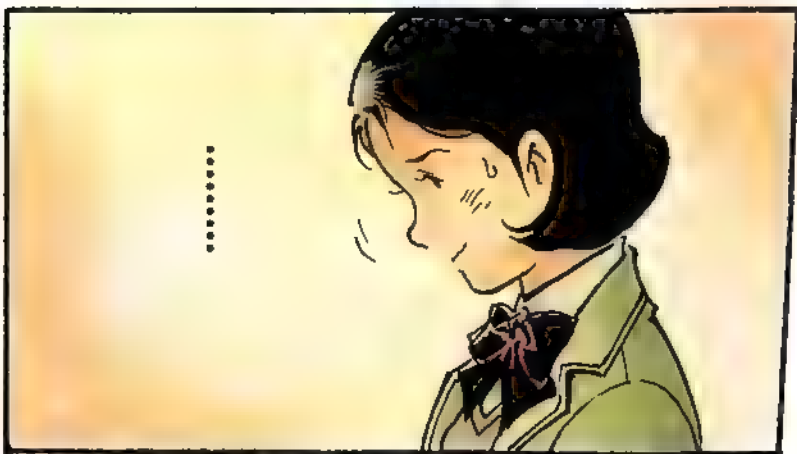
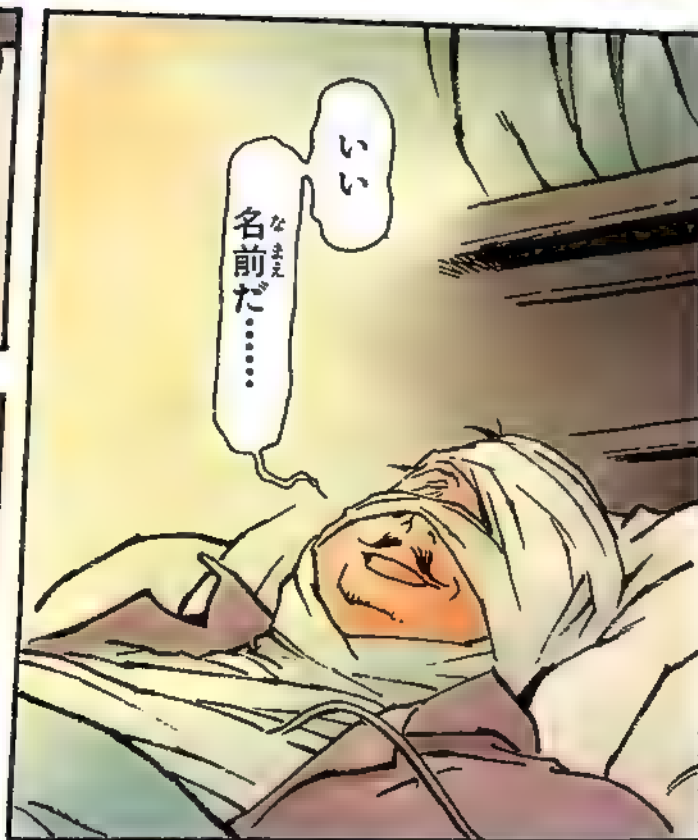
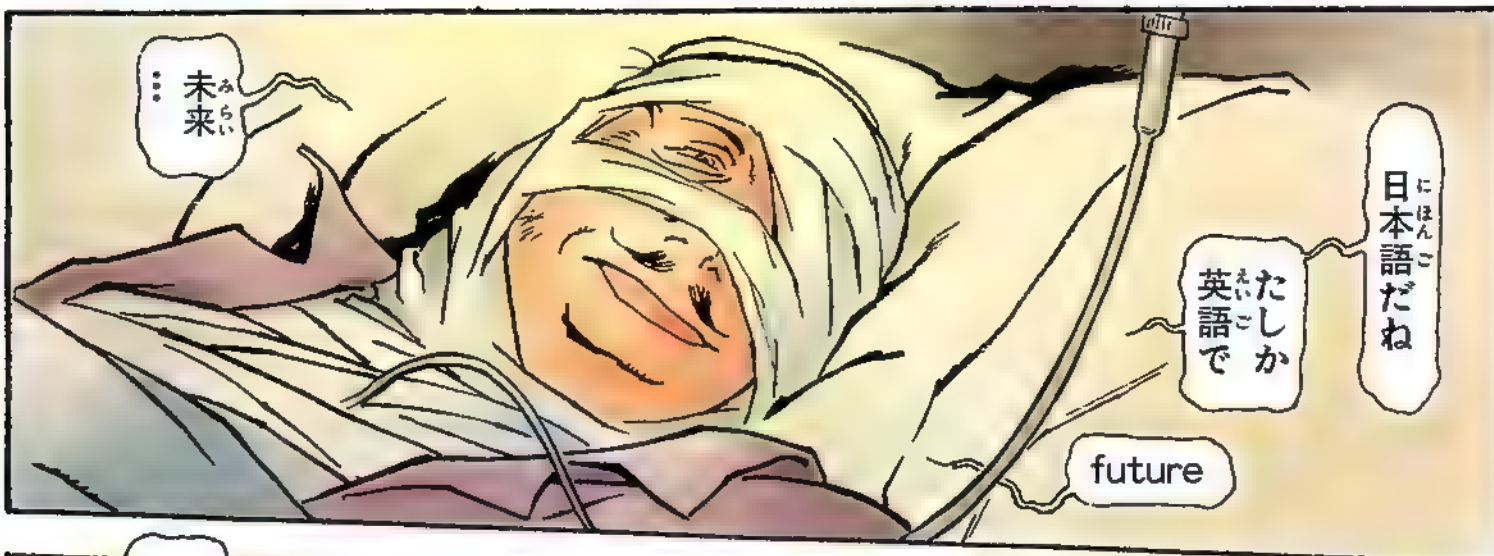
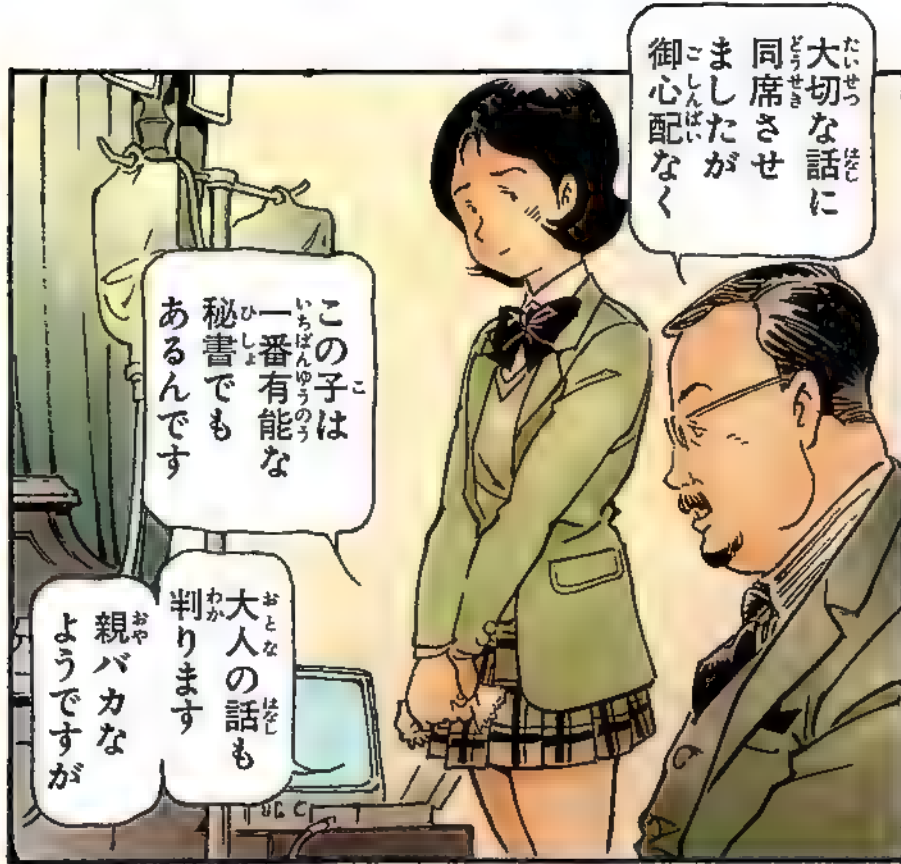
いちばん
.....

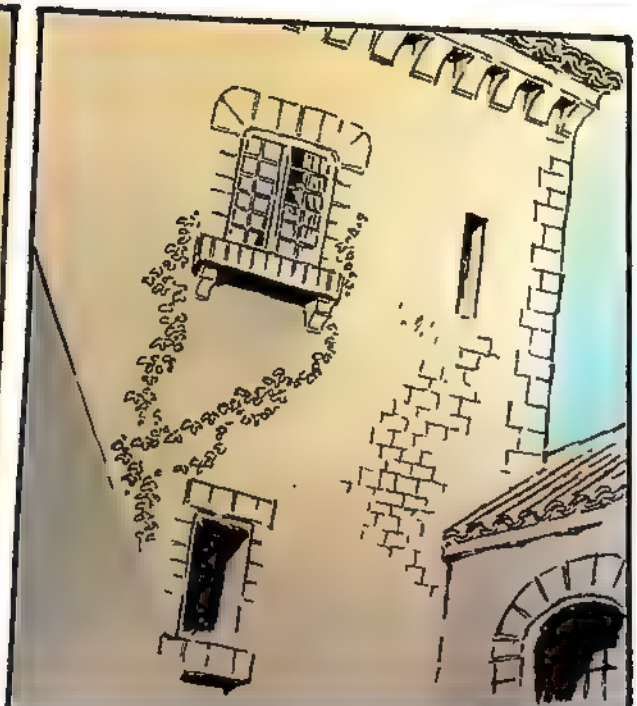
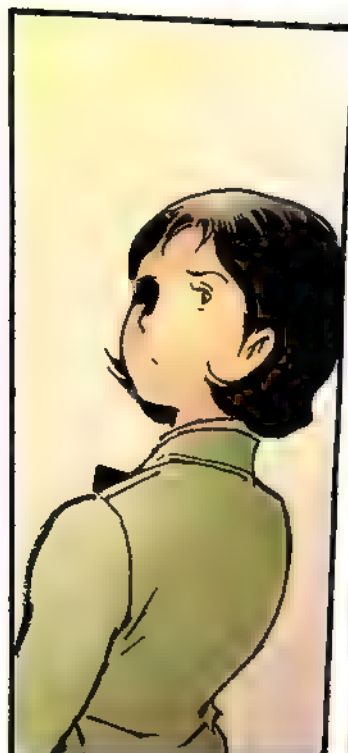
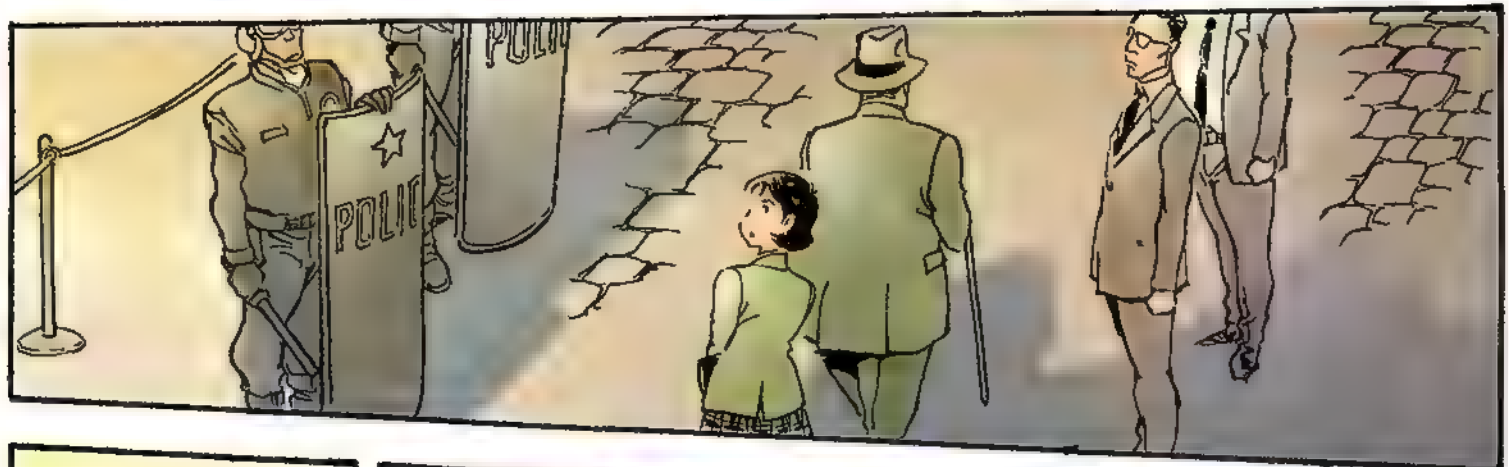
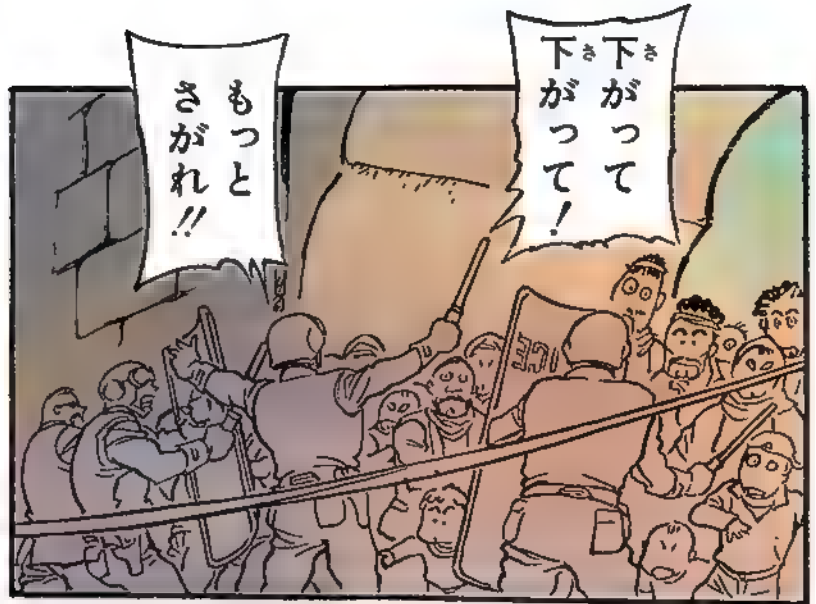


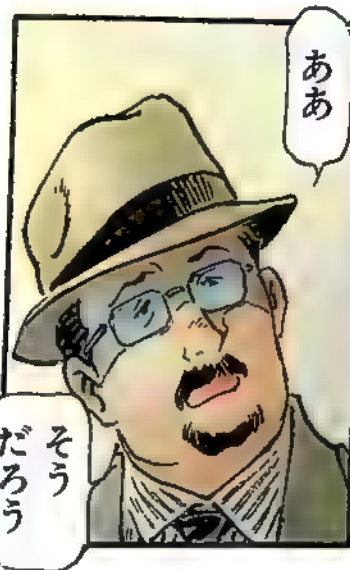
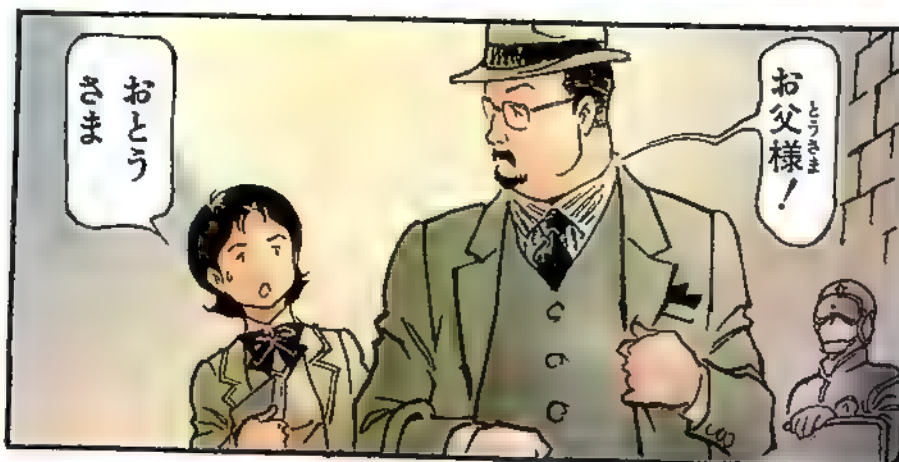
.....

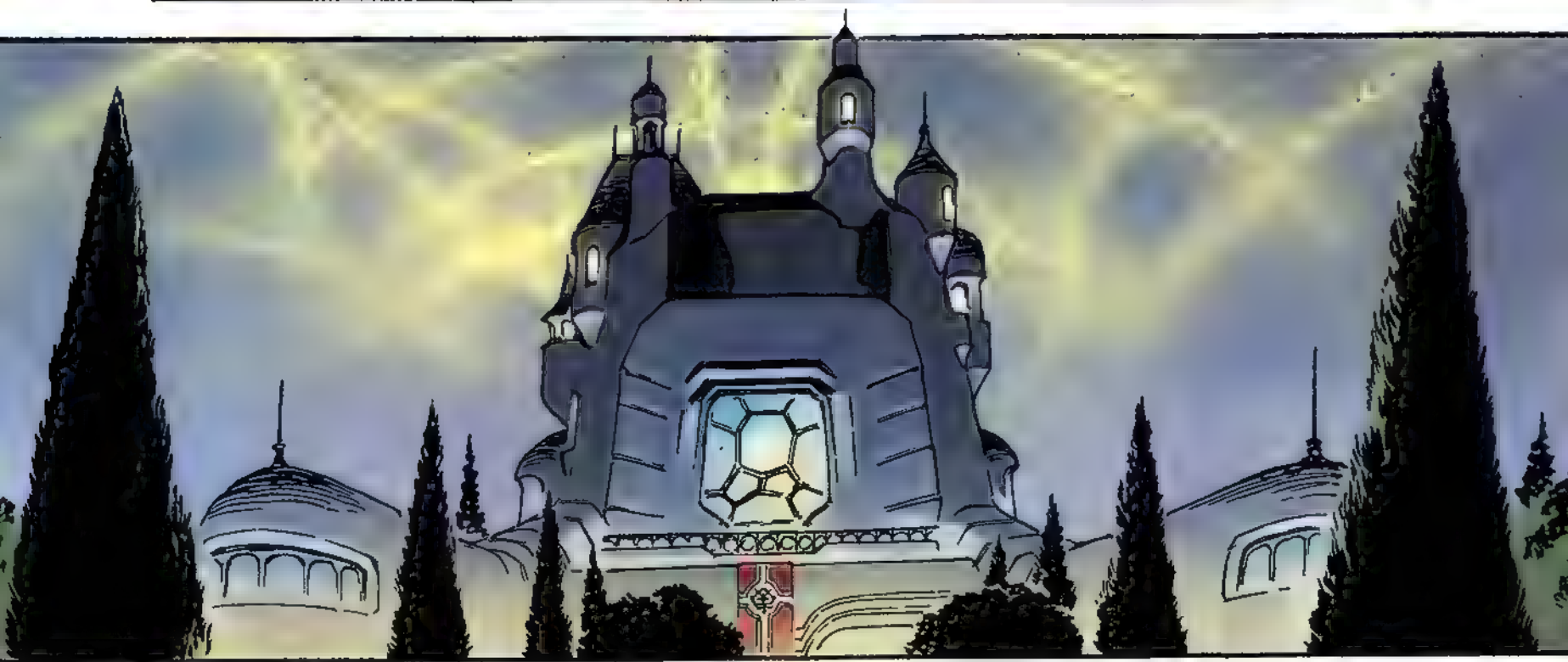
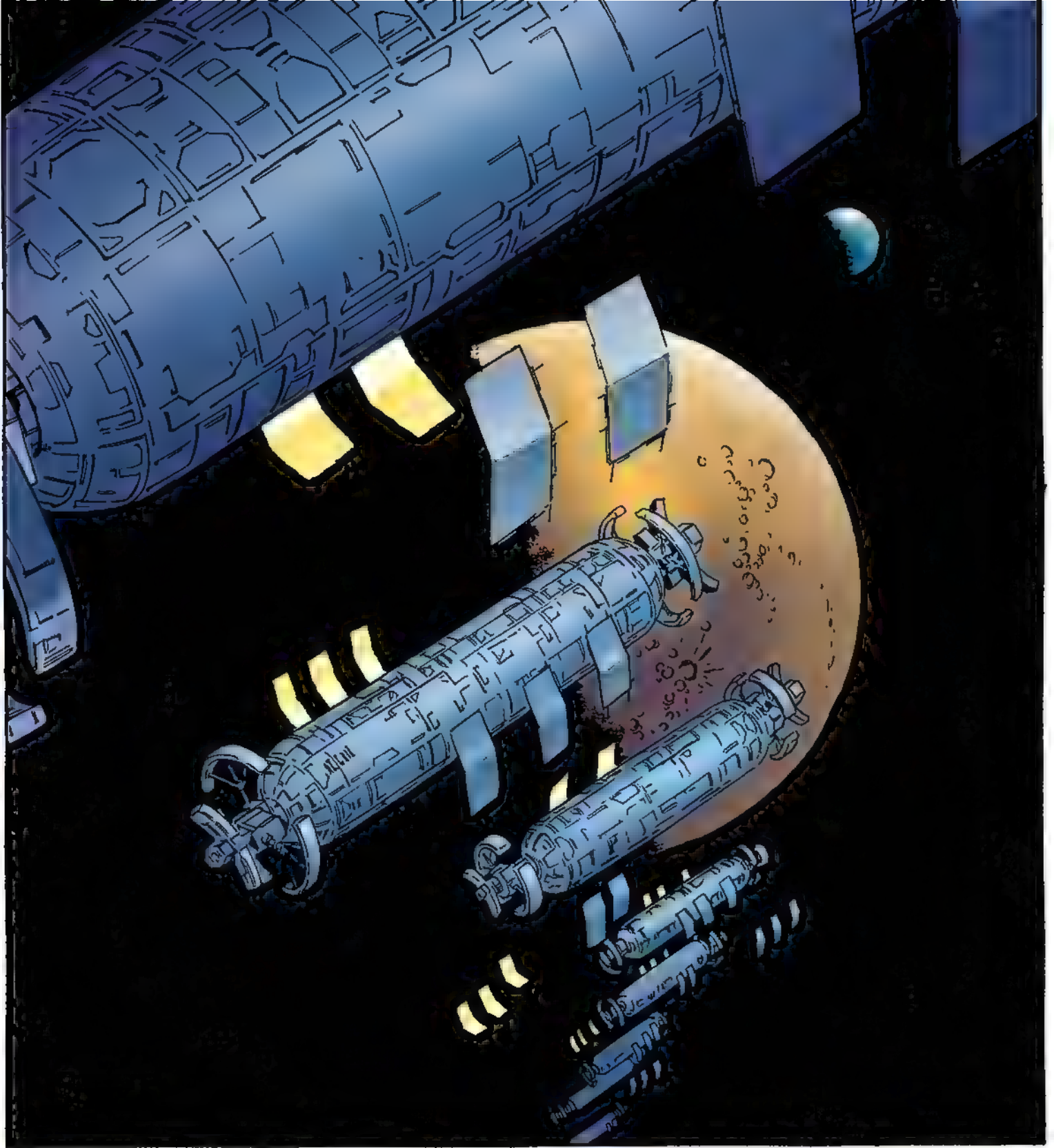


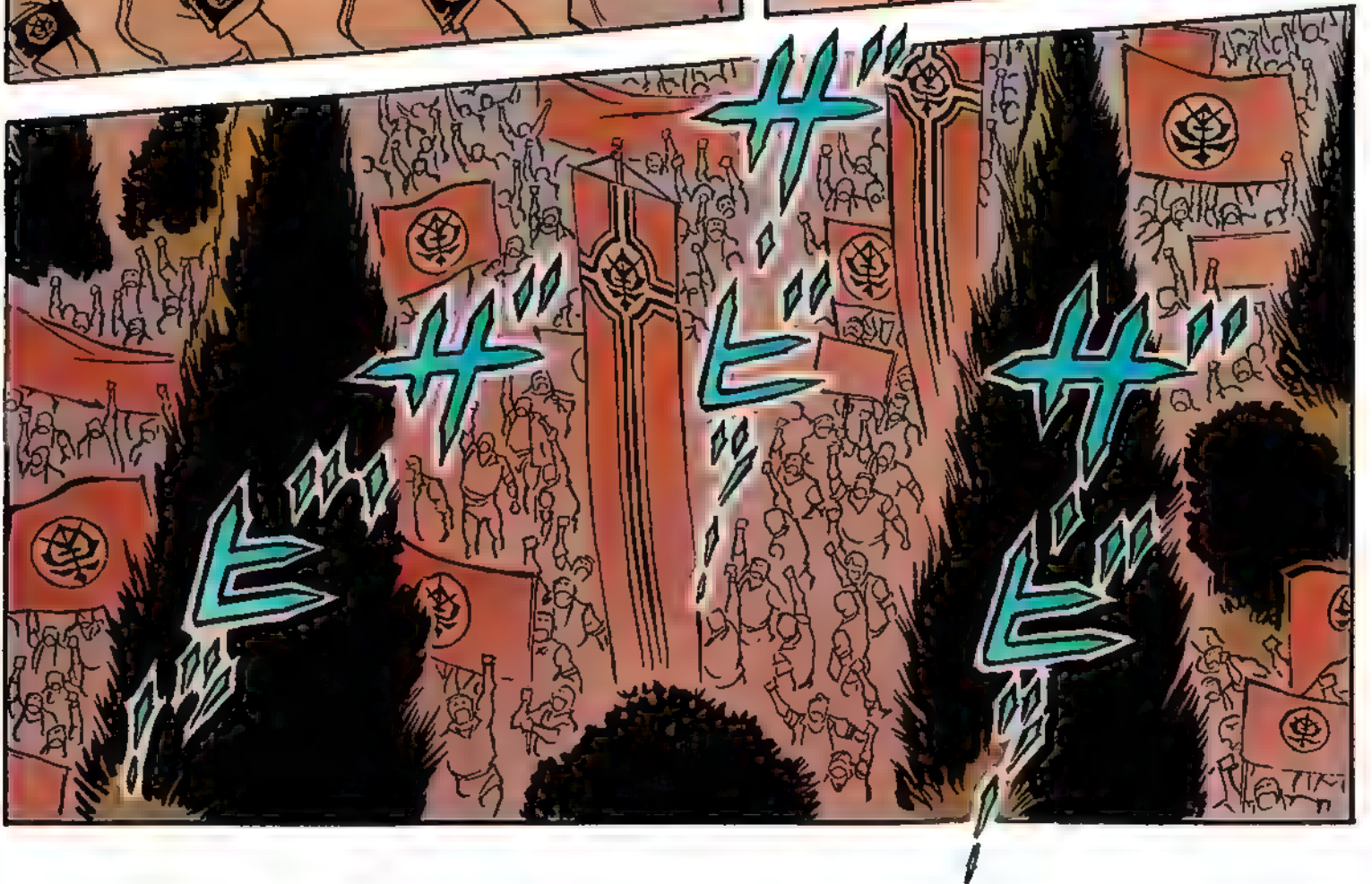
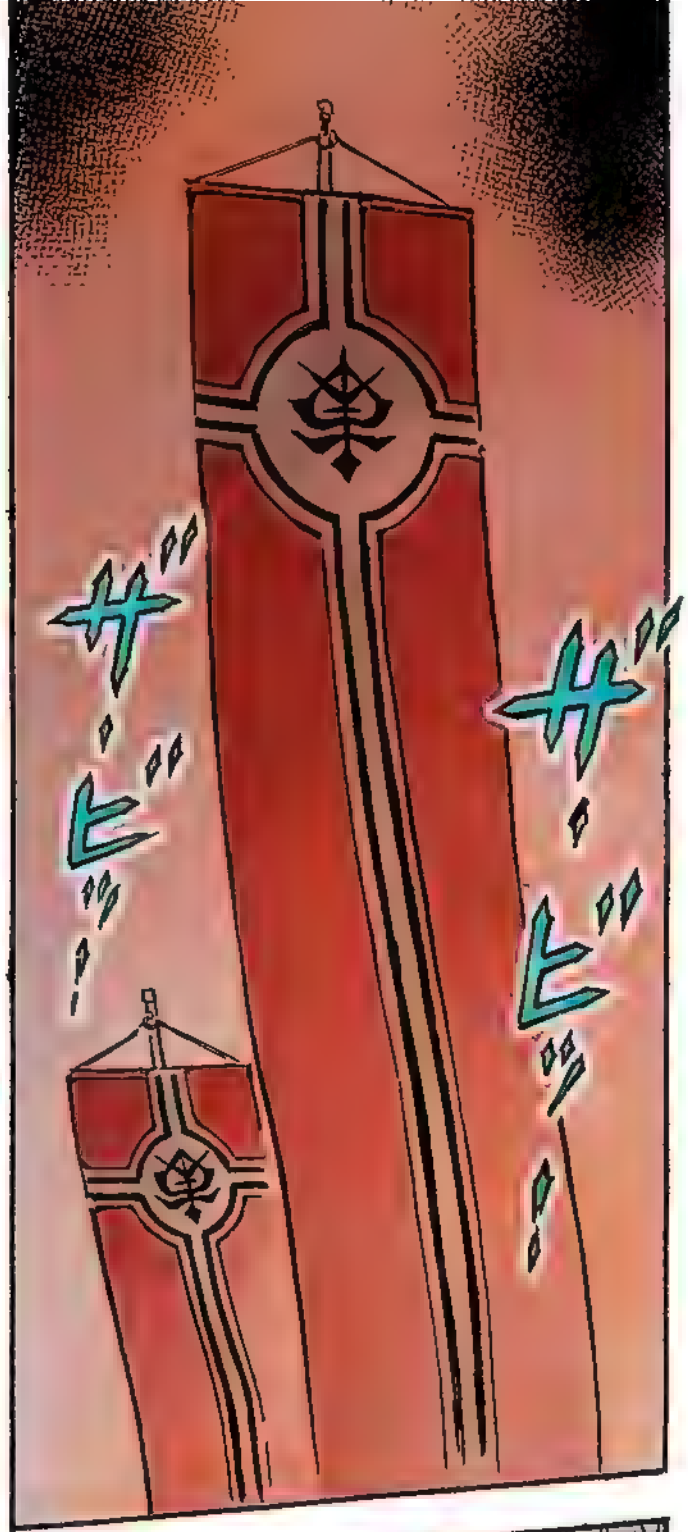
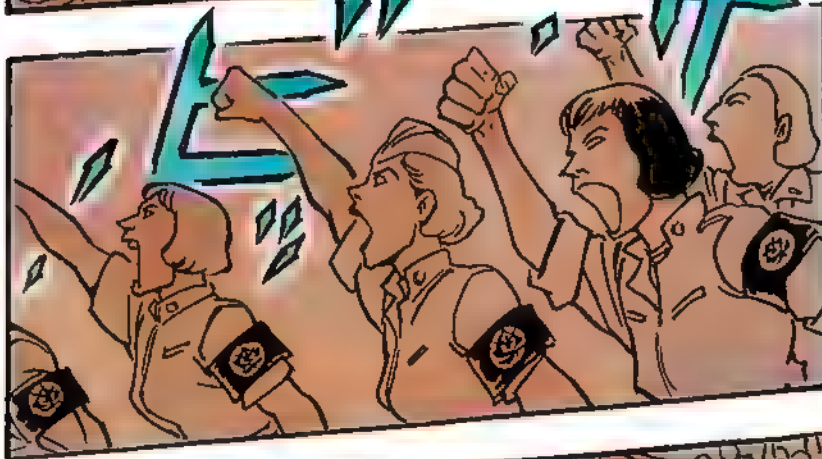
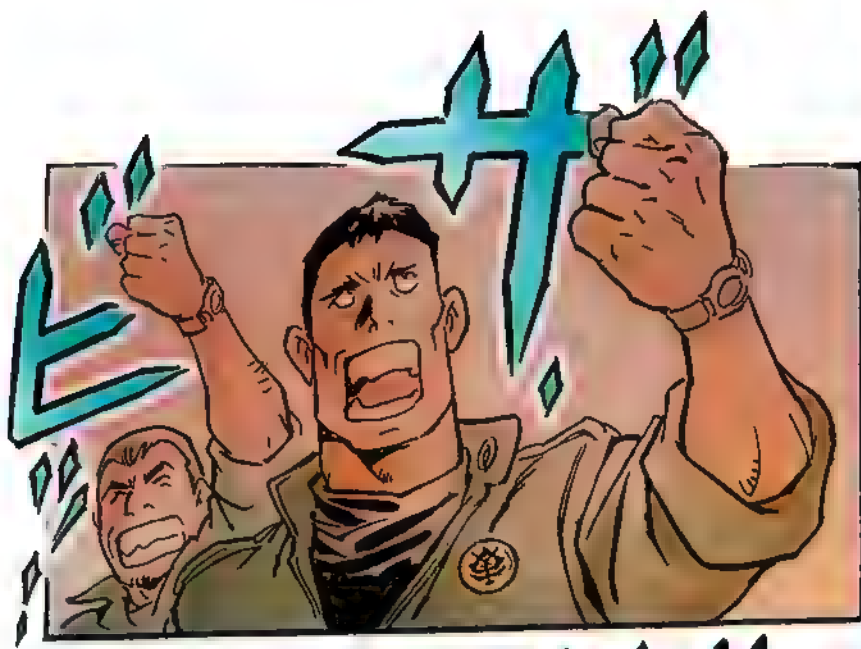


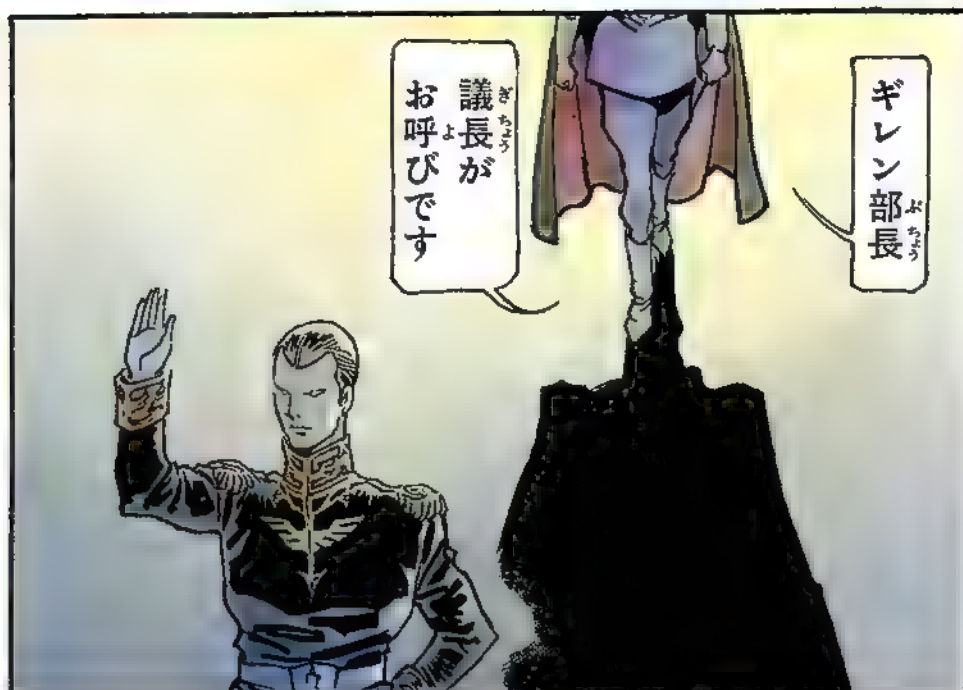
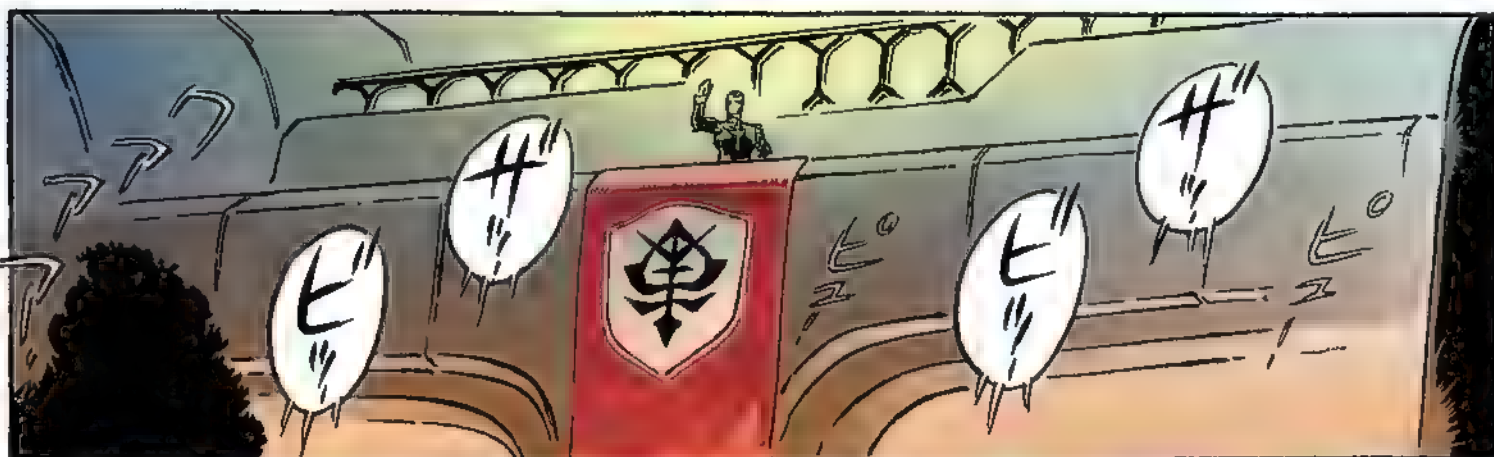
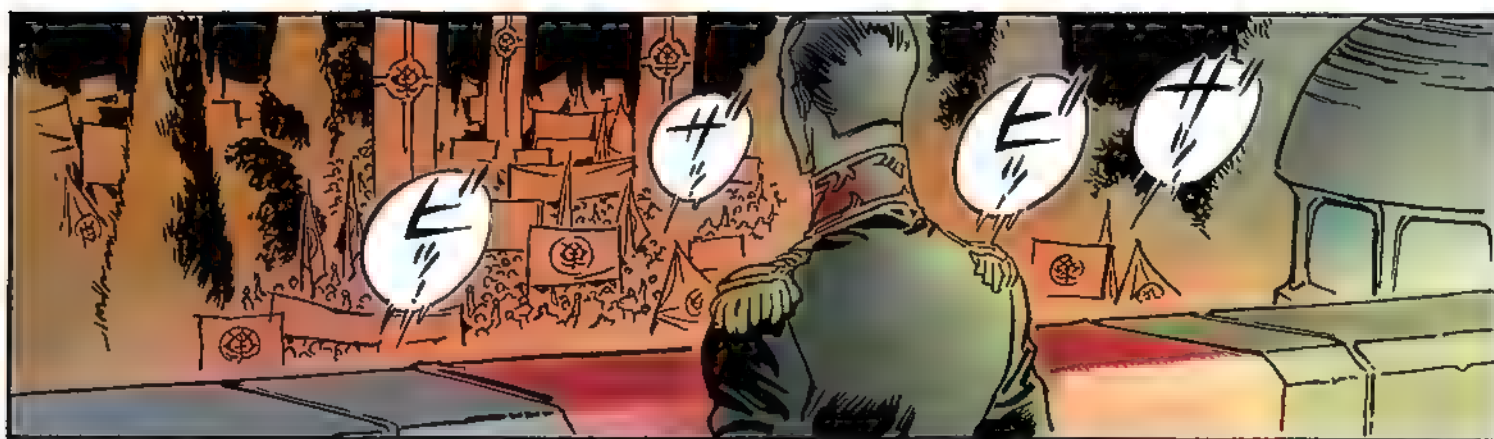
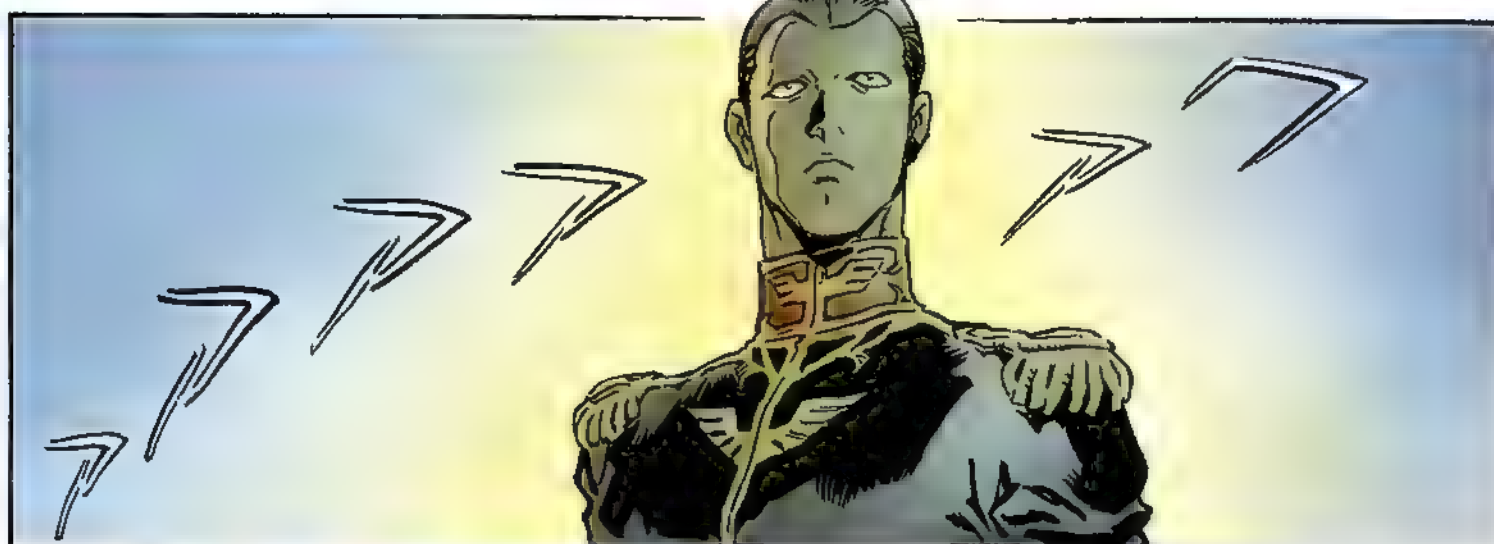


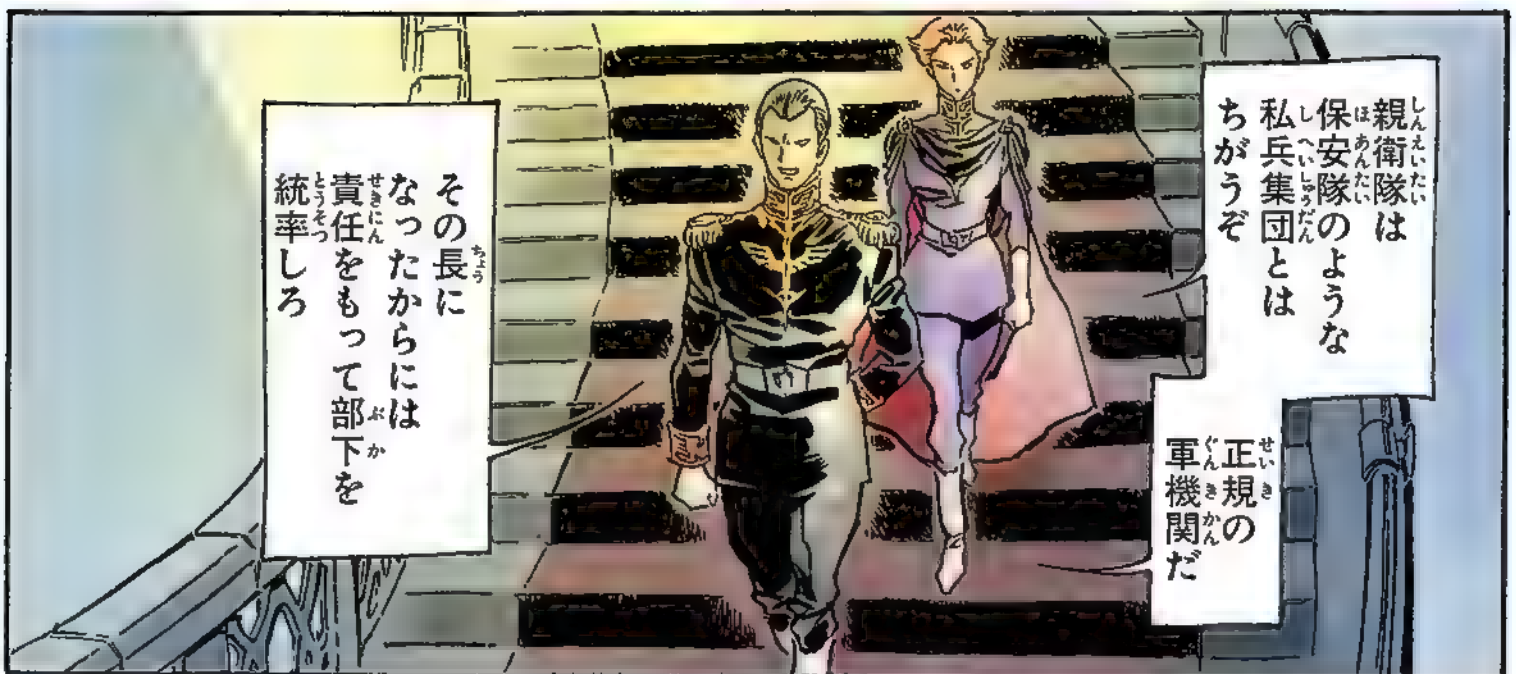
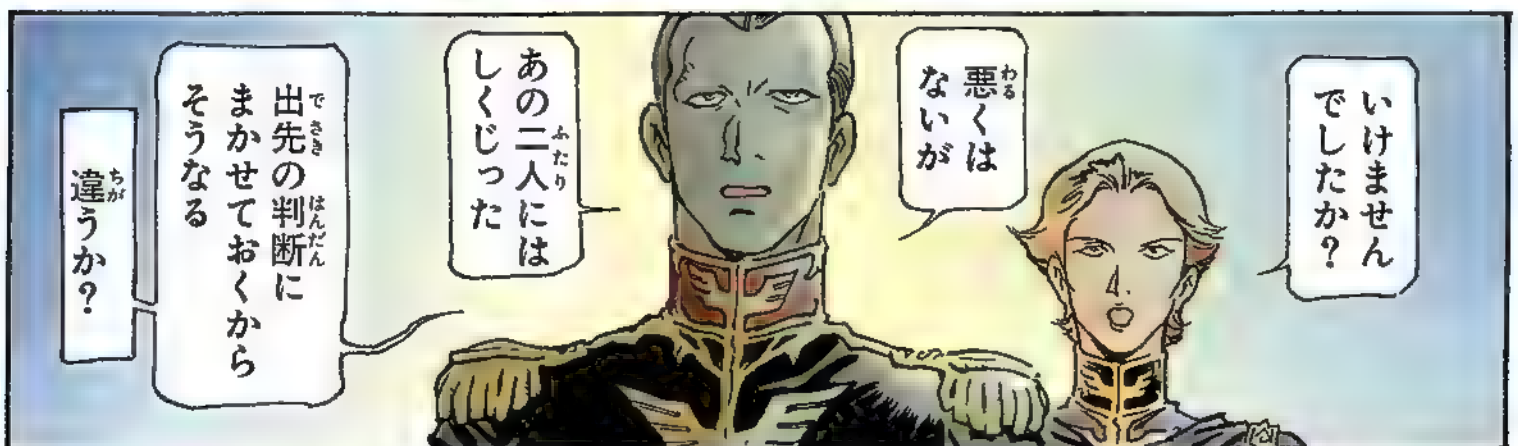
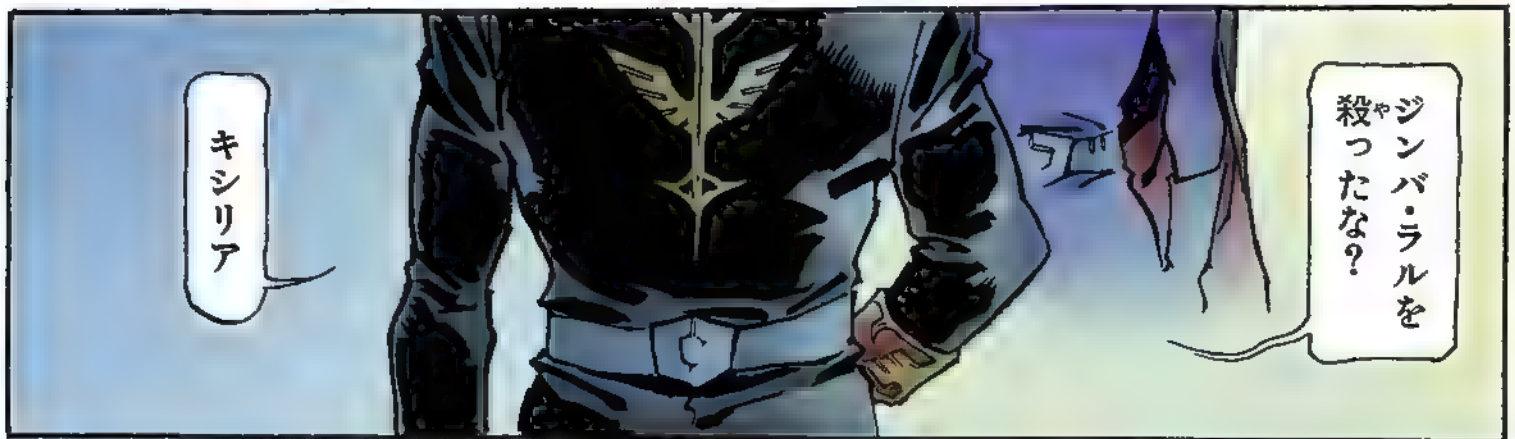
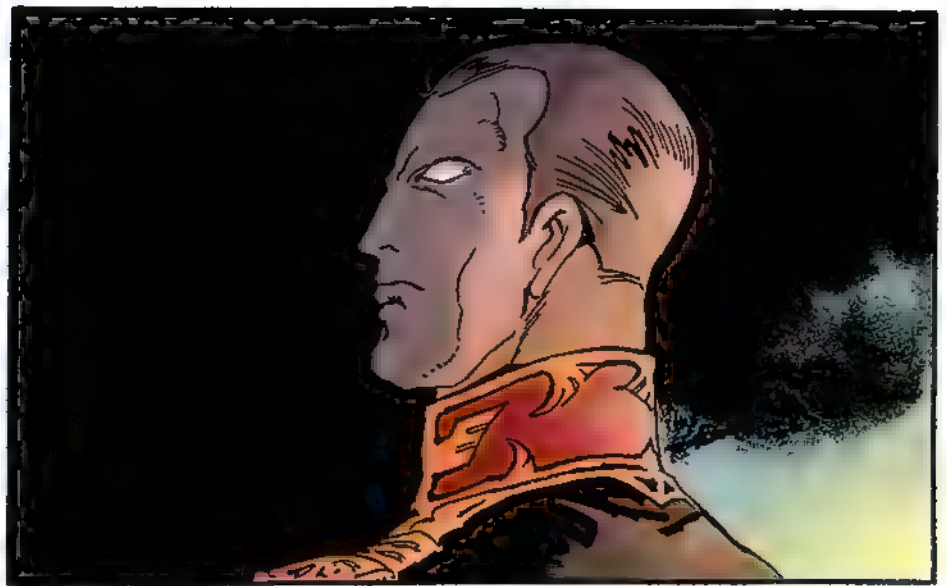
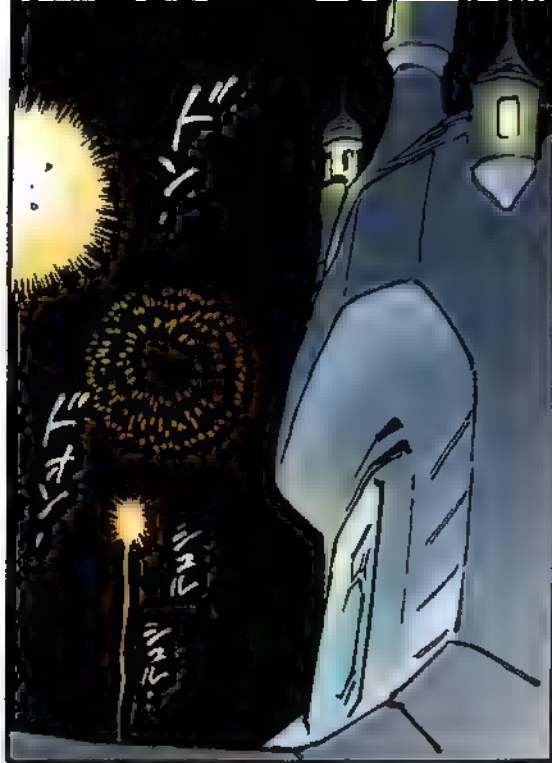


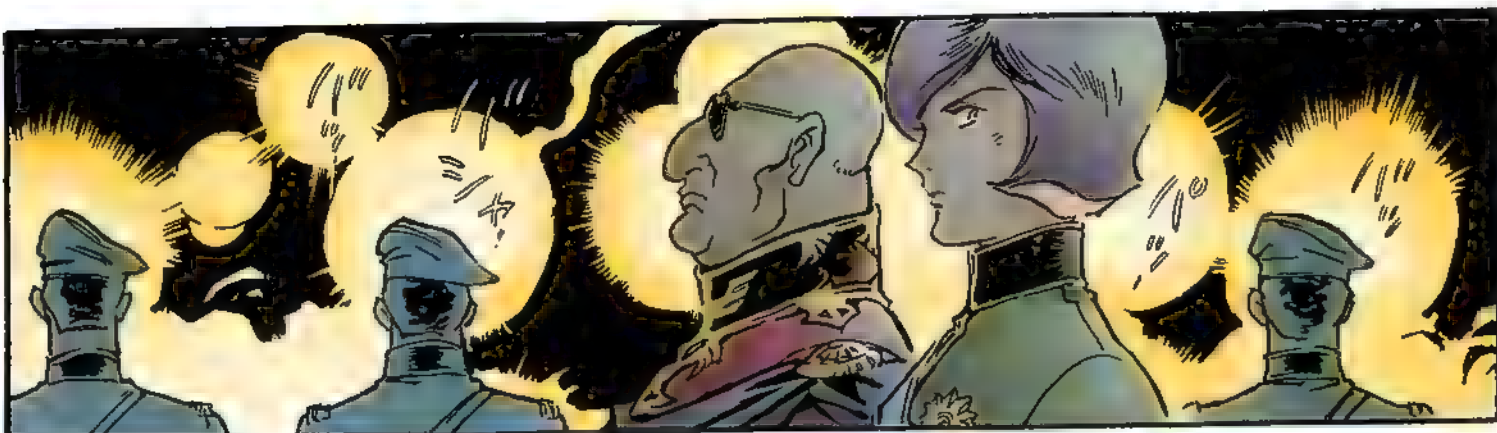
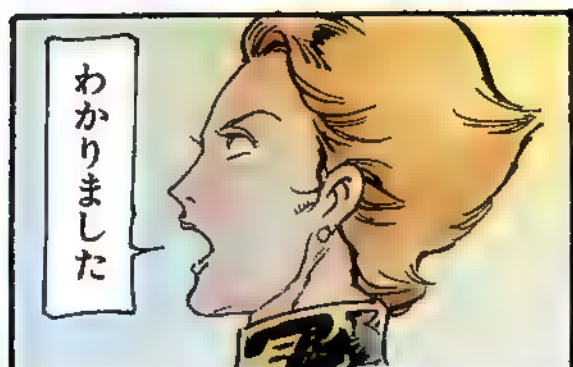
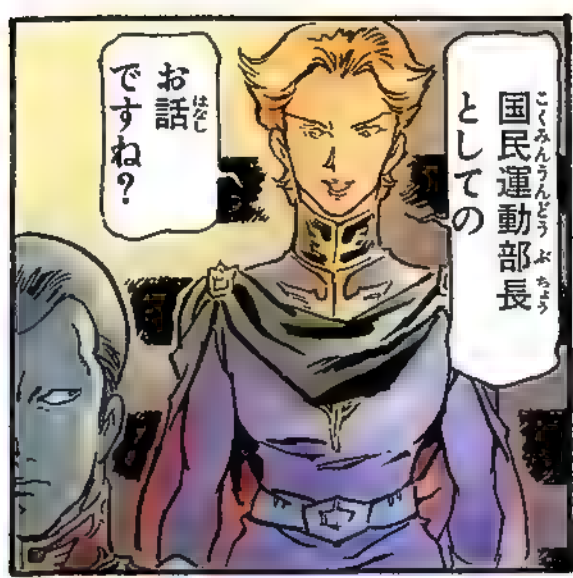


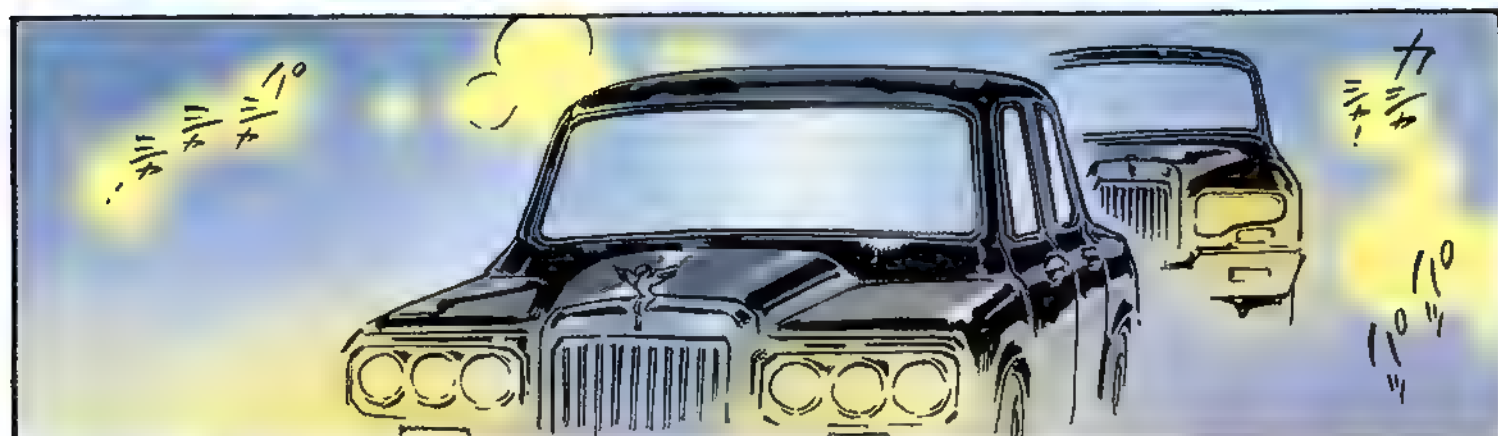
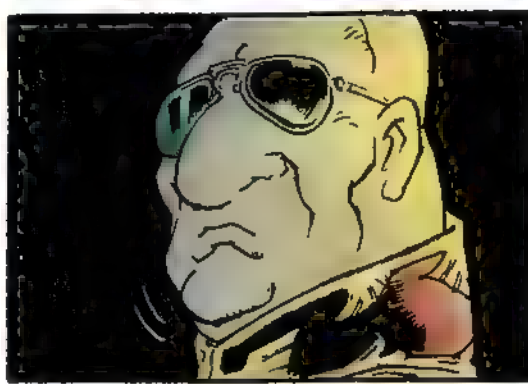
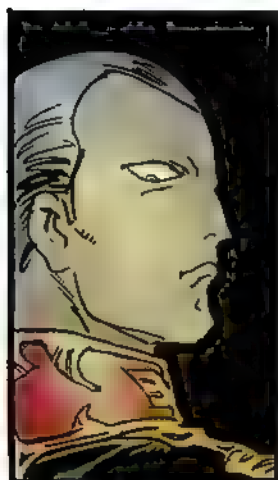


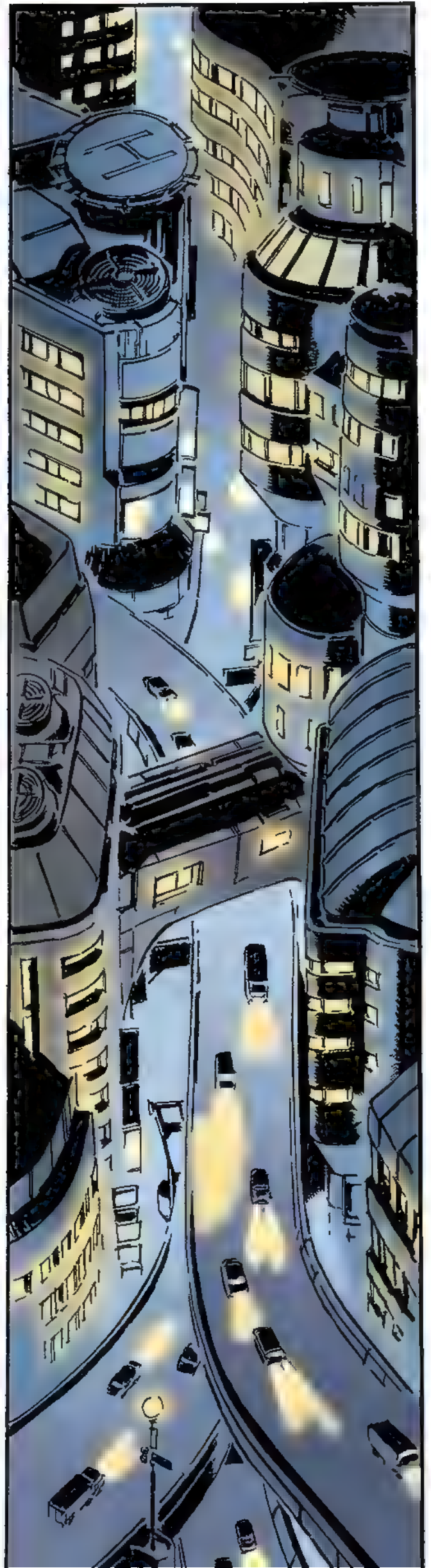
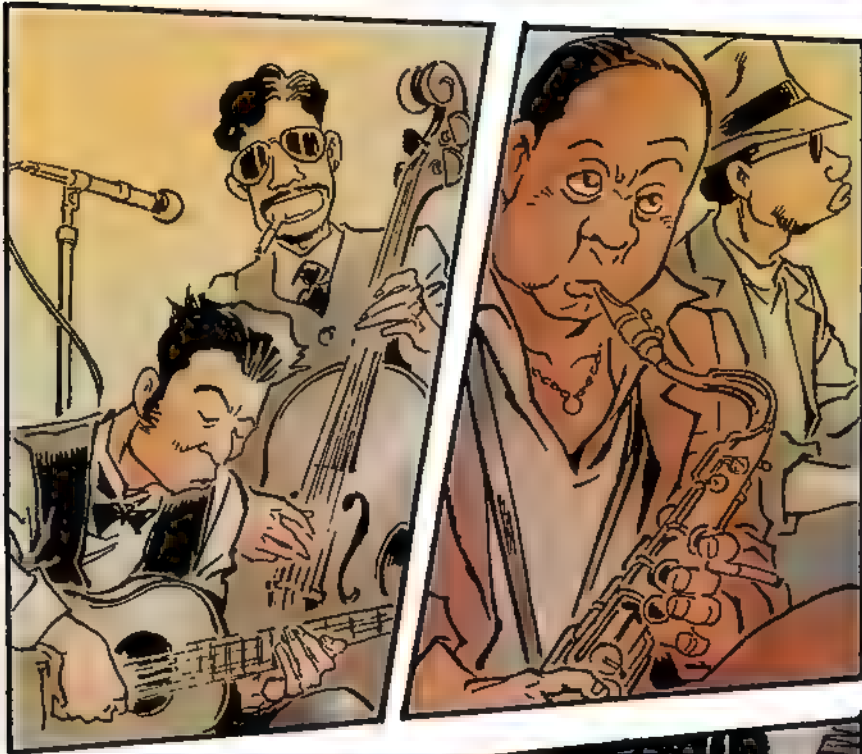
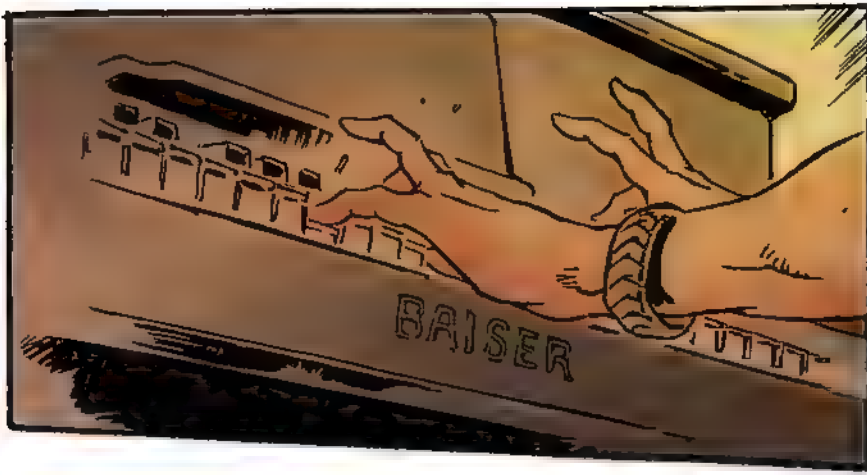


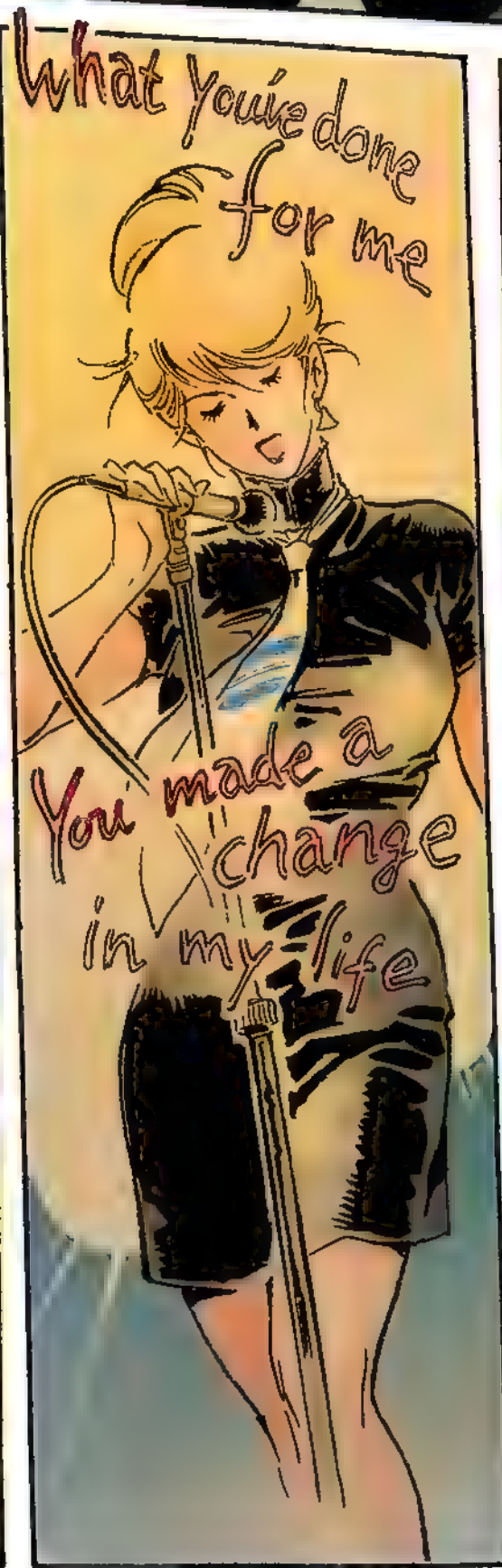
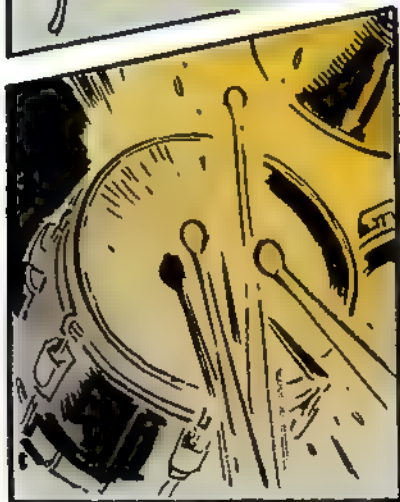
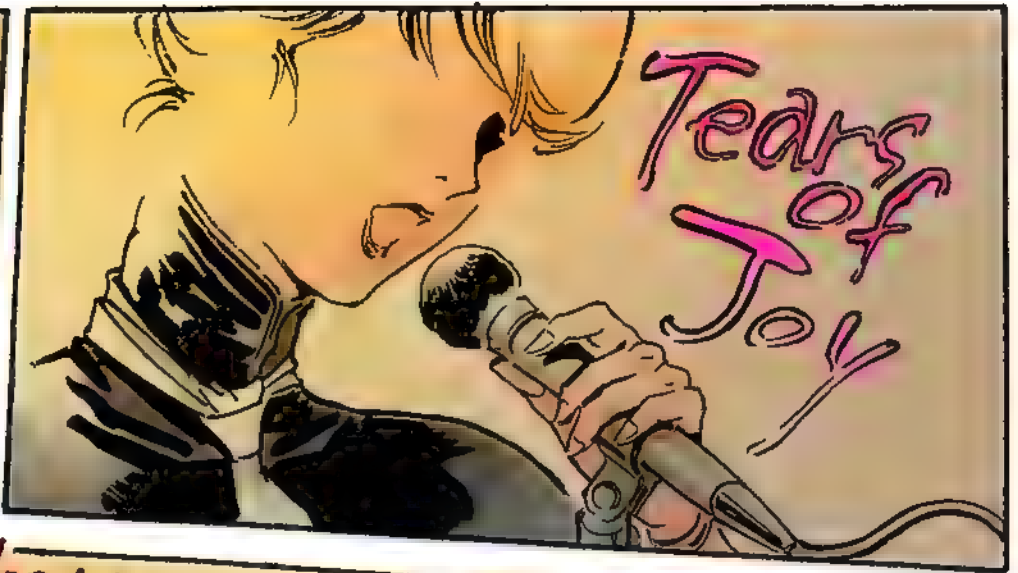
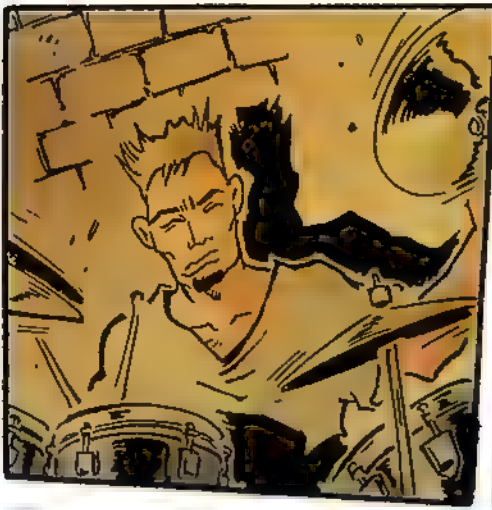












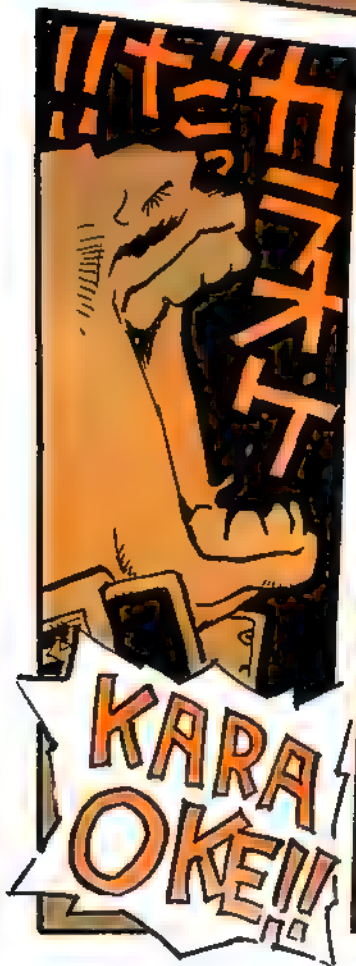
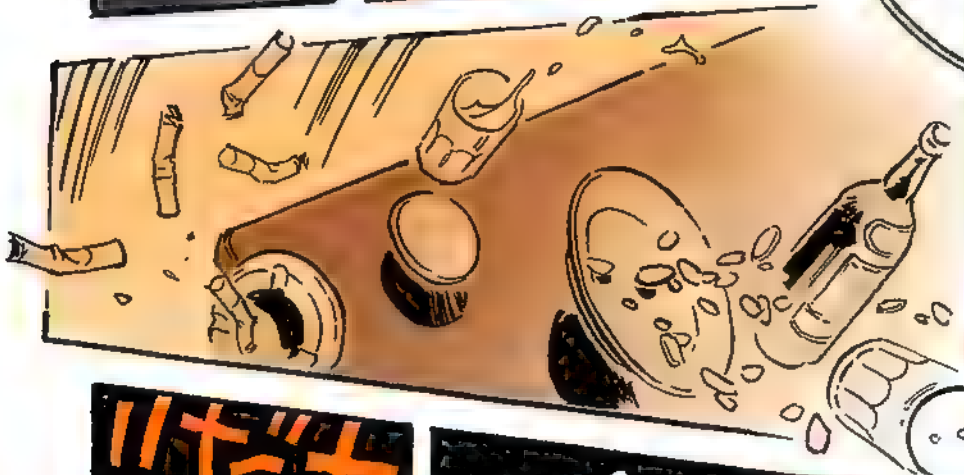


tears of Joy



Any time I shed a tear

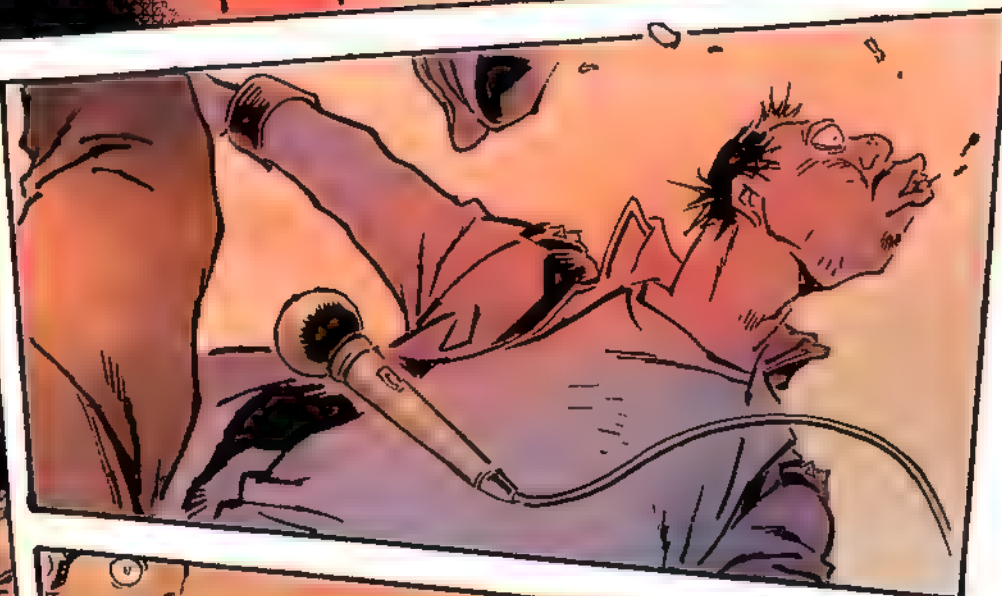
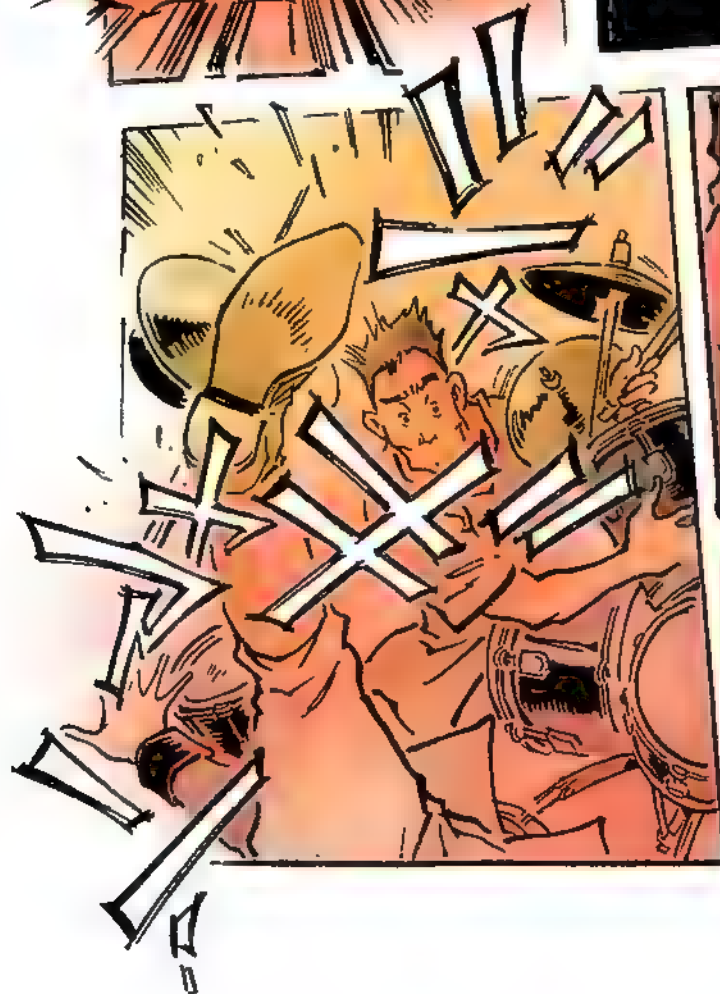
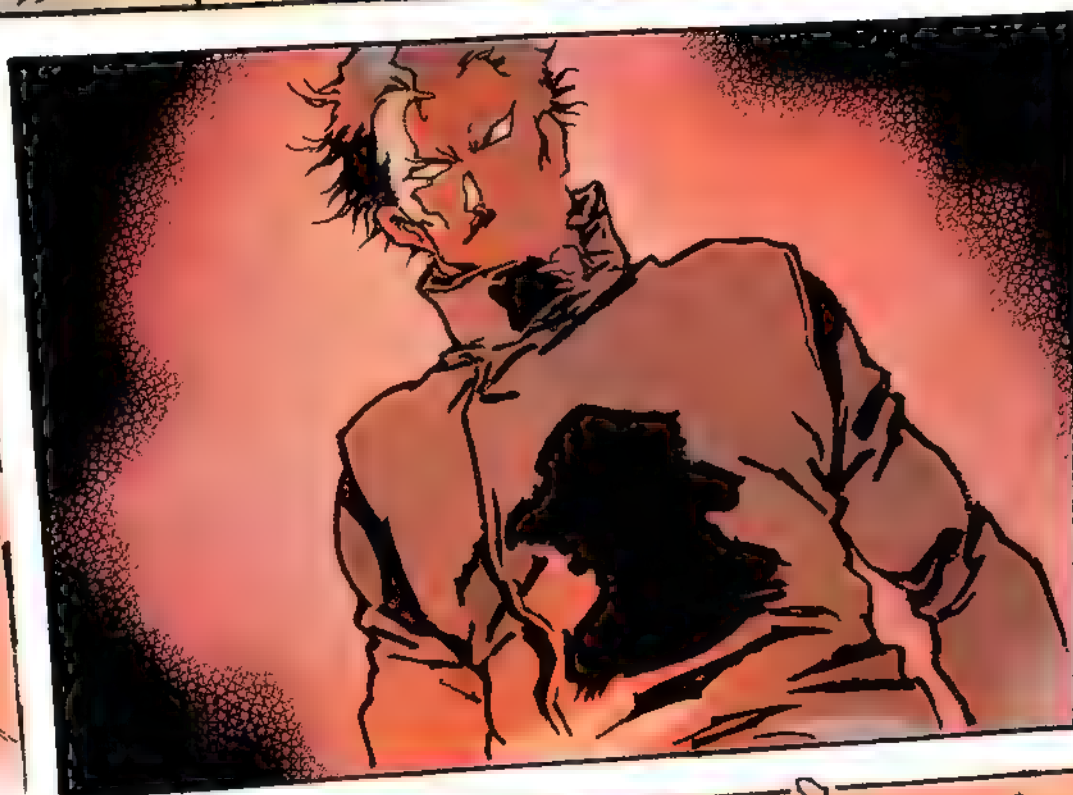
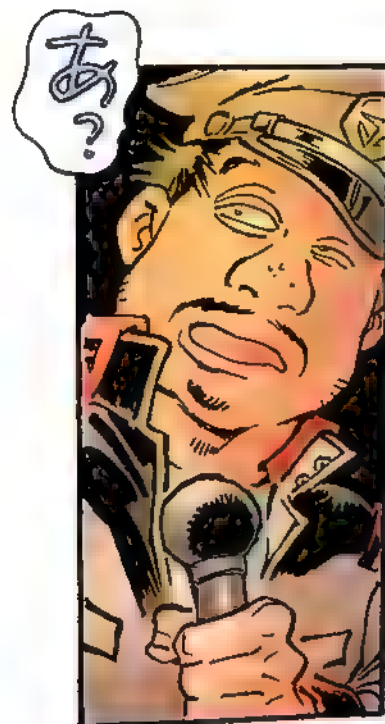
I'm Crying

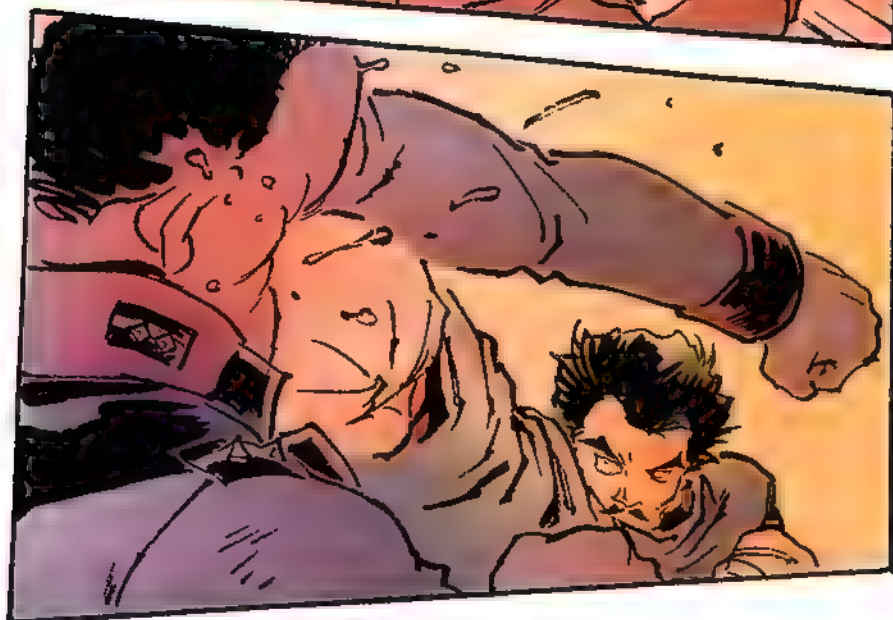
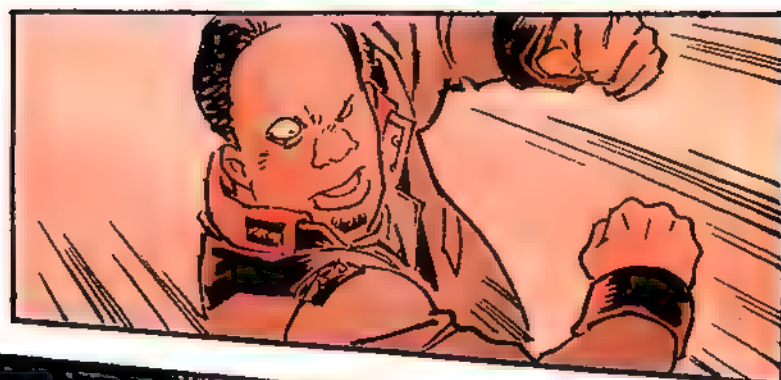


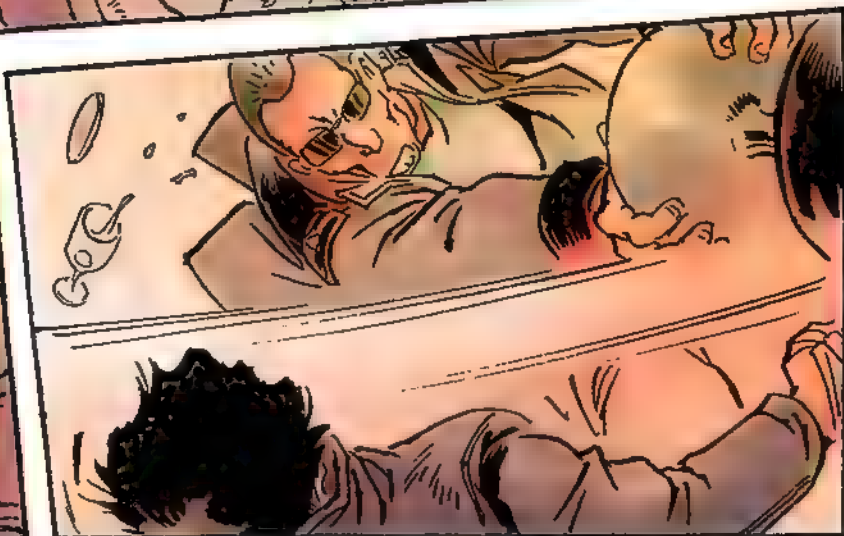
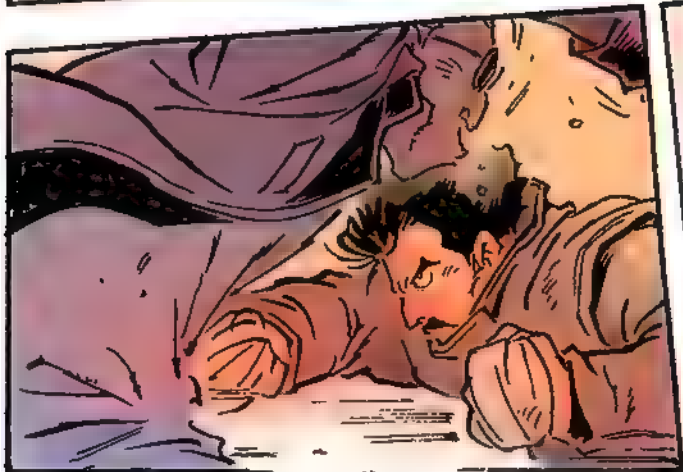
KARA OKE!!

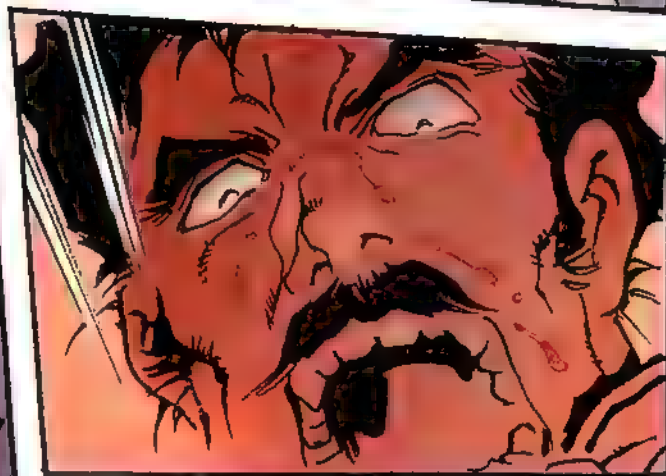
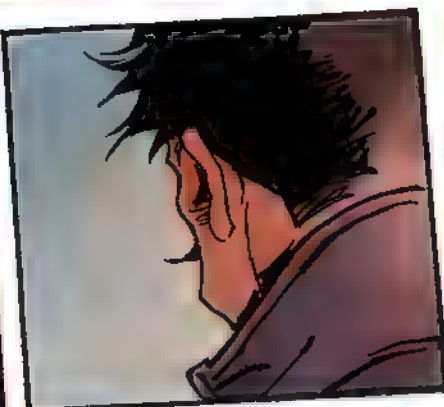
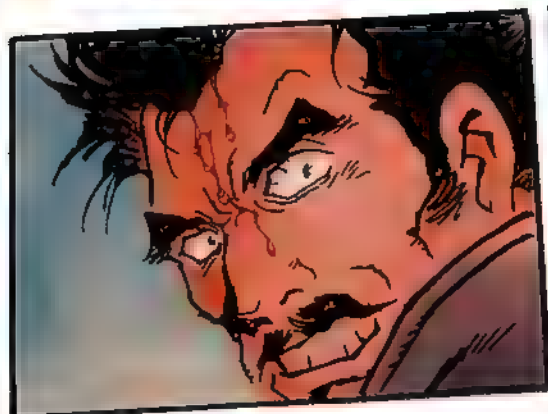


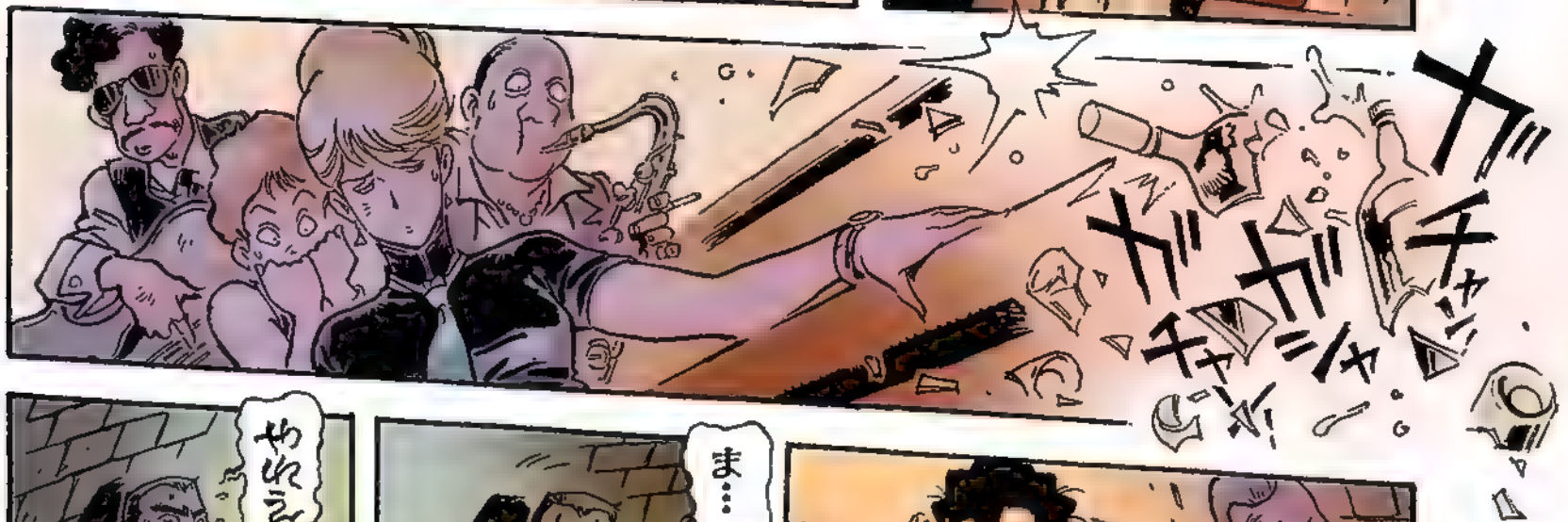
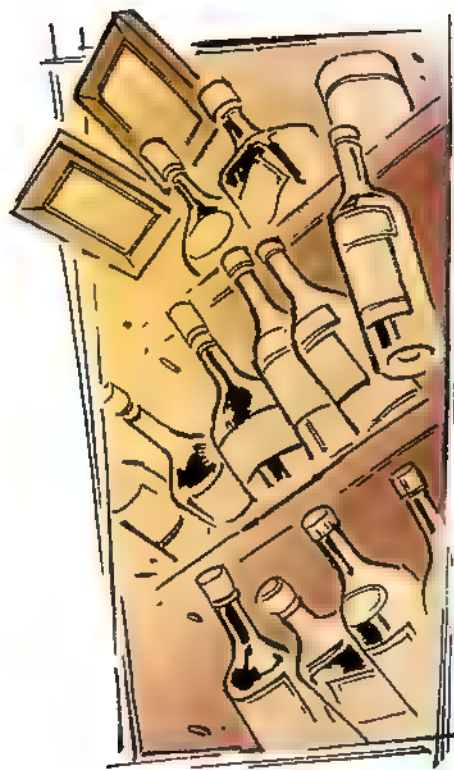
わいの
わかん
うた
歌は
もおお
いっ!!







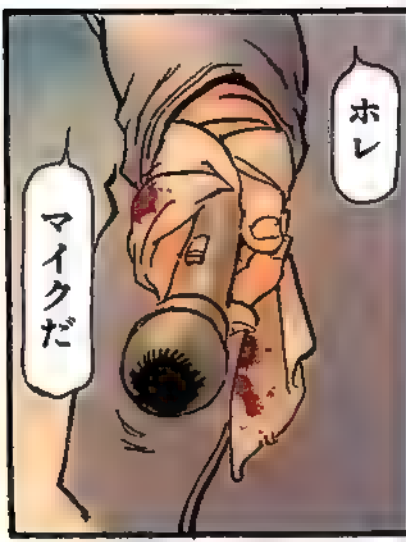






聞いて
やる

うた
歌え



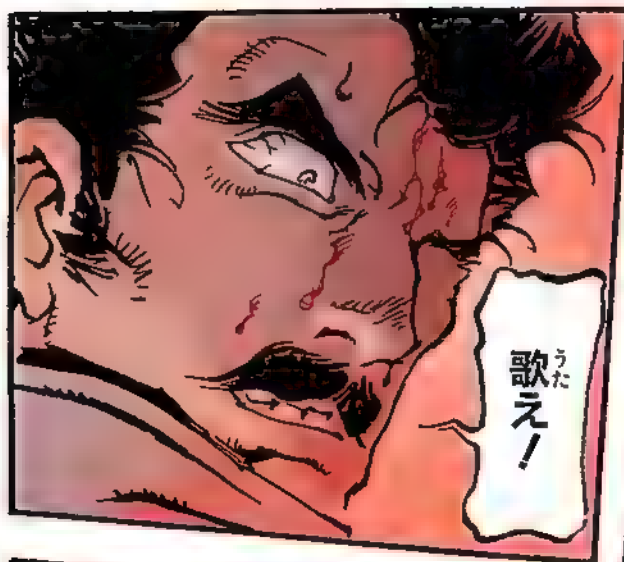
ホレ

マイクだ



はや
早かろう

まだ帰るには

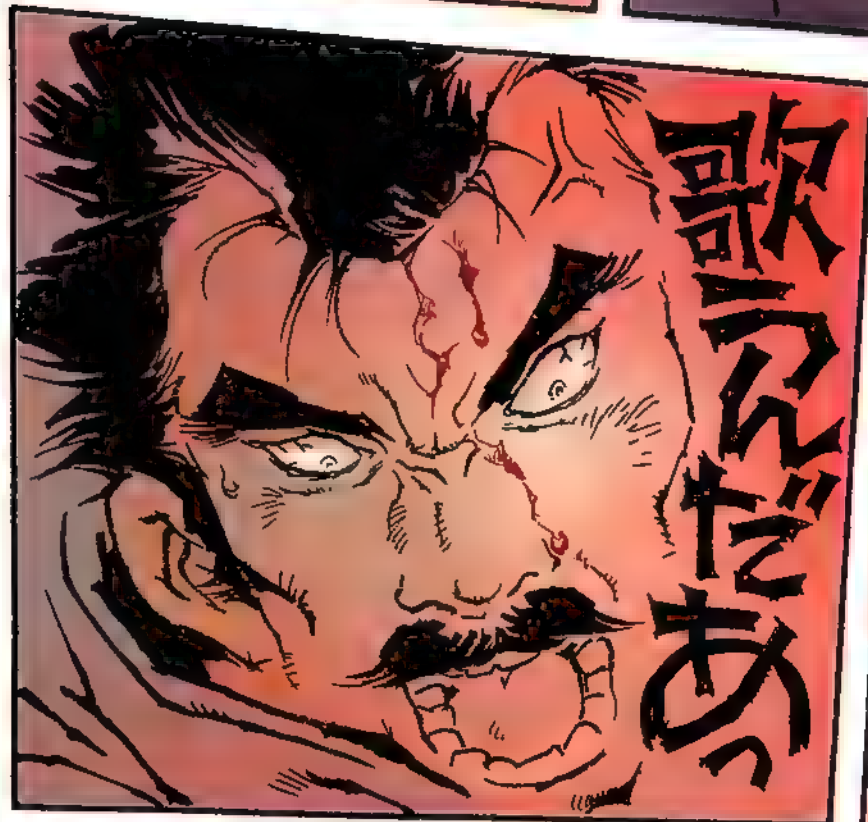


うた
歌え!

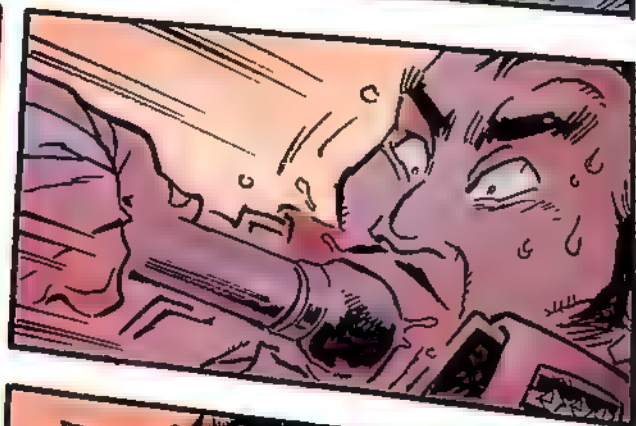


いや...

もう...



歌えだあ



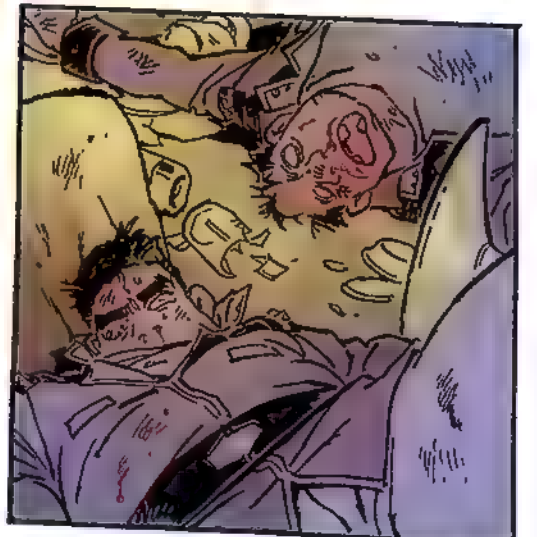
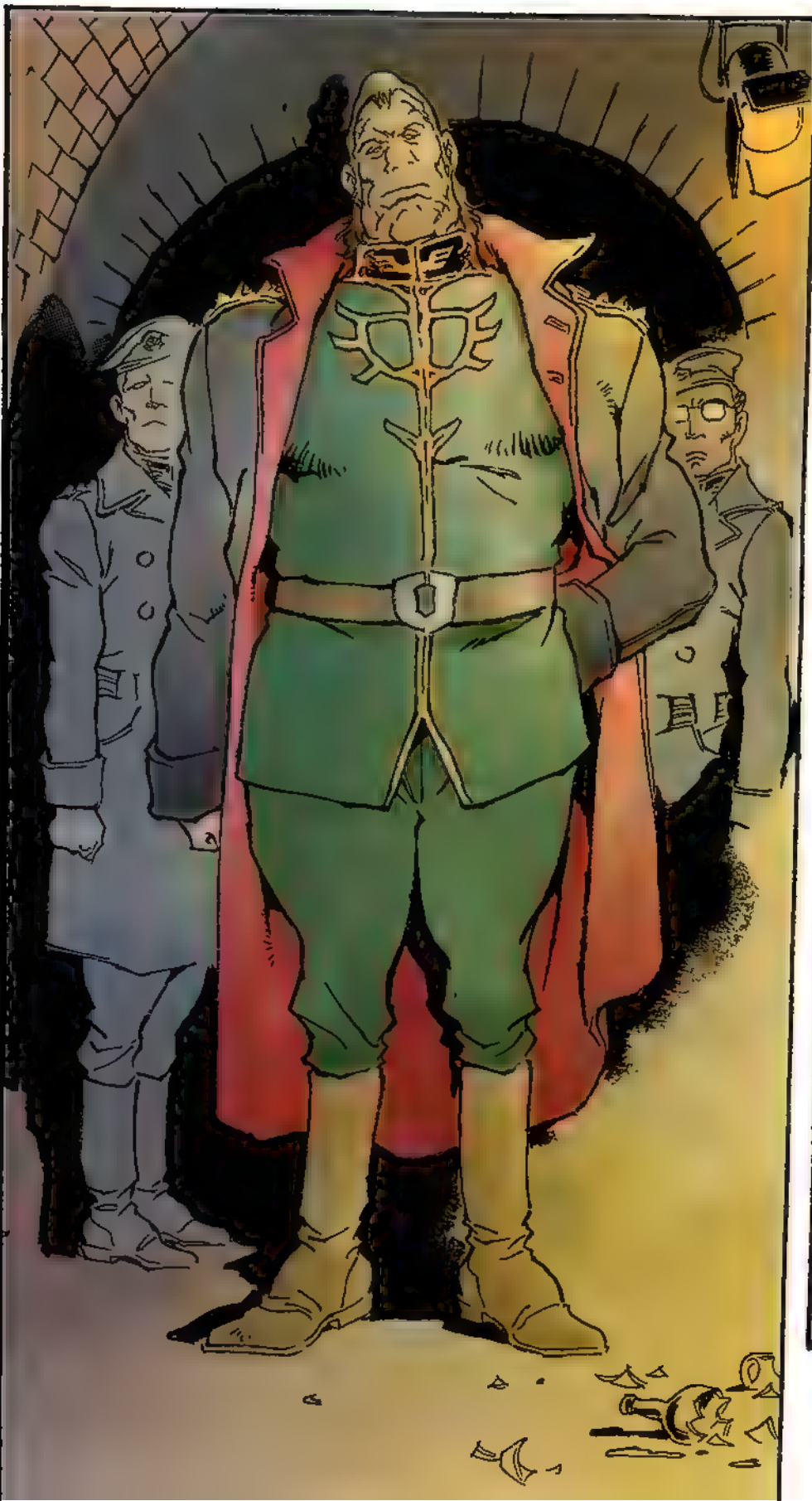
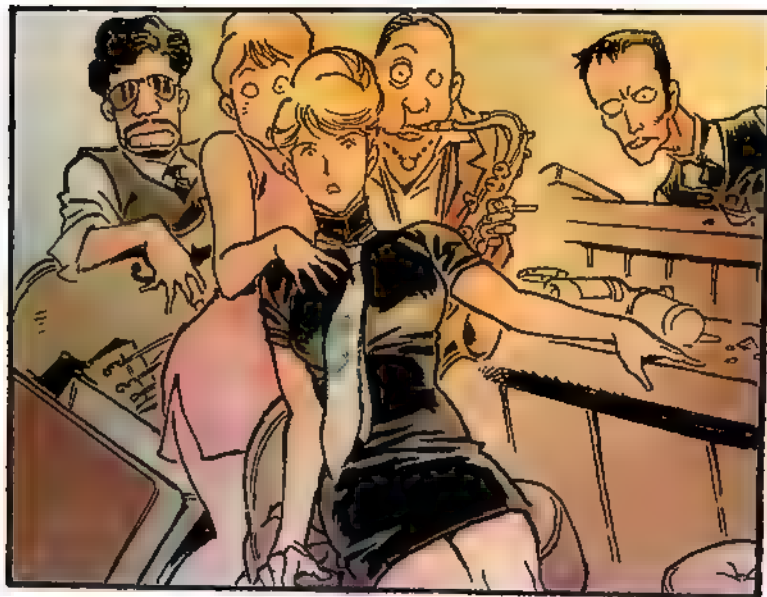
さあ

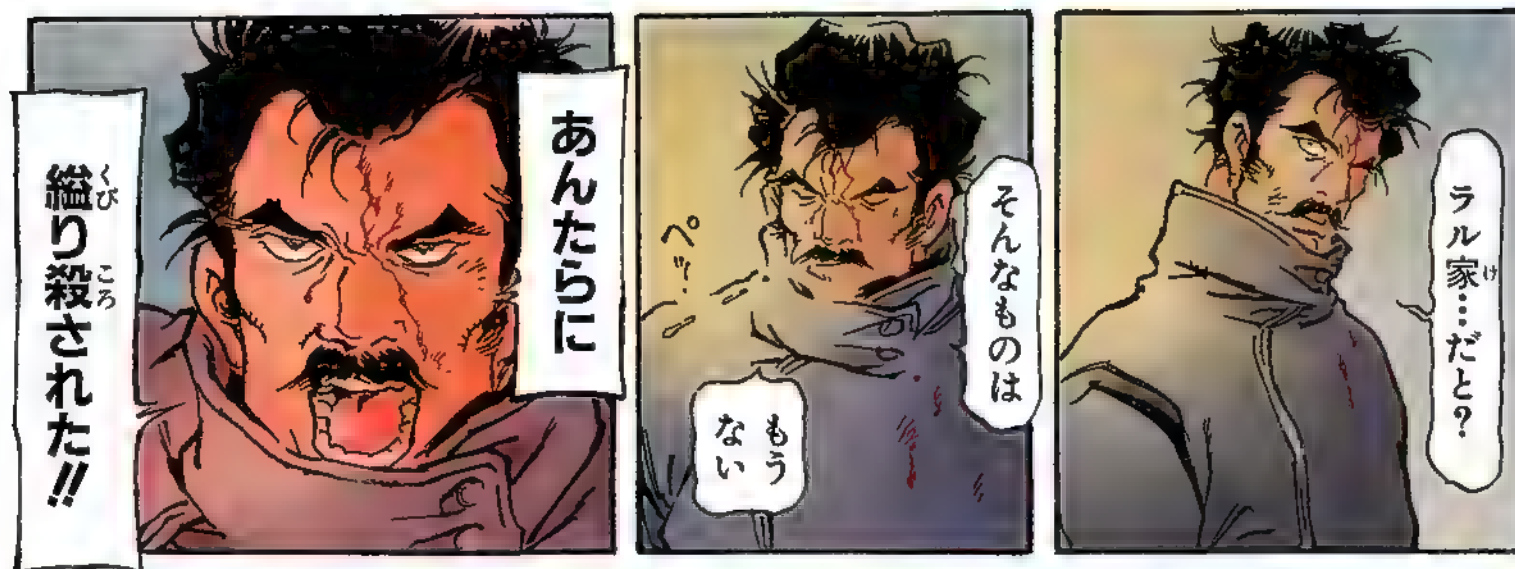
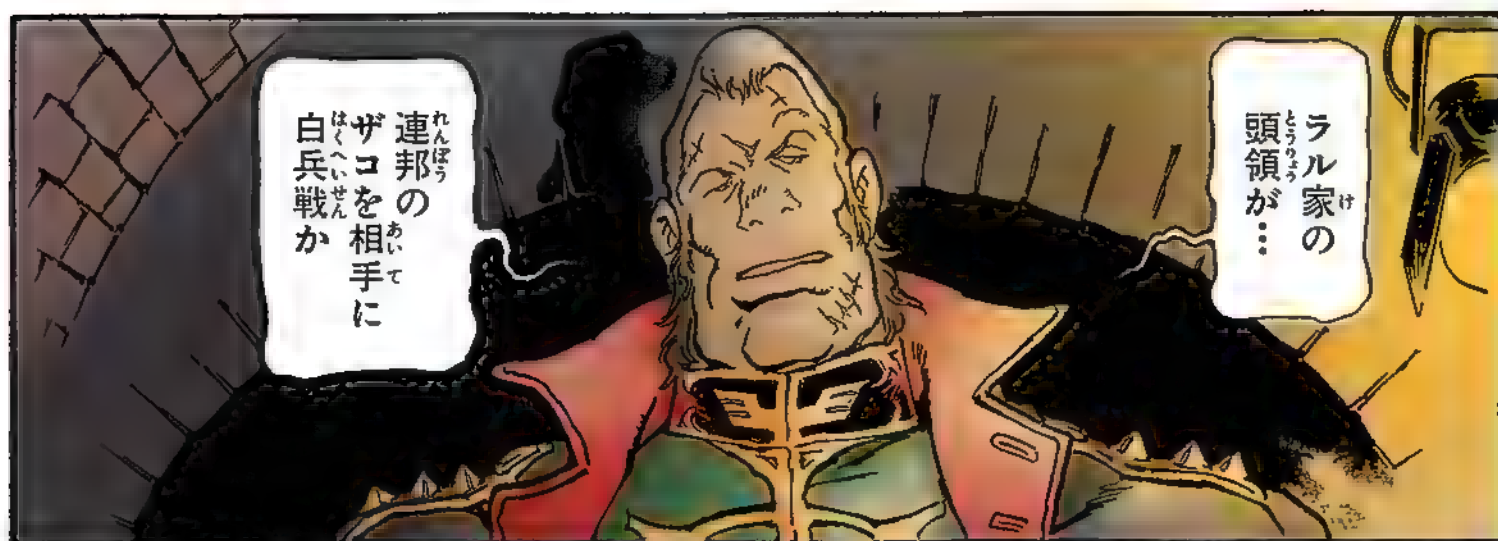
うた
歌え!!

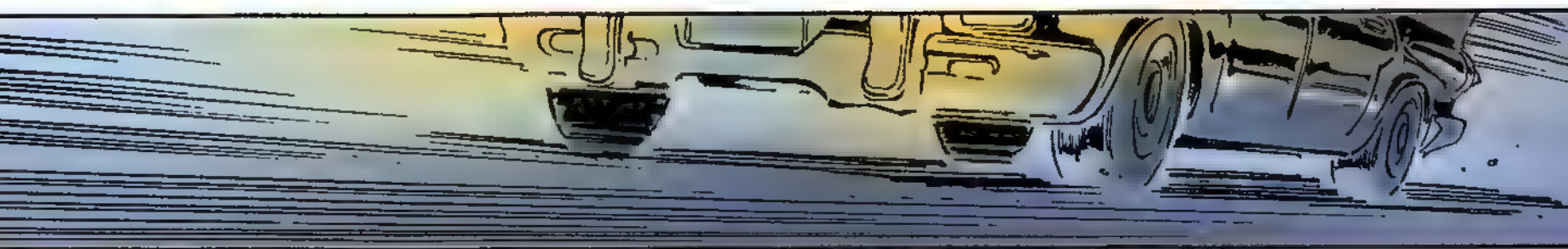
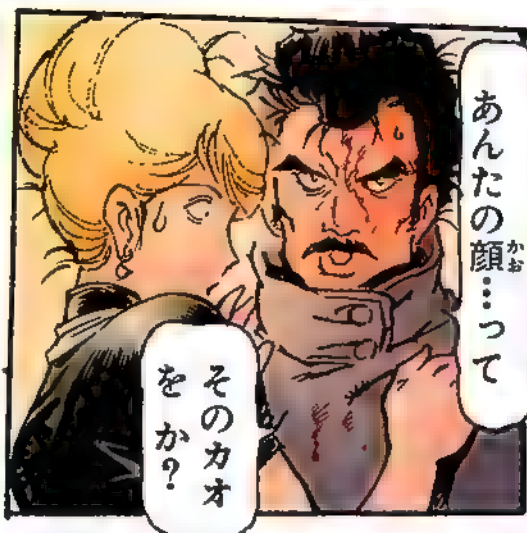
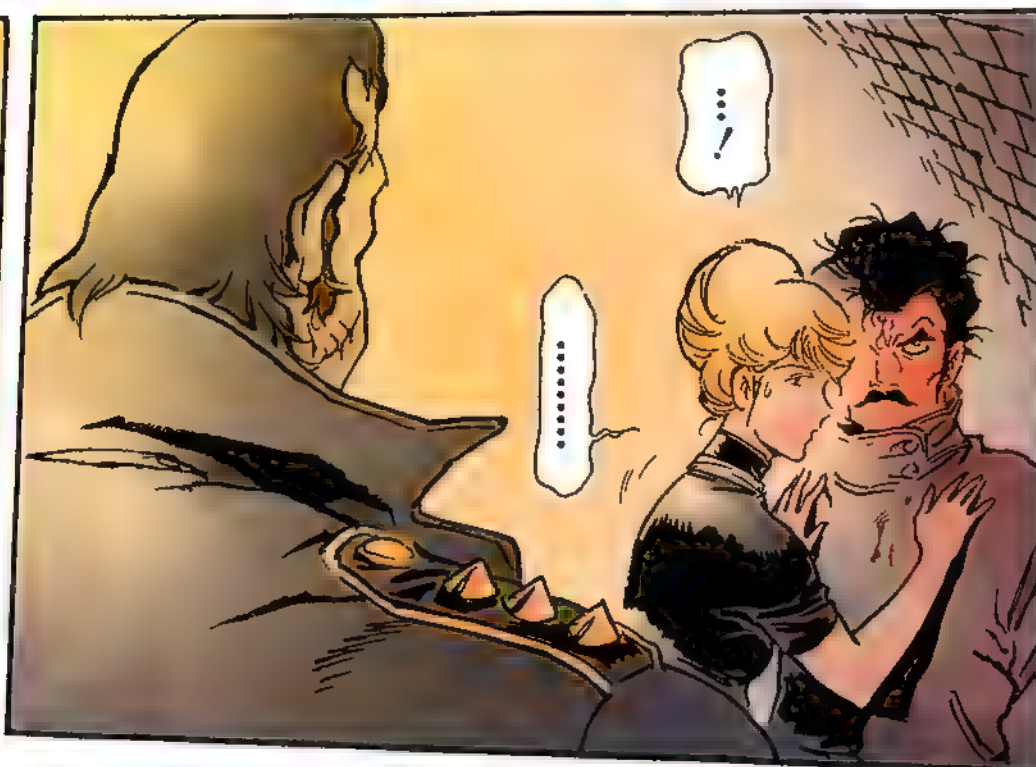
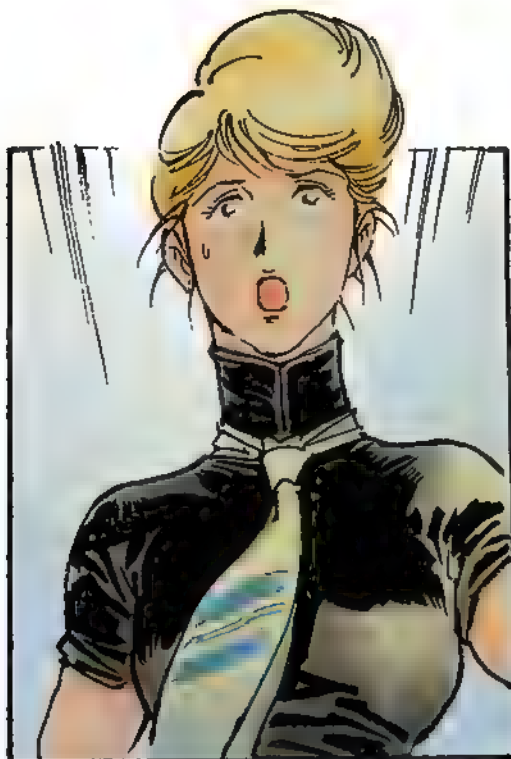


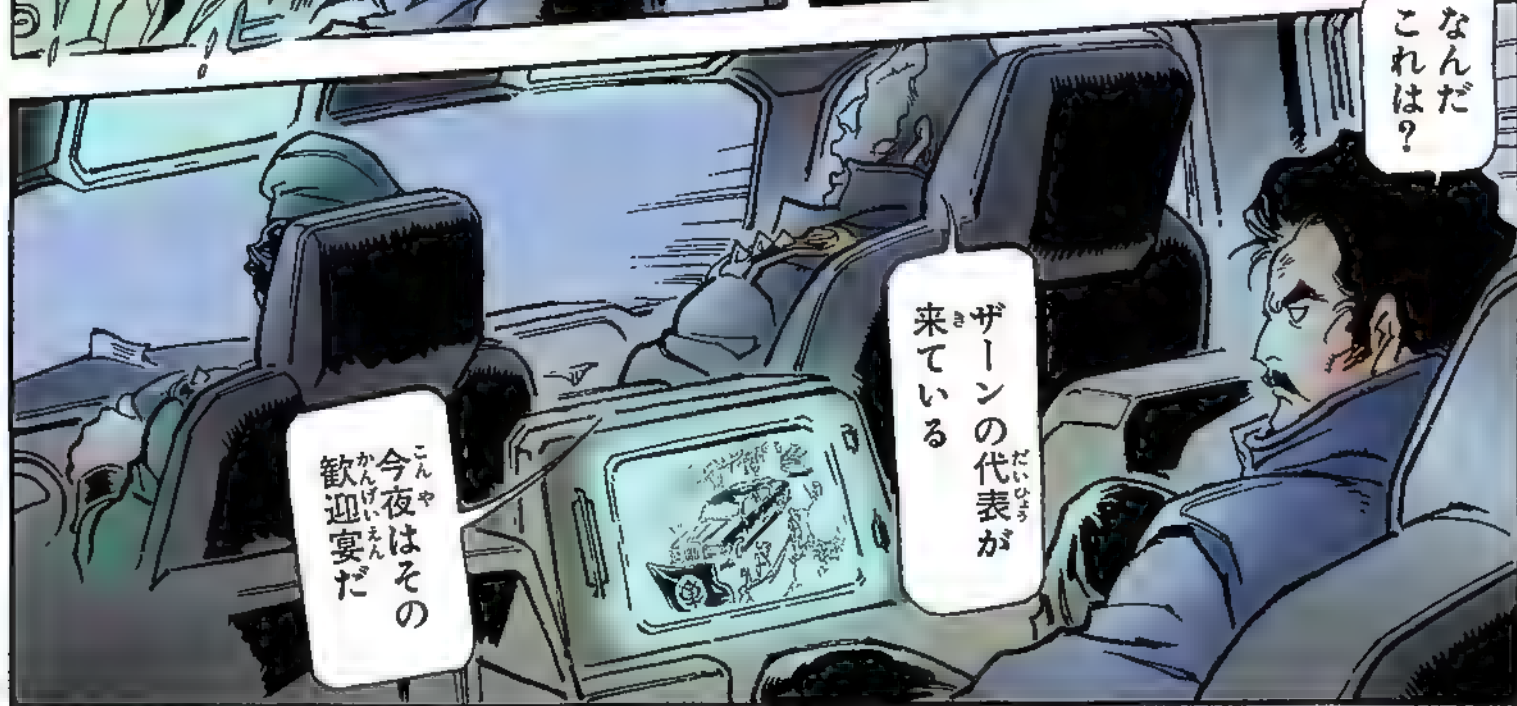
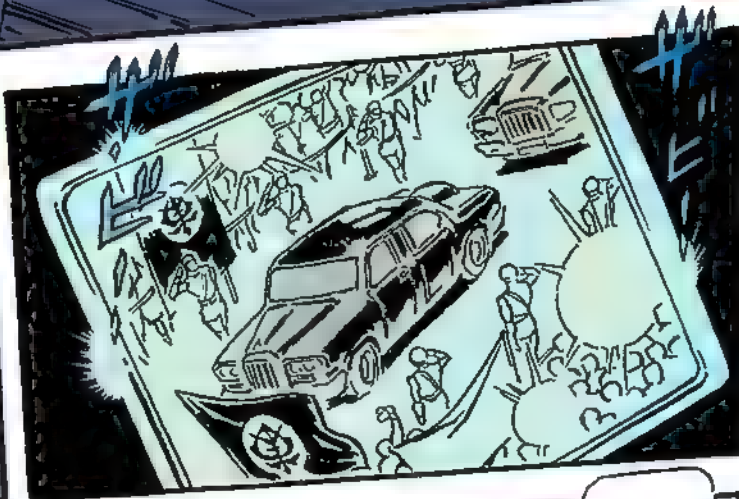
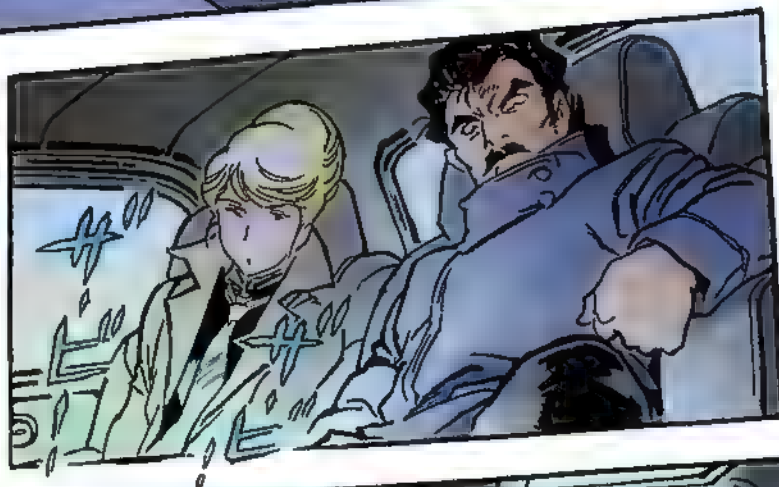
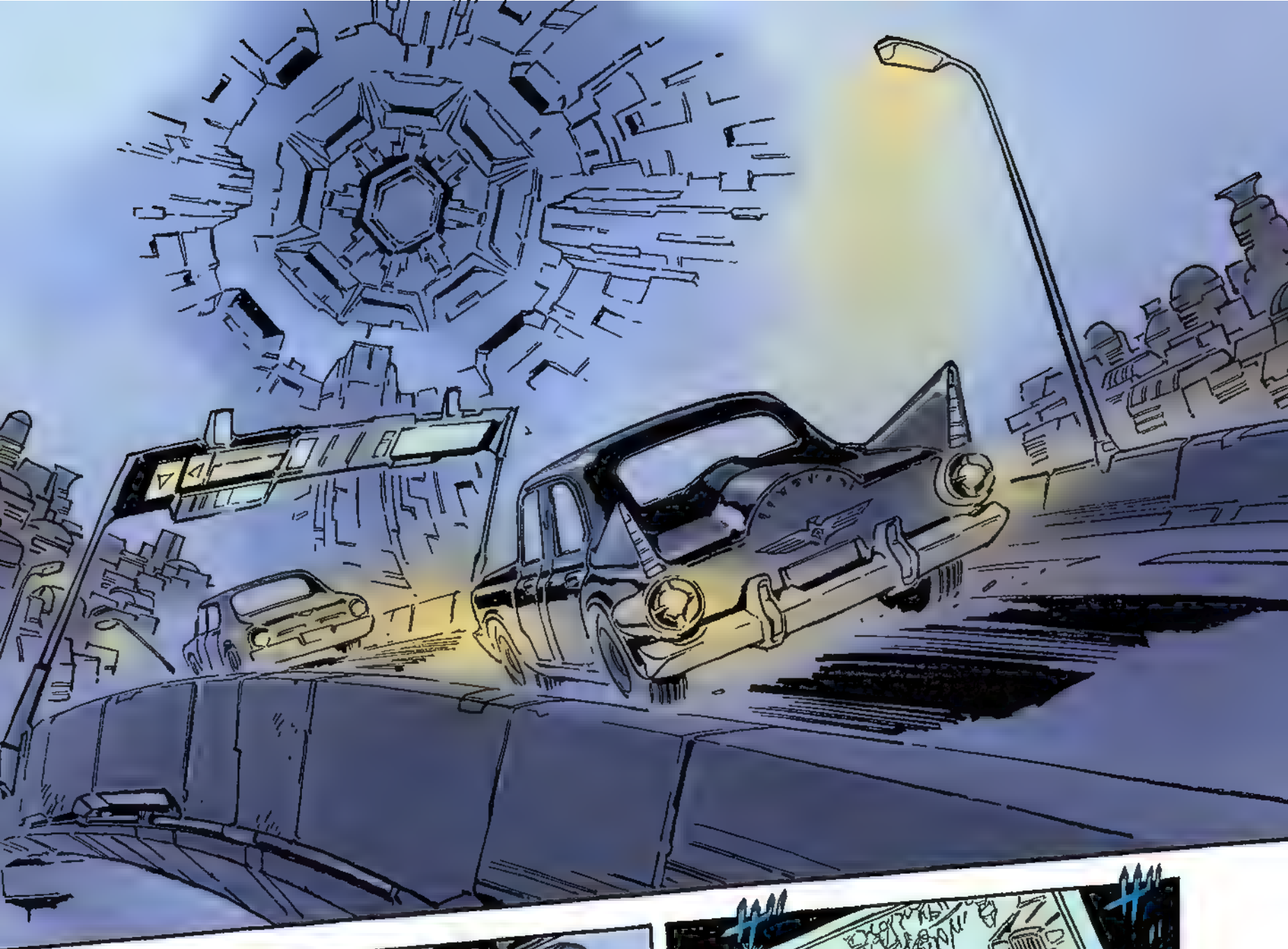
そのくらいで
いいだろう

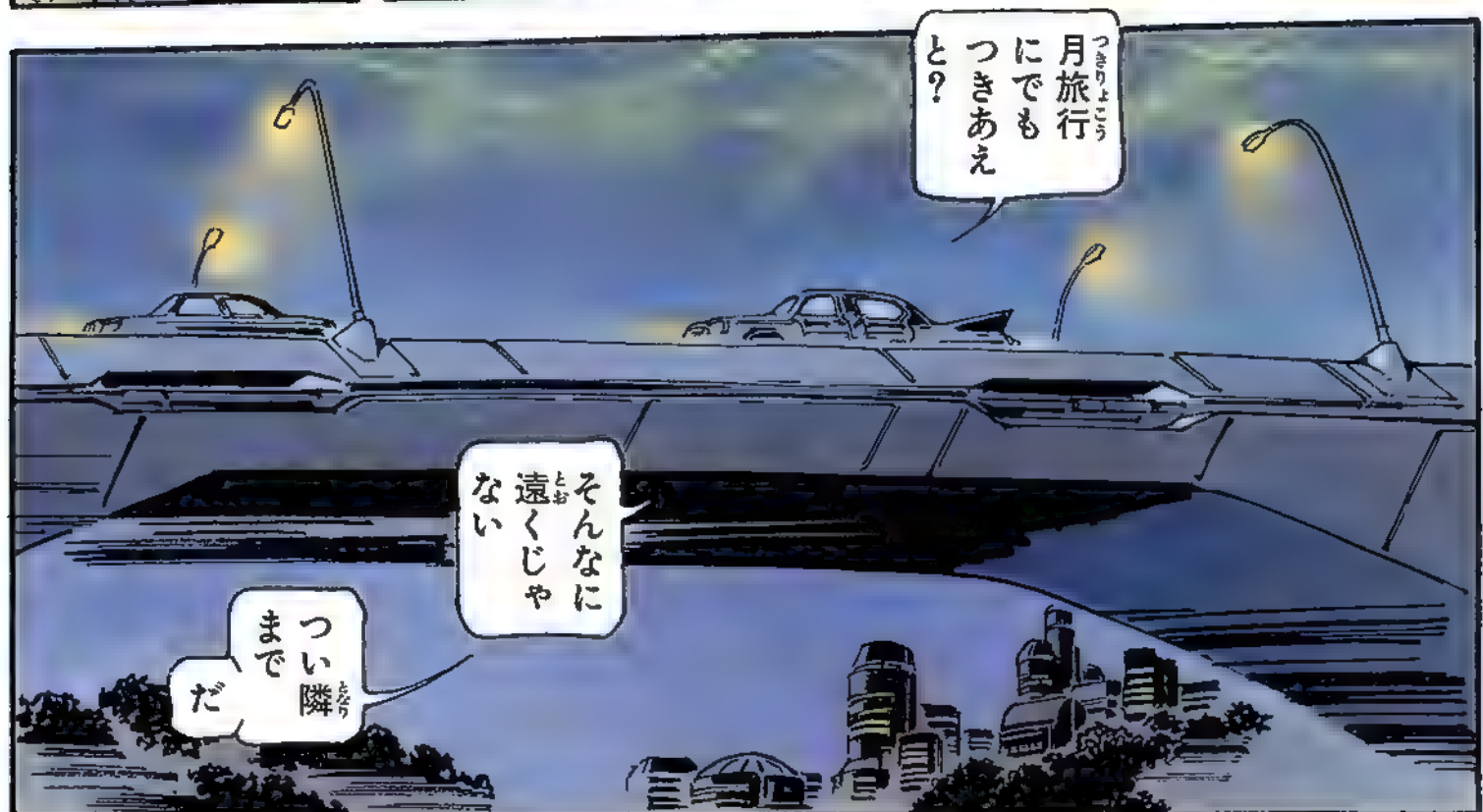
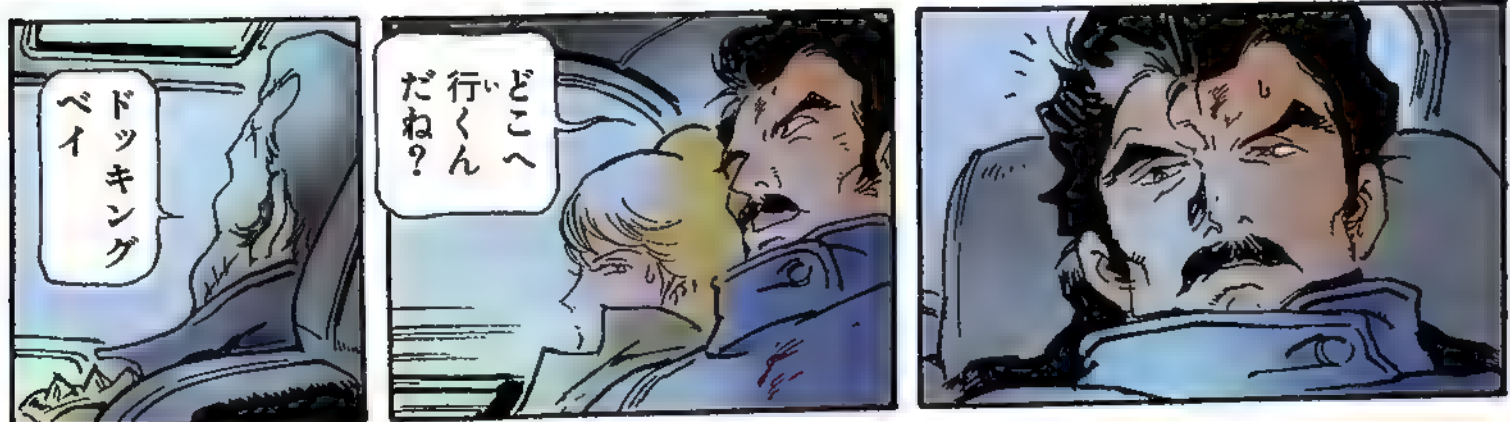
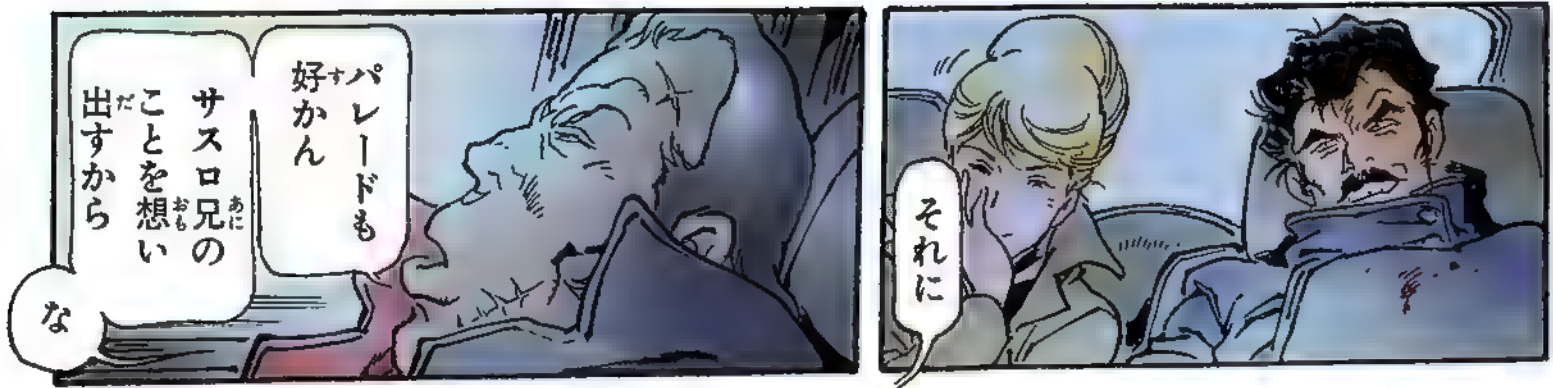
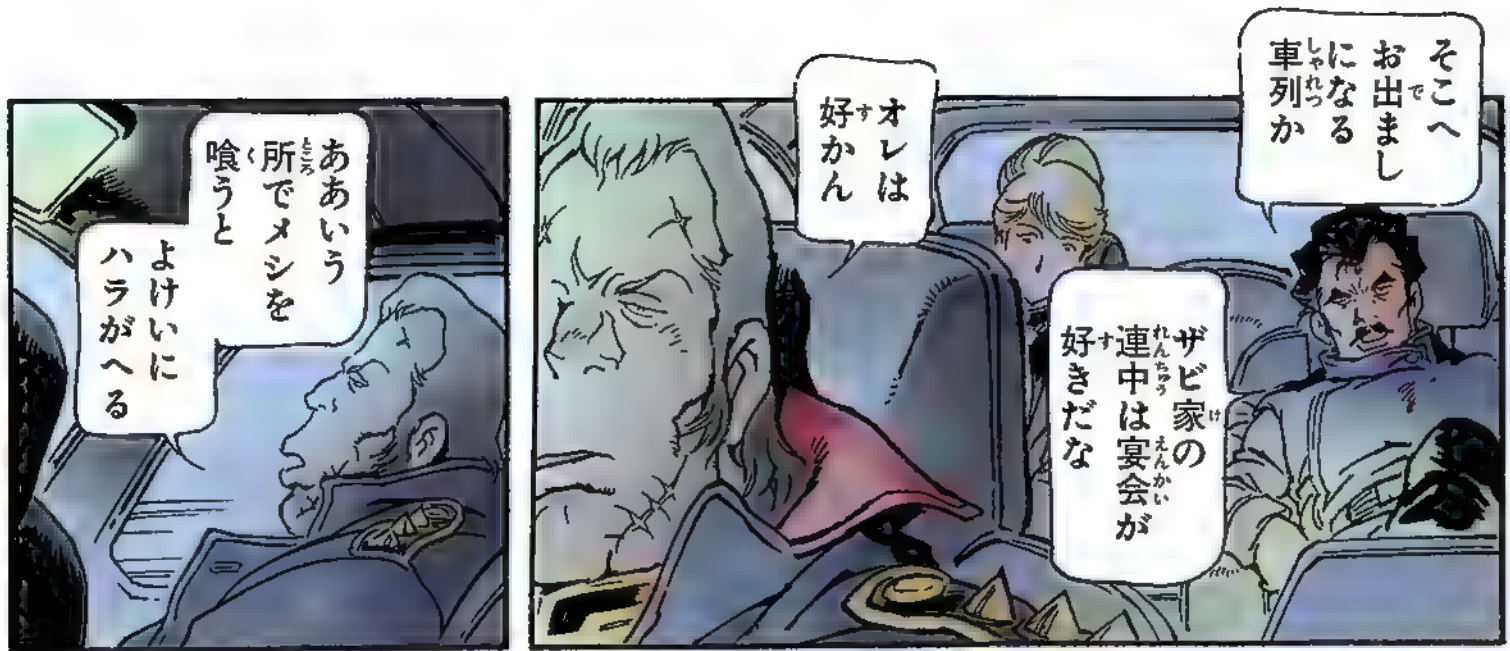
もう









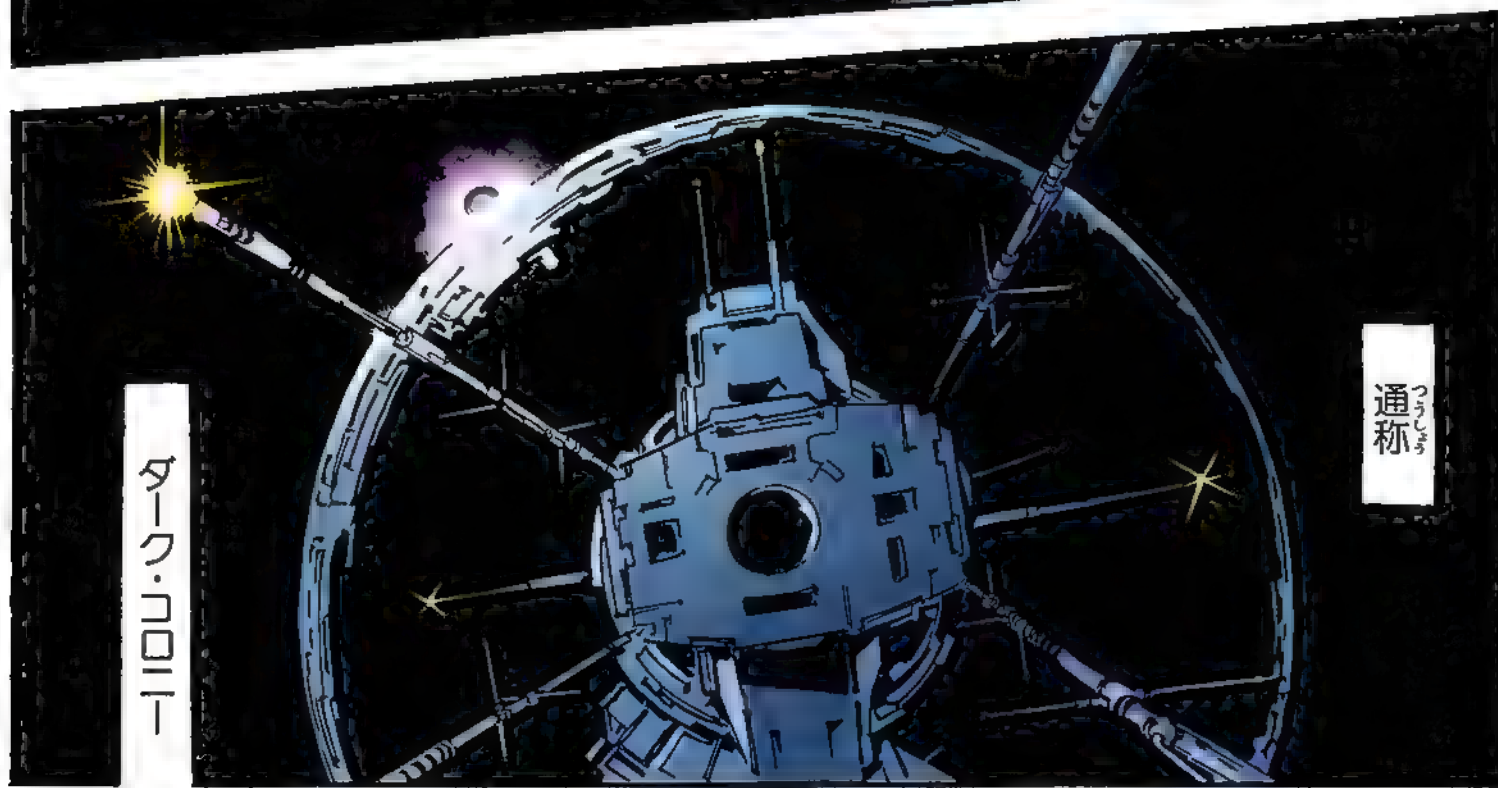


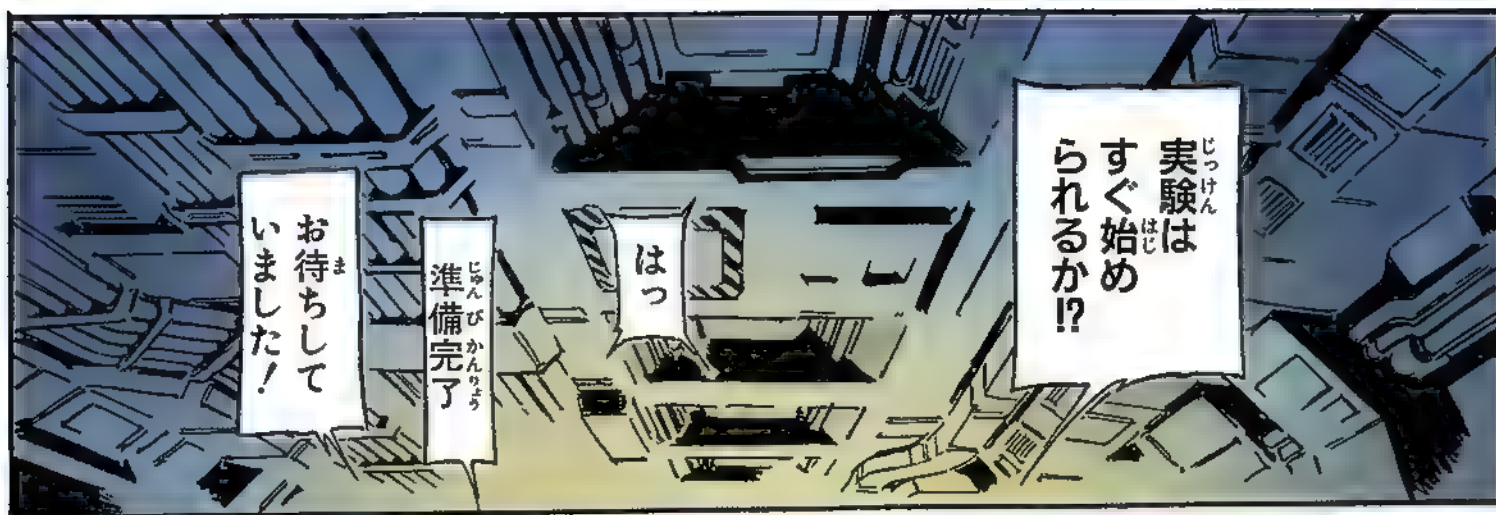
サイド3
エキストラ・バンチ



通称
つうしき

ダーク・コロニー





じっけん
実験は
すぐ始め
られるか!?

はっ

じゅんび
準備完了

まち
お待ちして
いました!



たいいどの
大尉殿!



みんかん
ここを民間活用しろ
などと言いだした
馬鹿者がいるっ

きみつほじ
機密保持を
げんじゅう
厳重にしろ!



ガイア
軍曹

か?



やっぱりラル
大尉殿で
ありましたか

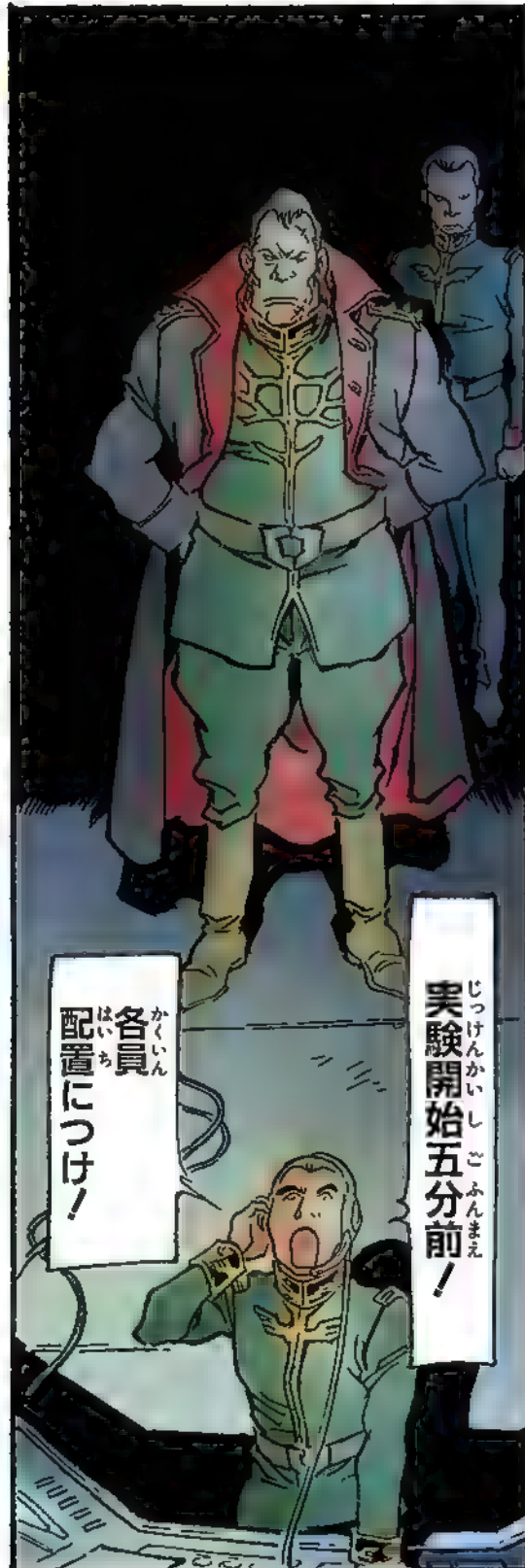
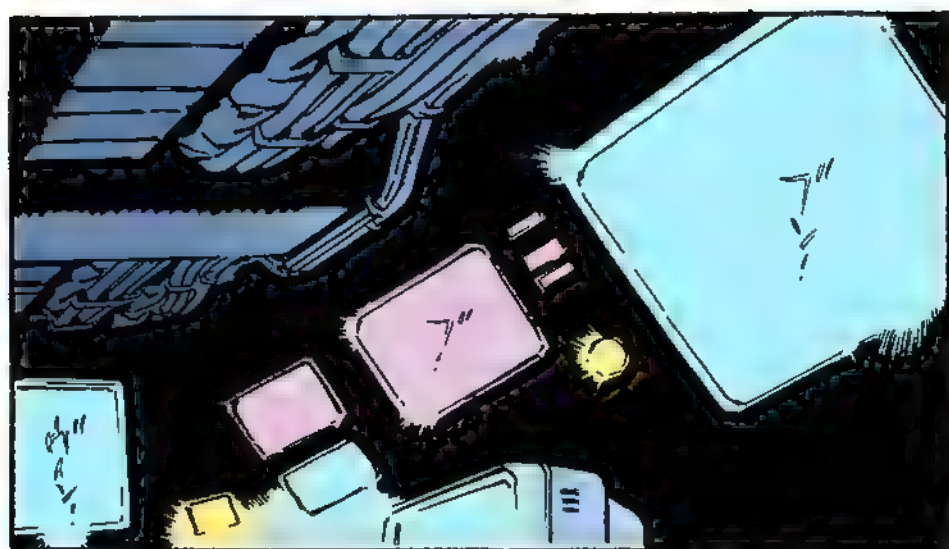
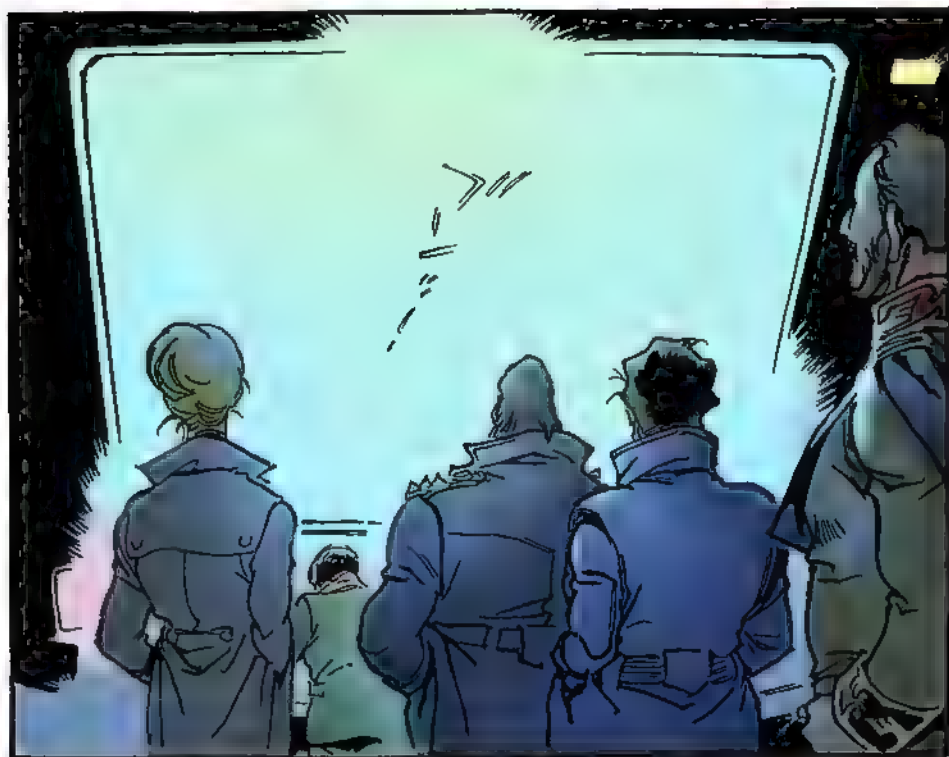
おひさし
ぶりですっ

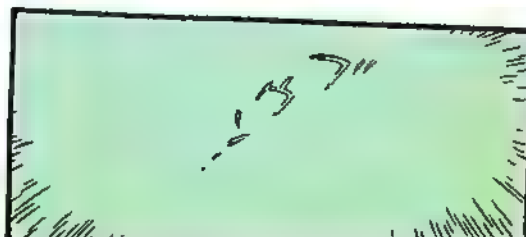
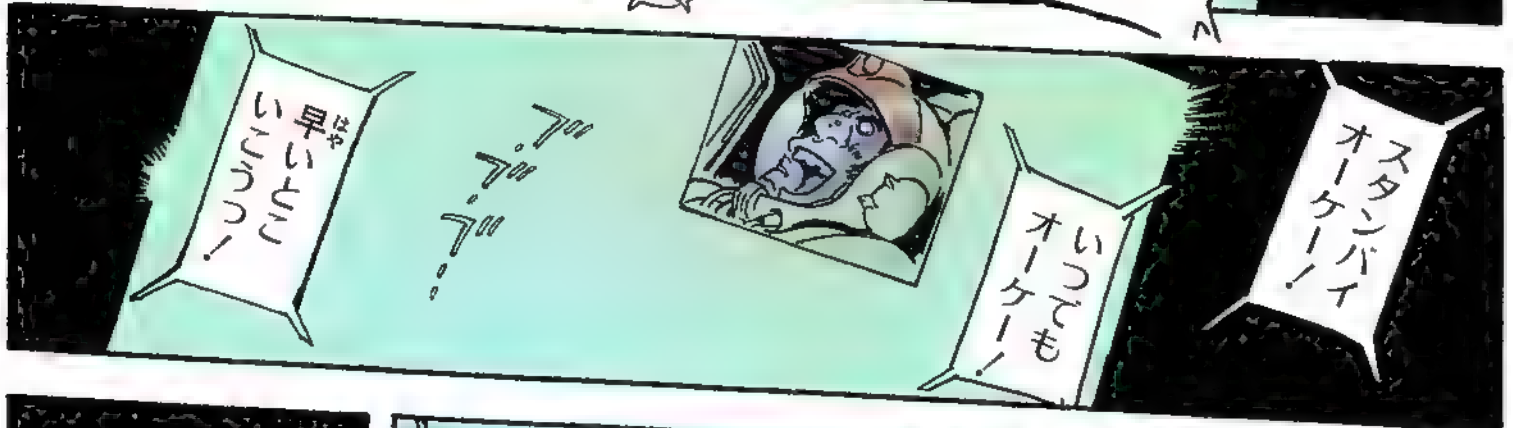
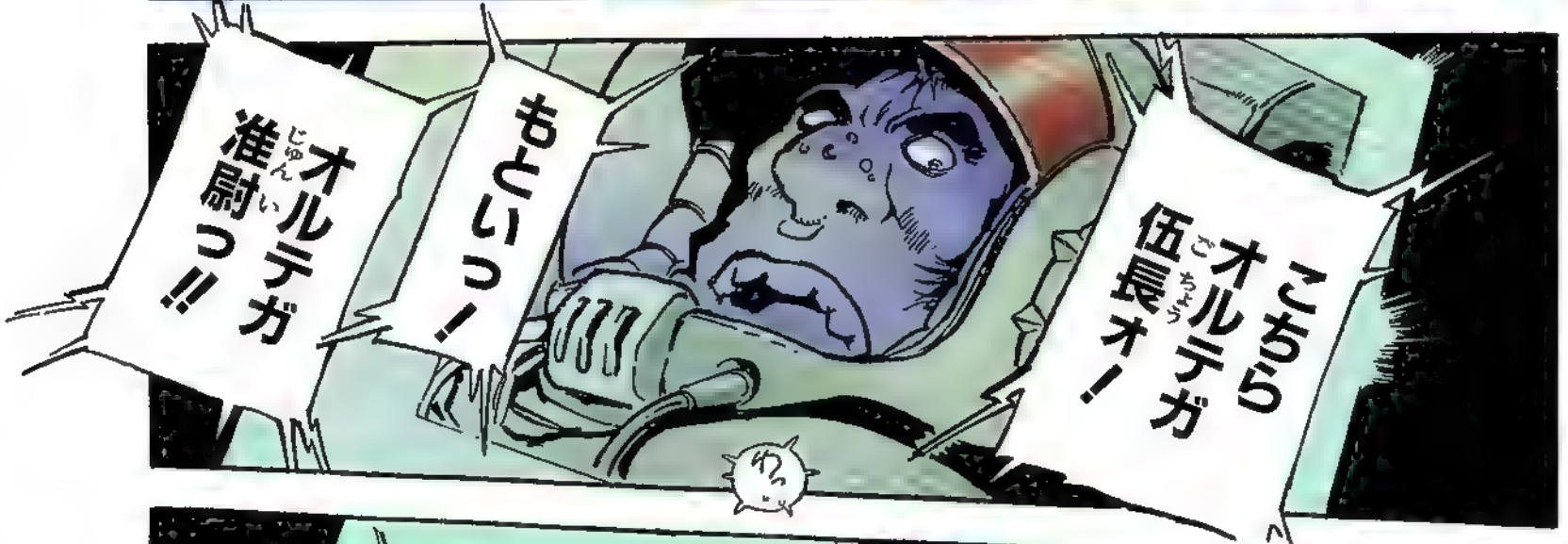


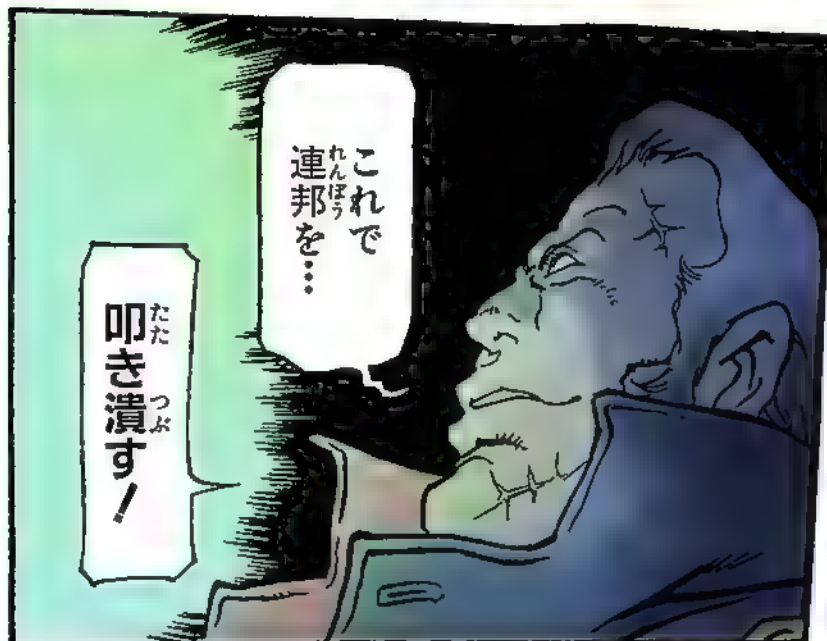
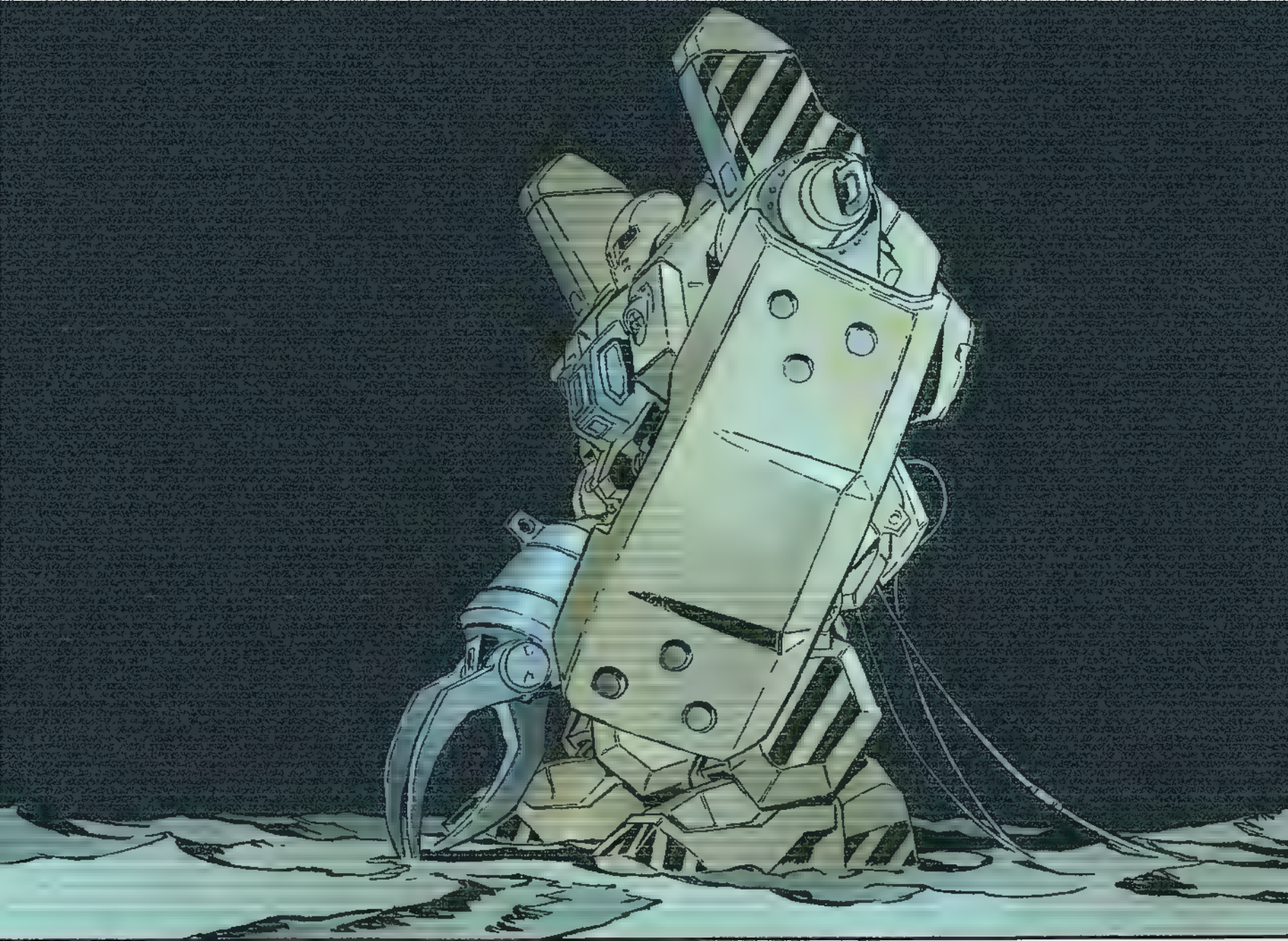
きんぎょ

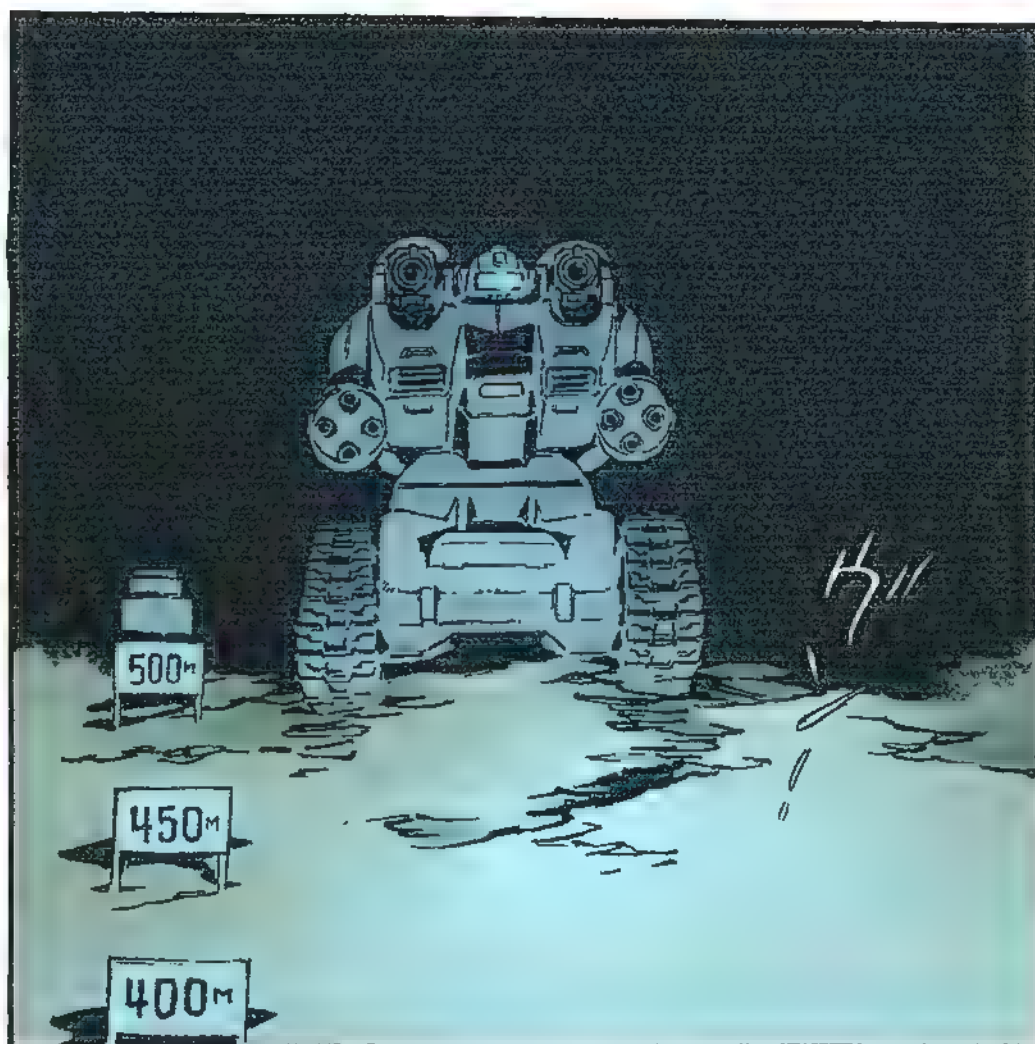
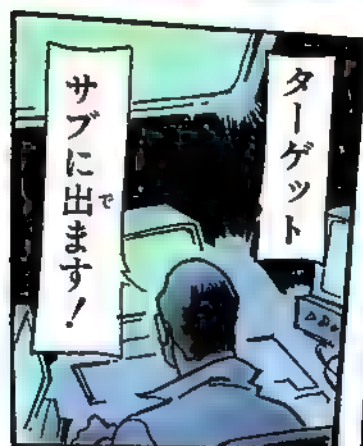
しょうこう
将校に
なったのか?

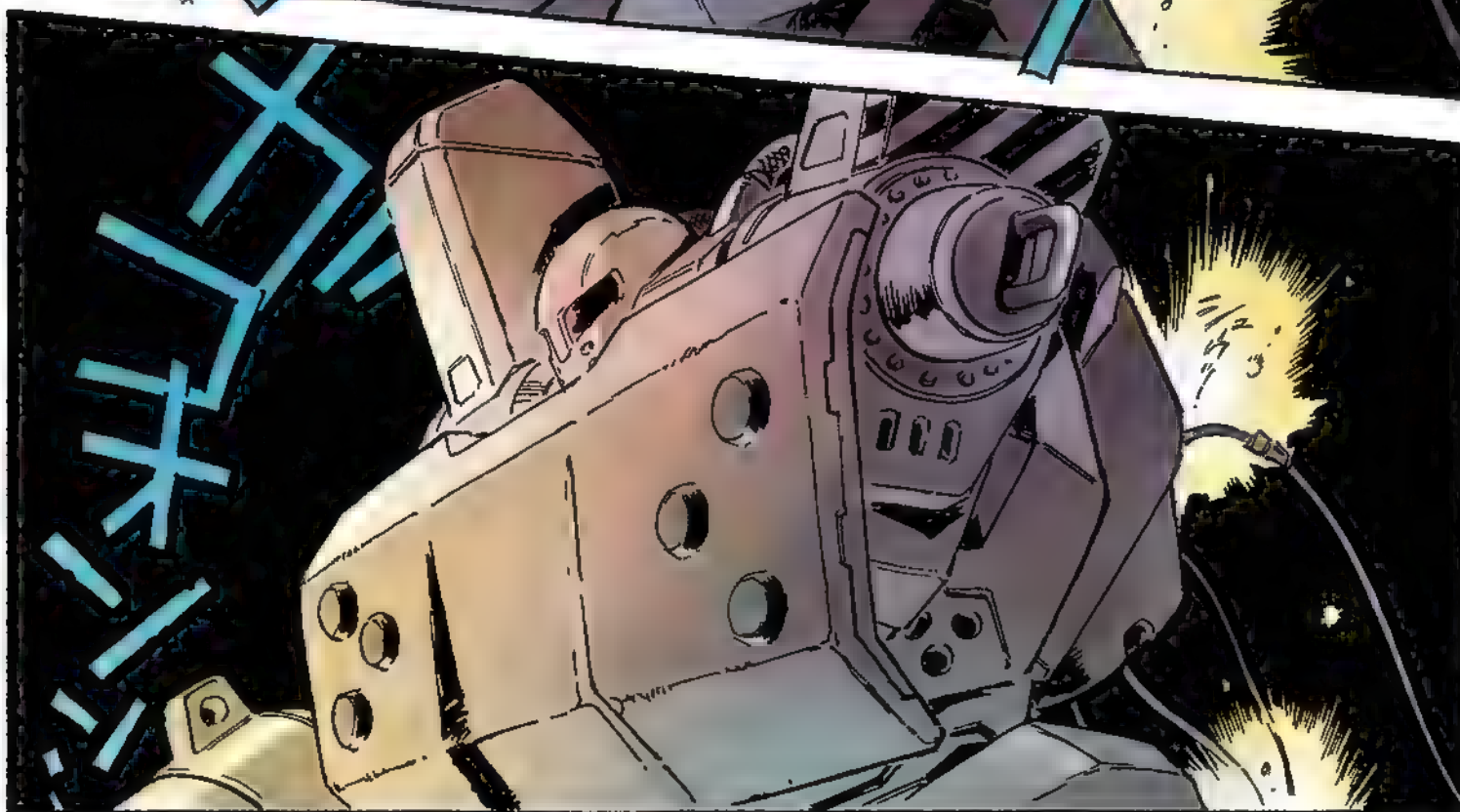
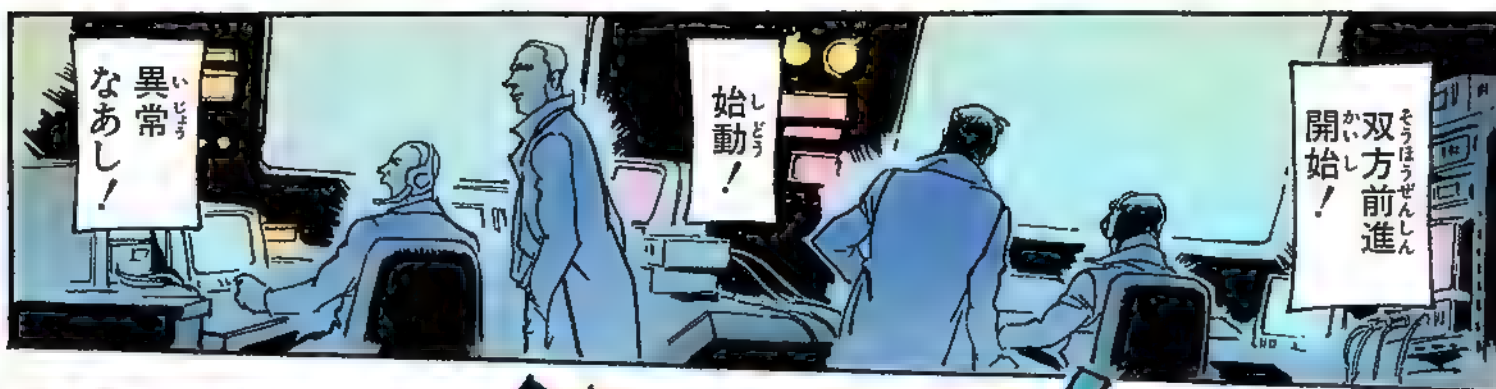
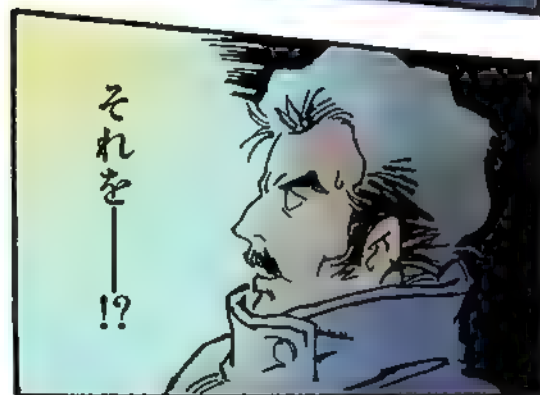
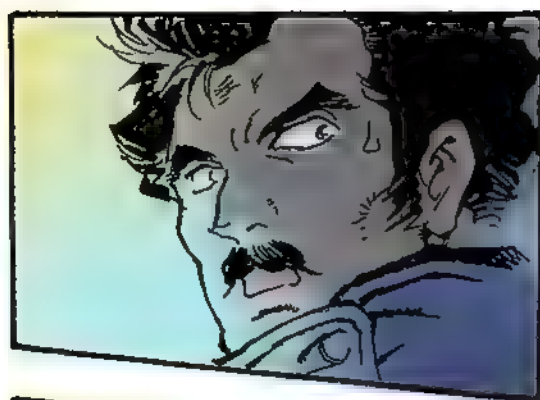
はいっ

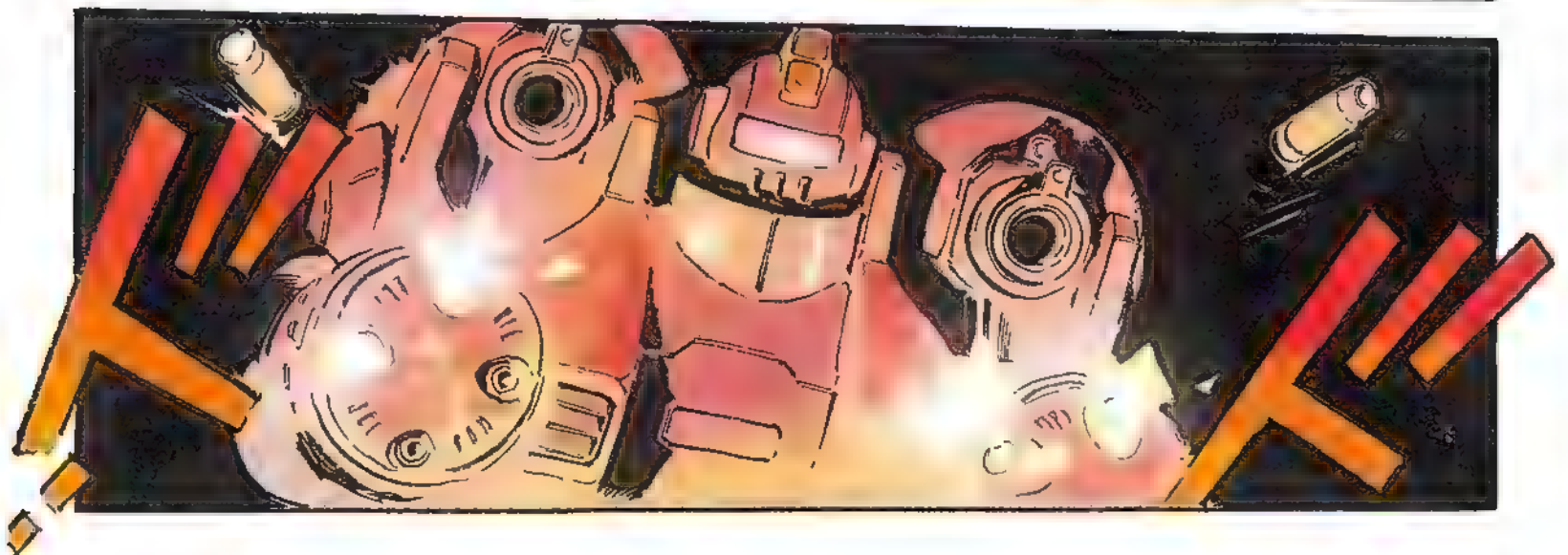
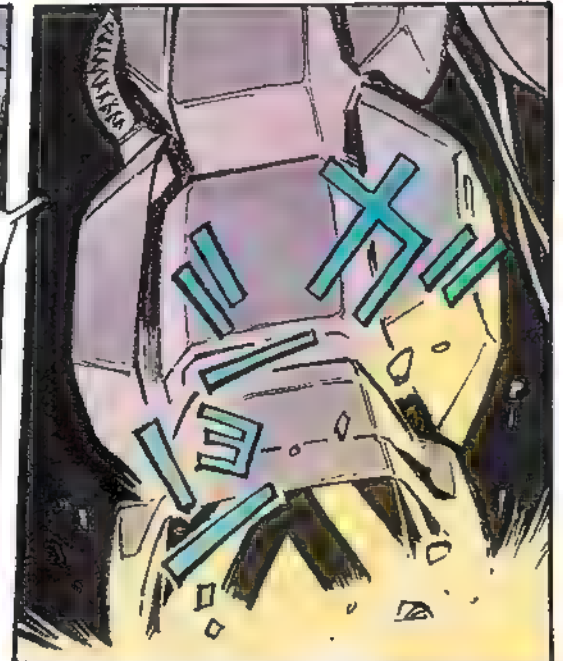
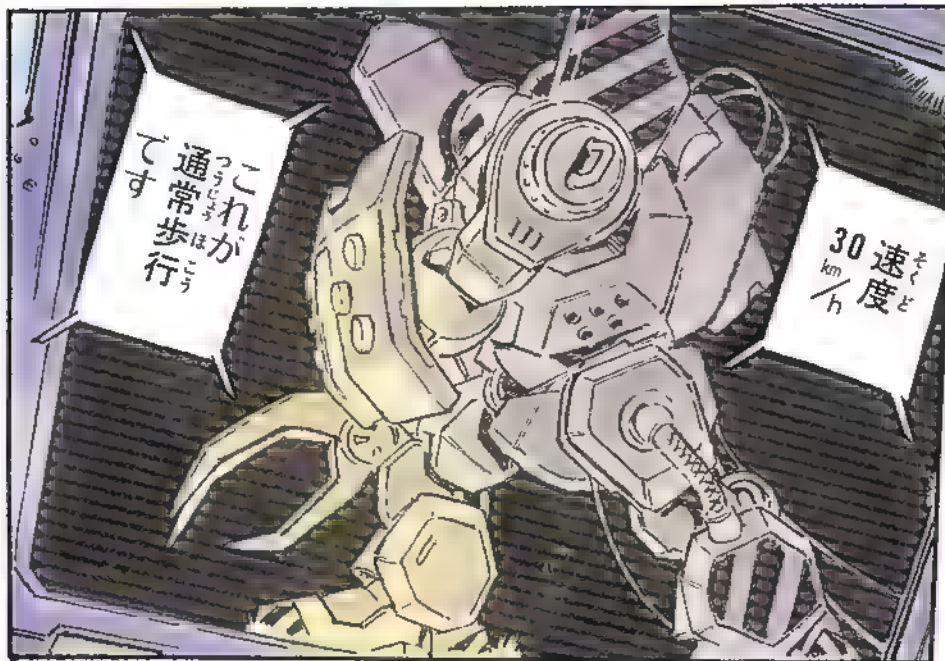
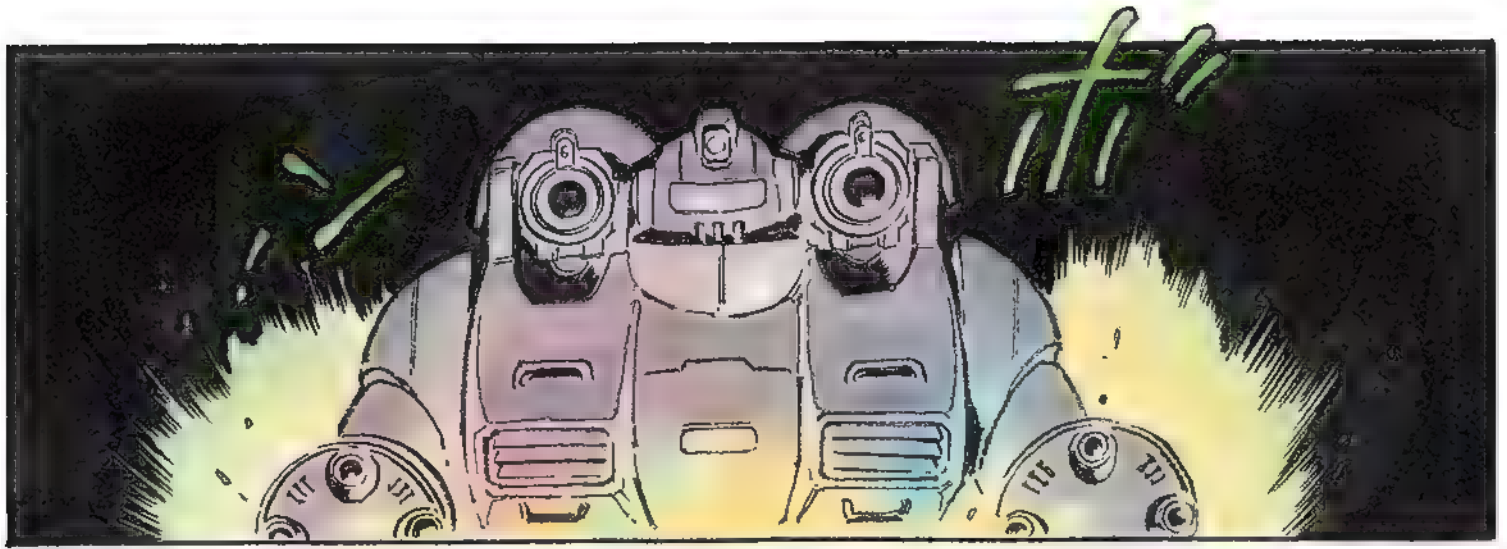


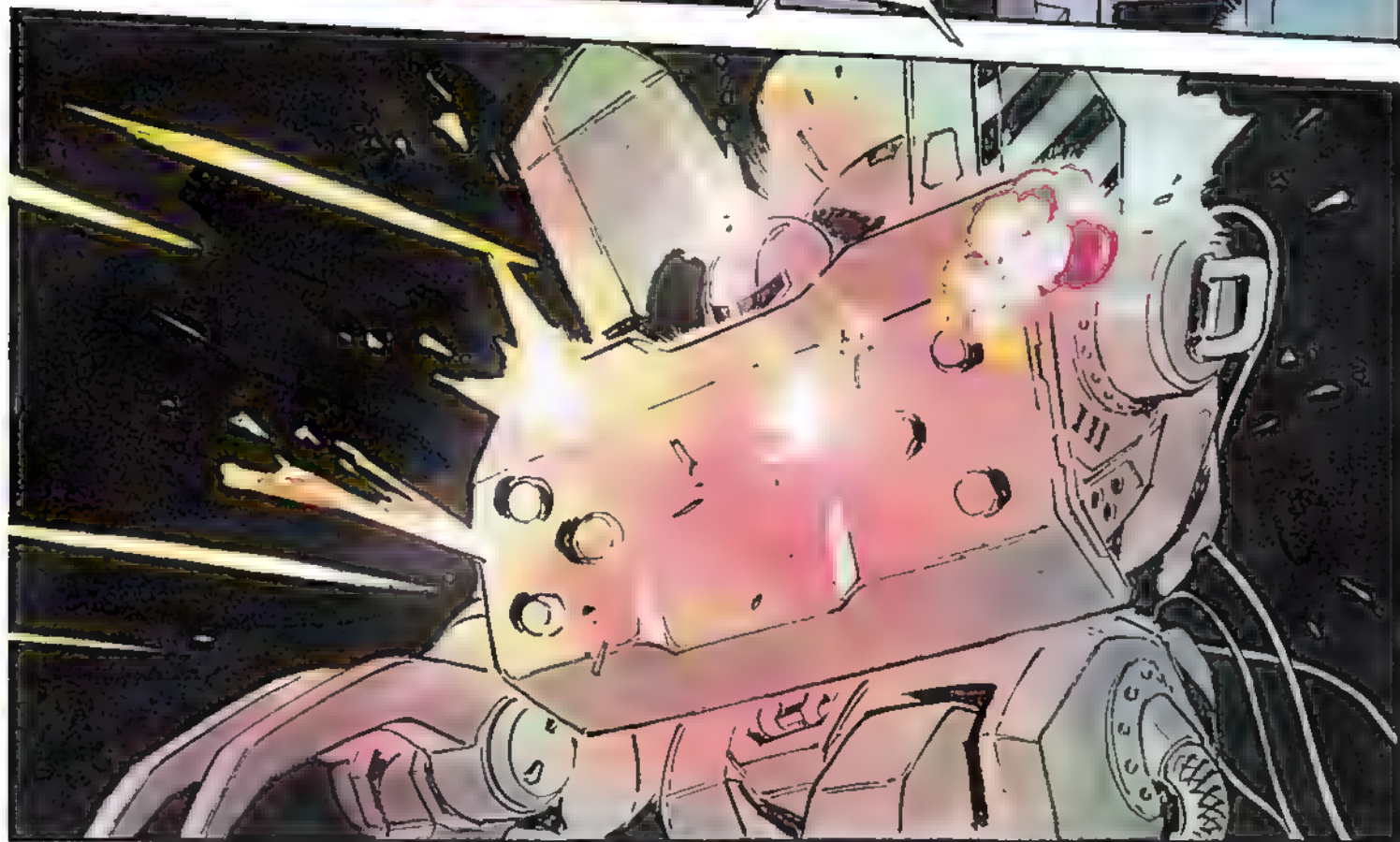
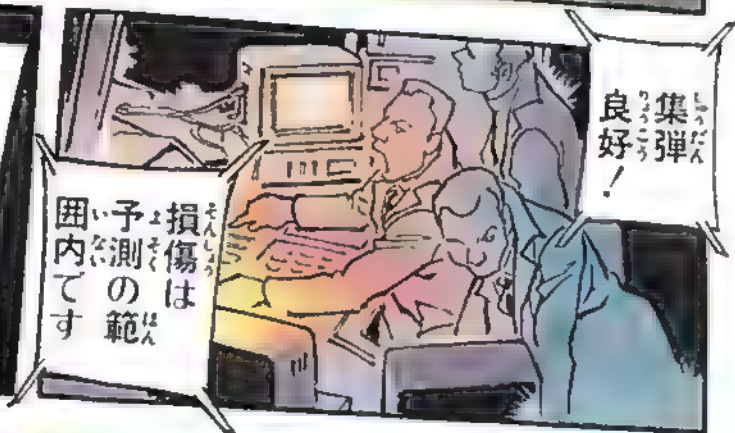
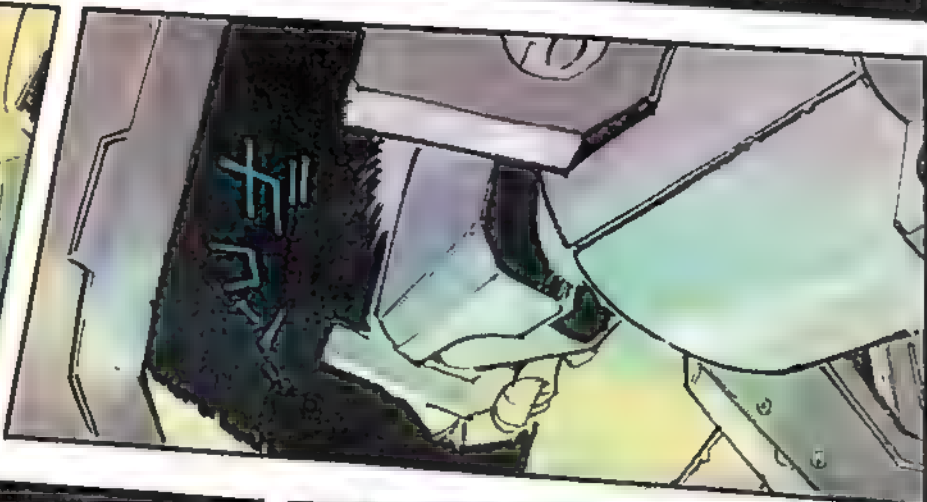
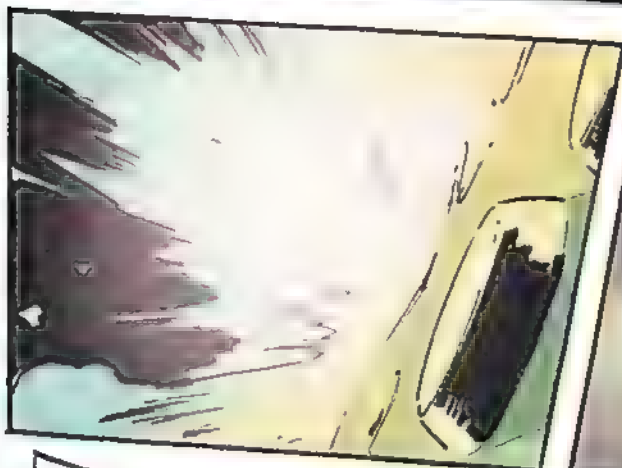


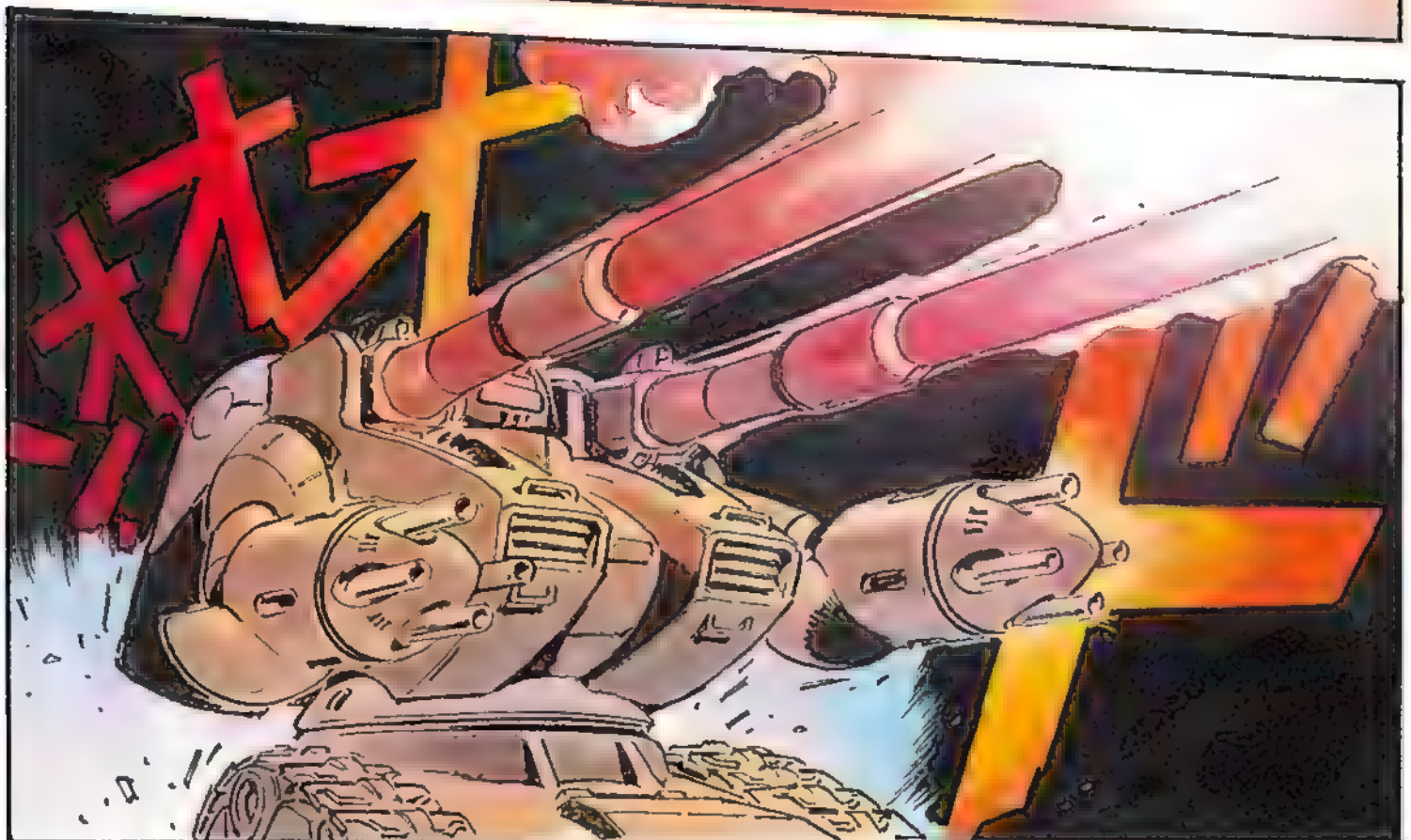
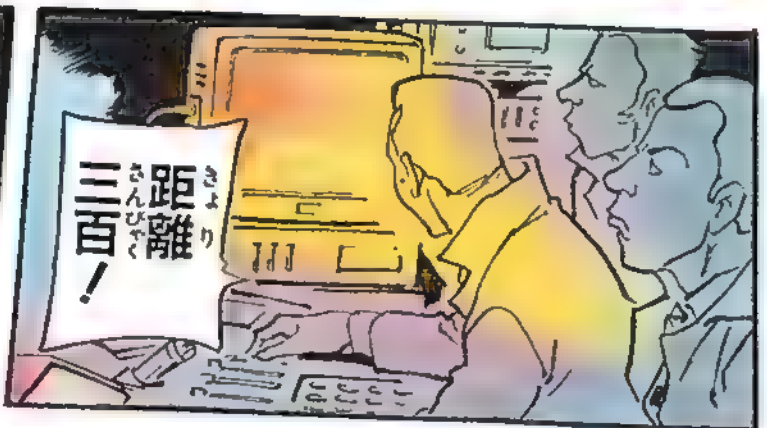
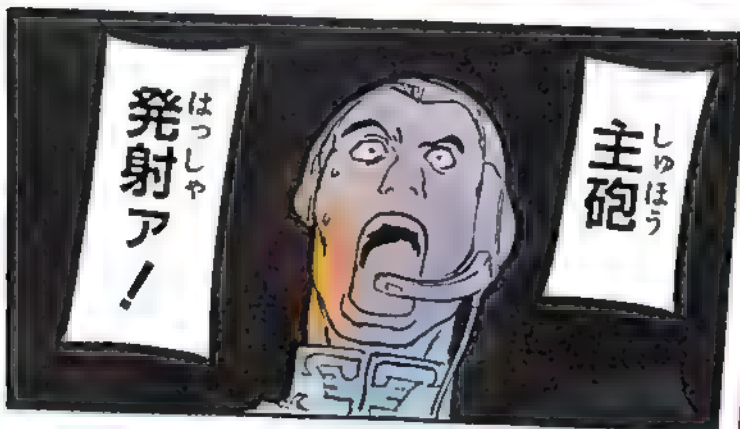


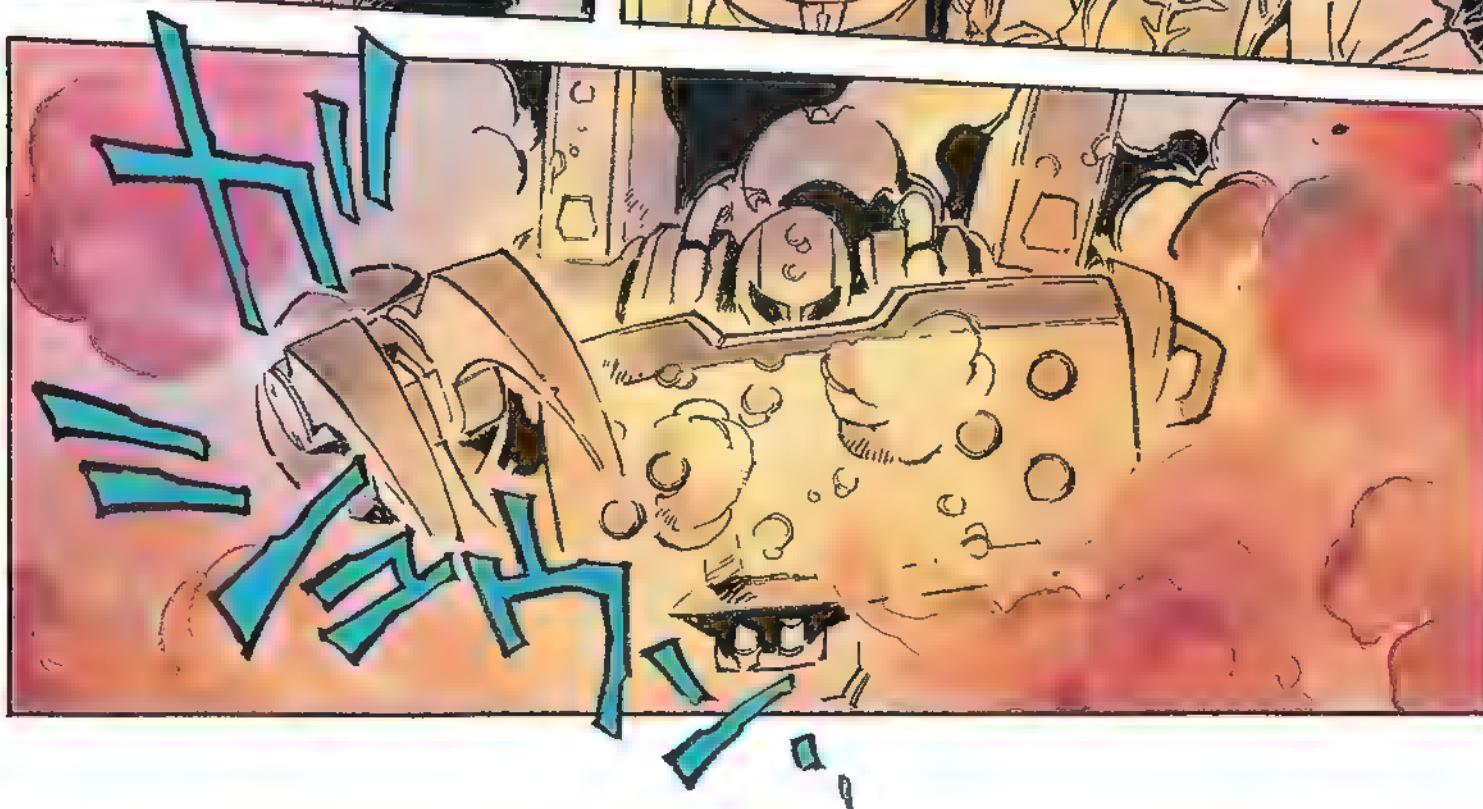
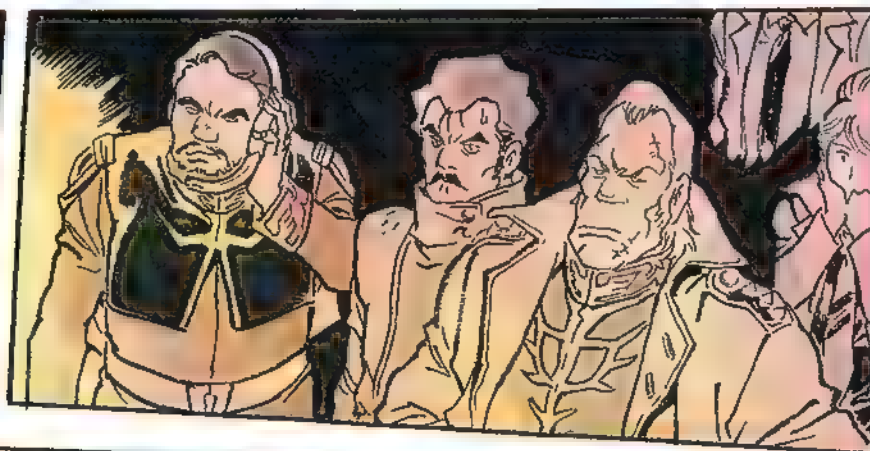
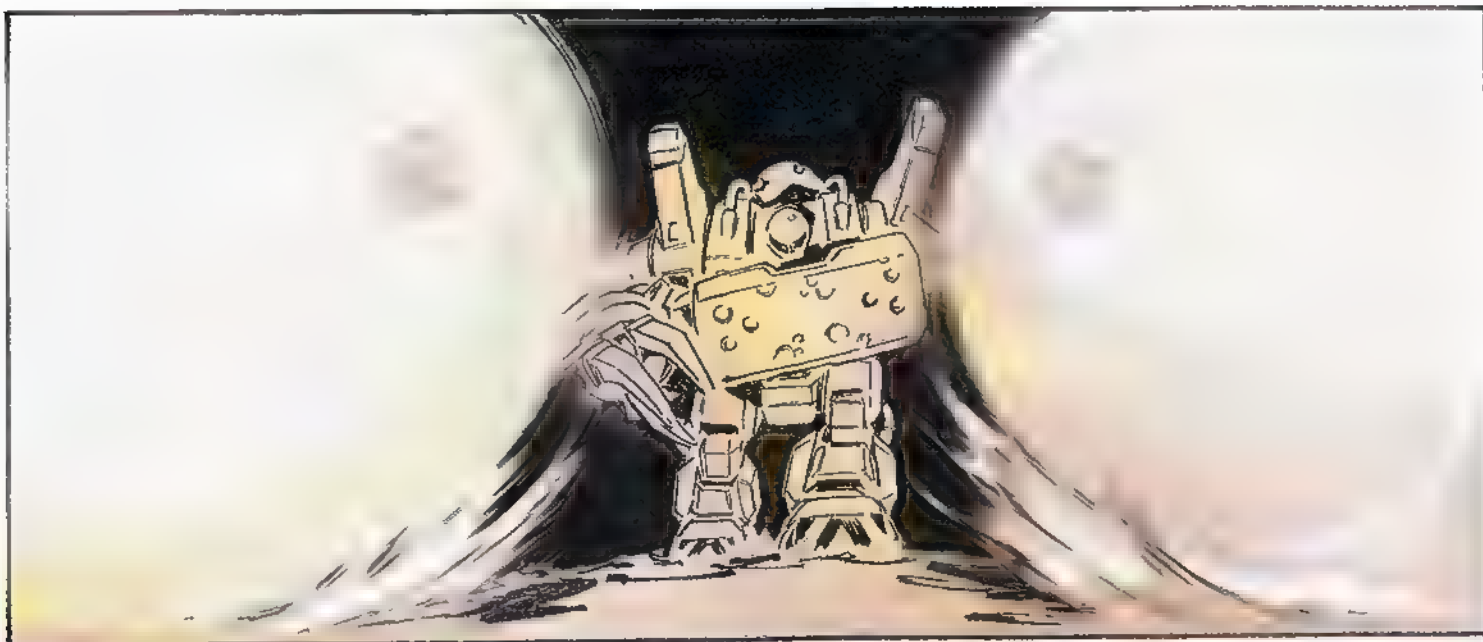


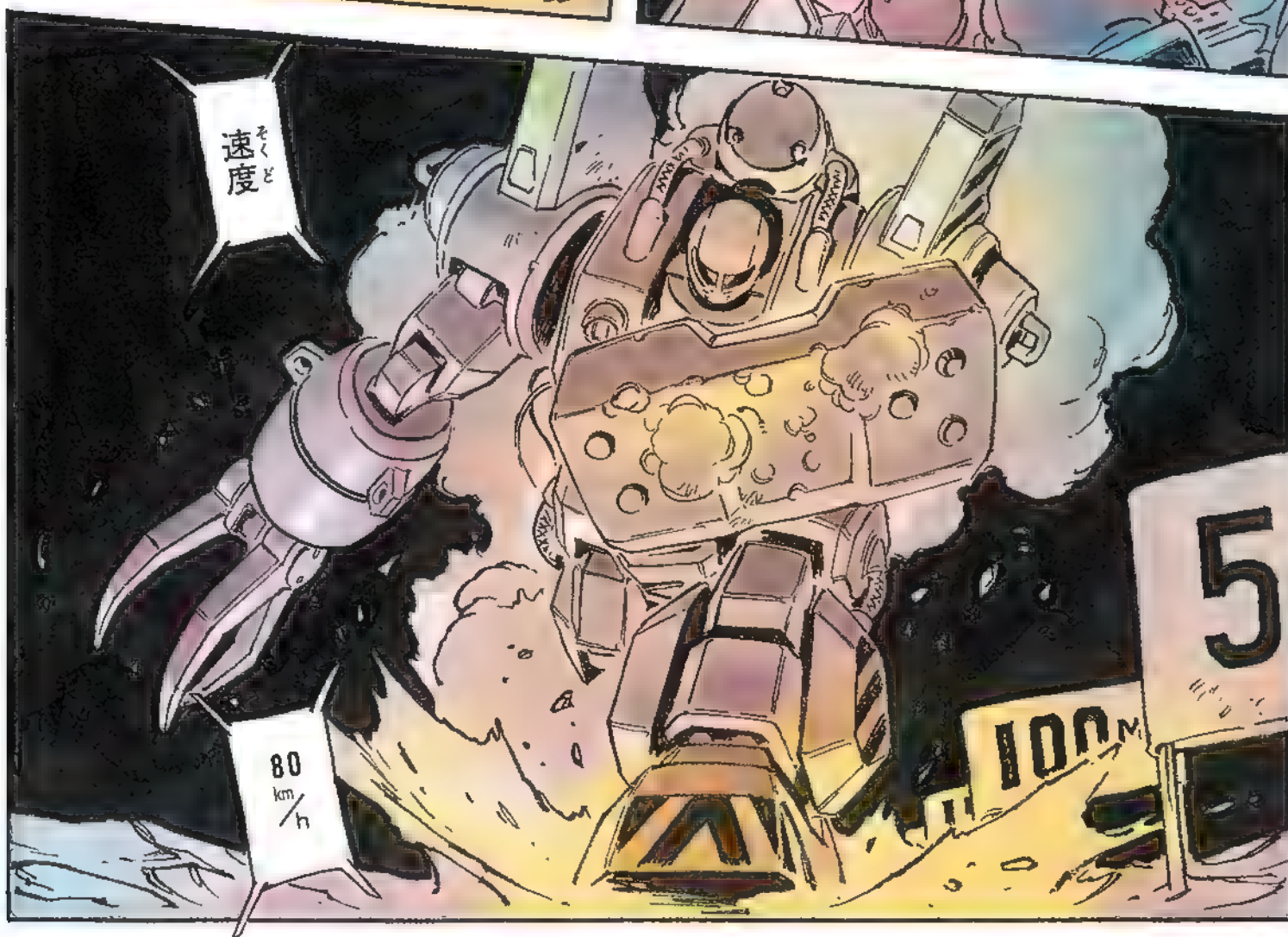
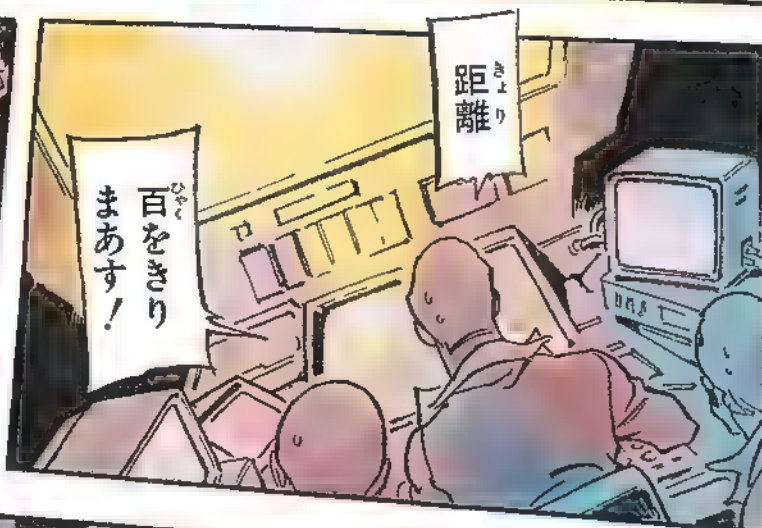
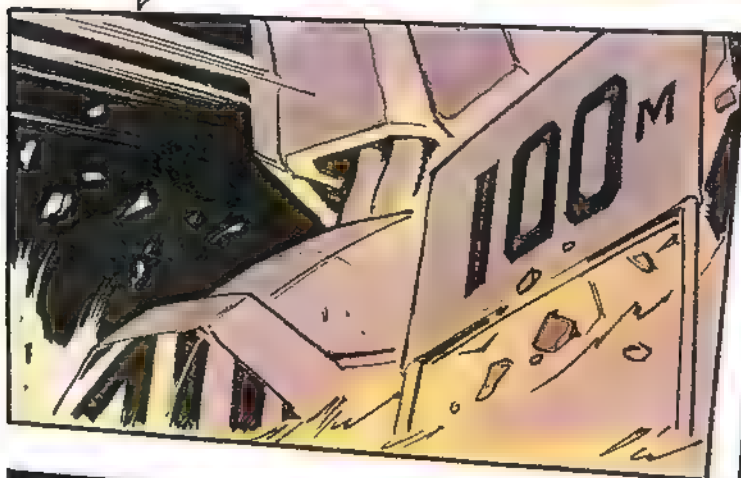
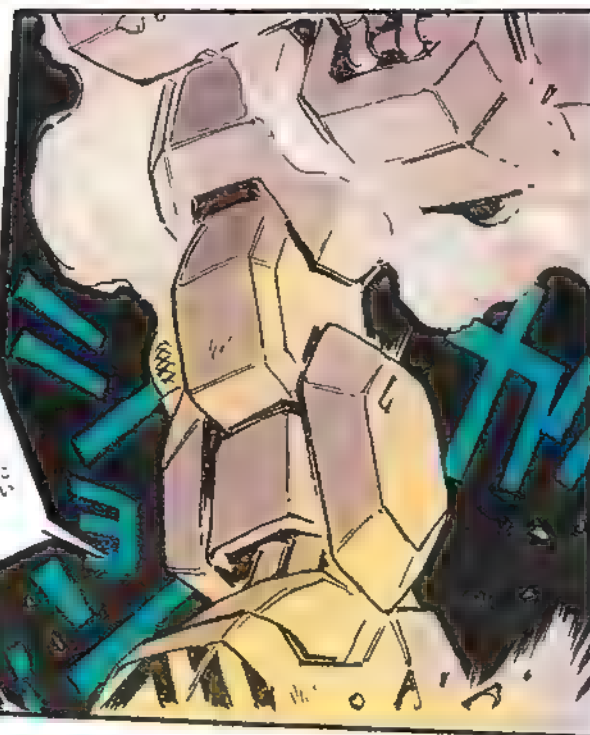
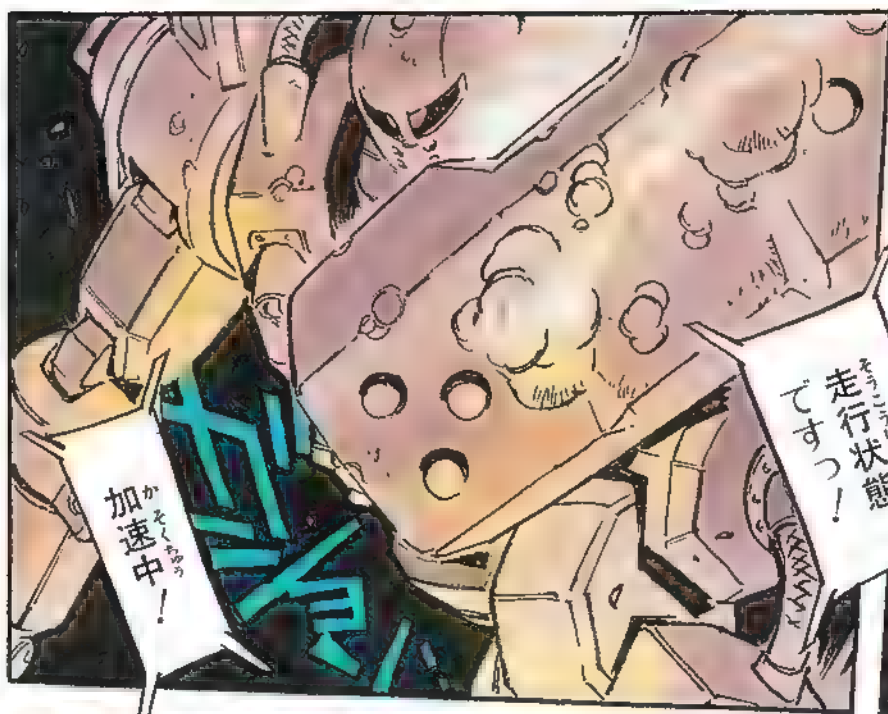


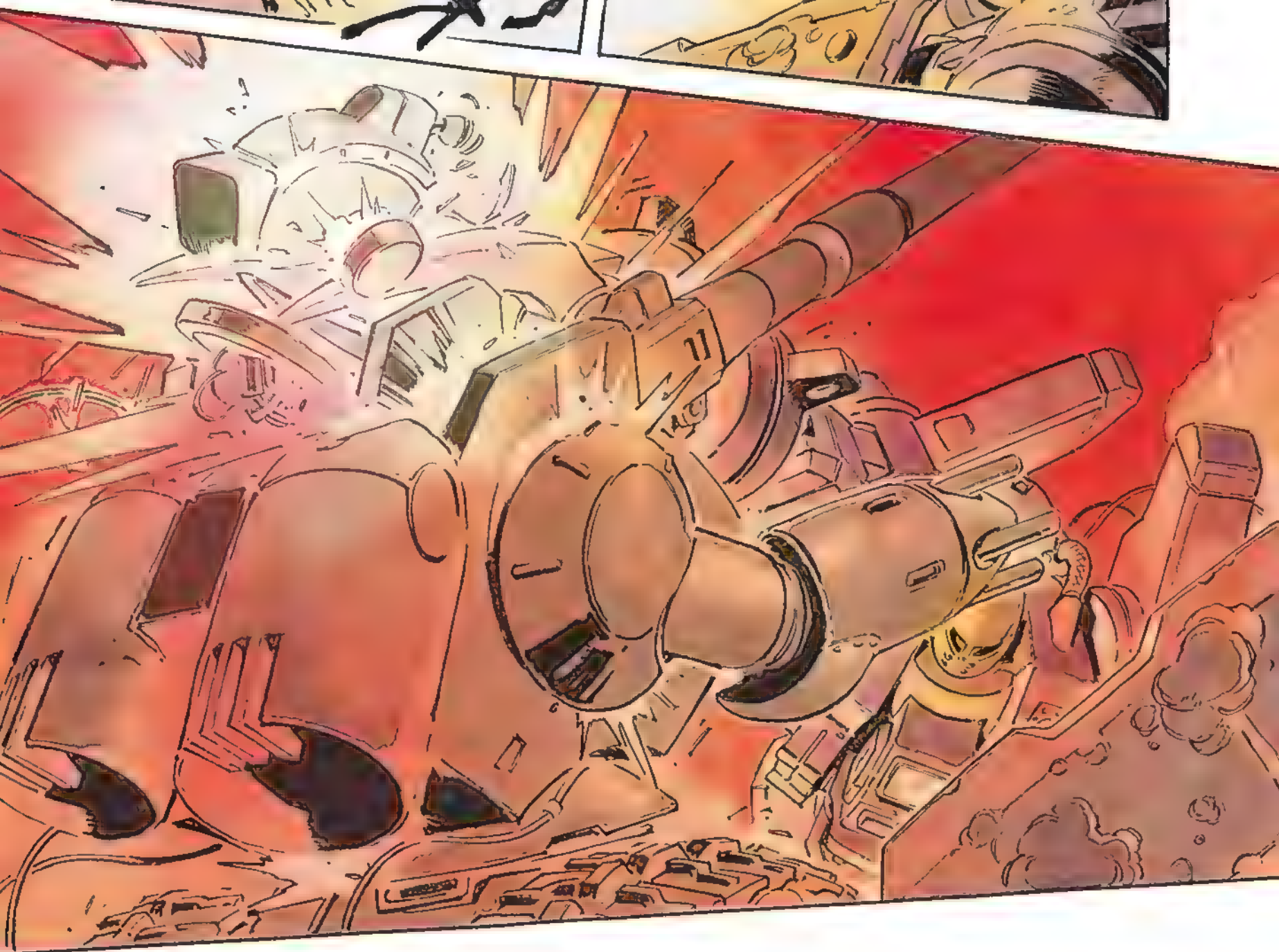
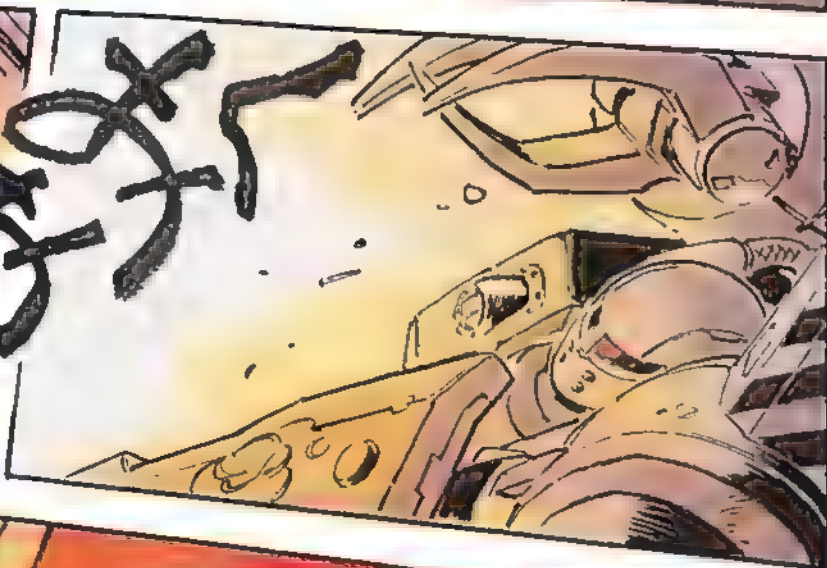
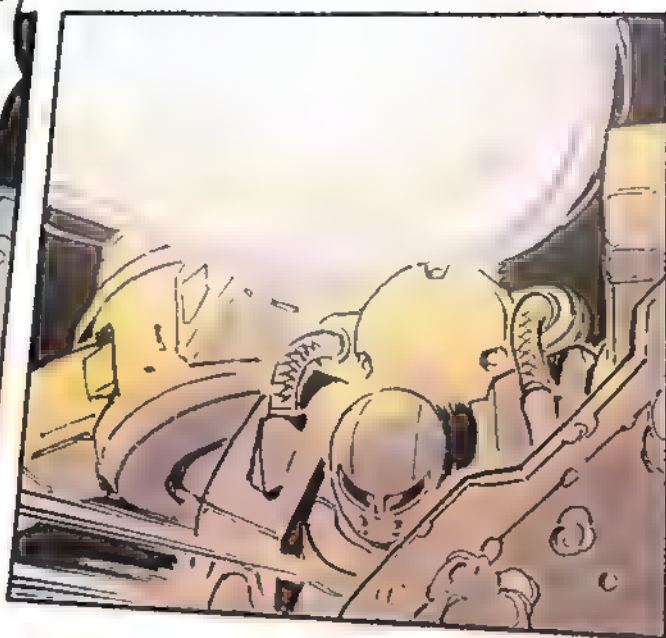


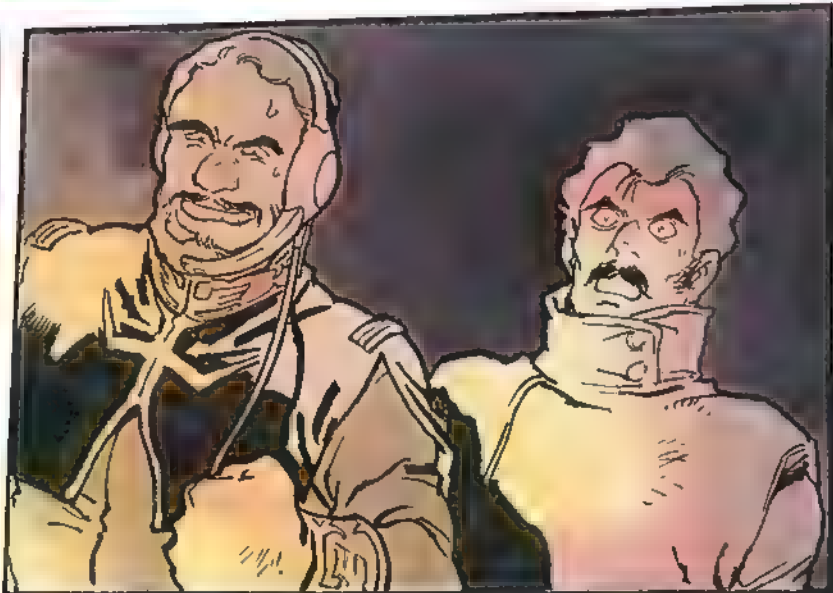
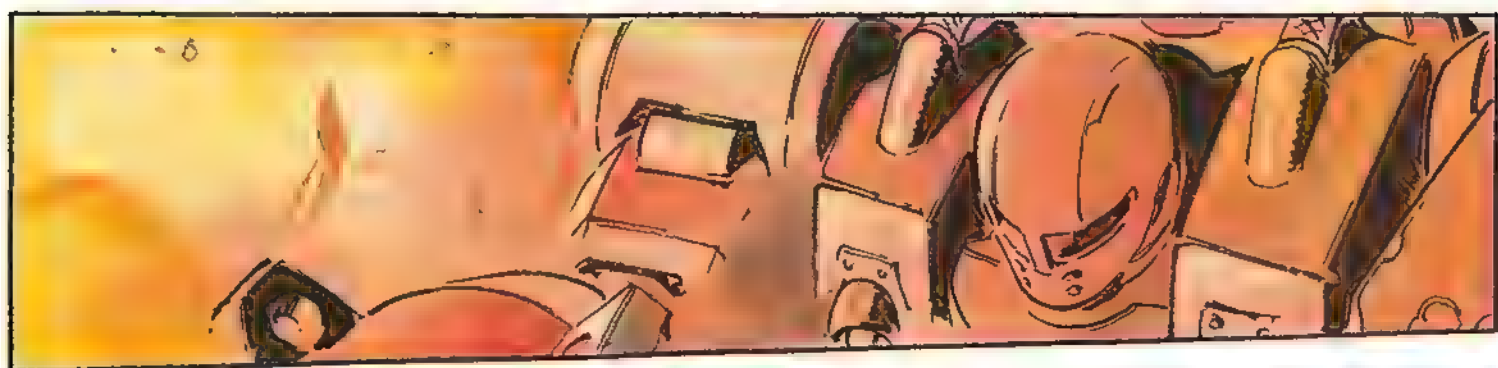
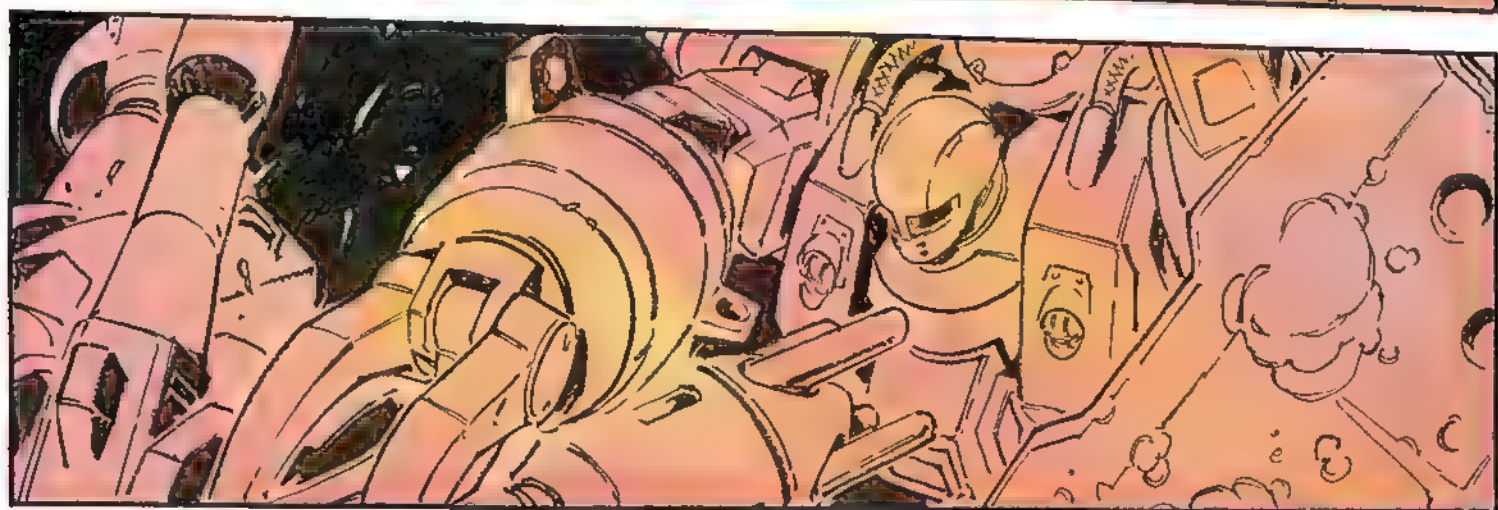
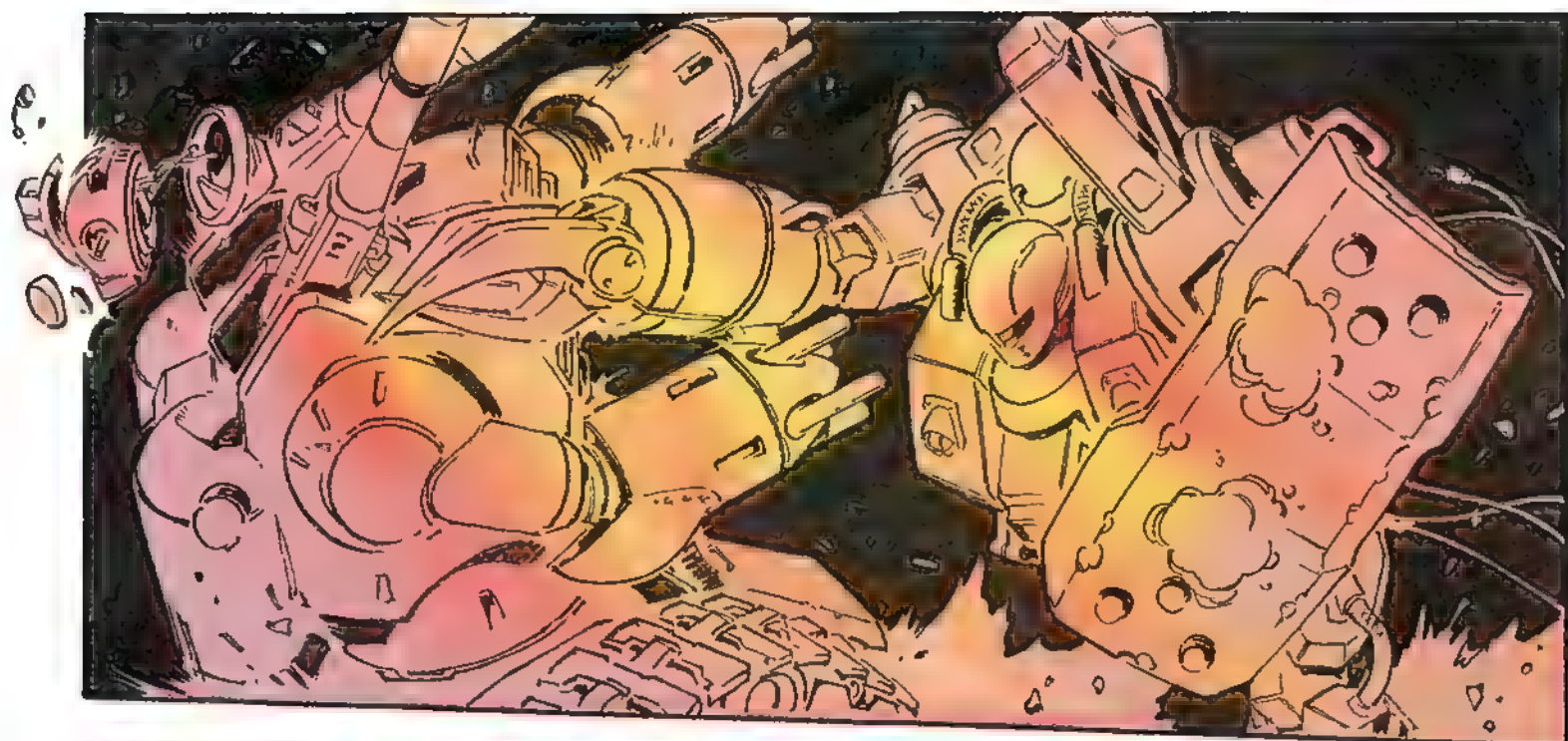


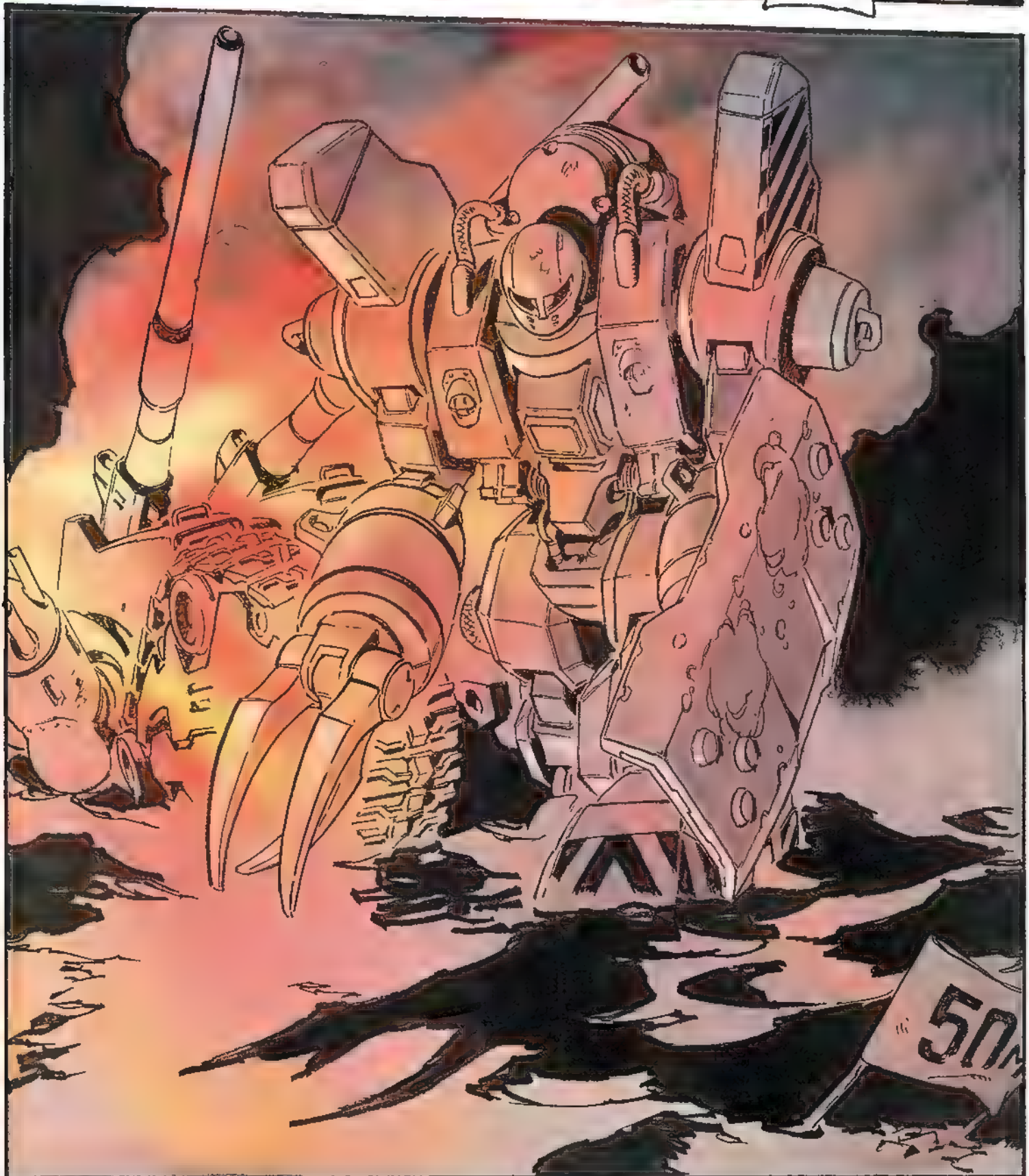
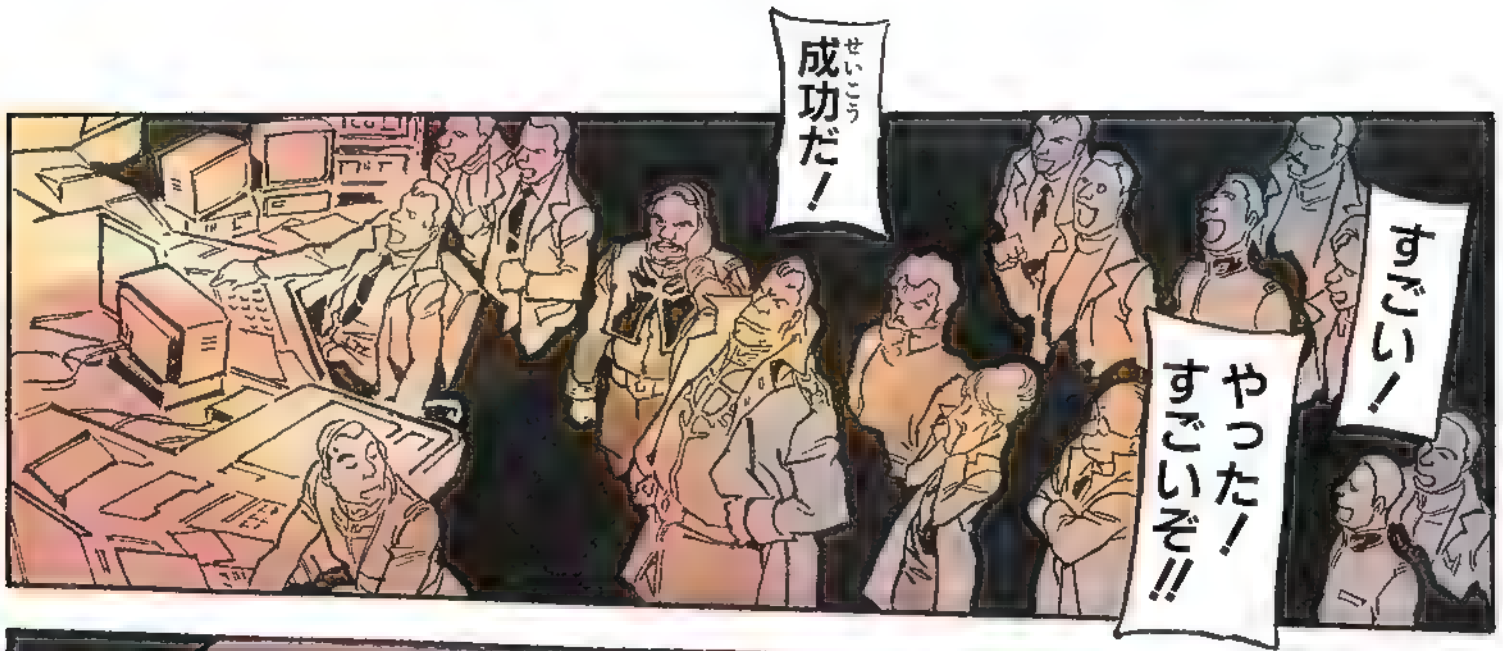








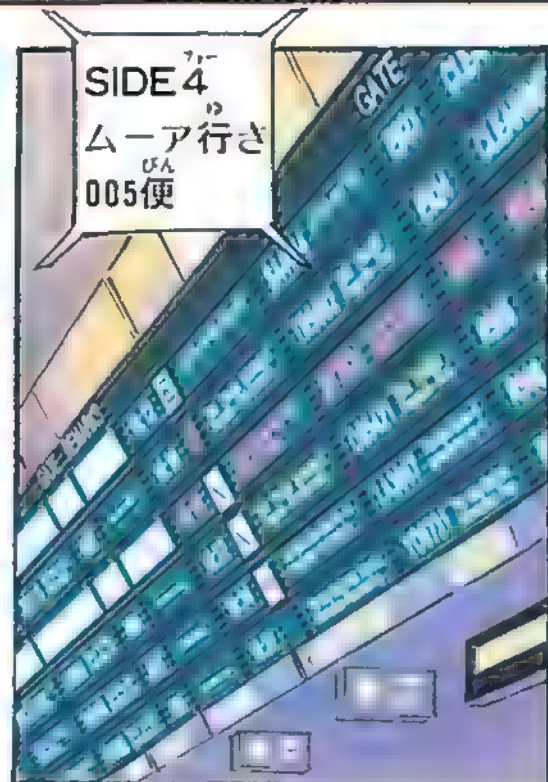
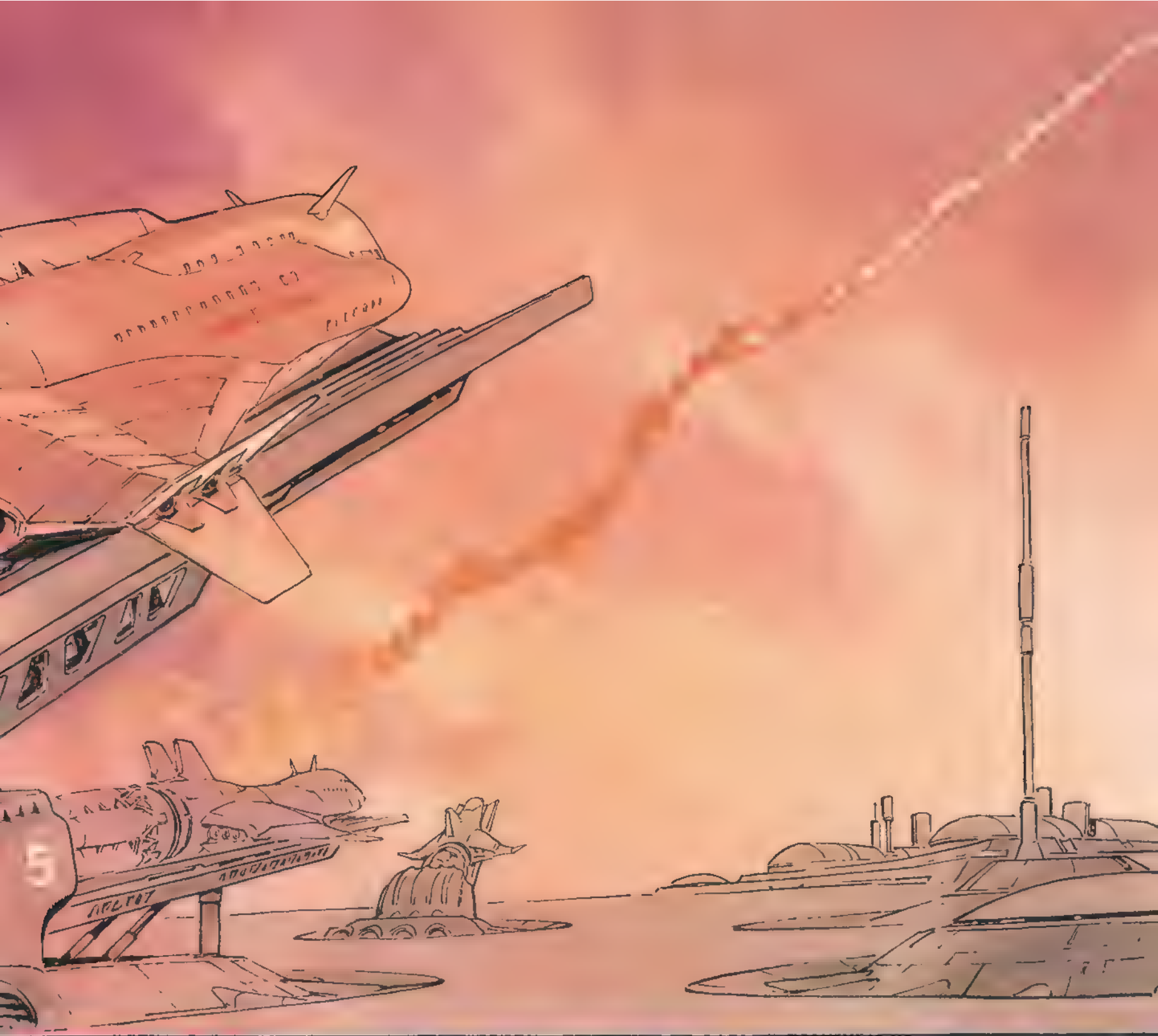


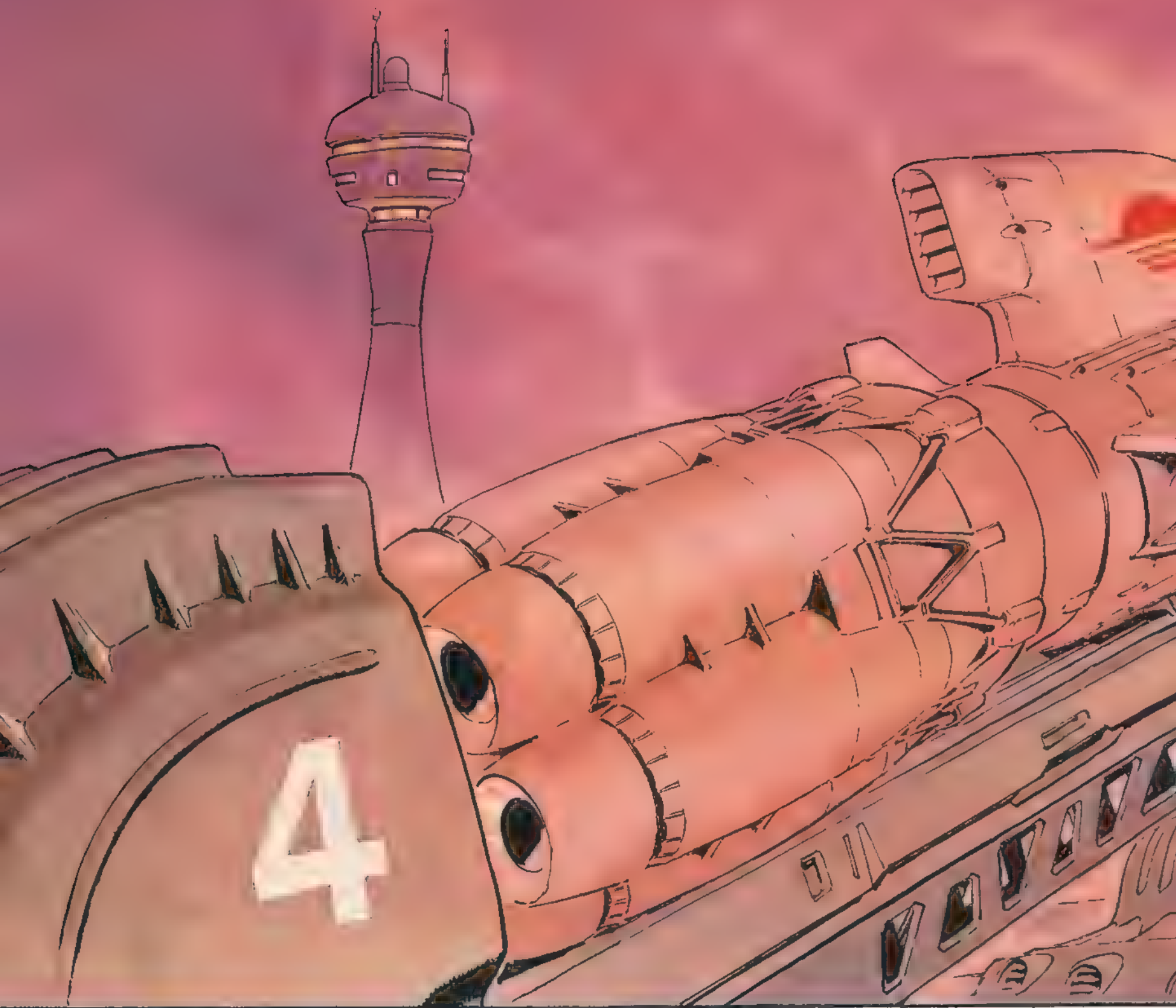


—シャア・セイラ編・後—

SECTION VII

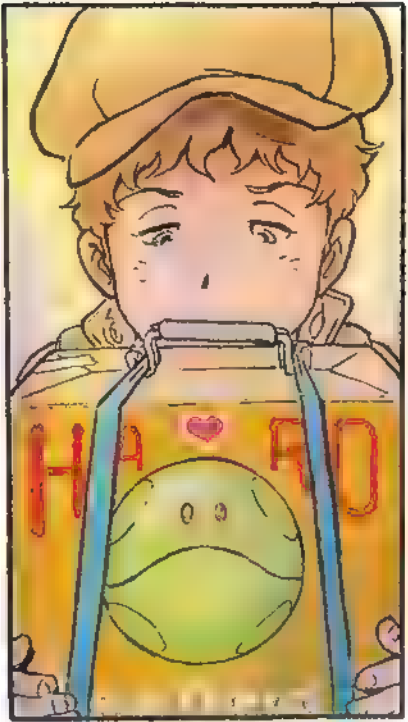




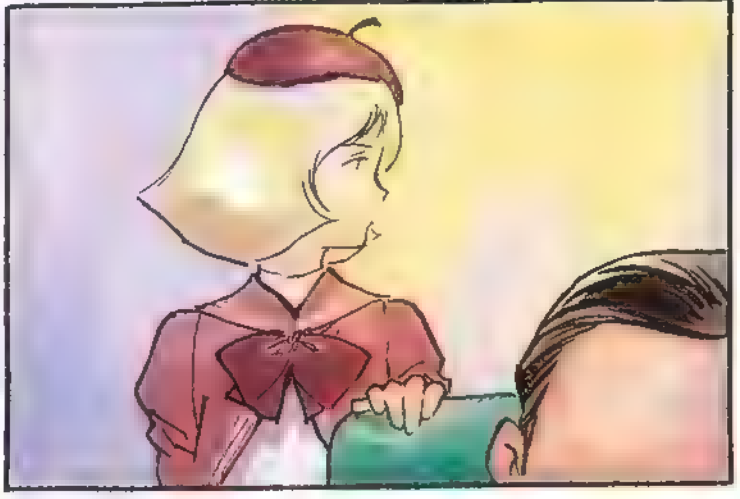


しょうがないな

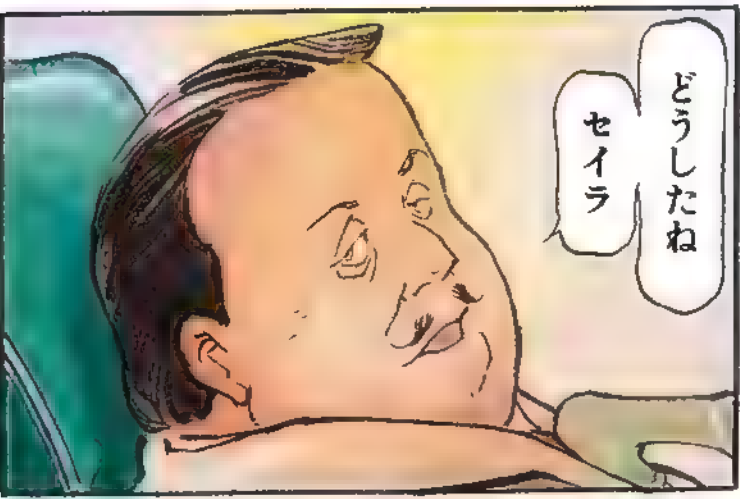
手荷物に預けなさいと



買ってやるんじゃないかな



どうしたね
セイラ



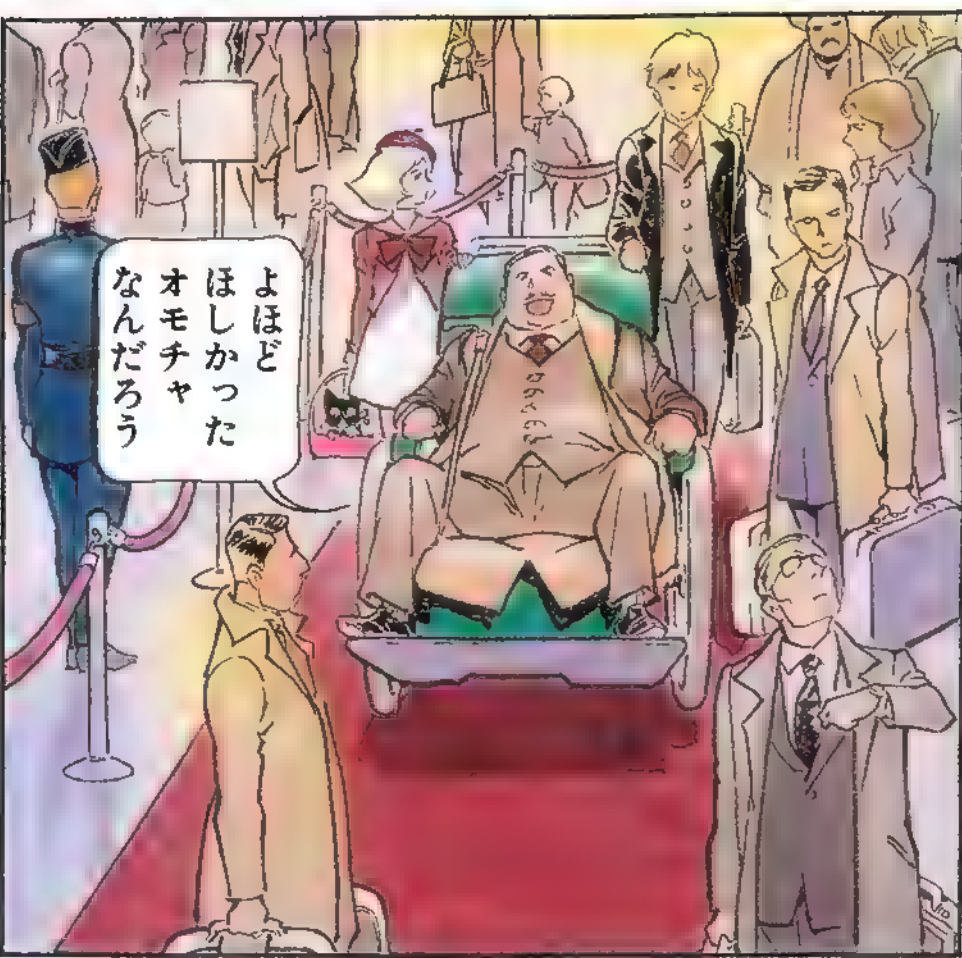
大きなオモチャ
持った子が
迷子になりかけて
お父さん

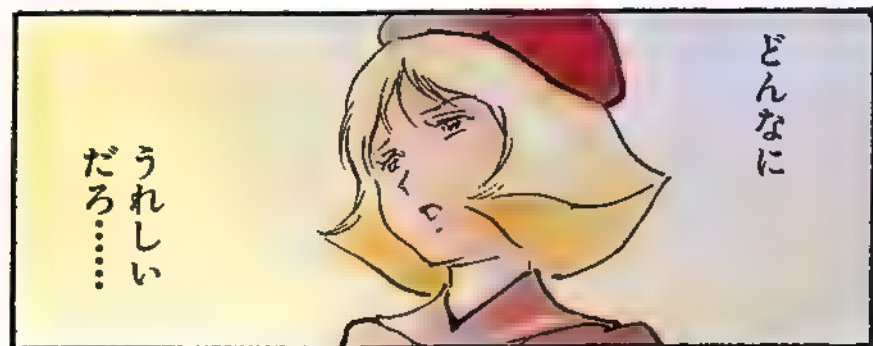
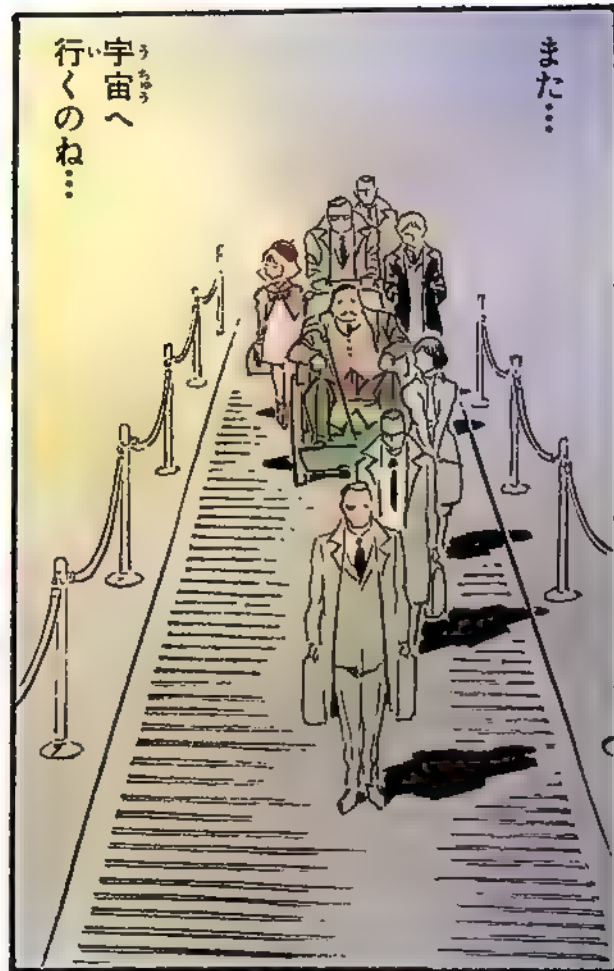
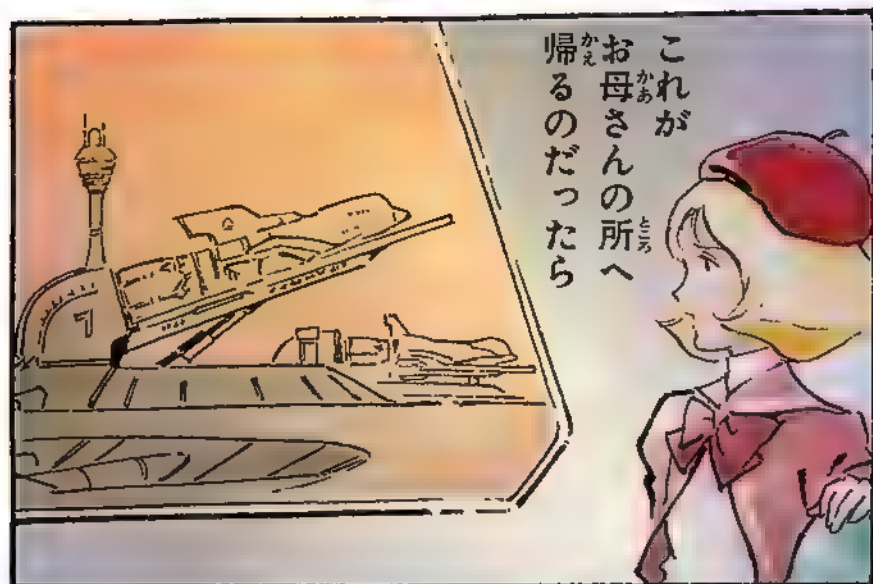
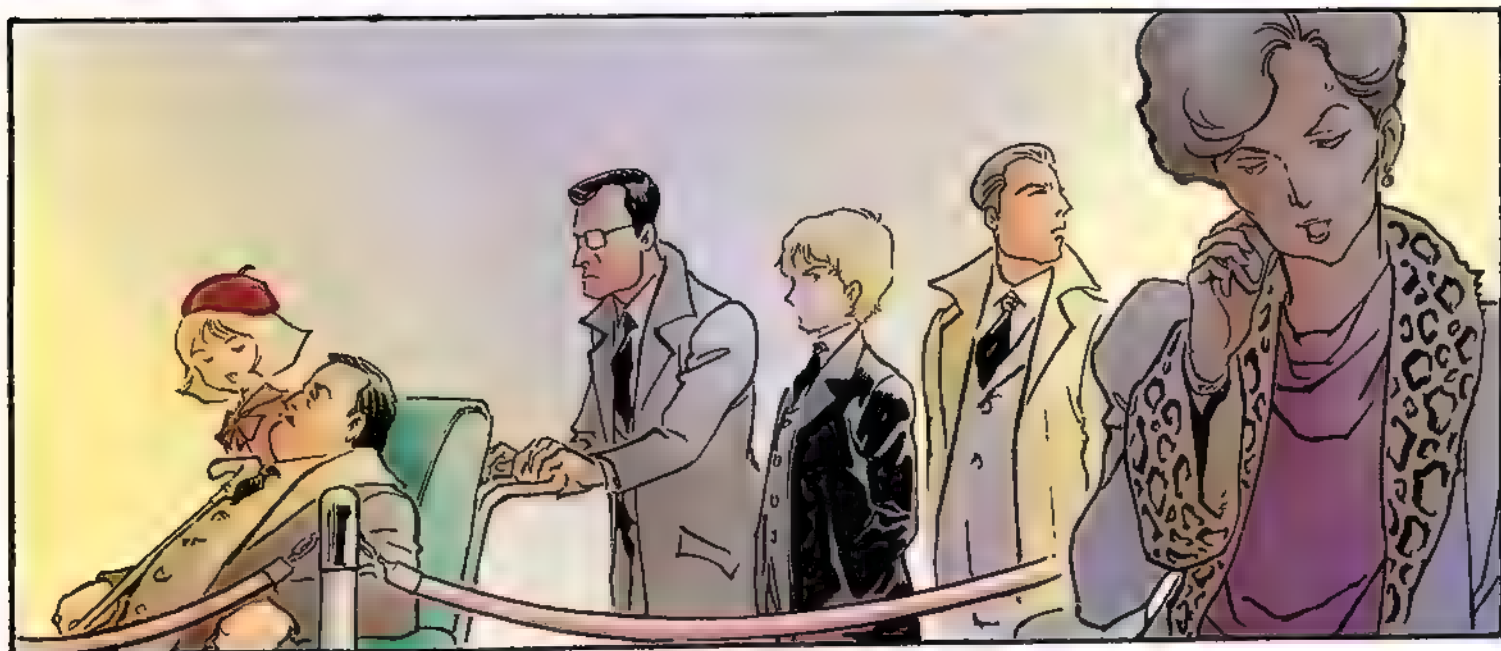
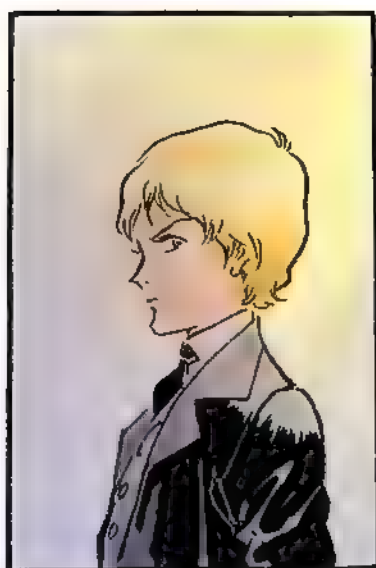


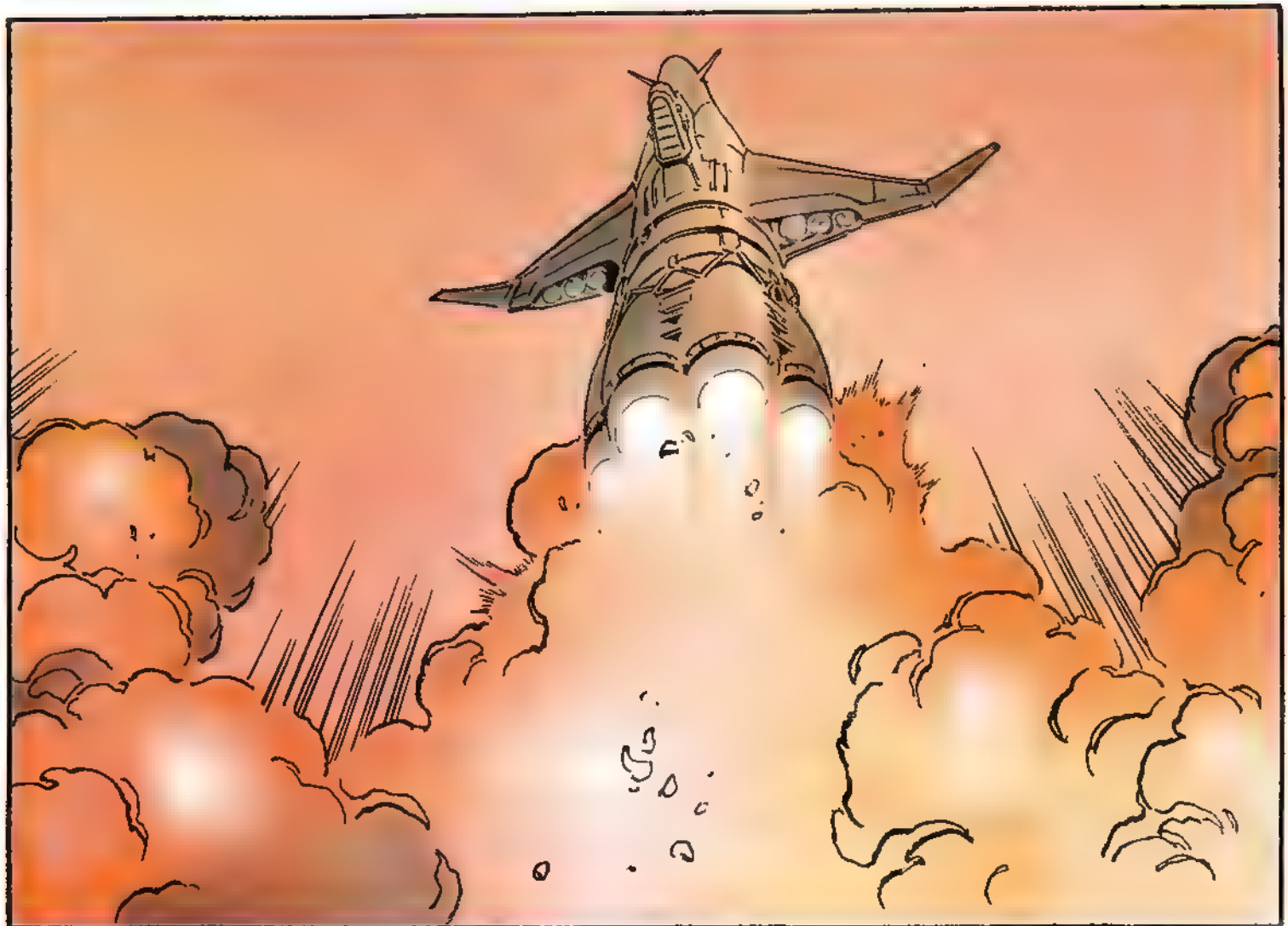
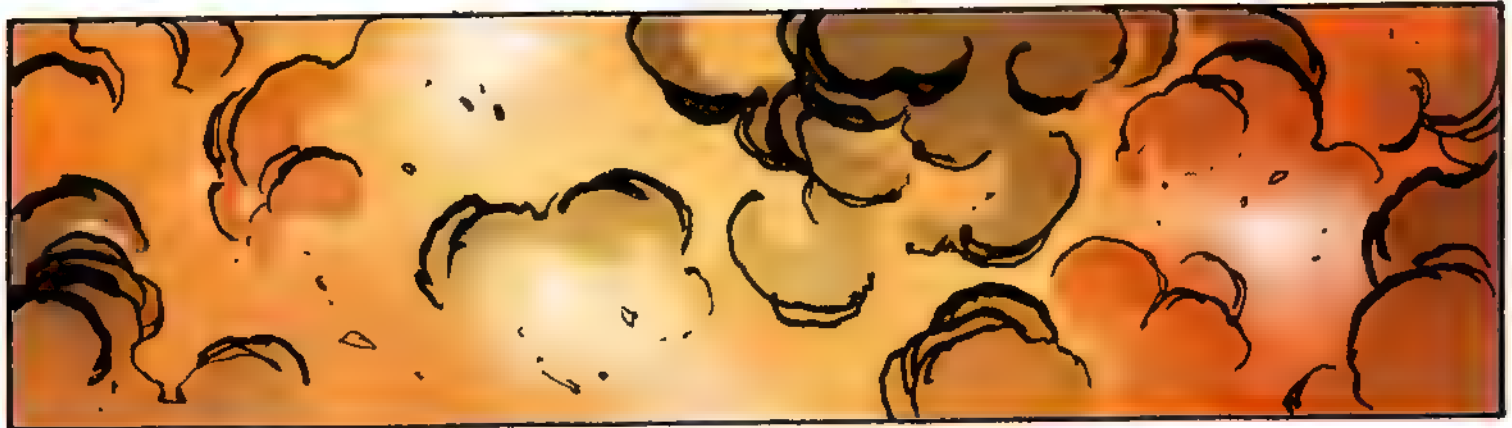
そうか

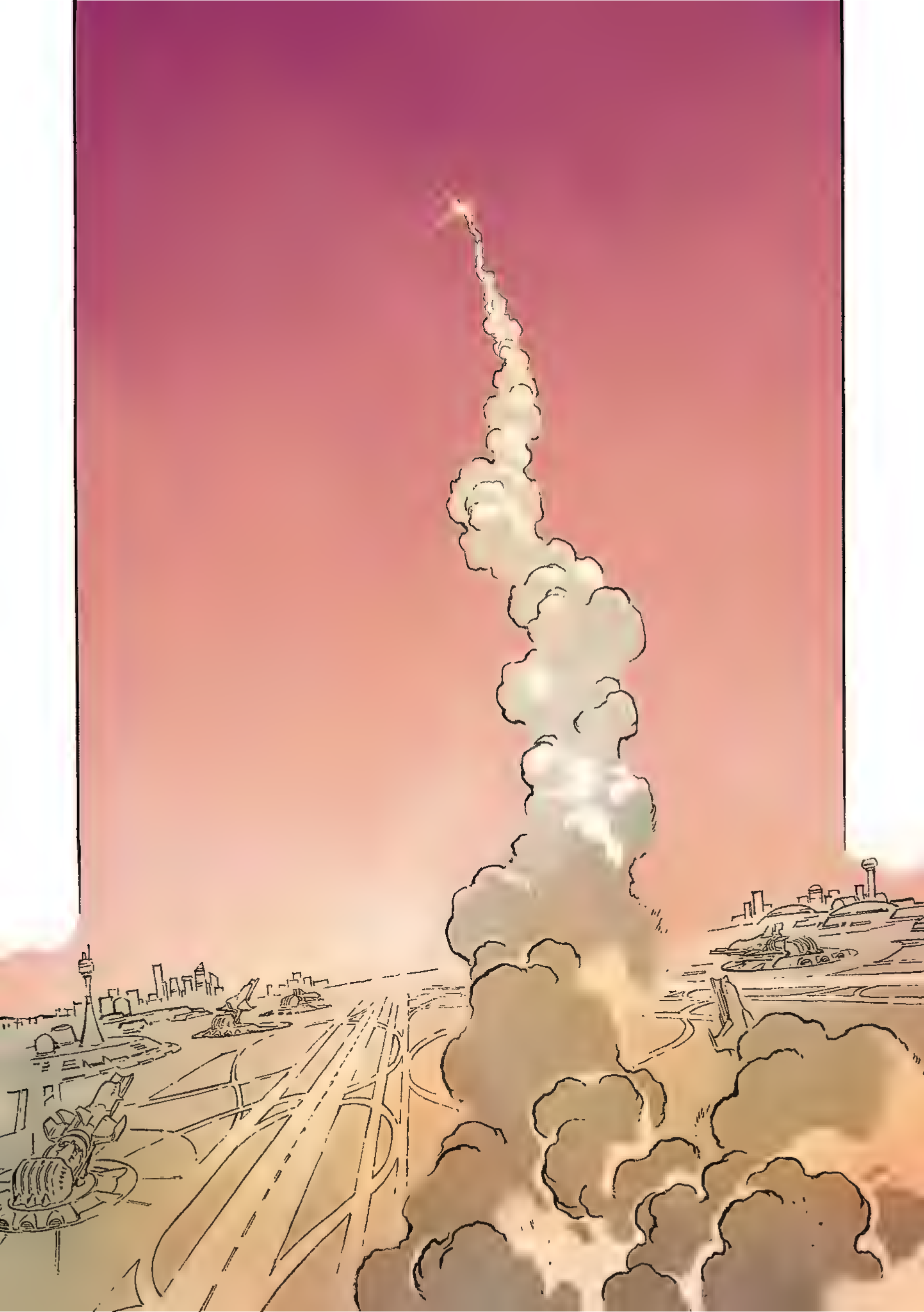
ははは

よほど
ほしかった
オモチャ
なんだろう





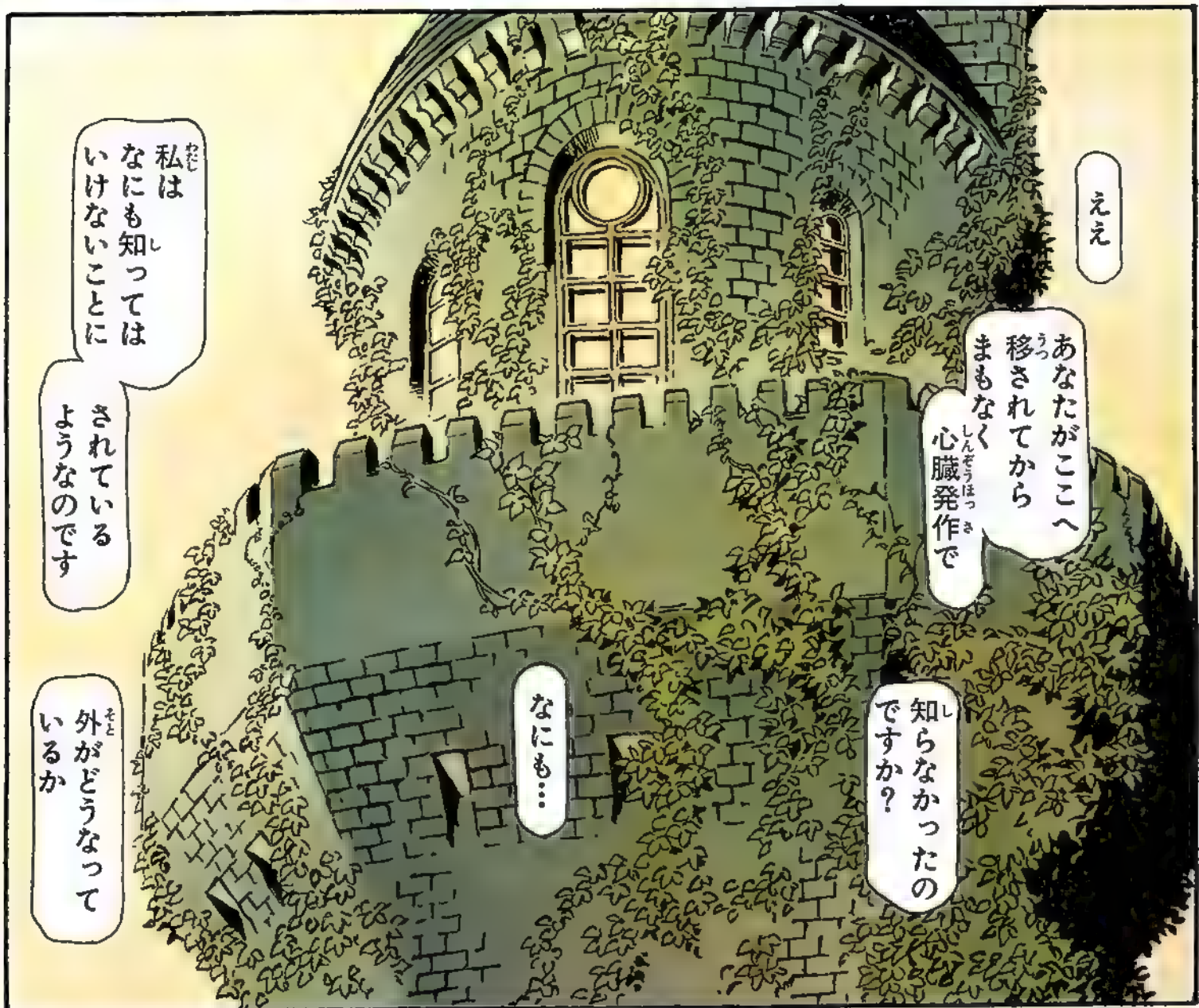






……
そうですか

ローゼルシア様は
亡くなられて
いたのですね……



ええ

あなたがここへ
移されてから
まもなく
心臓発作で

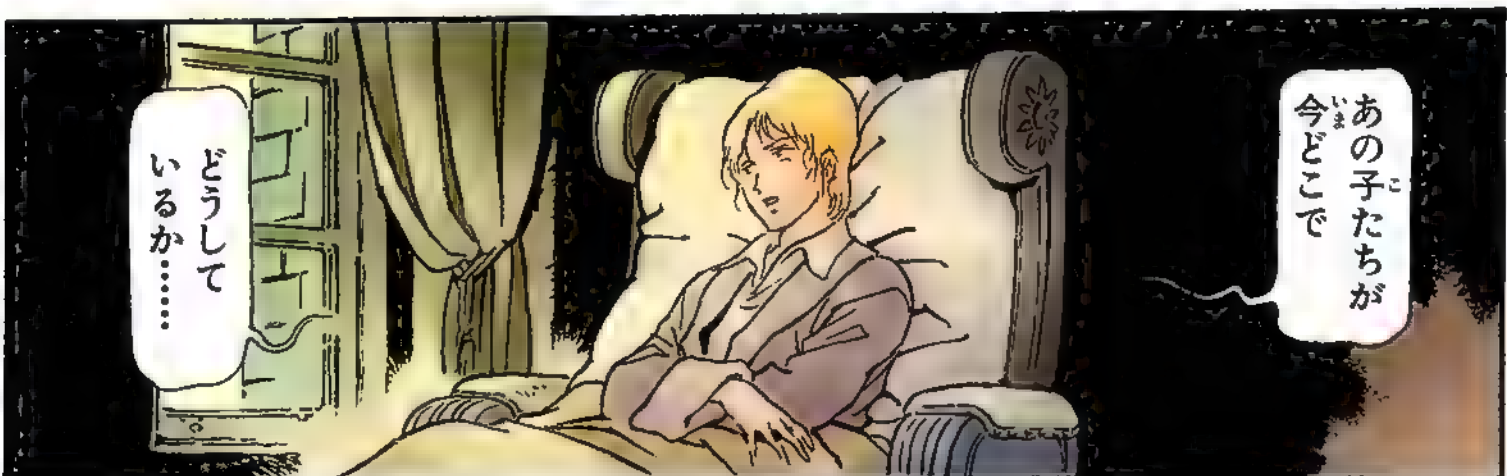
知らなかったの
ですか？

なにも……

私は
なにも知っては
いけないことに

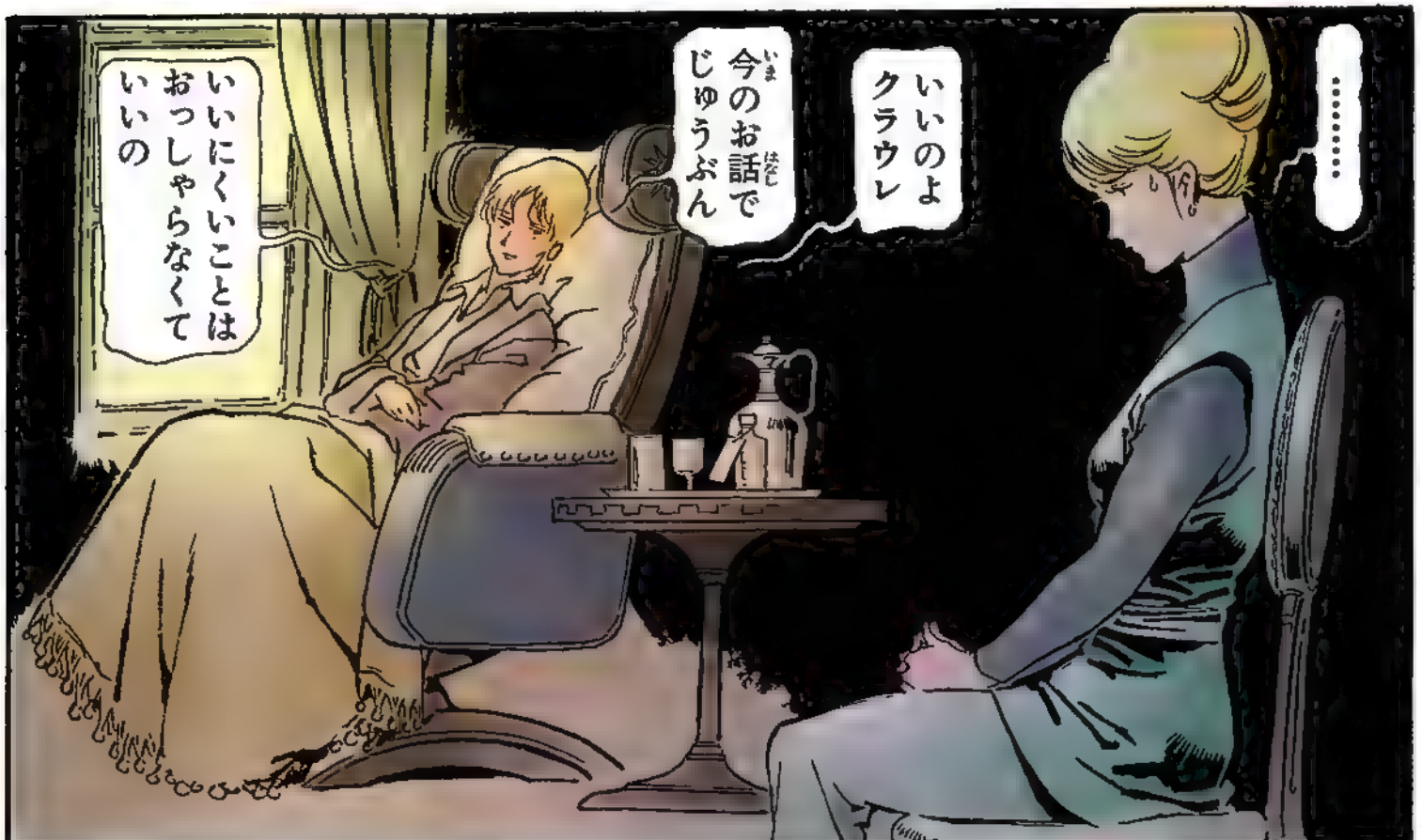
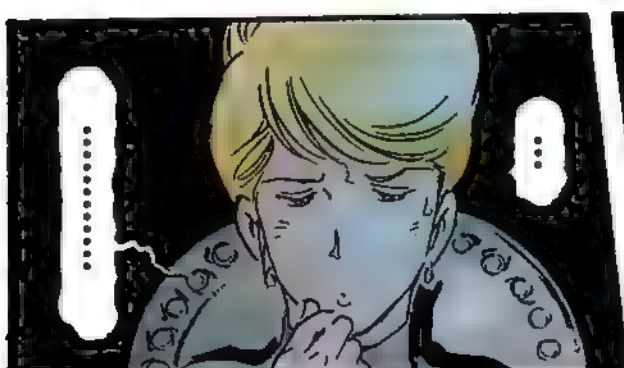
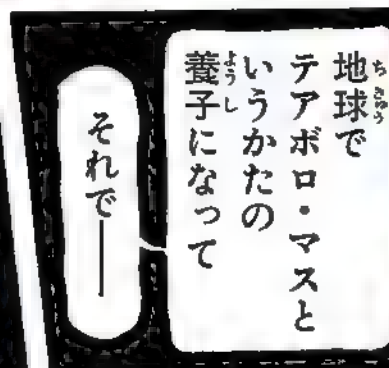
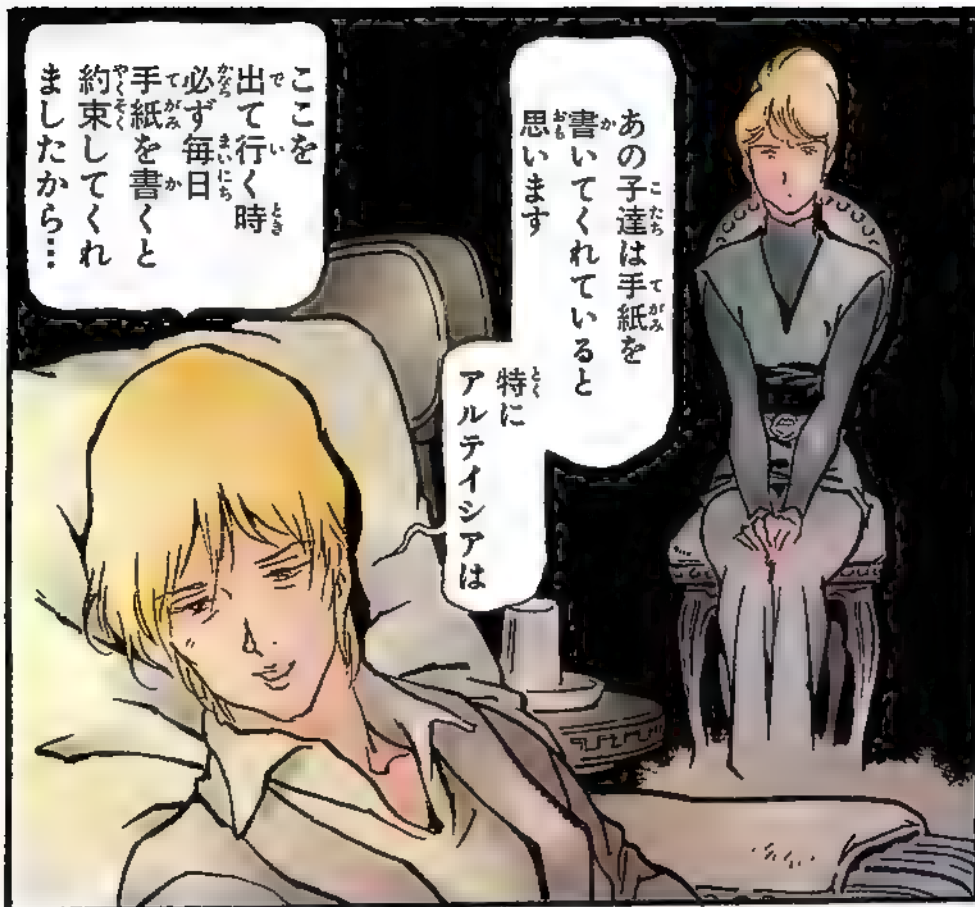
されている
ようなのです

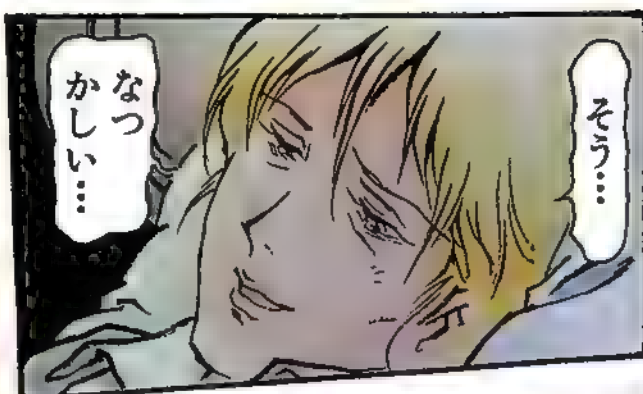
外がどうなって
いるか



あの子たちが
今どこで

どうして
いるか……



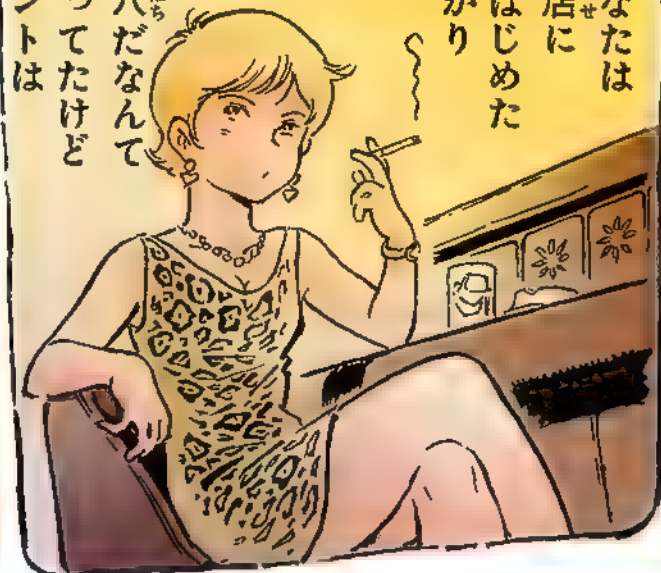


あの人^{ひと}が来た^{きた}...

そこへ



あなたは
お店^{みせ}に
来^きはじめた
ばかり



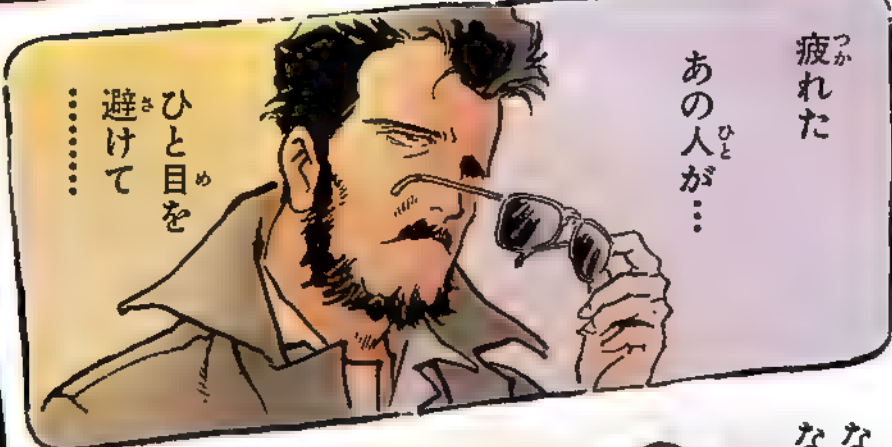
子供^{こども}
だったの
よね...



疲^{つか}れた

あの人^{ひと}が...

ひと目^めを
避^さけて
.....



なんにも感^{かん}じ
なかつた

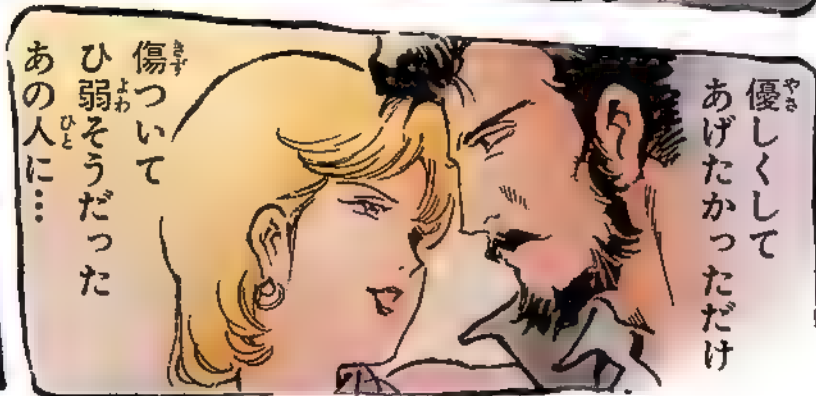
あの人^{ひと}が
連邦^{れんぽう}にマ^マーク
されてい^いる政治運動家^{せいじうんどうか}
だと知^しっても

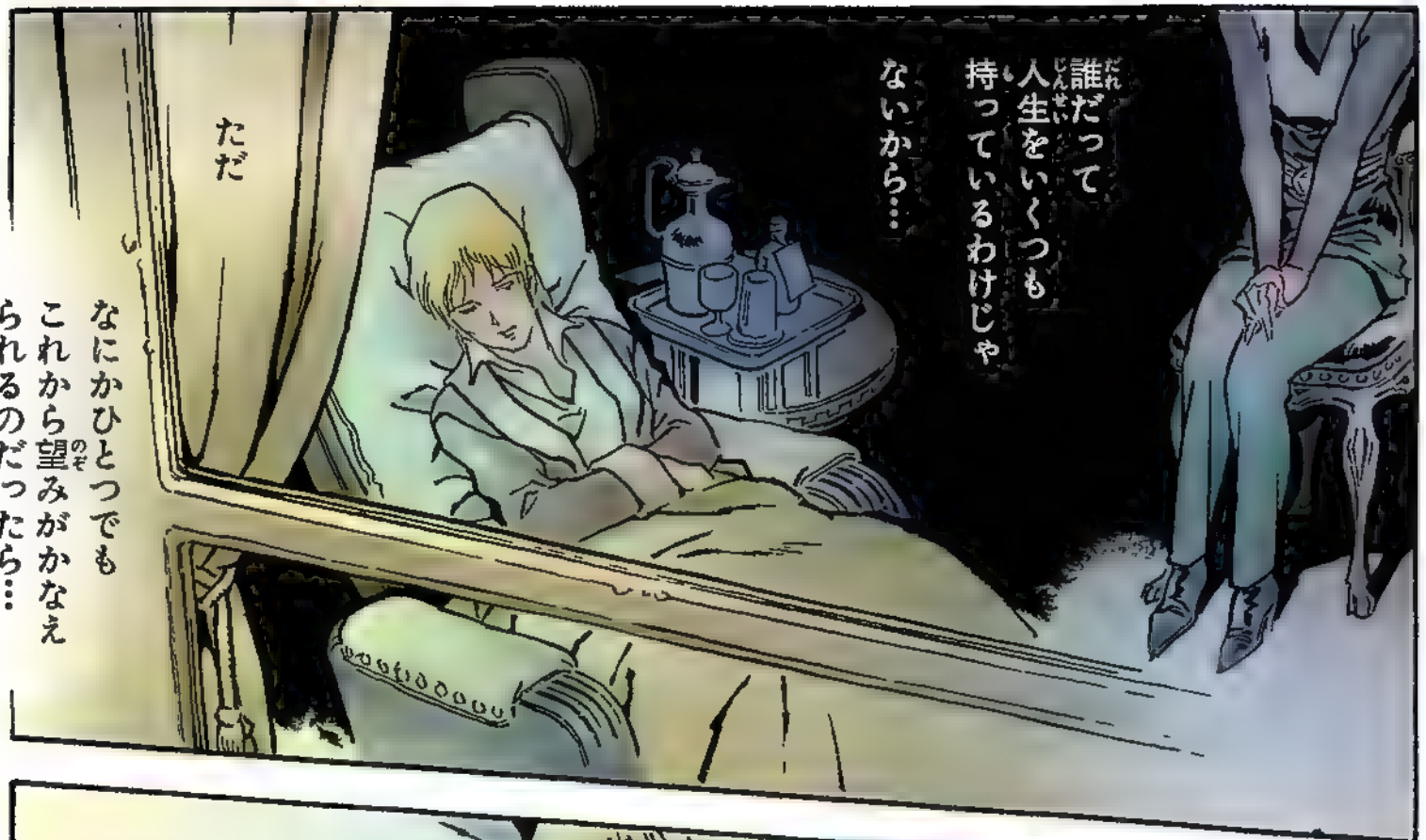


でも
後悔^{こうかい}なんか
しない.....

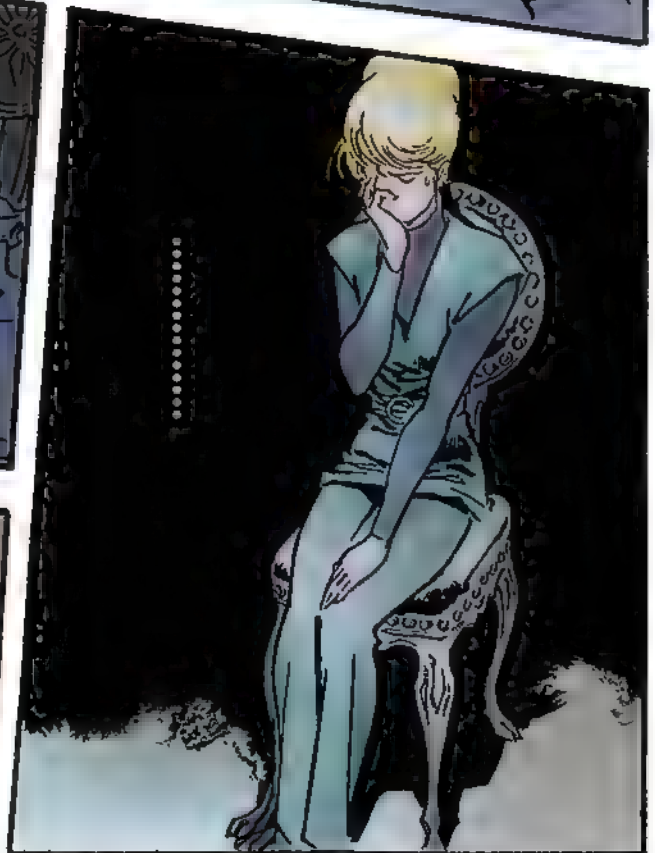
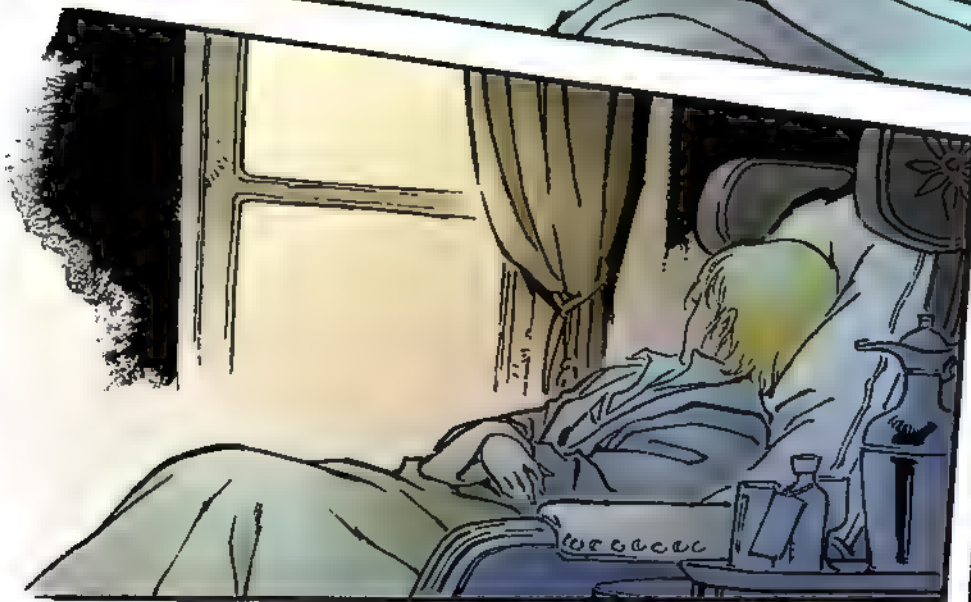
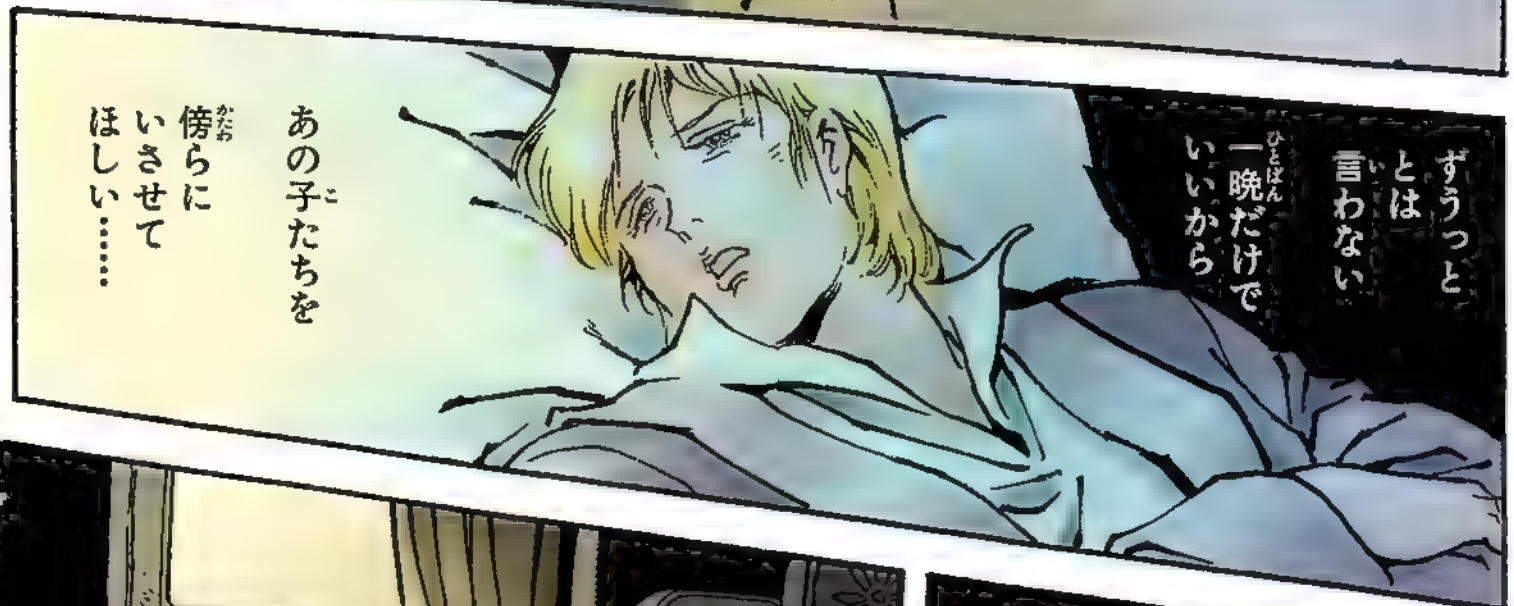


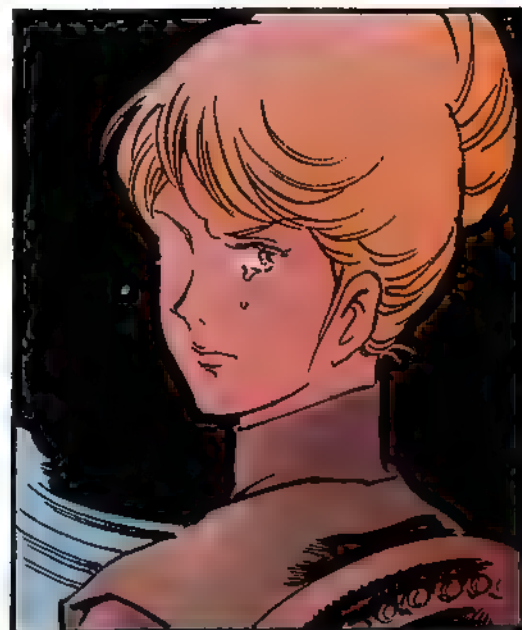
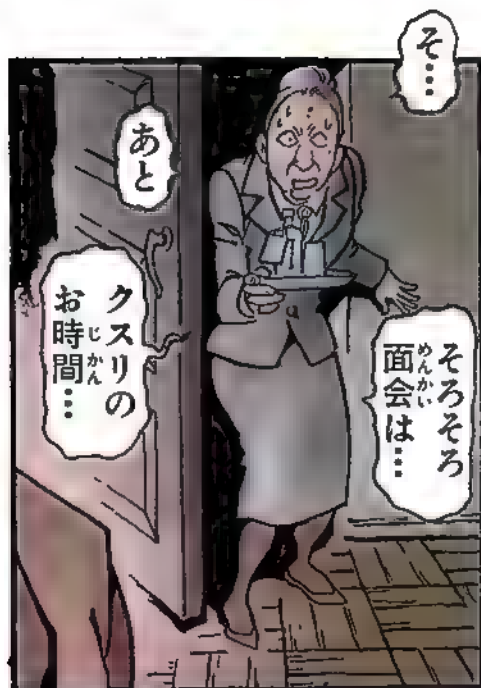
優^{やさ}しくして
あげた^あっただけ
傷^{きず}ついて
ひ弱^{よわ}そうだった
あの人^{ひと}に...



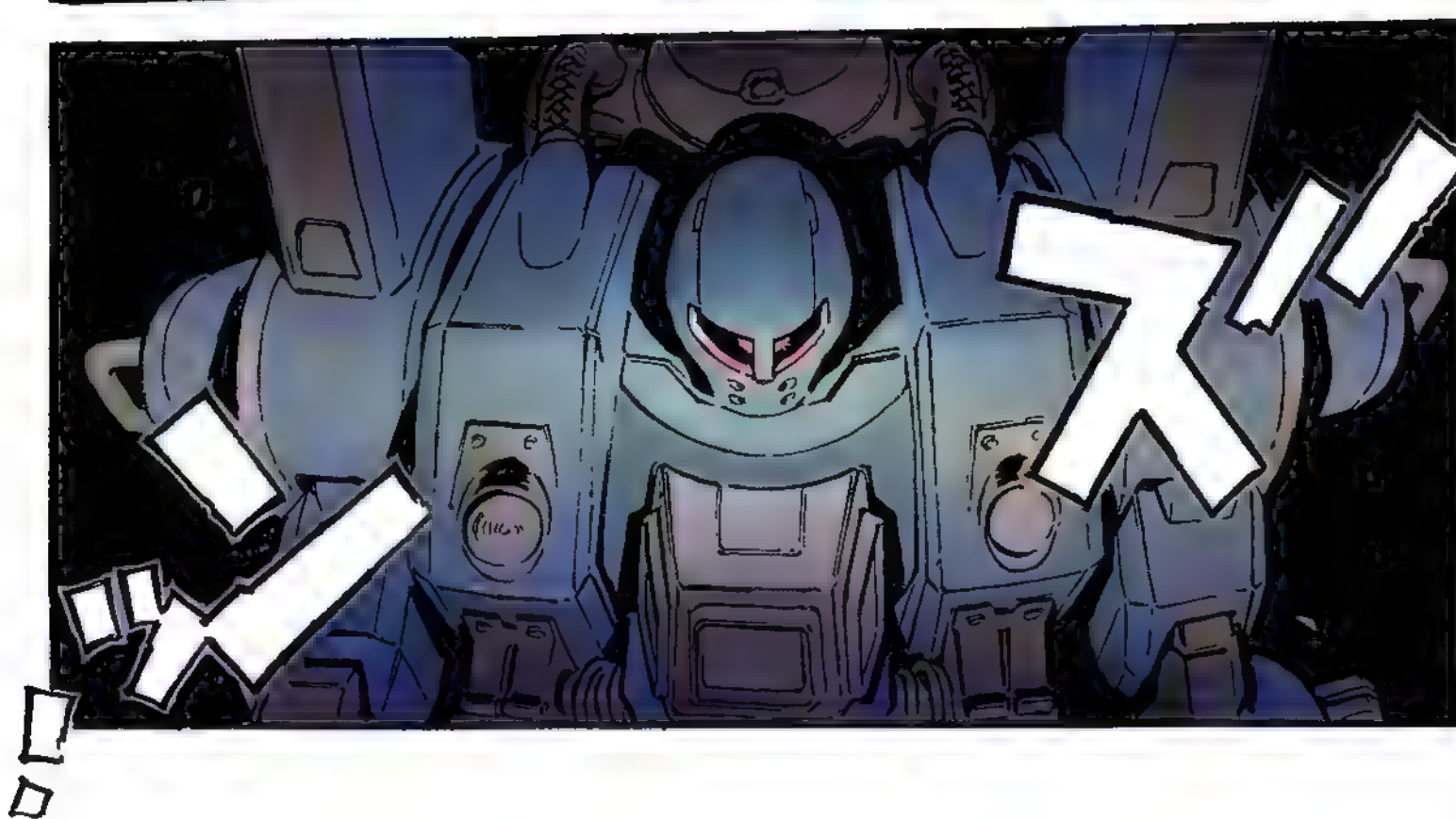
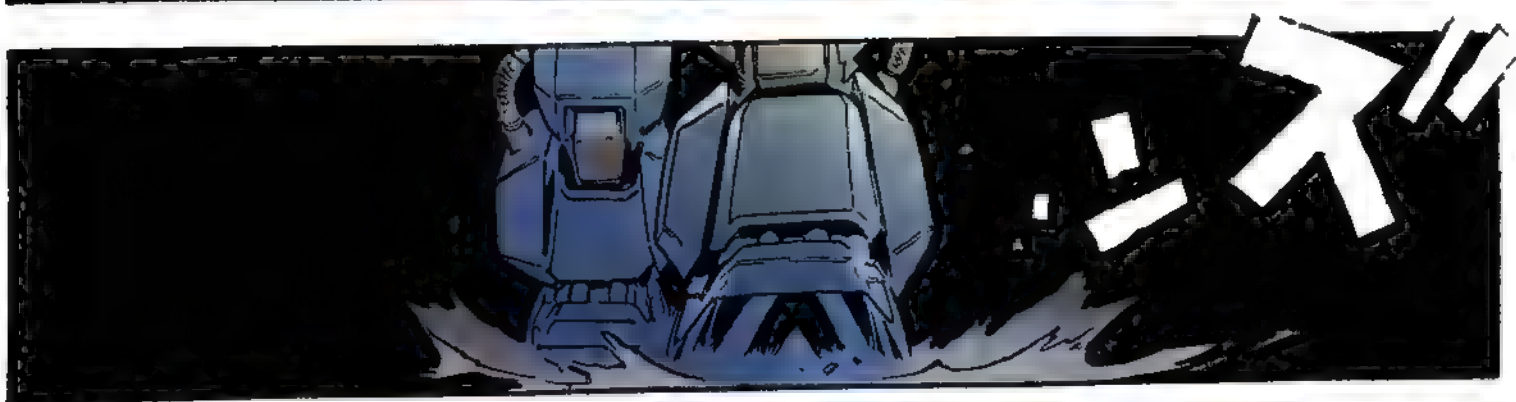
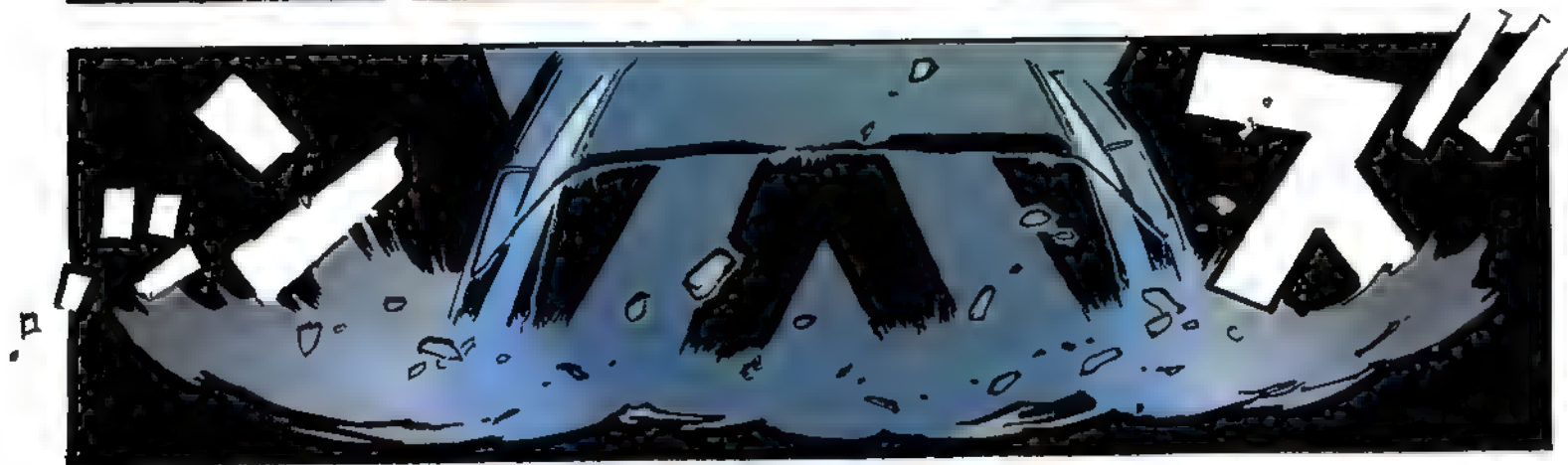


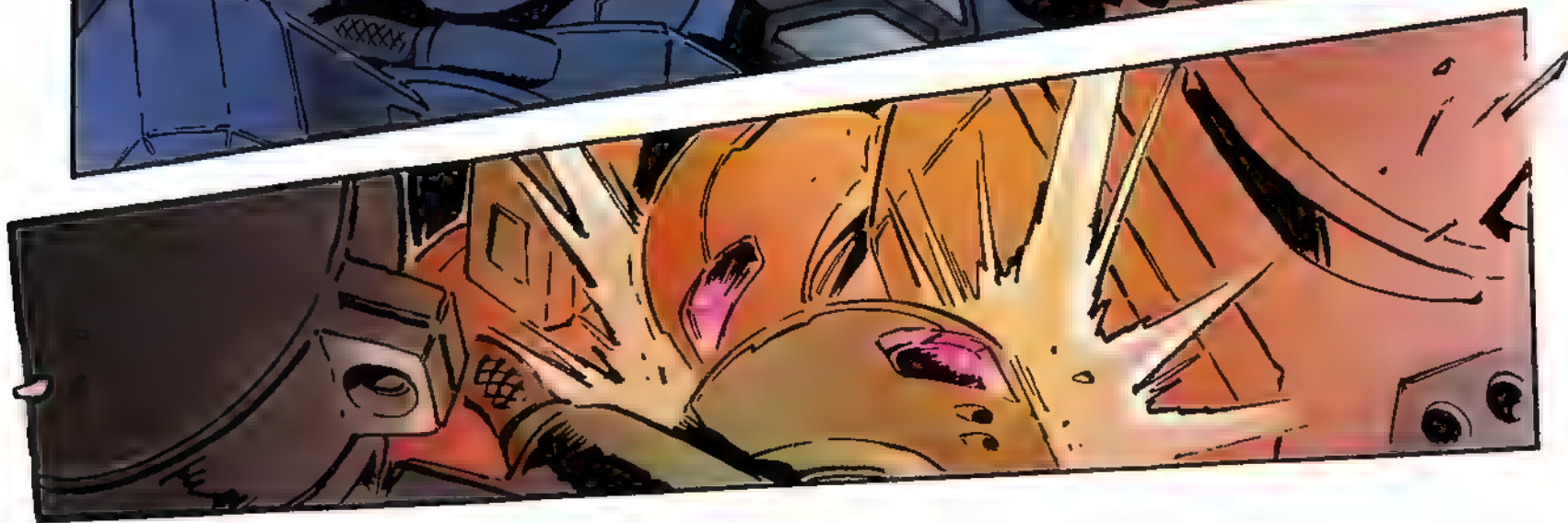
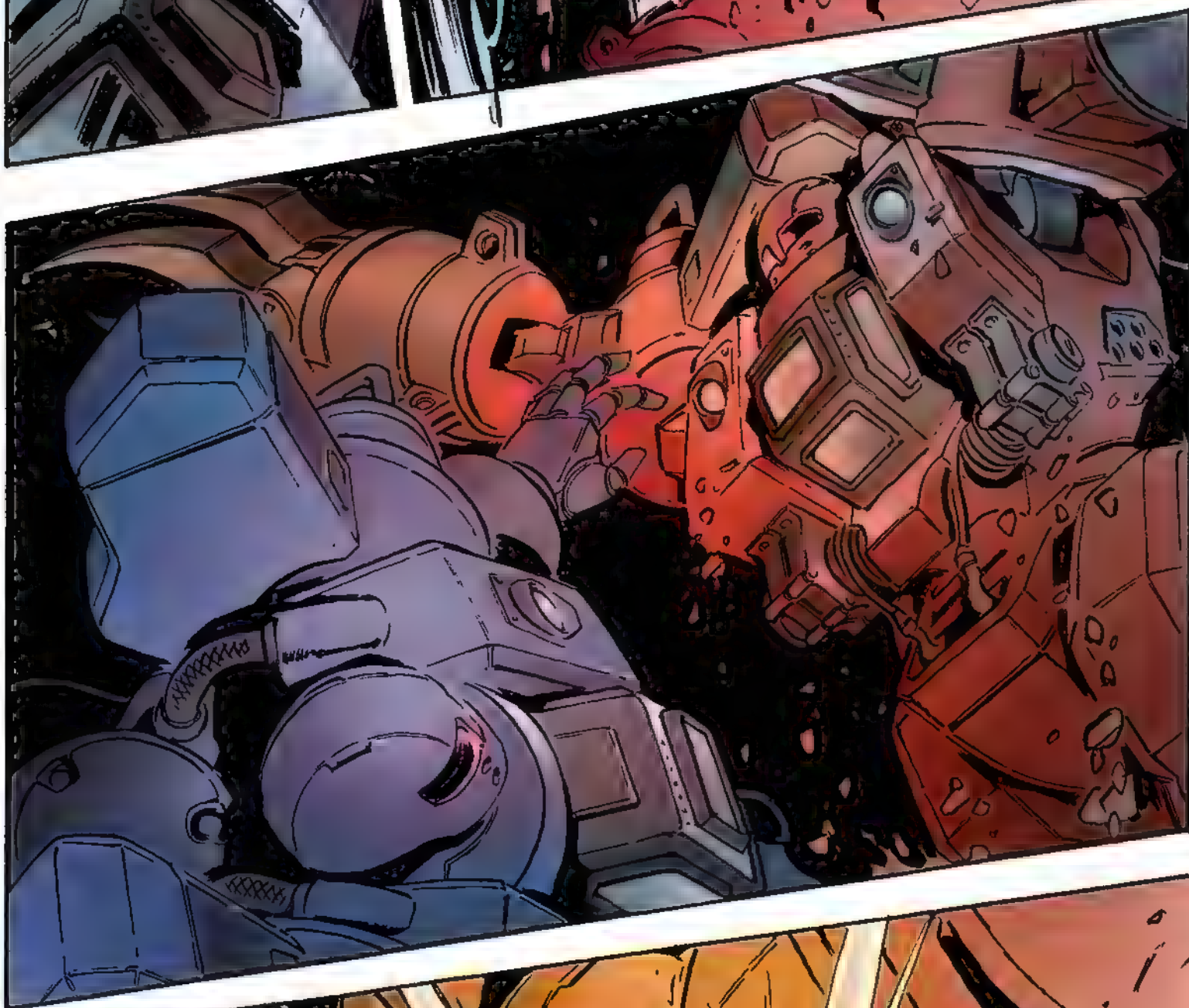
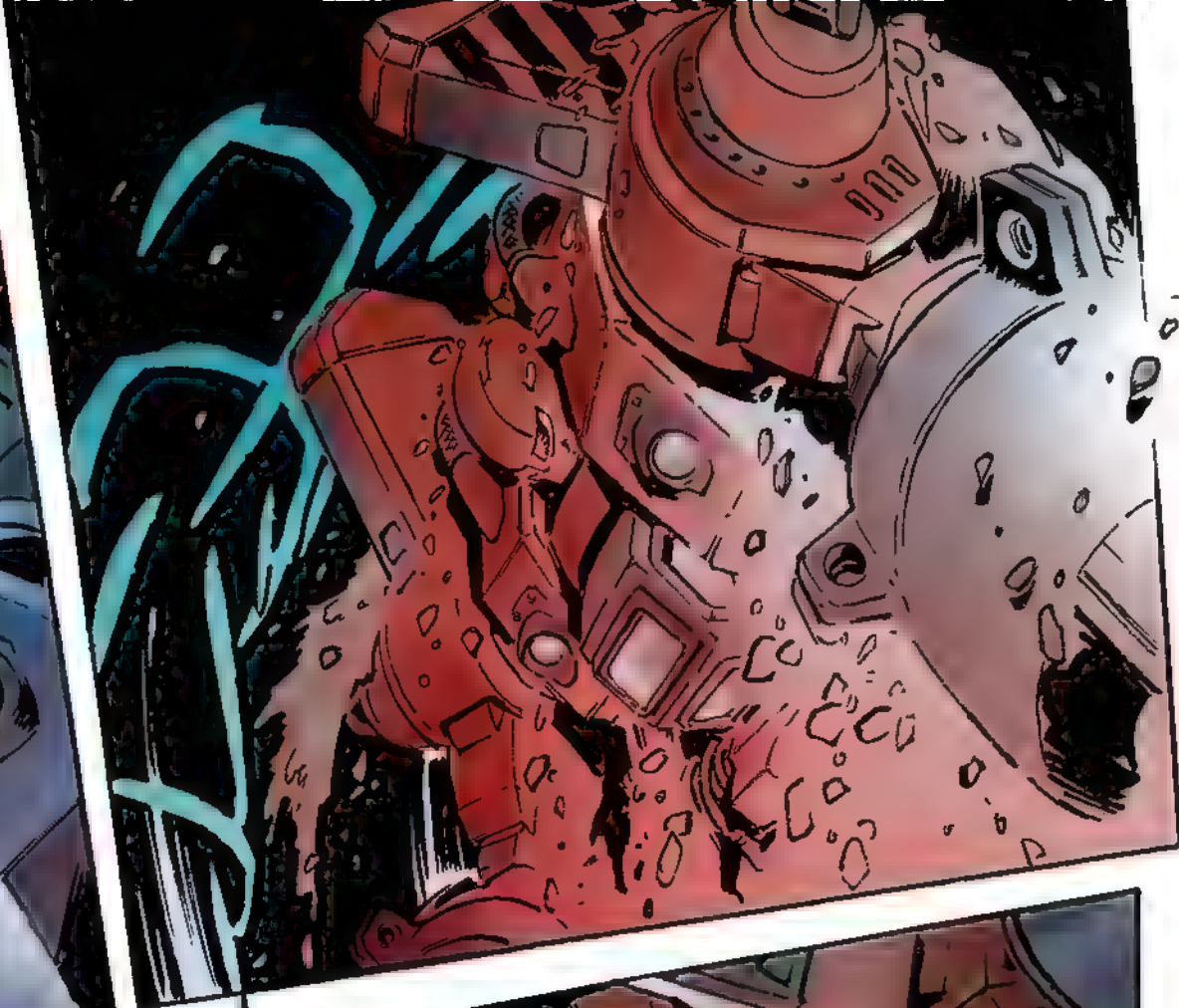
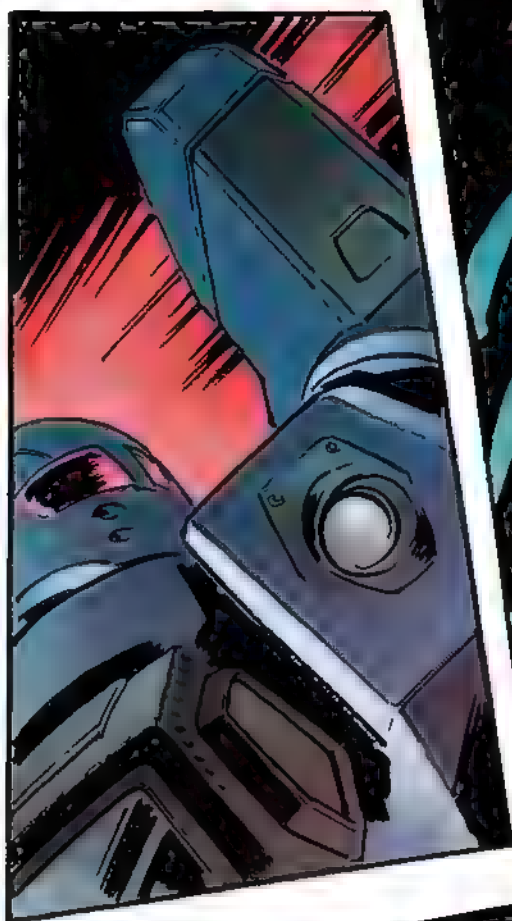
なにかひとつでも
これから望みがかなえ
られるのだったら...

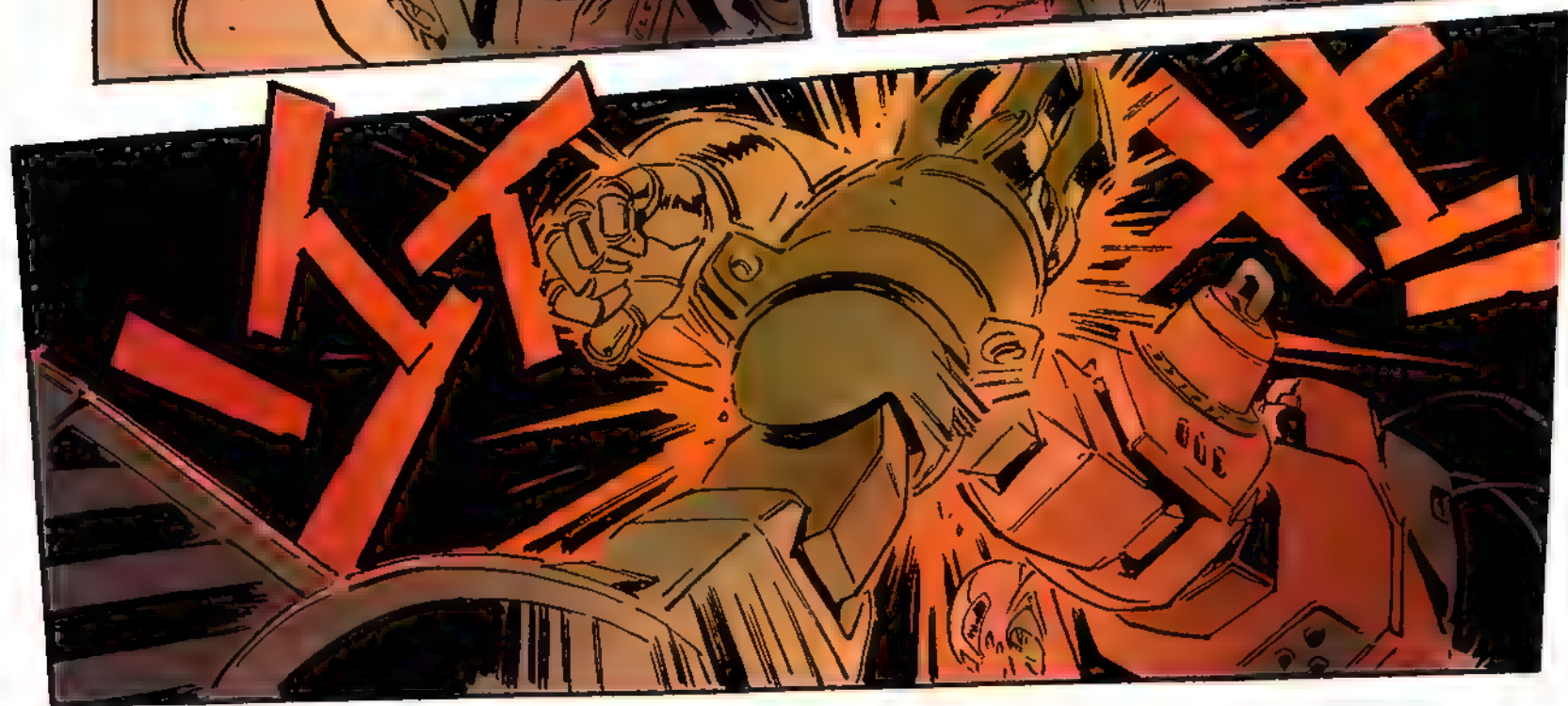
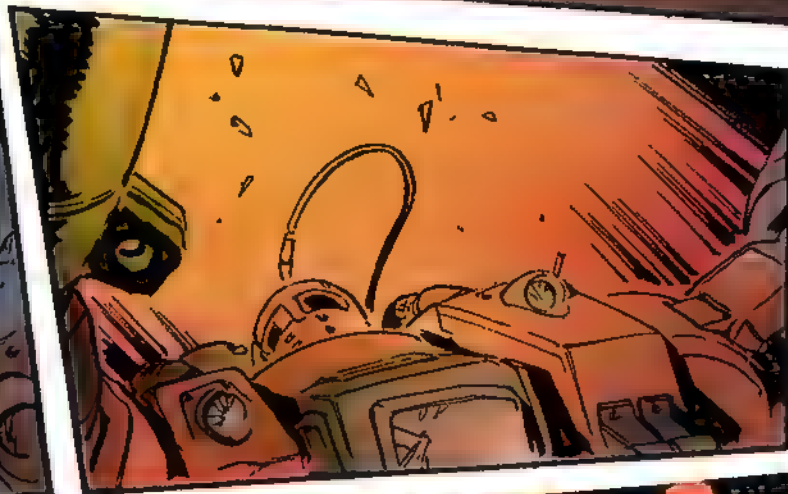
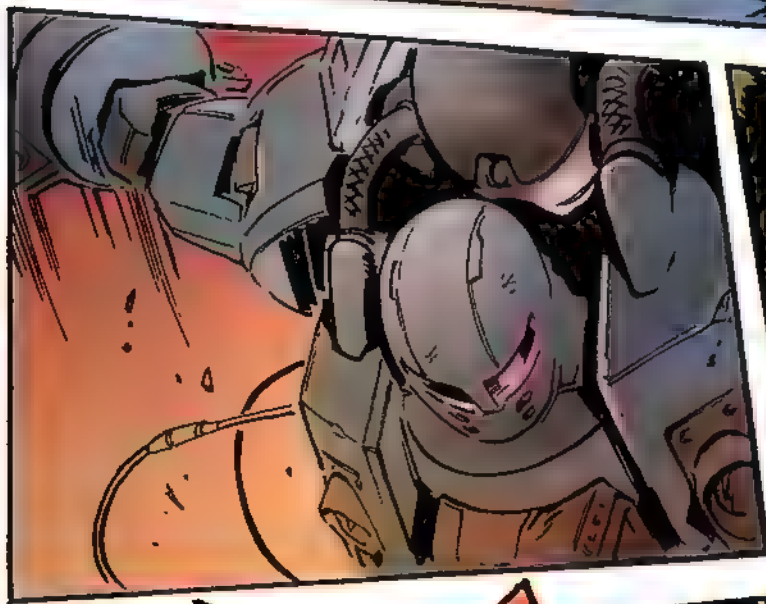


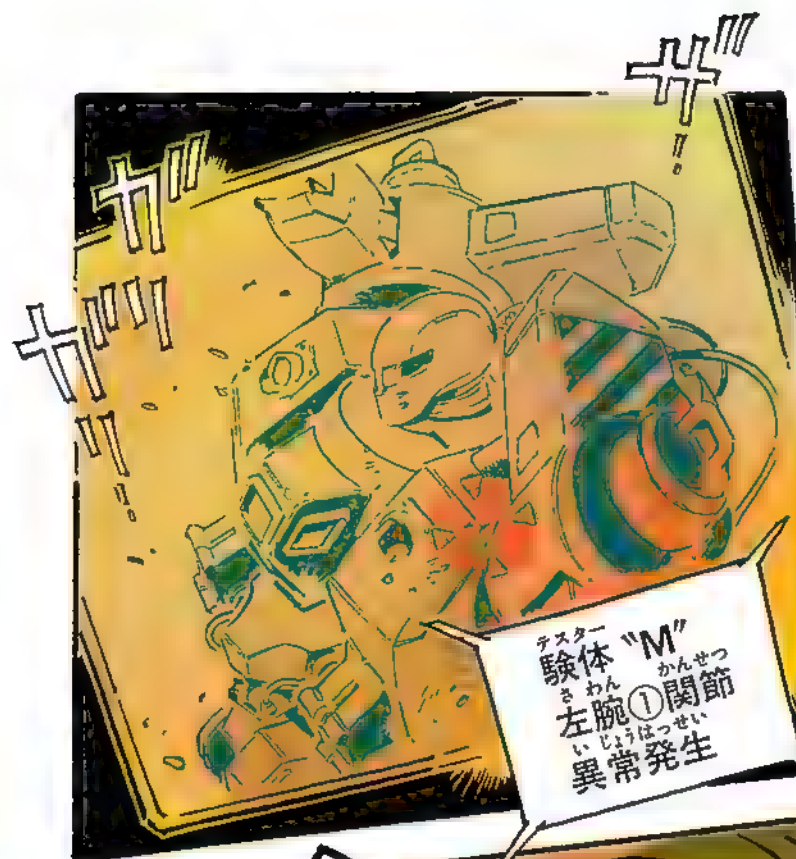












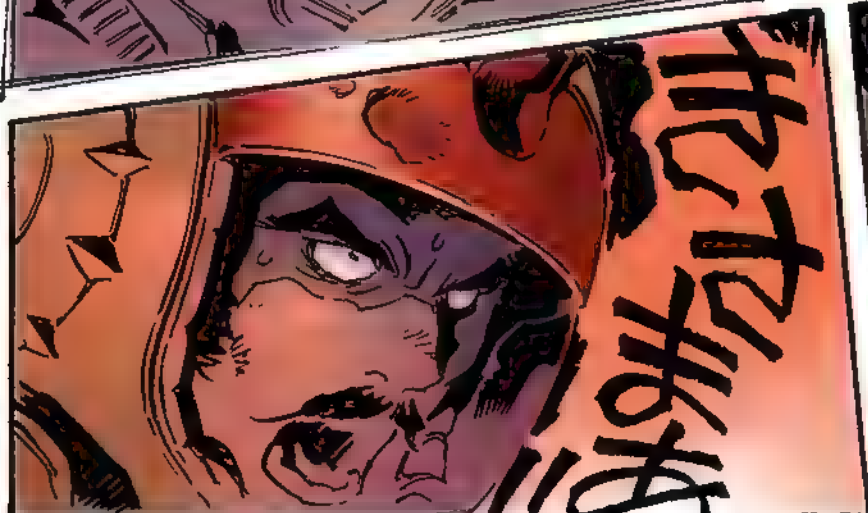
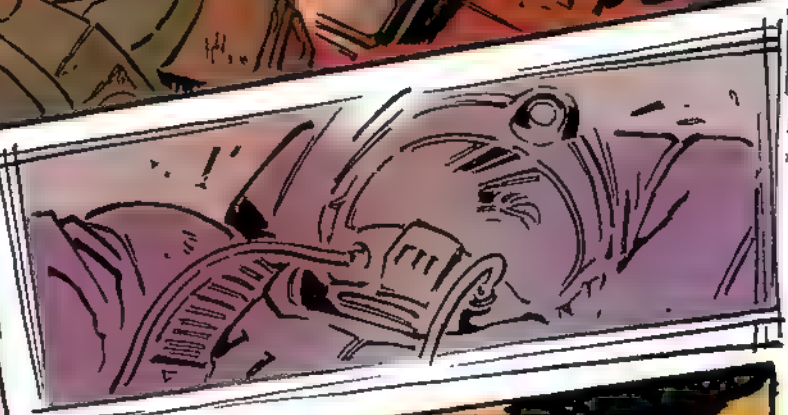
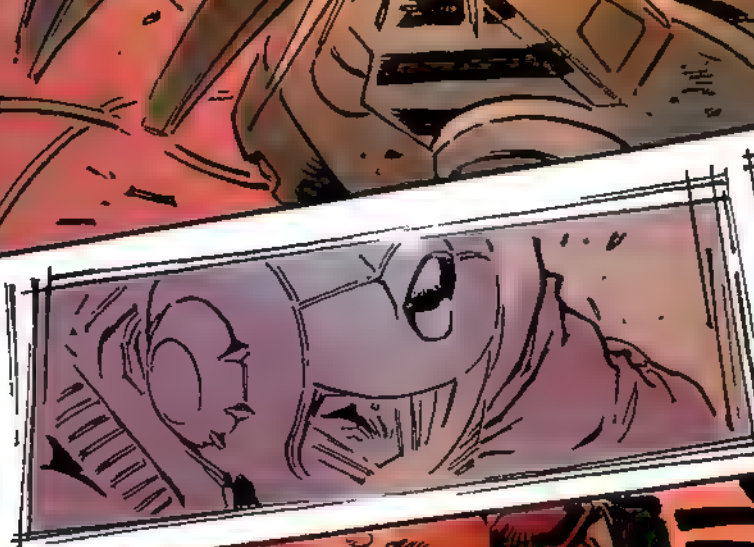
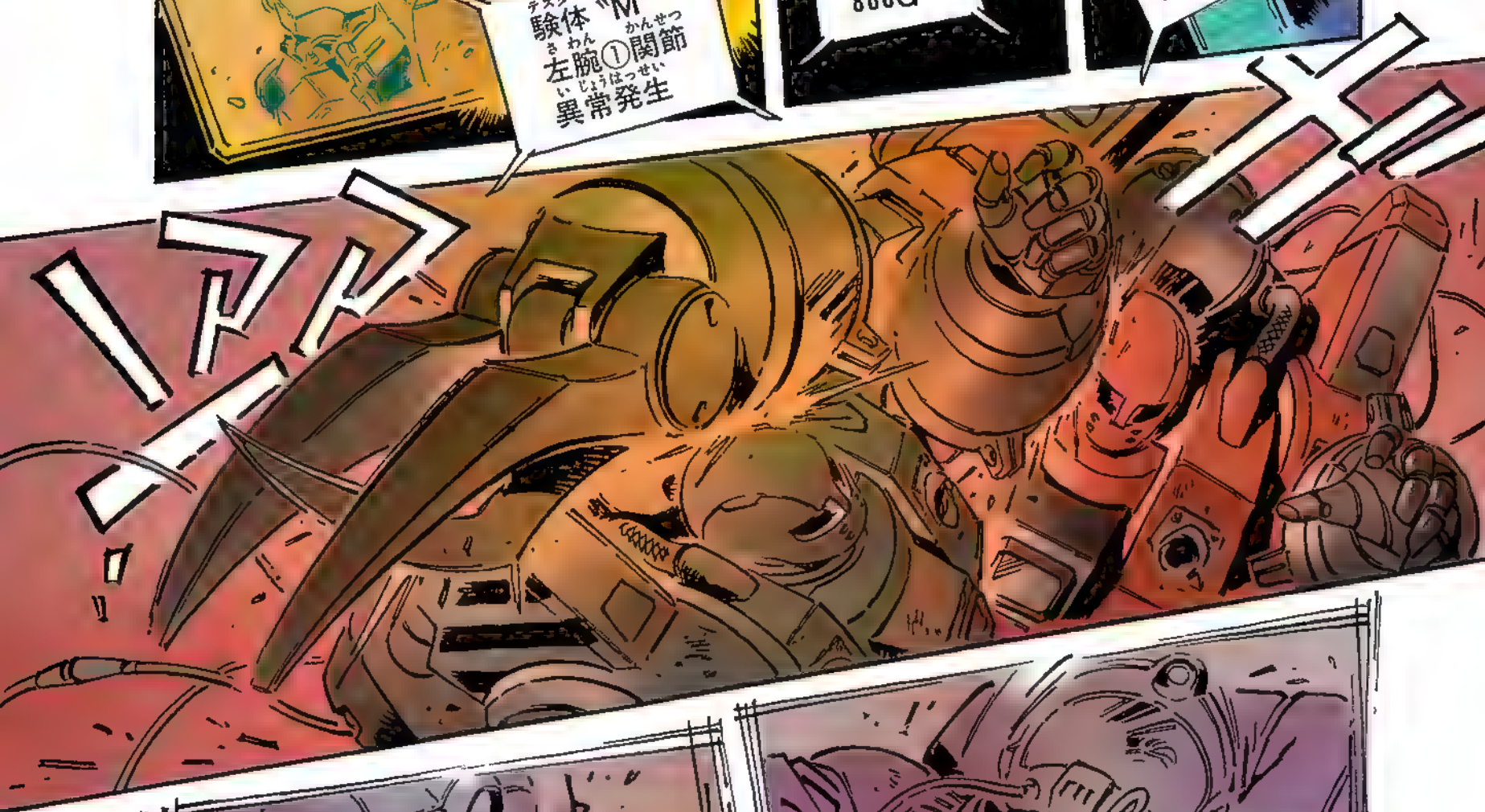
デスター
験体 "M"
左腕①関節
異常発生



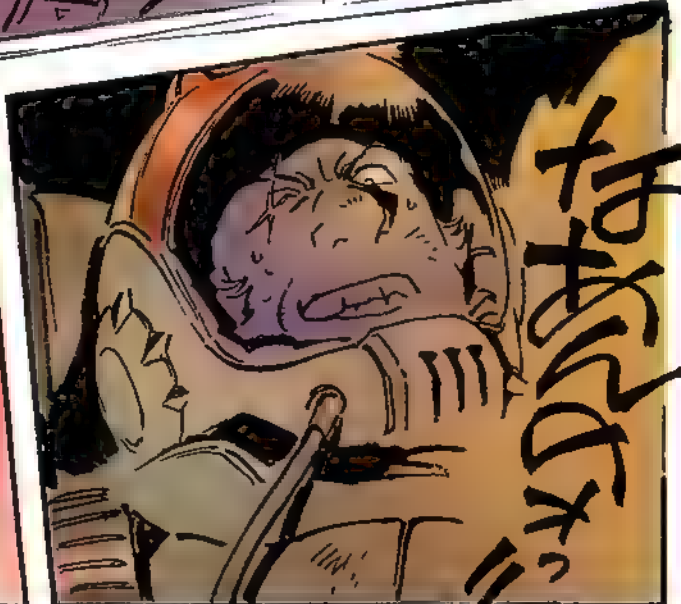
瞬間加速度
800G



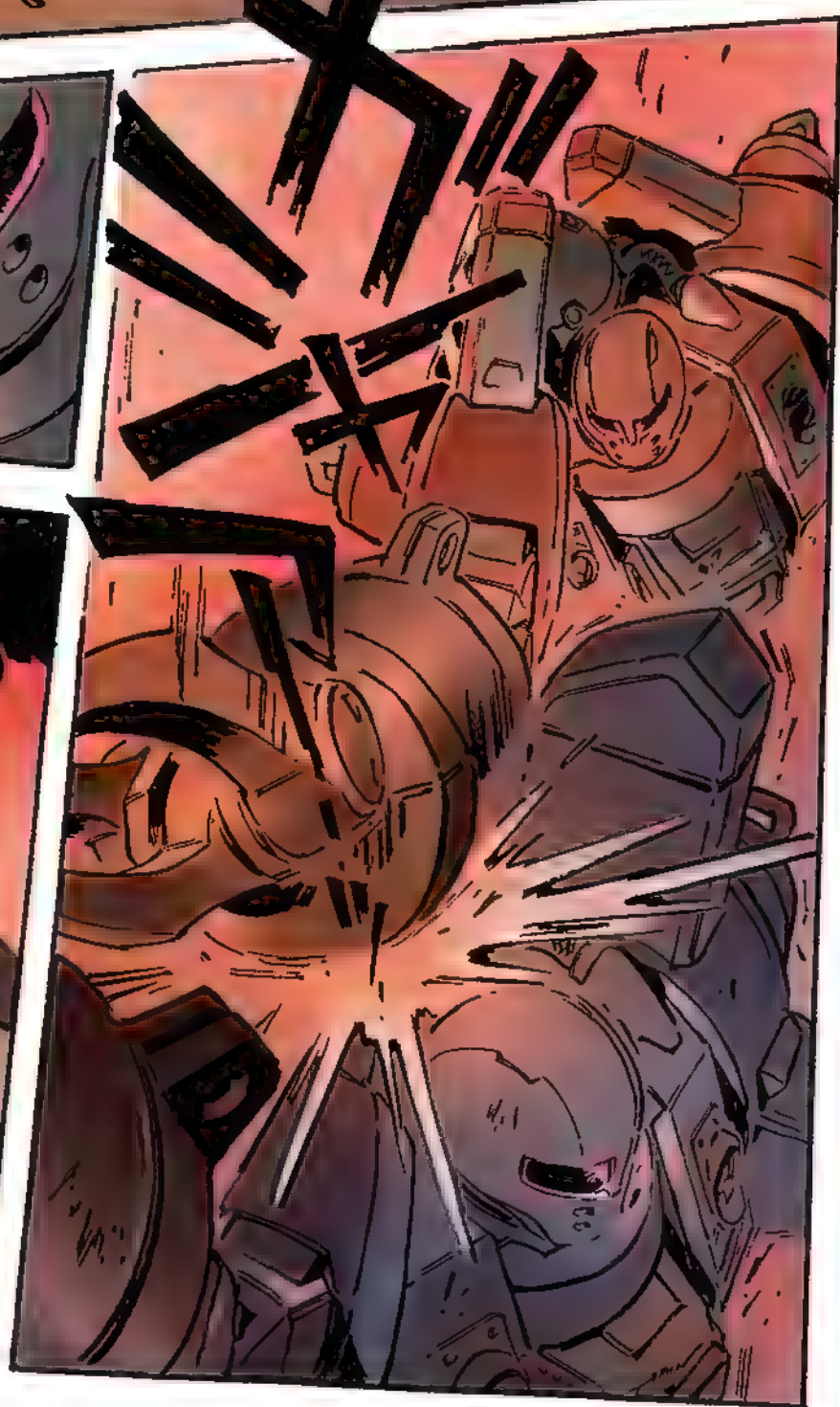
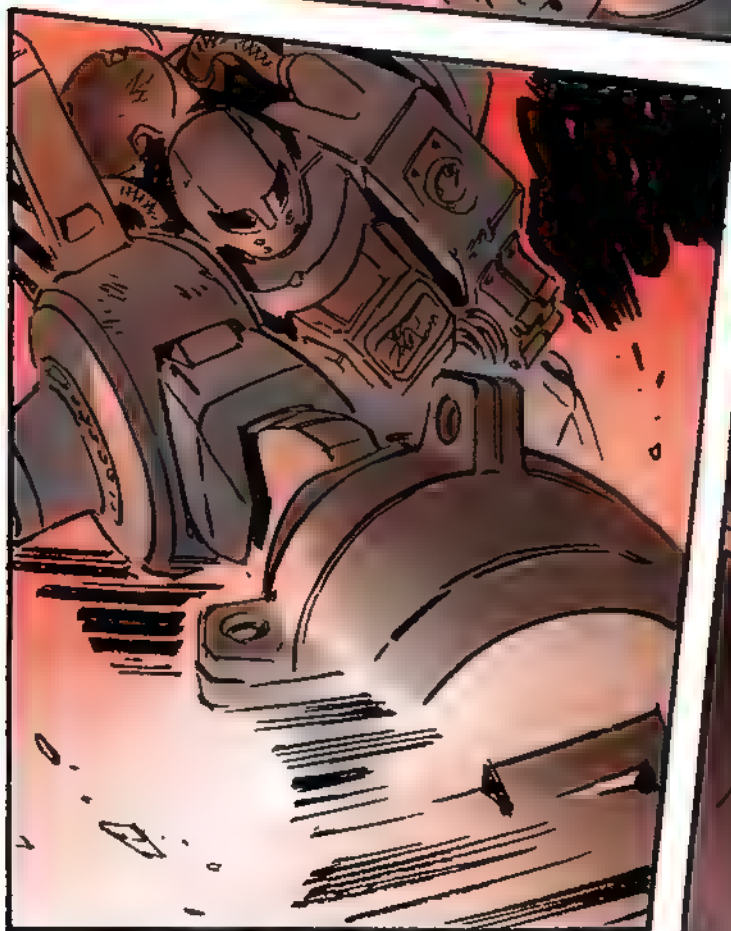
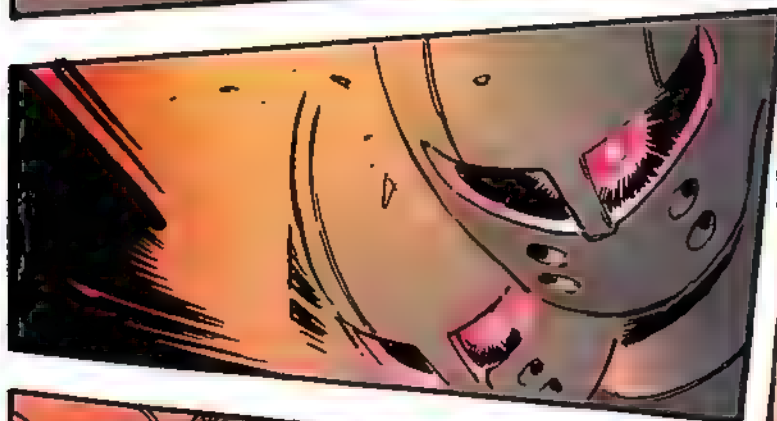
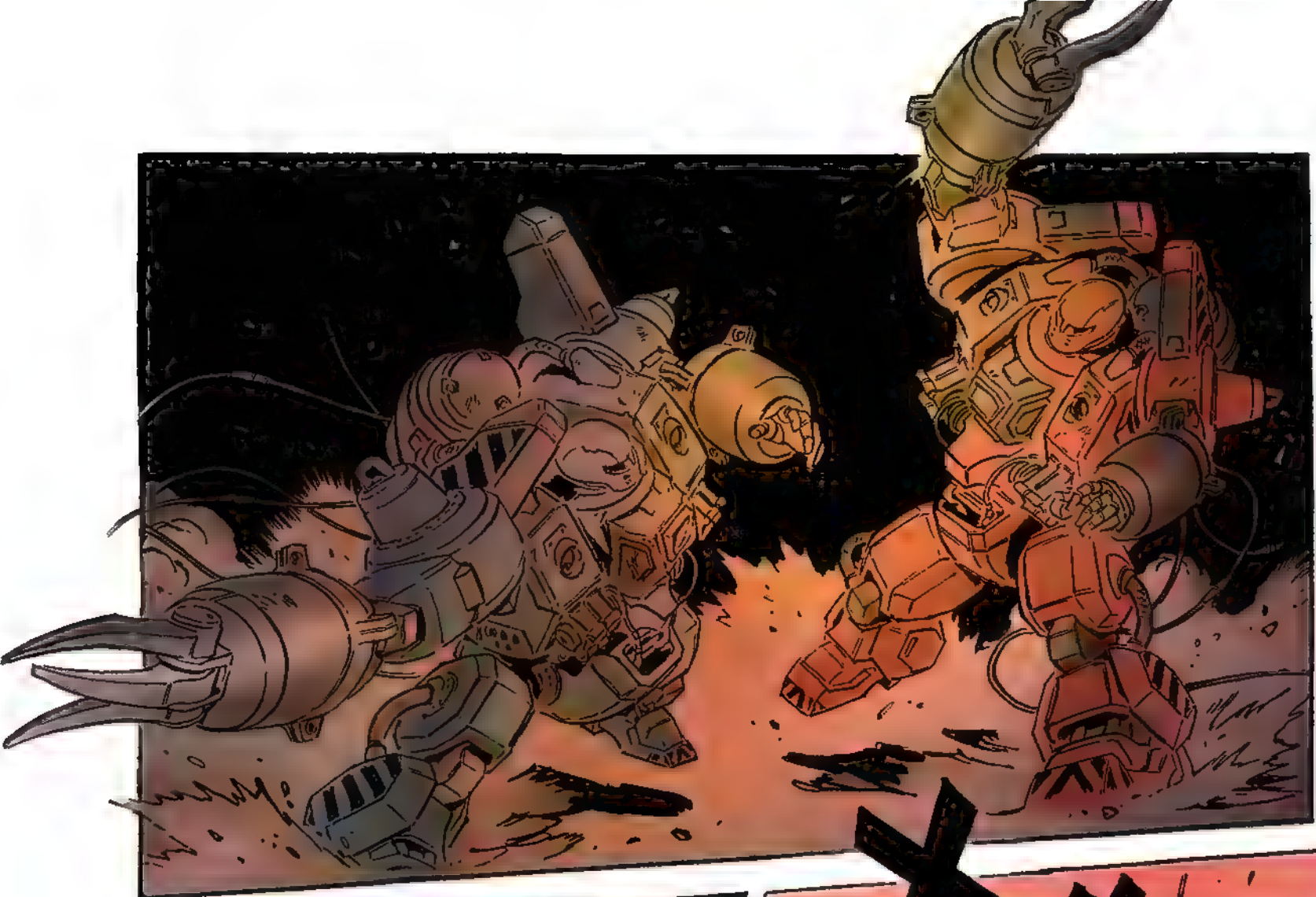
被衝撃係数
1.2mGAL

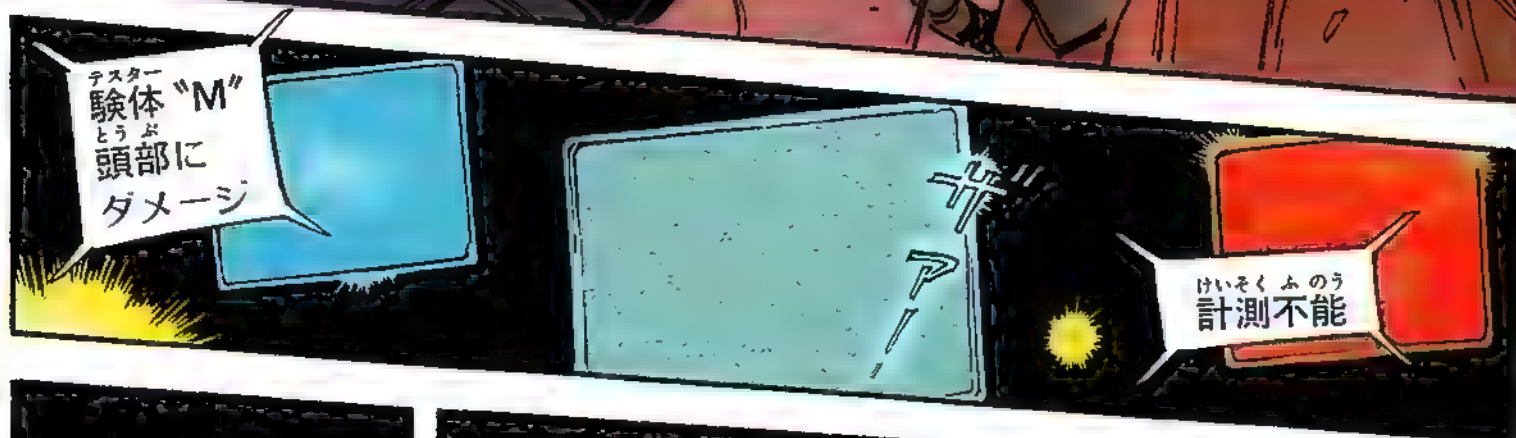
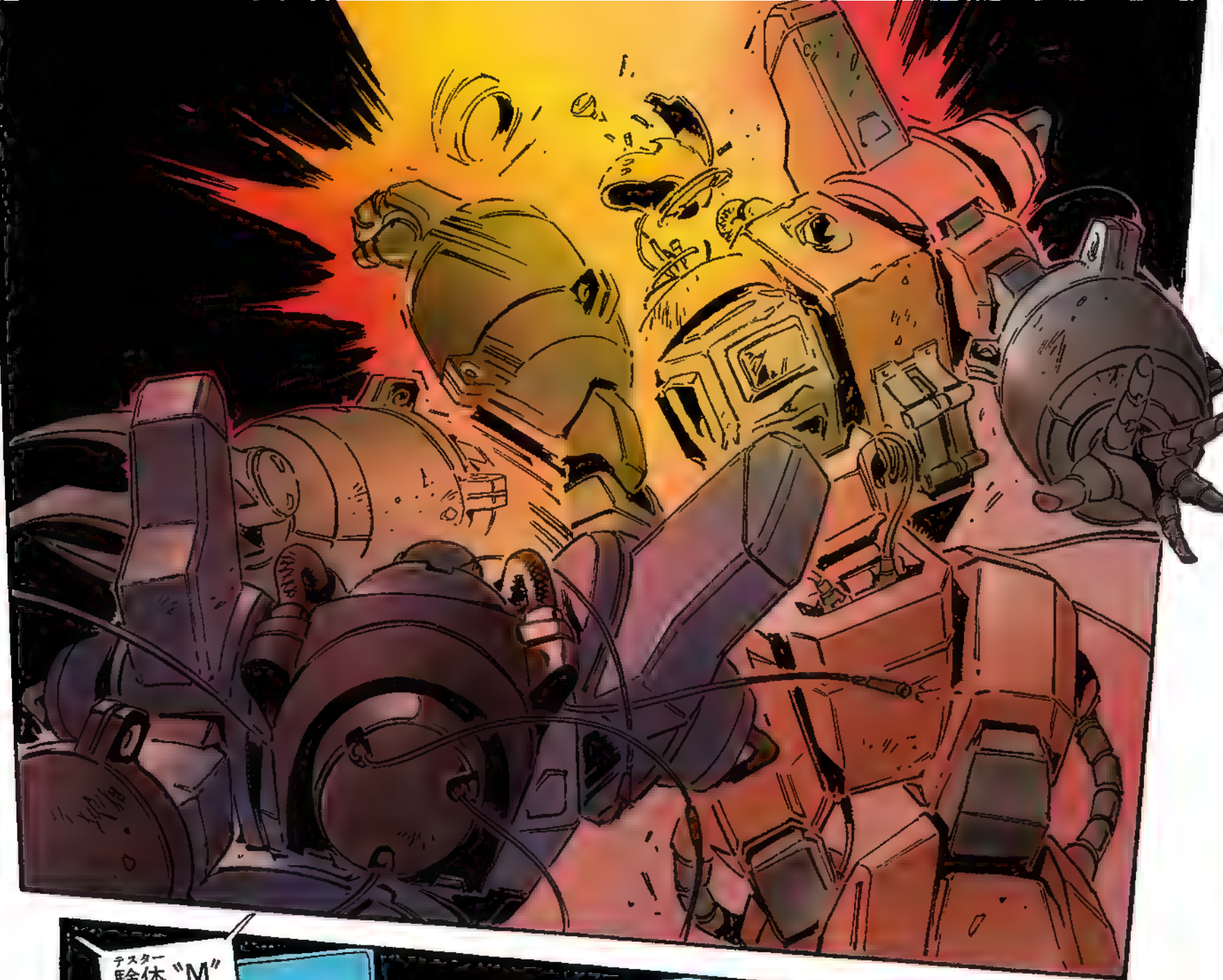


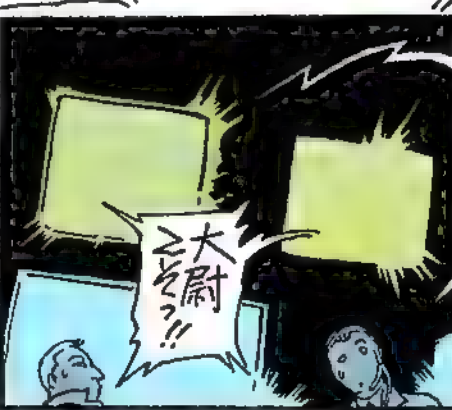
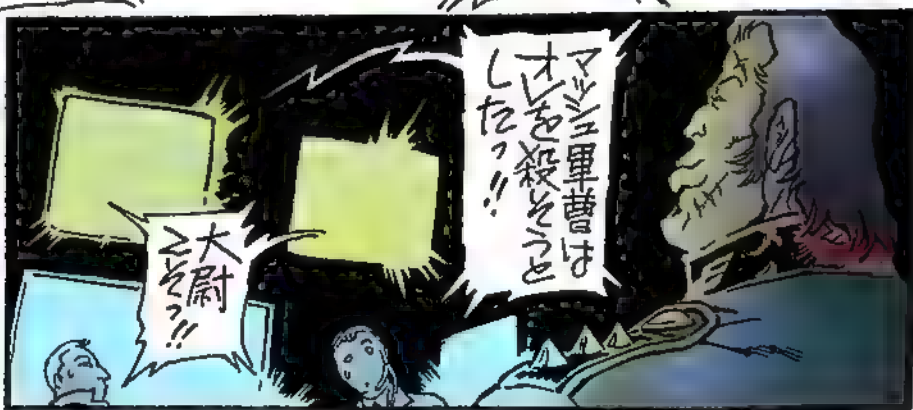
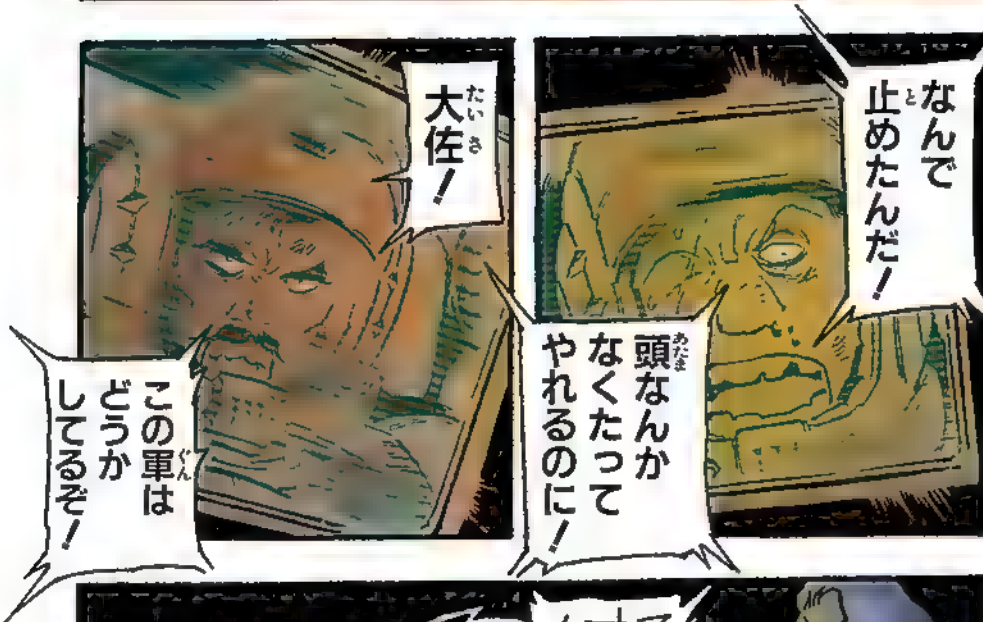
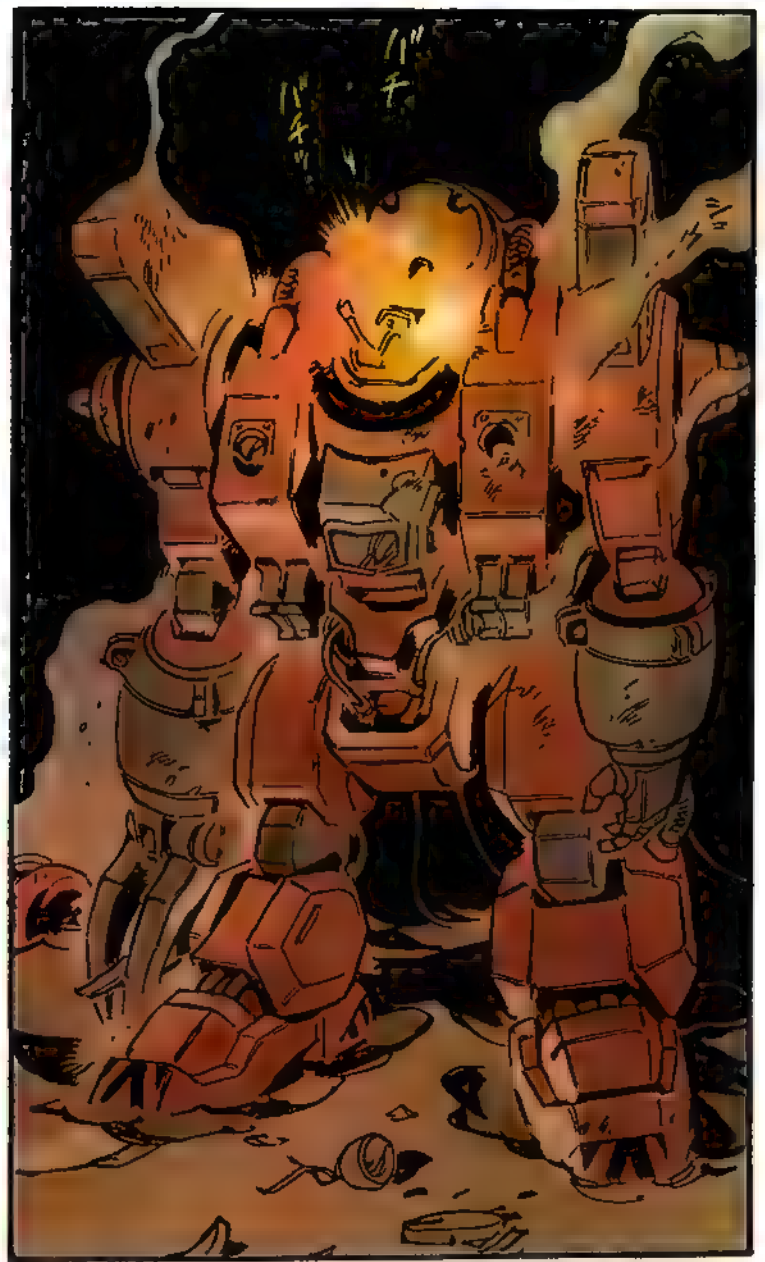
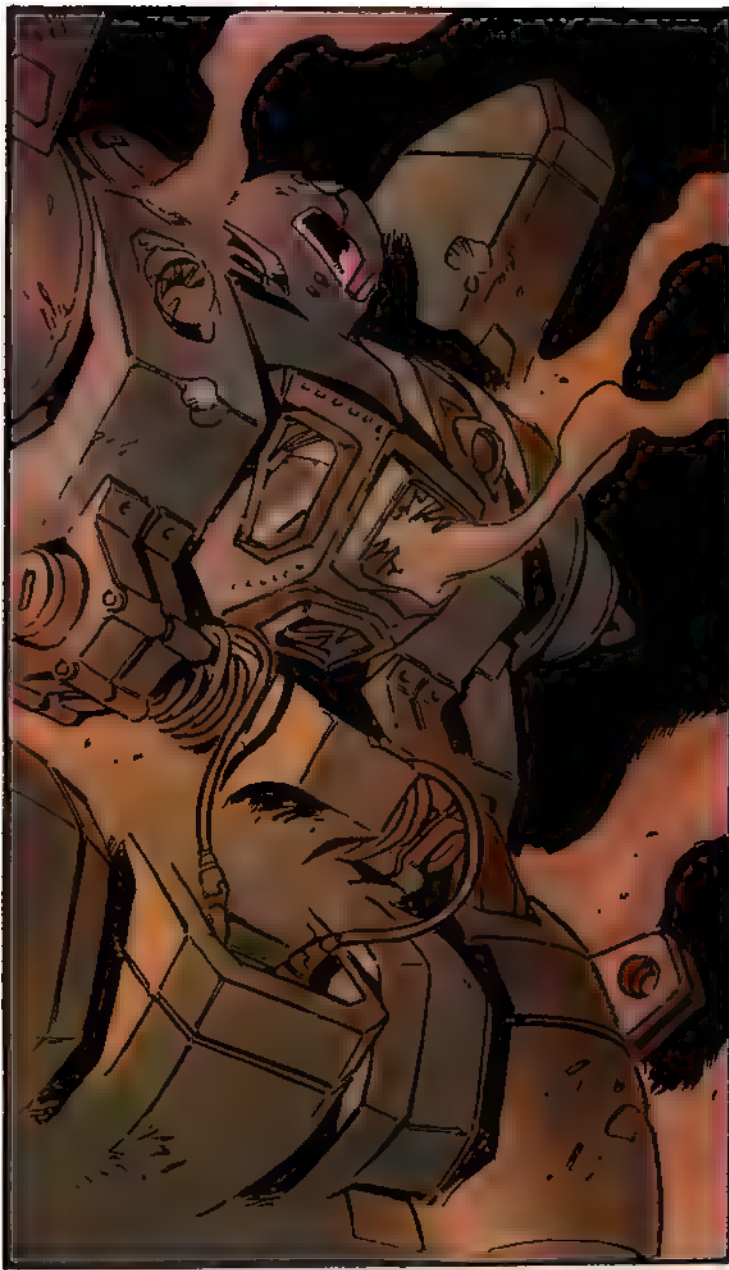
おれが
おれが



おれが
おれが







とにかくっ

こんな
コクピットじゃ
ハナシにならん!

命がいくつ
あっても
足らんぞっ!

あと

マニピュレーターは
大巾に改良の
余地ありだなっ!

腕回りが
不自由で
たまらん!

全部
貴重な
意見だ

もつとも
コクピットの件は
当分改良できん

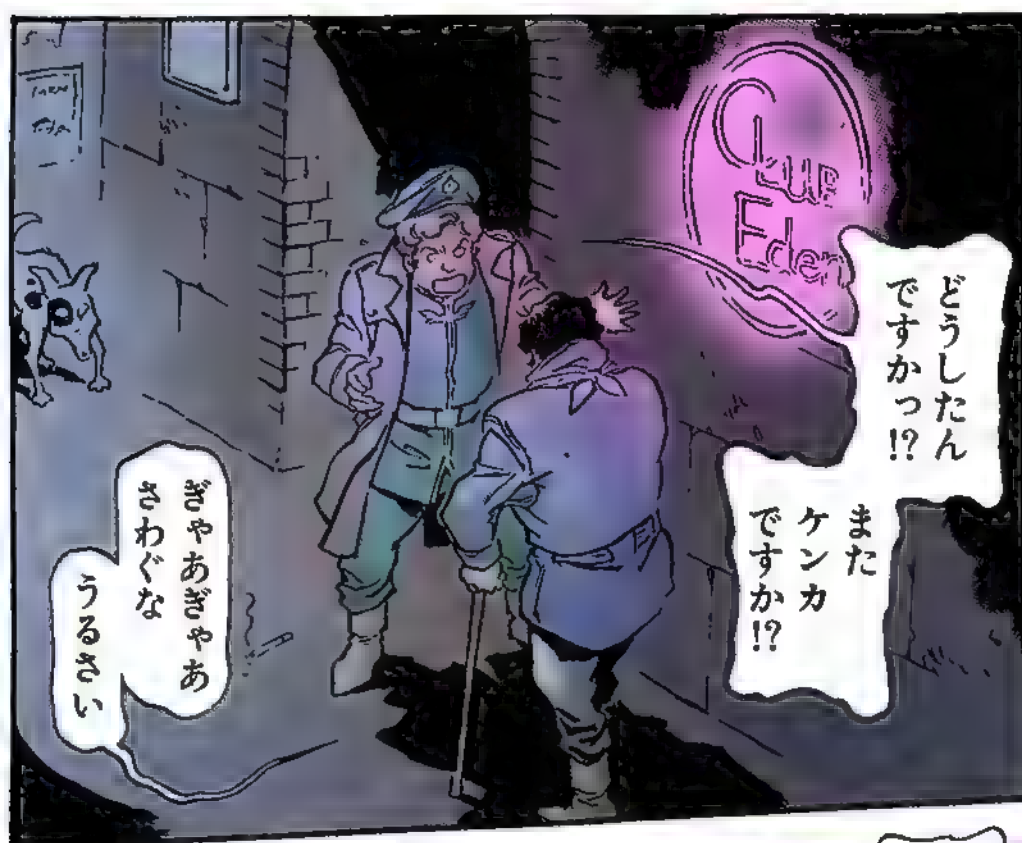
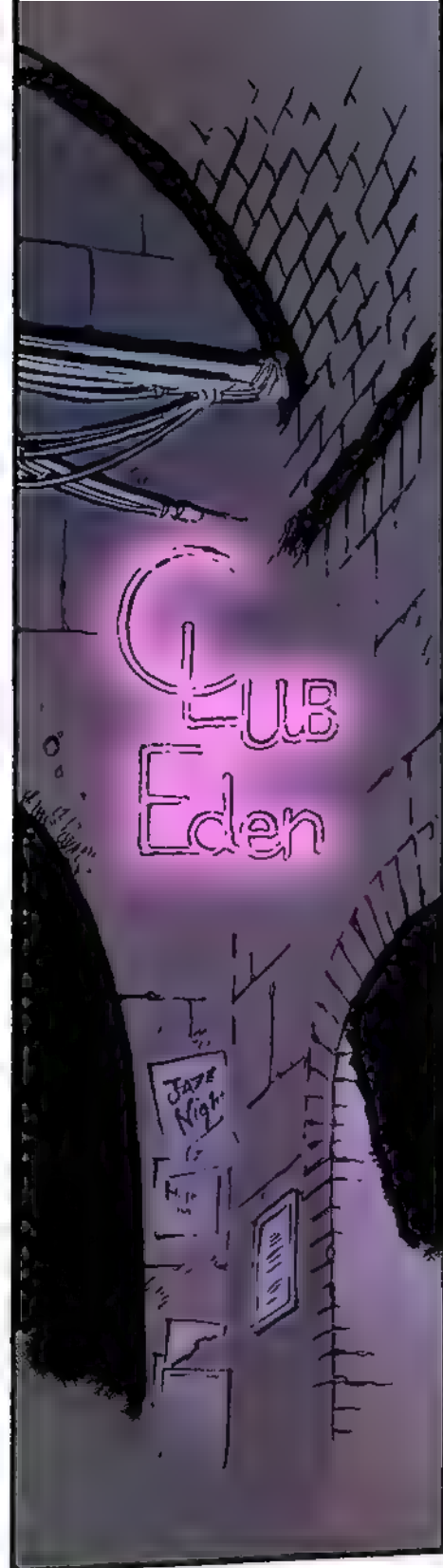
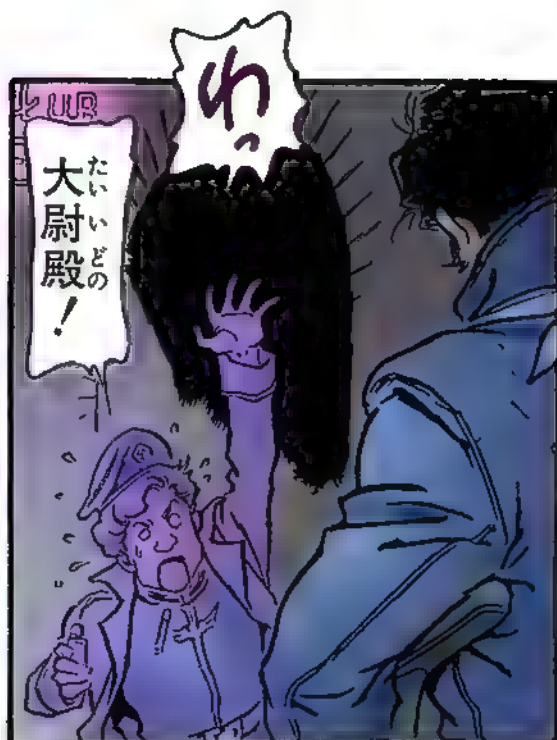
これは「月面の
鉱山用掘削機」
だからな

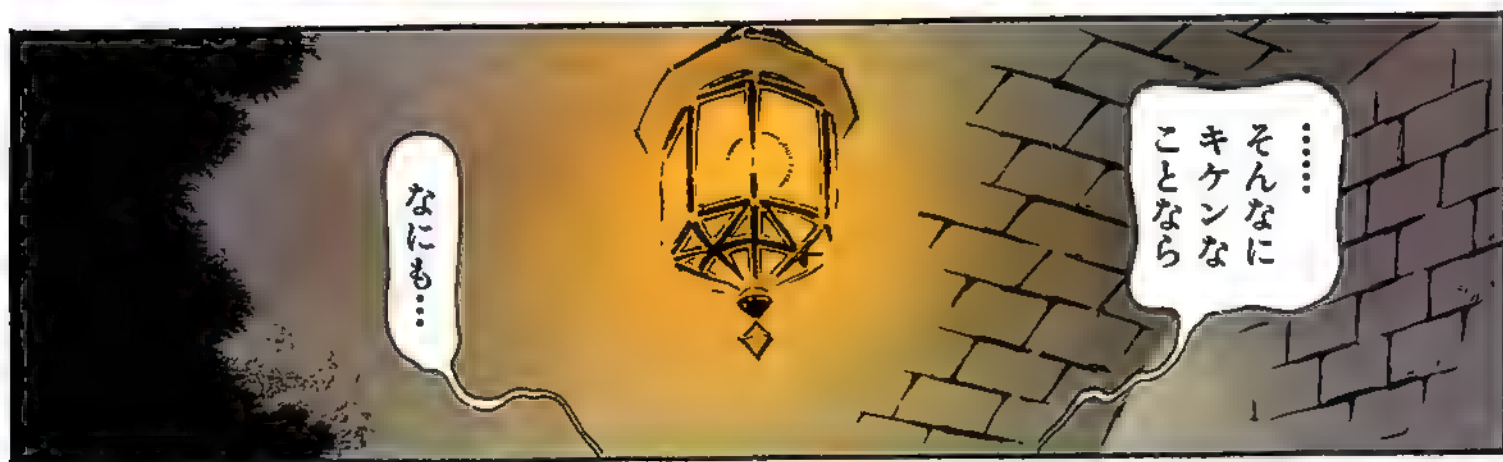
ふたり
二人とも
降りろ

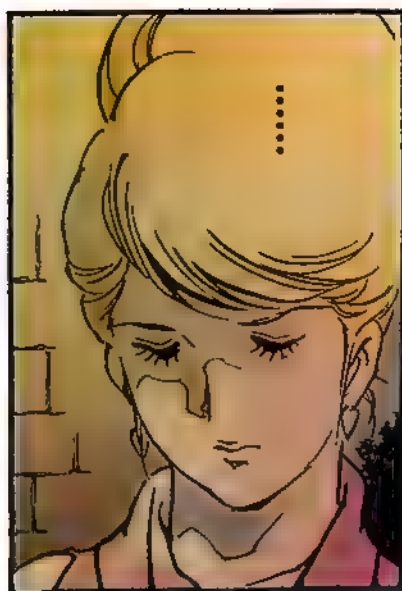
ケンカの続きが
したかったら
その後だ

テスト
機体は
貴重だし

たか
高いん
だからなっ







オレが
ザビ家の
傭われ犬に
なったら

おまえは
軽蔑する
だろうな



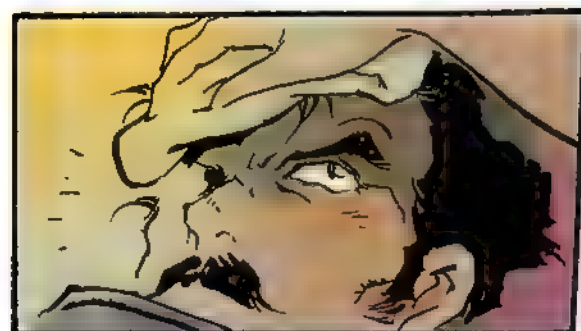
ドズル様の
御用なので
しょうか？

あのかたは
ギレンや
キシリアとは
違います



今日

アストライア様に
会いました



軍人である
以外のあなたが
想像できる
なら

きつと
いろいろと
言いたいが
……

あ
会えるとは思
いません
でした



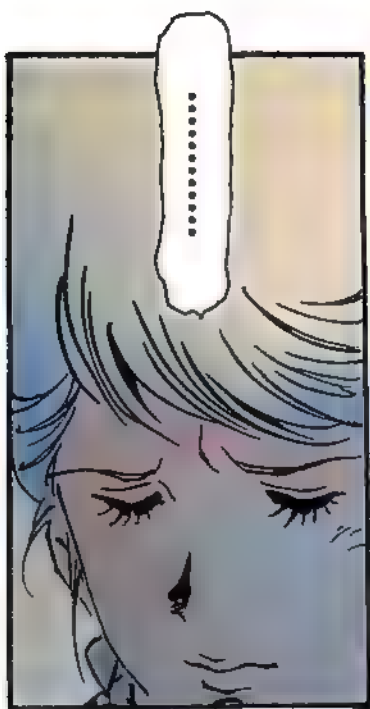
ドズル様のは
からいでしょう

あなたの
ことが
あったから



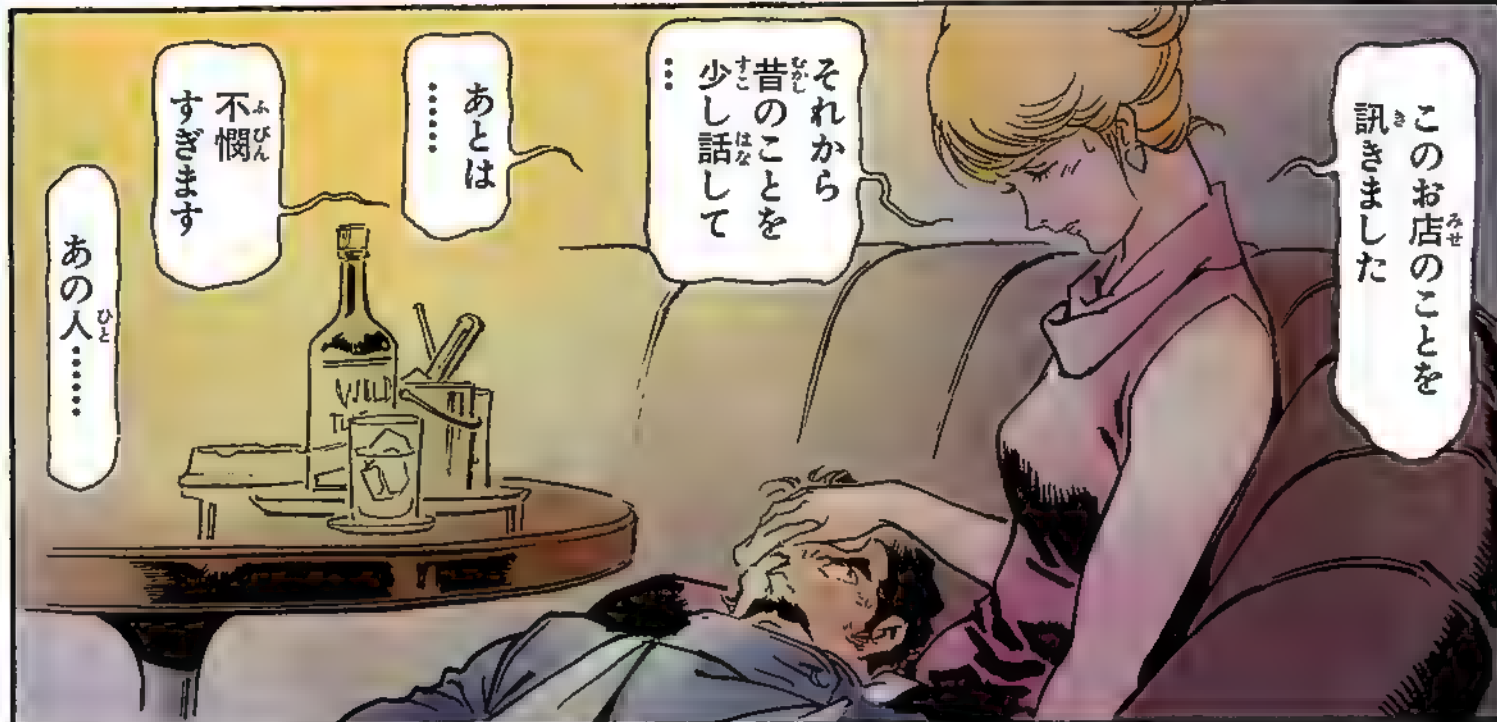
どんな

様子
だった?



.....

このお店のことを
訊きました



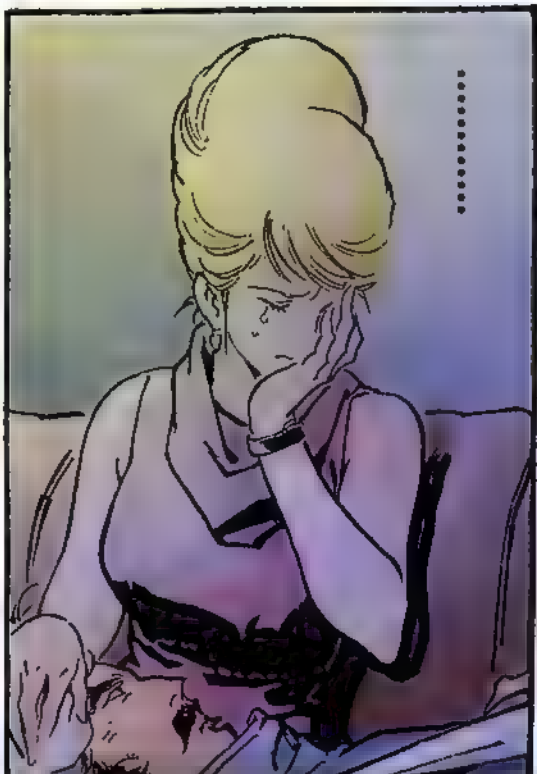
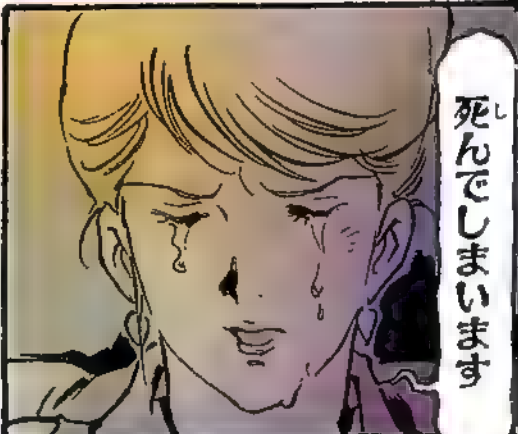
それから
昔のことを
少し話して

あとは
.....

不憫
すぎます

あの人.....

死んでしまいます



.....

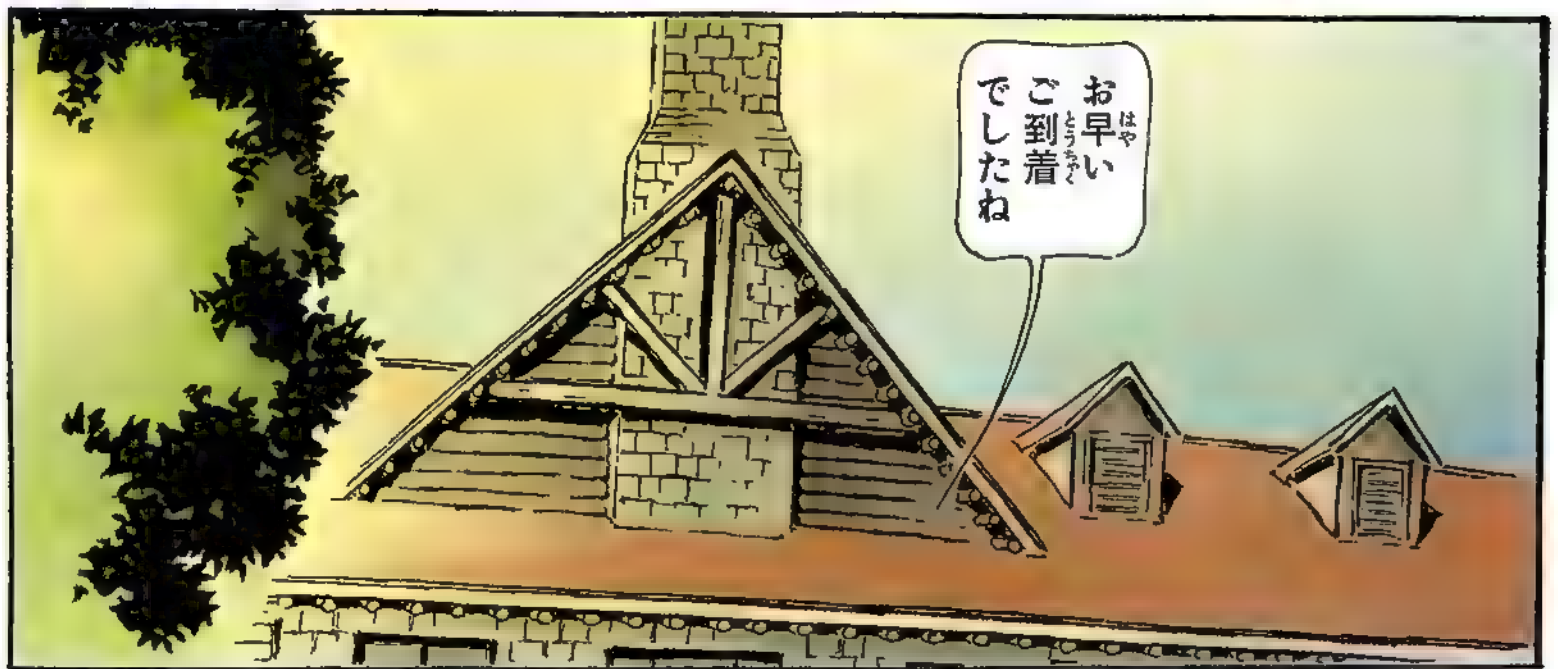
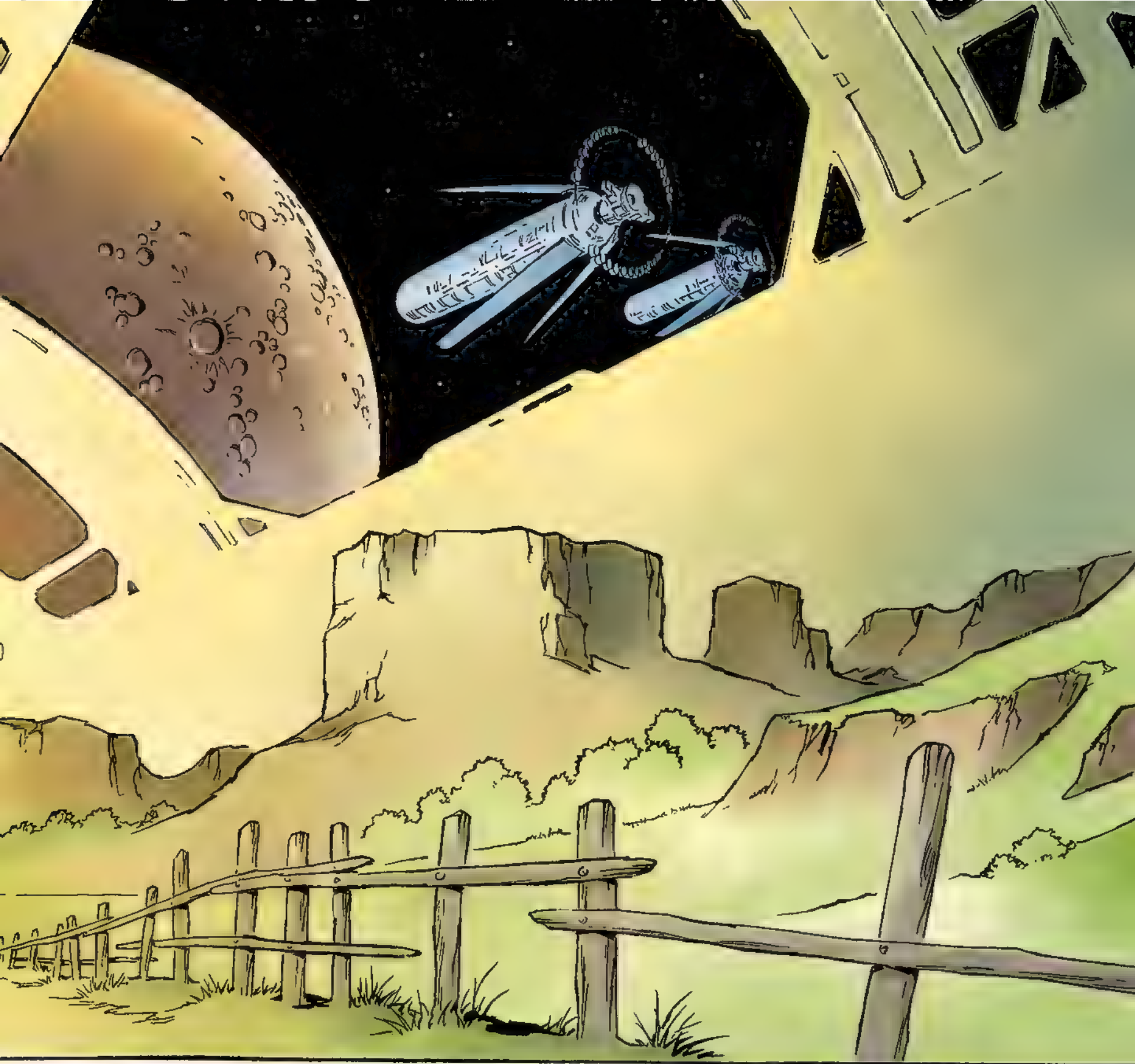


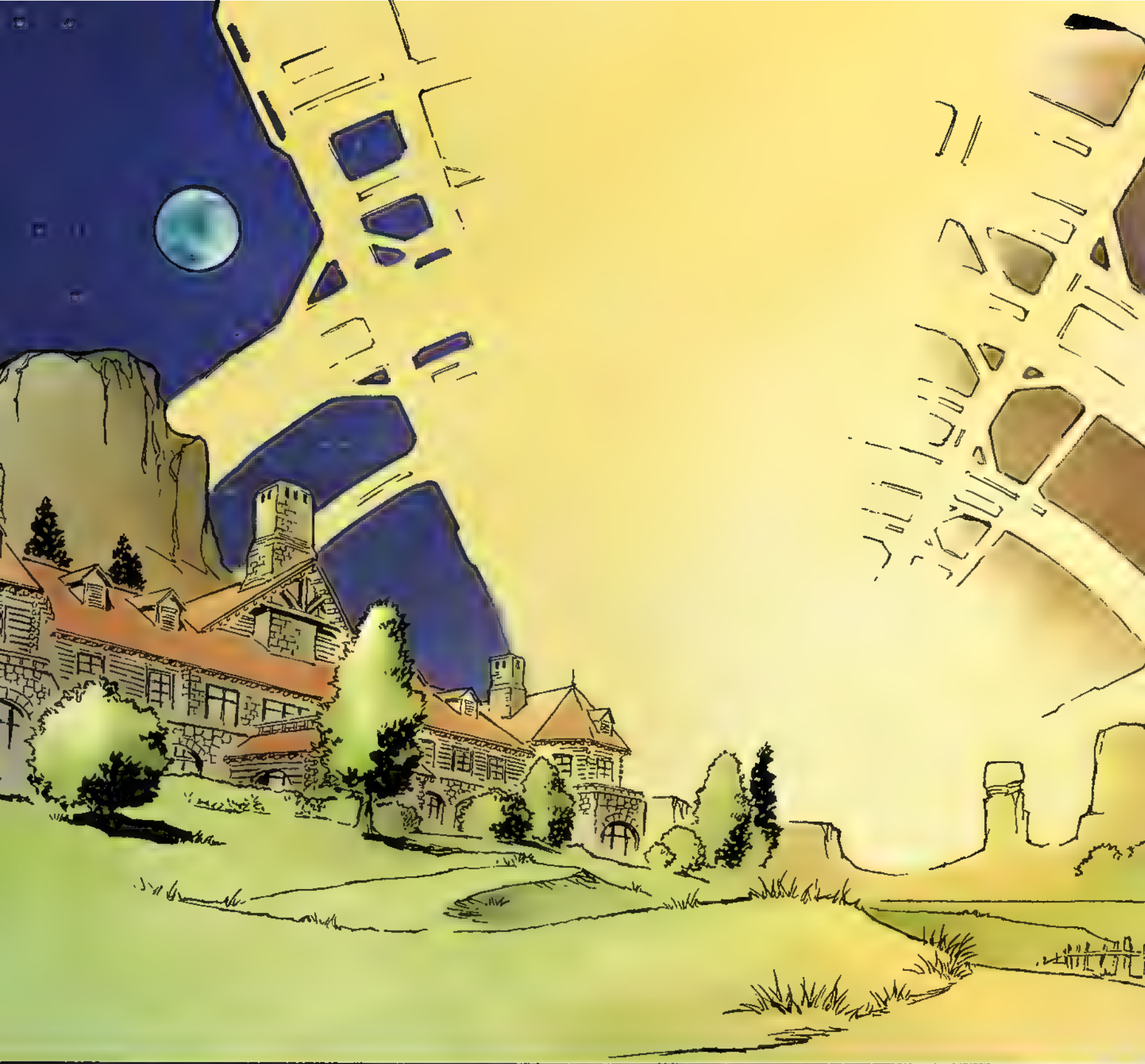
.....

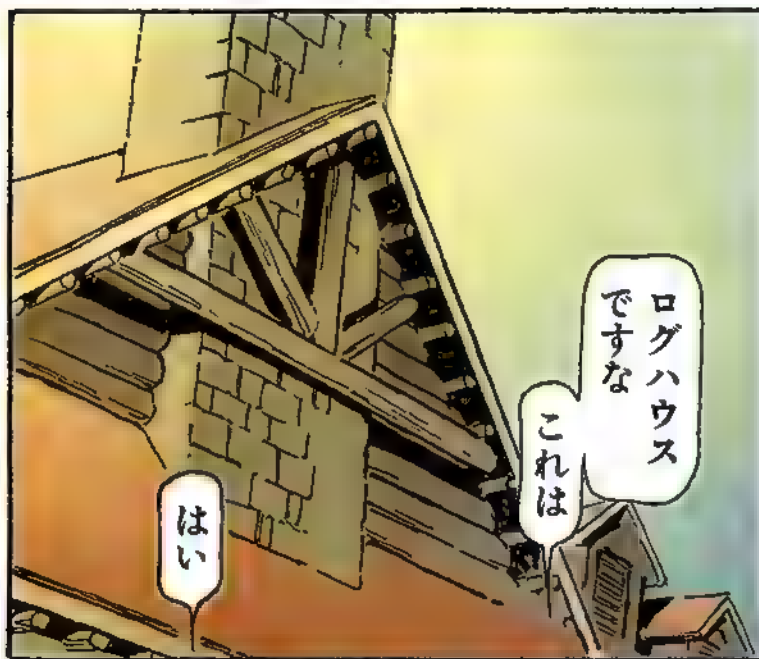


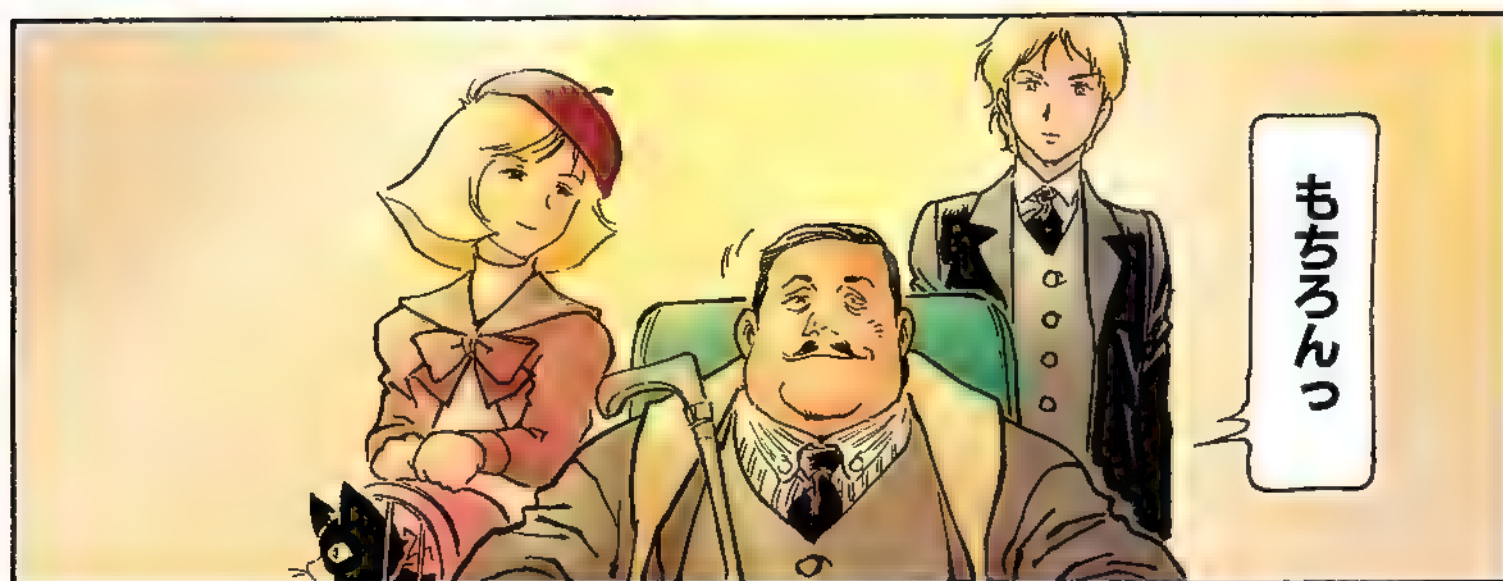
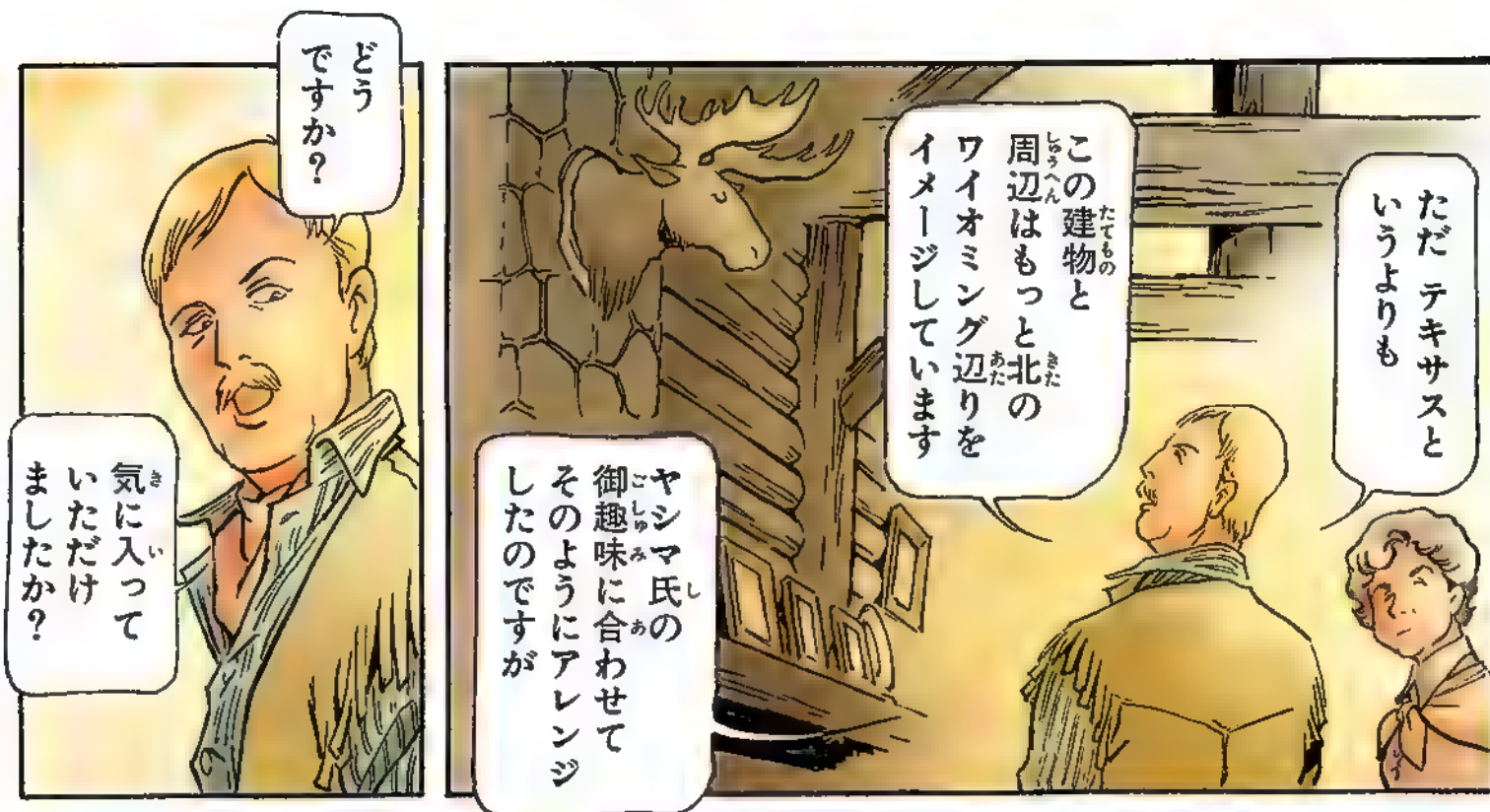
ルウムに——来るのか……



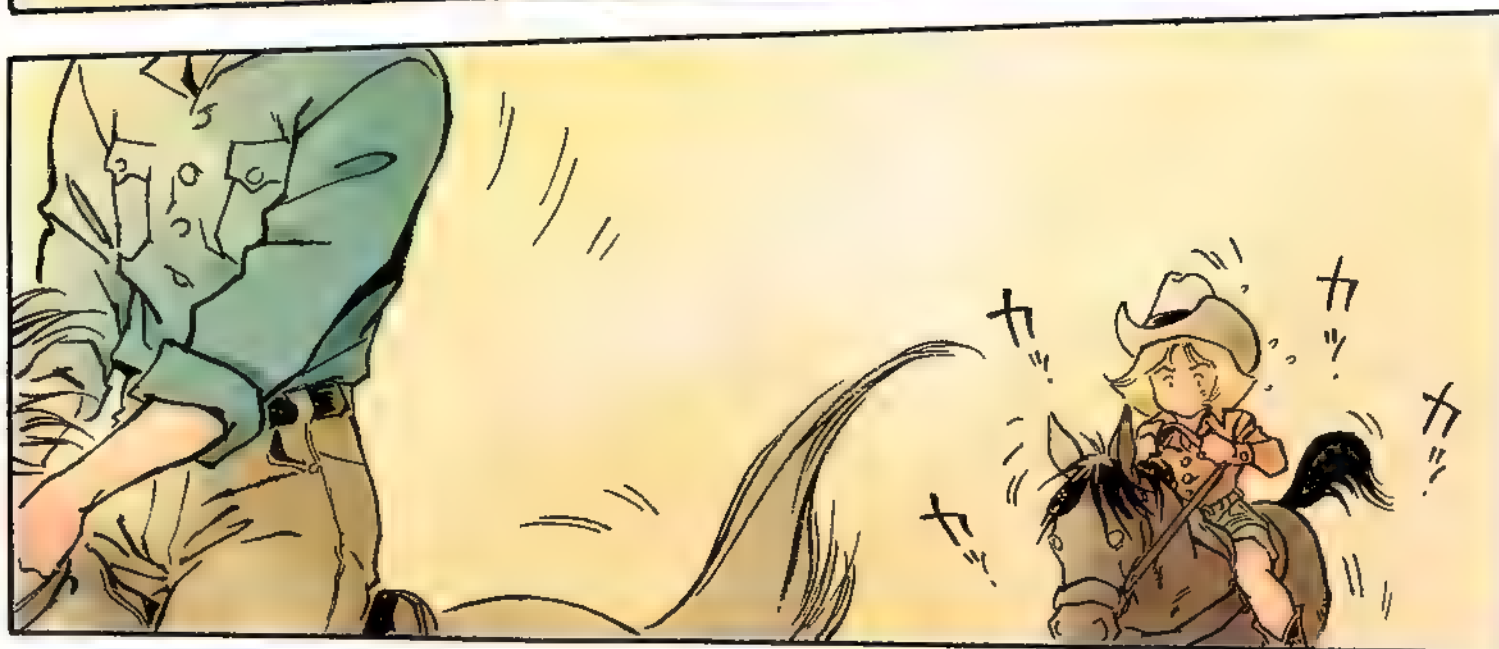
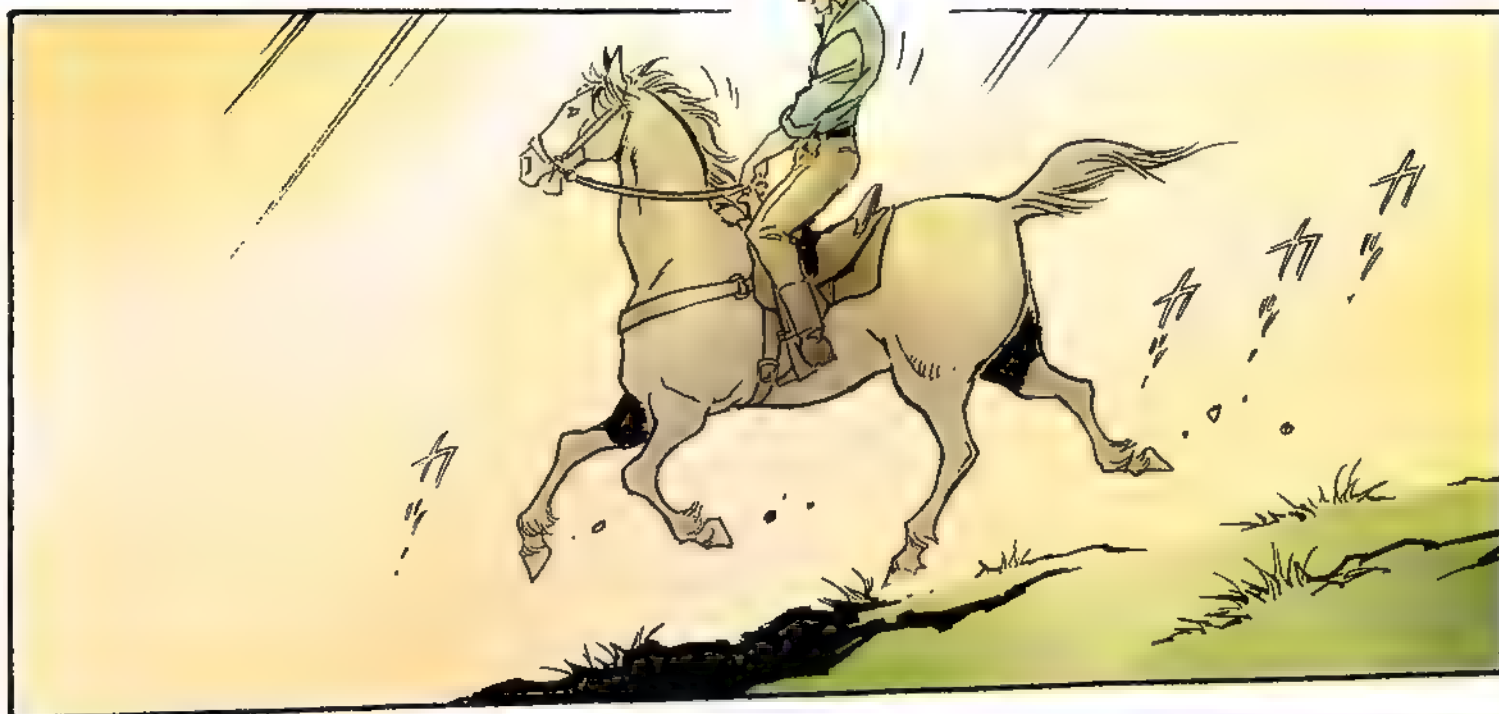


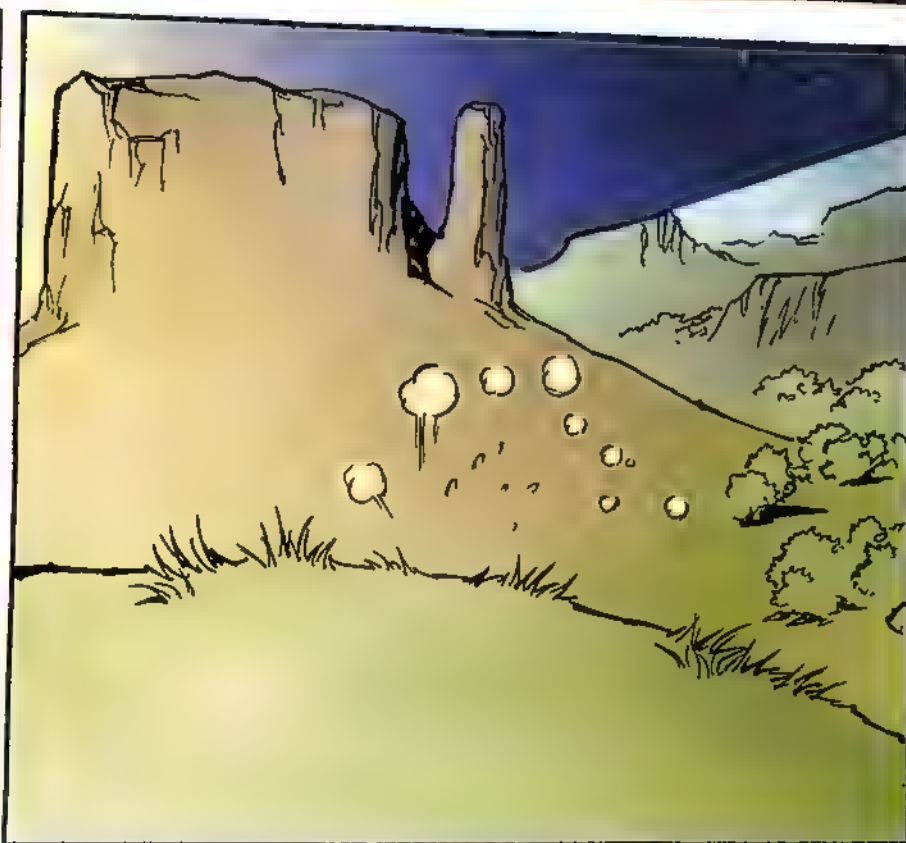
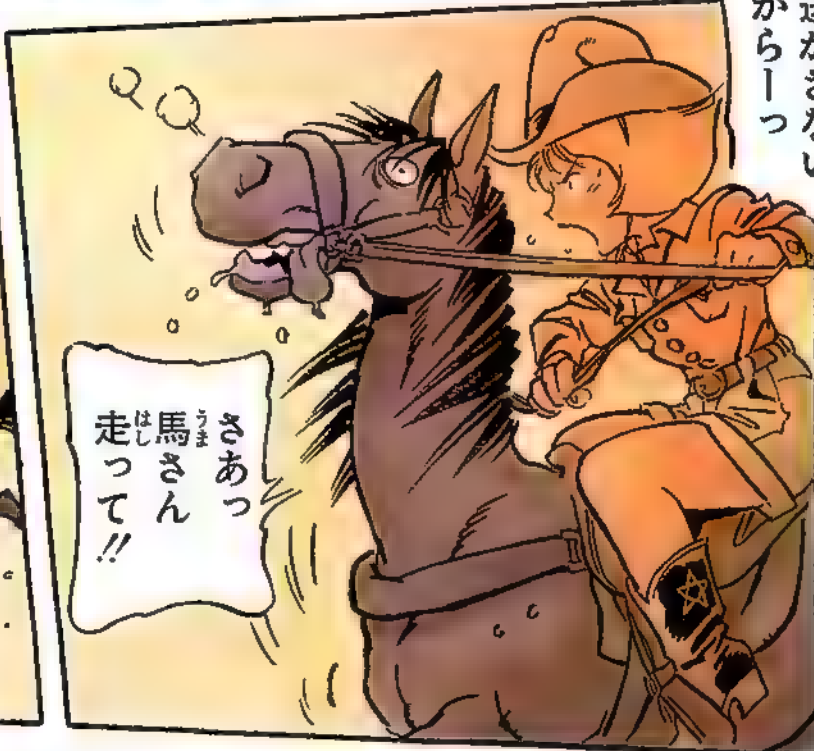
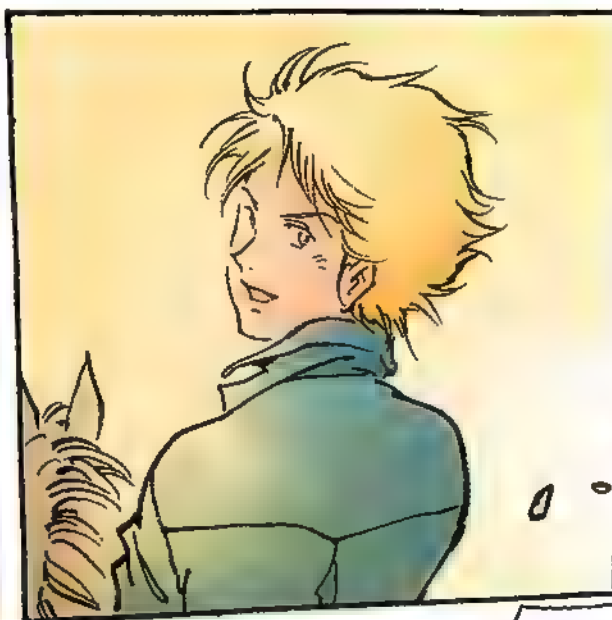
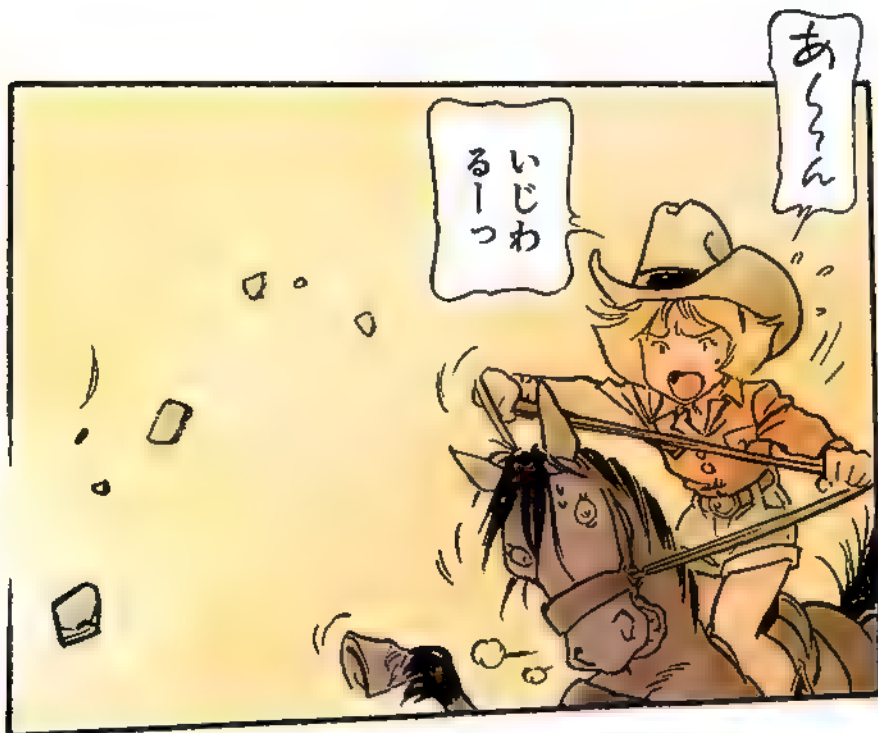


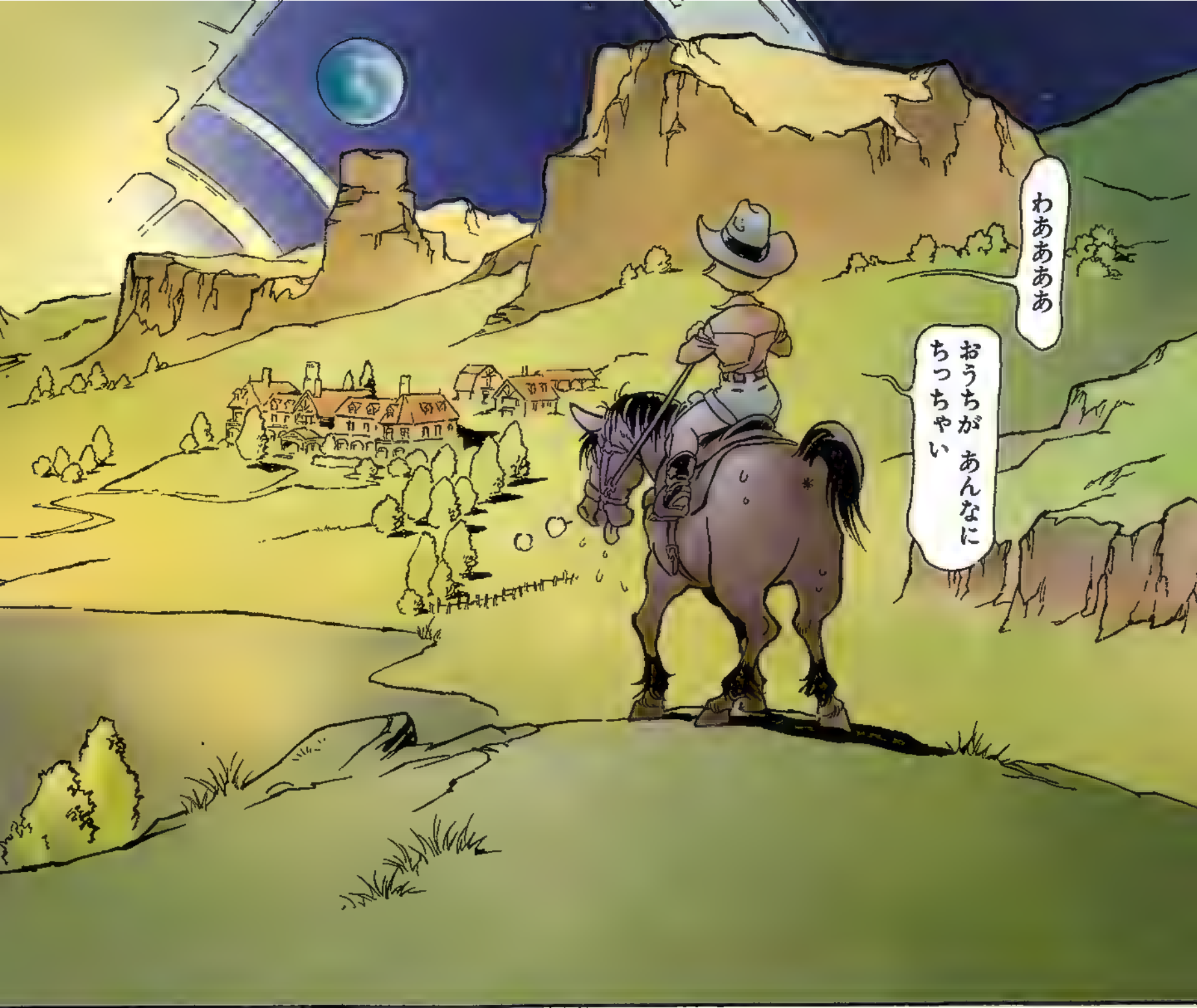






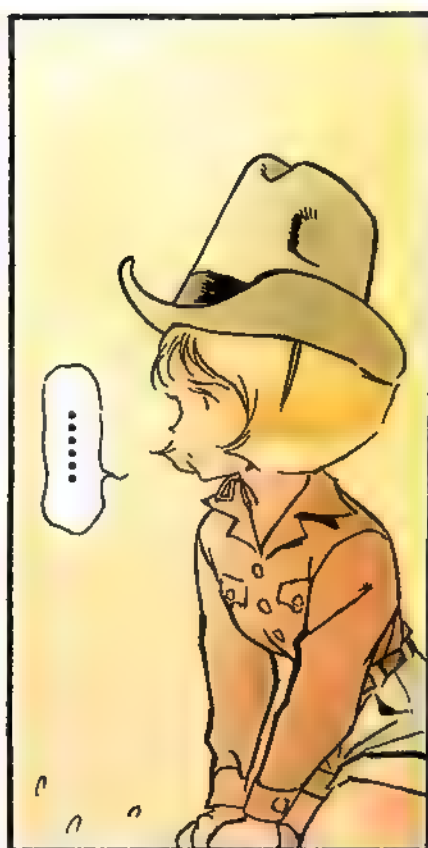
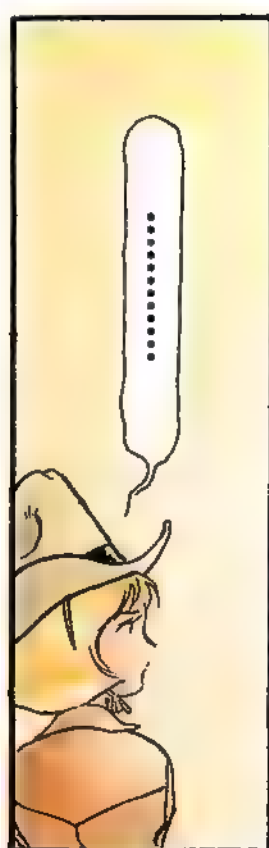






わああああ

おうちが あんなに
ちっちゃい



ずいぶん
遠くまで

来ちゃったん
だあ...

ええくと

おにいさんは…

あ

いた!

すごおい

もう
あんなに
うまくな
ってる

まけるもん
ですかっ!

さっ
うま
馬さんっ

わたし
たちもっ!

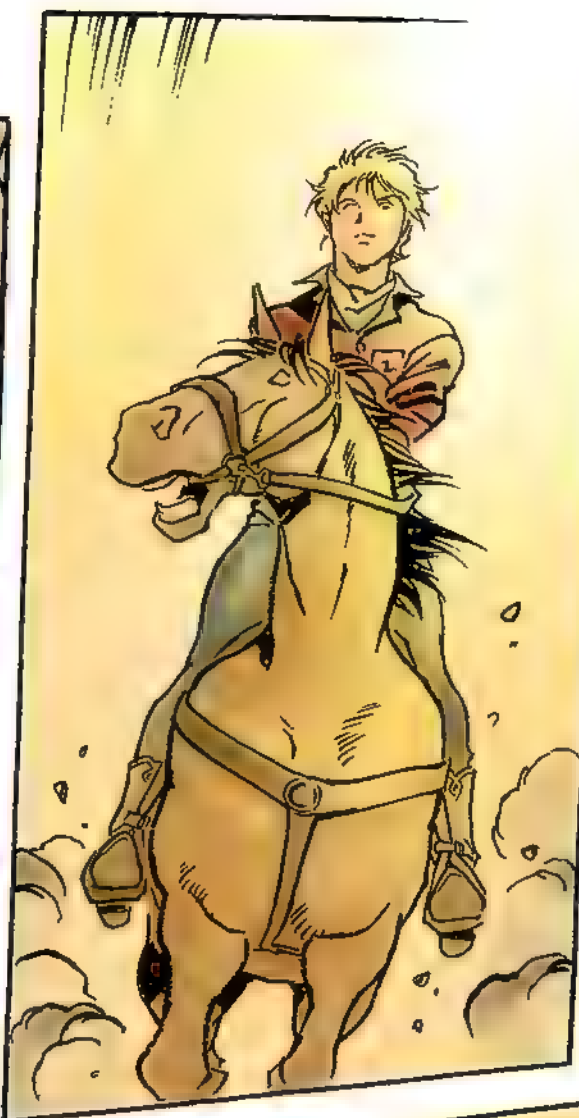
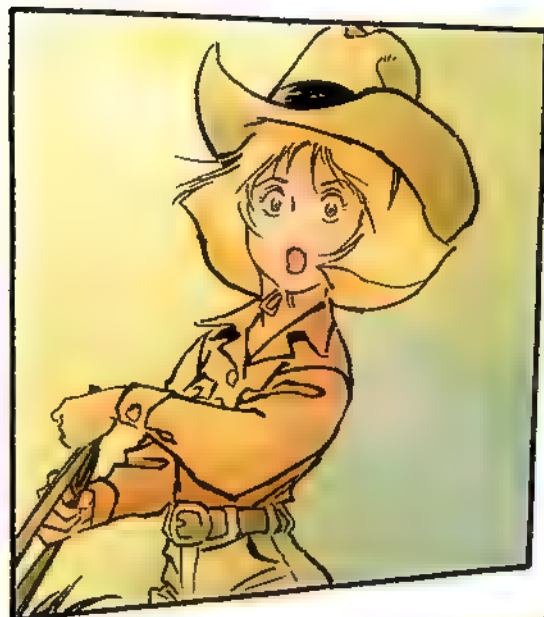
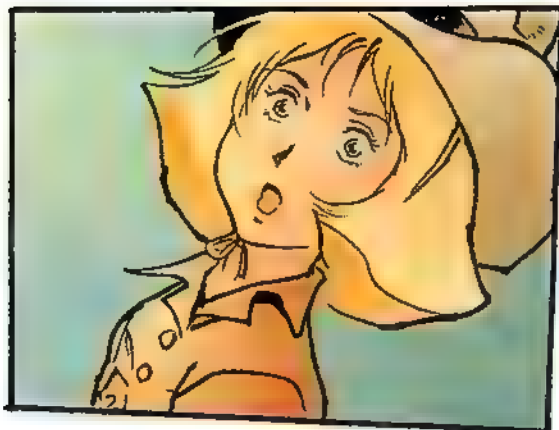
うま
馬さんっ

はし
走ってえ——っ

おねがいっ

おにいさんを
追いかけて
よお——っ



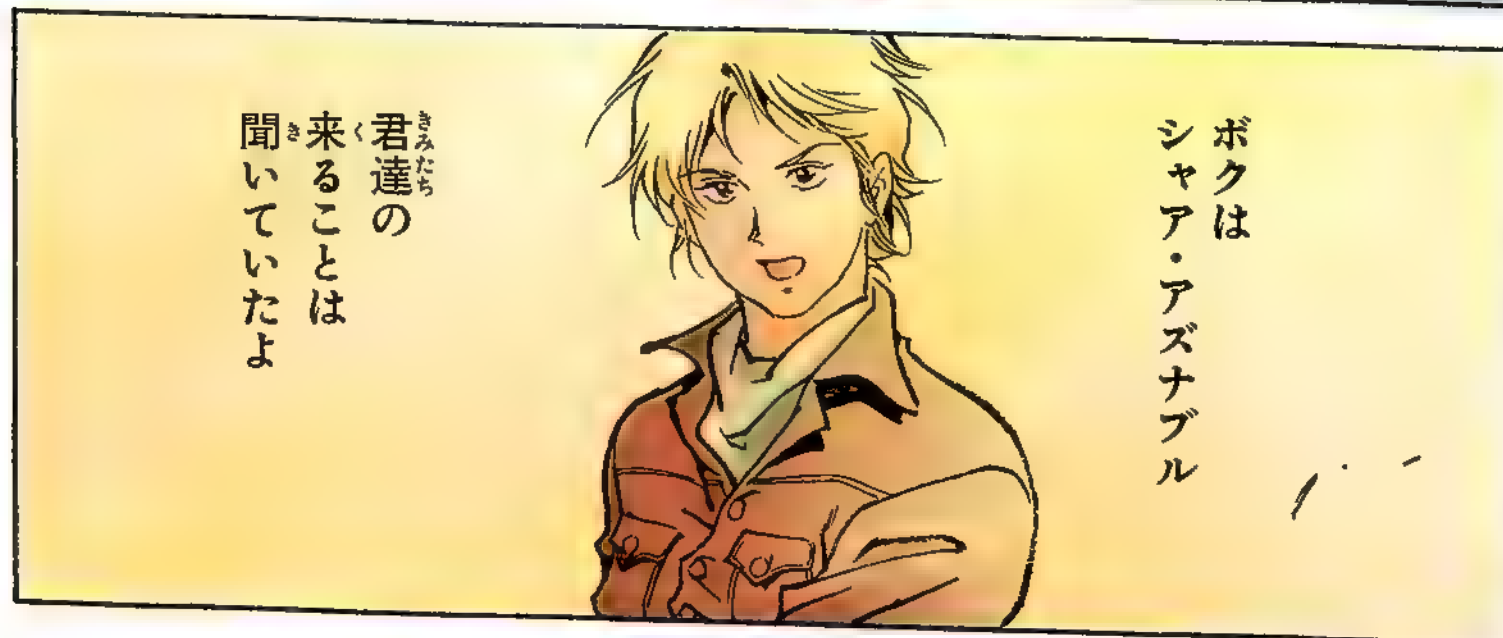
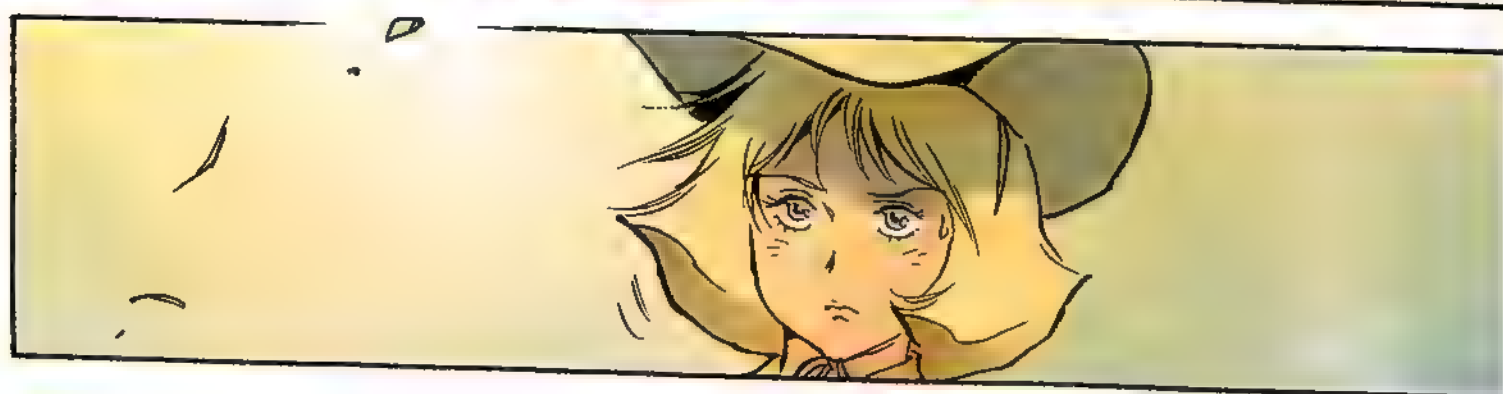




勇ましい
カウボーイ
だね

名前は
もしかして

セイラ・マス?



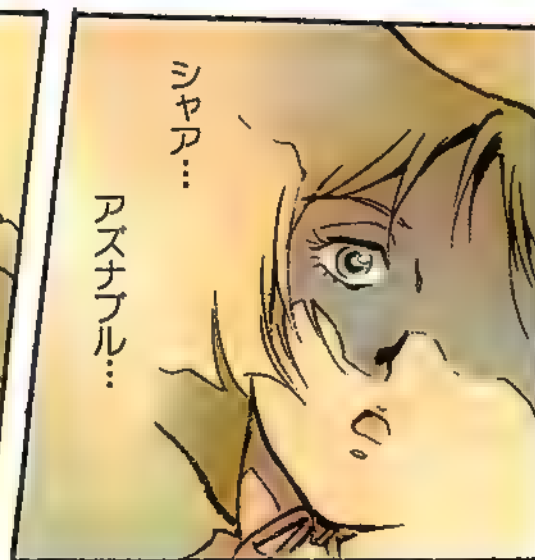
ボクは
シャア・アズナブル

君達の
来ることは
聞いていたよ



父に会ったんだろう?

言っ
てな
かつ
た?
キミ
の兄
さん
と
同じ
歳の
息子
が
いる
って



シャア…
アズナブル…

まるで
兄弟…いや

双子！

似て
いる…
そっくり！

ちがうところと
いつたら…眼の色？

おにいさんは
青い眼

この人は…

とび色…

キミ

手綱の持ちかたが
ちがうよ

もっと
肩の力を
抜いて

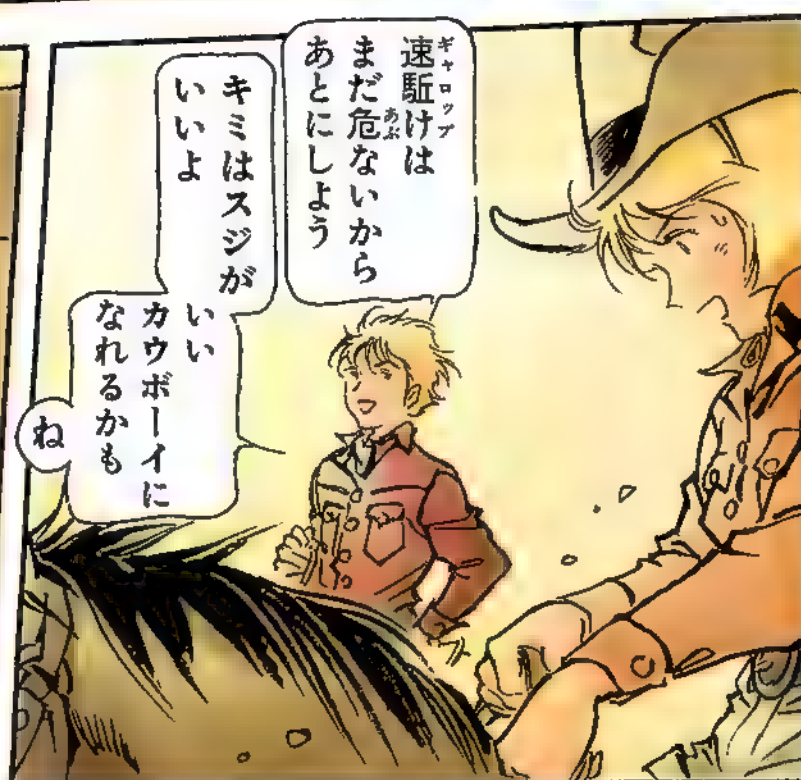
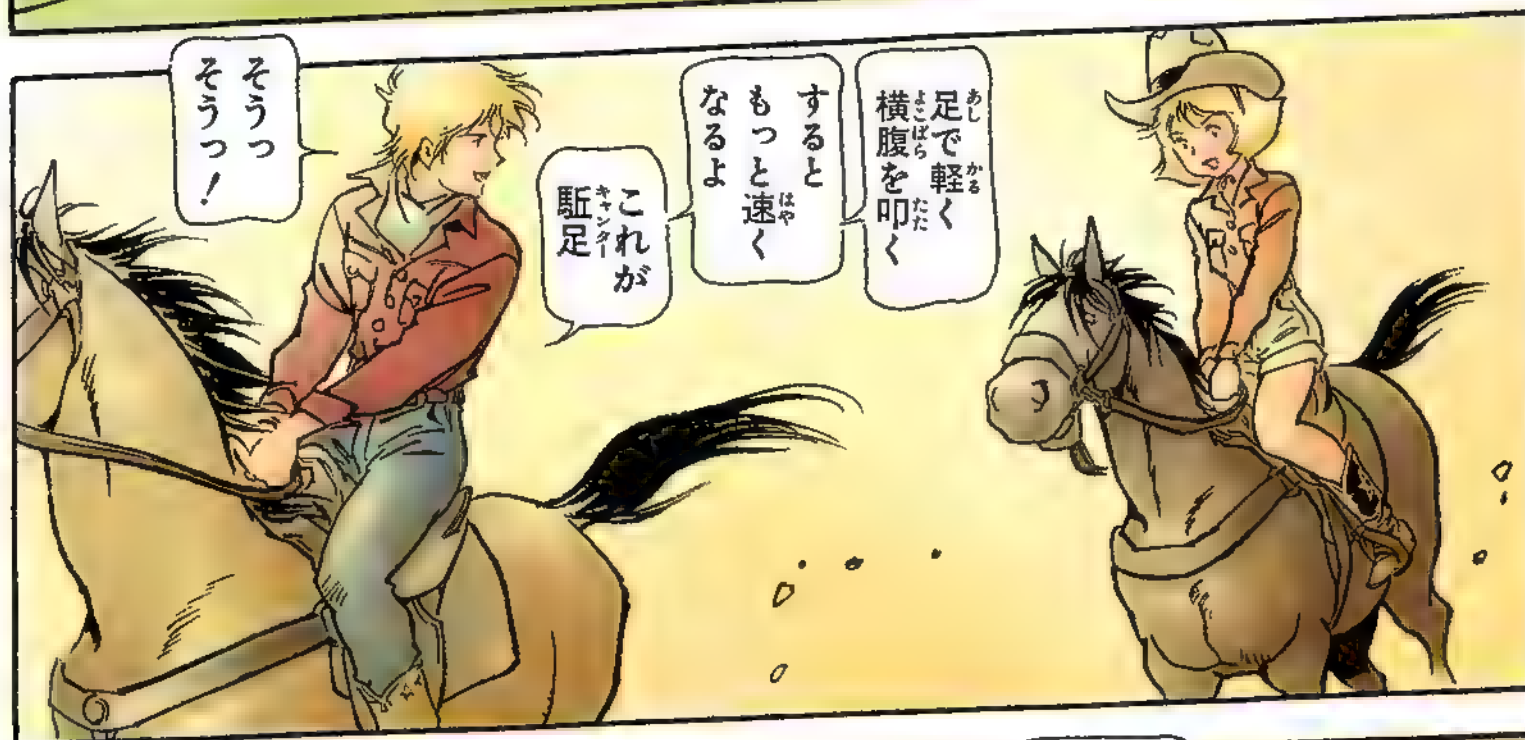
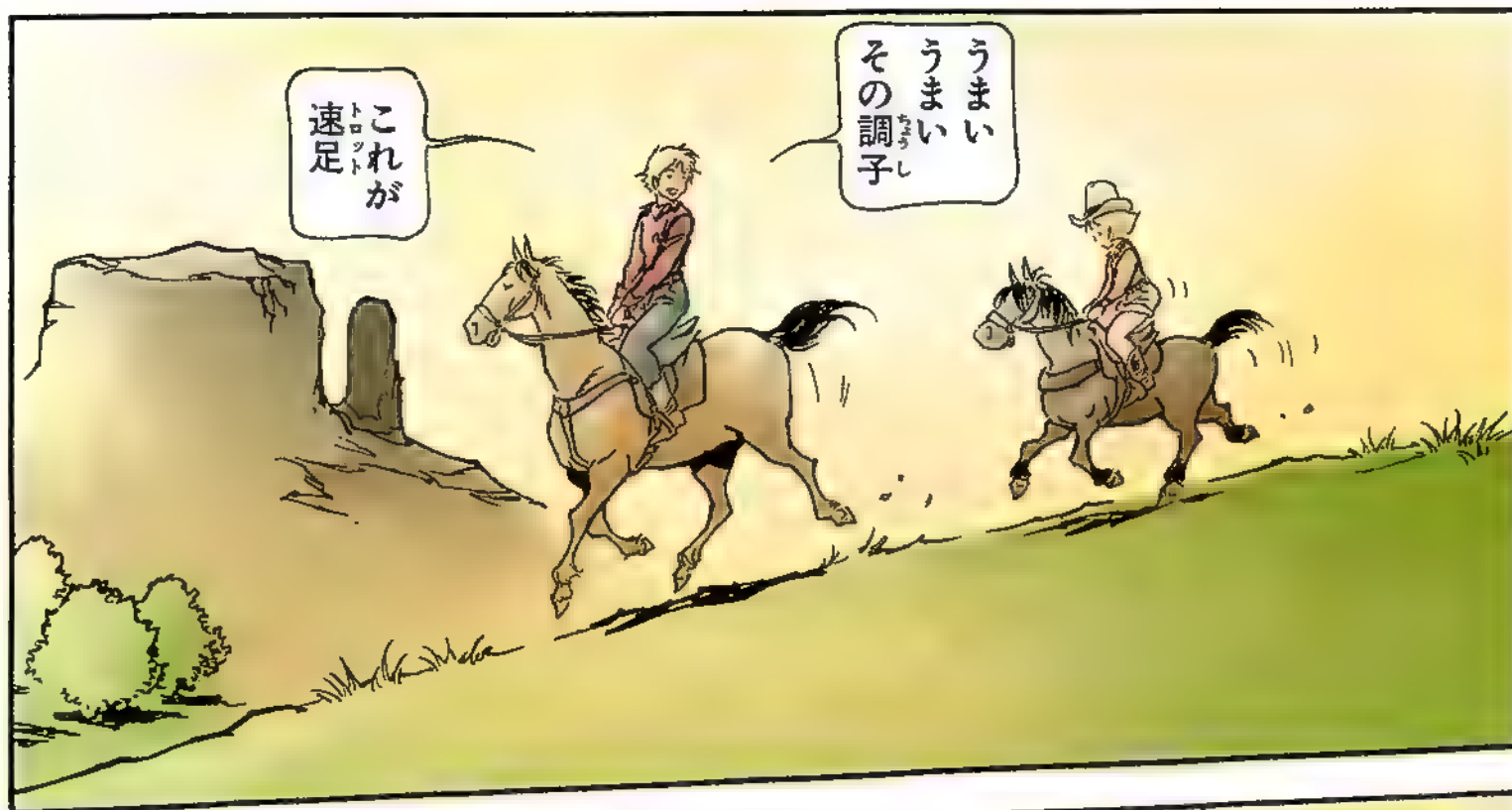
ゆるく

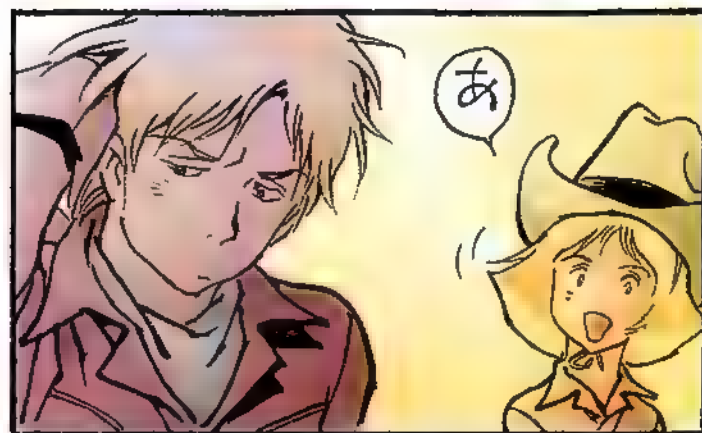
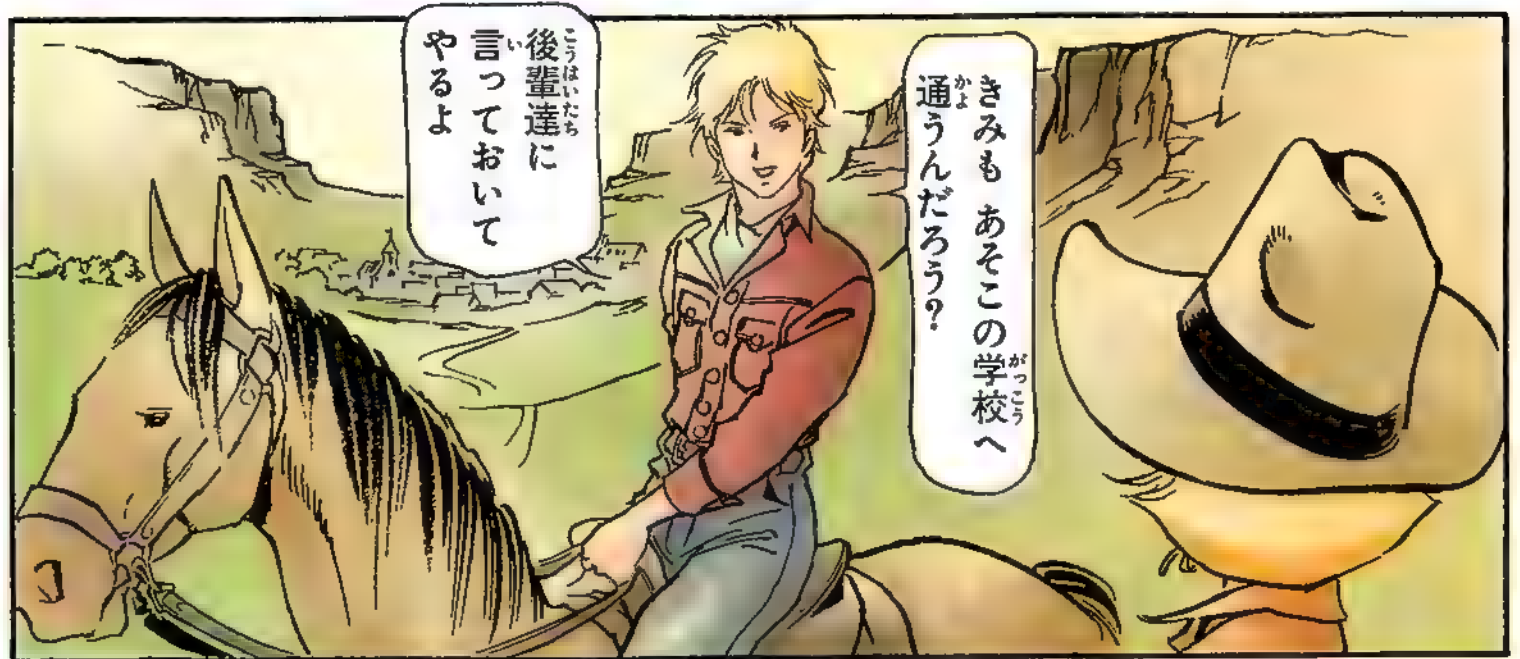
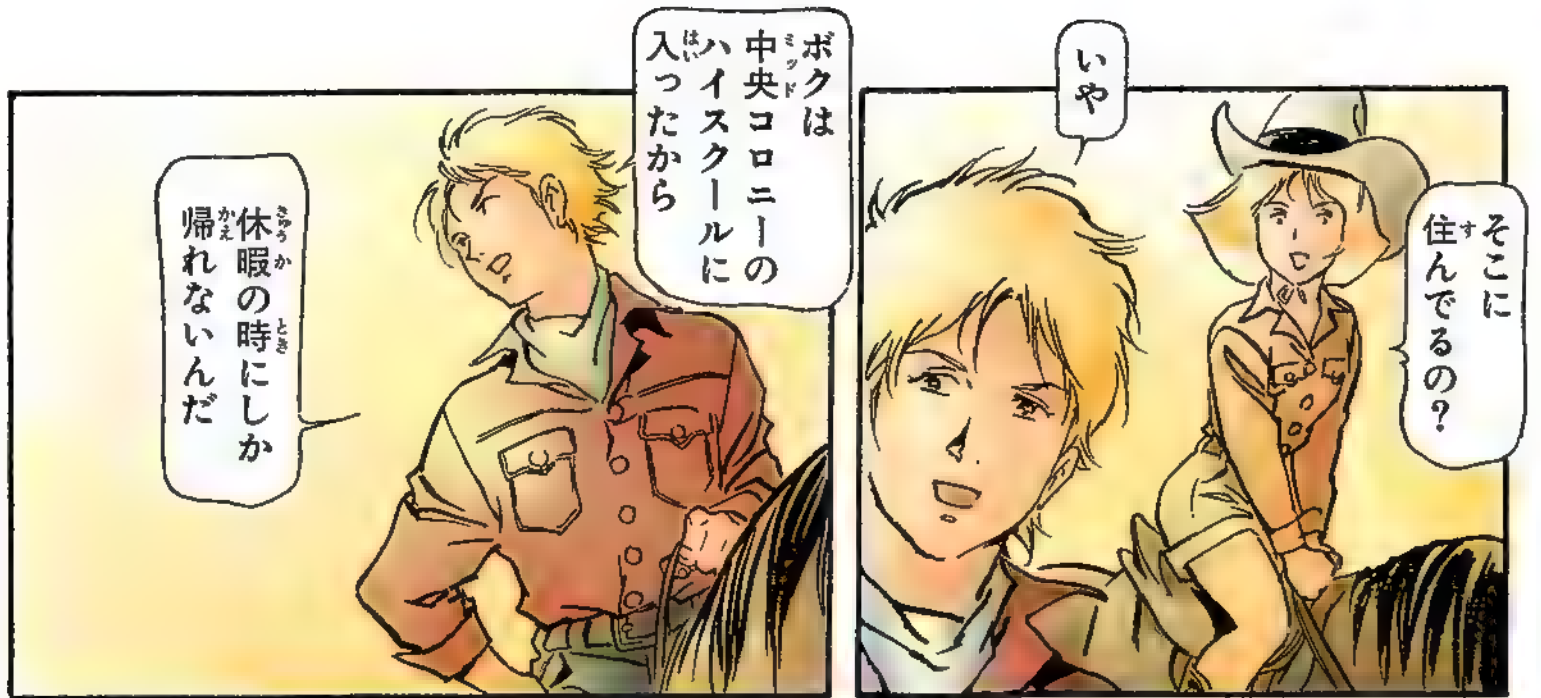
その馬はポニー
だからあんまり速く
走らせようとせず

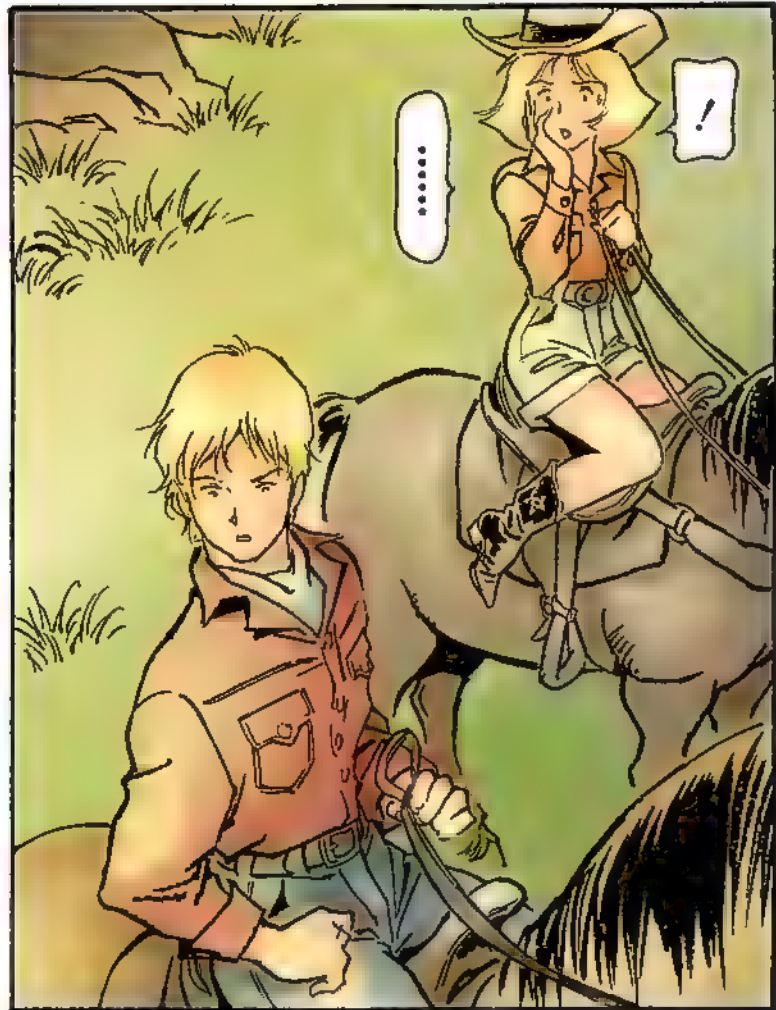
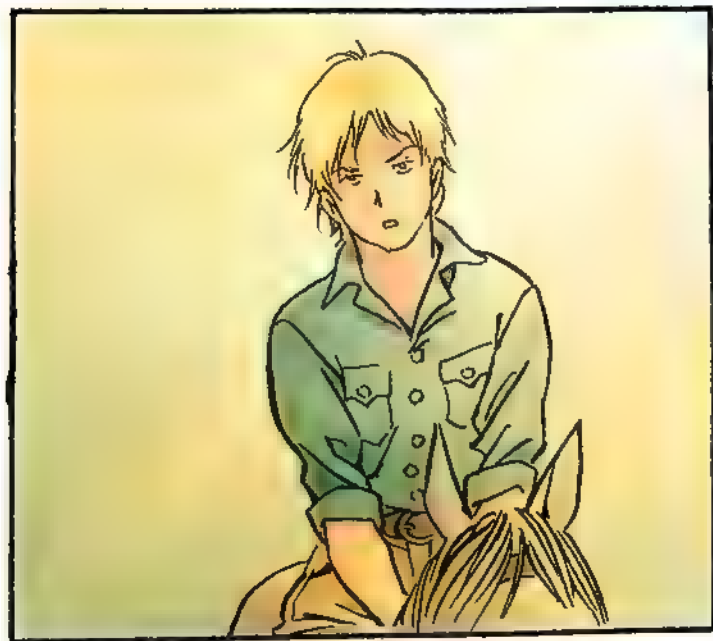
馬に体を
まかせて

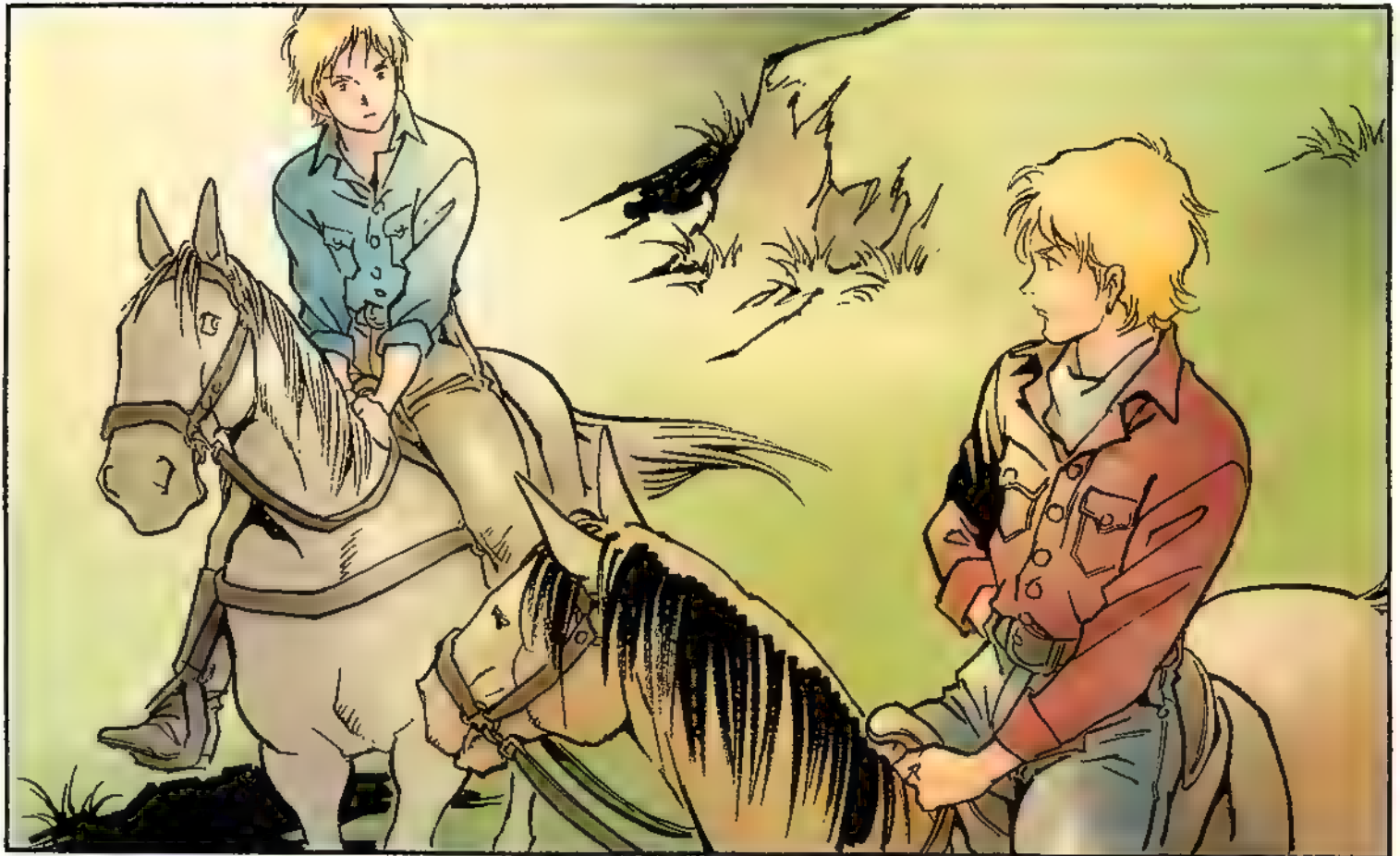
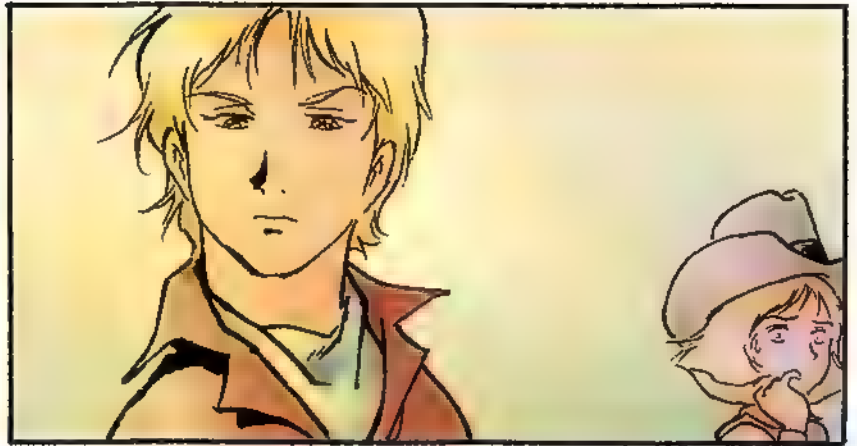
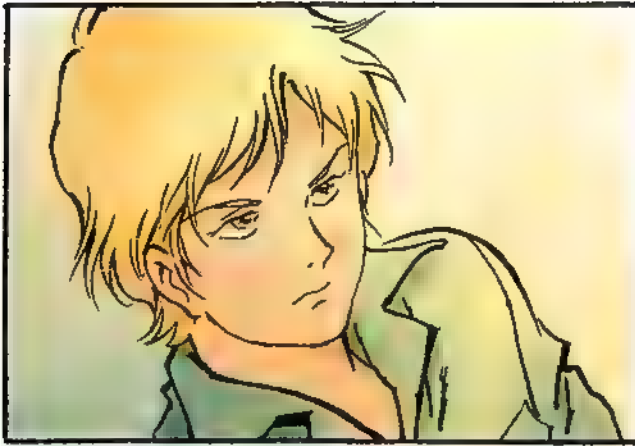
お尻を
うかせて
軽く
調子を
とる感じ

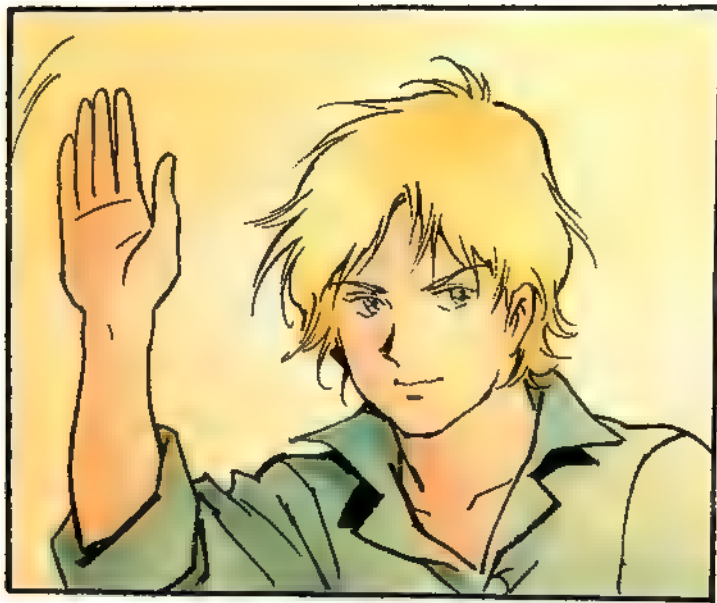
ついておいで



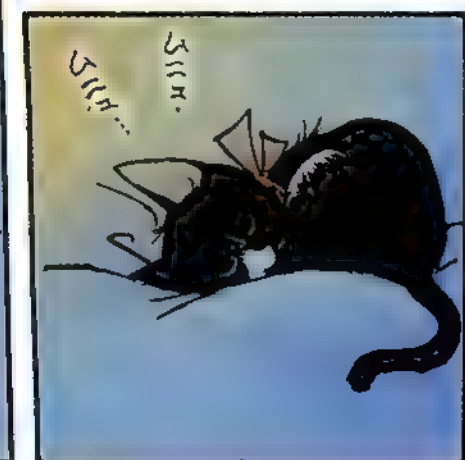
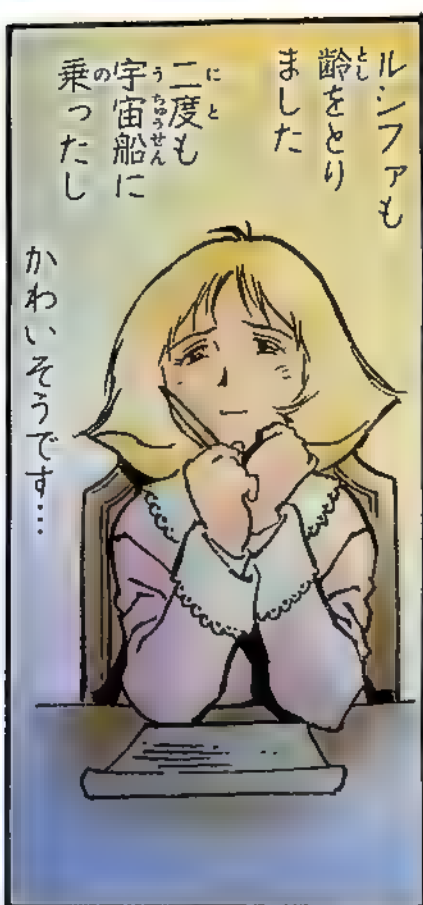
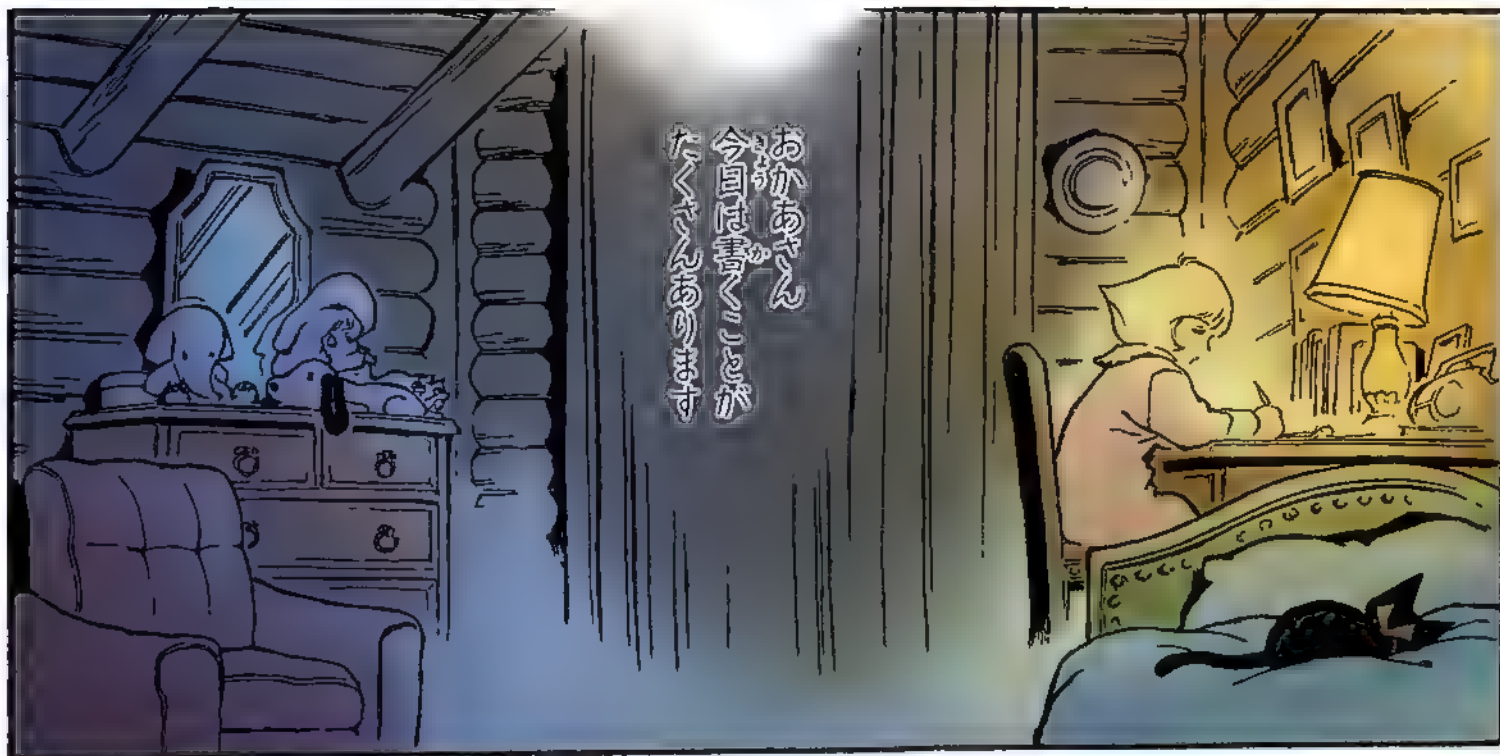








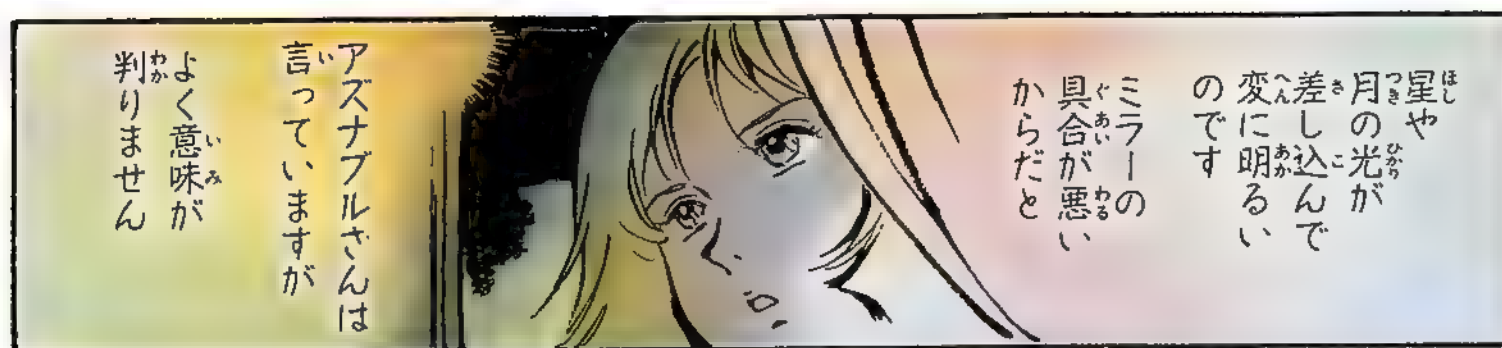






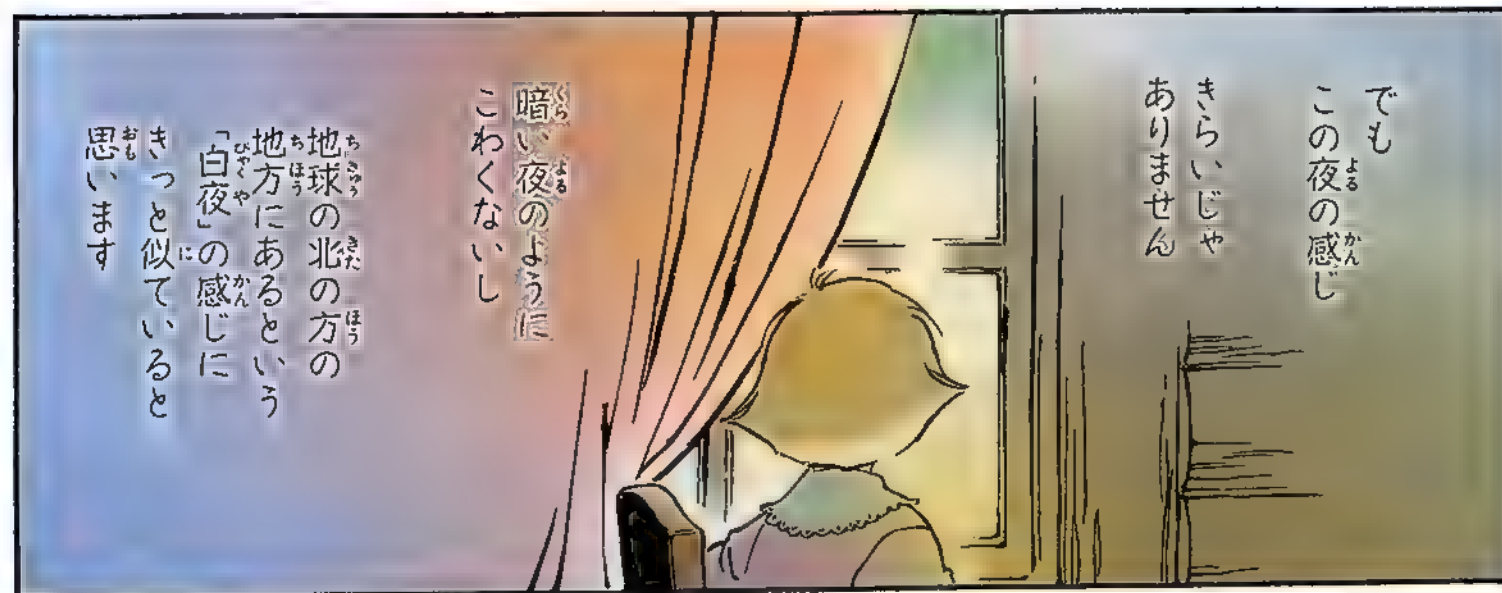
このテキサス・コロニーは
とてもかわった所なんですよ
ムンゾとは違って
大きな窓から宇宙が
見えるし

今は夜だけど
夜でも真つくらには
なりません



星や
月の光が
差し込んで
変に明るい
のです
ミラーの
具合が悪い
からだ

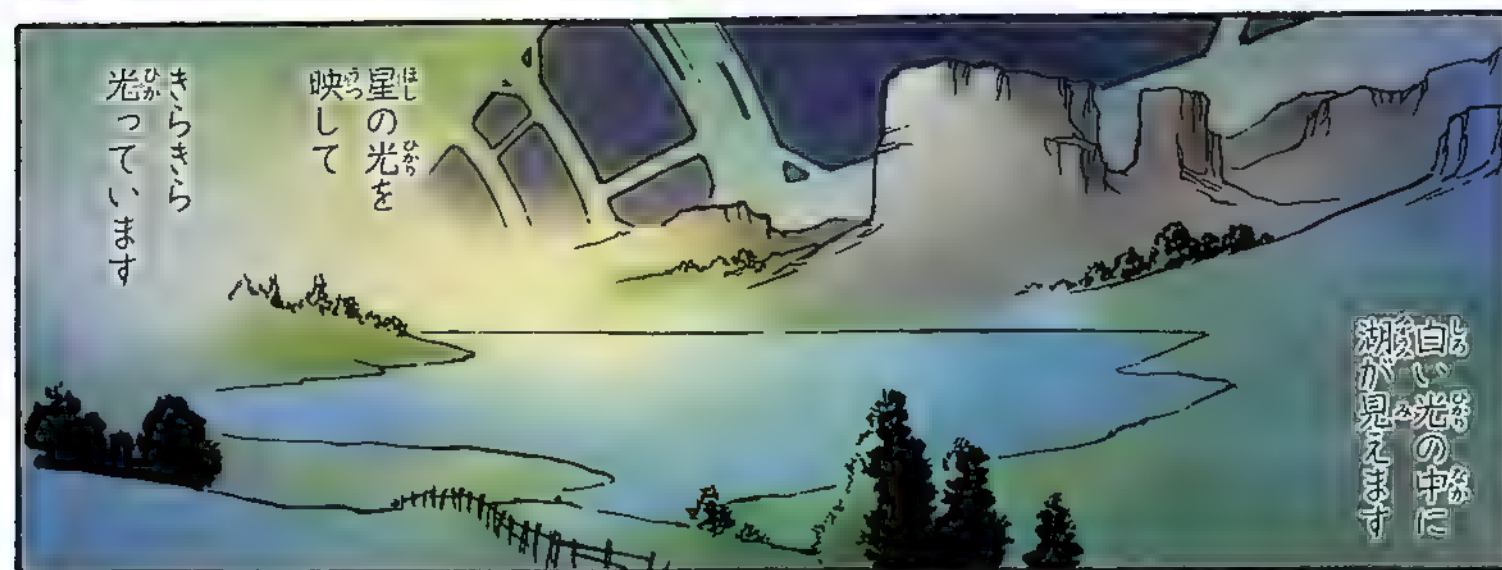
アスナブルさんは
言っています
よく意味が
判りません



でも
この夜の感じ
きれいじゃ
ありません

暗い夜のようには
こわくないし

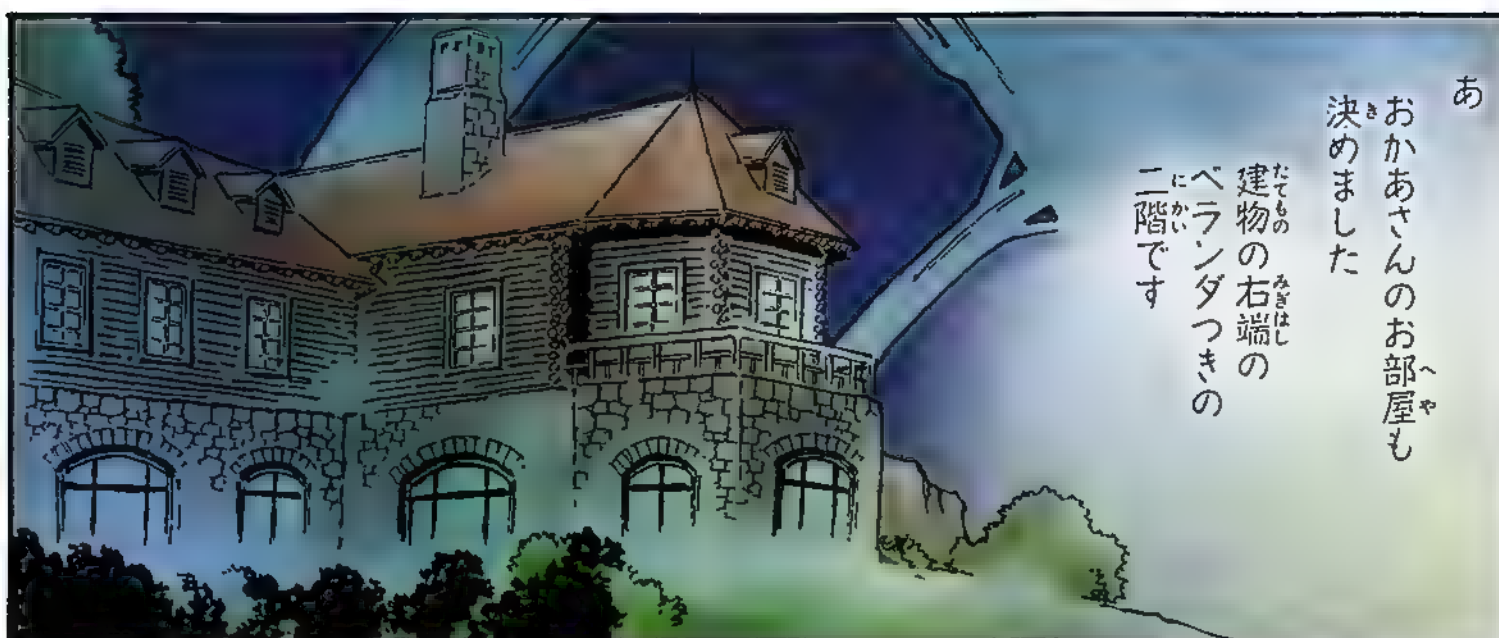
地球の北の方の
地方にあるという
「白夜」の感じに
きつと似ていると
思います



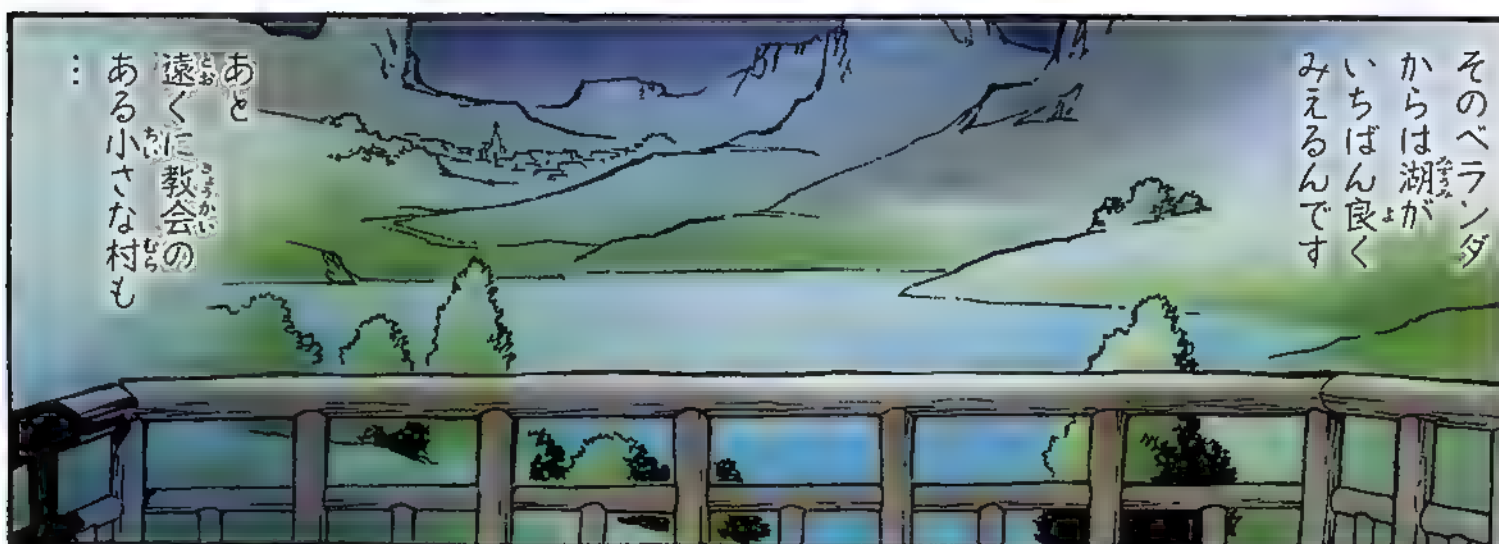
白い光の中に
湖が見えます

星の光を
映して

きらきら
光っています

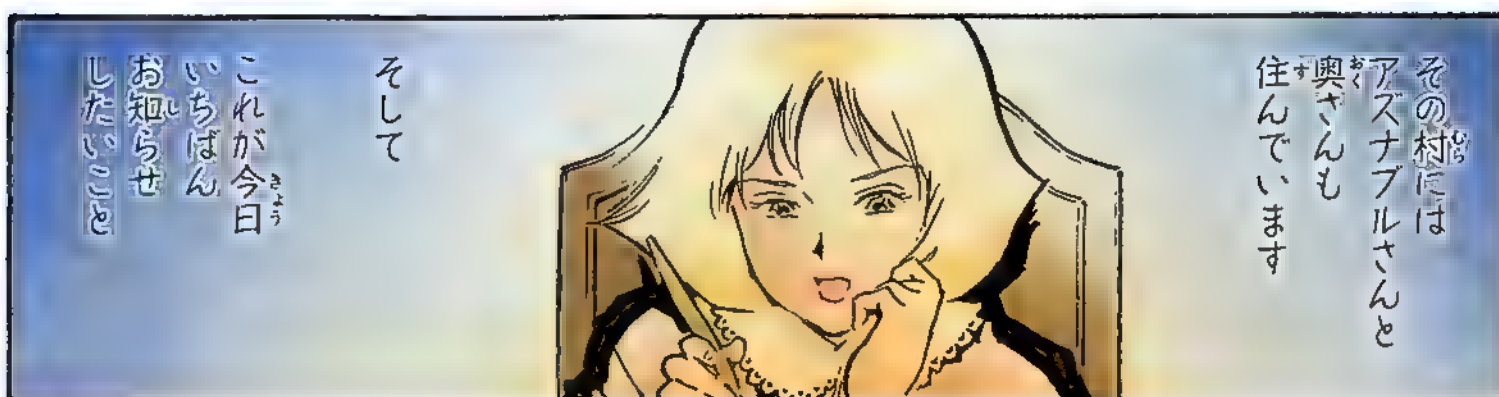


あ
おかあさんのお部屋も
決めました
建物の右端の
ベランダつきの
二階です



そのベランダ
からは湖が
いちばん良く
みえるんです

あと
遠くに教会の
ある小さな村も
：



その村には
アスナブルさんと
奥さんも
住んでいます

そして

これが今日
いちばん
お知らせ
したいこと



アスナブルさんの
息子さんに
会いました

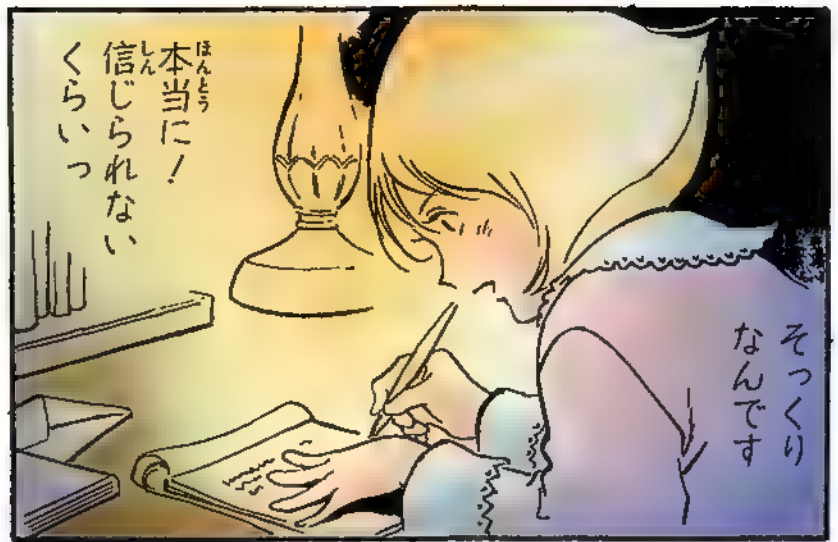
シャア・アスナブル
といいます

高校生です

十六歳です

キヤスバル兄さんと
同じ年齢です

それだけじゃ
ありません



そっくり
なんです

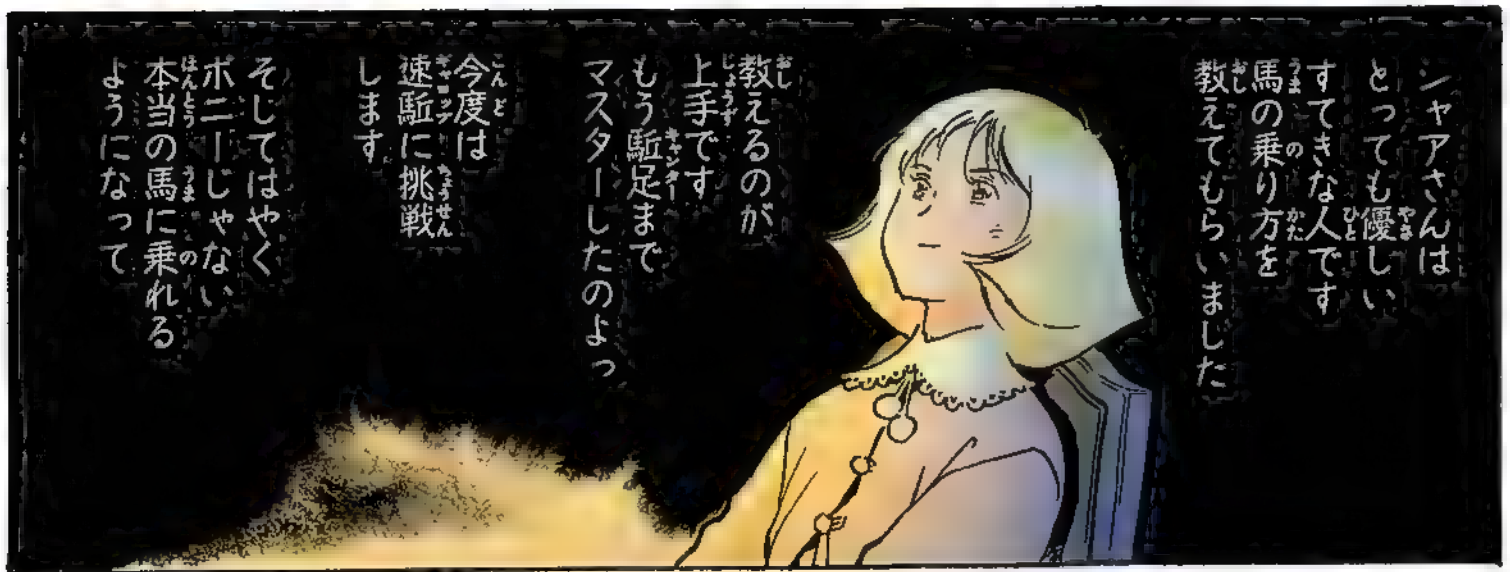
ほんとう
本当に！
信じられない
くらいっ



でも

あんまり似て
いるから二人が
会った時
どうなるかと
思いました

大丈夫でした
二人はお友達に
なれそうです



ーヤアさんは
とっても優しい
すてきな人です
馬の乗り方を
教えてもらいました

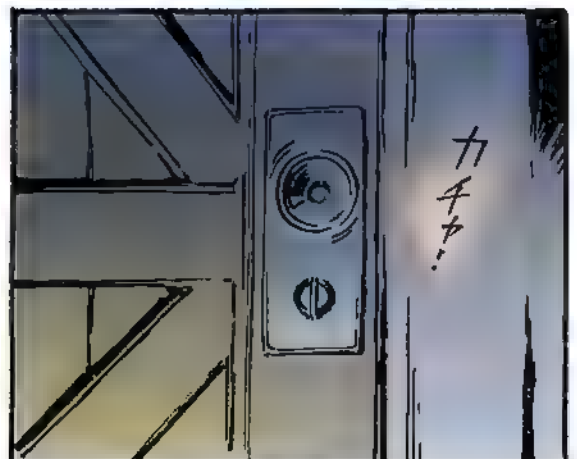
教えるのが
上手です
もう駈足まで
マスターしたのよっ

今度は
速駈に挑戦
します

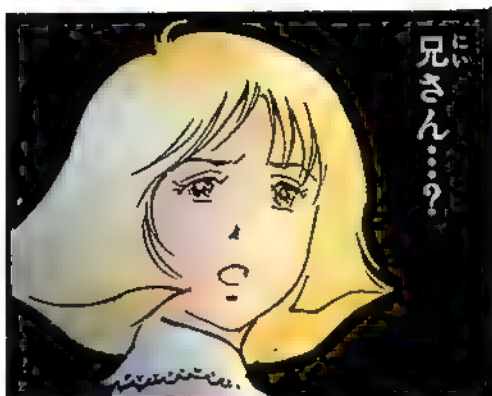
そしてはやく
ホニーじゃない
本当の馬に乗れる
ようになって



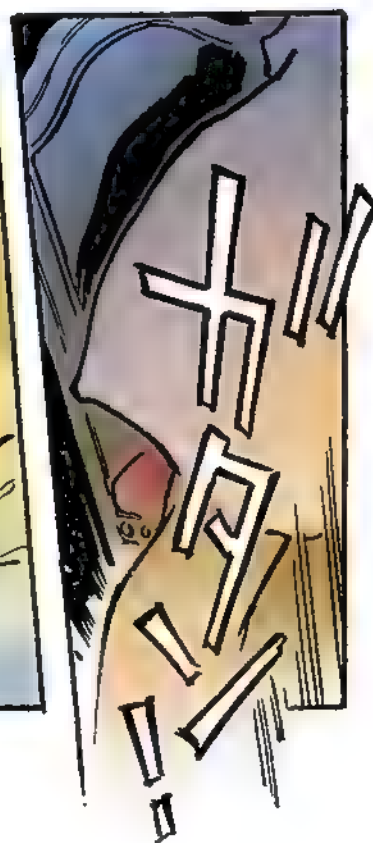
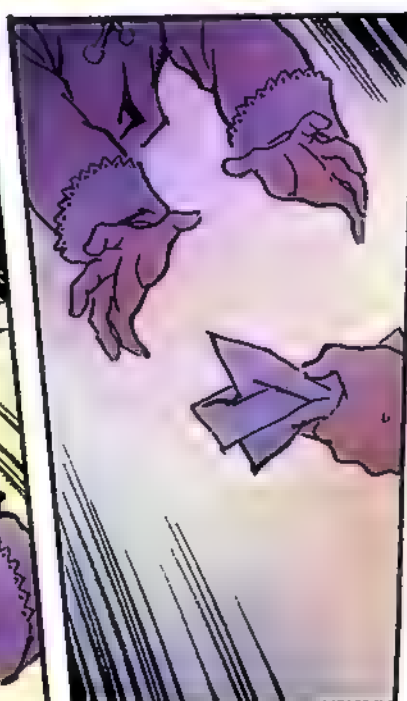
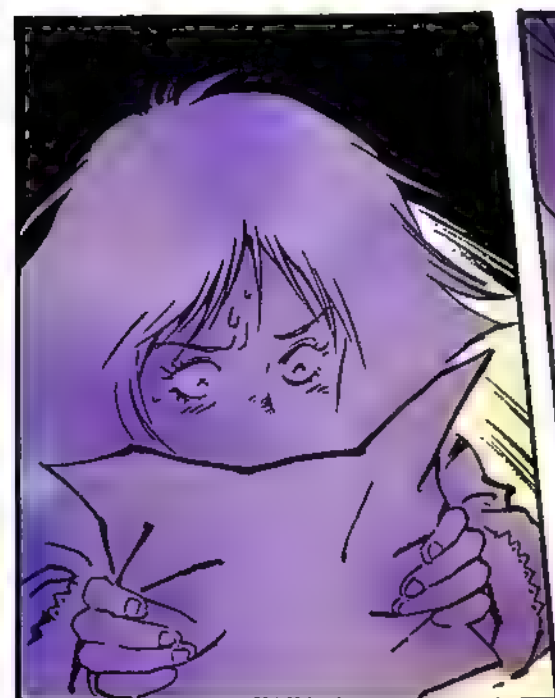
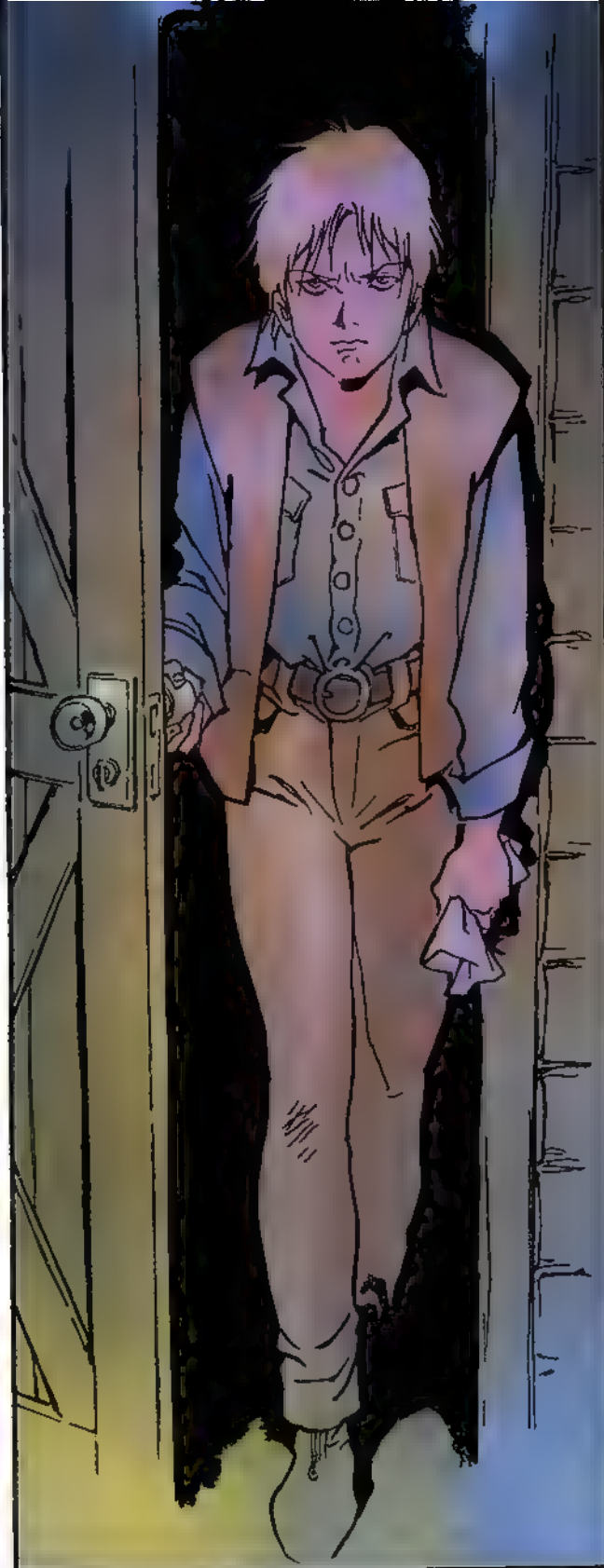
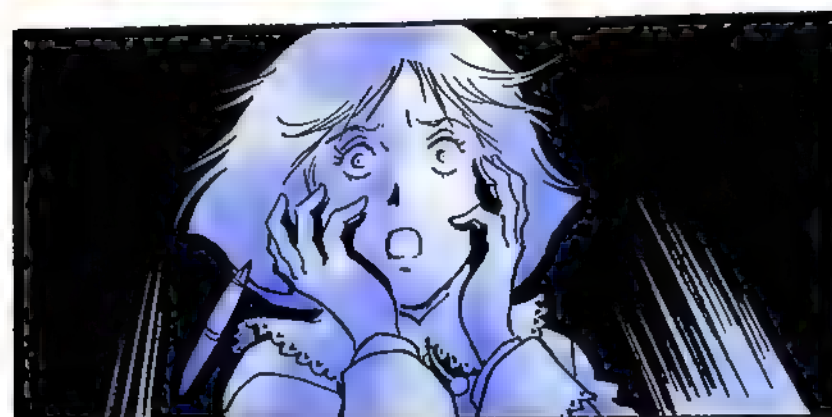
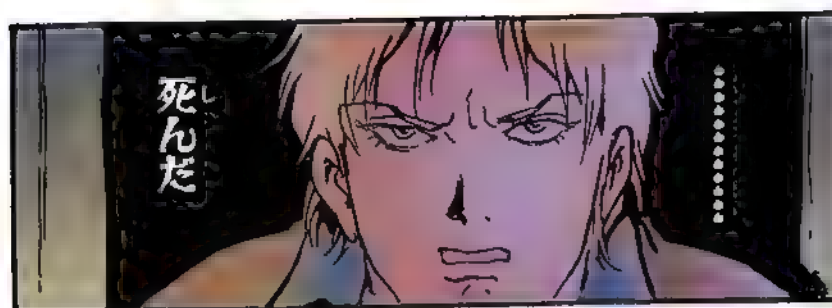
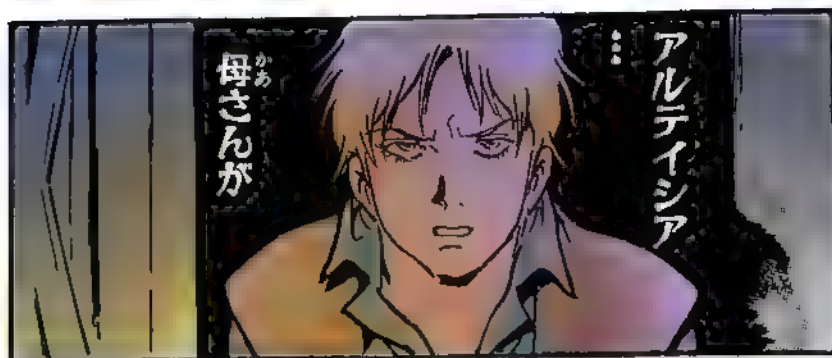
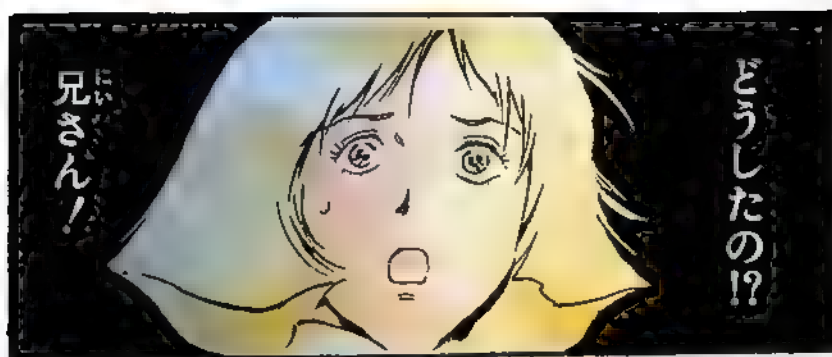
格好よく走る
ところを
おかあさんに

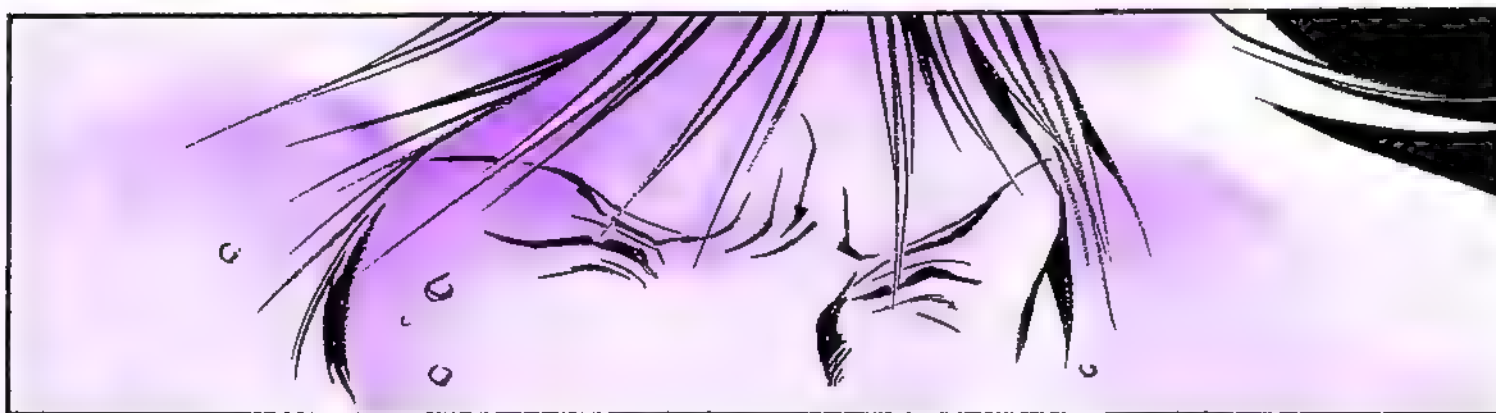
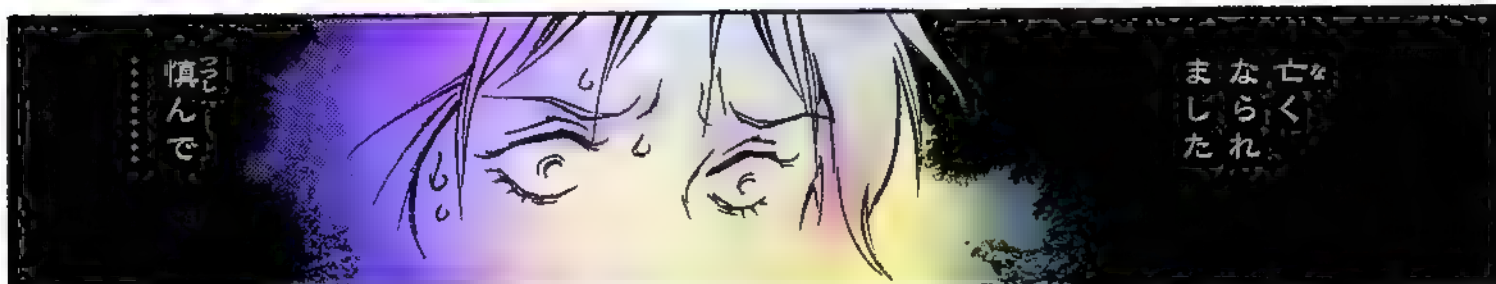
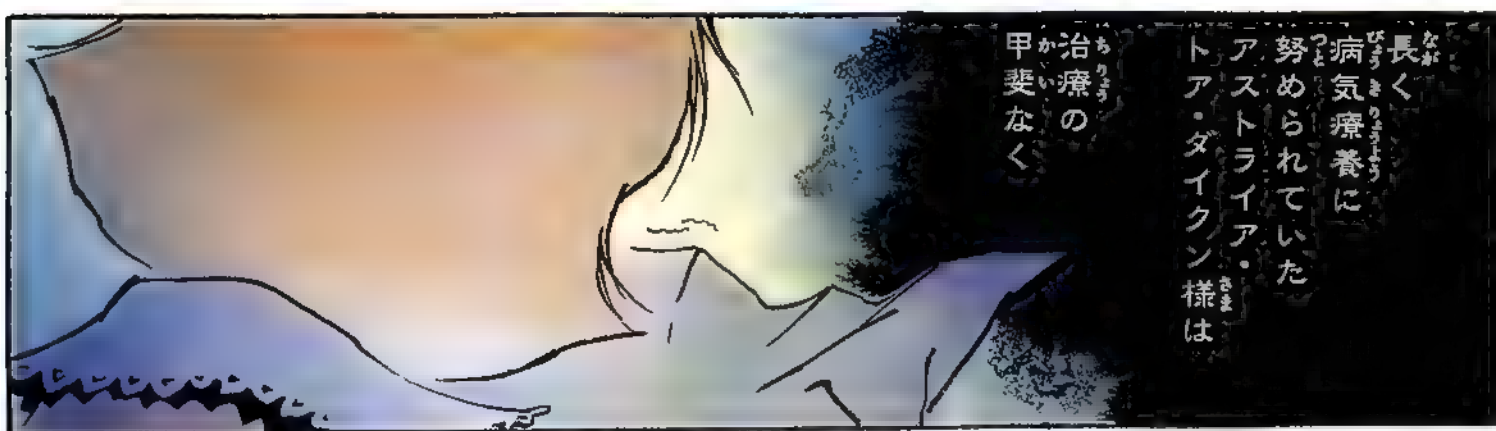
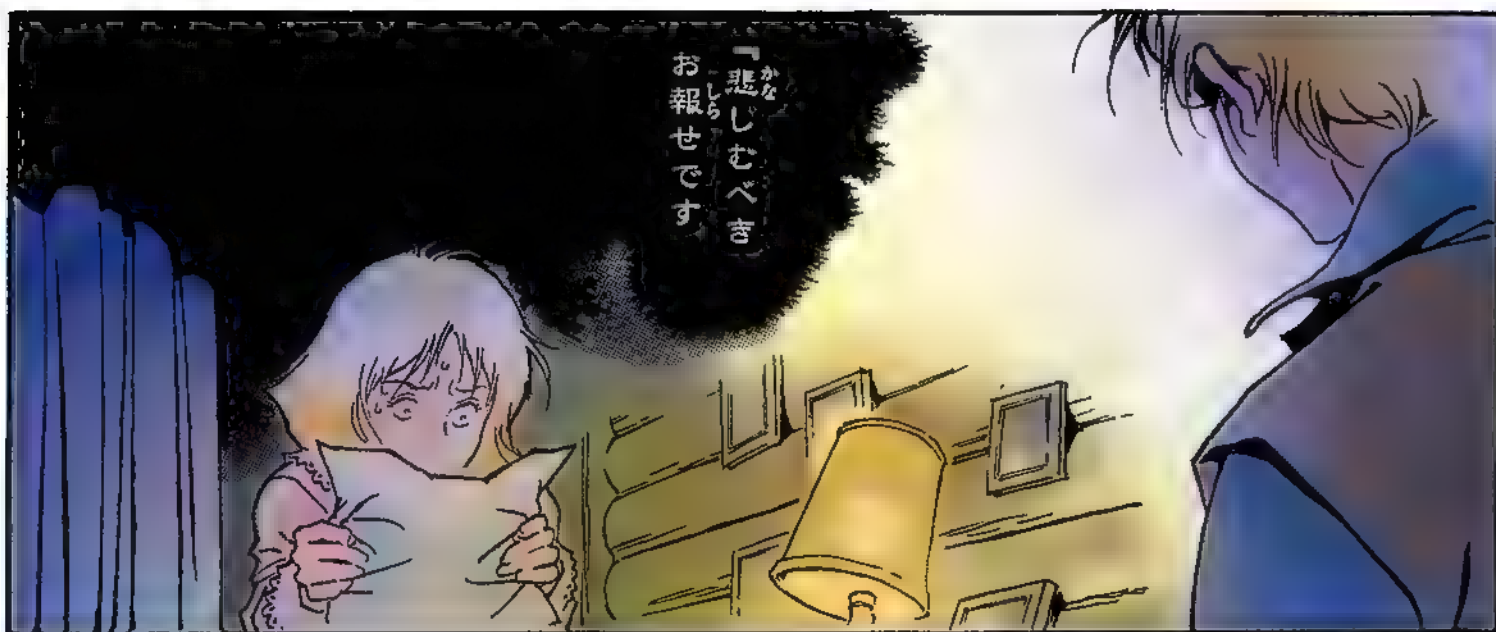


カチカチ



兄さん…？

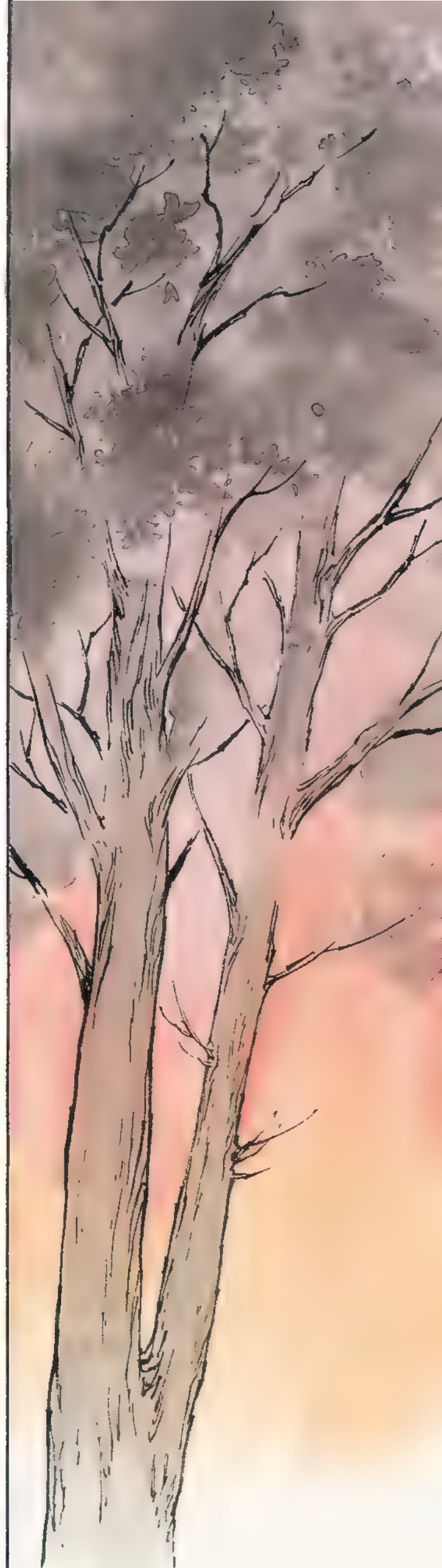
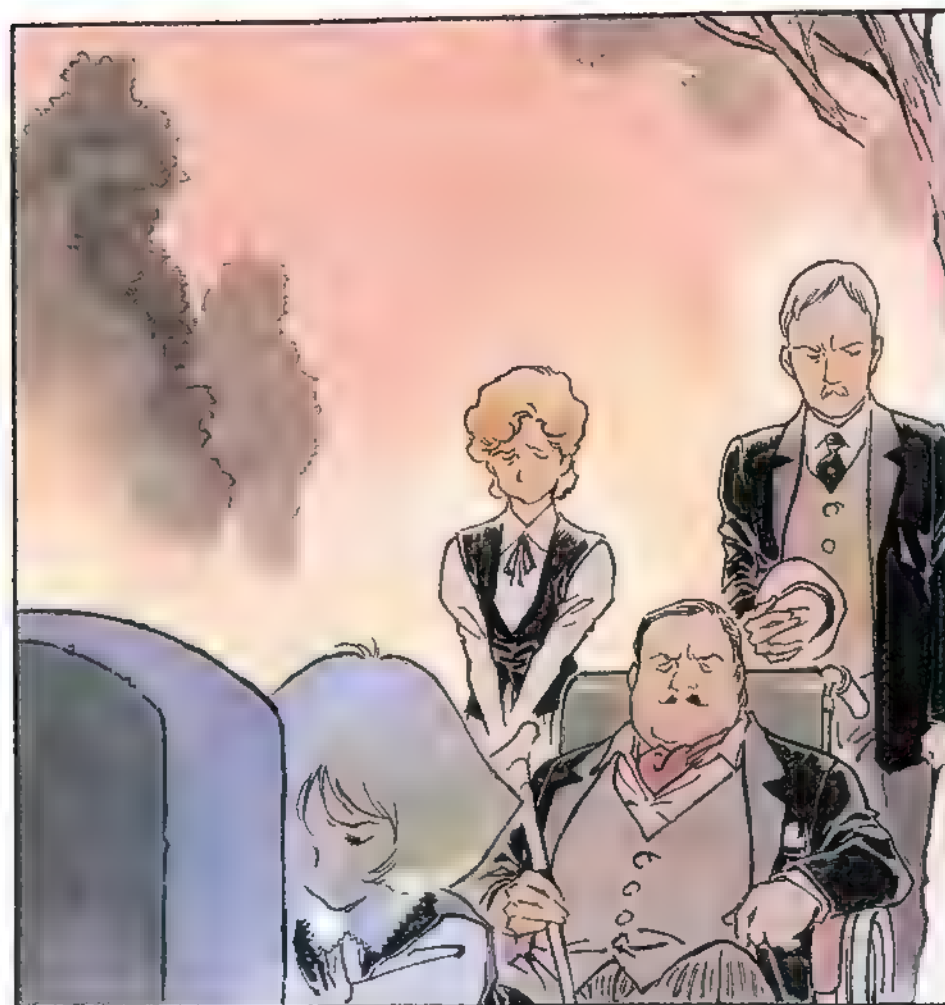
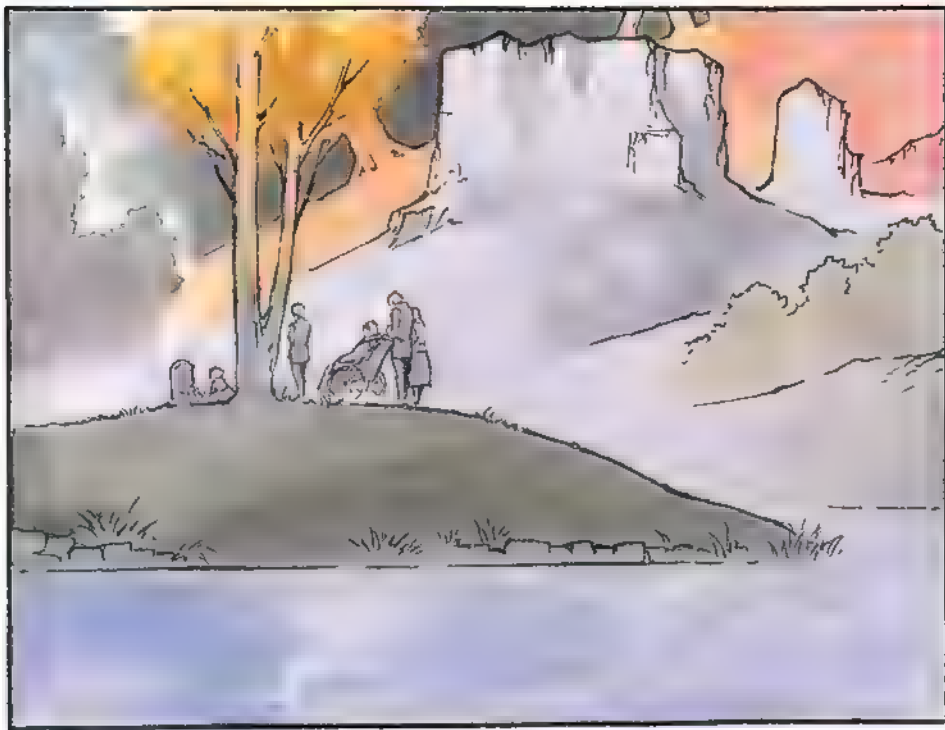


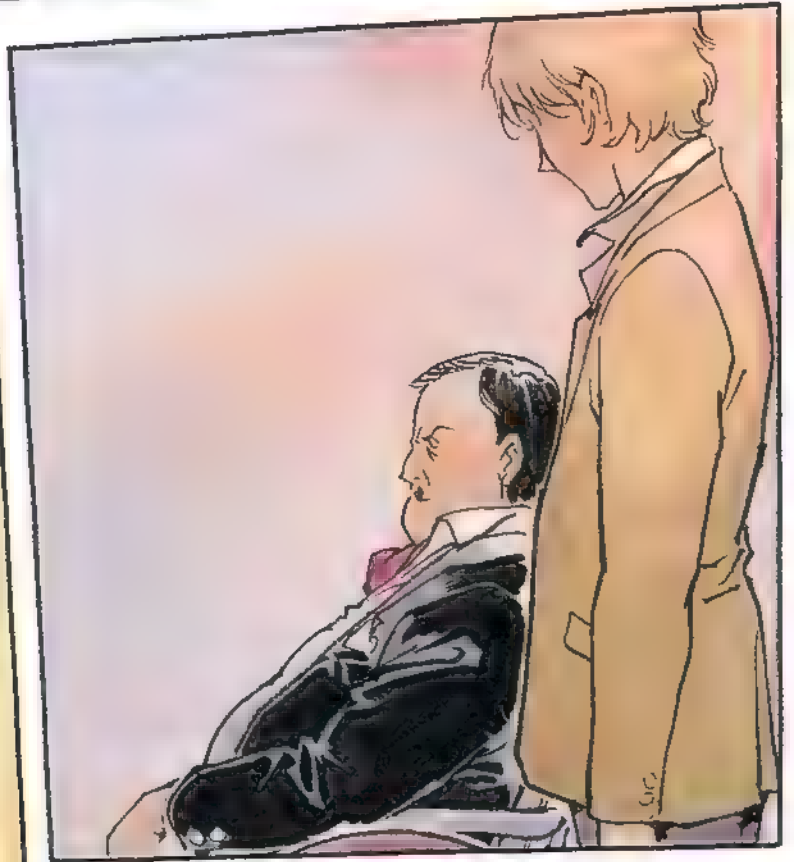
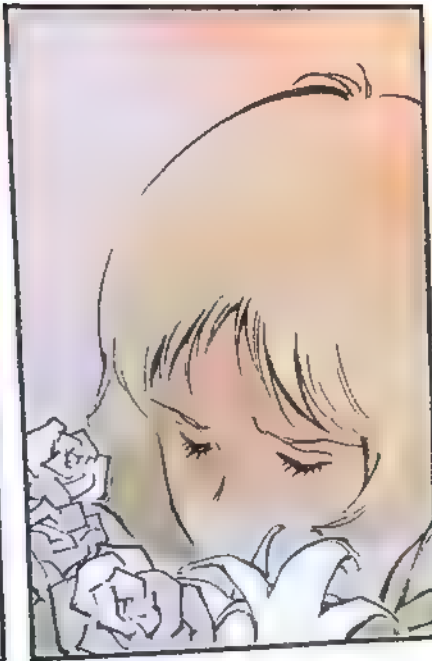
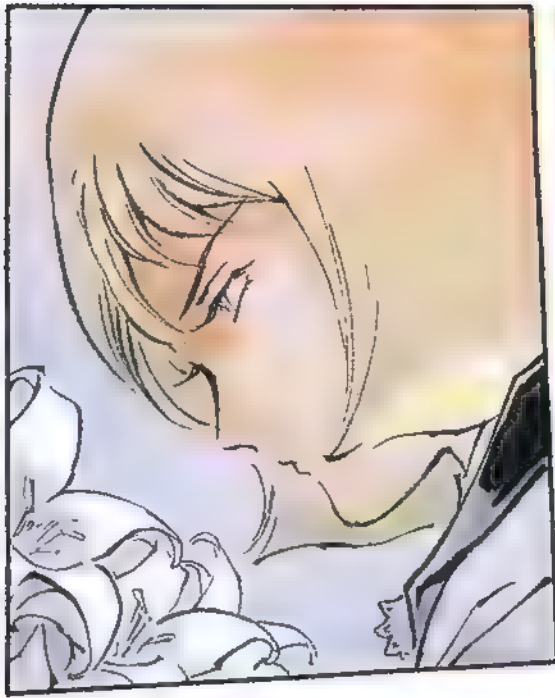


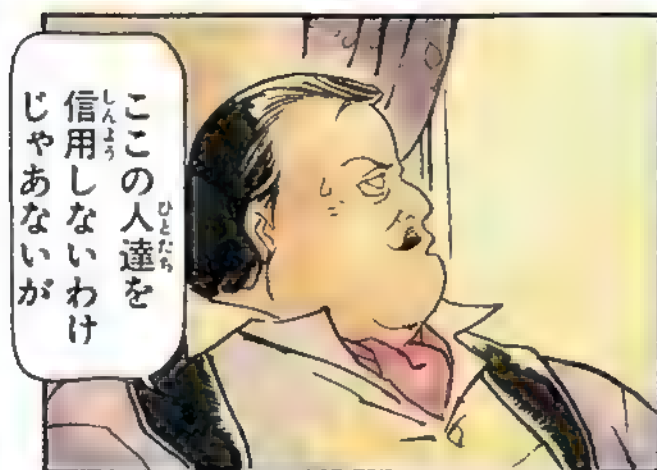
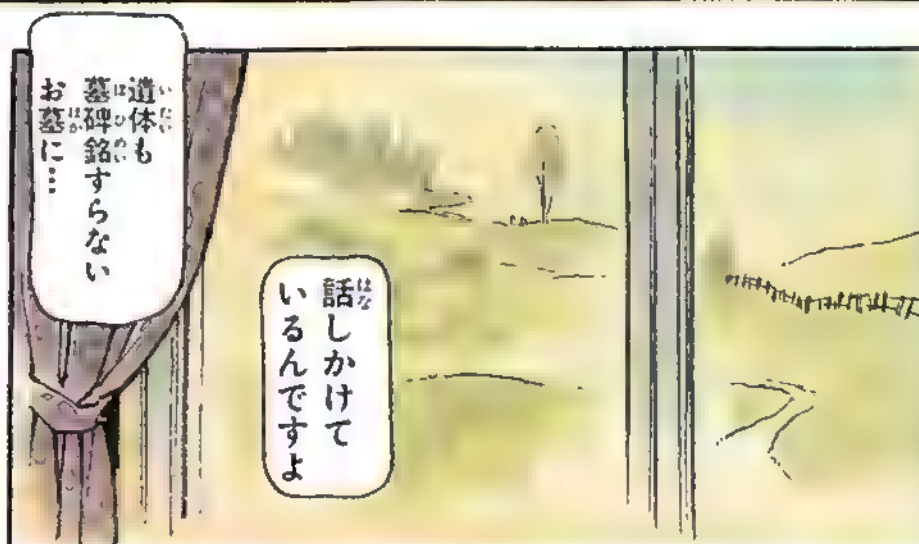
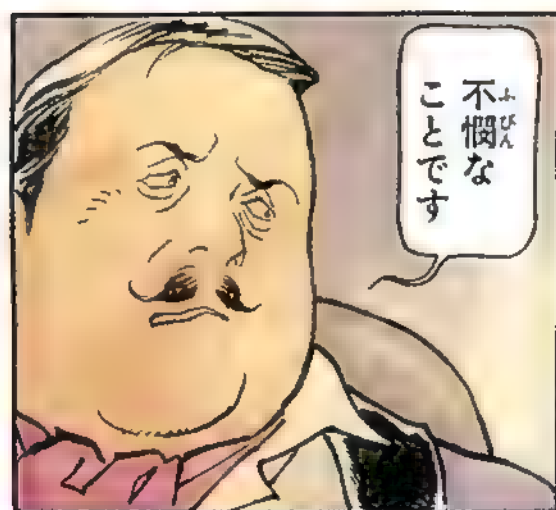


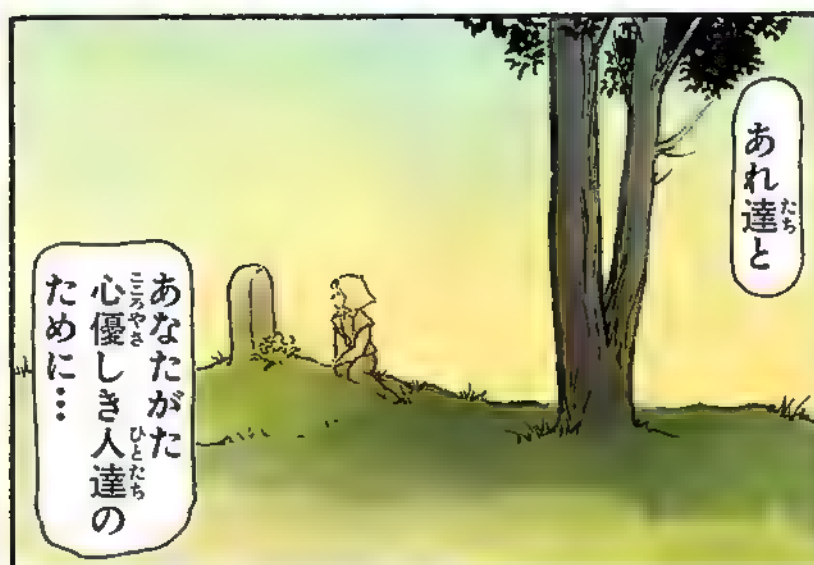
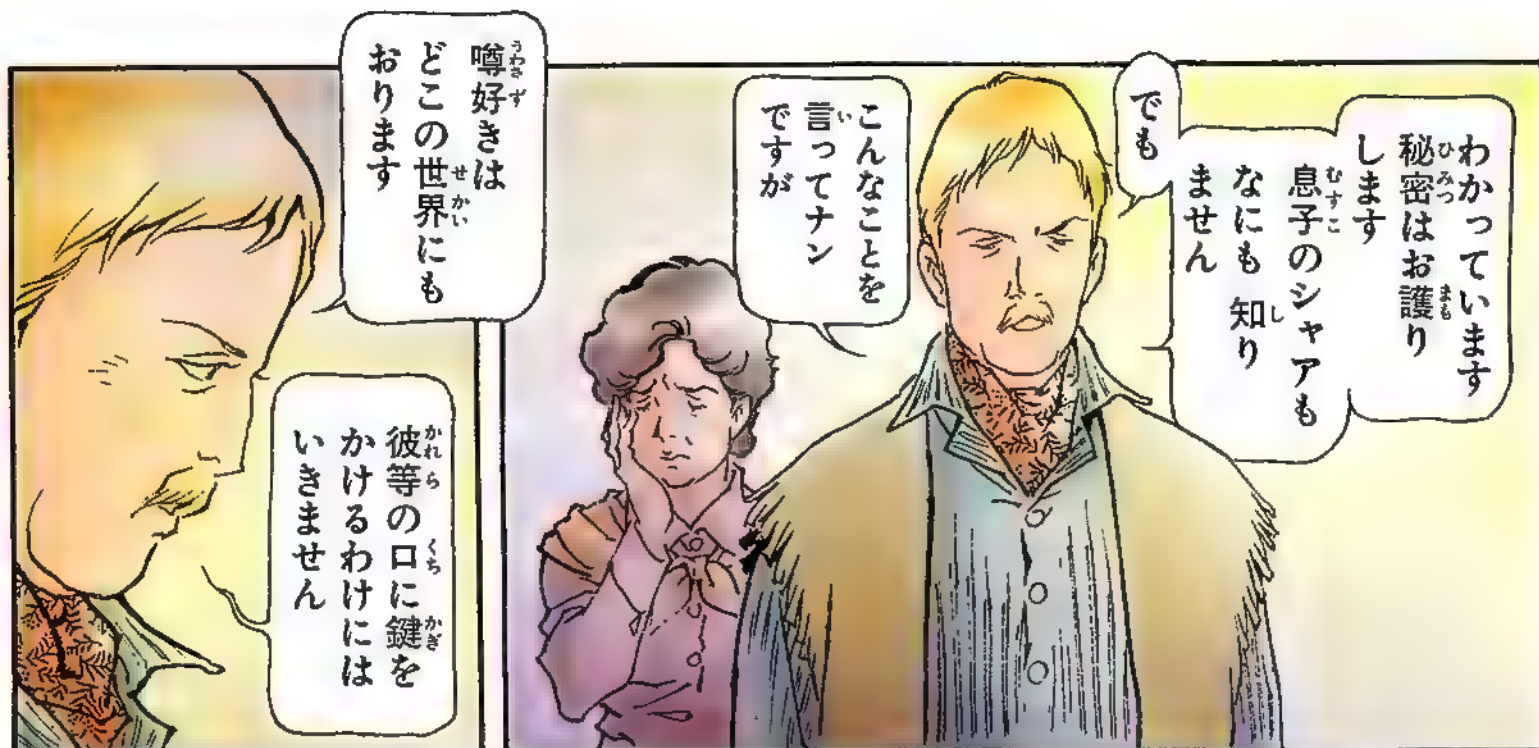
—シャア・セイラ編・後—

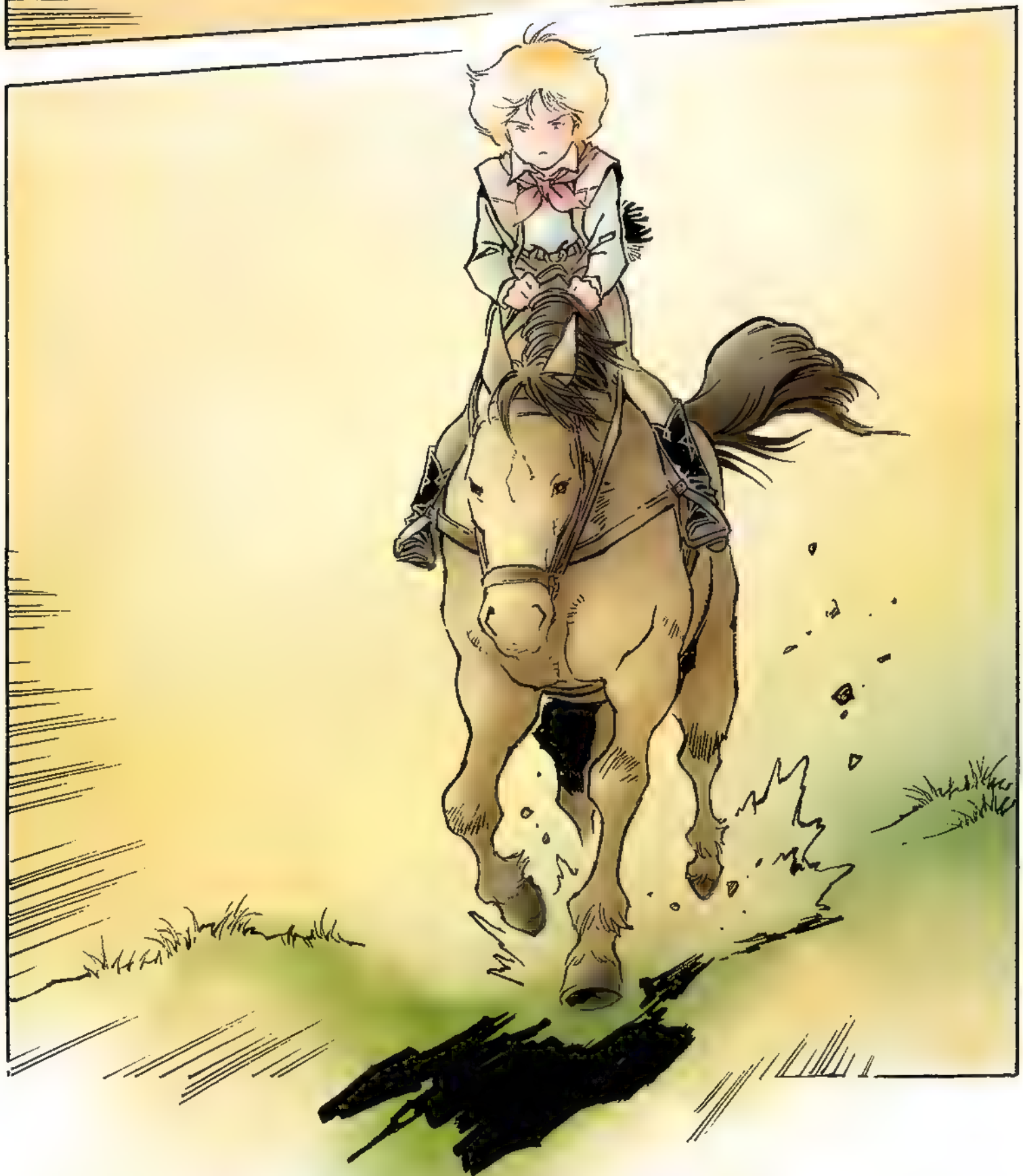
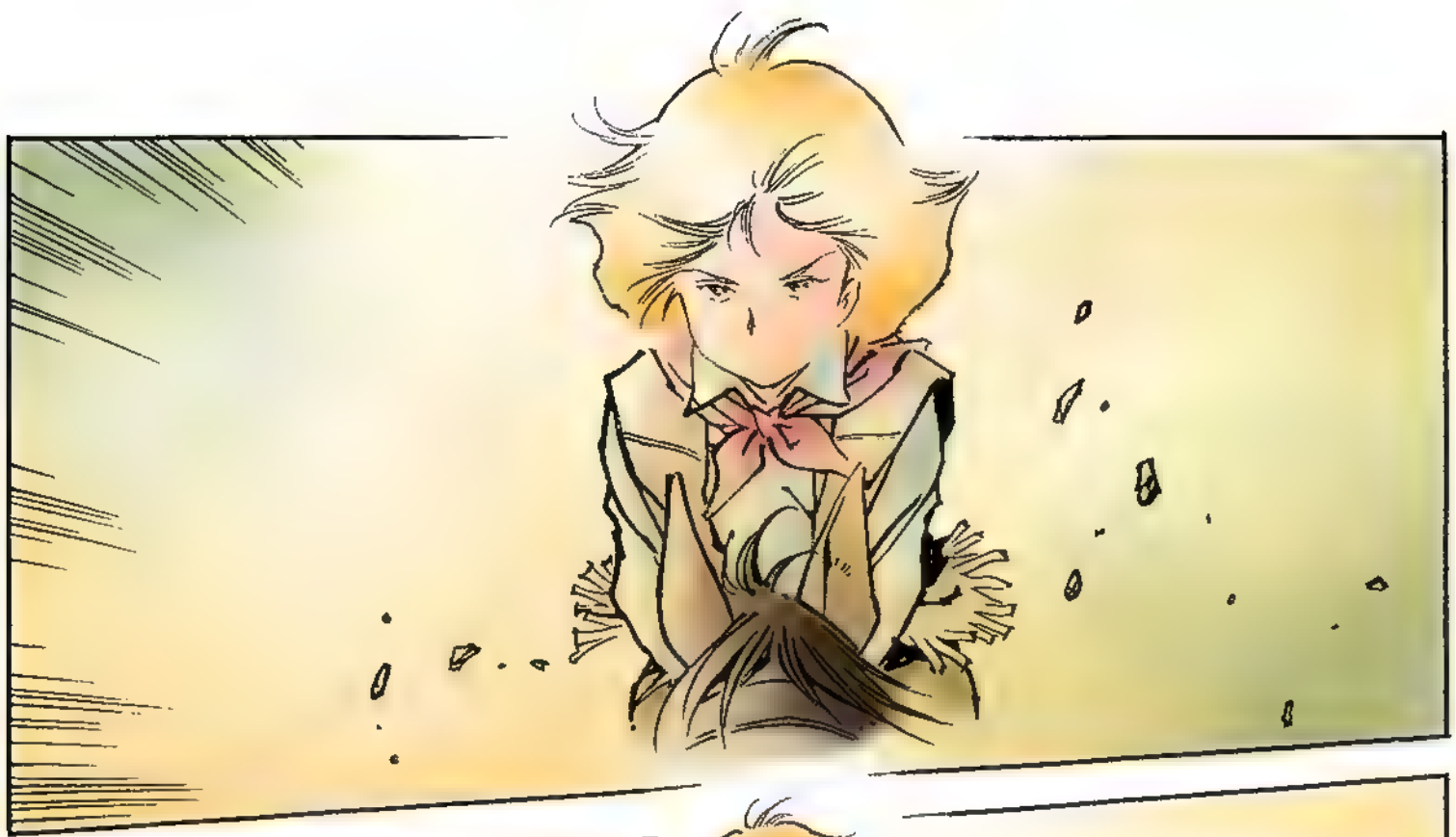
SECTION
VIII

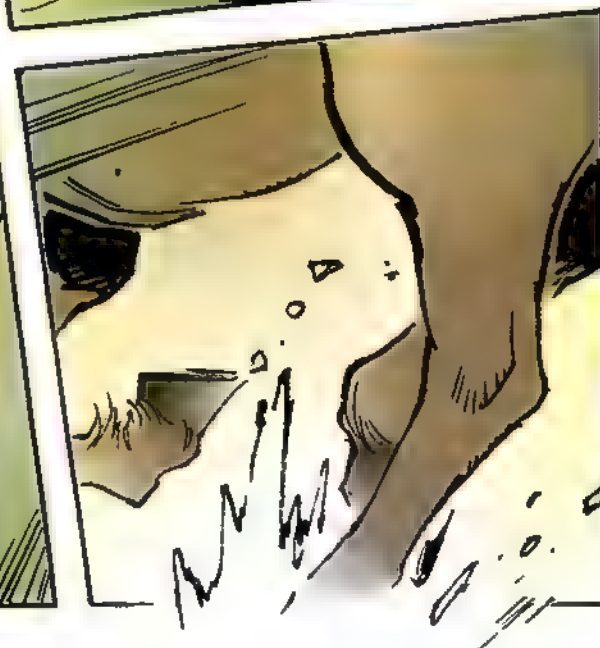
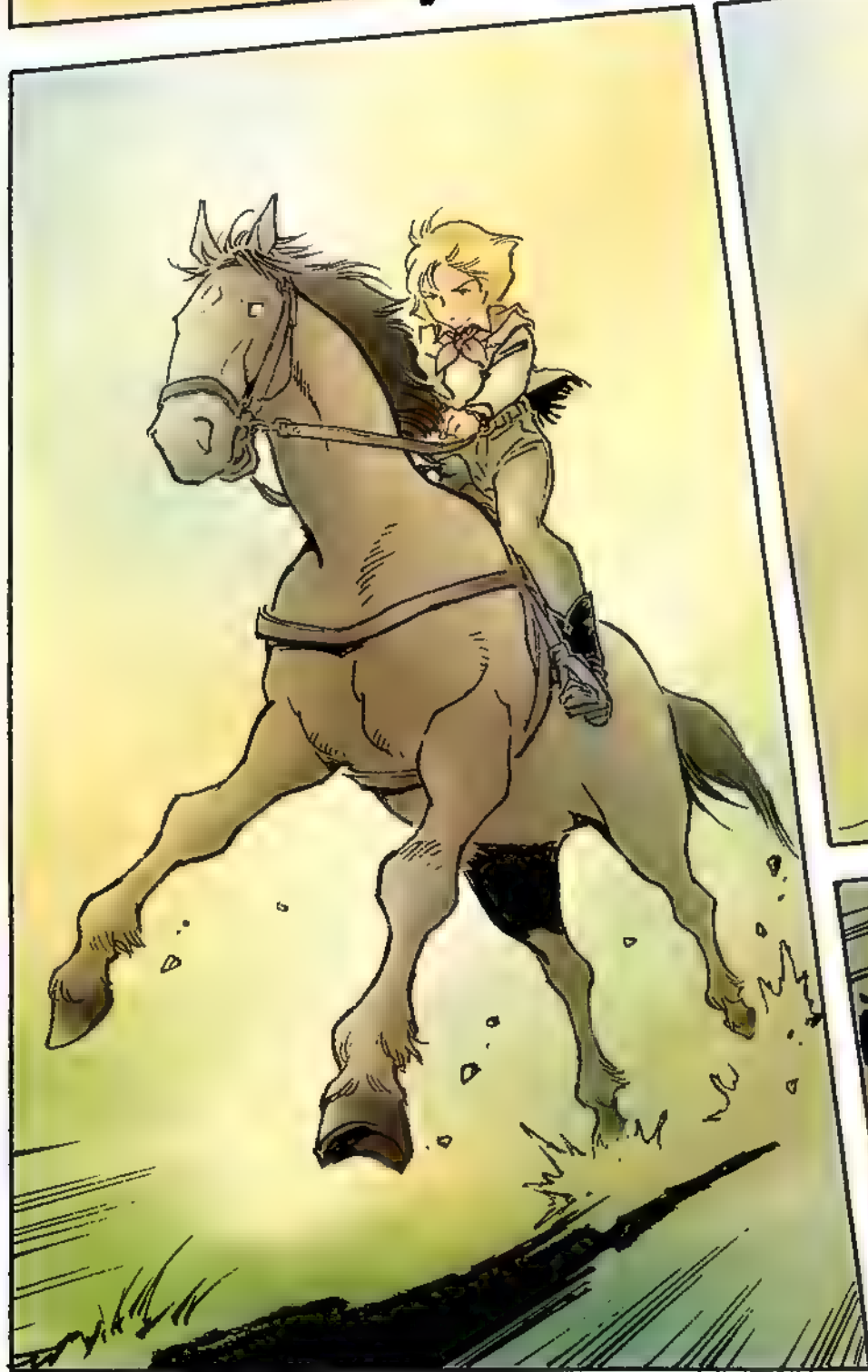
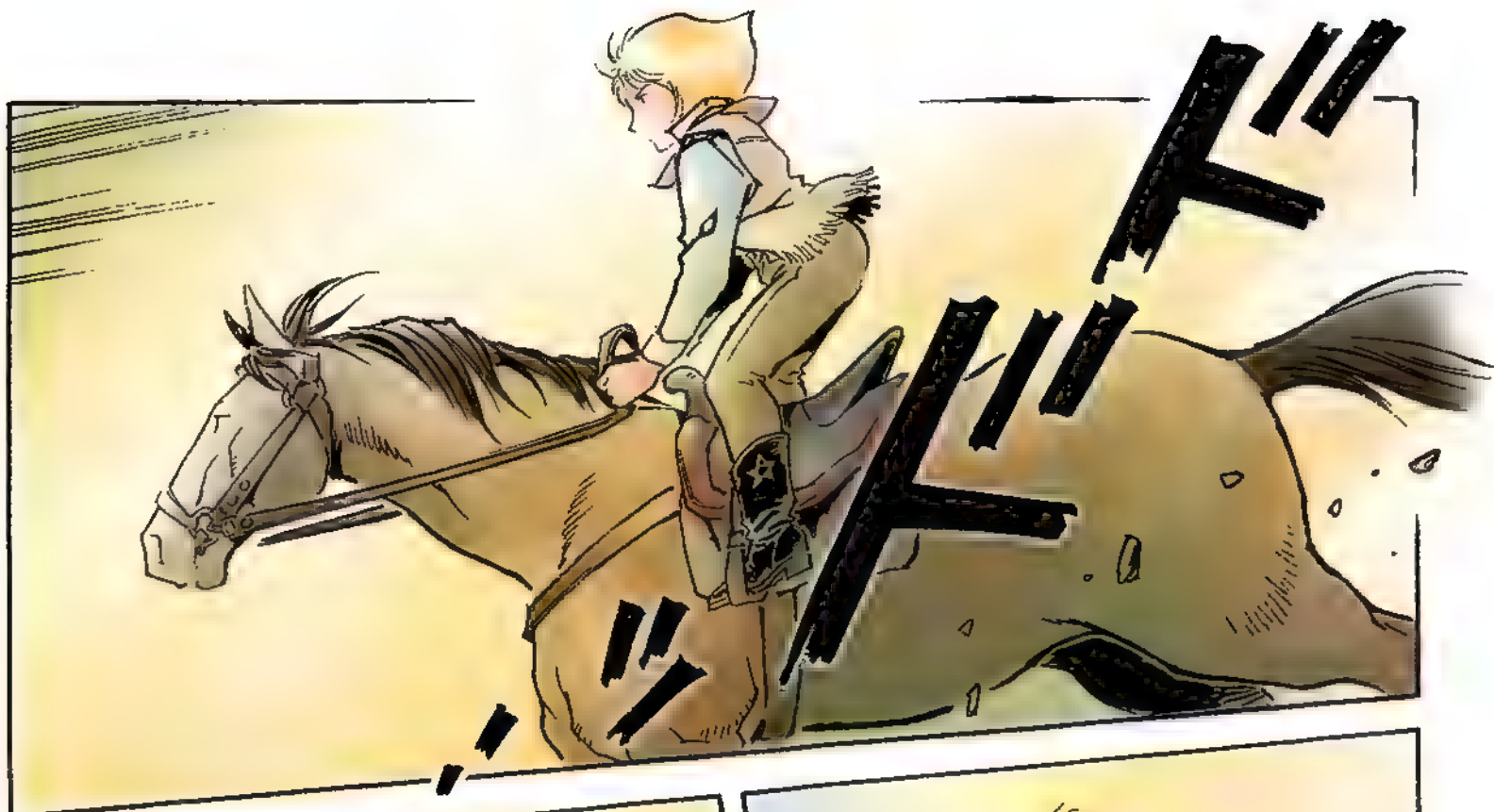


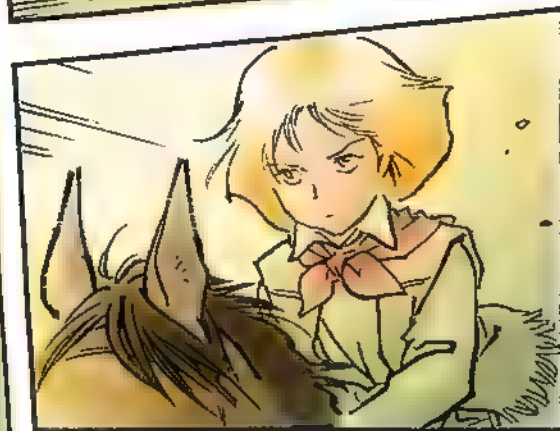
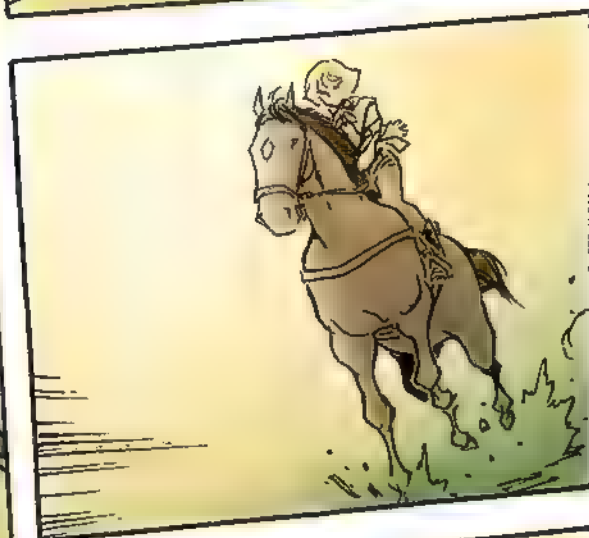
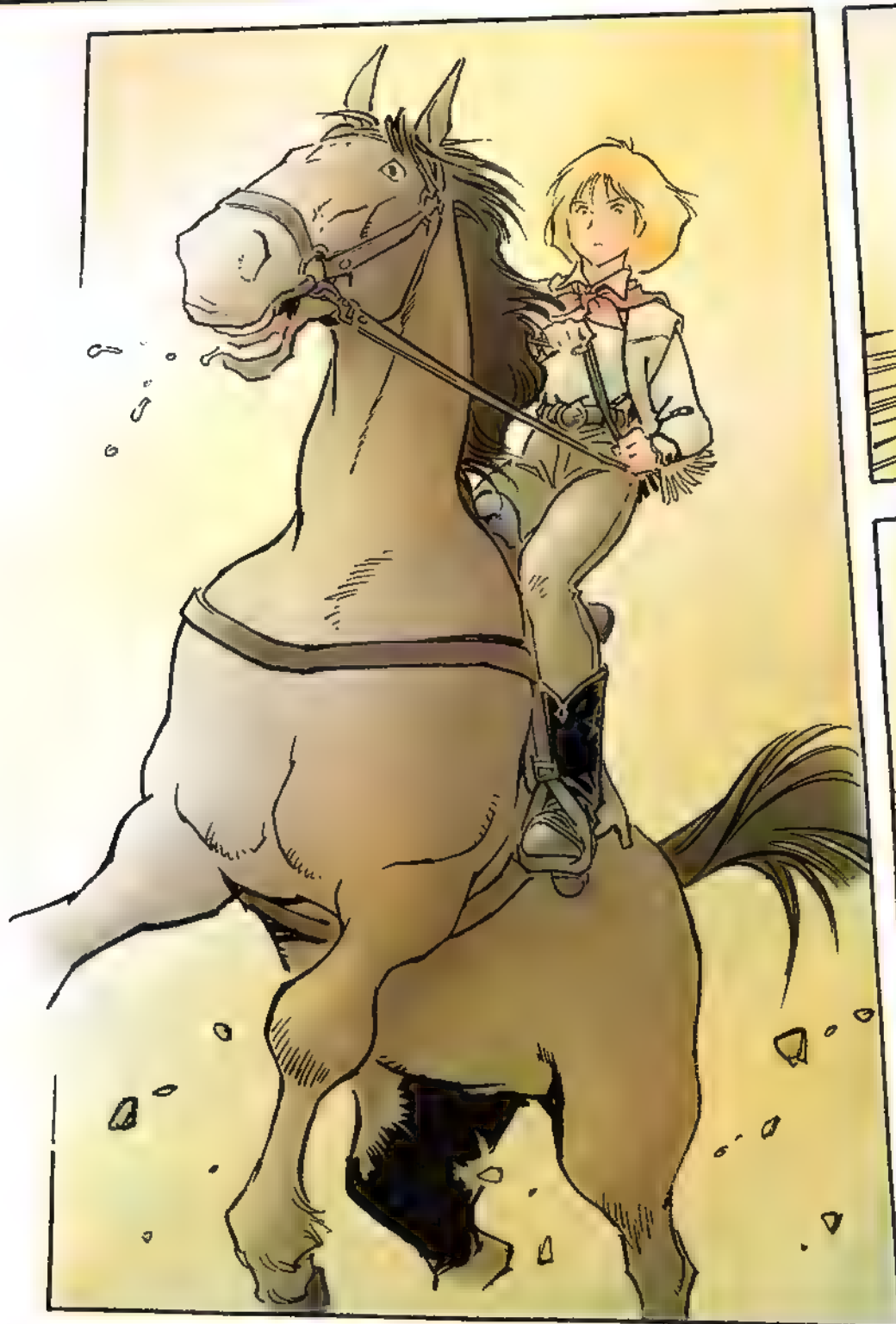
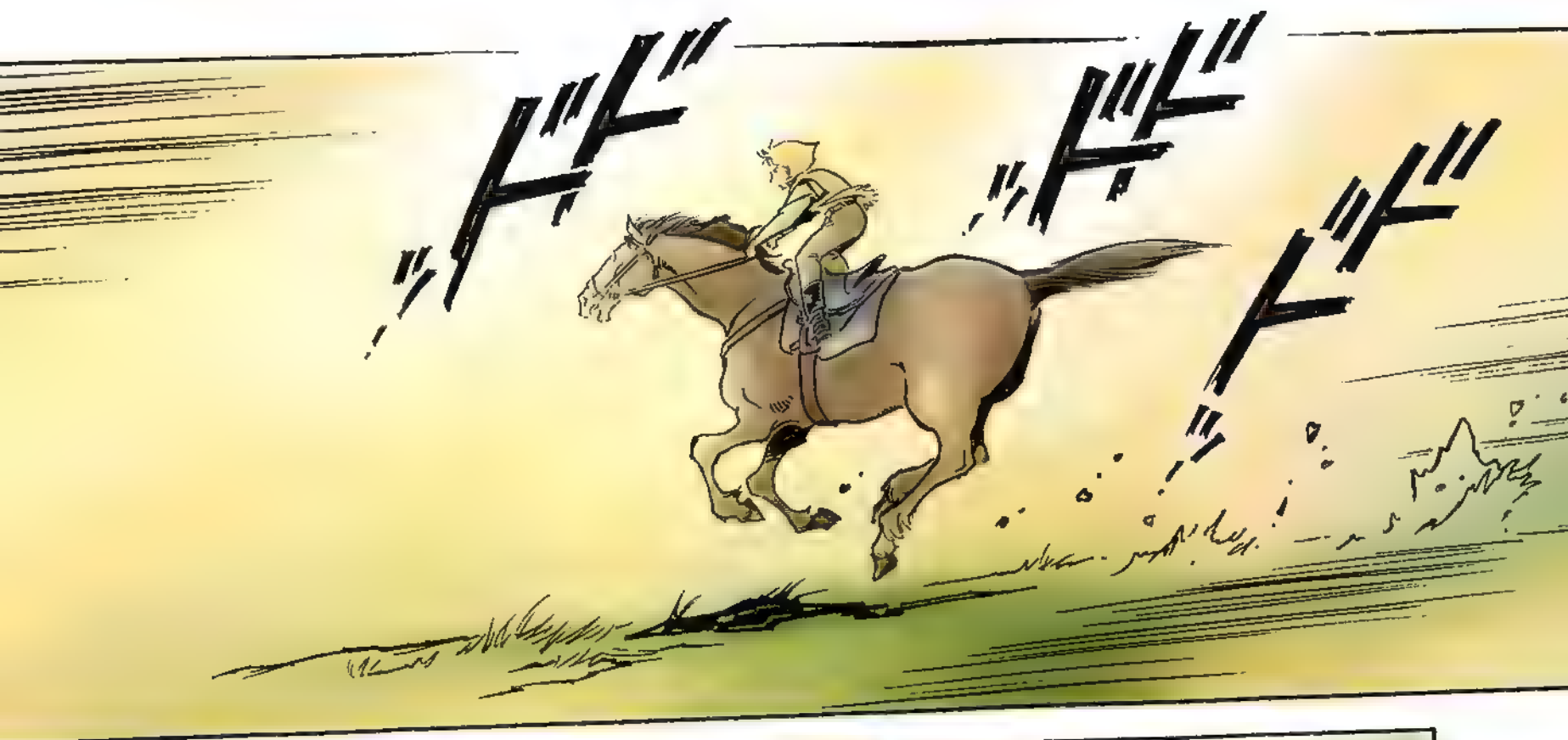


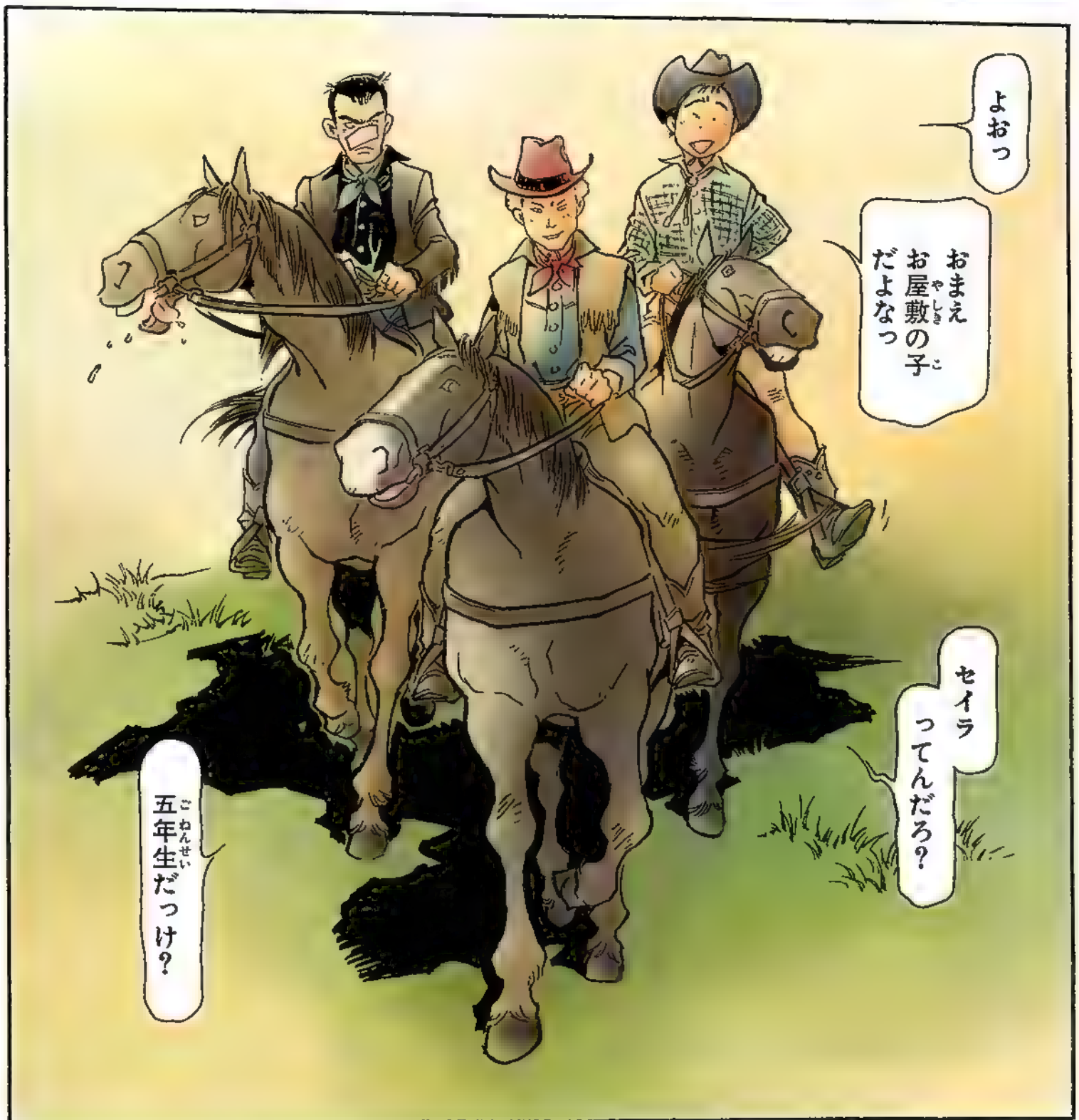
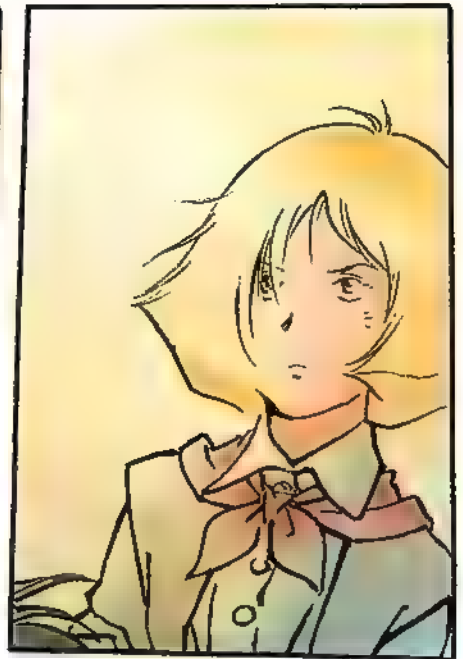
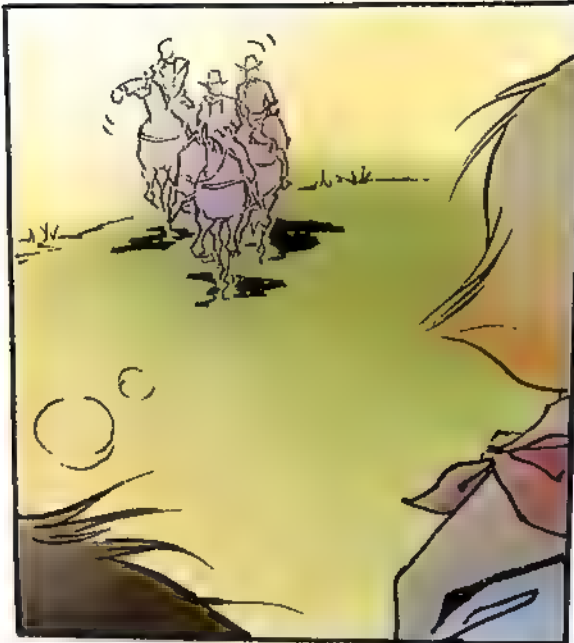
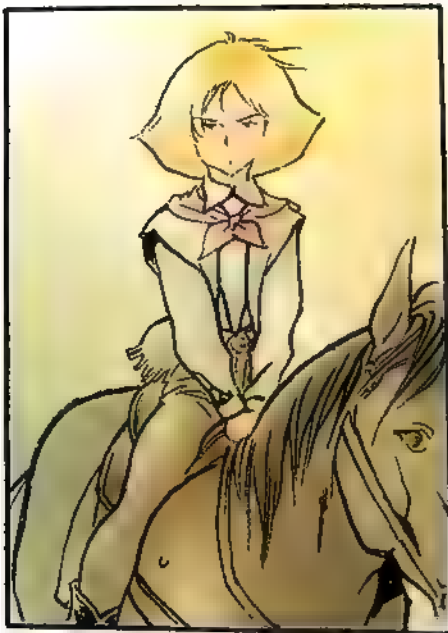


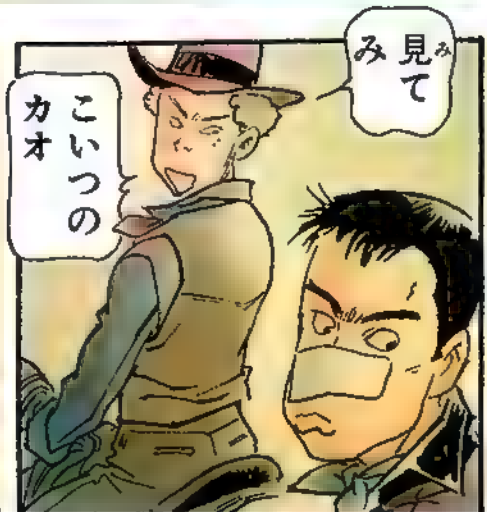
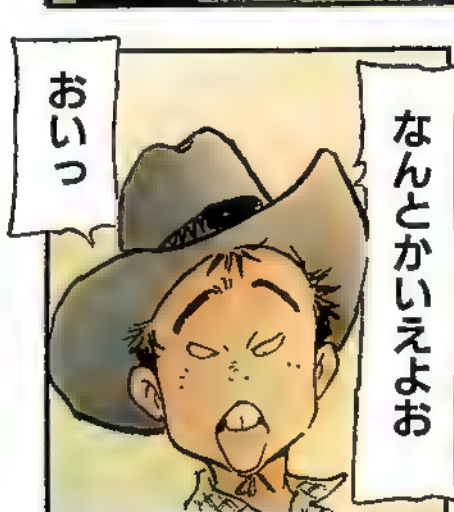
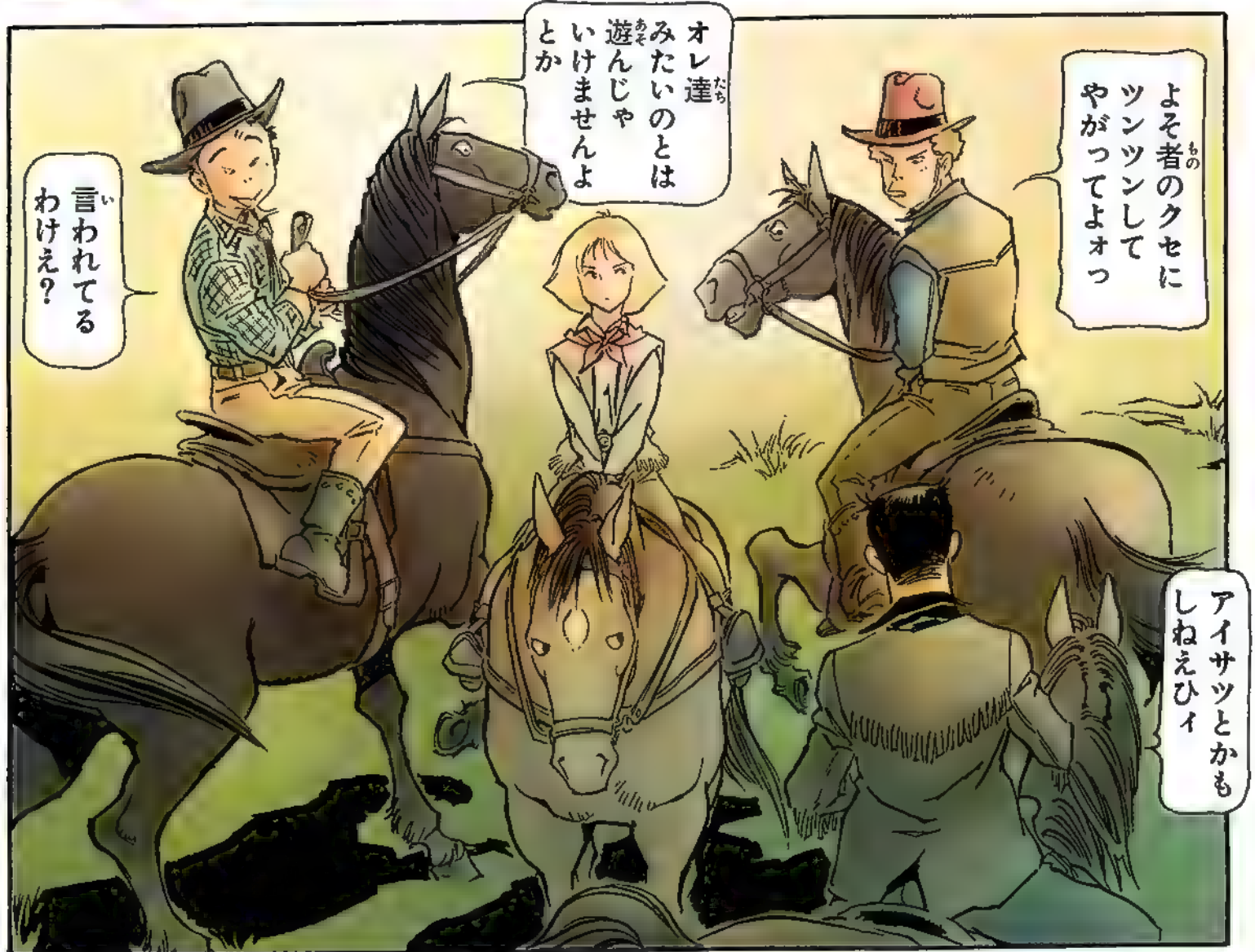
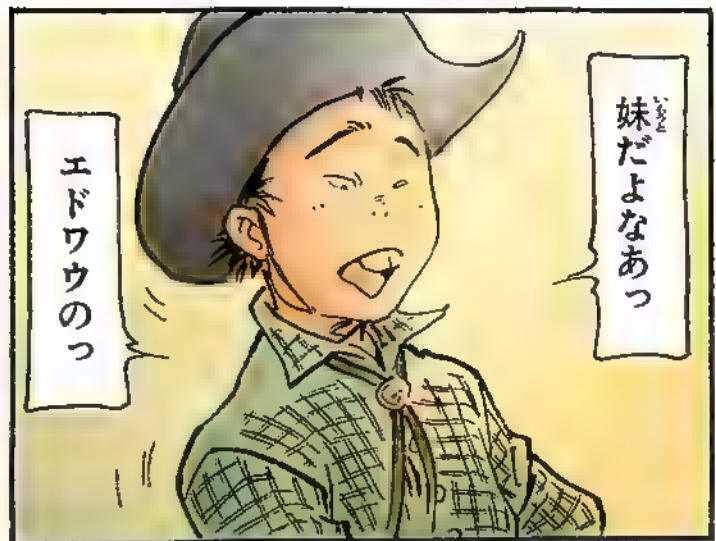
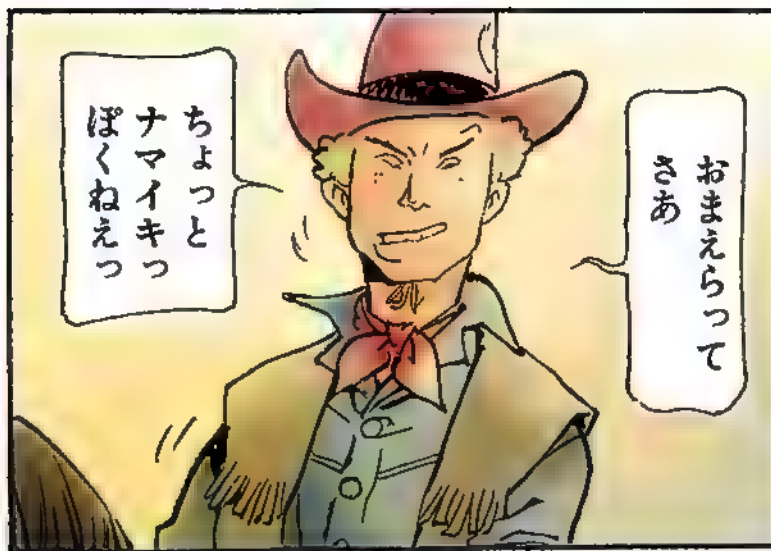


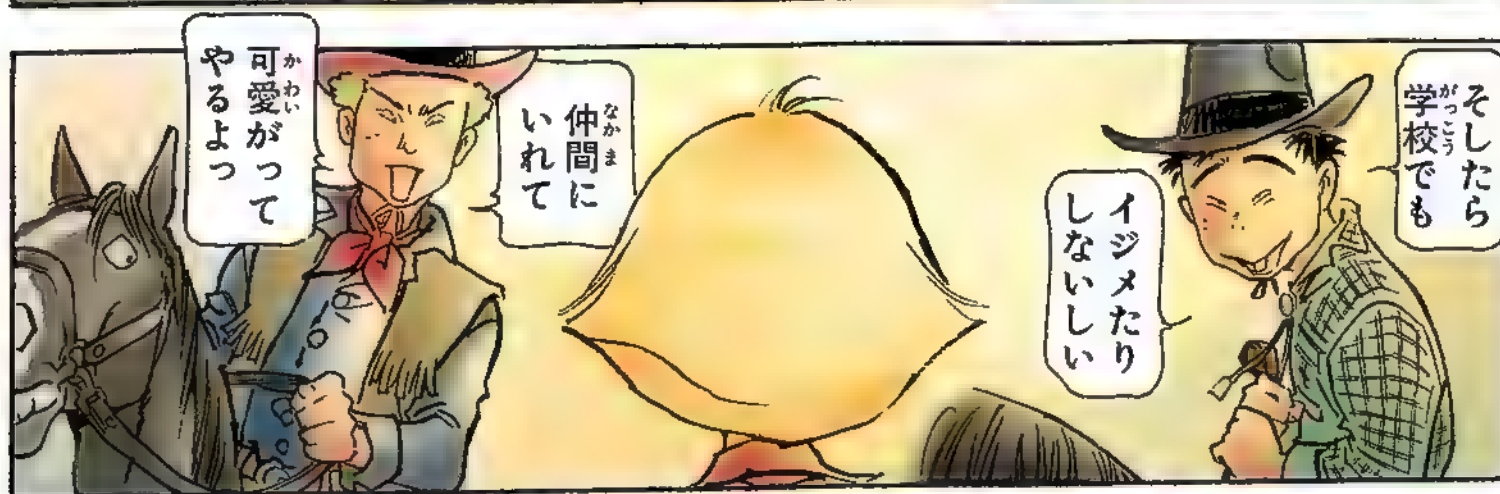
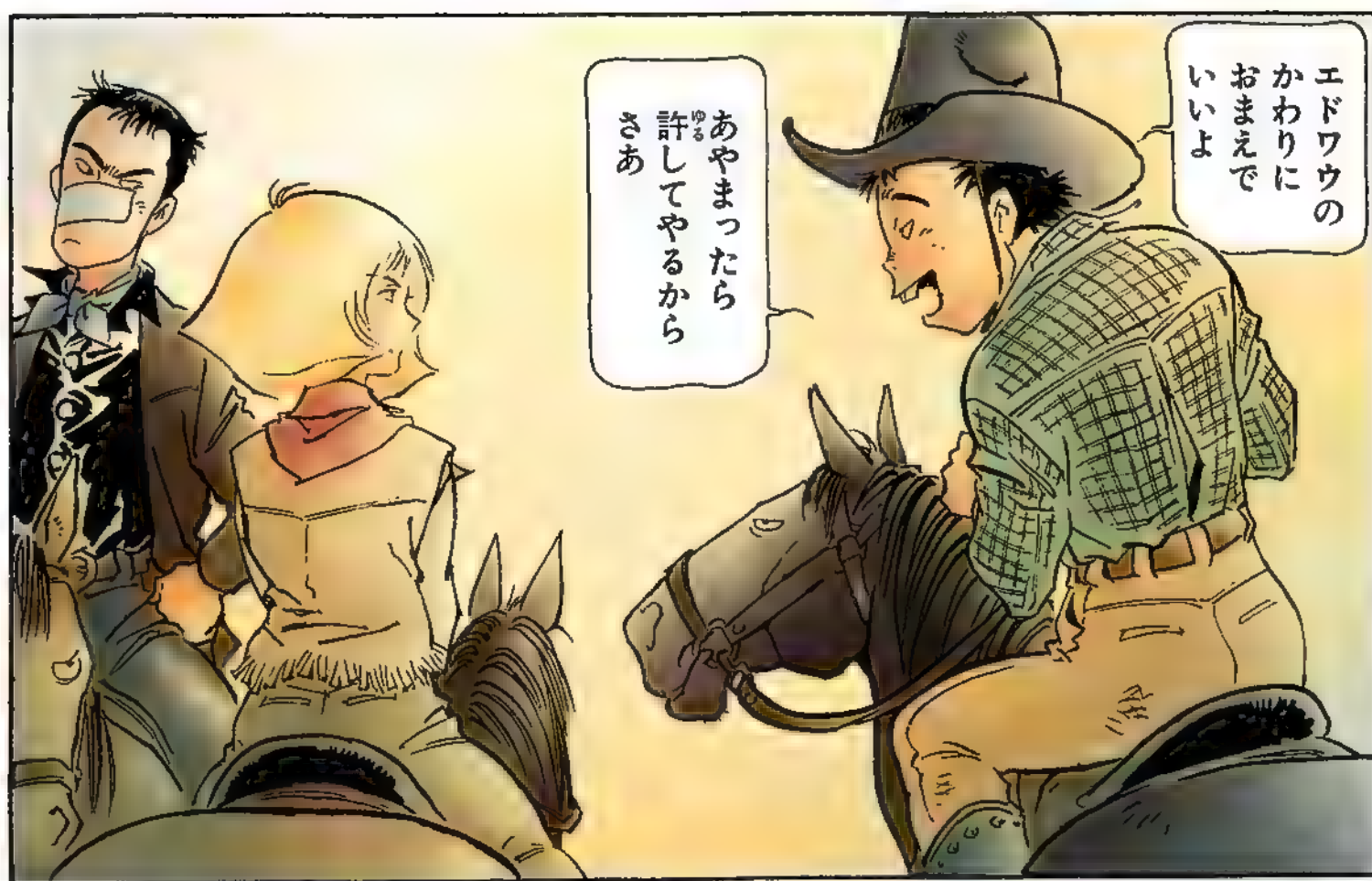


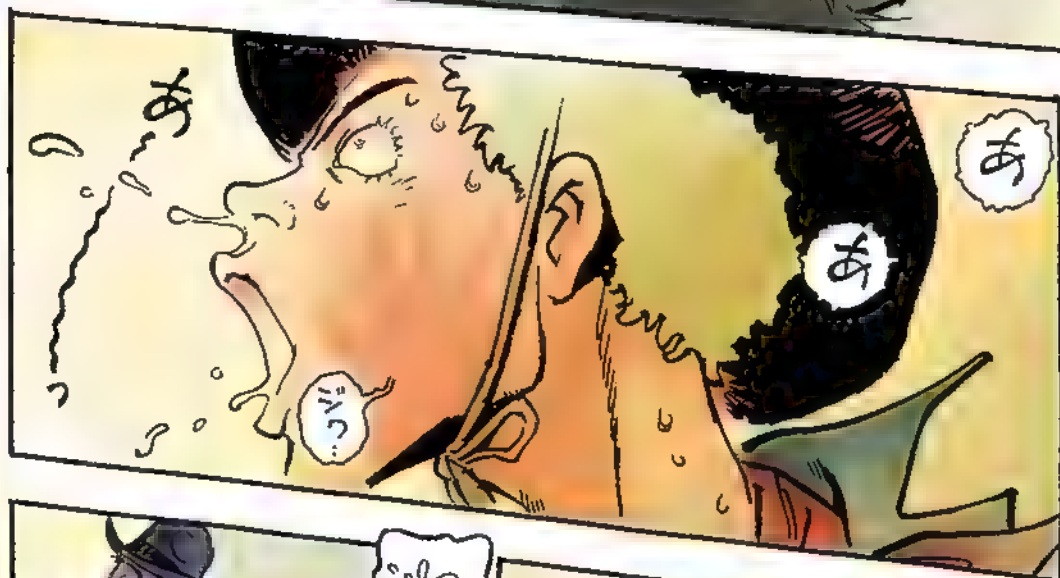


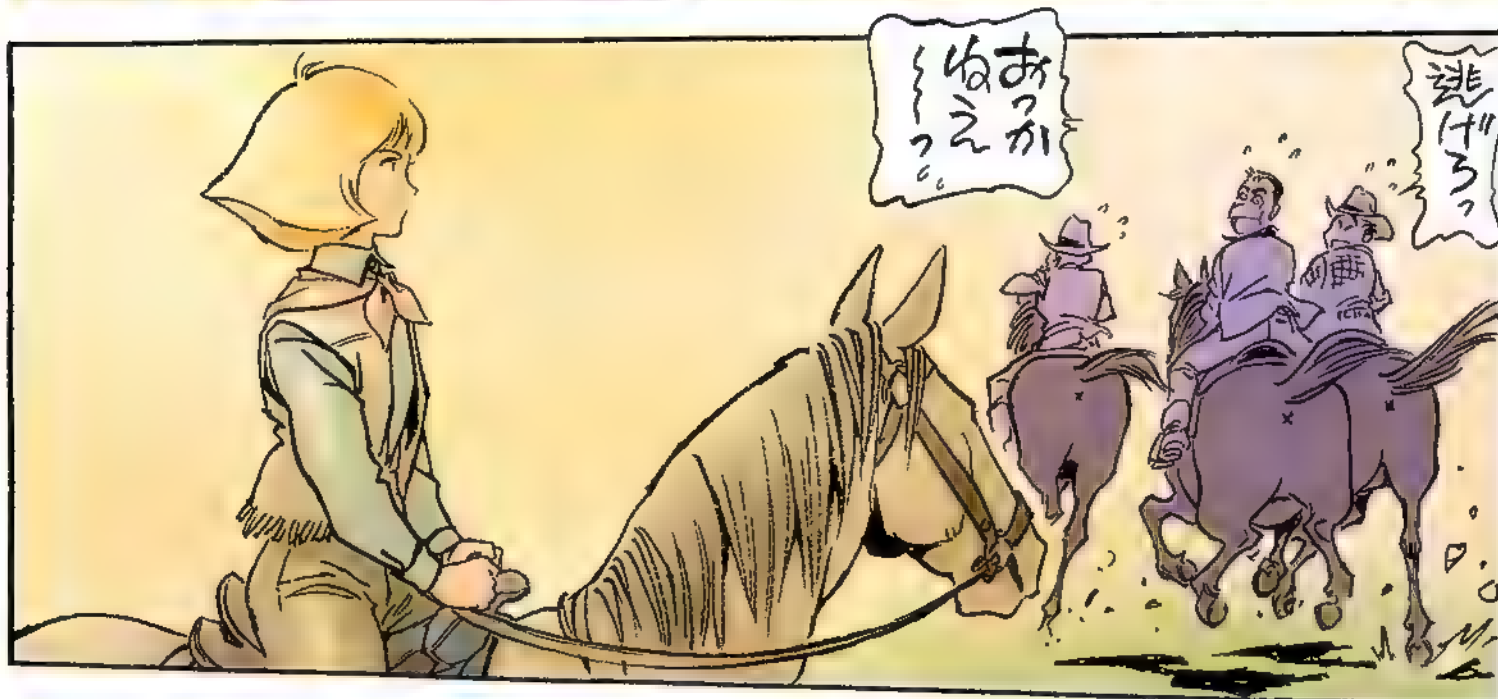
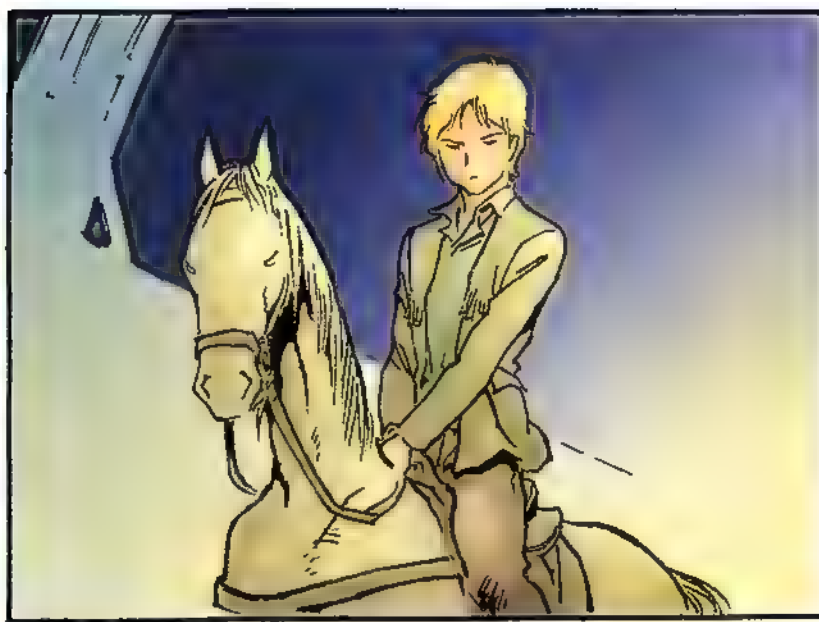
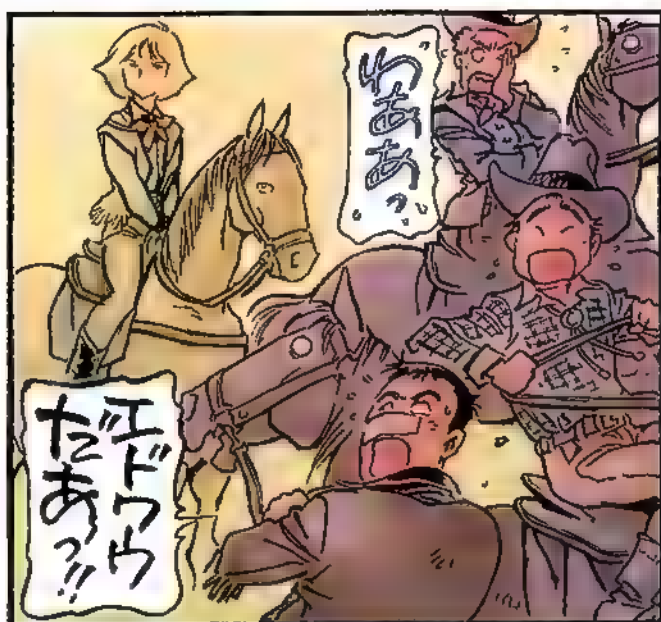


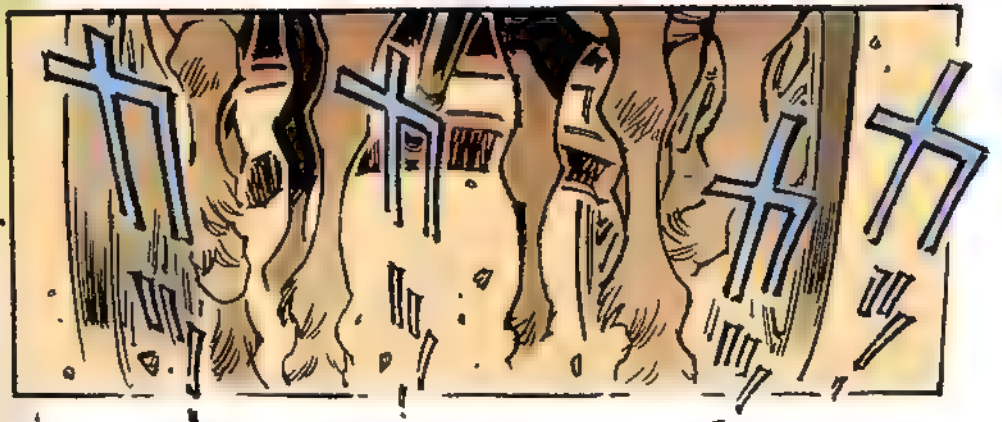
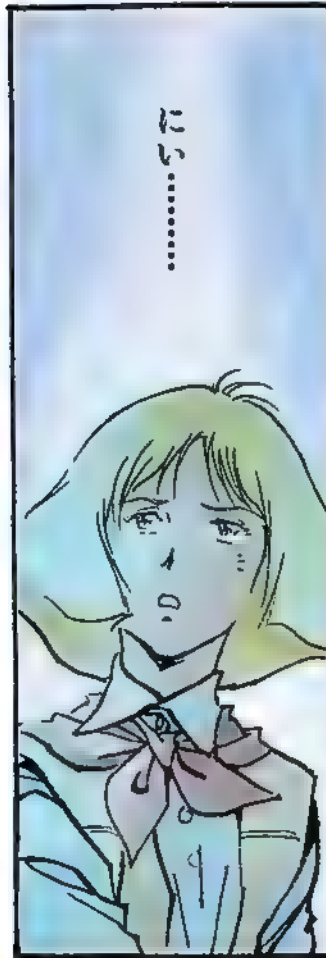
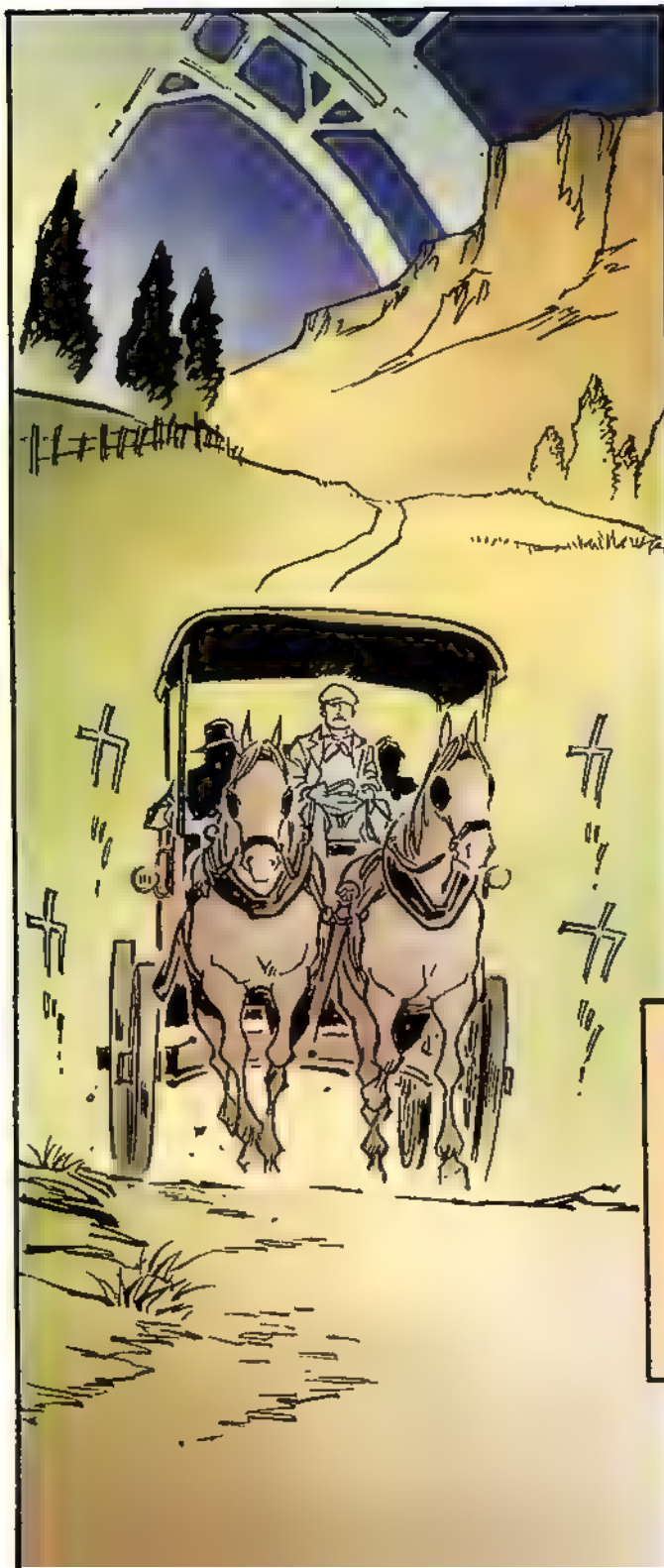
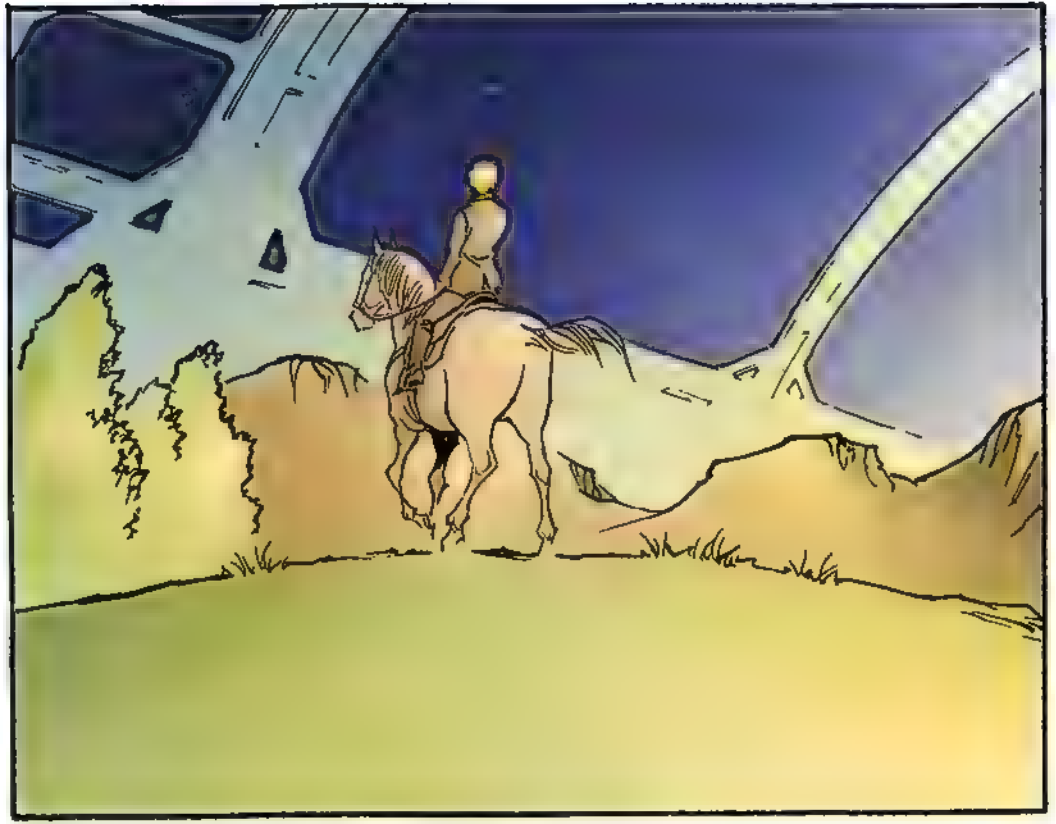
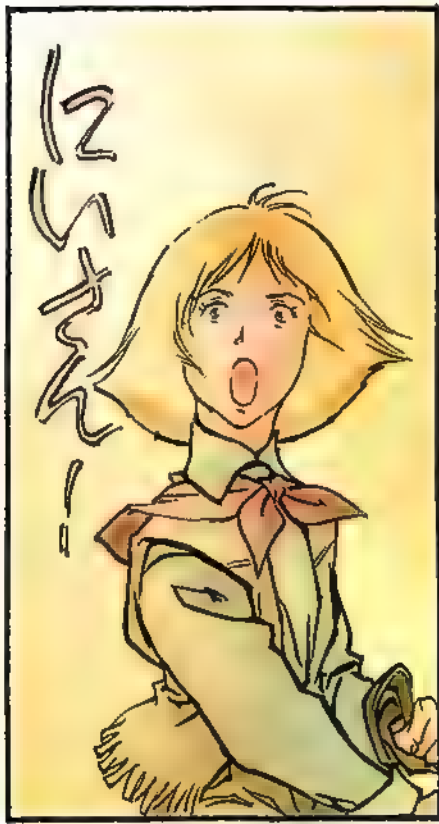


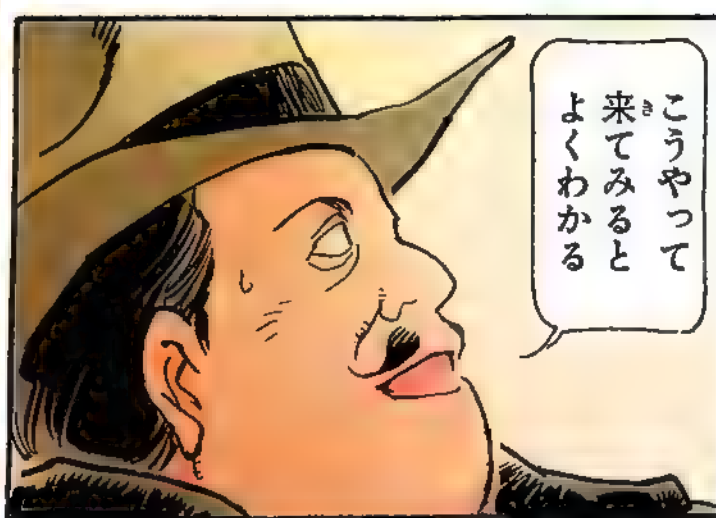
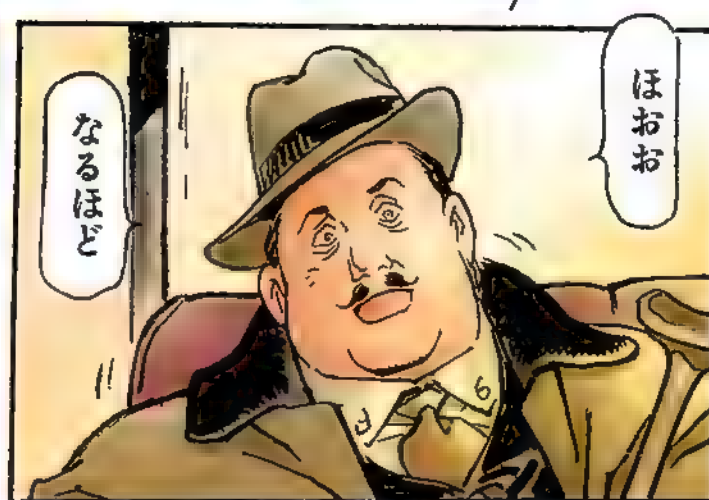
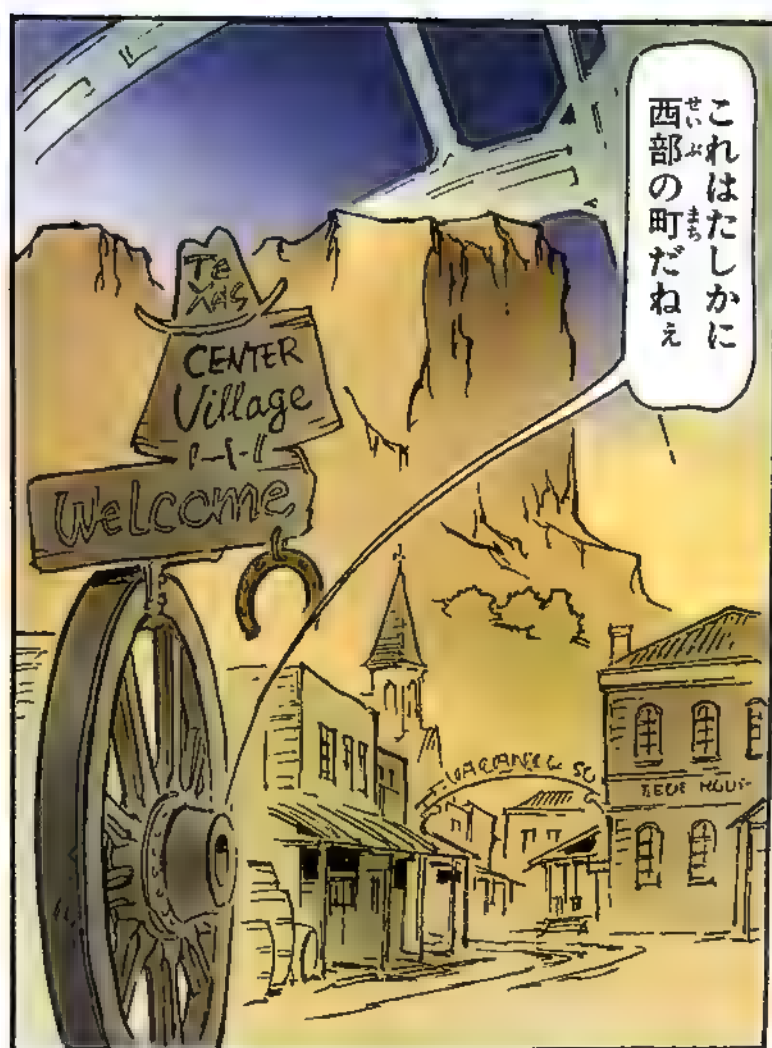
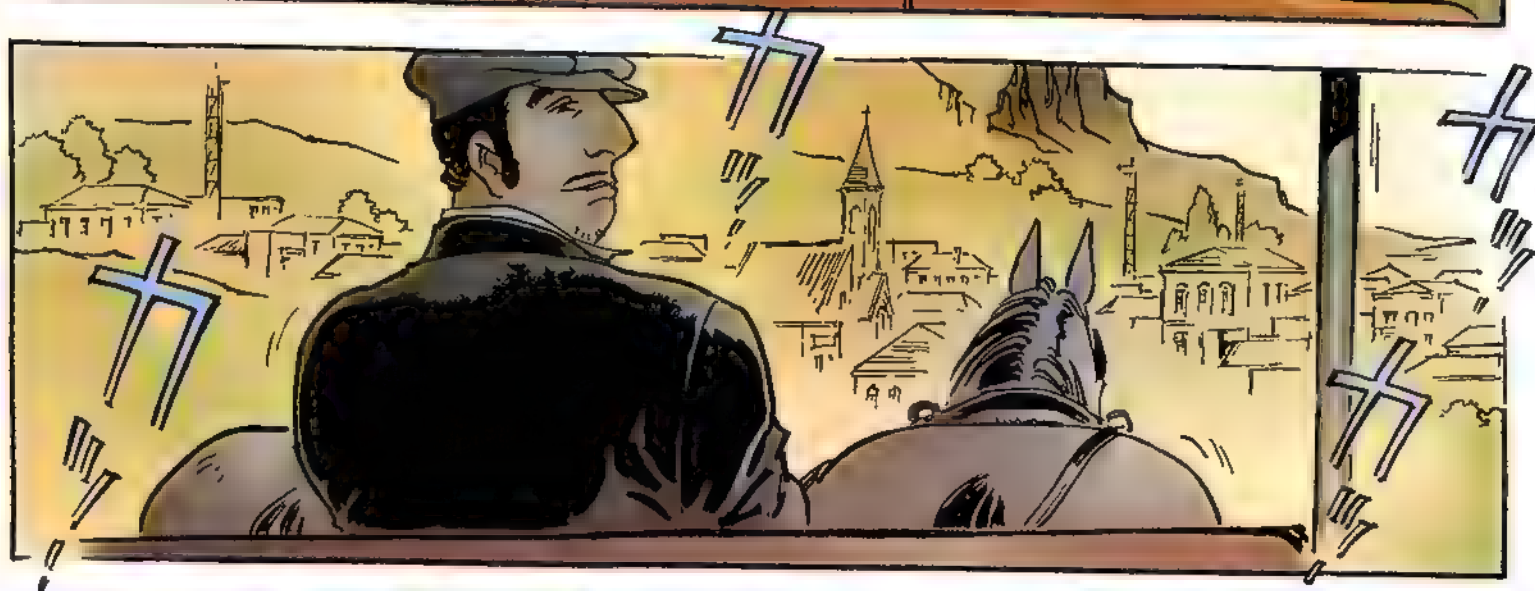
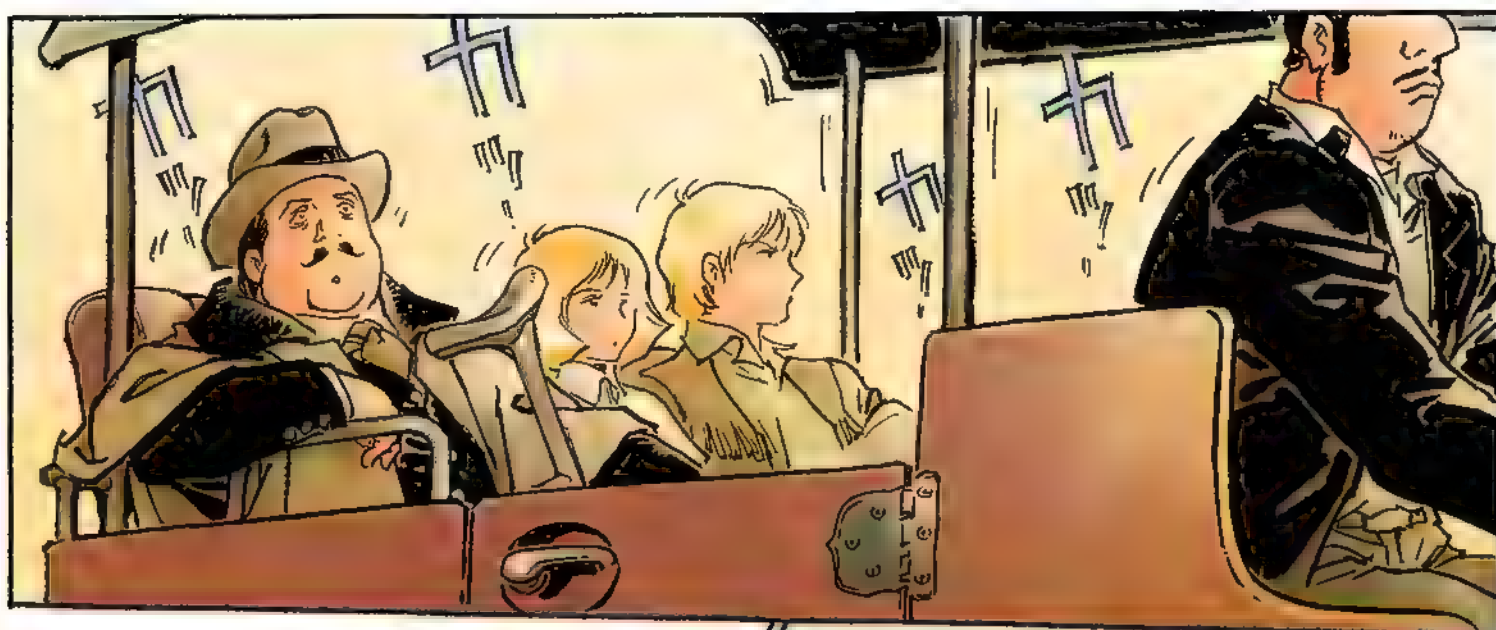


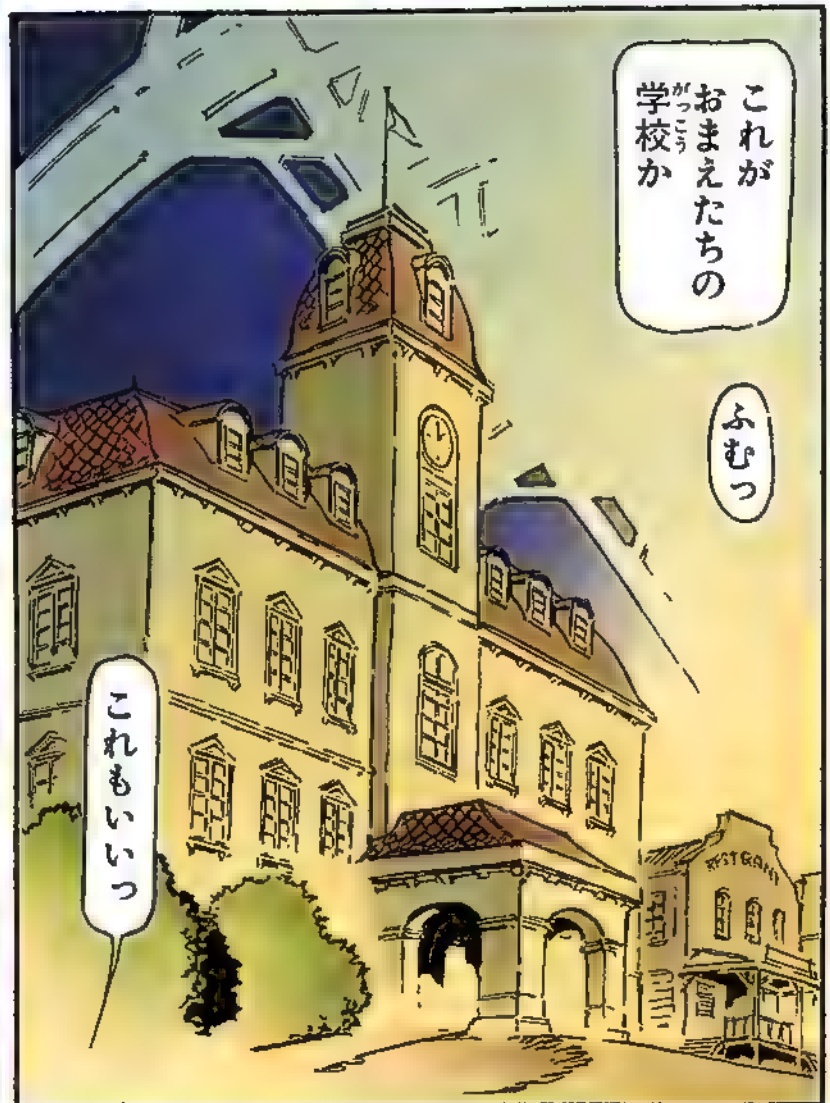
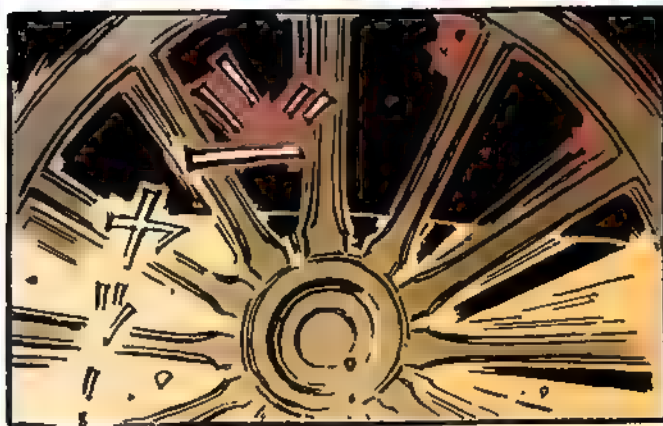
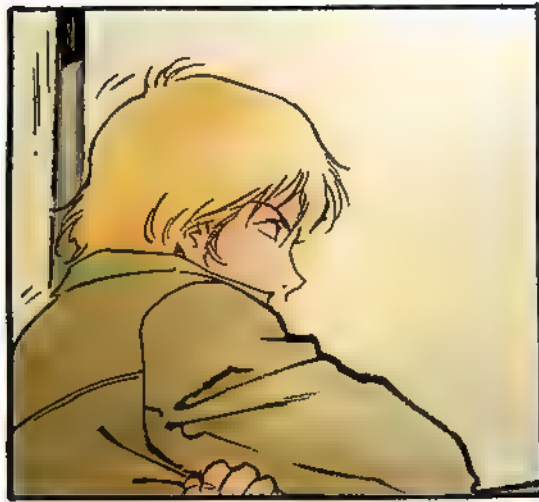
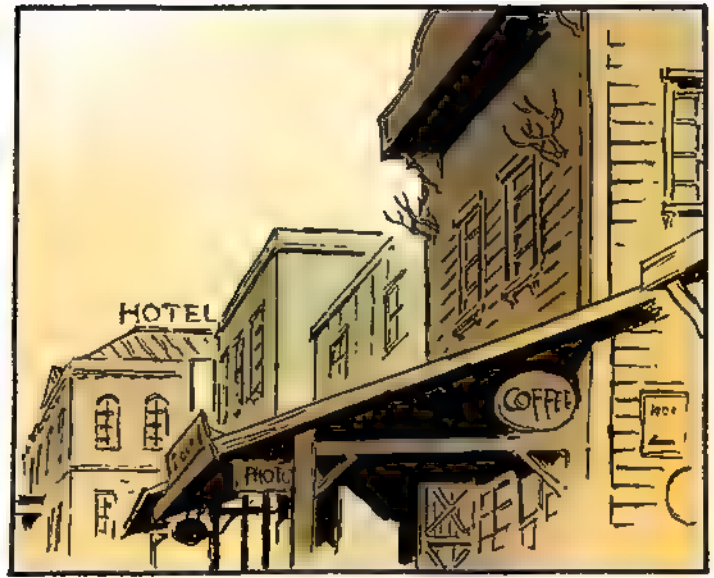


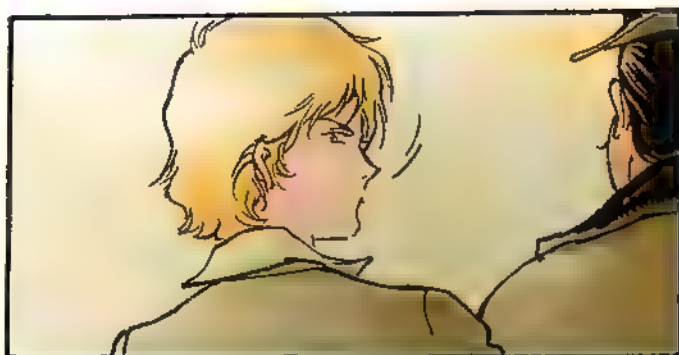
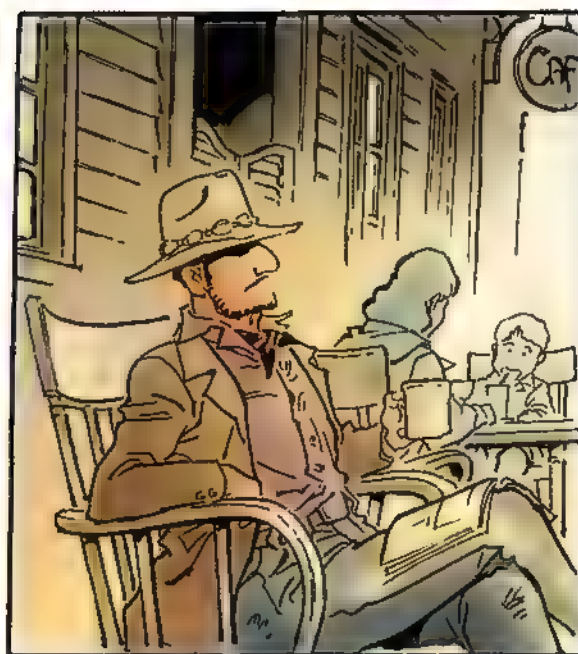
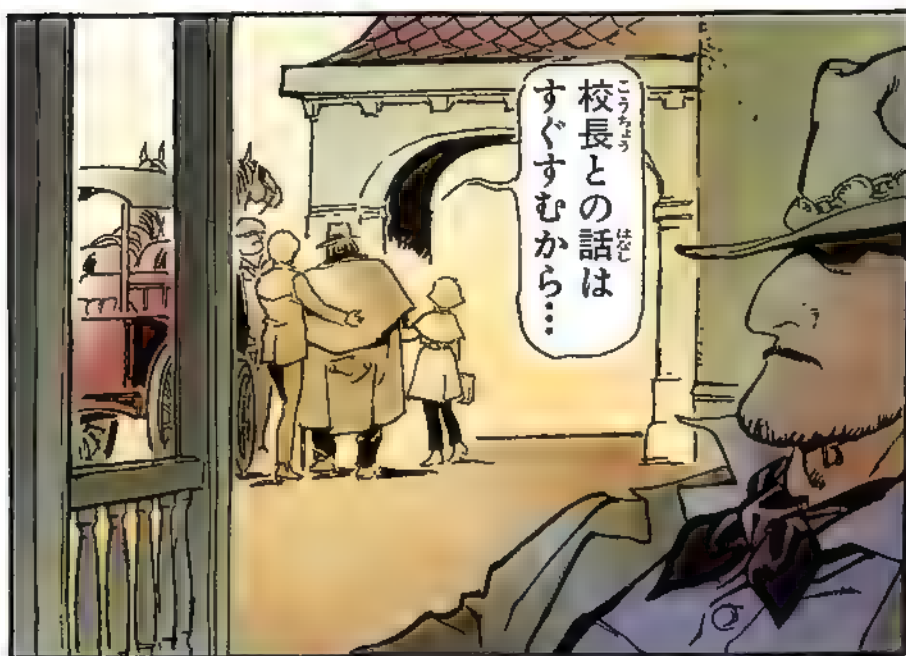


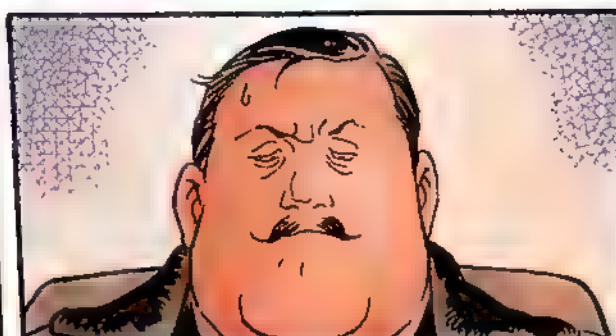
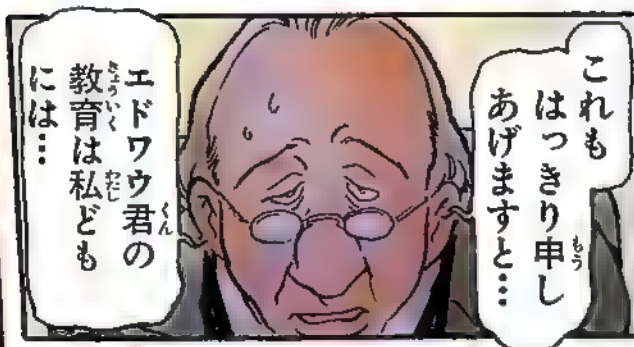
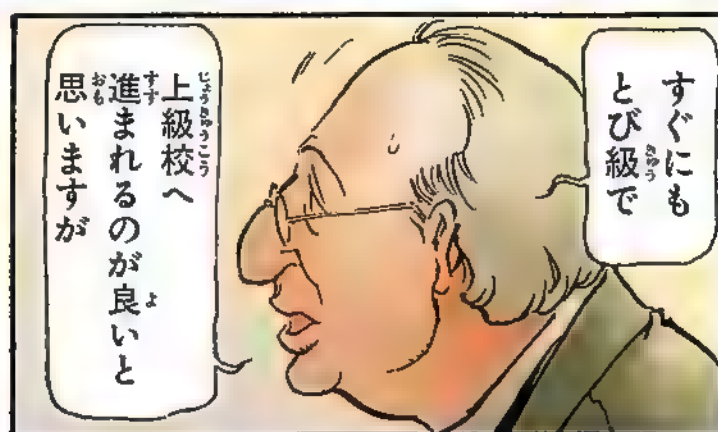
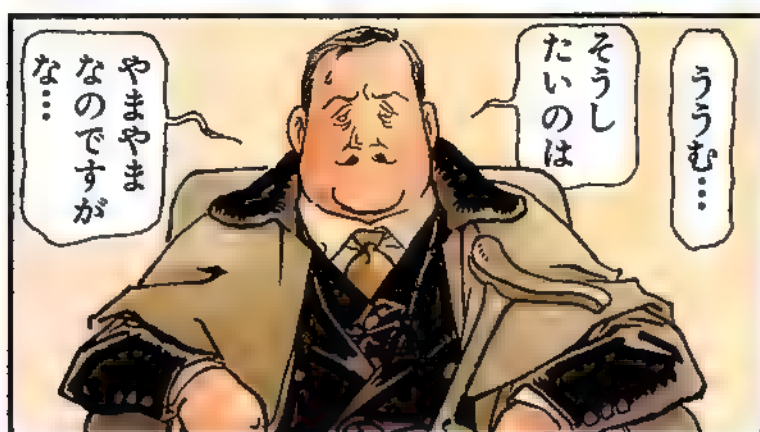
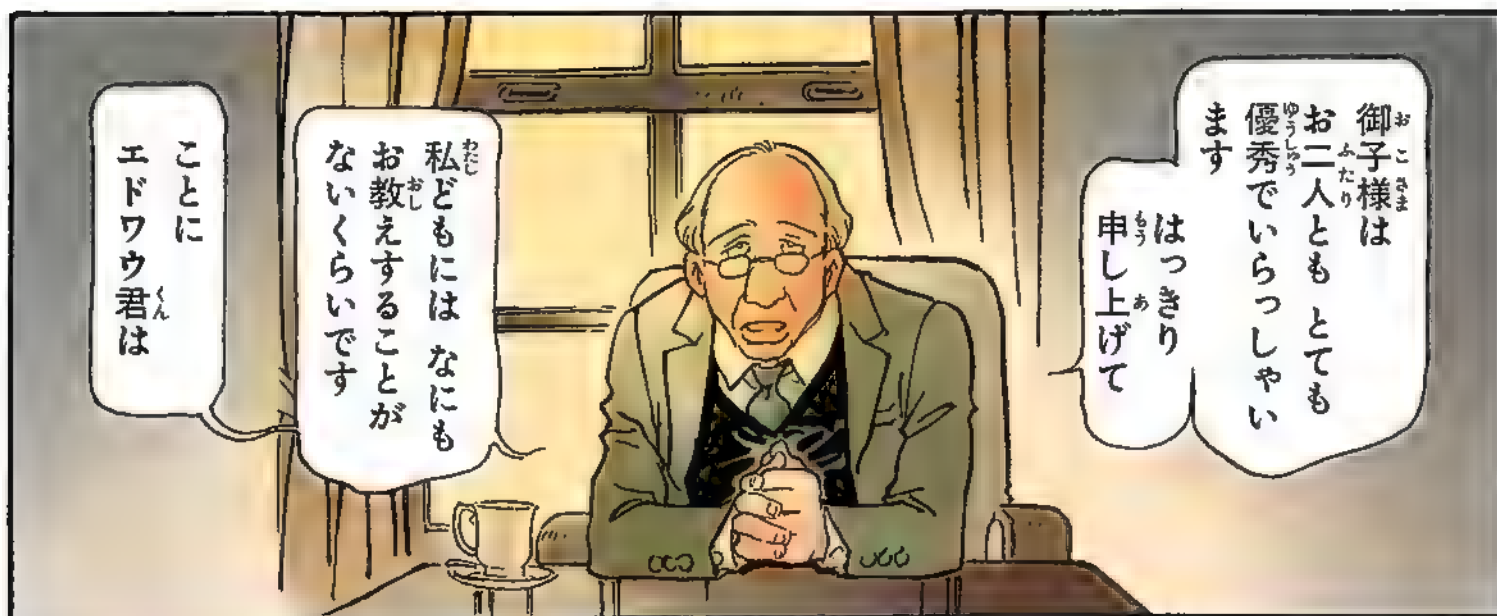


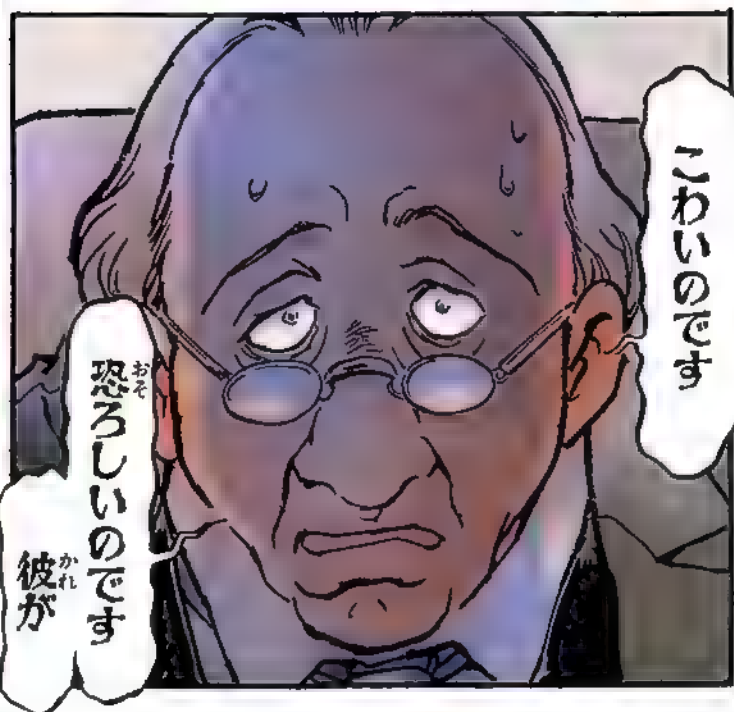
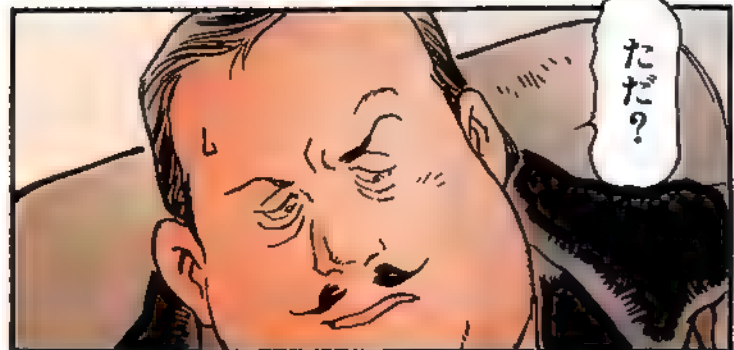


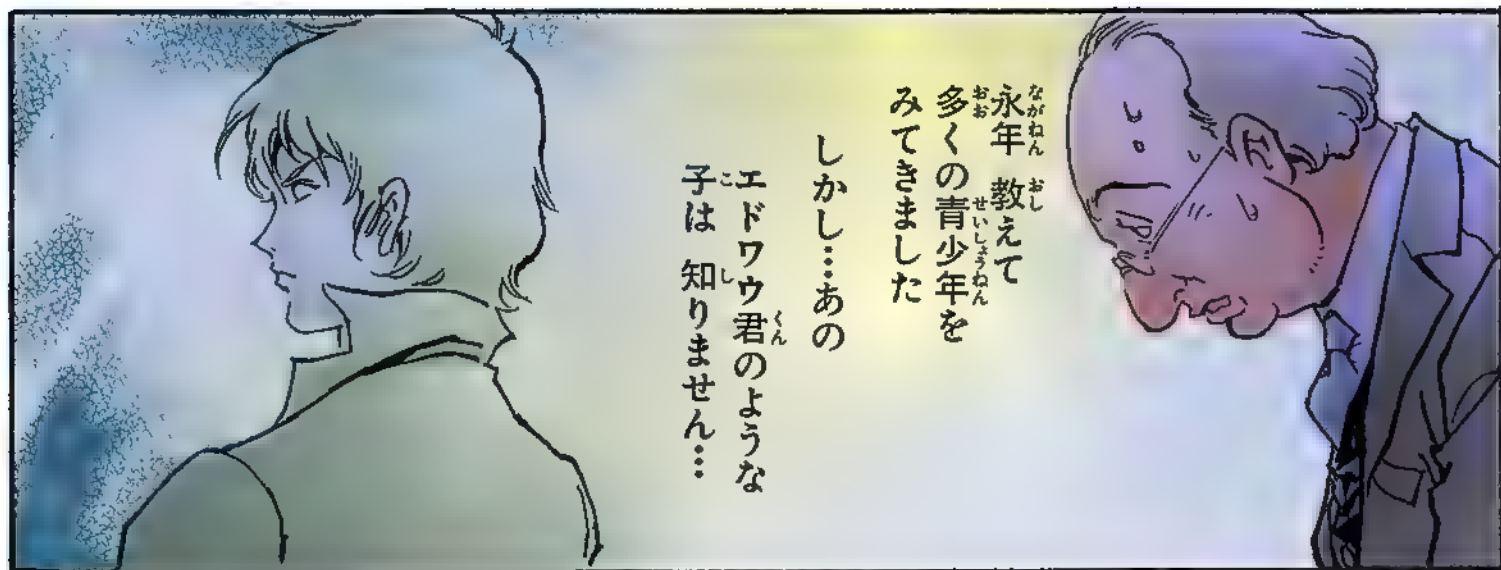






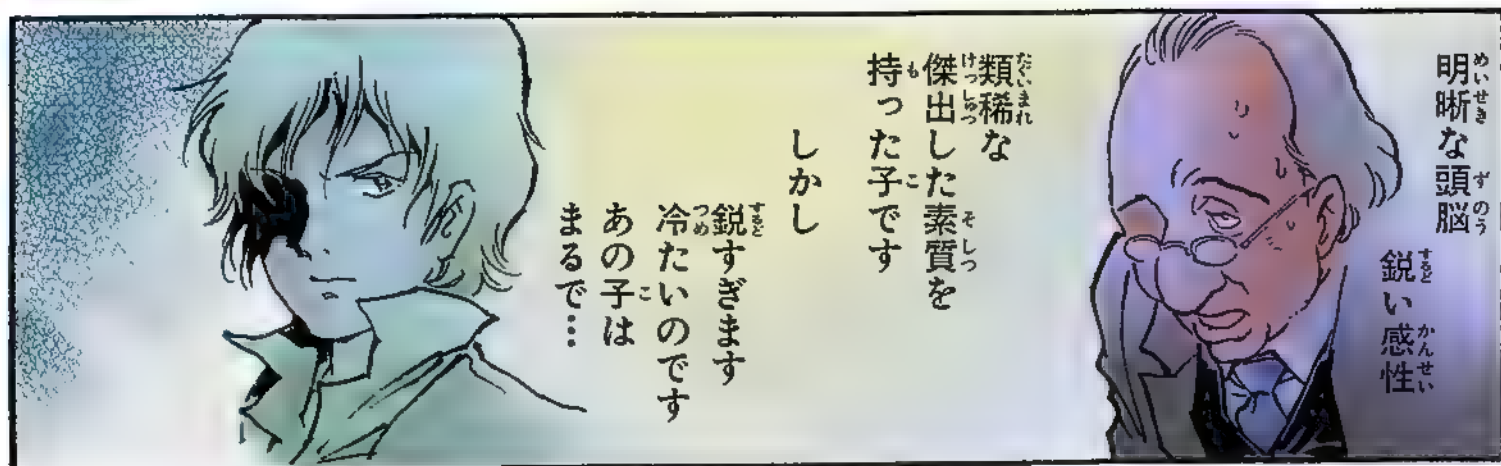






永年ながねん教おしえて
多くの青少年せいしやうねんを
みてきました

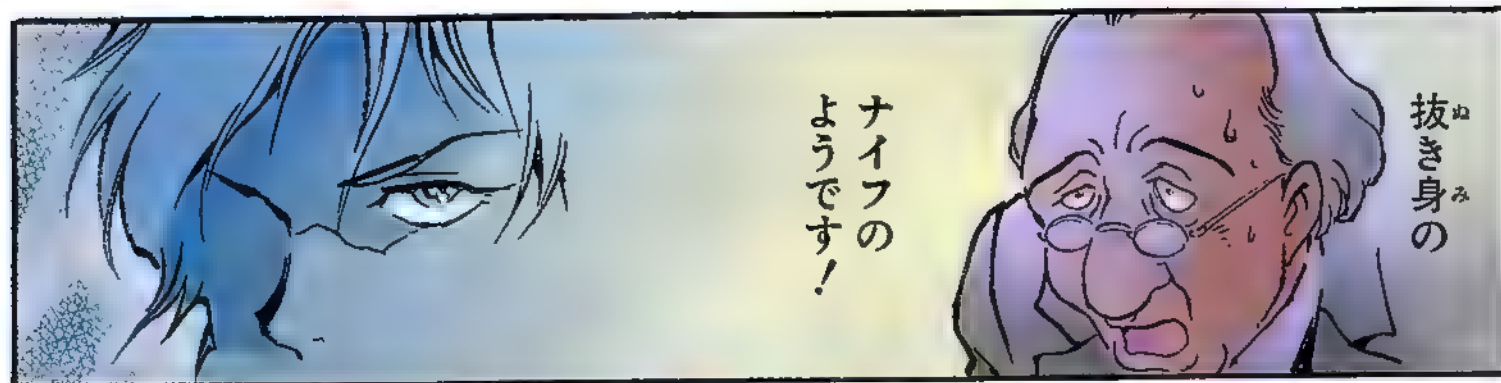
しかし…あの
エドワウ君くんのような
子は知りません…



明晰めいせいな頭脳ずのう
鋭すまい感性かんせい

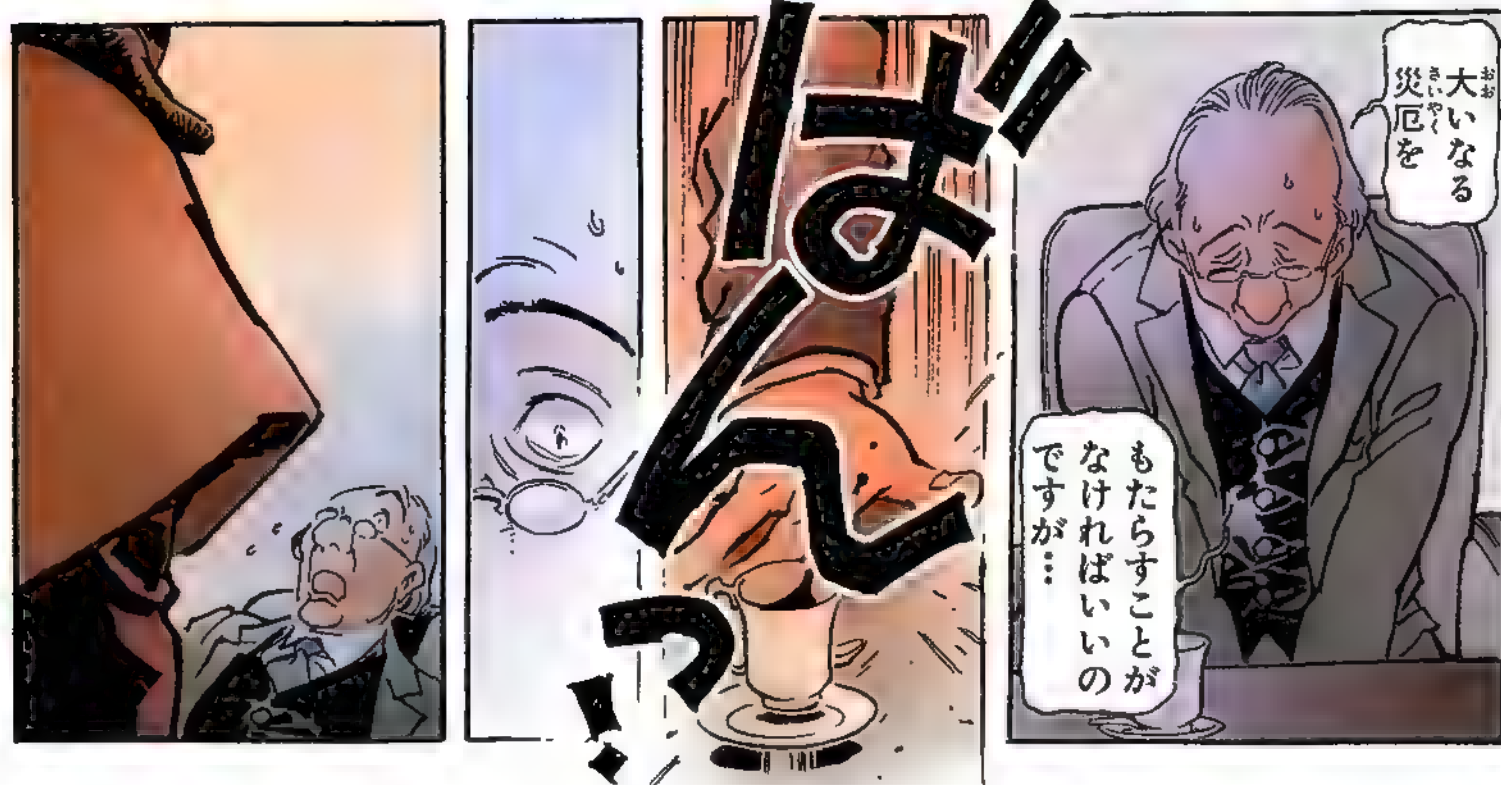
類稀たひまれな
傑出けっしゅつした素質そしつを
持った子こです

しかし
鋭すますぎます
冷たいのです
あの子こは
まるで…



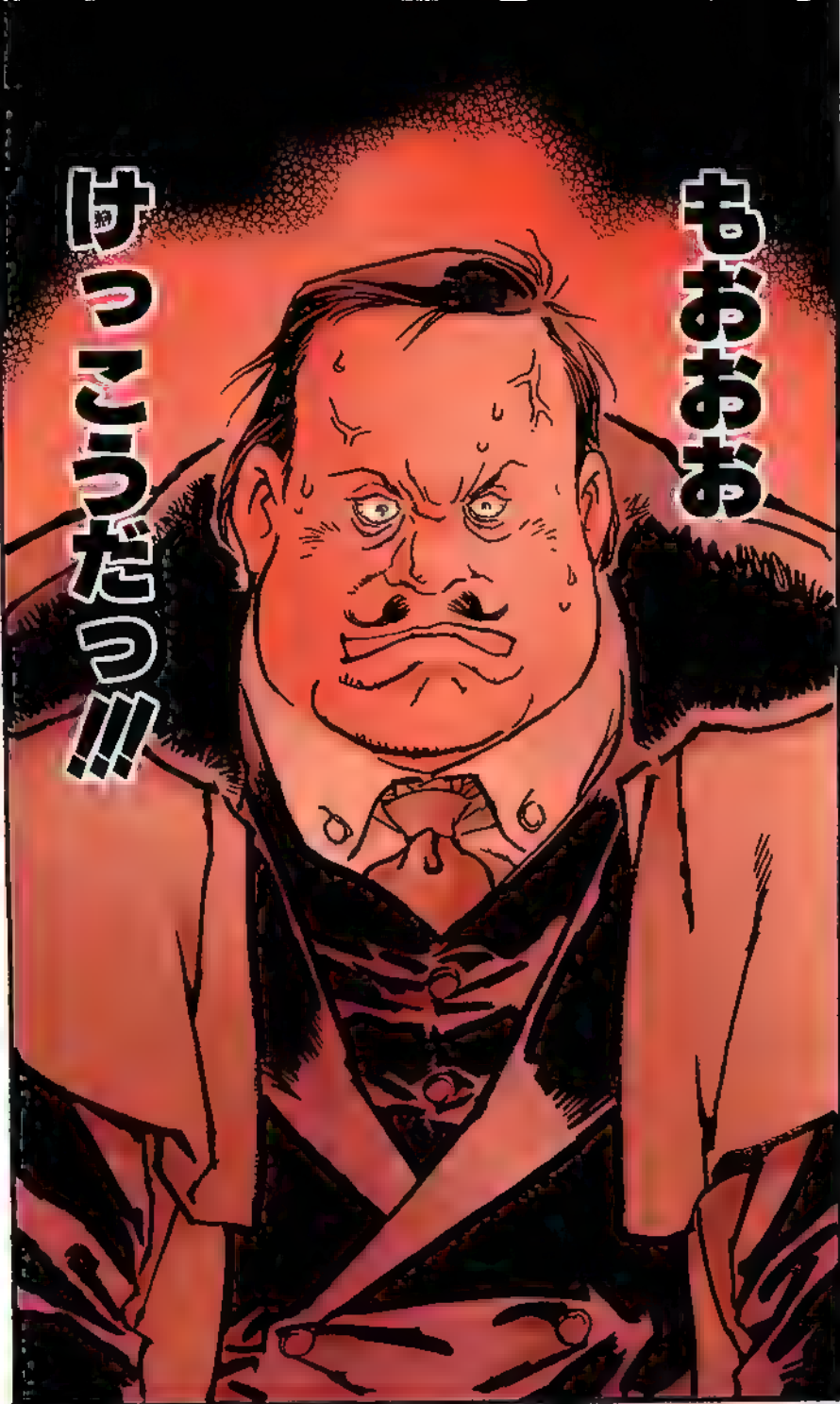
抜き身ぬきみの

ナイフの
ようです！



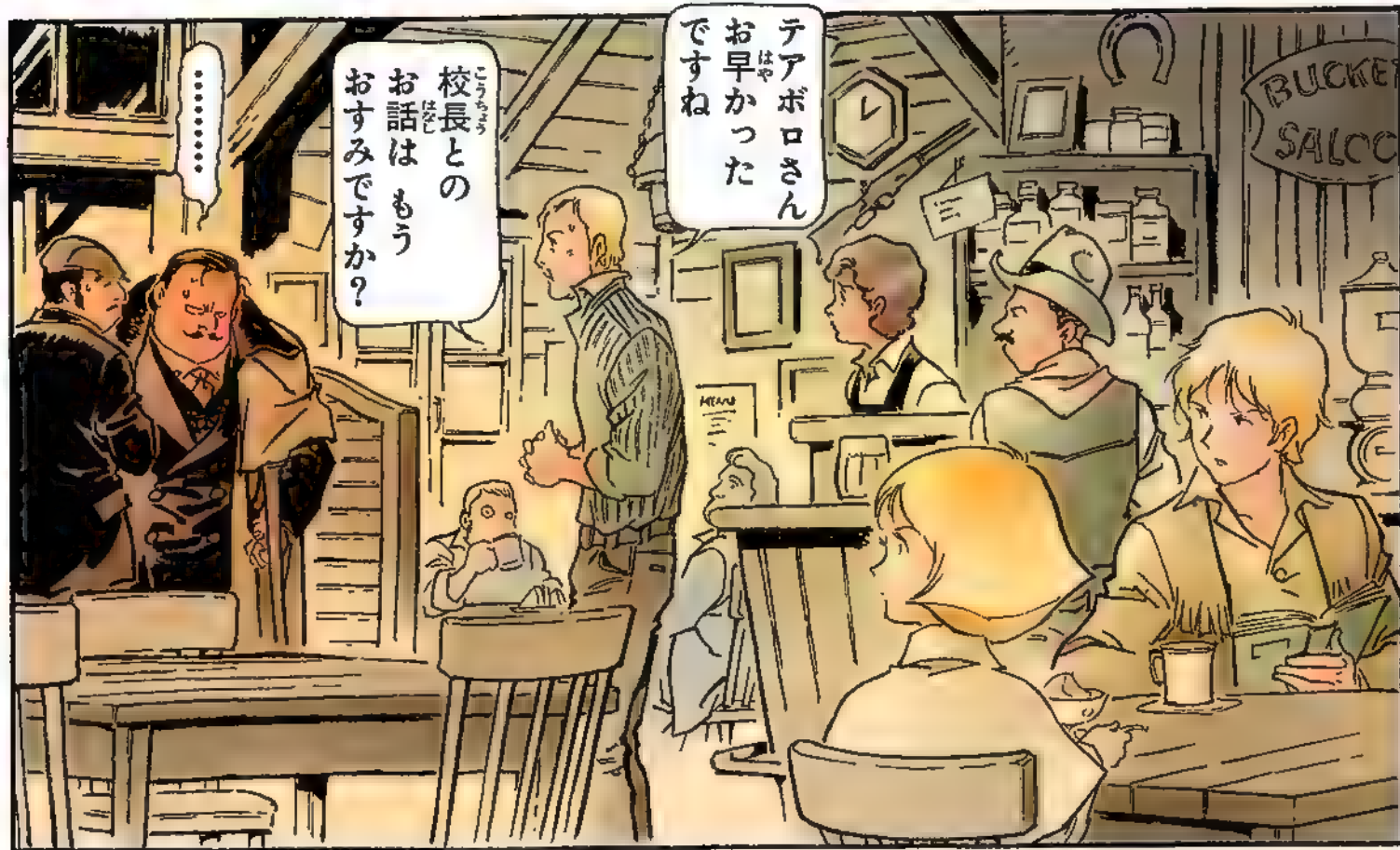
大いなる
災厄さいやくを

もたらすことが
なければいいの
ですが…



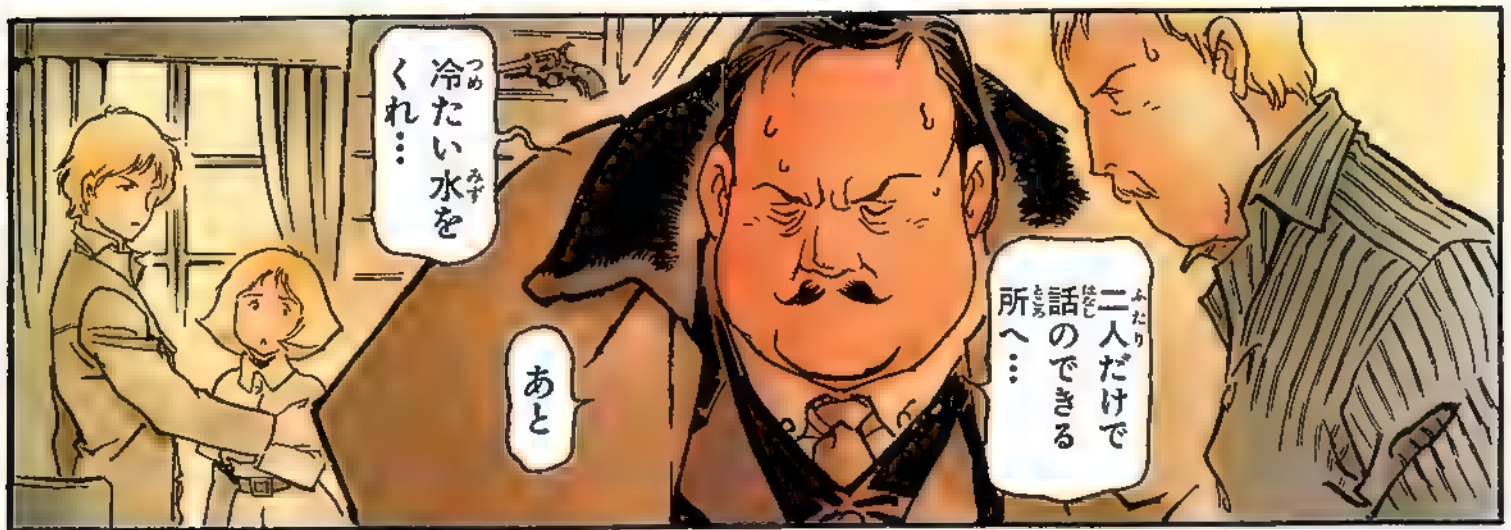
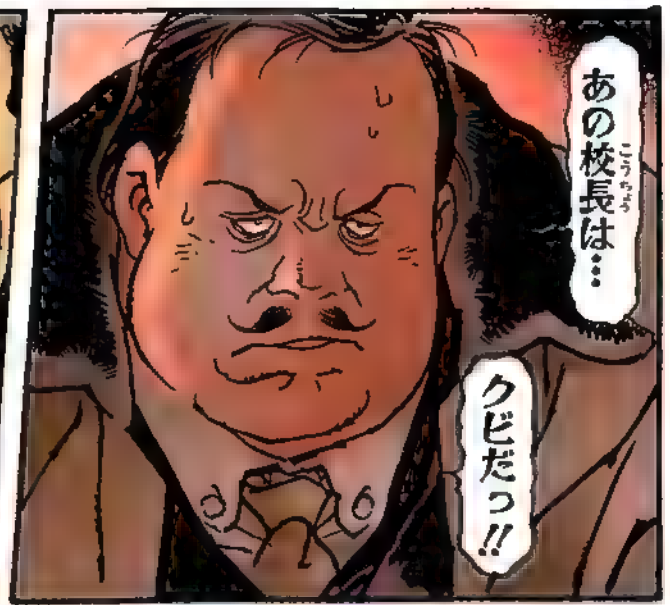
けっこうだっ!!

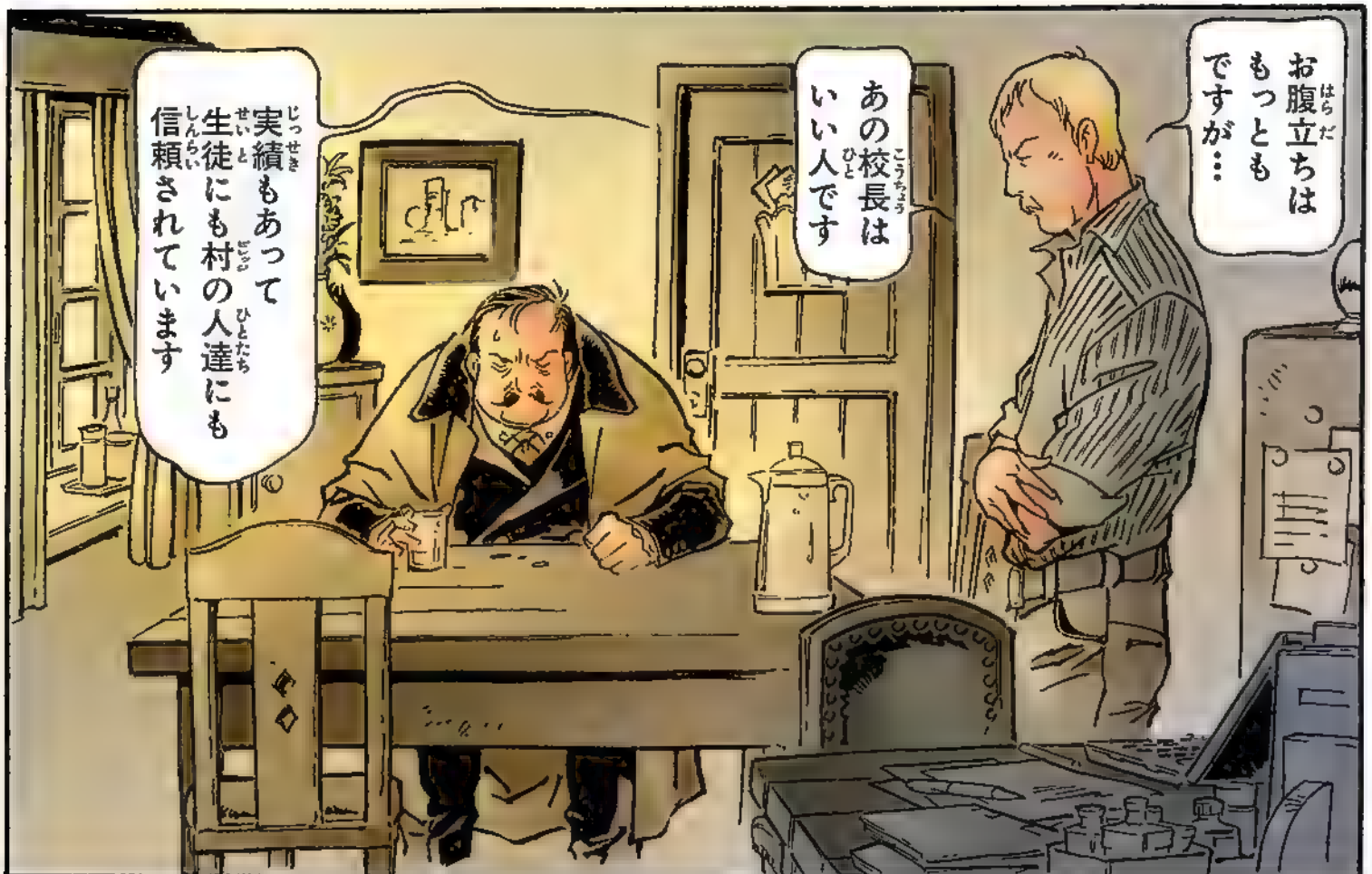
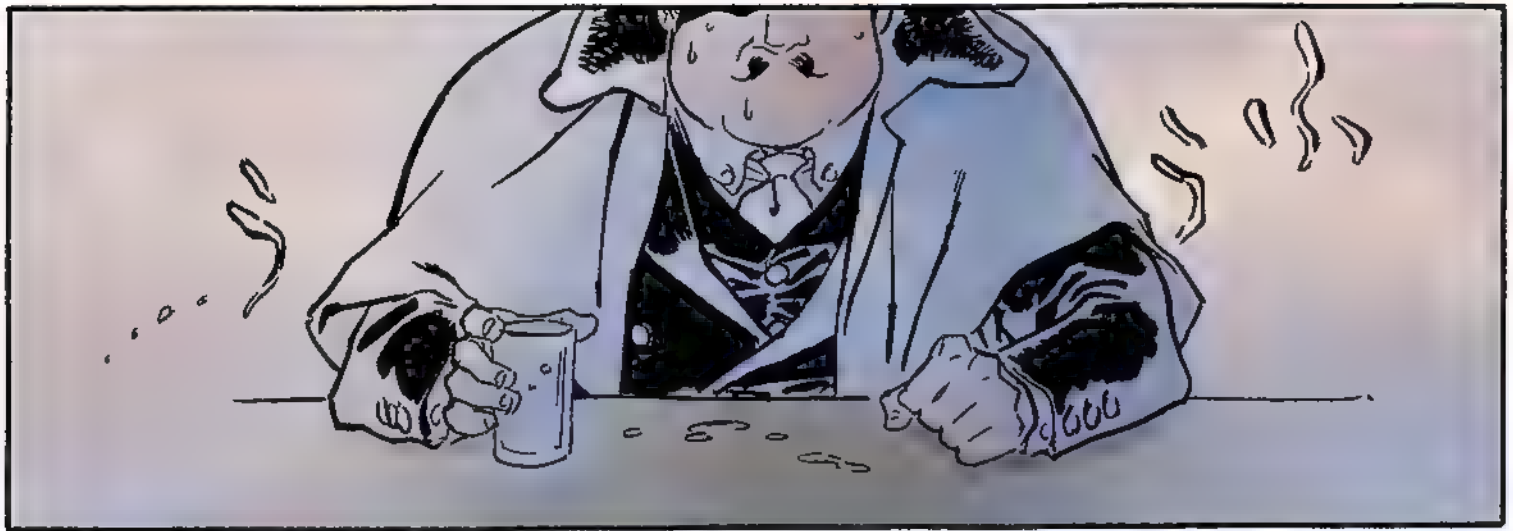
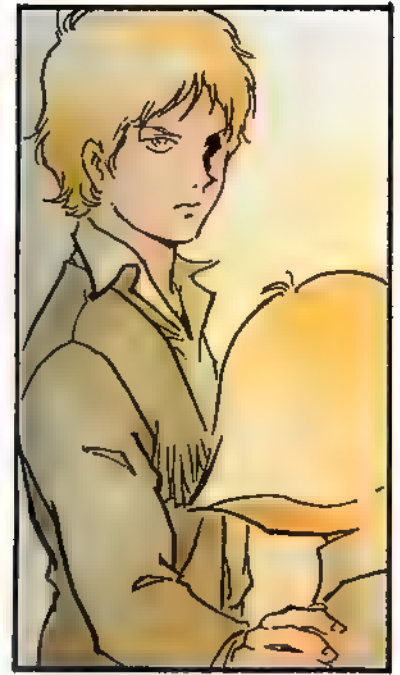
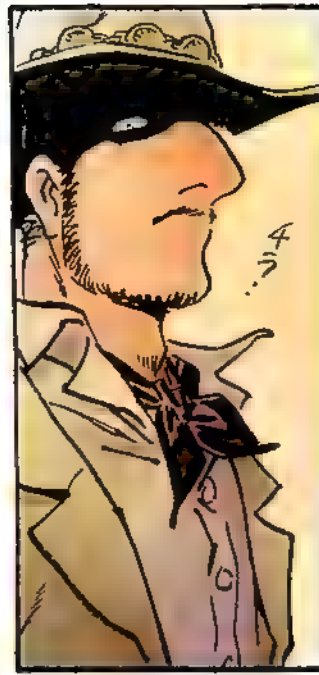
もぉぉ



校長との
お話はもう
お済みですか?

テアボロさん
お早かった
ですね





エドワウは実際
荒れている
ようです

お母様のことが
あったからでしょう
無理もないの
ですが…

そうです

あれは
かわいそうな
子なのです

気持ちも
荒れましょう

他人に当る
ことも
あり
ましょう

でも

あんなふうにな
言われる
スジあいはない！

そりゃあ私だっ
知っている

世が世なら…

あの子は一
国の
未来を背負
う
役割を担う
はず
だった！

こんな所に
埋もれさせるには
……

アズナブルさん

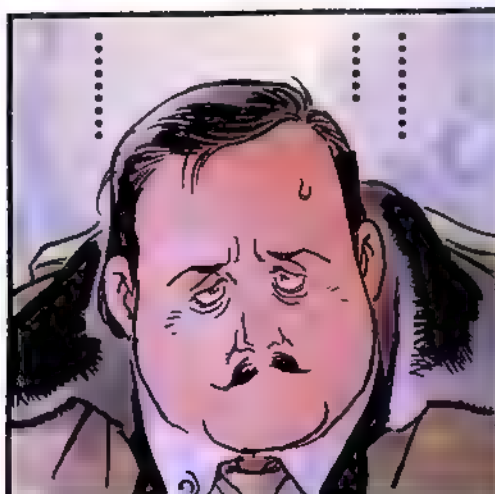
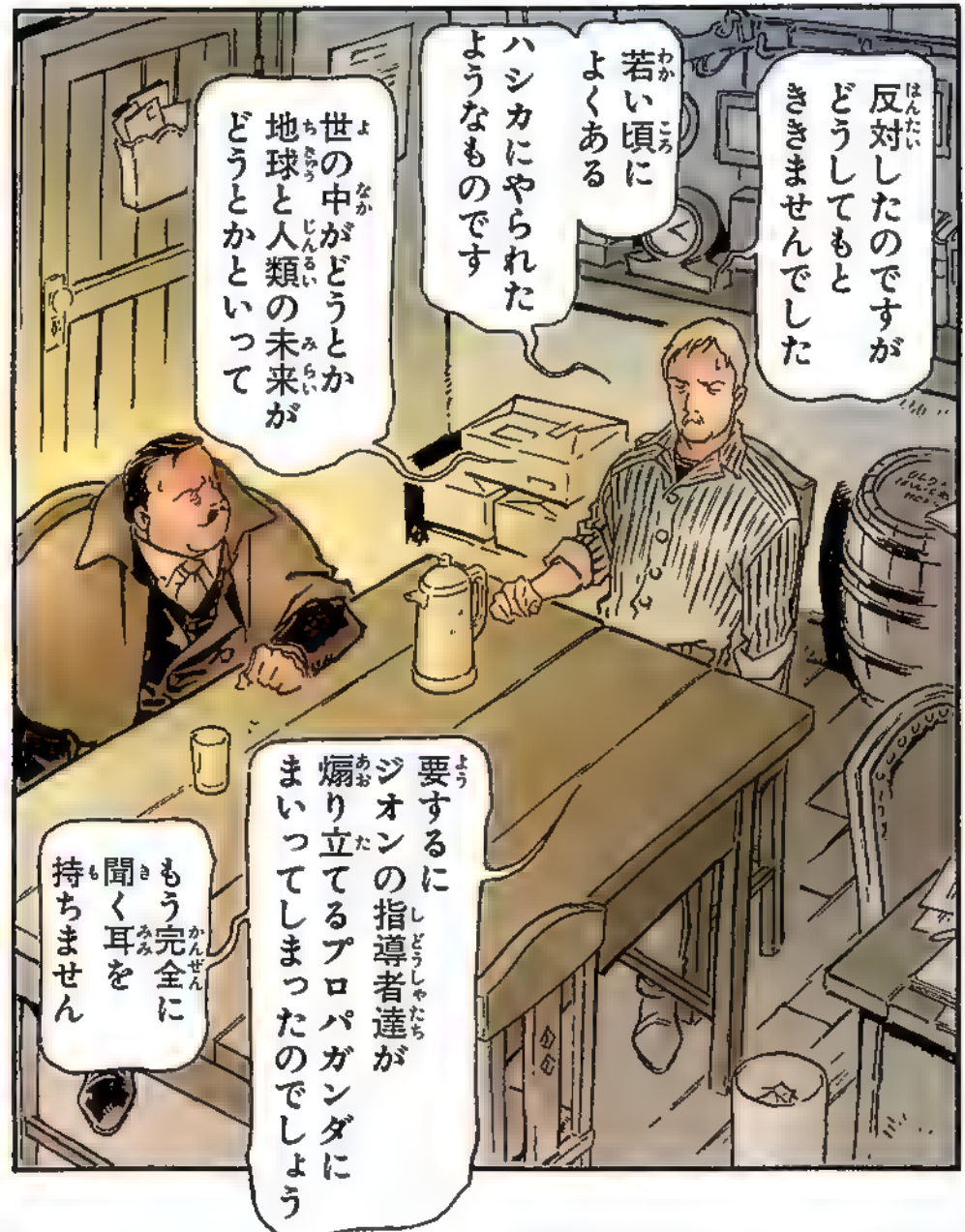
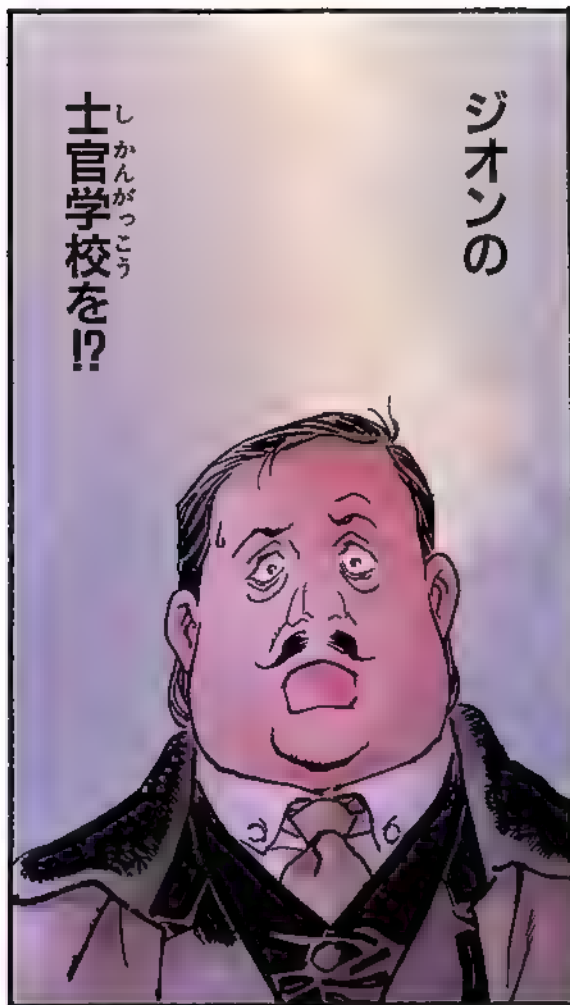
ひとつ

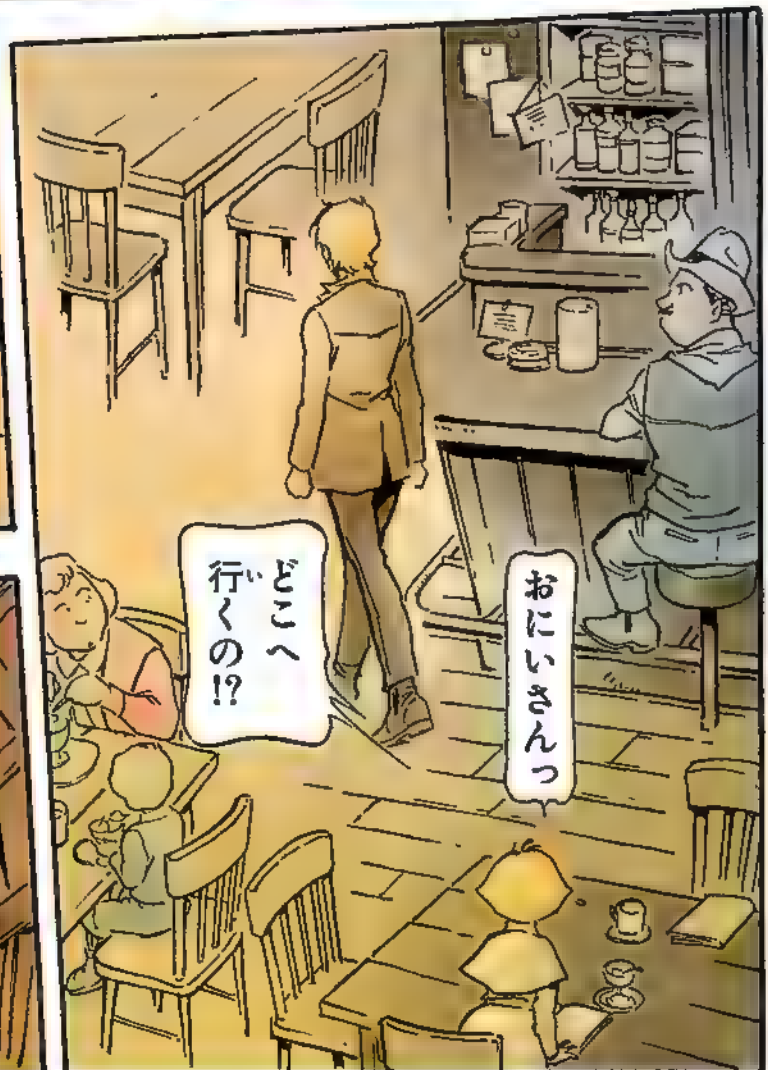
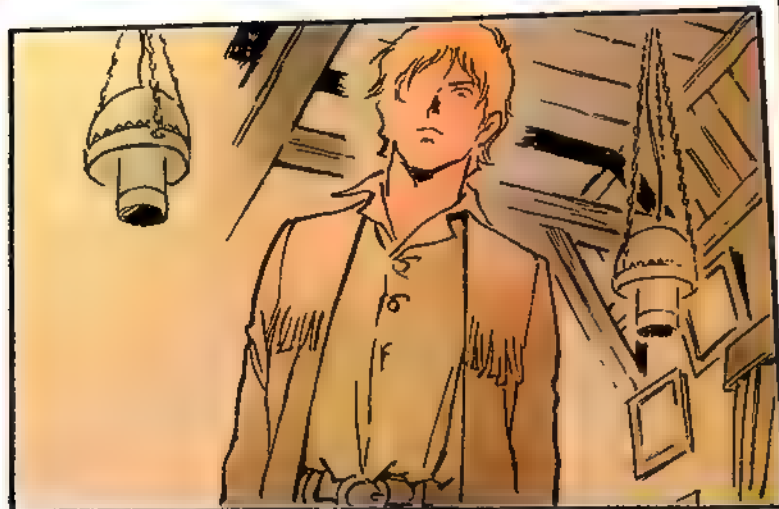
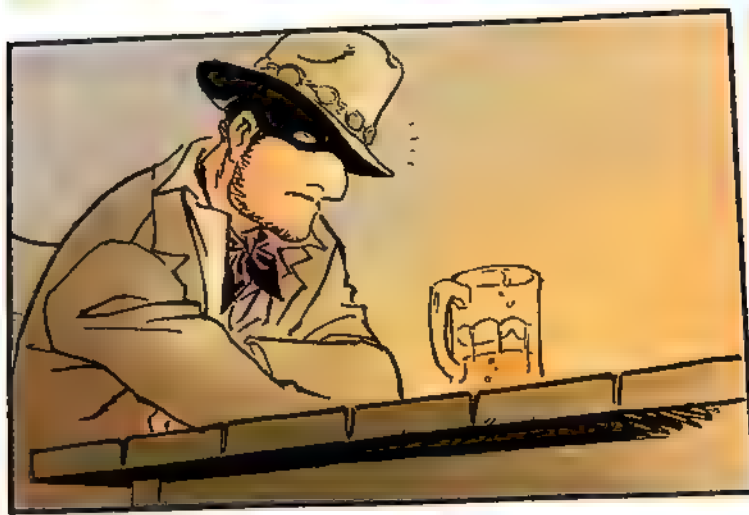
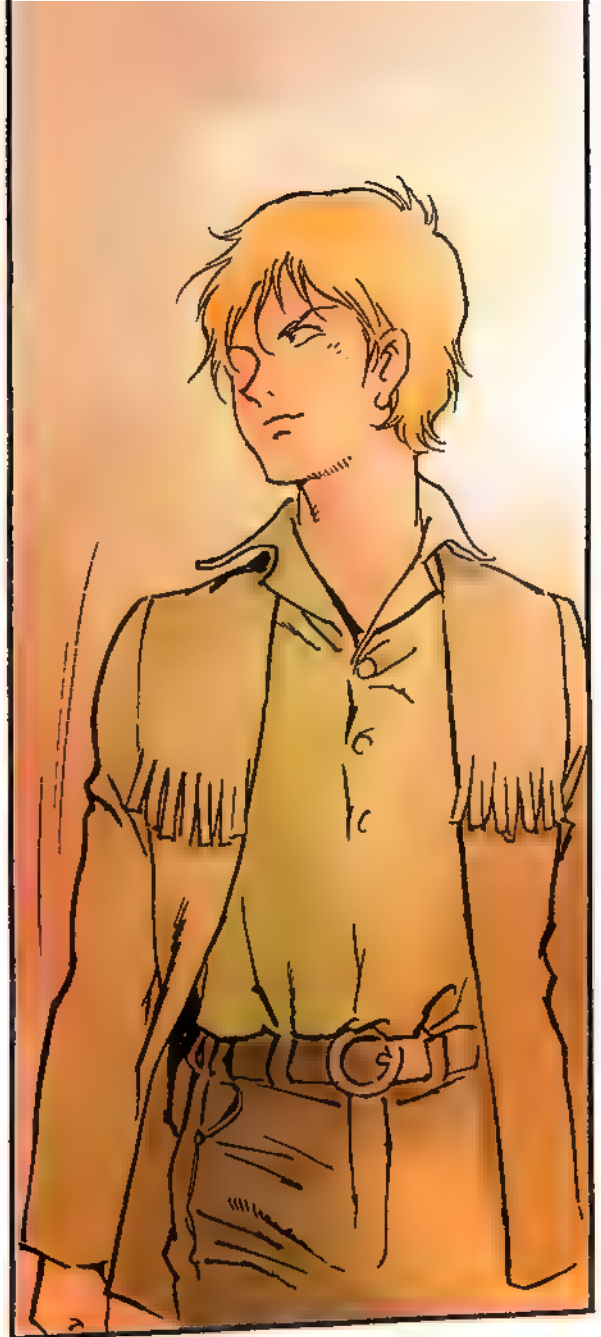
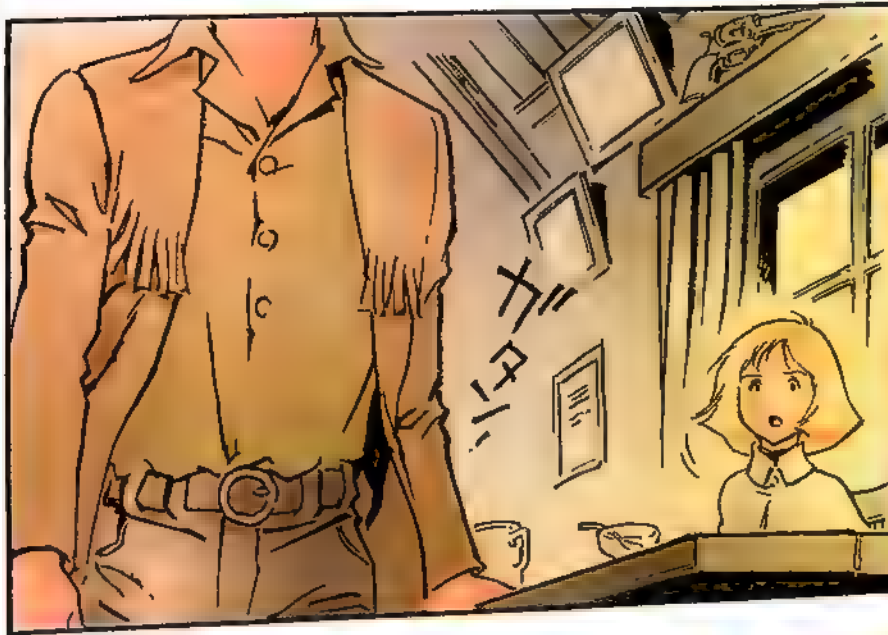
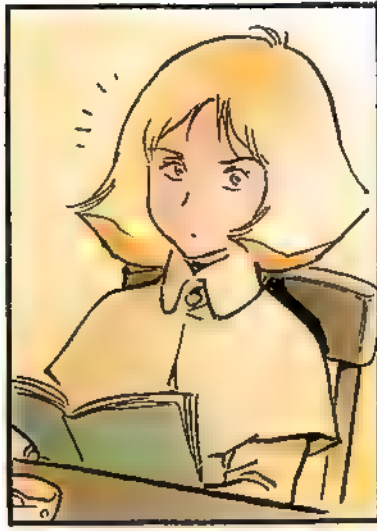
ご相談だが…

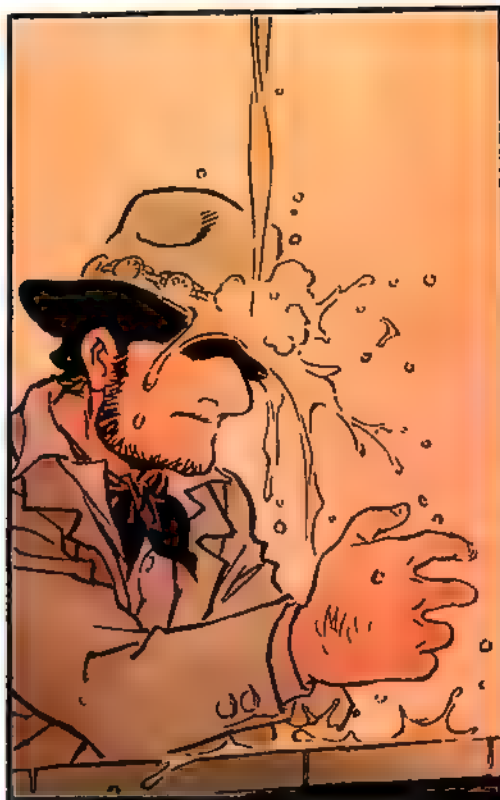
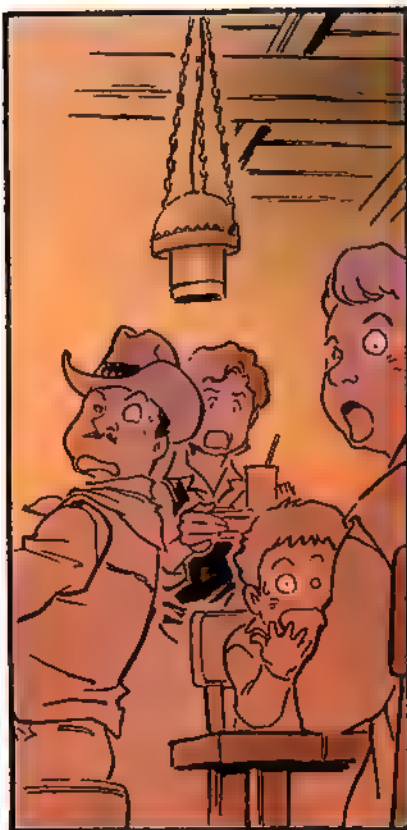
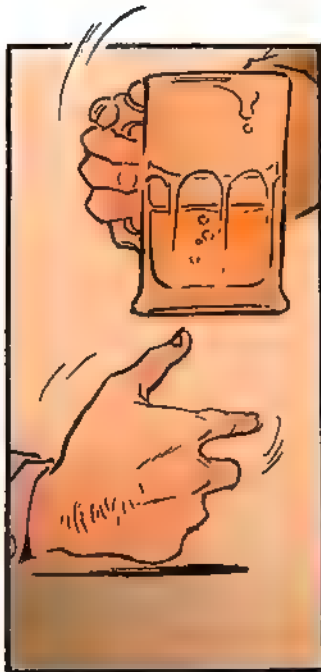
？

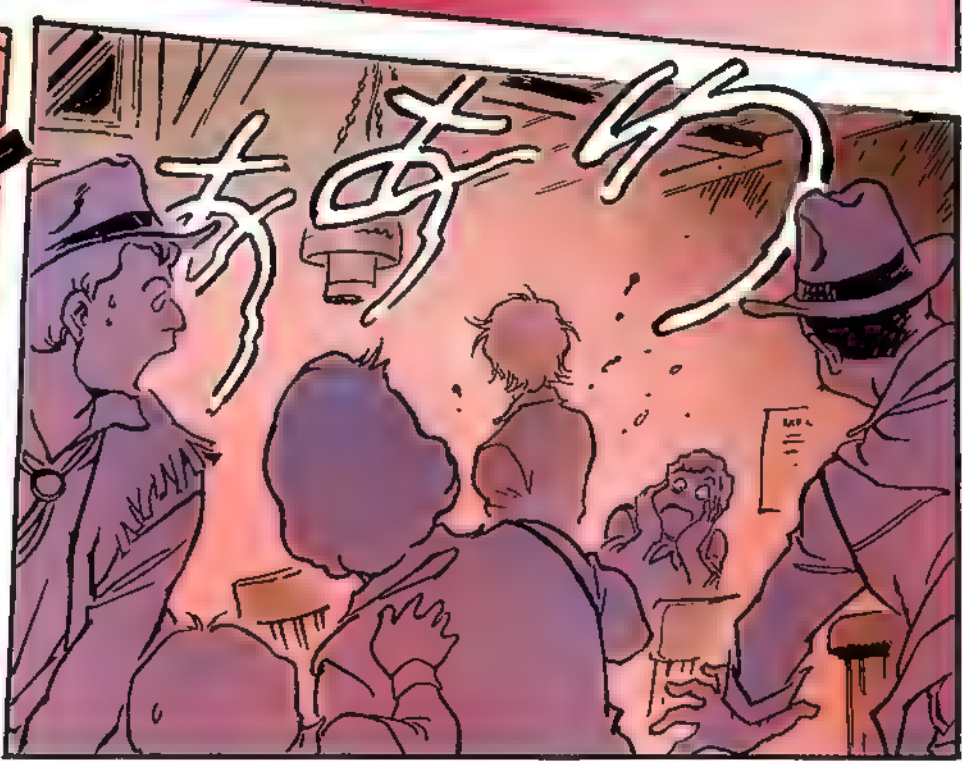
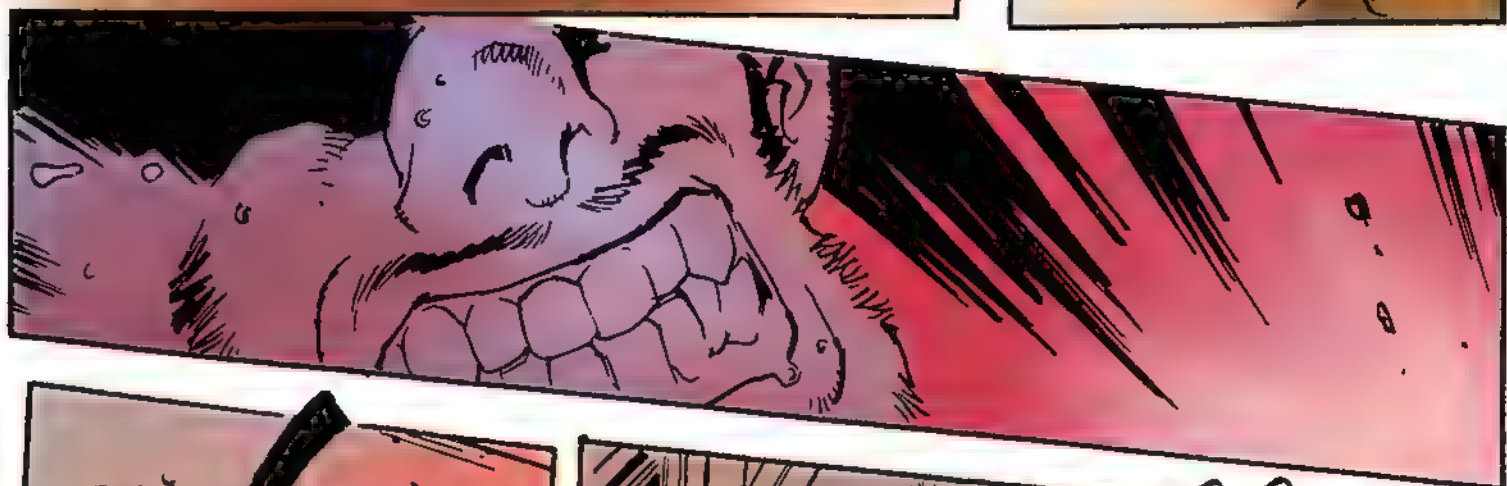
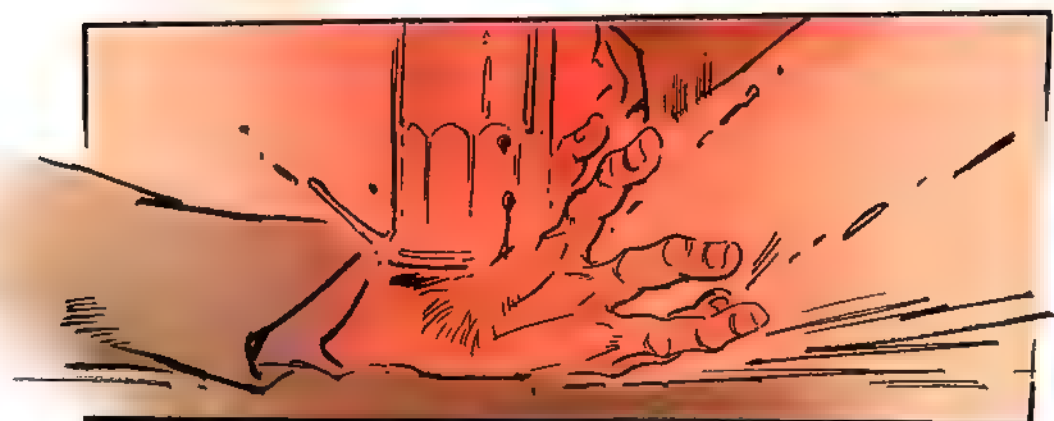
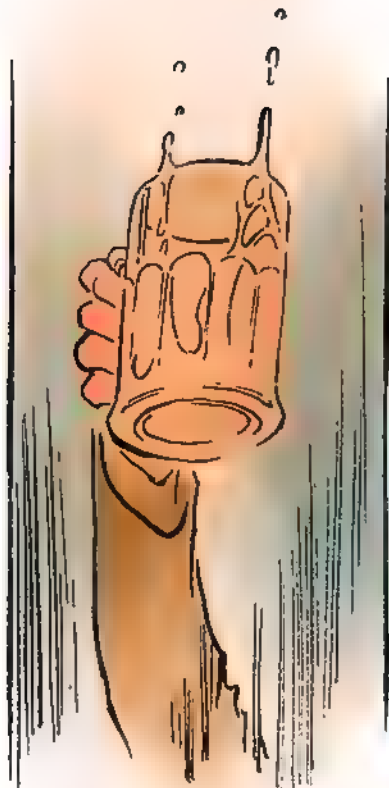
シャア君とあれは
気があっている
だろう

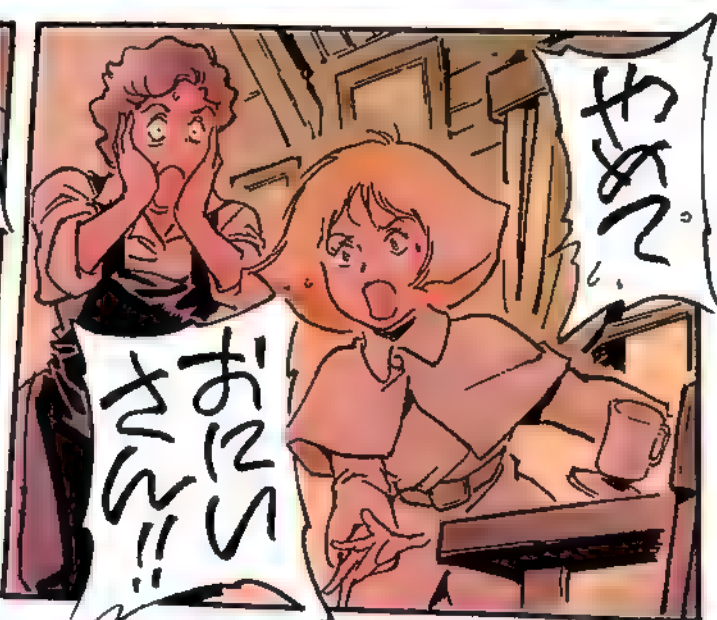
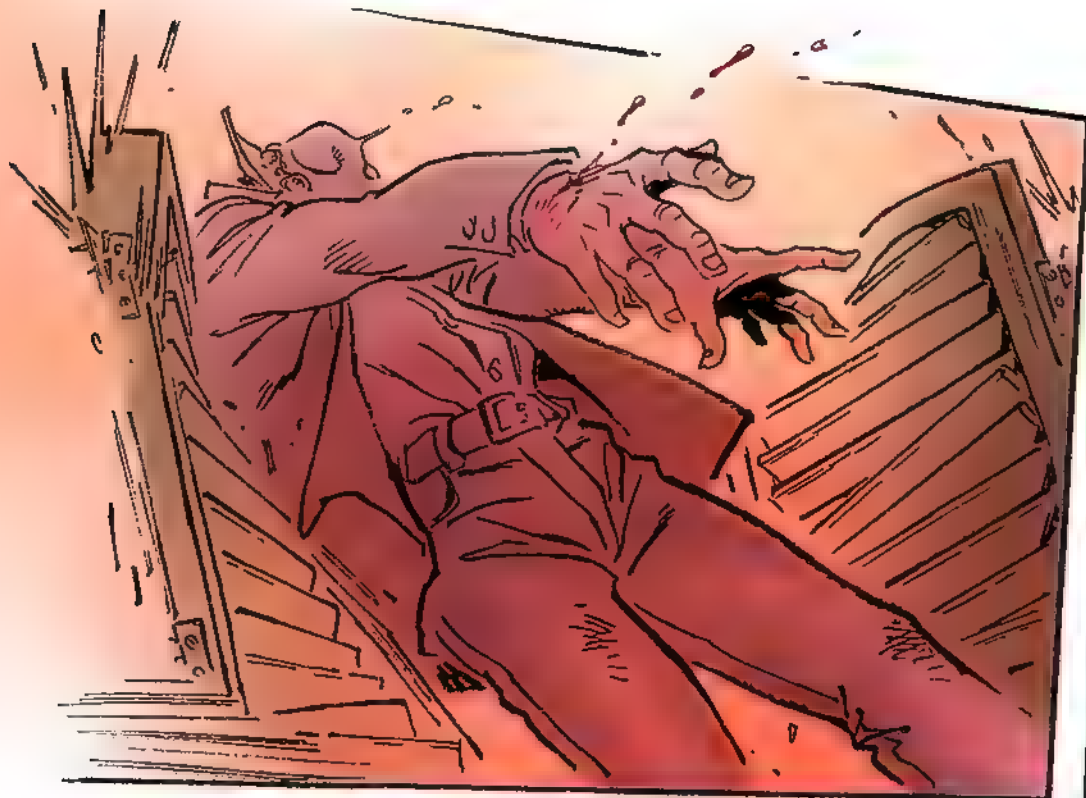
彼と同じ学校に
エドワウをやる
というの？

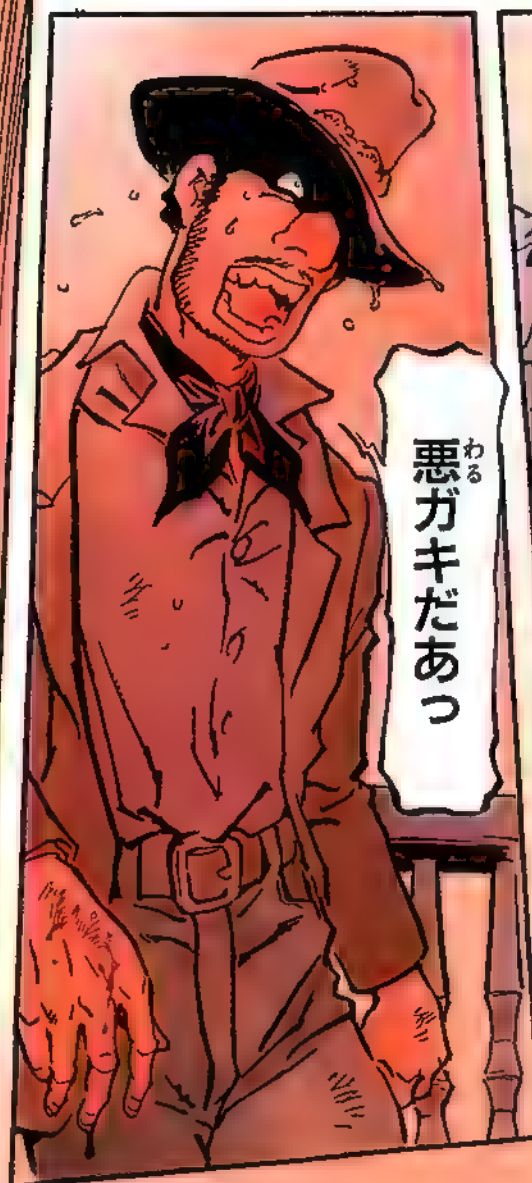
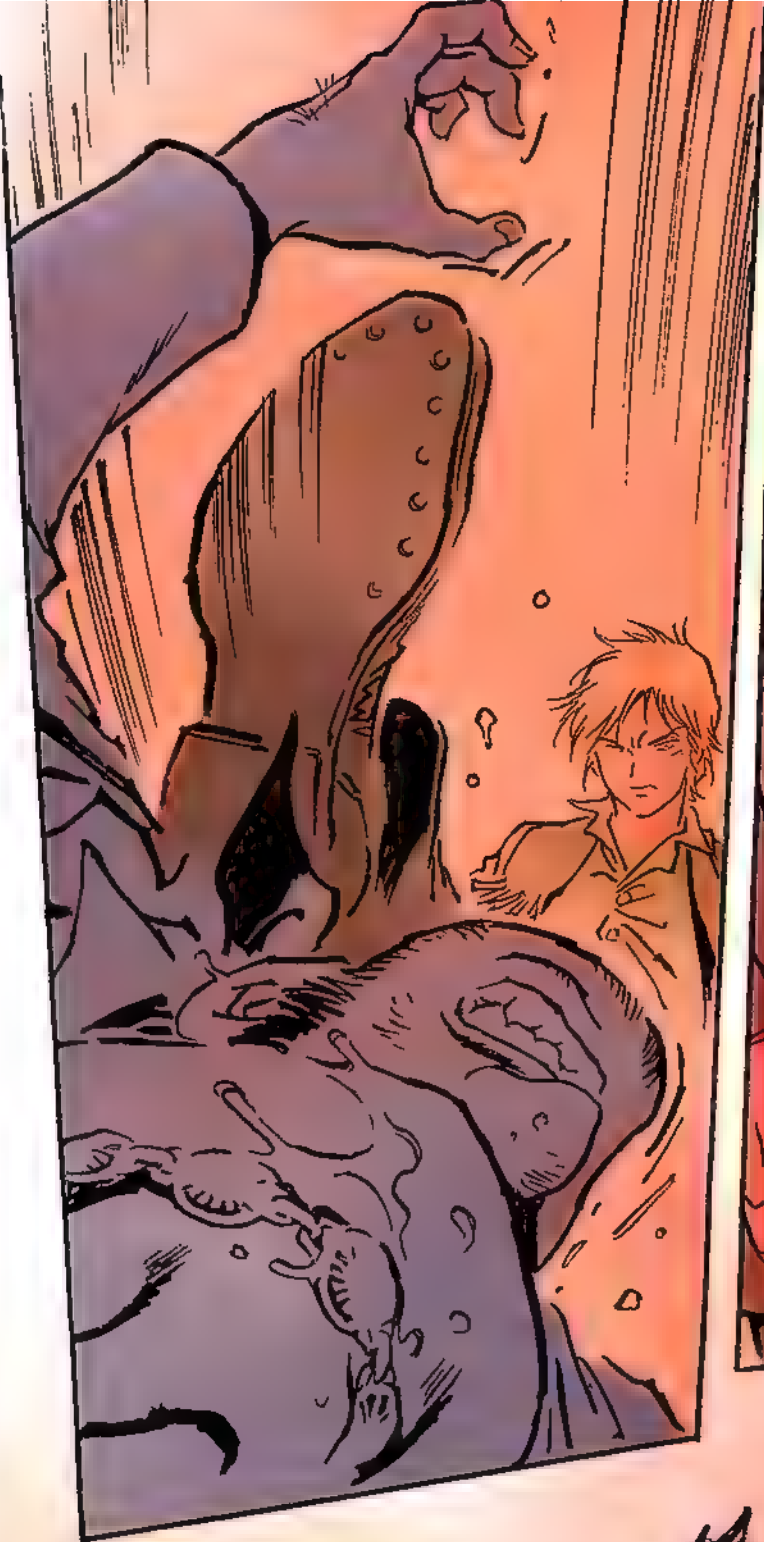








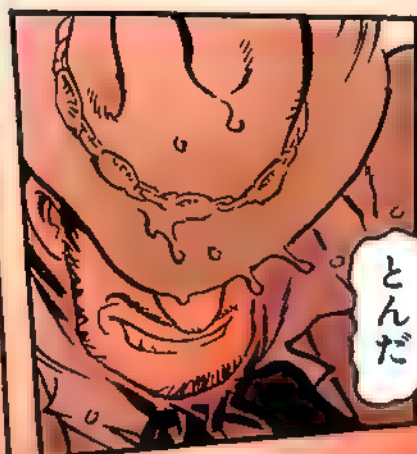




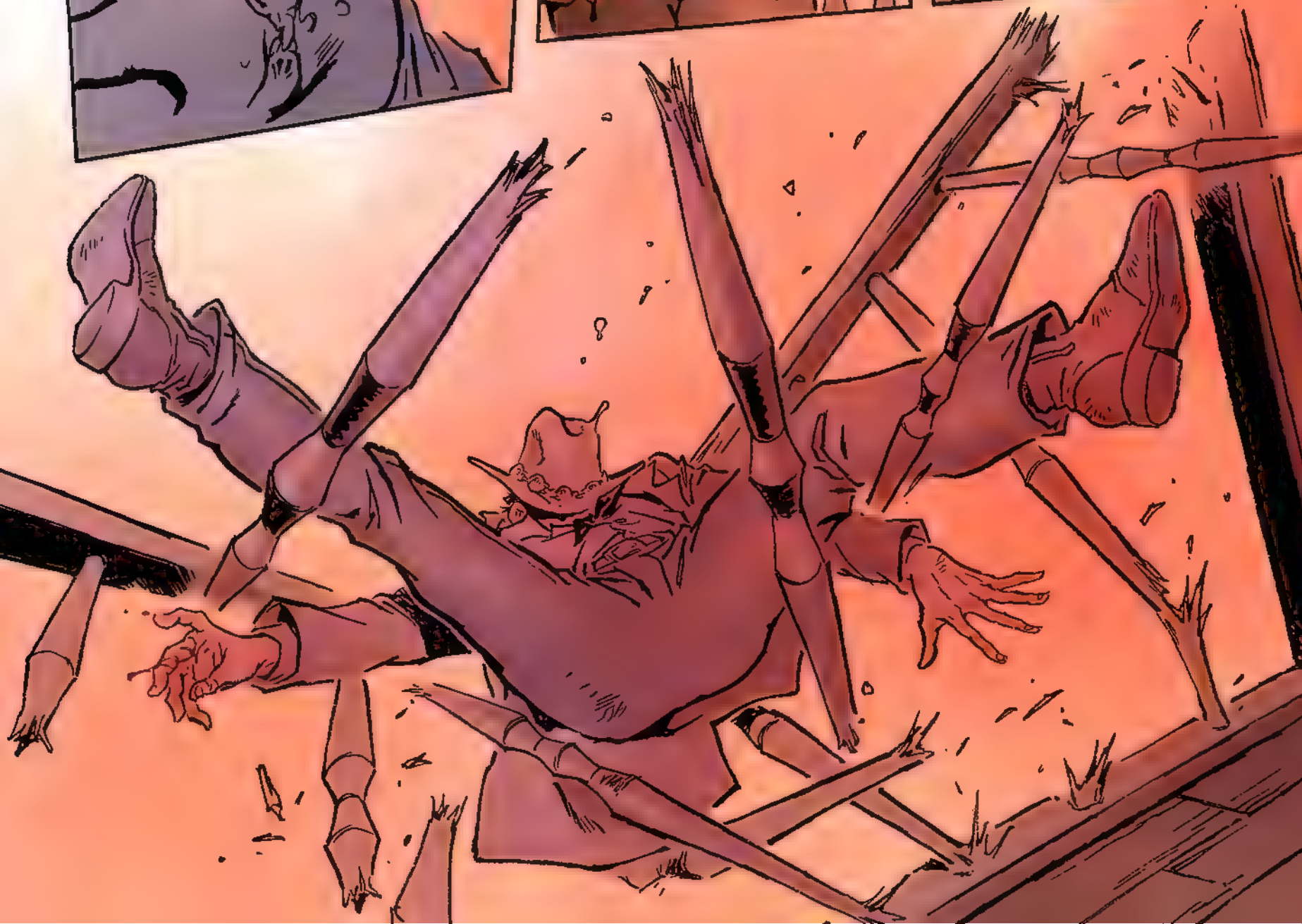
わる
悪ガキだあつ

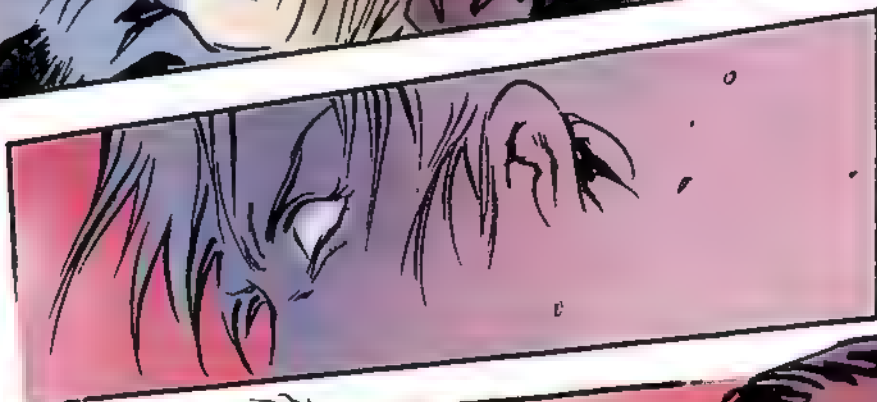
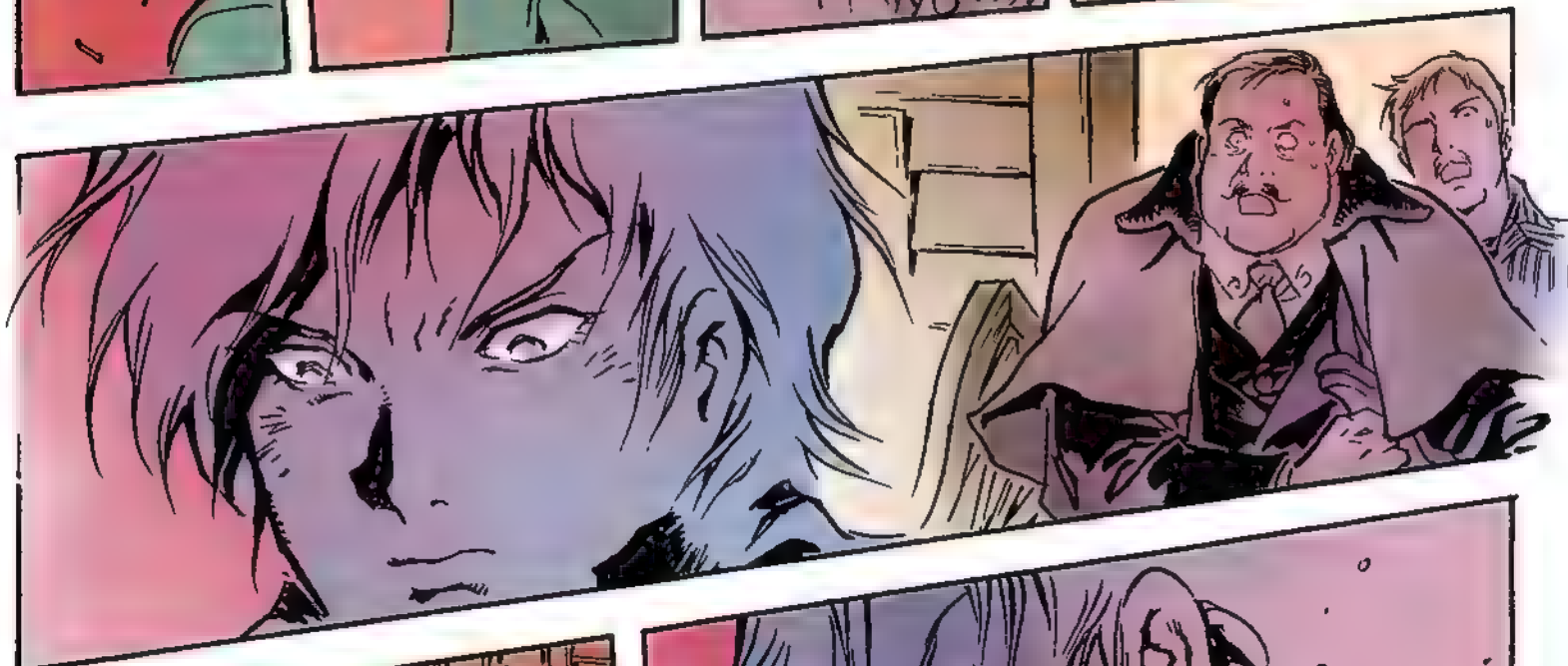
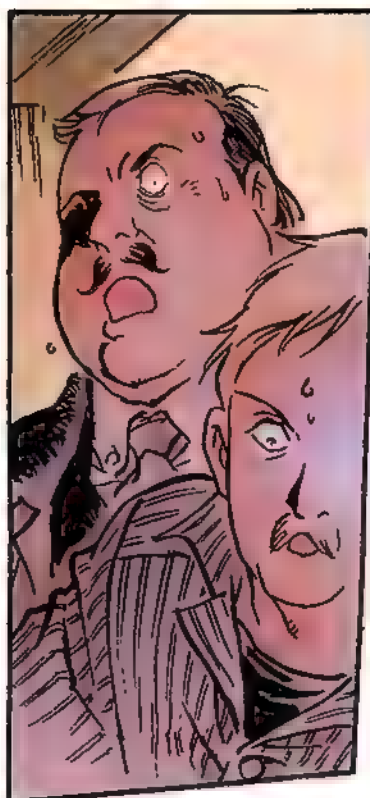


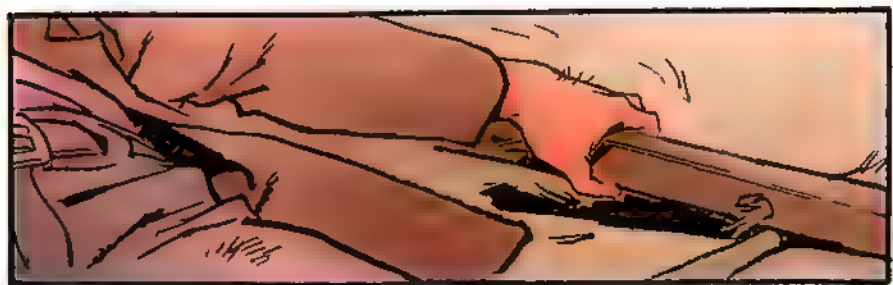
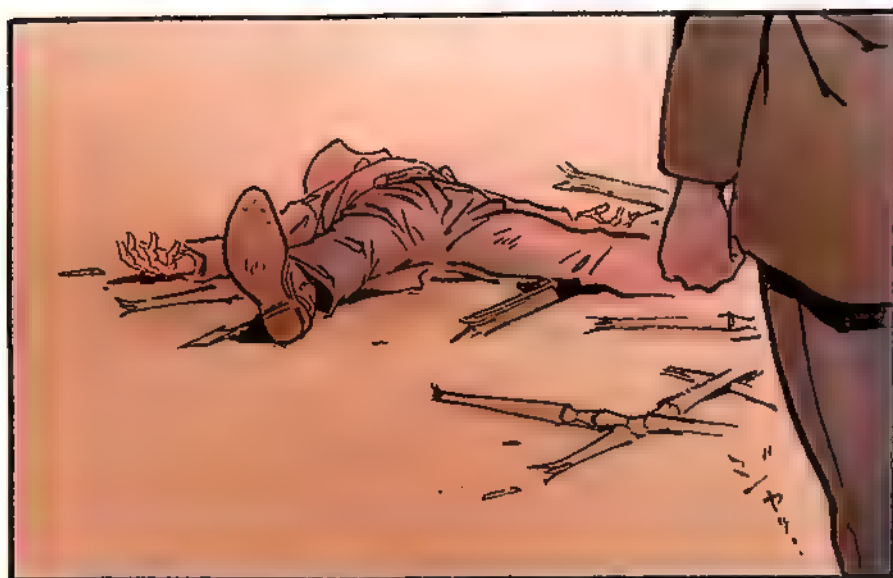
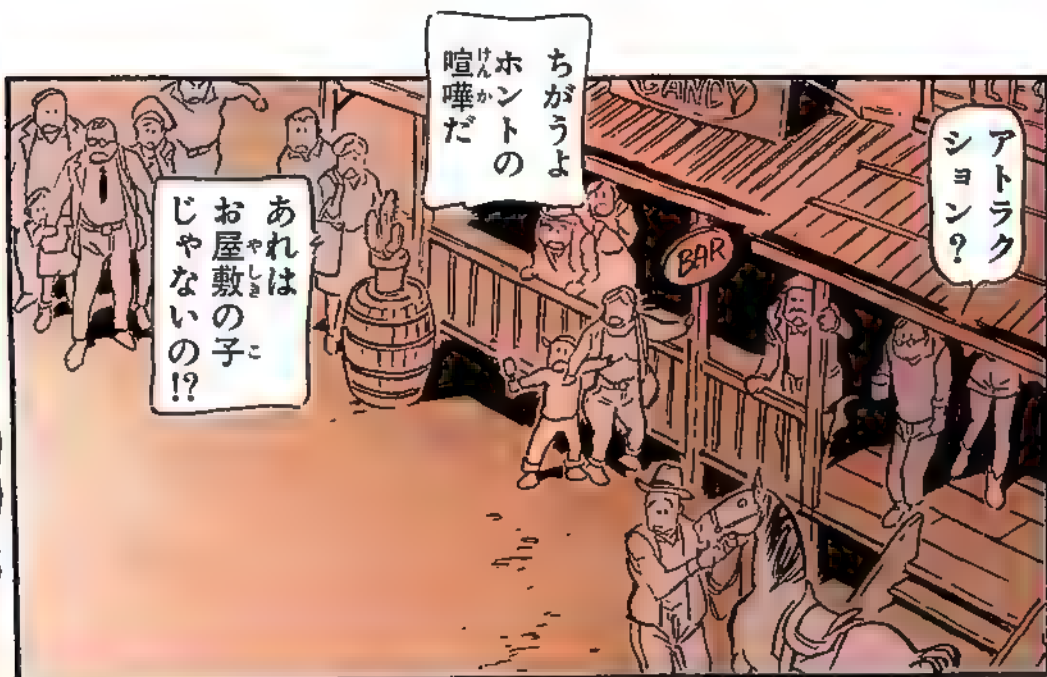
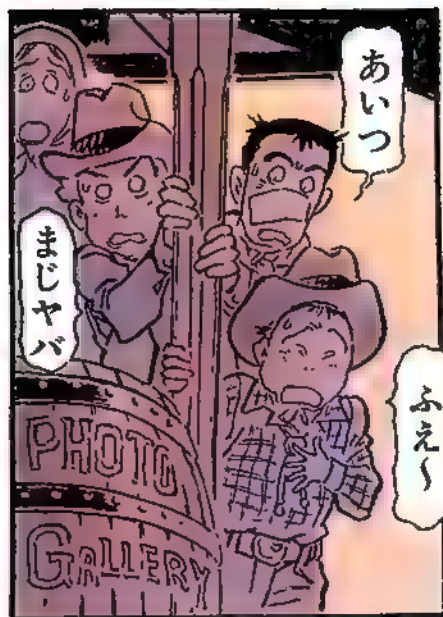
こりやあ
ひでえ…



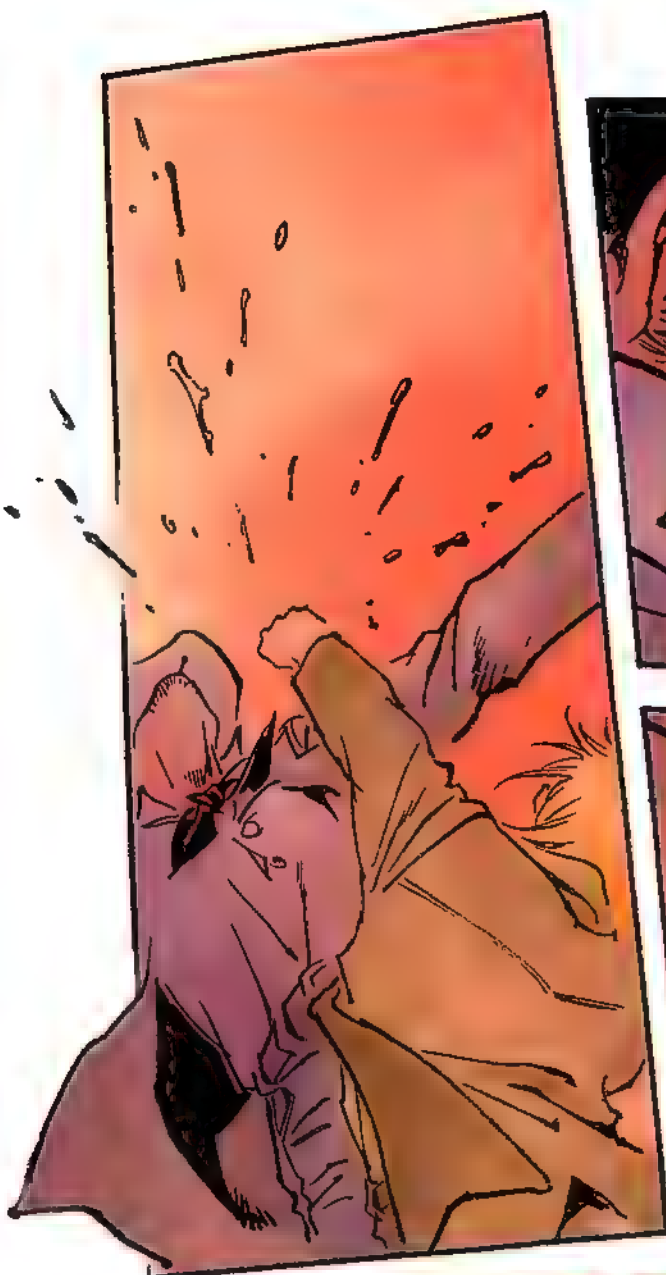
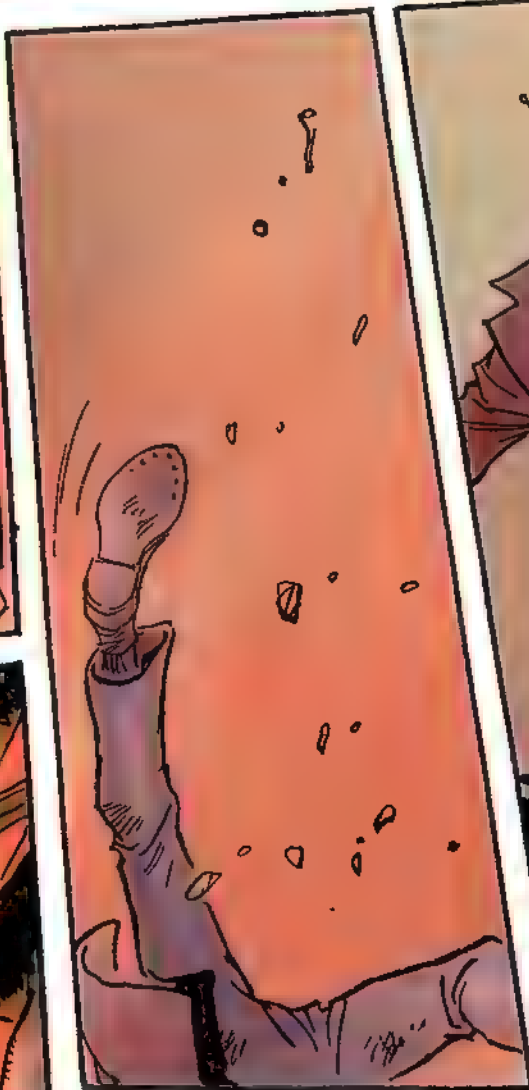
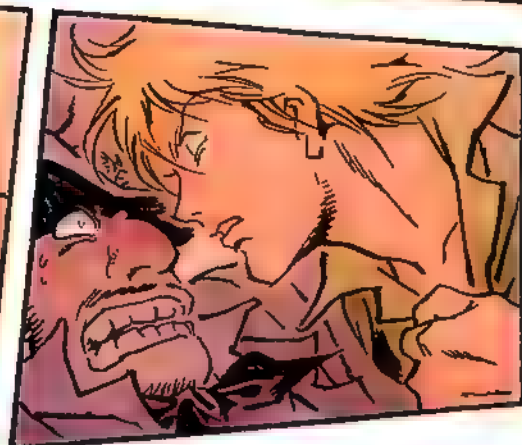
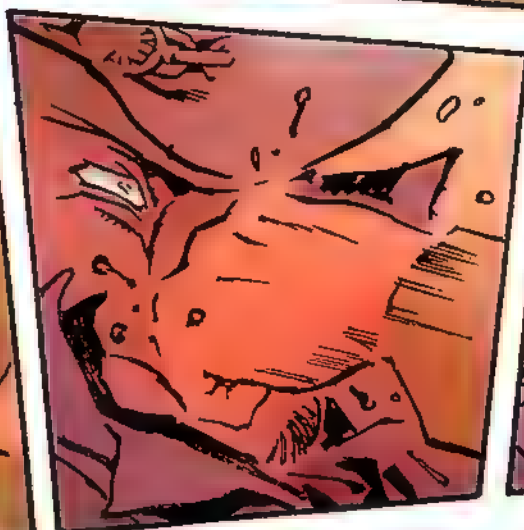
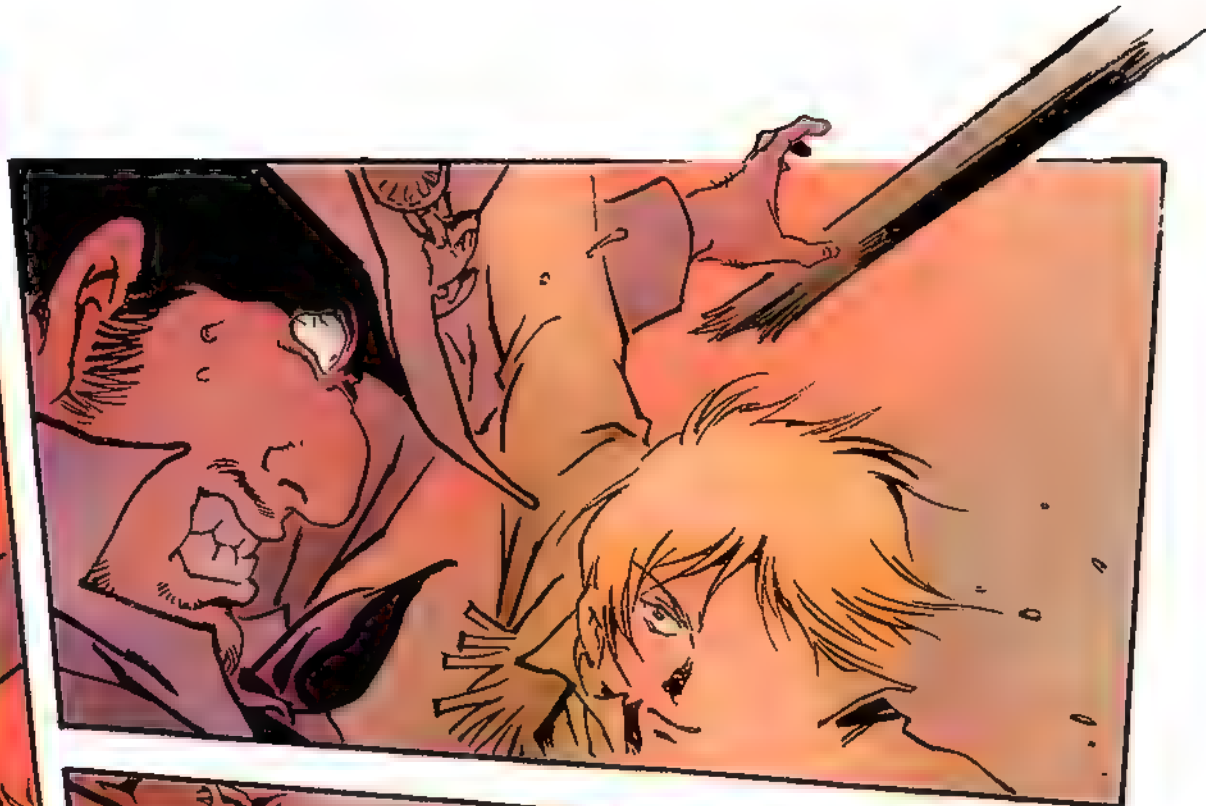
とんだ

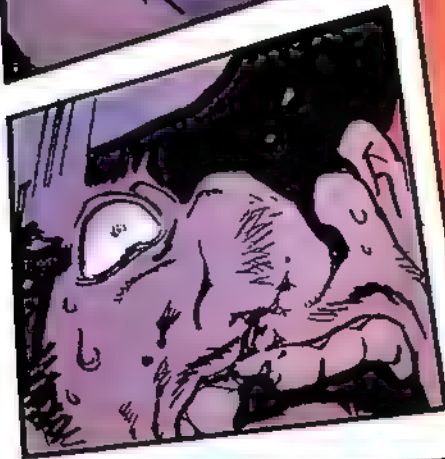


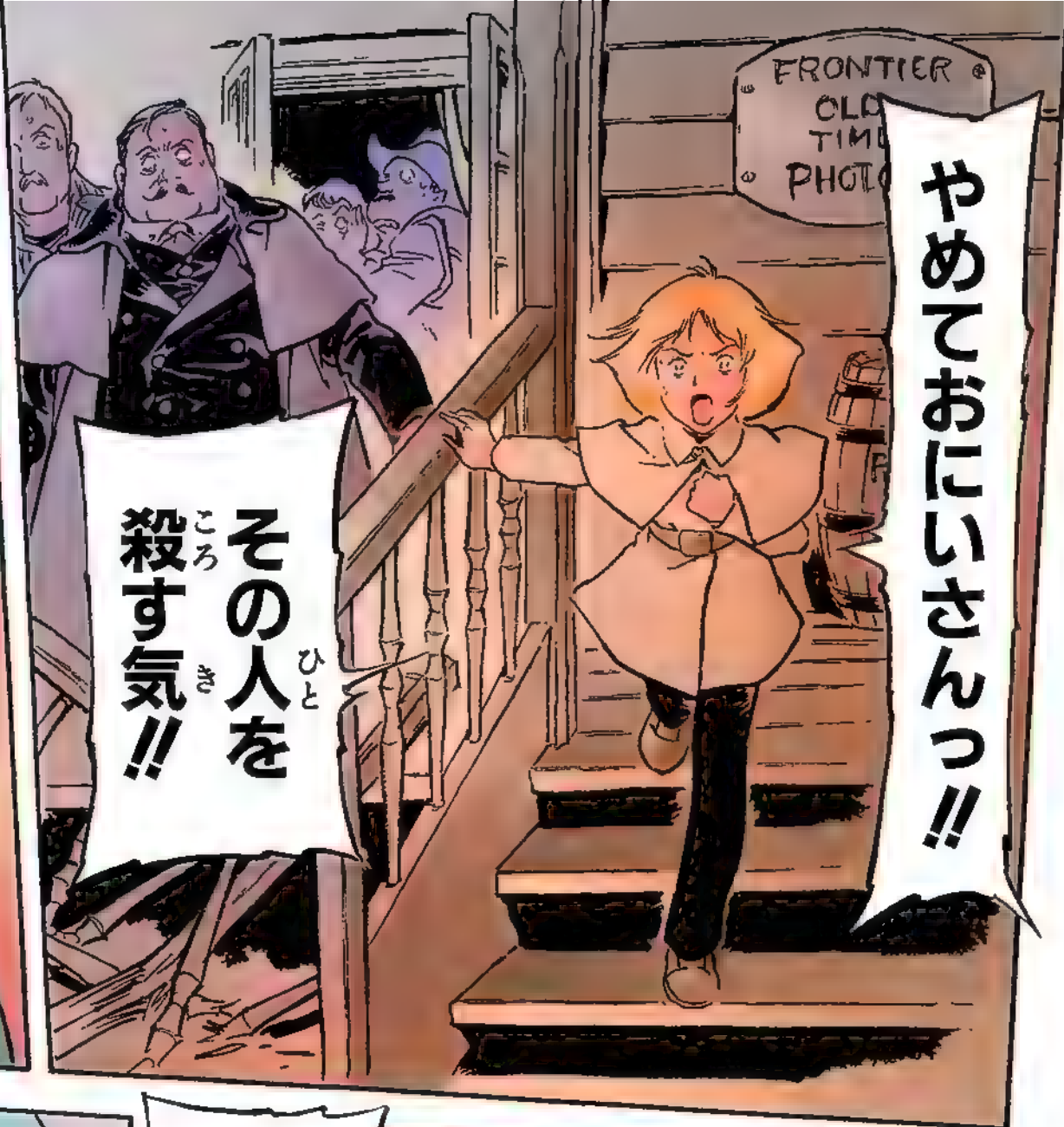






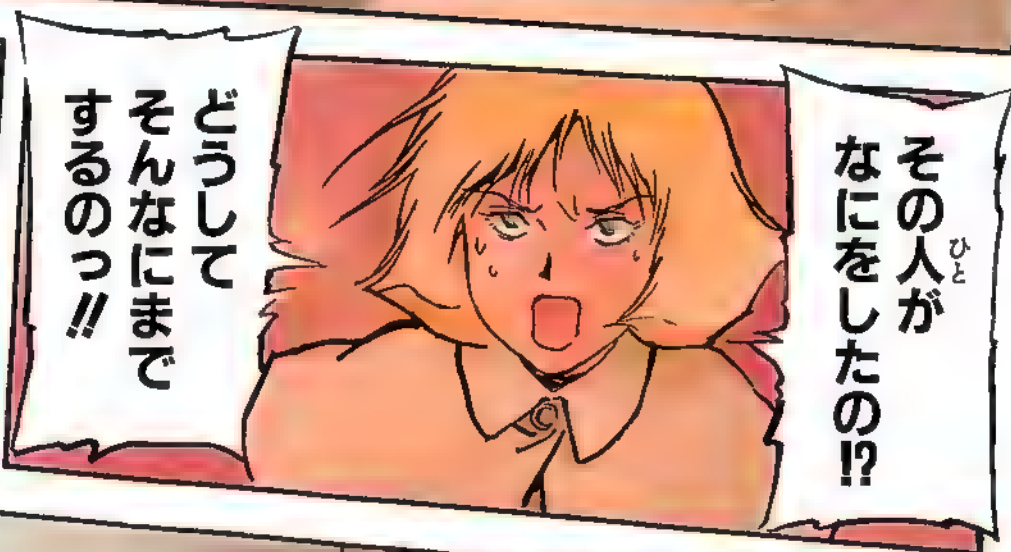
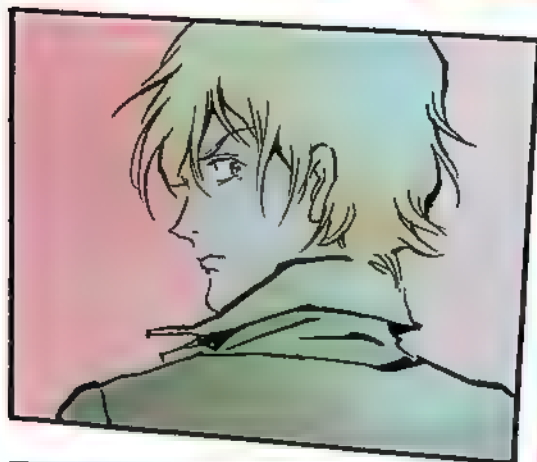






やめておにいさんっ!!

その人^{ひと}を
ころす
殺^{ころ}す気!!



その人^{ひと}が
なにをしたの!?

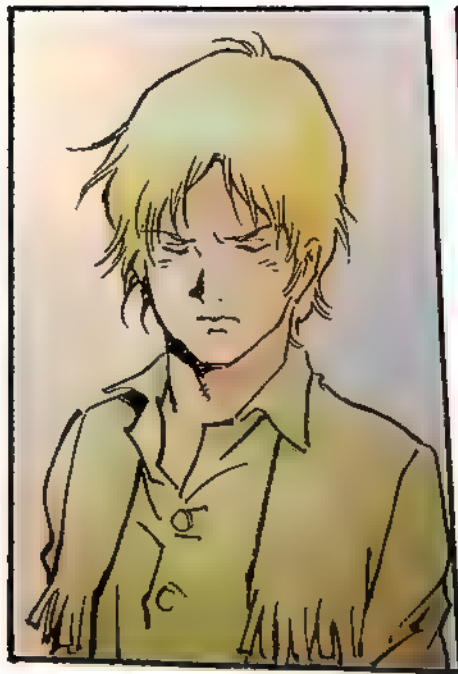
どうして
そんなにまで
するのっ!!



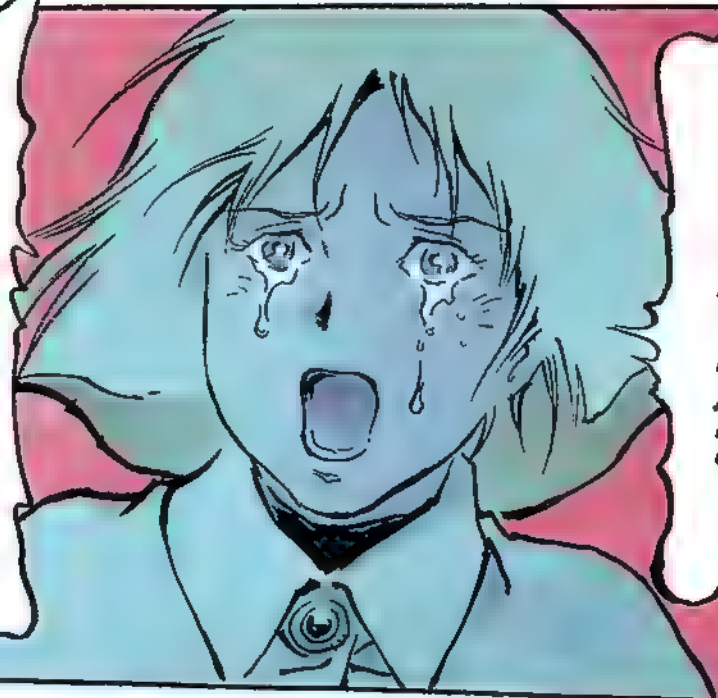
おかあさんが

そんなことして
なにになるのっ!!

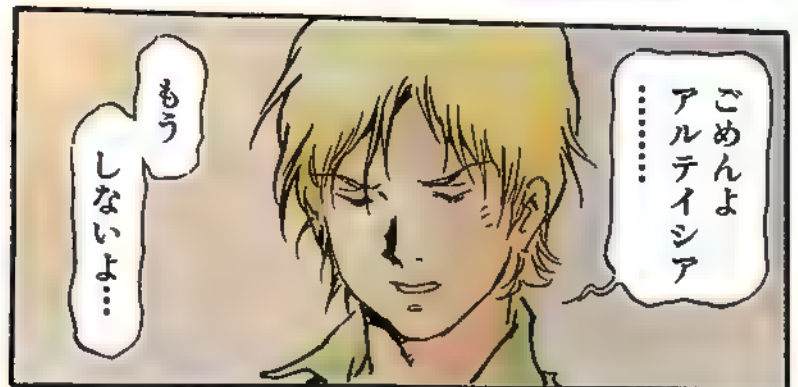
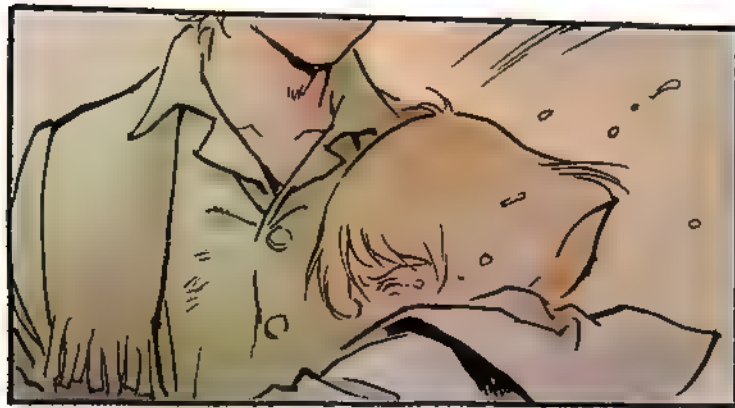
よろこぶと
おも
でも思^{おも}うのっ!!



そんなおにい
さんなんか!!



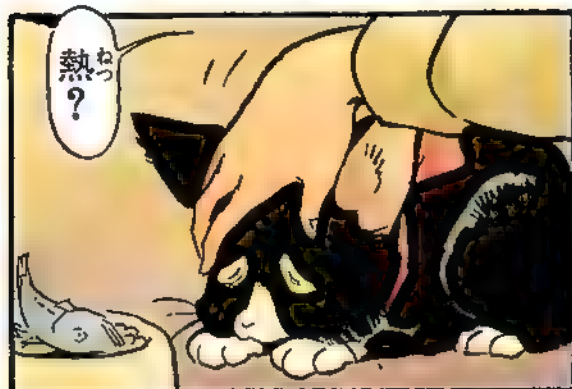
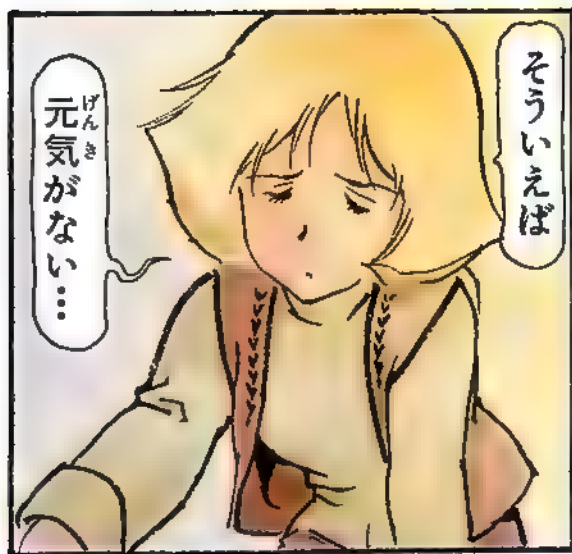
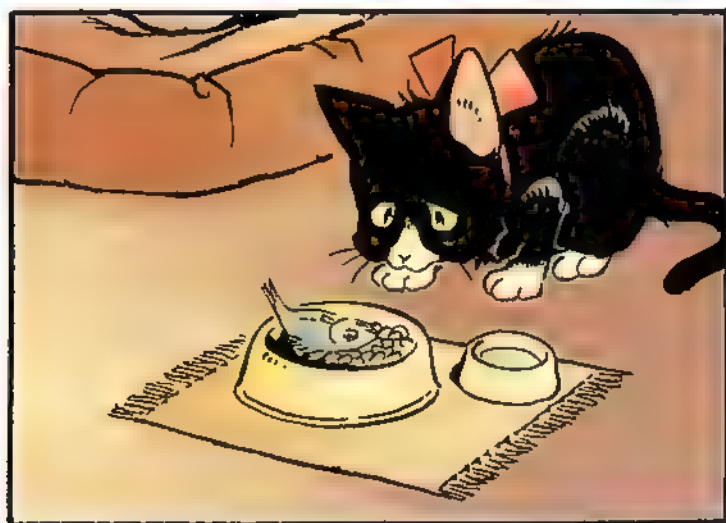
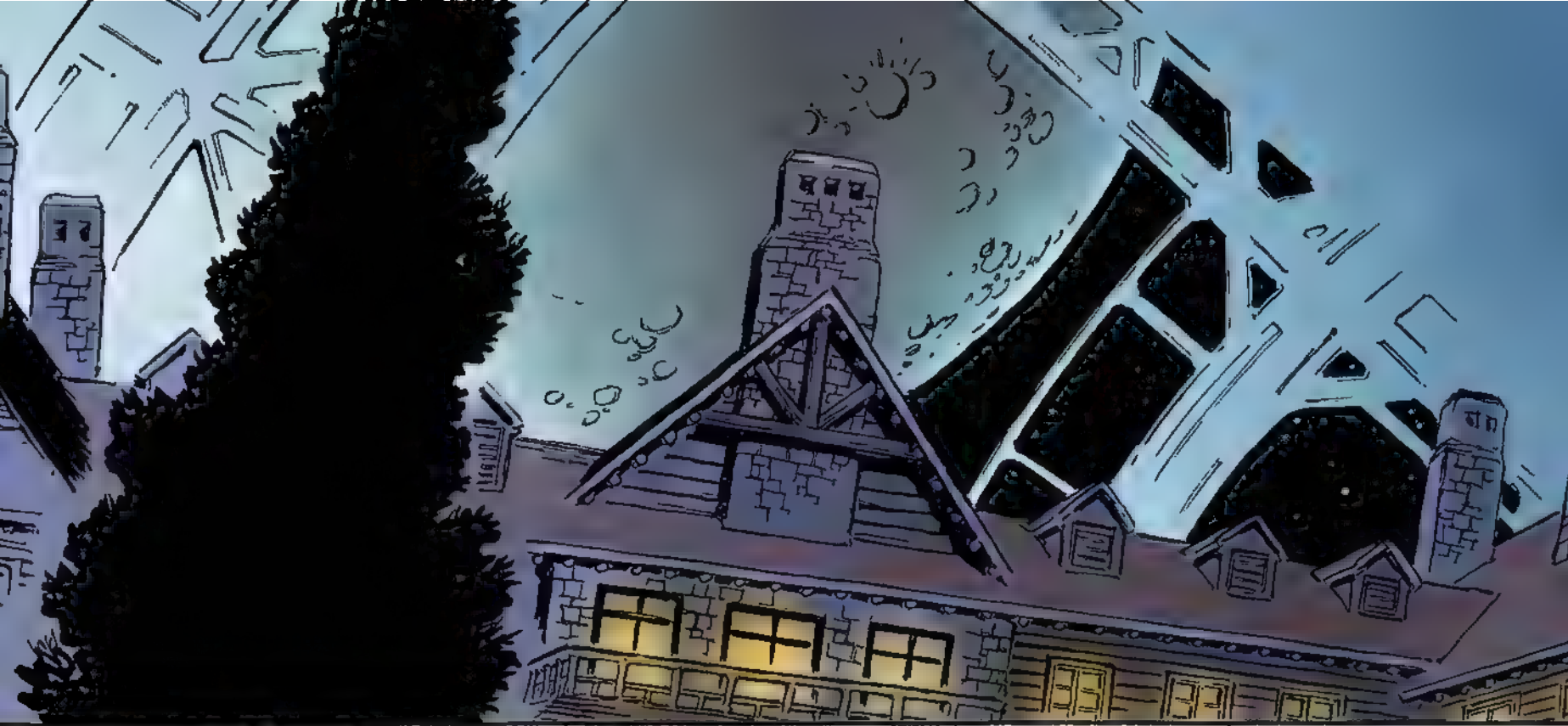
きらいだあ



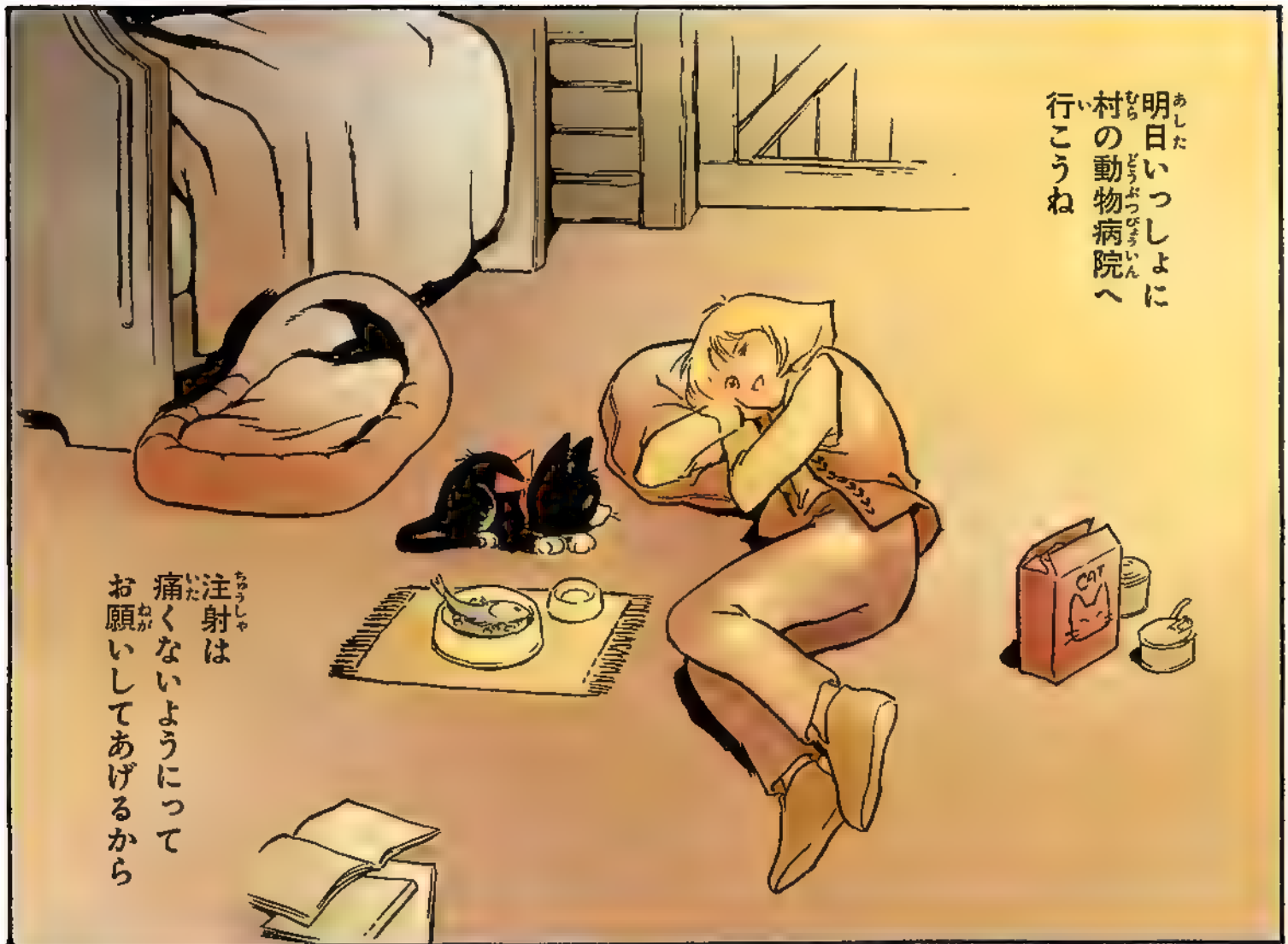
ごめんよ
アルティシア
……

もう
しないよ……

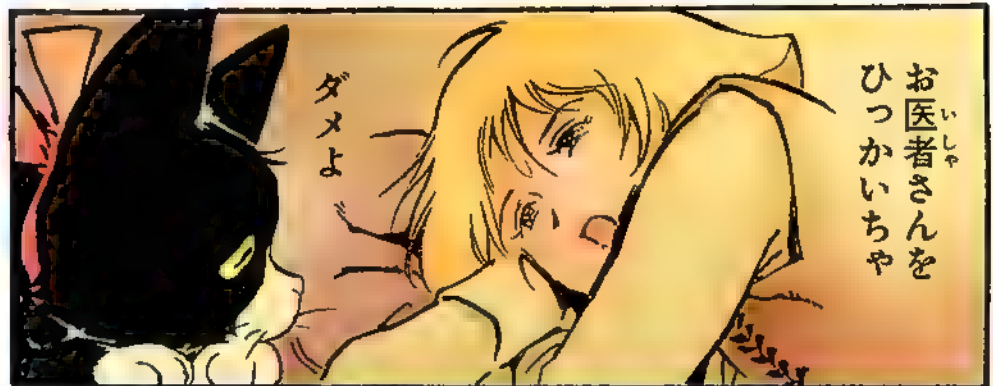




あした
明日いつしよに
むら どうぶつびょういん
村の動物病院へ
いこうね

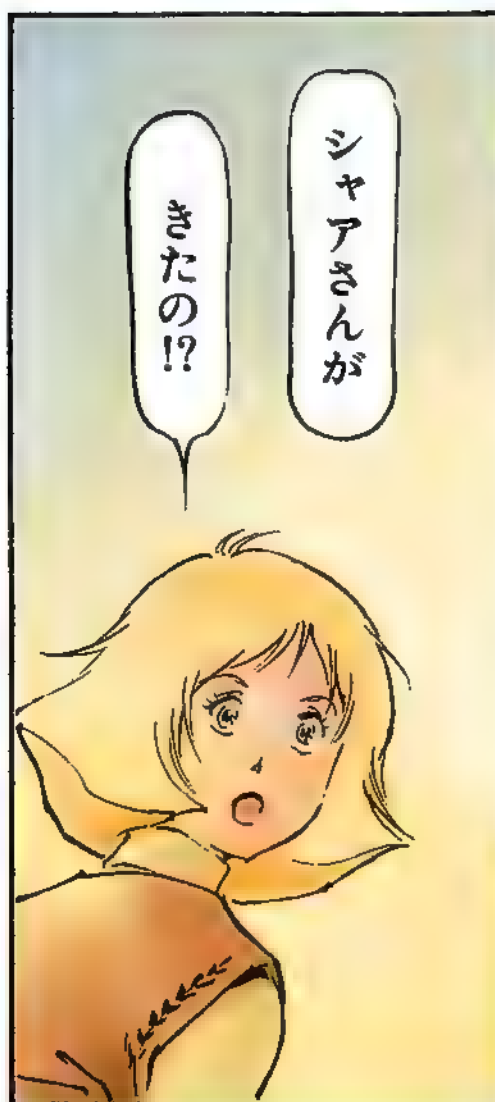


ちゅうしゃ
注射は
いた
痛くないようにって
ねが
お願いしてあげるから



いしゃ
お医者さんを
ひっかいちゃ

ダメよ



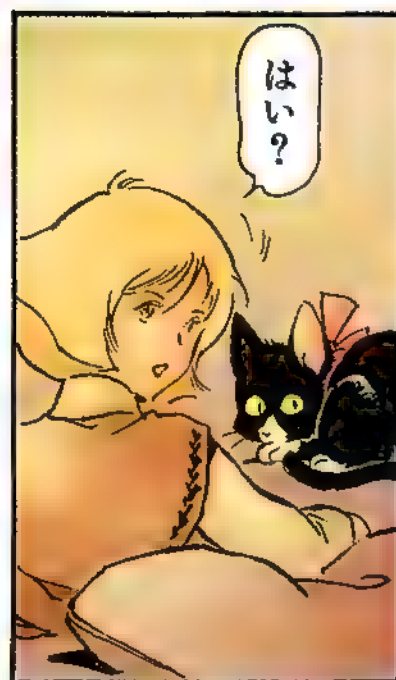
シャアさんが

きたの!?

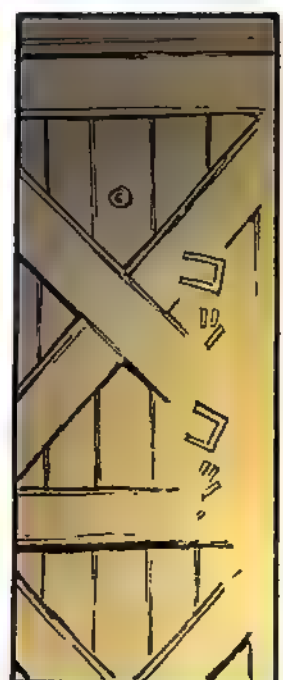


いま
あの今

アズナブルさんと...



はい?



やあセイラ

やった!!

しかんがっこう
士官学校に
ごうかく
合格したよ!!

これ
ごうかく
合格通知!

どう?
スゴイ
だろっ

.....

それでももうすぐ
ジオンへ
行かない
なら
から

エドワウと
キミにお別れを

いいに
来たんだ

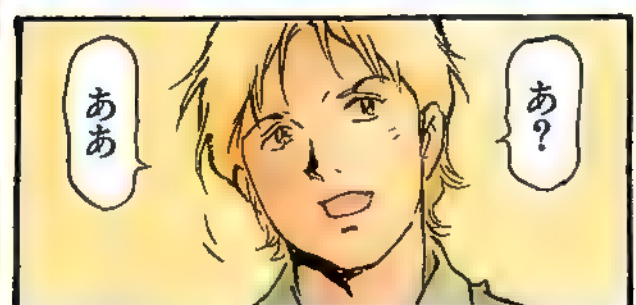
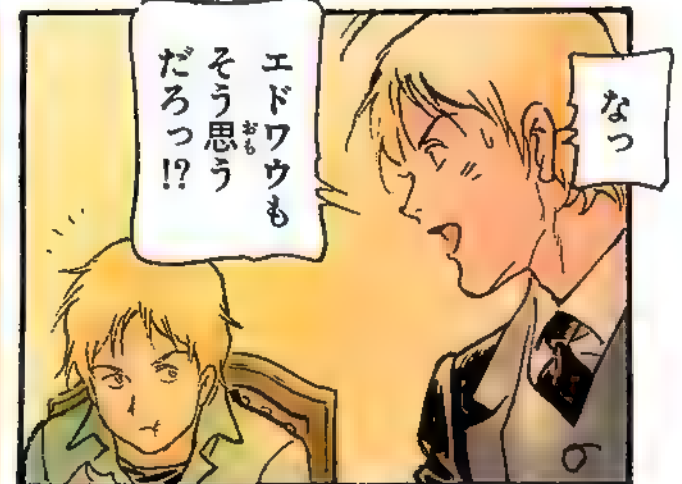
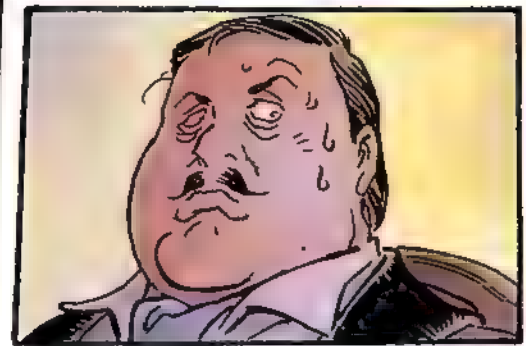
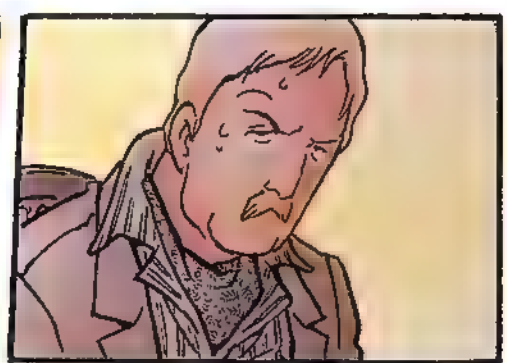
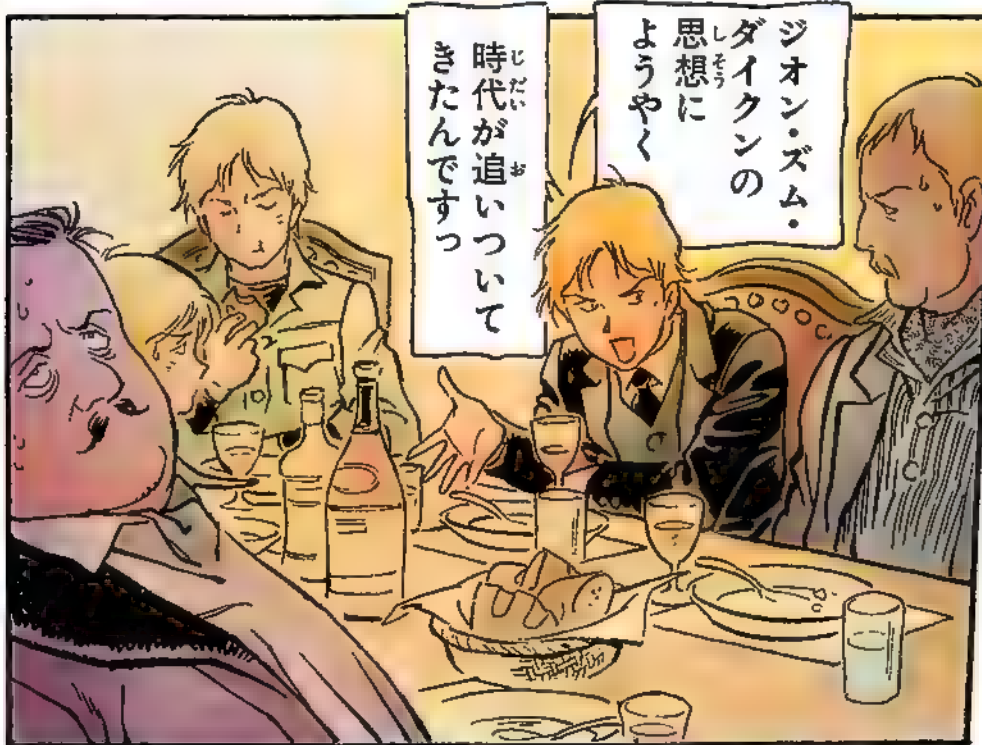
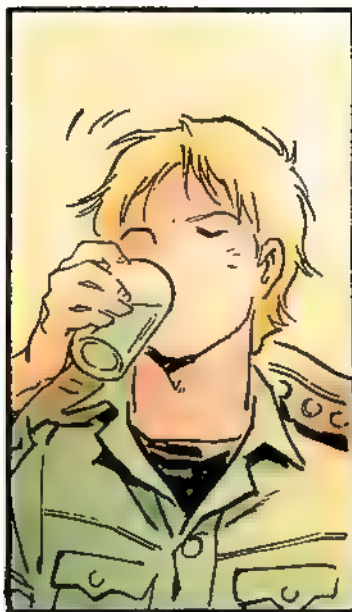
.....

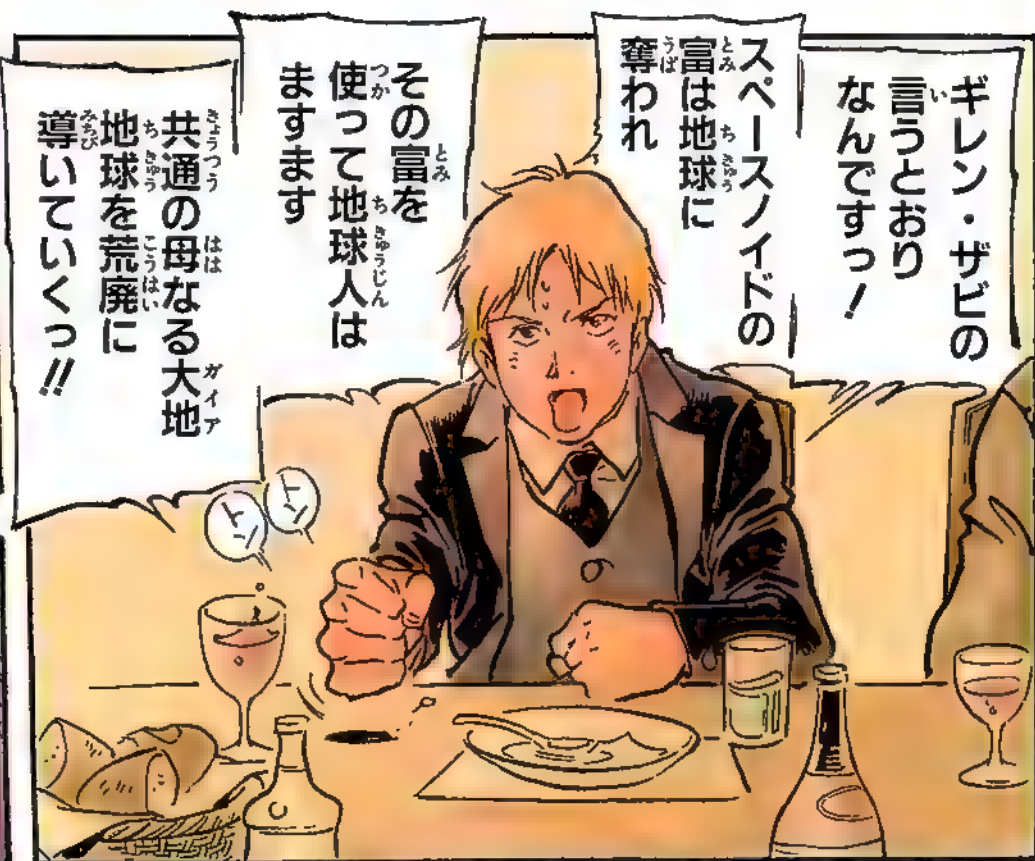
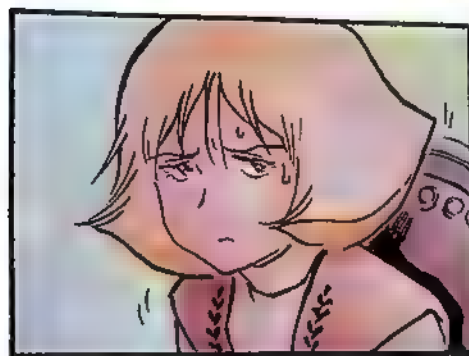
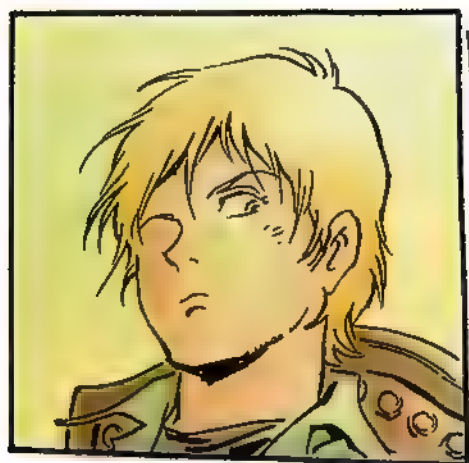
てっきりダメだ
とおも
ってました

だってスゴイ
倍率なんですよっ

ぜんぶ
全部のコロニーから
あつ
集まるんです

この何年かは
し
志願者が急増
してるんですっ



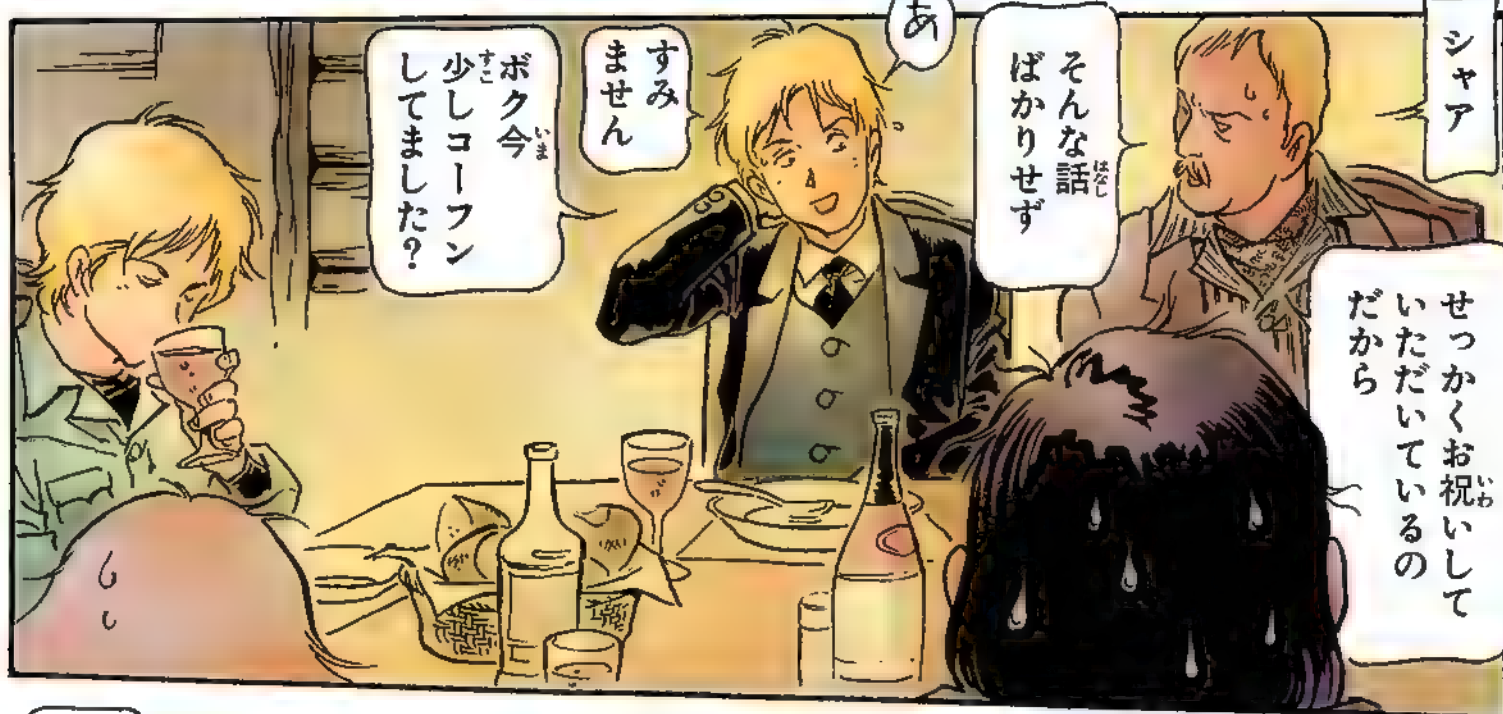


ギレン・ザビの
言うとおり
なんですっ！

スペースノイドの
富は地球に
奪われ

その富を
使って地球人は
ますます

共通の母なる大地
地球を荒廃に
導いていくっ！！



シャア

そんな話
ばかりせず

せっかくお祝いして
いただいているの
だから

あ

すみ
ません

ボク今
少しコーフン
してました？



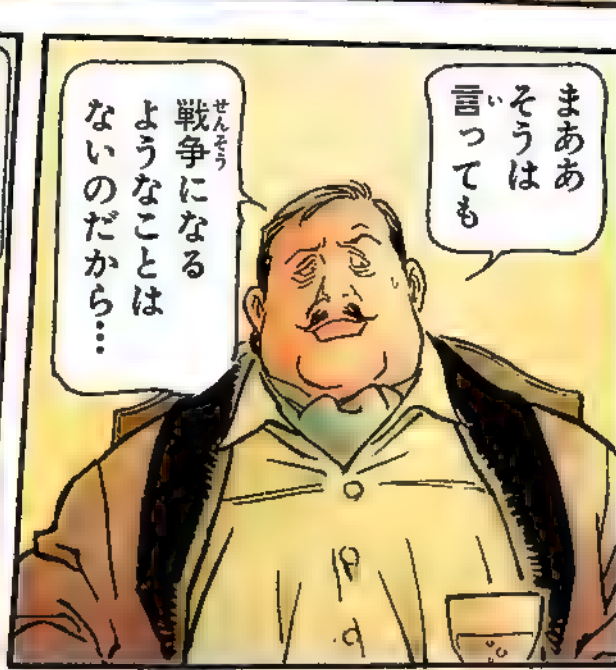
そうで
しょうか

さて



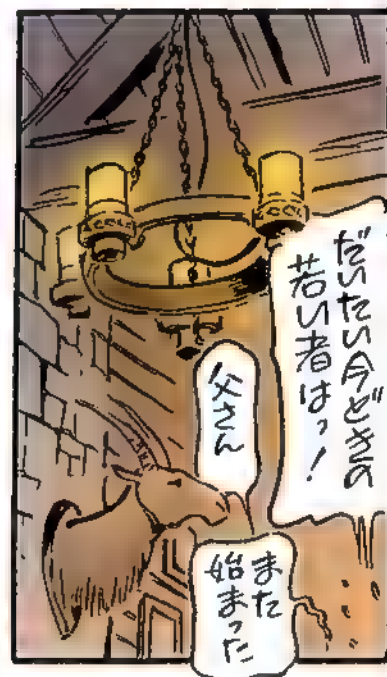
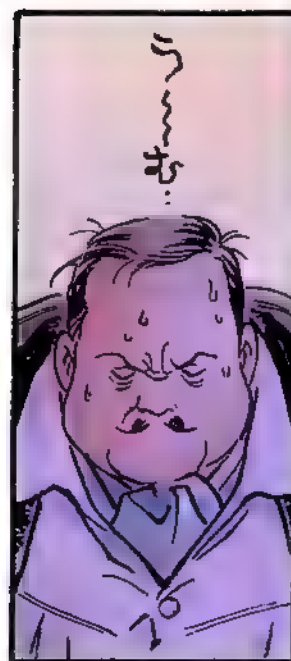
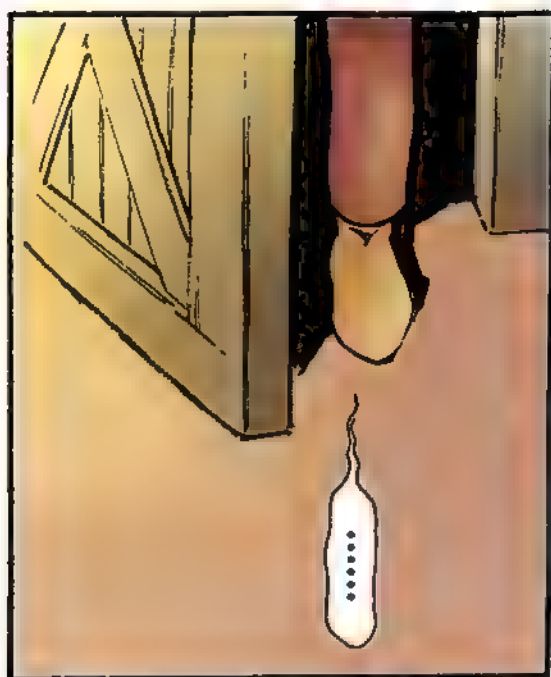
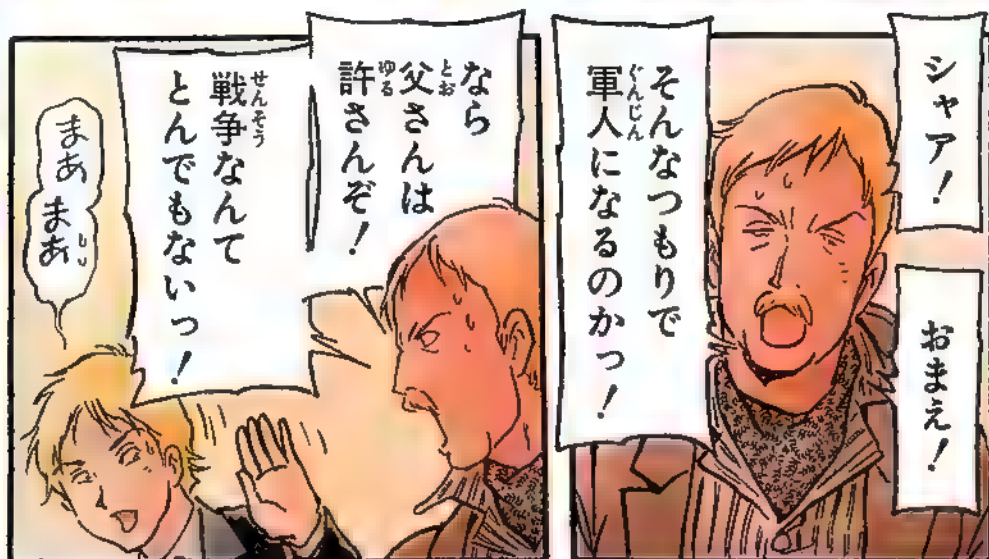
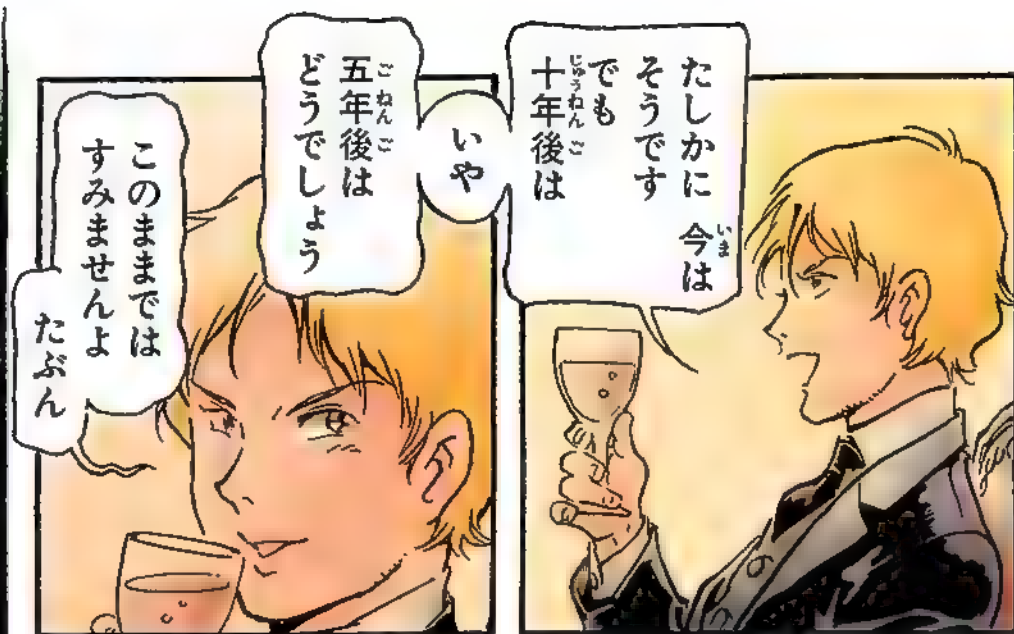
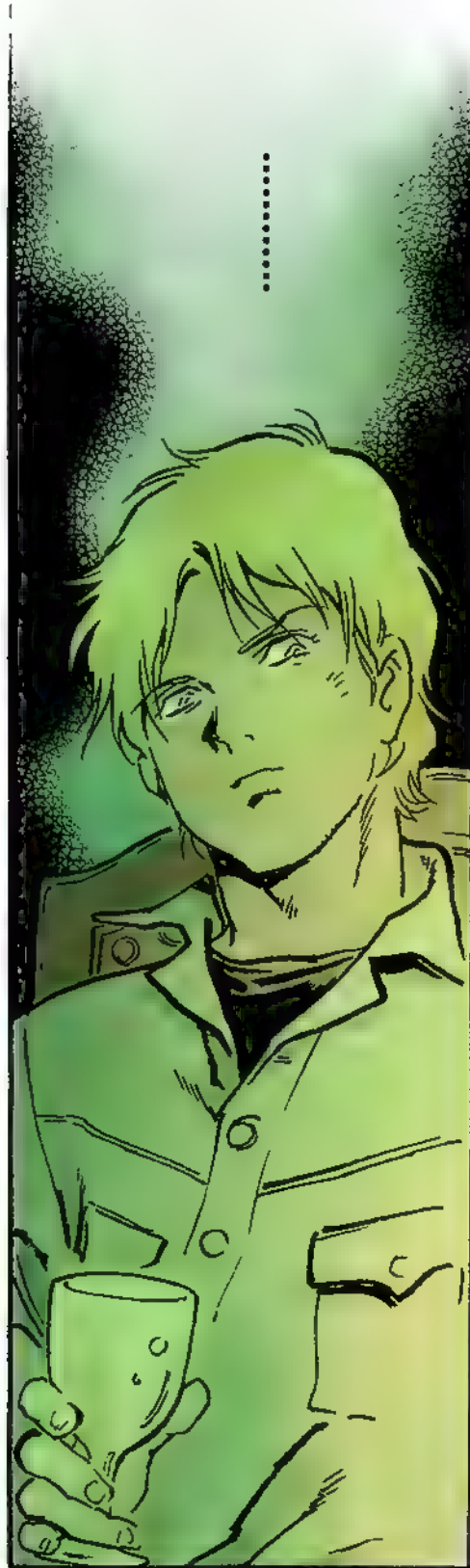
そうです
そうです

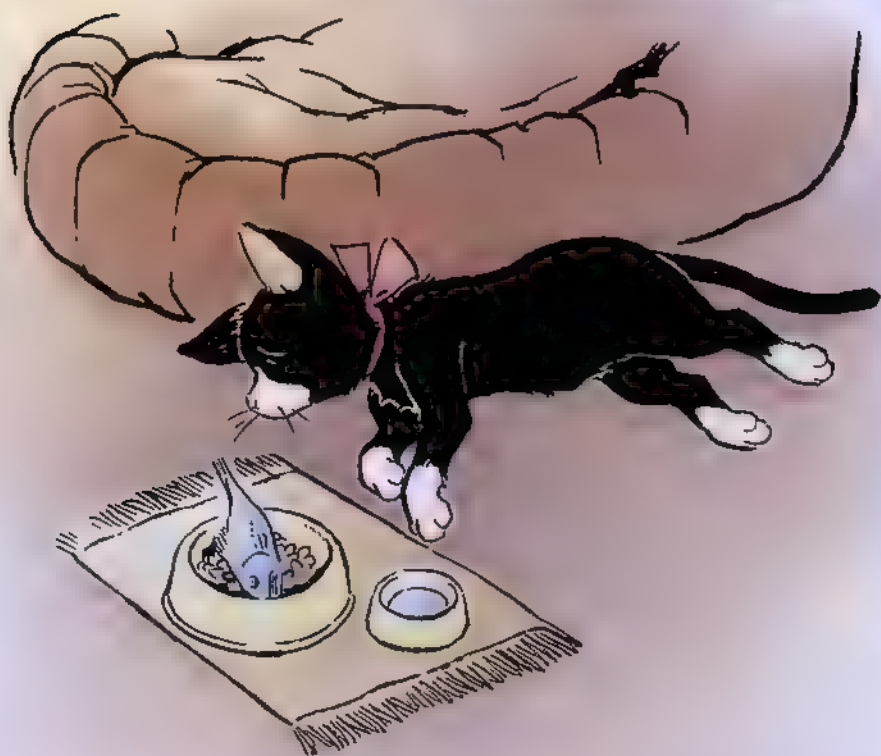
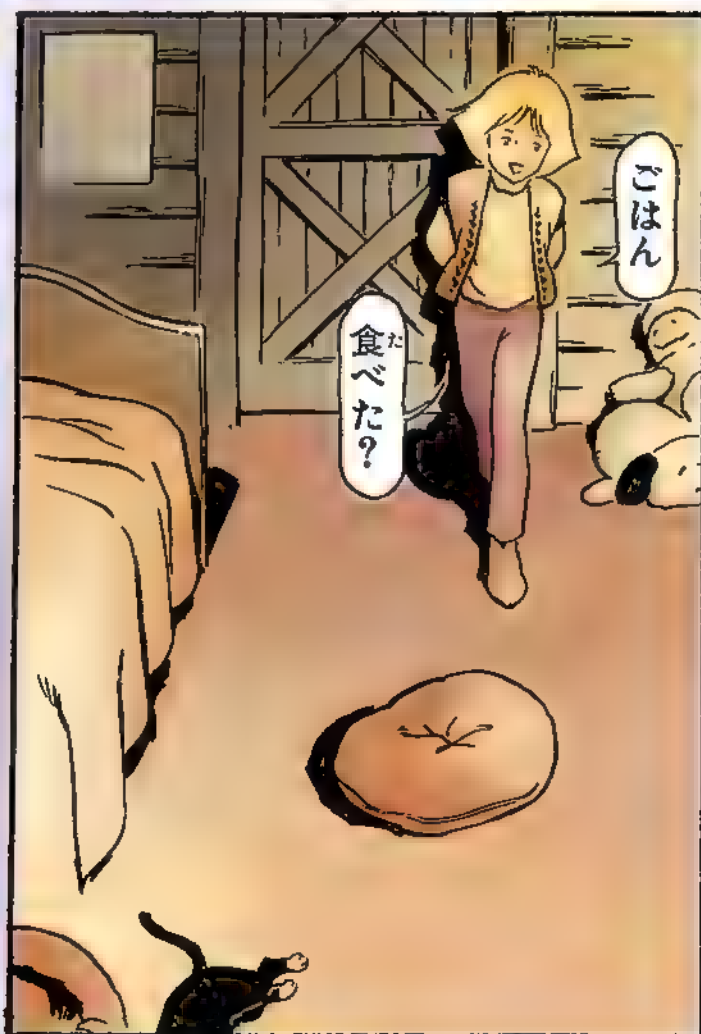
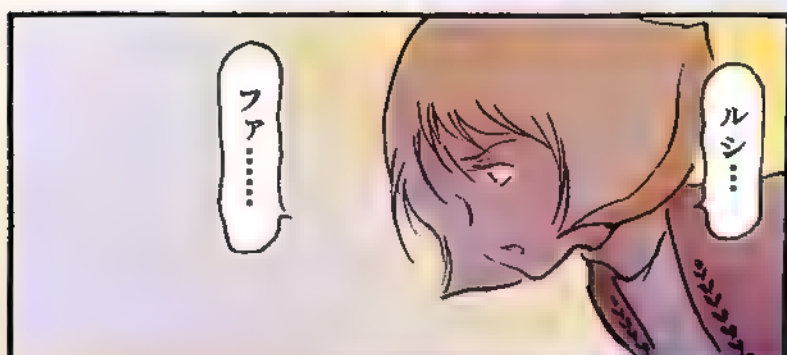
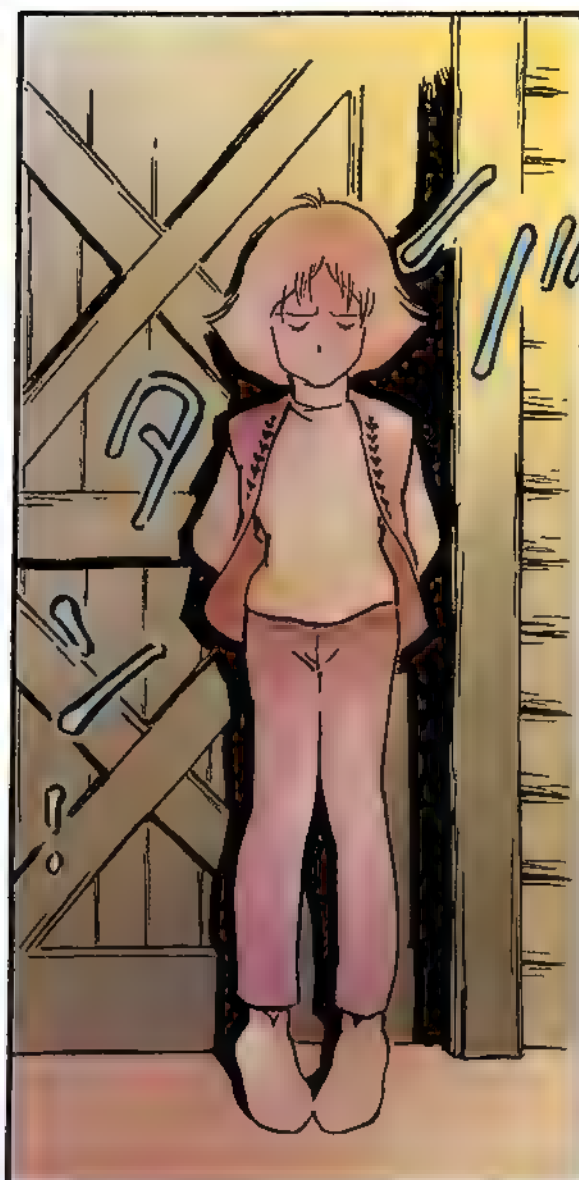
連邦と
コロニーじゃ
喧嘩になりません

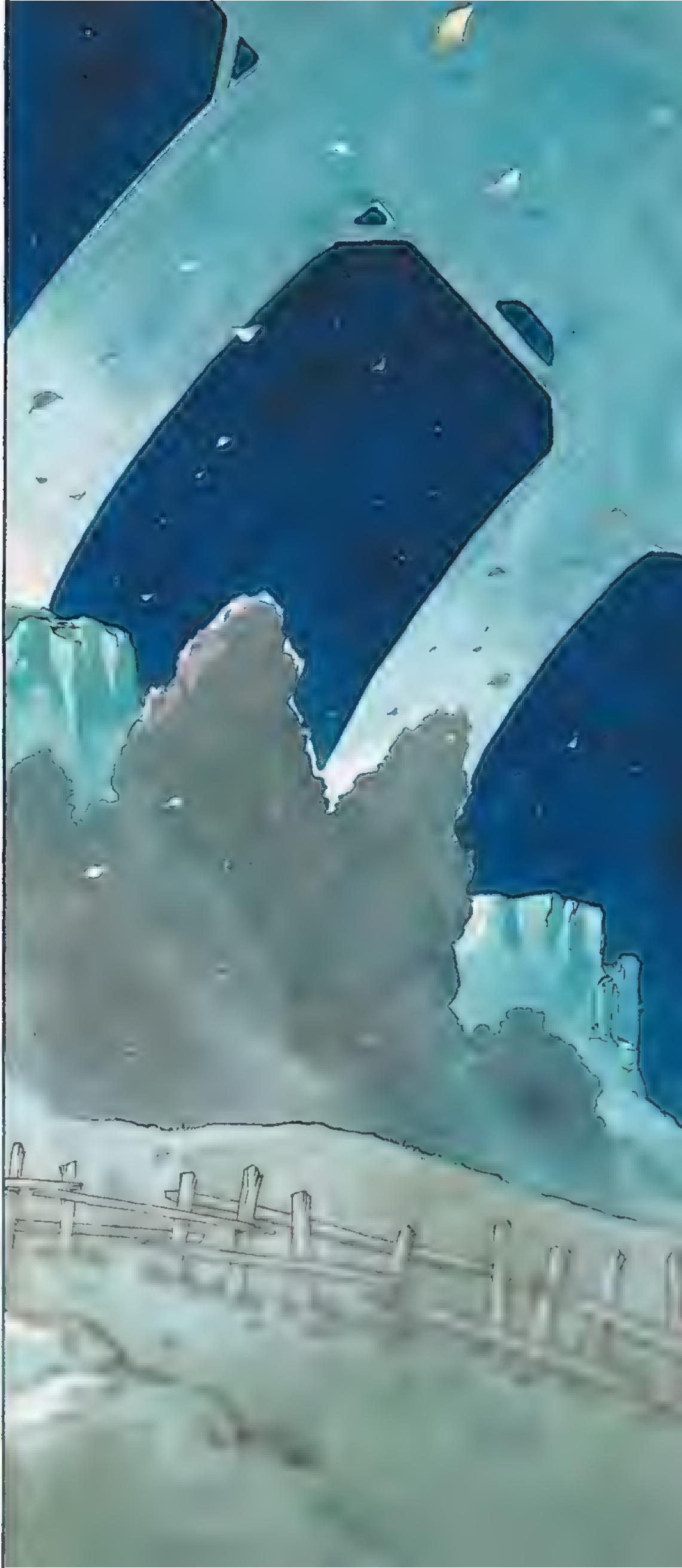


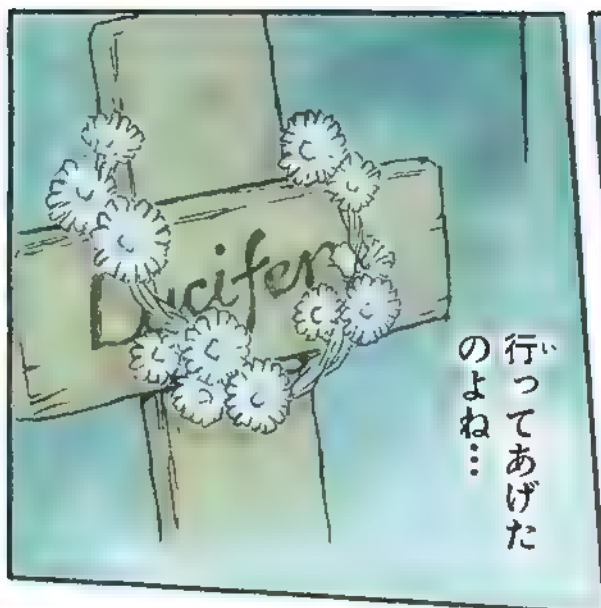
まああ
そうは
言っても

戦争になる
ようなことは
ないのだから…









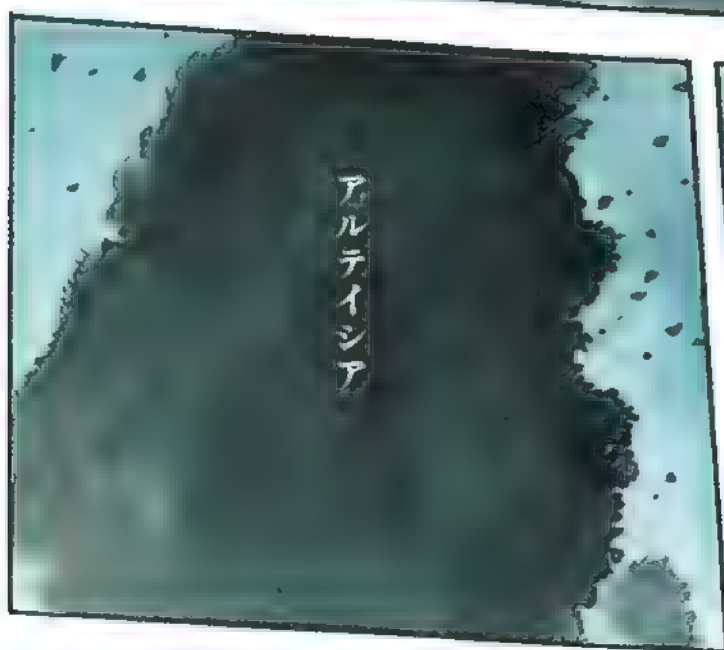
行ってあげた
のよね...



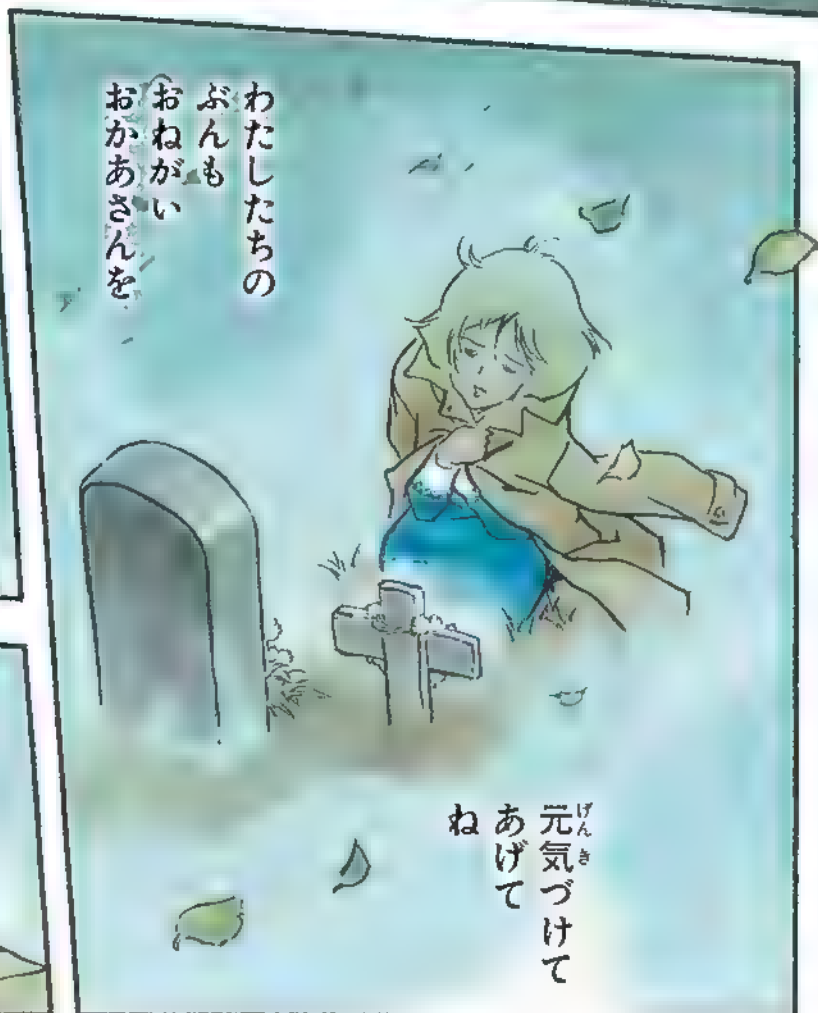
ルシファ...

おまえ

おかあさんが
ひとりや
寂しいから

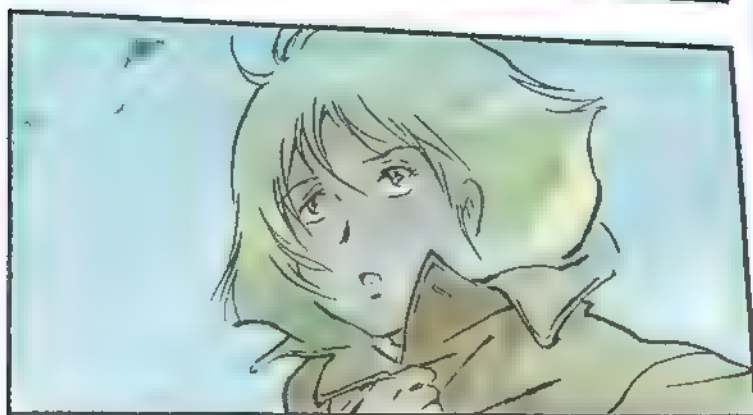


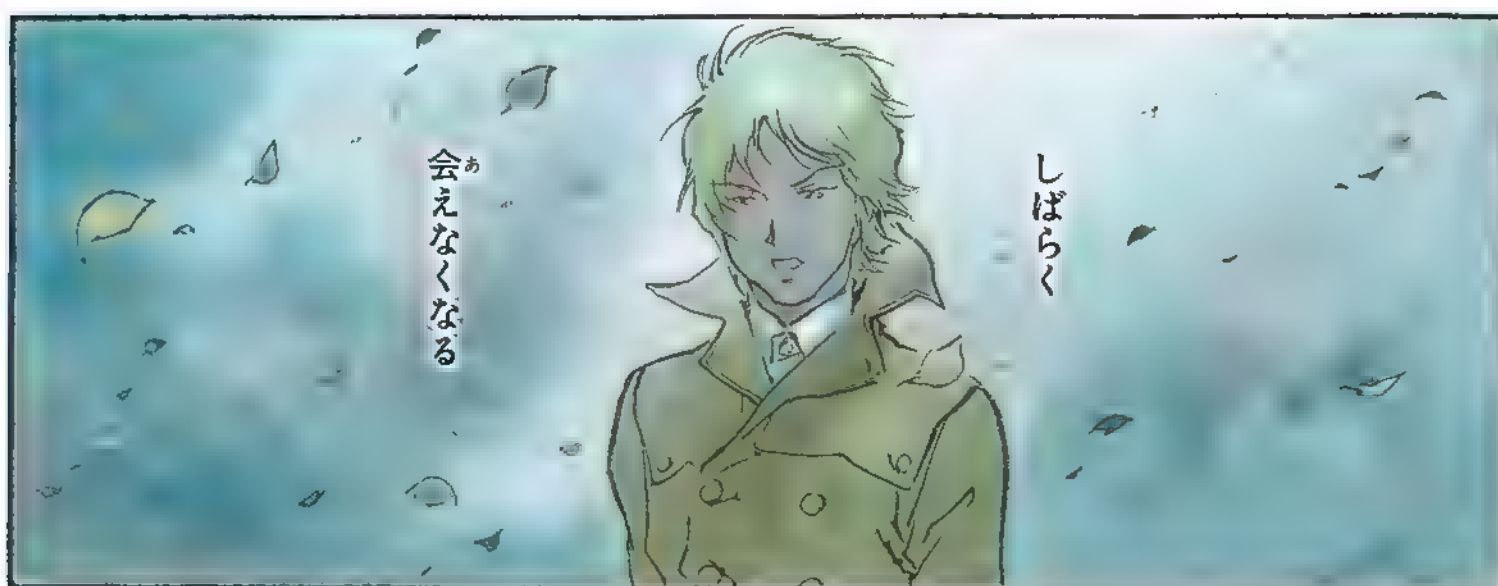
アルテイシア

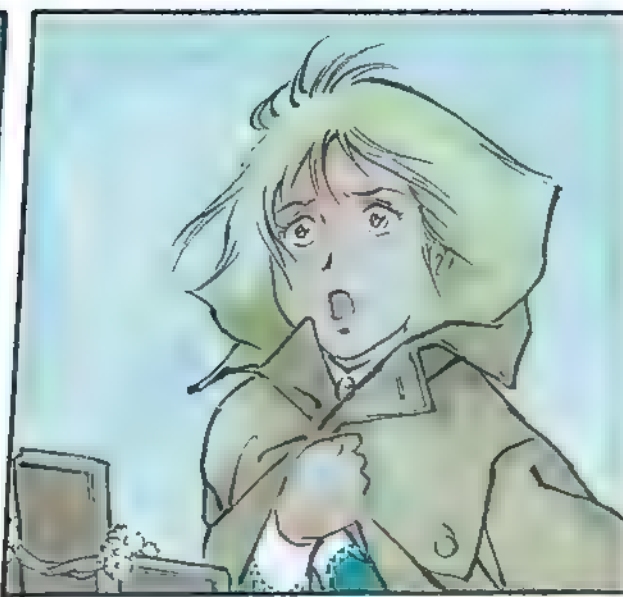
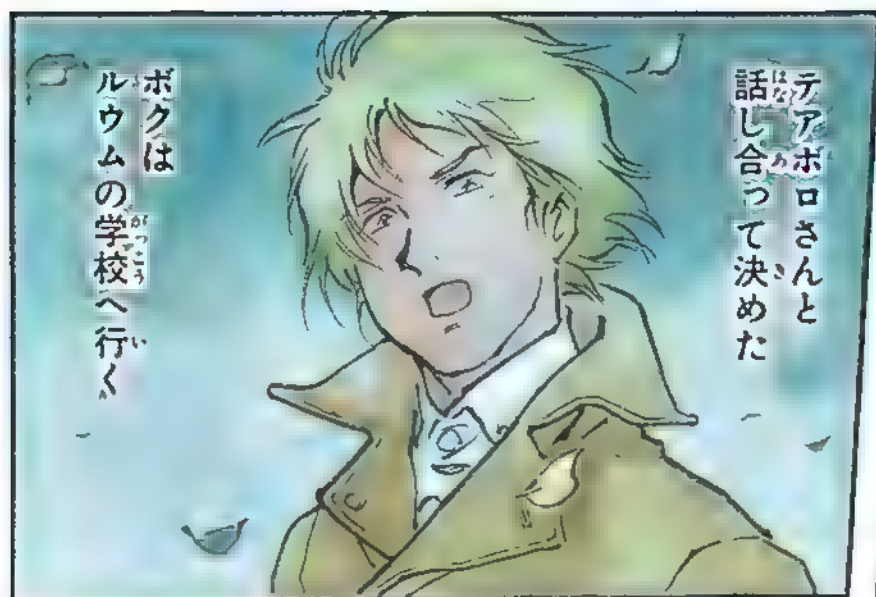


わたしたちの
ぶんも
おねがい
おかあさんを

げんき
元気づけて
あげて
ね









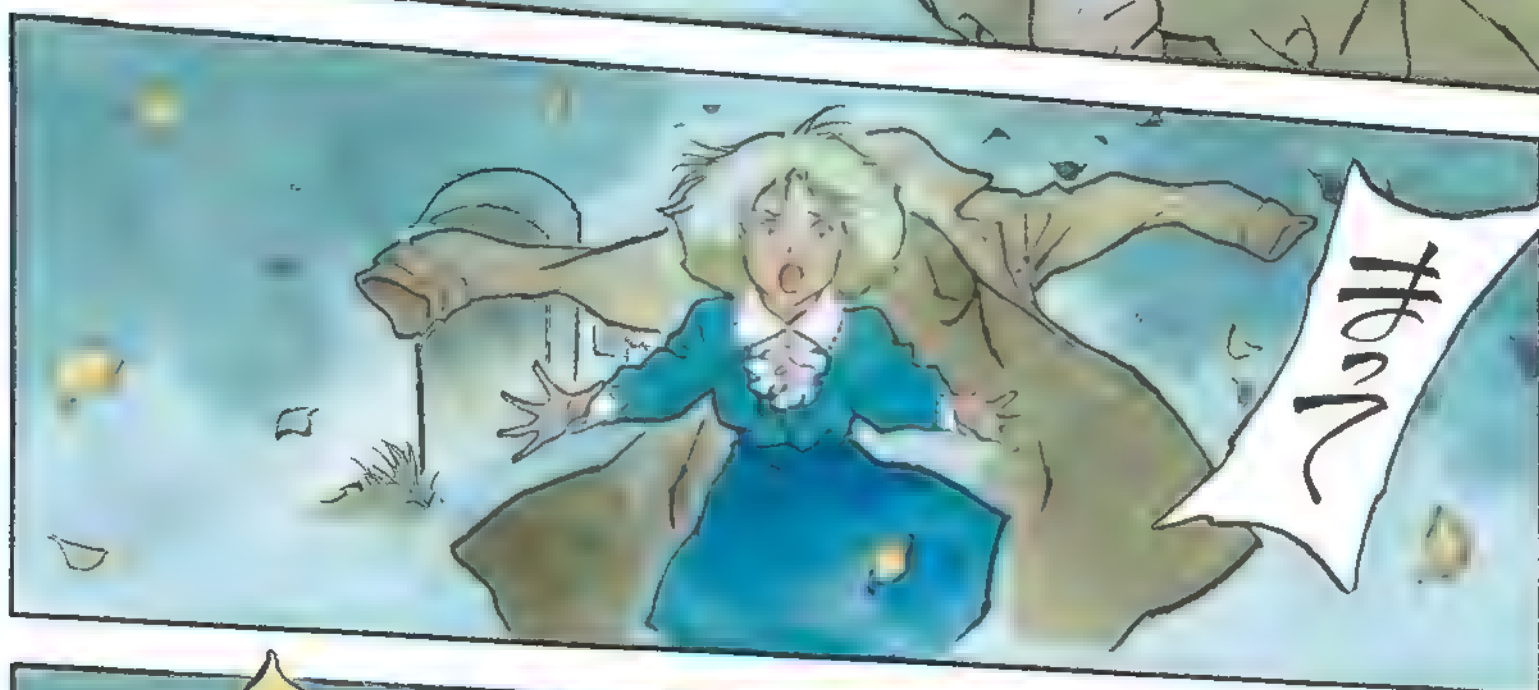
おかあさんが
死んで

ルシファも
死んじゃったのに

おにいさん
まで！



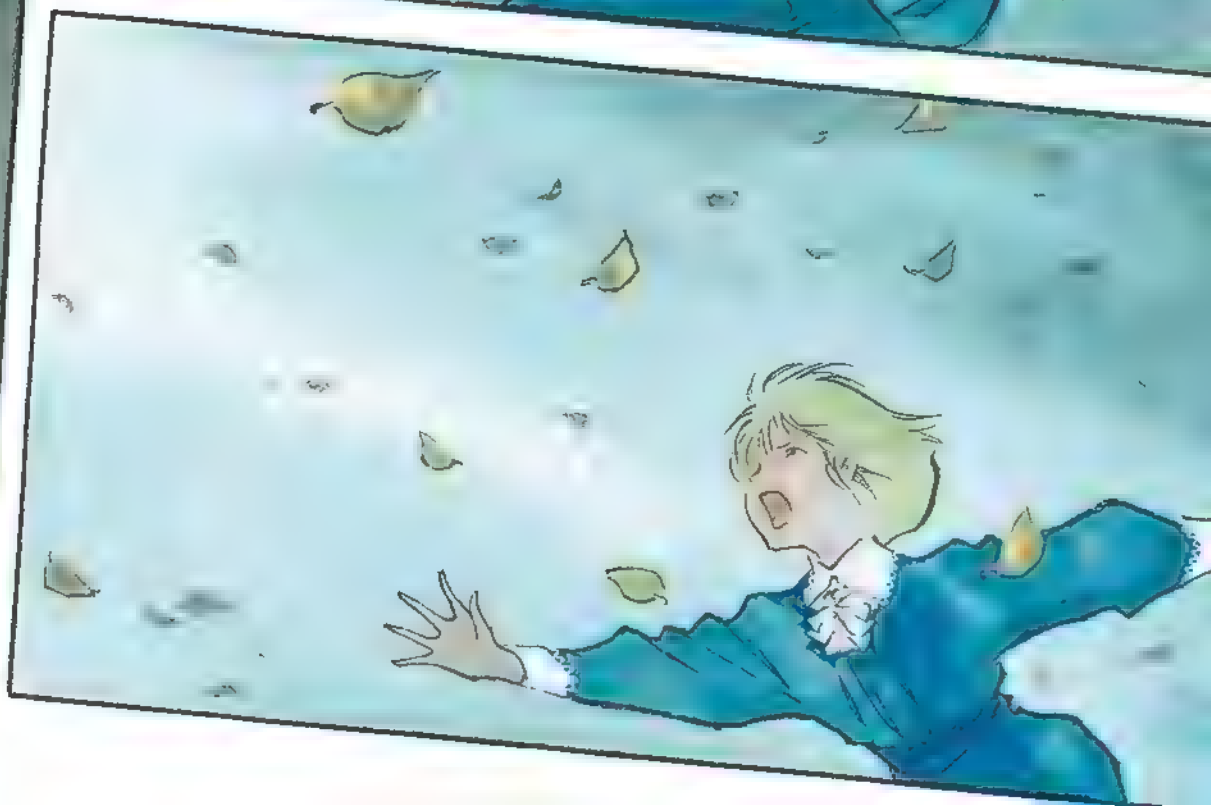
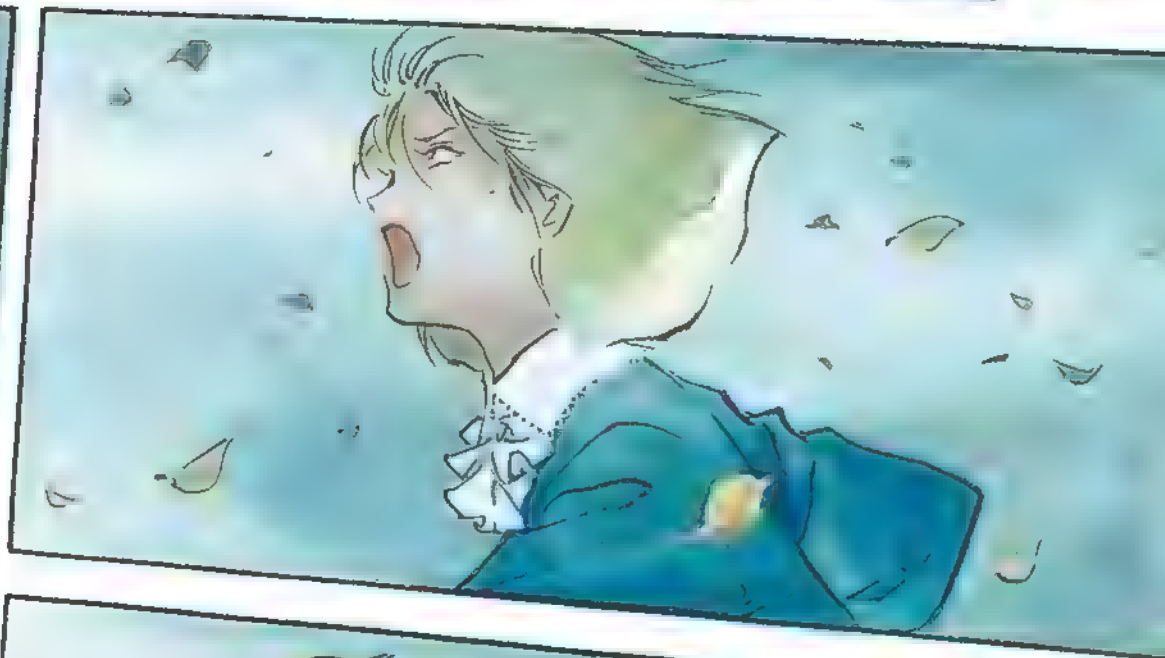
まって

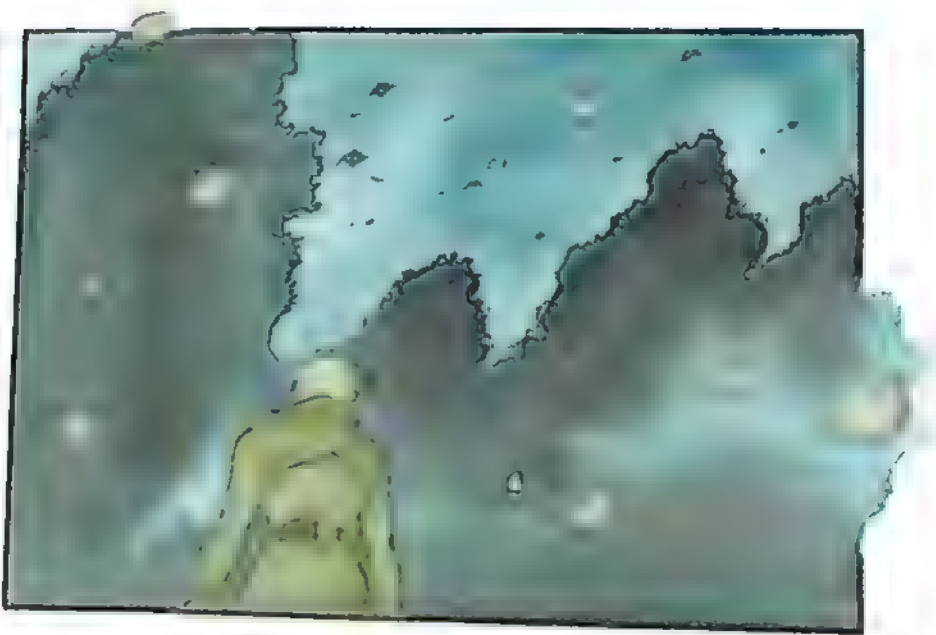


な行
でか

さ
んい







—シャア・セイラ編・後—

SECTION
IX

なんの伝手もなく
行くというのには

はつきり言っ
てボクはあんまり
賛成じゃないけど…

ボクは
士官学校の
寄宿舎に
カンヅメになる
だろうから

現実的には
力になってやれそうに
ないんだよナア…

いいさ

それで

自分の
生きる道は

自分で
見つける

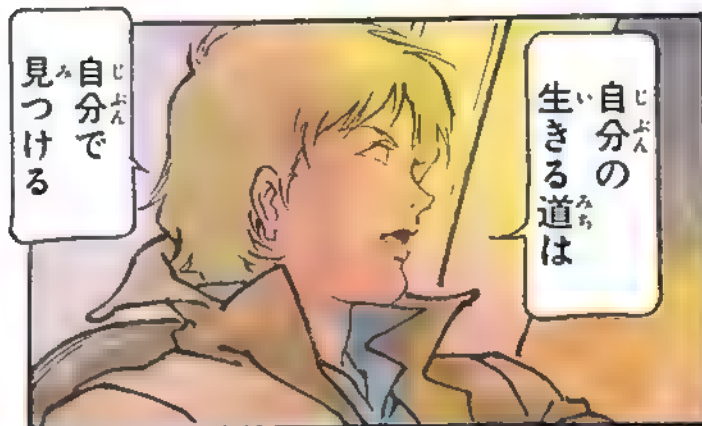
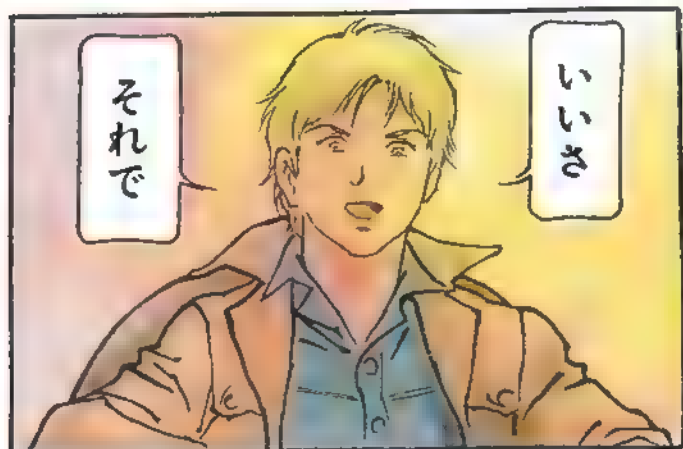
両親が死んで

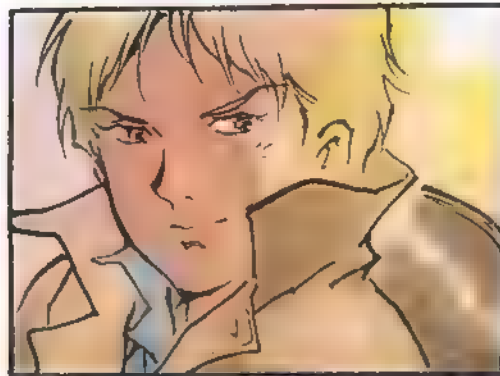
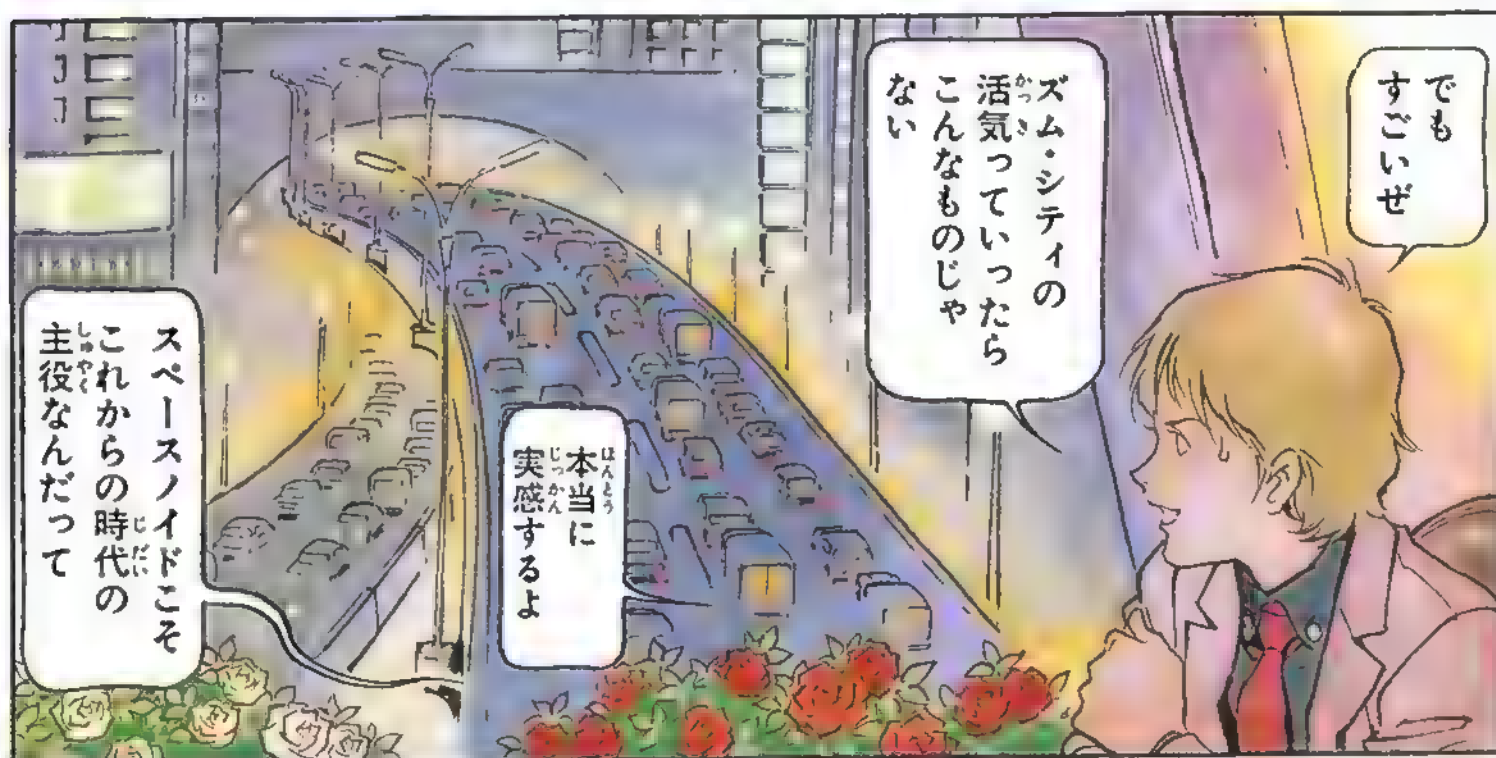
テアポロさんの
養子になって
ぬくぬくと
育てられて
ボクは世間
識らずだ

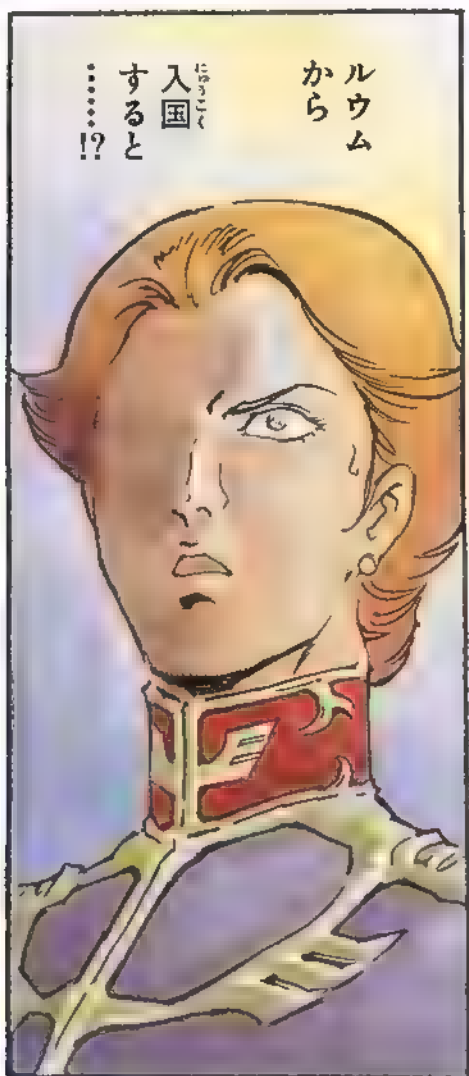
一度 自分自身を
ためしてみたいんだ

新しい世界で
一人きりになって

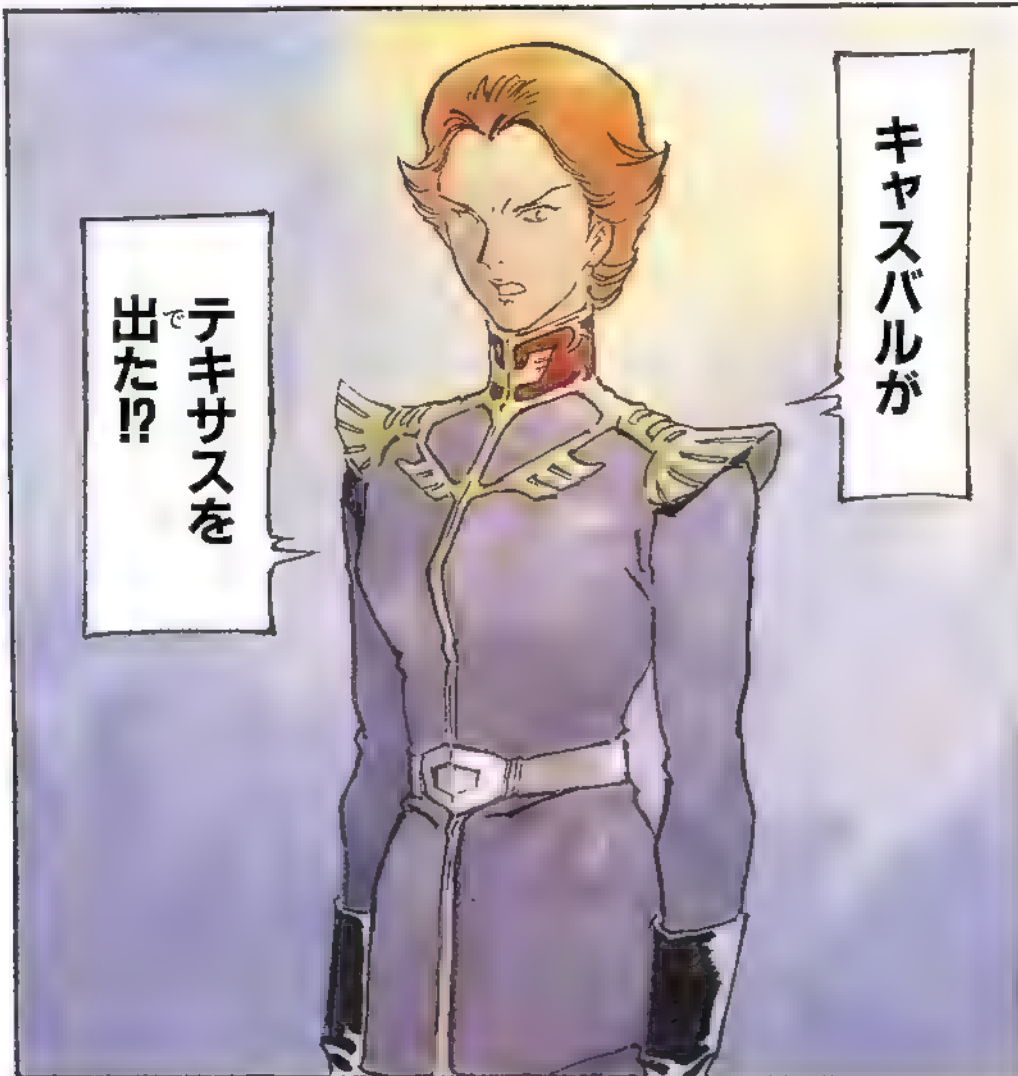
まあね…







ルウム
から
入国
すると
……!?



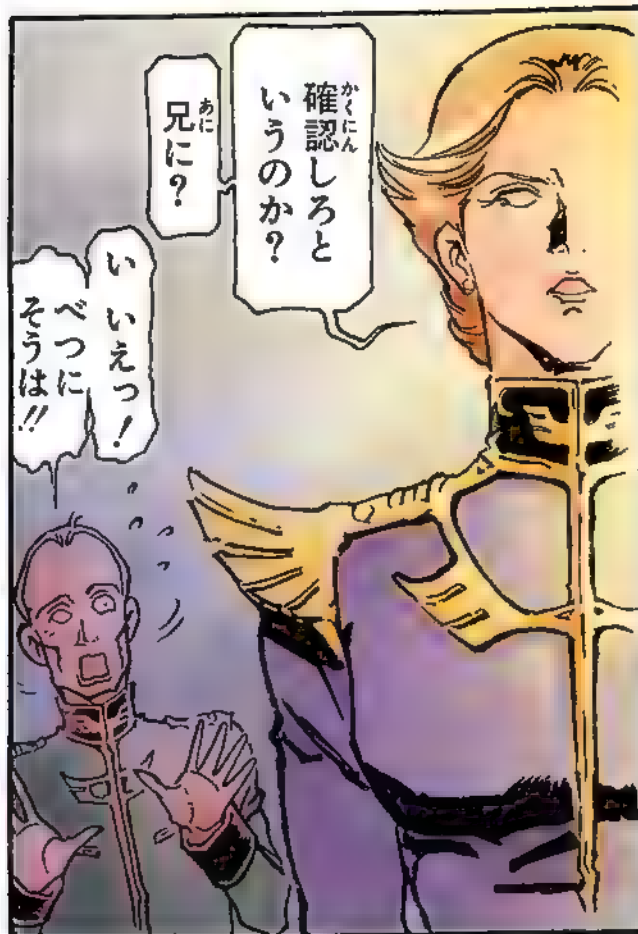
キヤスバルが

テキサスを
出た!?



それは

ギレン閣下の
御意志でも
あると？



確認しろと
いうのか？

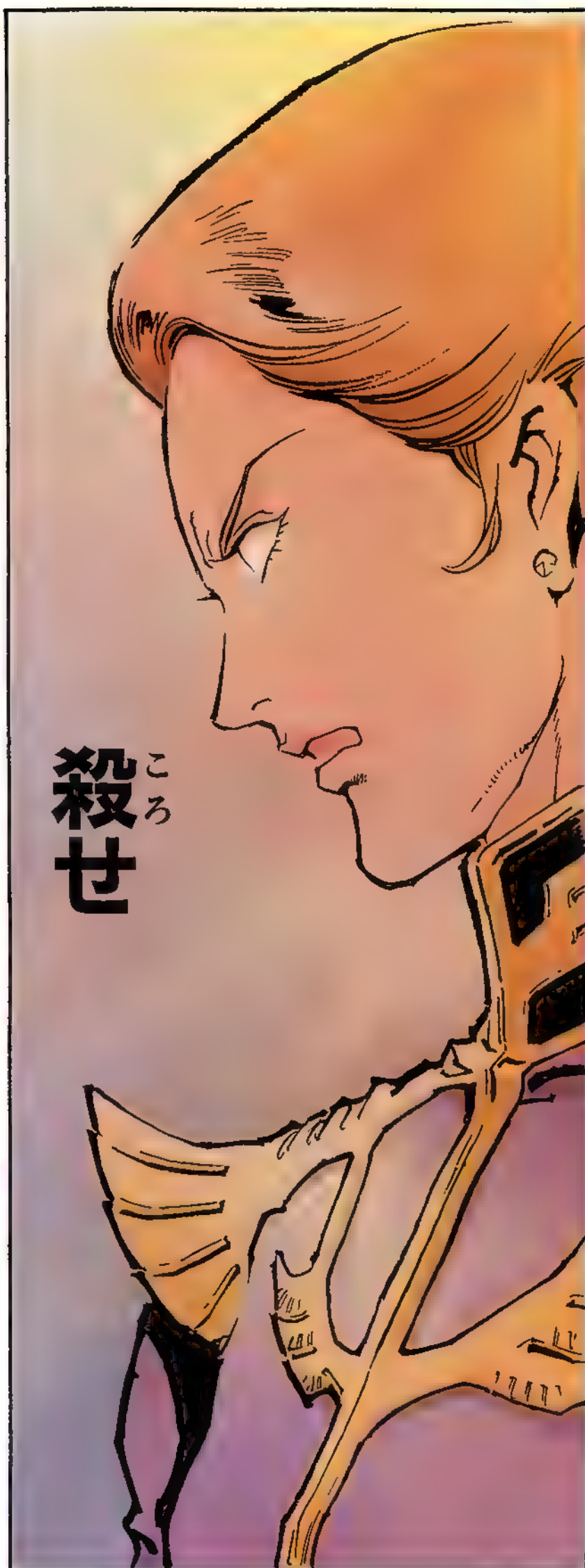
兄に？

いいえっ！
べつに
そうは！！

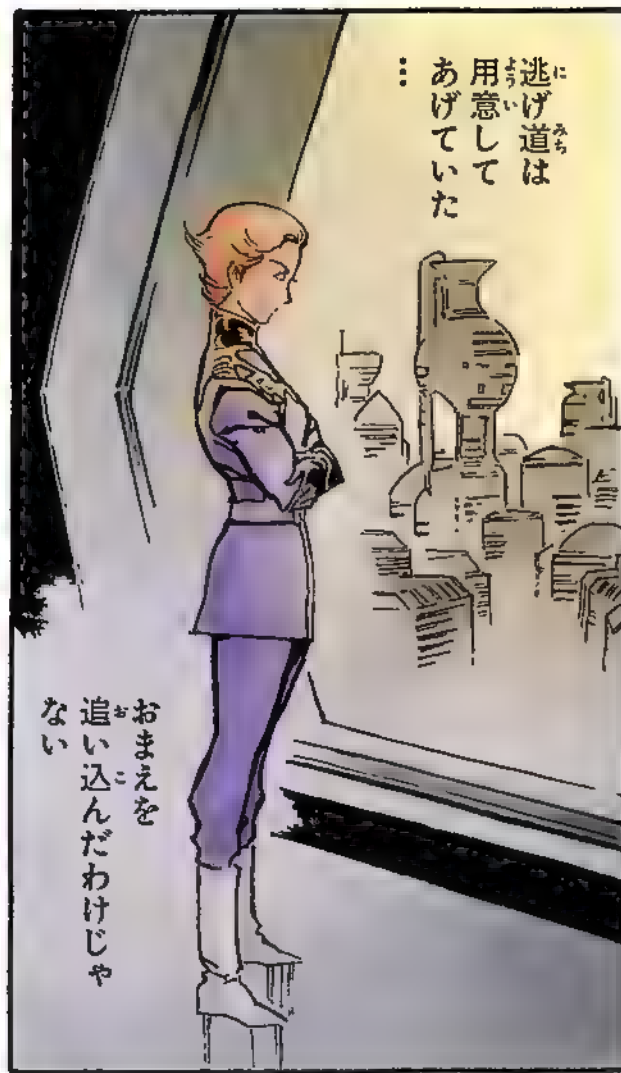
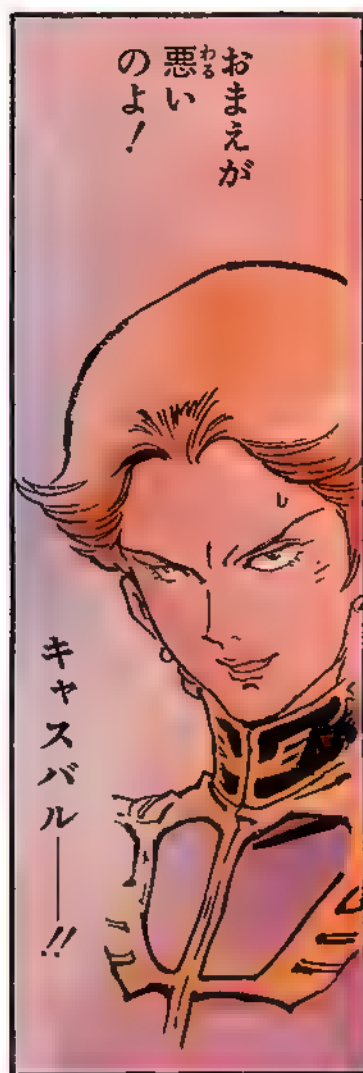
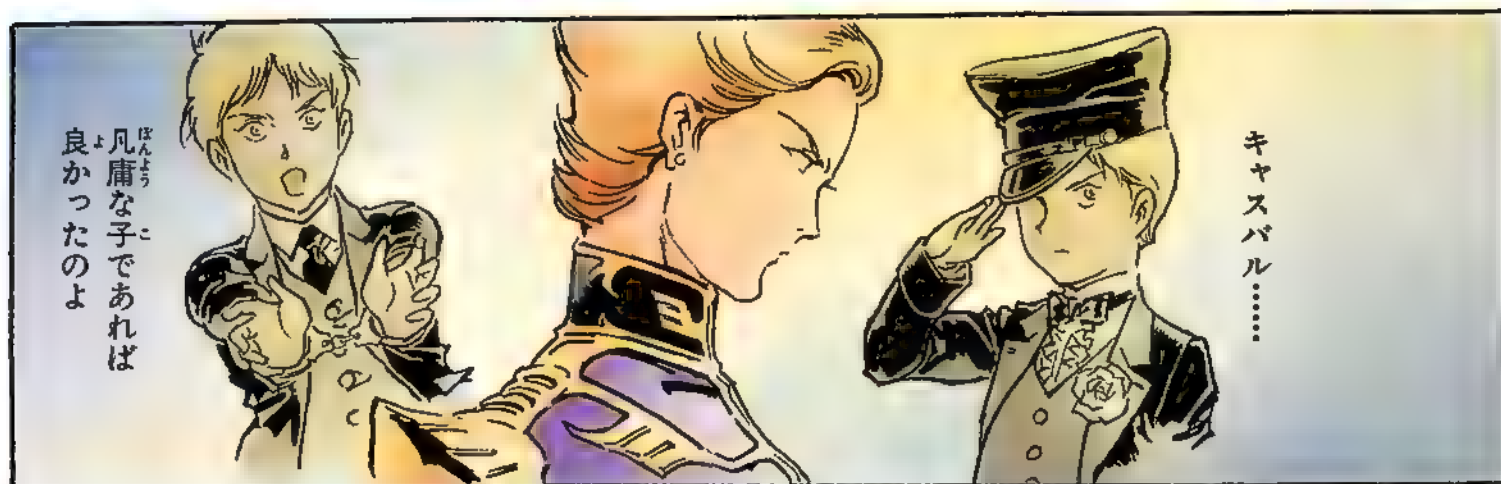
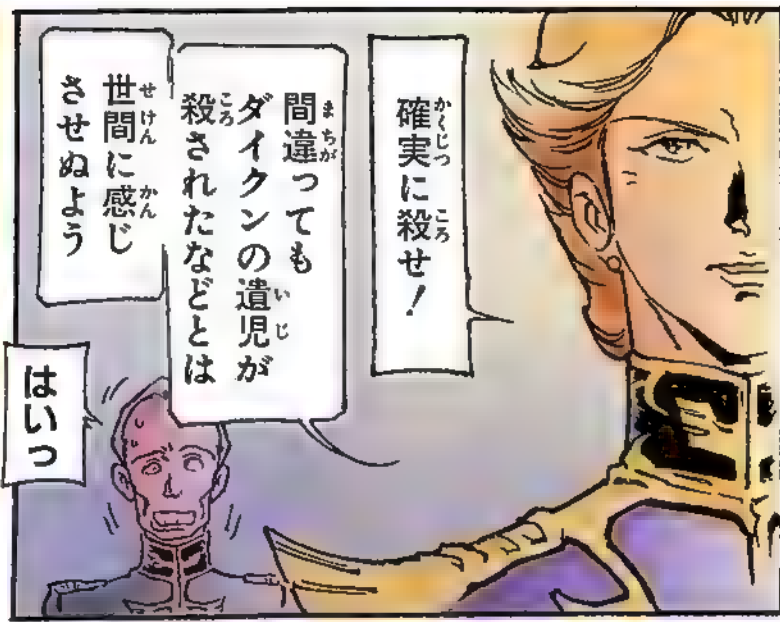
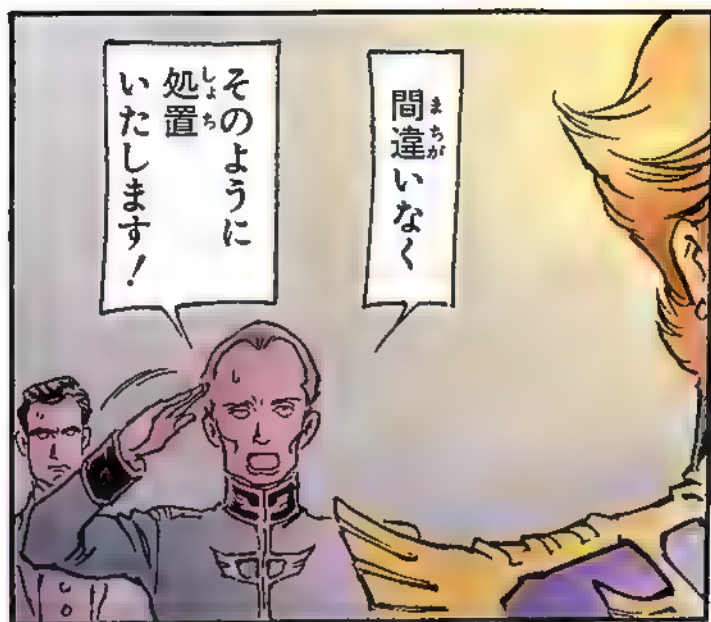


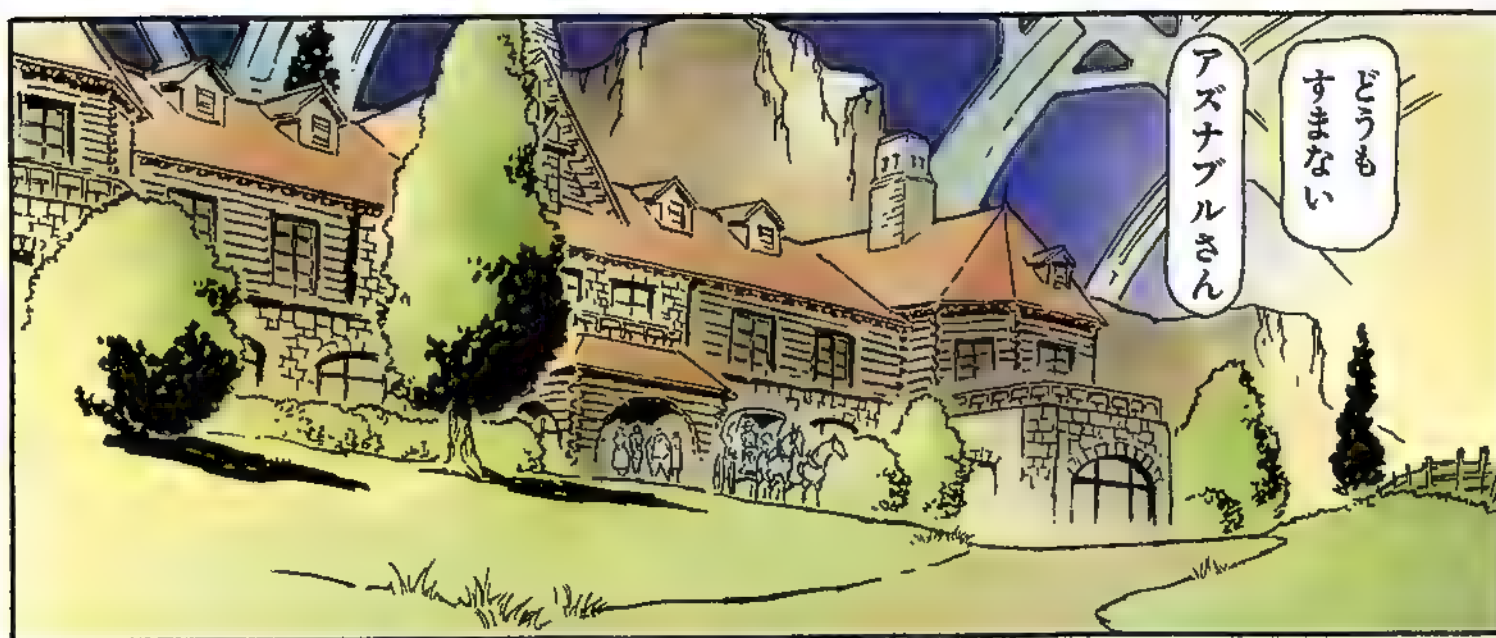
キヤスバルの帰国を
許す者なぞ

ザビ家にはいないっ！！



ころ
殺せ





どうも
すまない

アズナブルさん



どうしてもと言って
きかないものだから

なんと言いつても
もどらないとは
思うが...

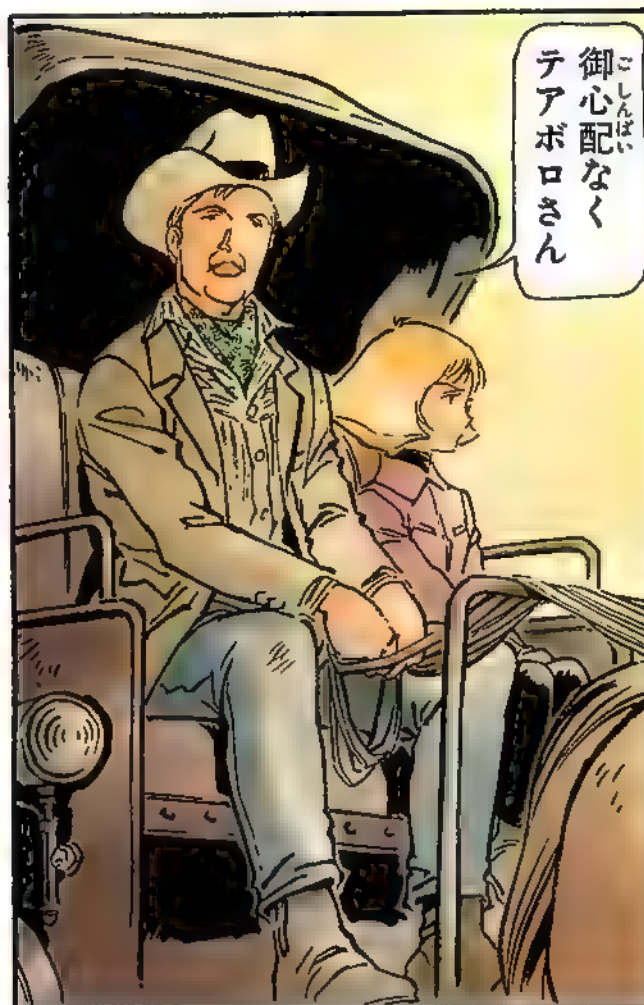
洪々とはいえ
一度わたしは
許したのだから



でも一度
むこうへ
行ってみれば

セイラさんの
心配も
わかる

安心しますよ



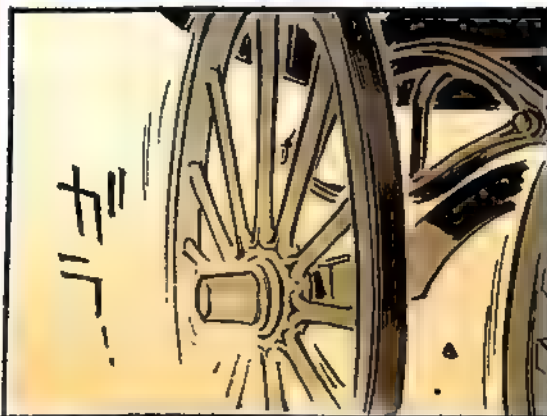
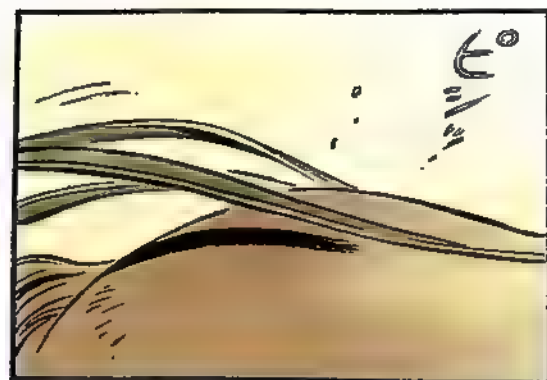
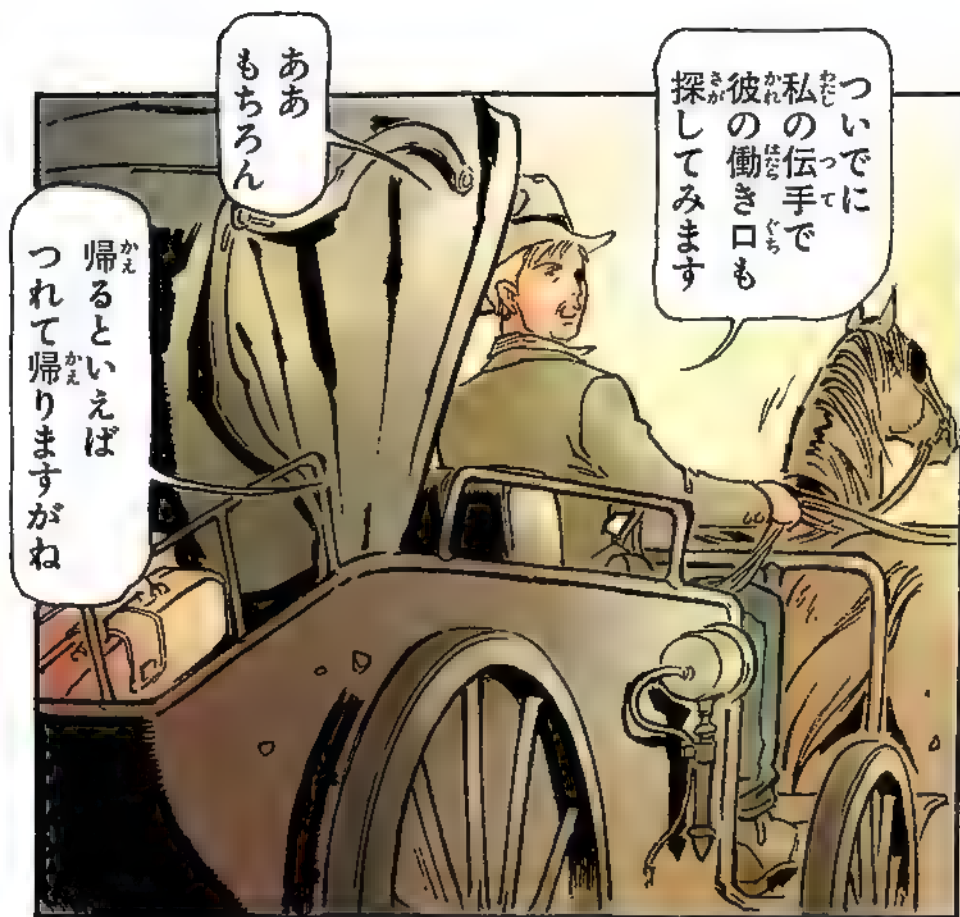
御心配なく
テアボロさん



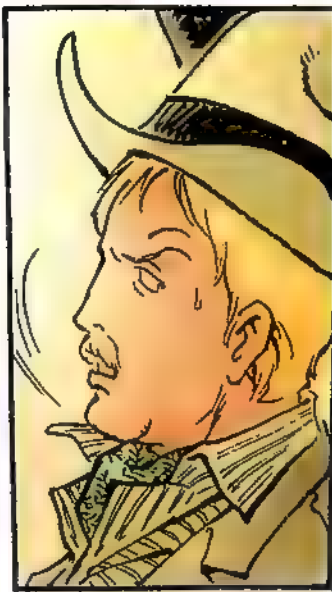
私も

エドワウ君なら
ルウムでやって
いけると思う

むしろ
その方が
いいでしょう



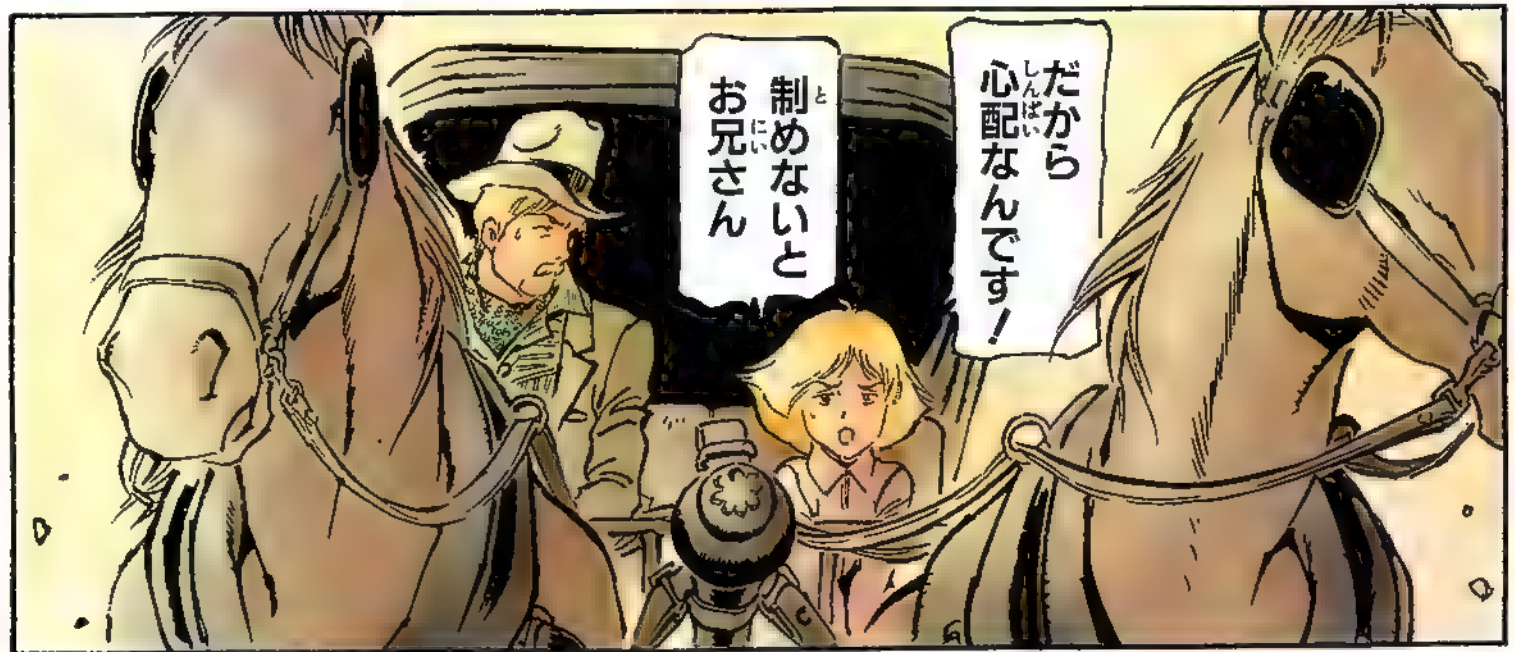
おにいさんは
ジオンに行こうと
してるんです



お義父さんには
ウソをついて
いるんです

ジオンに
行って

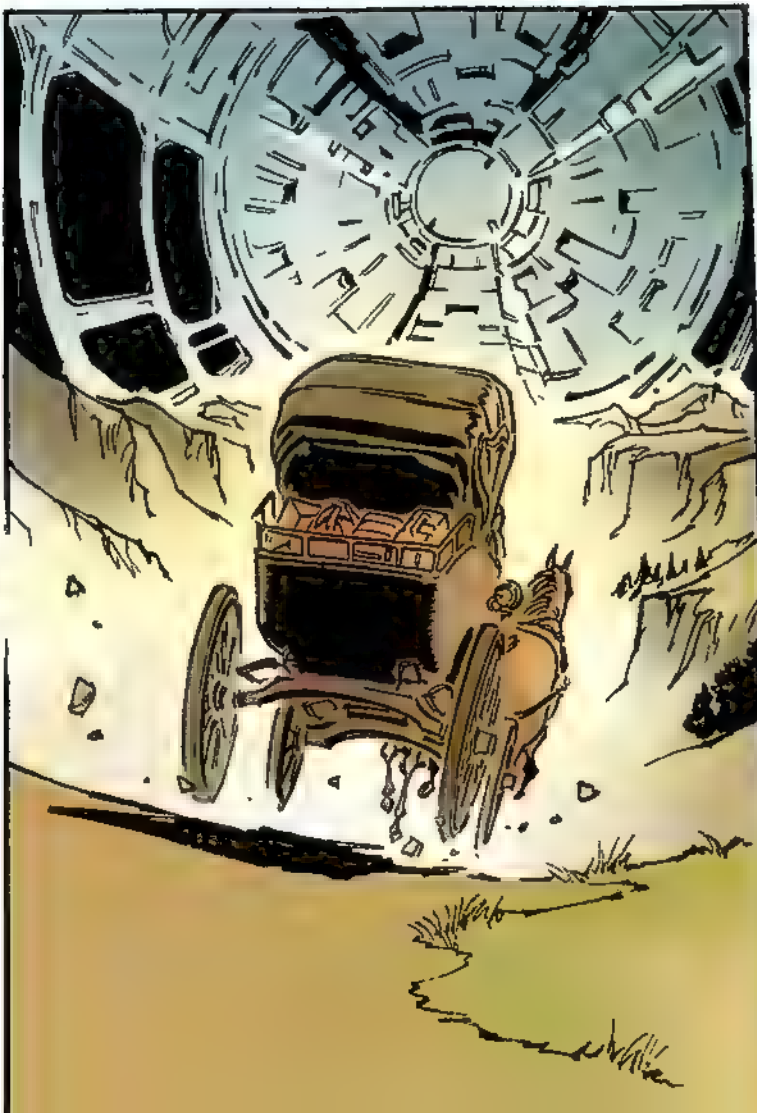
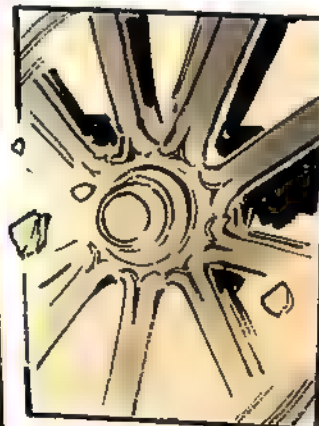
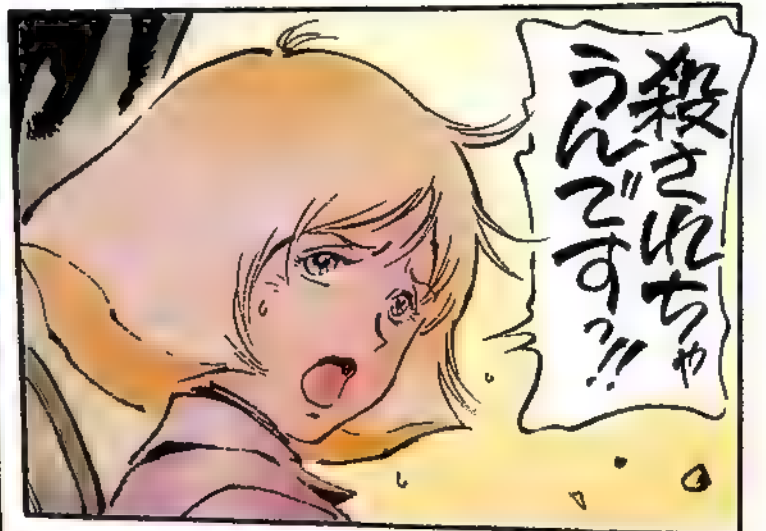
お母さんの仇を
討つつもりなんです

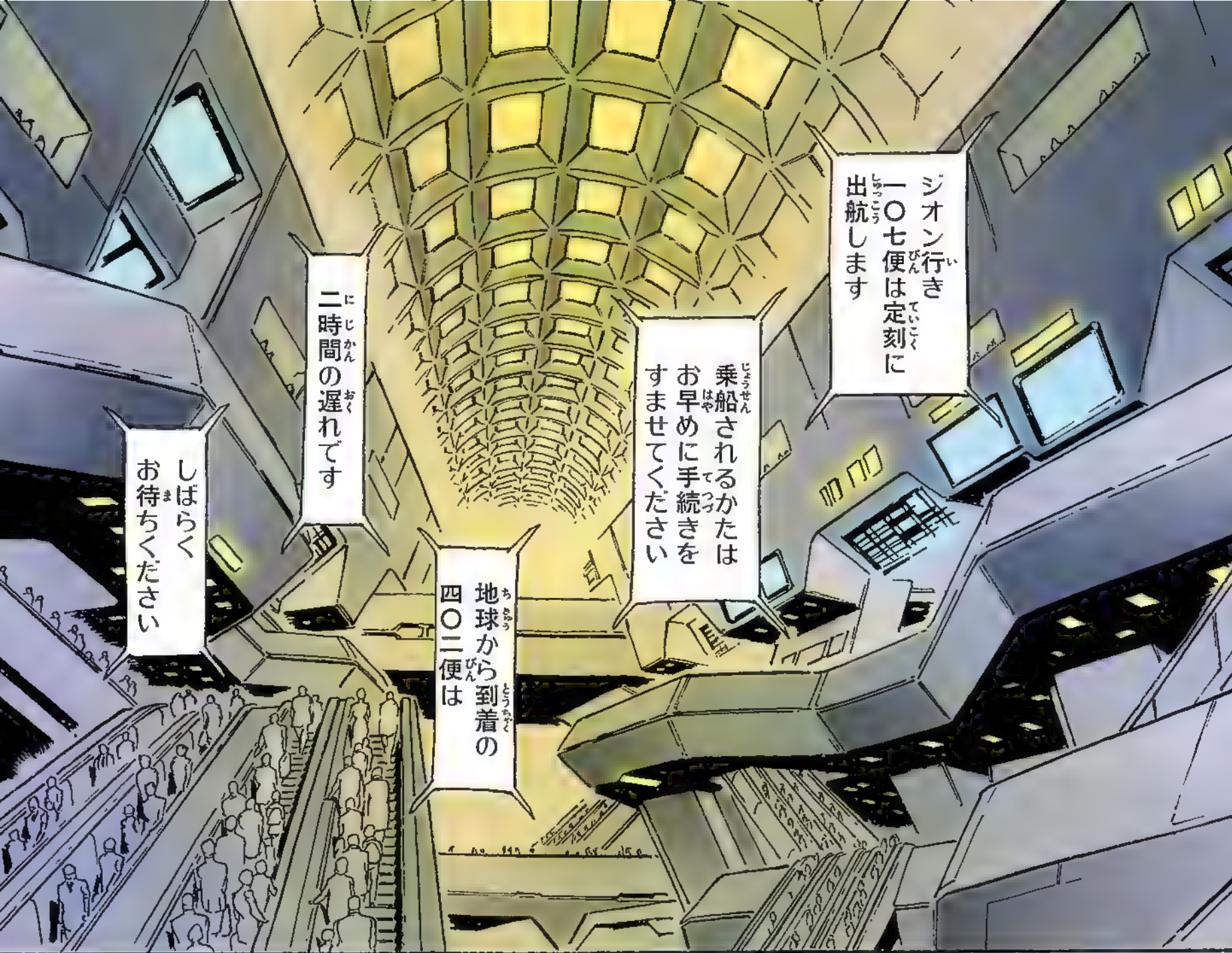


だから
心配なんです!

制めないと
お兄さん

殺されちゃ
うんです?!!





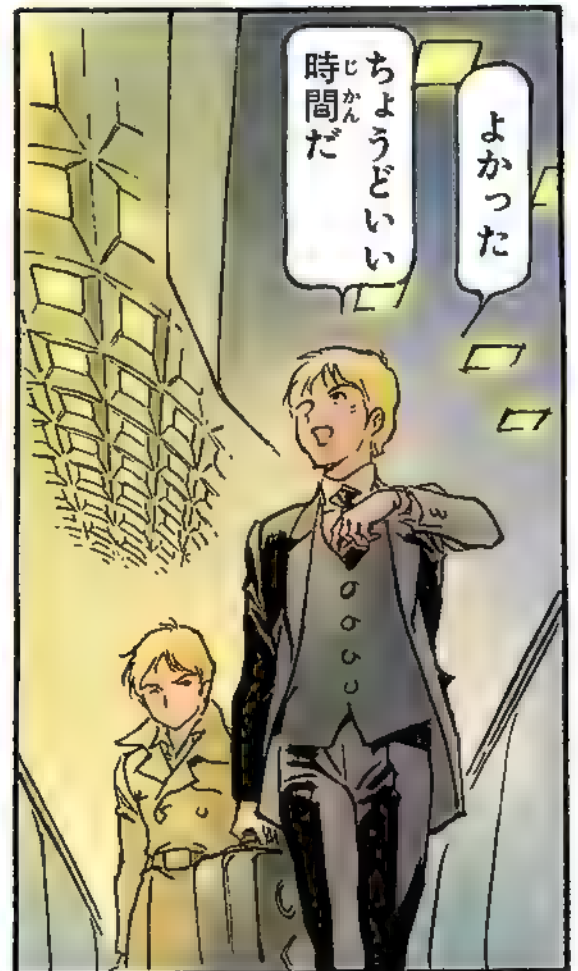
ジオン行き
一〇七便は定刻に
出航します

乗船されるかたは
お早めに手続きを
すませてください

地球から到着の
四〇二便は

二時間の遅れです

しばらく
お待ちください



よかった

ちょうどいい
時間だ



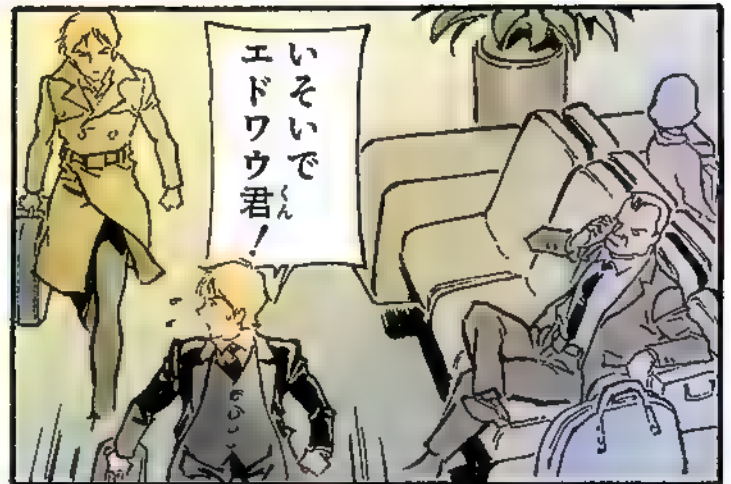
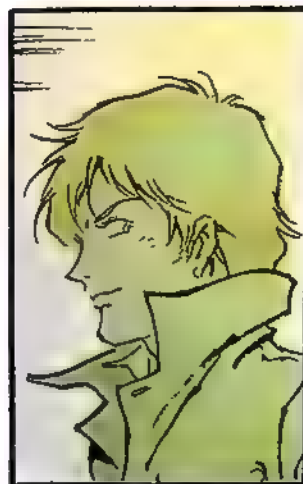
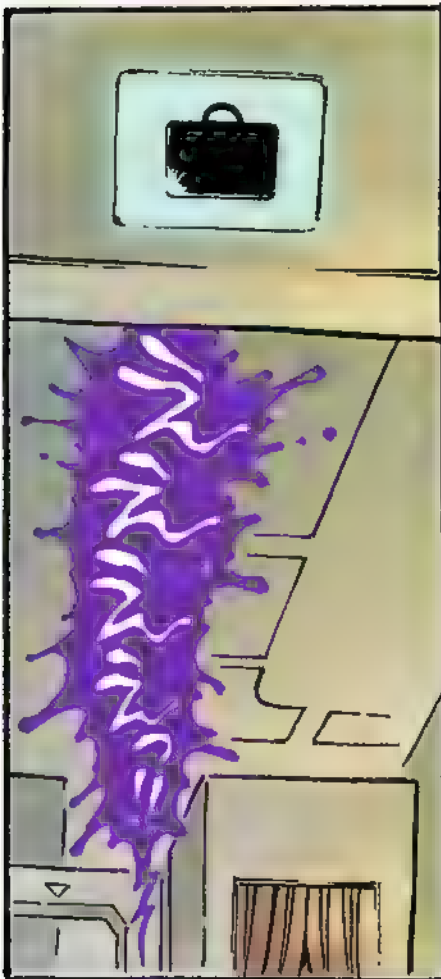
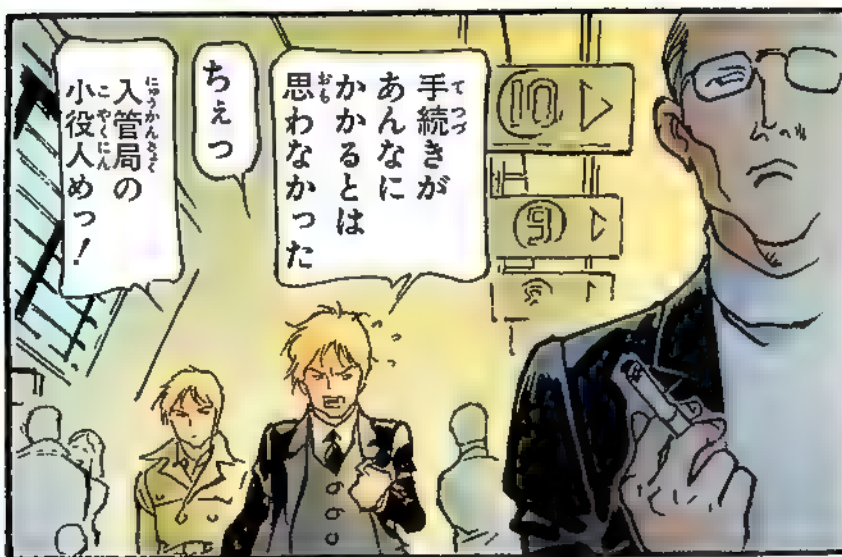
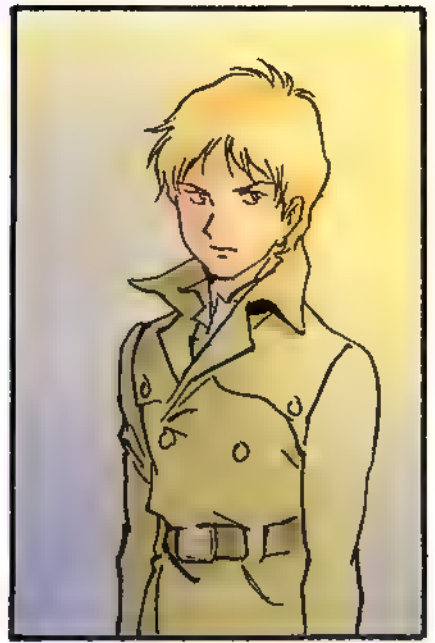
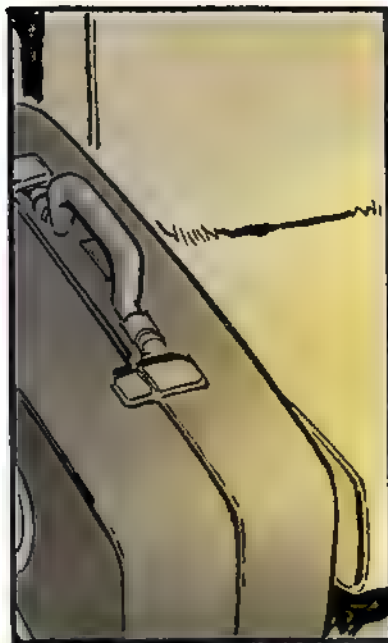
連邦の通達とかで
最近は出入国の
チェックが厳しいんだ

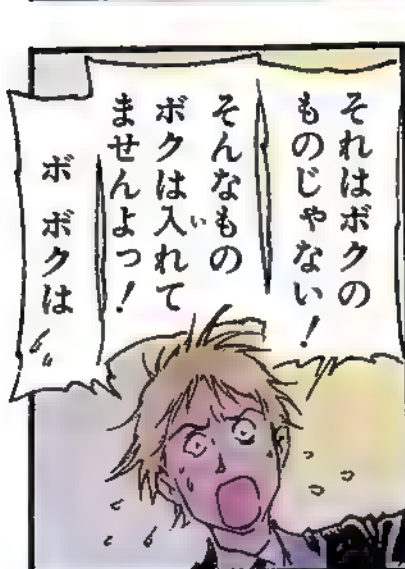
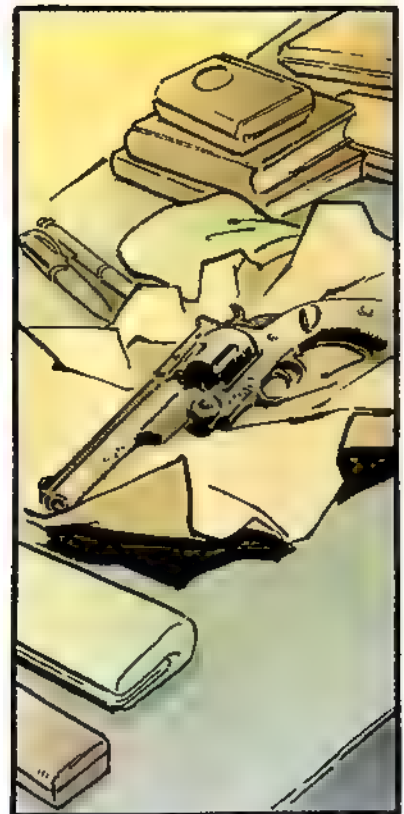
特にジオン
関係はね



ちょっと
待っててくれ

ボクは就学ビザ
だから出国手続き
をしてくる





そんなことしたら
乗船できないイ!

入学手続きに
遅れちゃうウ!!

そうすると
入学でき
ない?

そうじゃ
ないけど!!

トイレ?

ええ

長引くようなので
その前に...

とんだ失点
だよっ!
最初からっ!!

ちよつと
いい考えが
ある

生理的
現象なら
いたしかた
ない

いそいで
するように!

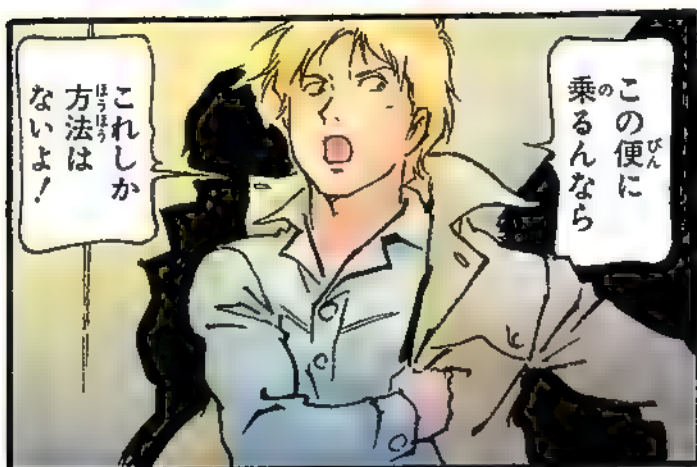
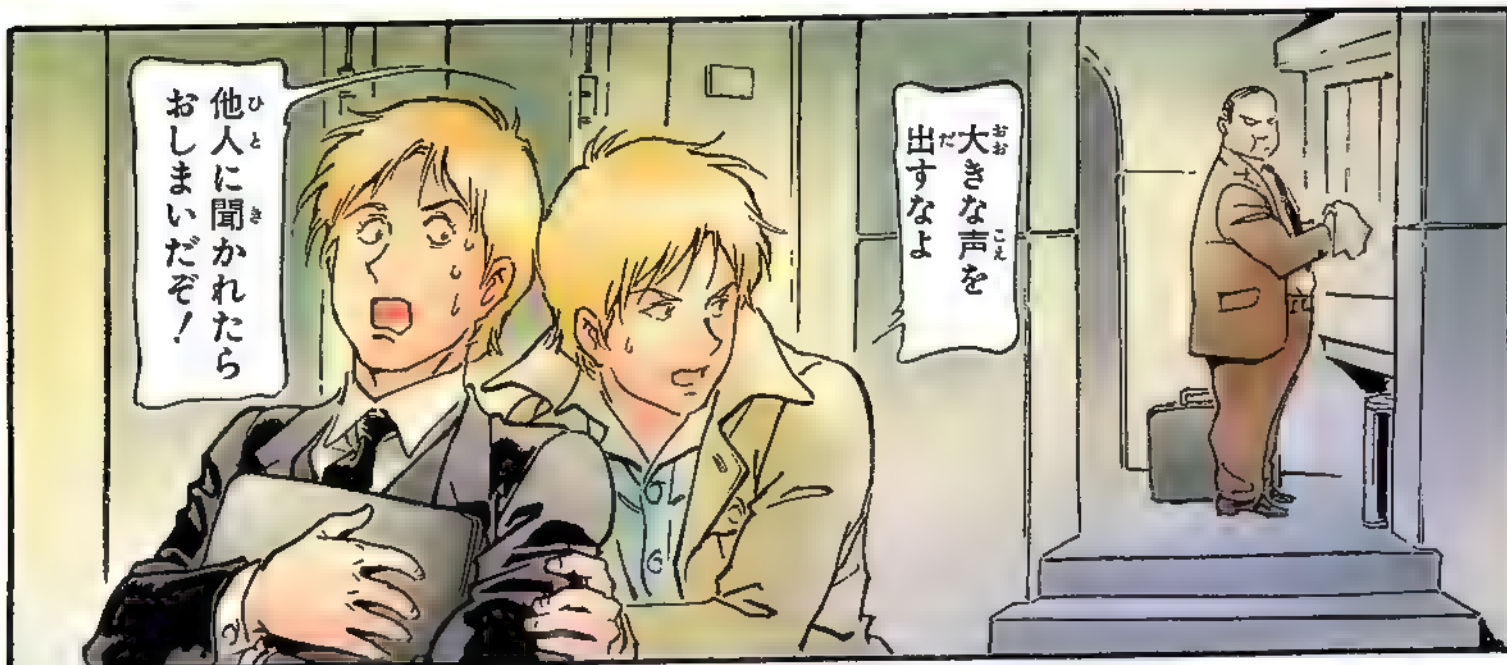
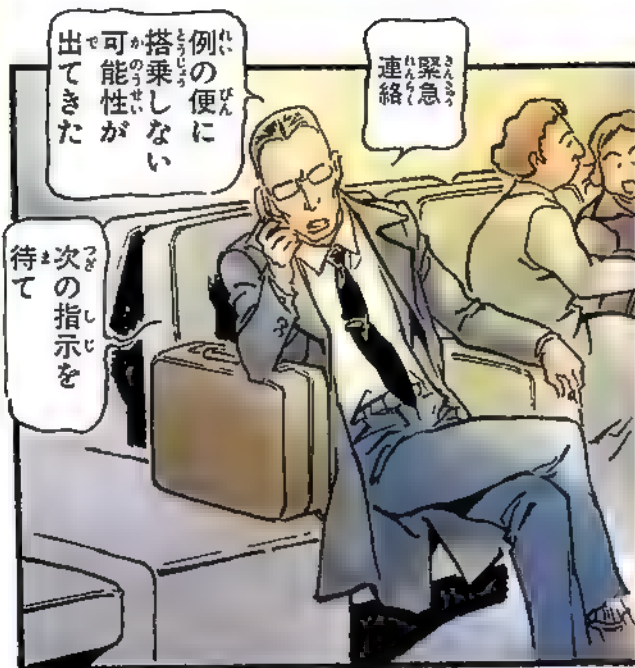
なんだ
よオ

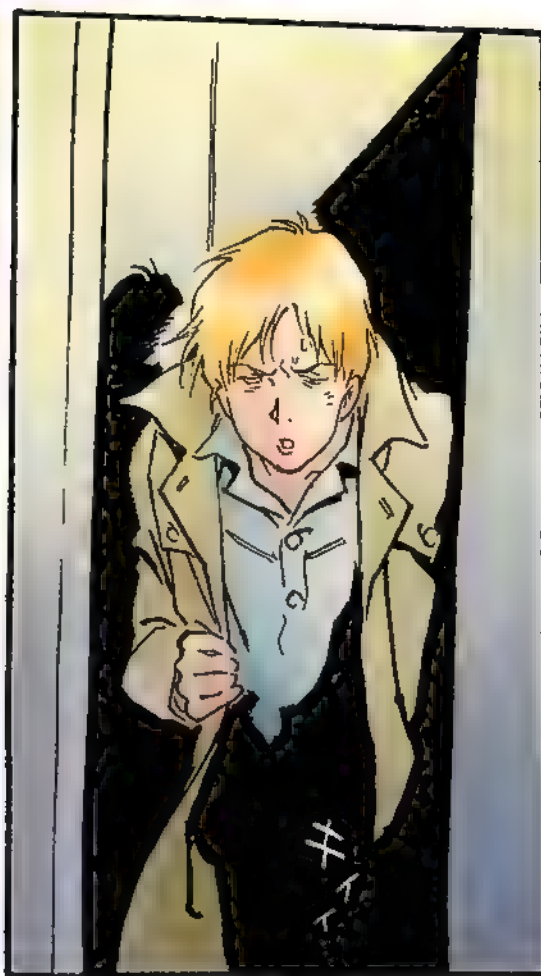
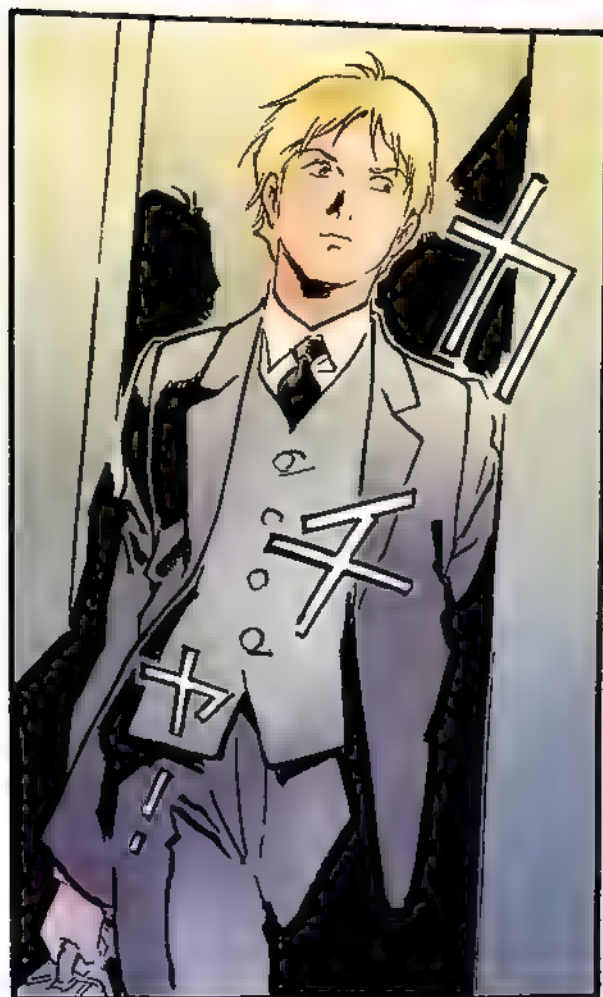
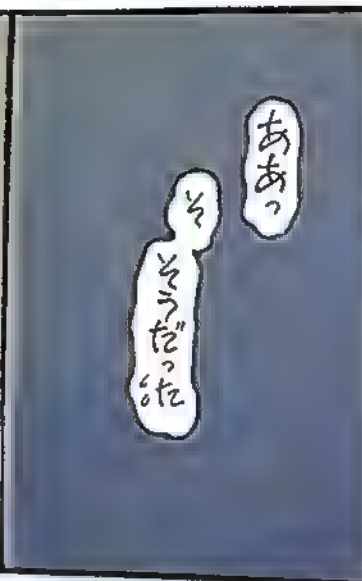
ボクは
べつに

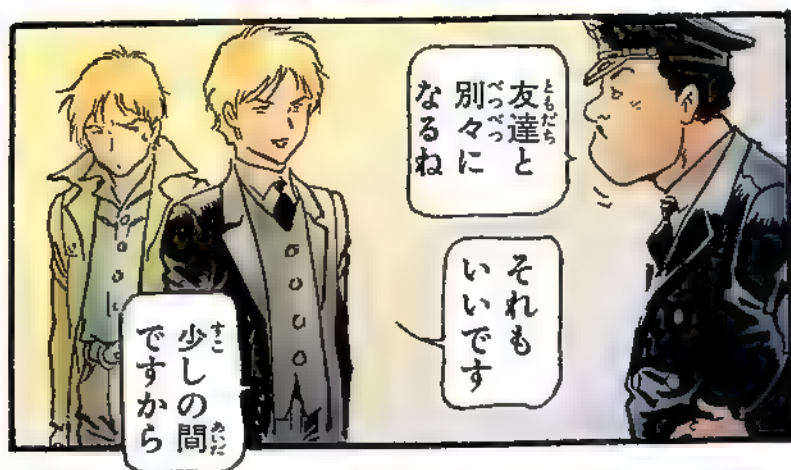
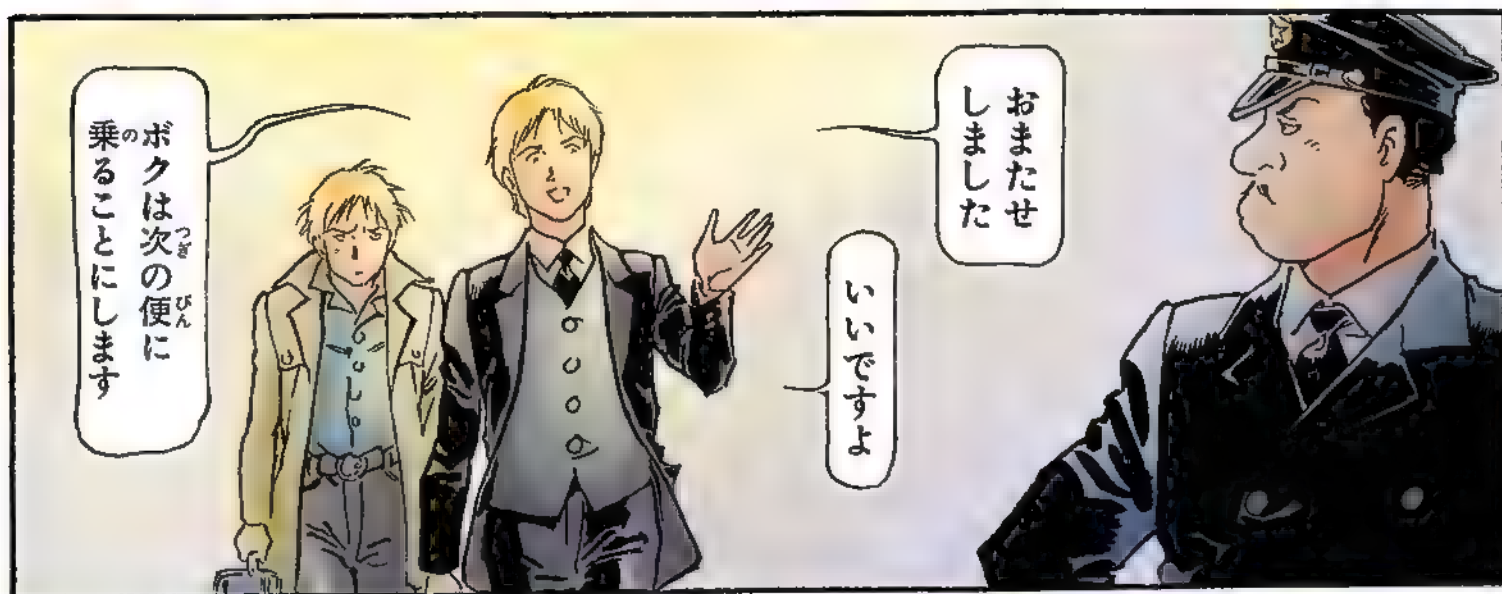
いいから
だまって
いうとおりに

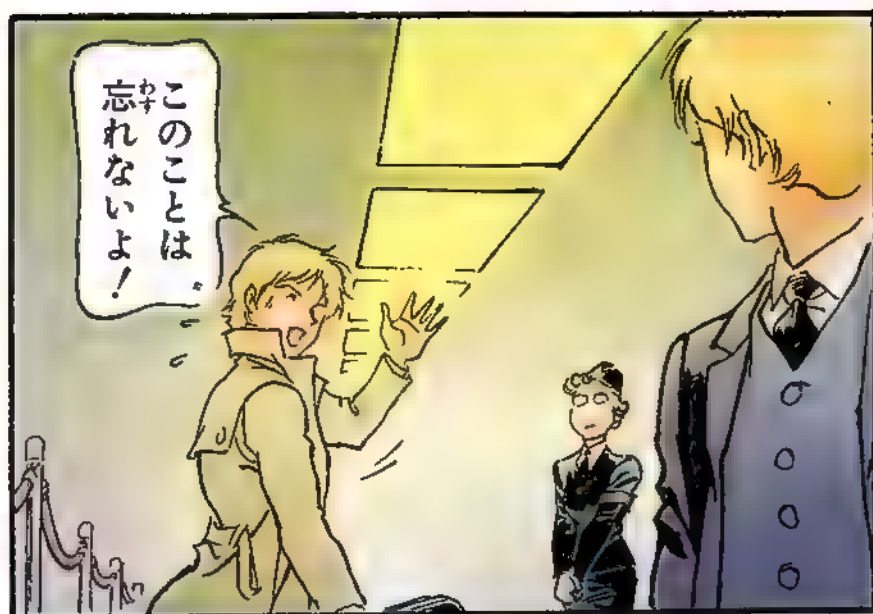
二人いっしょに
トイレに入り
ました

連れのバッグが
手荷物検査で
引つかかった
ようです







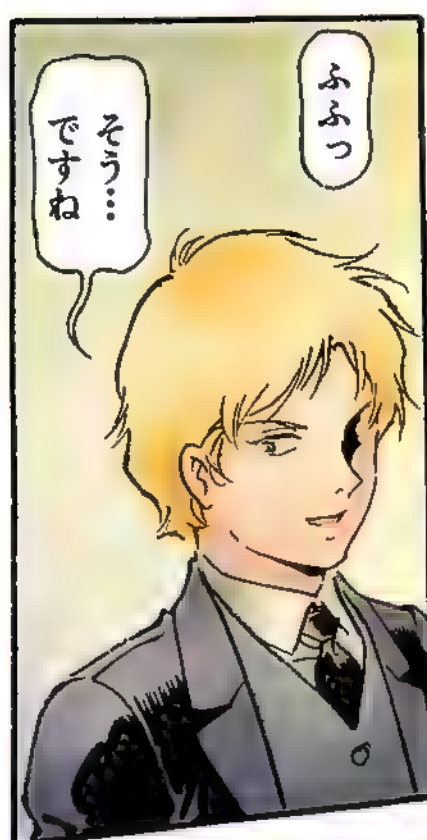


このことは
忘れないよ!



ありが
とう!

エド…いや
シヤア!



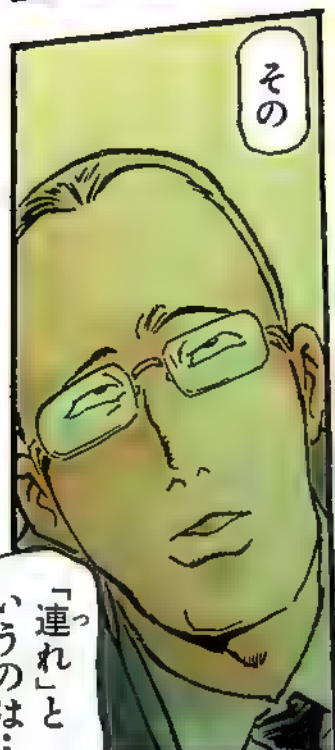
そう…
ですね

ふふっ



まるで
今生の別れ
みたいじゃ
ないか

オーバーだ
な
キミの友達
は

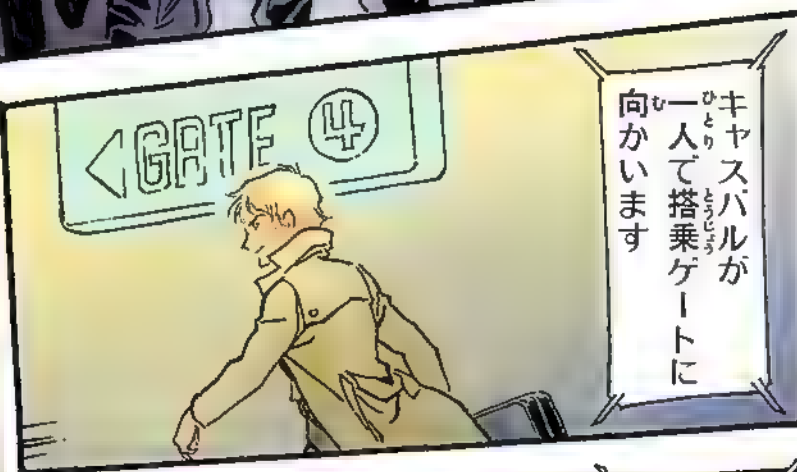


その

「連れ」と
いうのは…



運のいい
ヤツだな



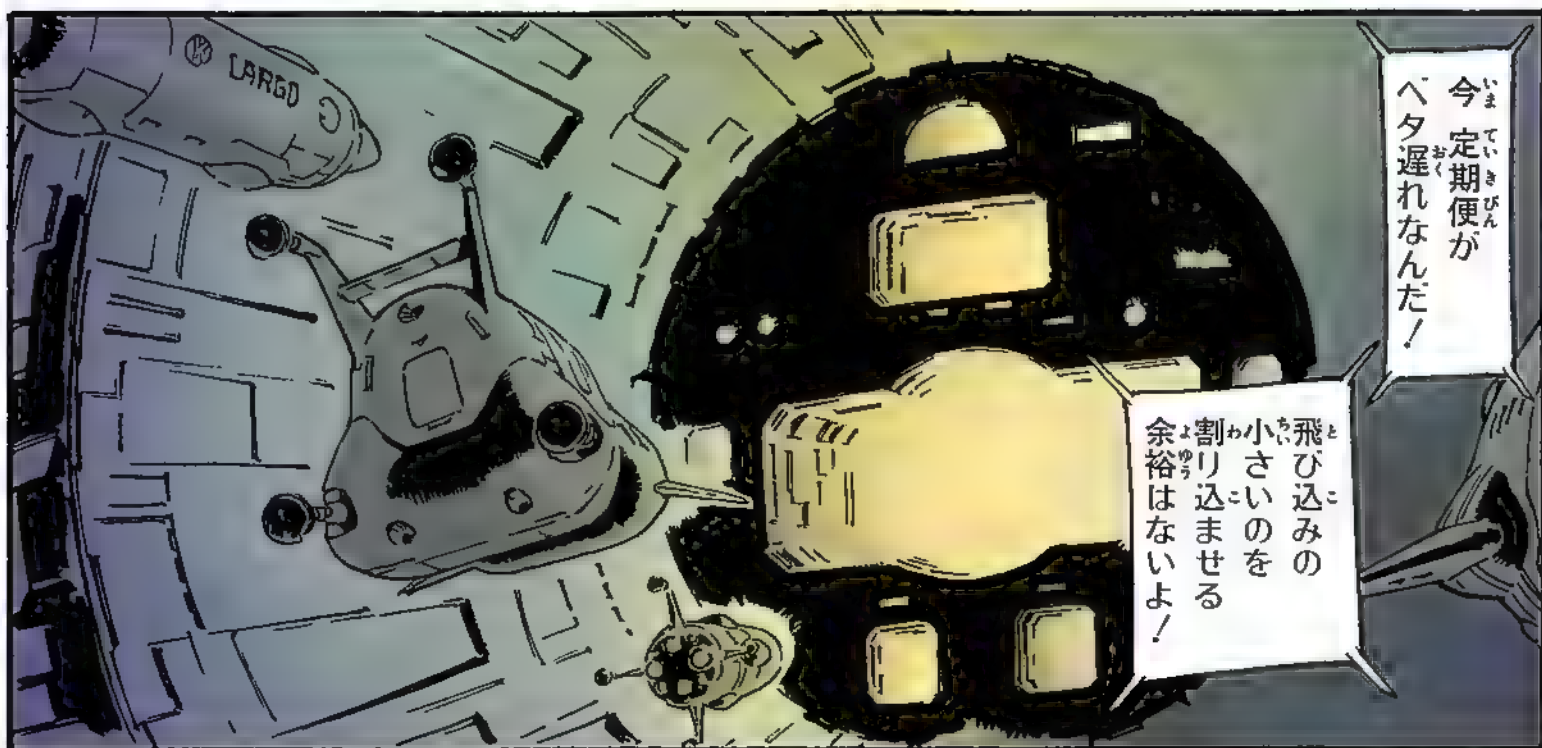
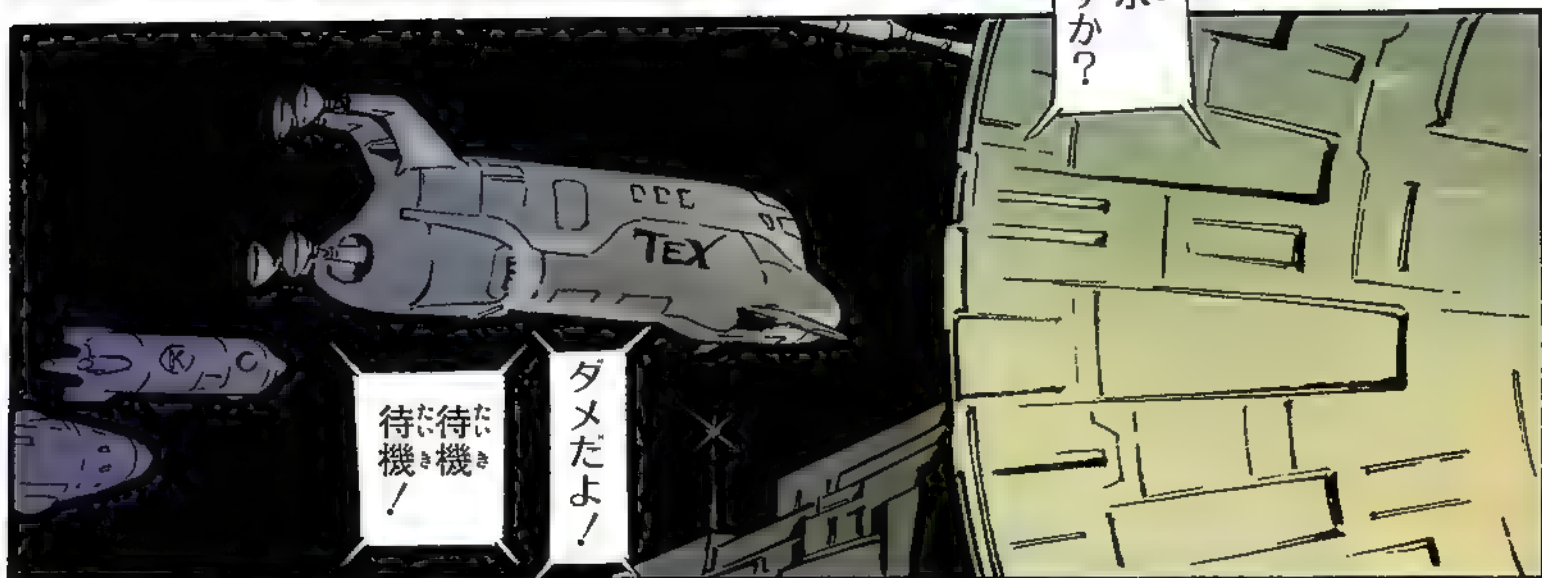
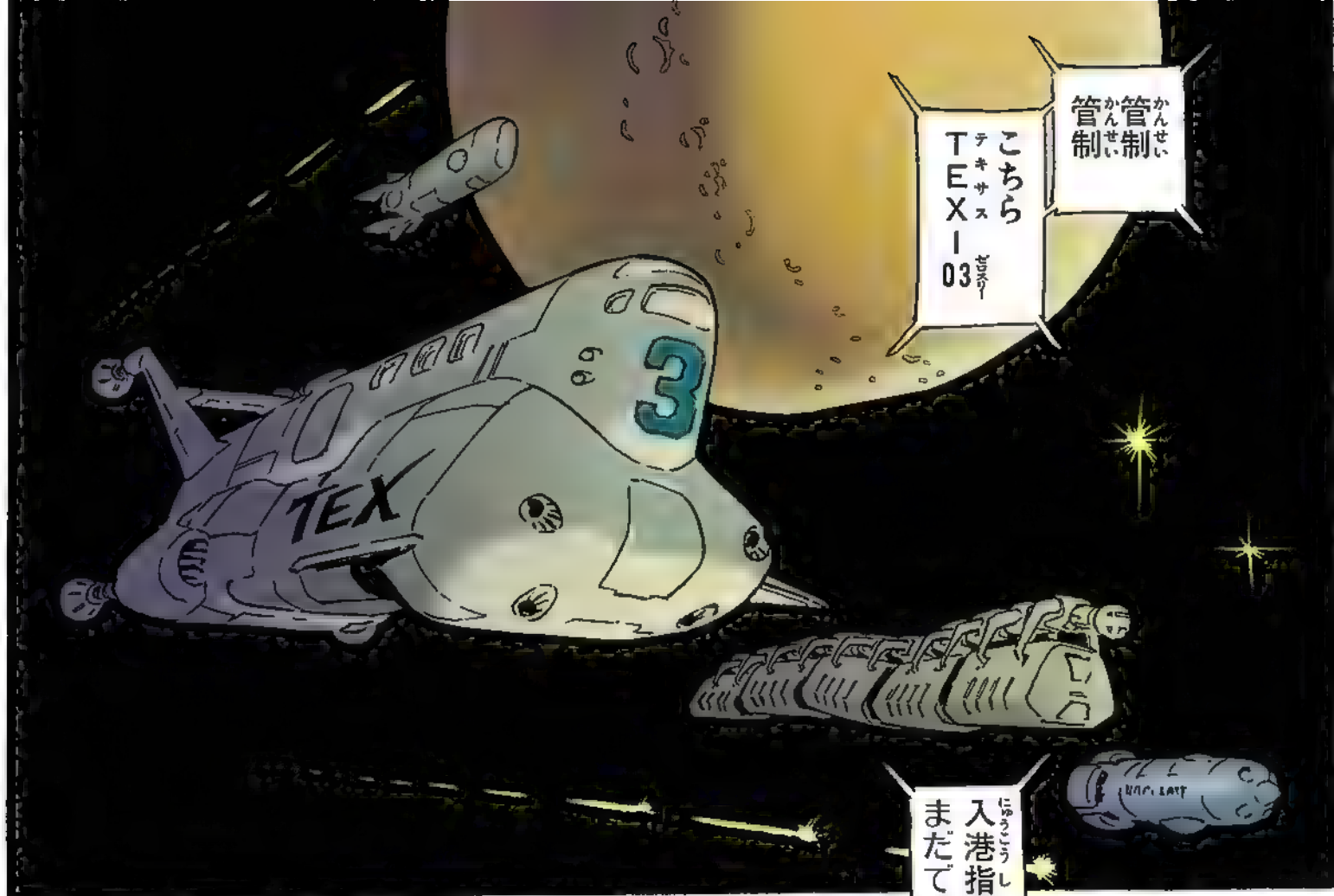
キヤスバルが
一人で搭乗ゲートに
向かいます

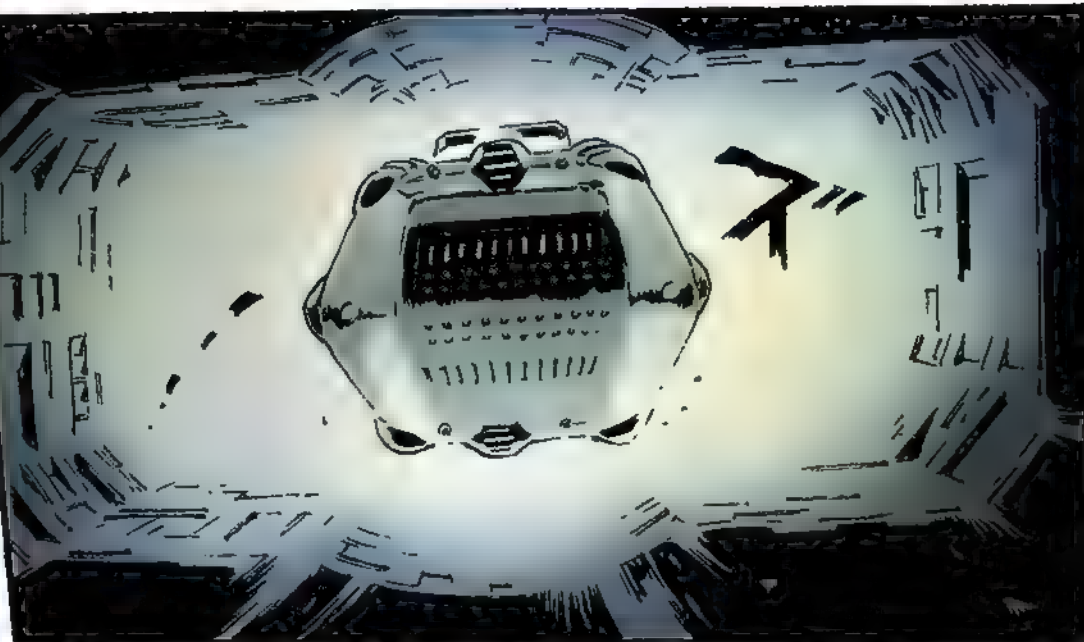
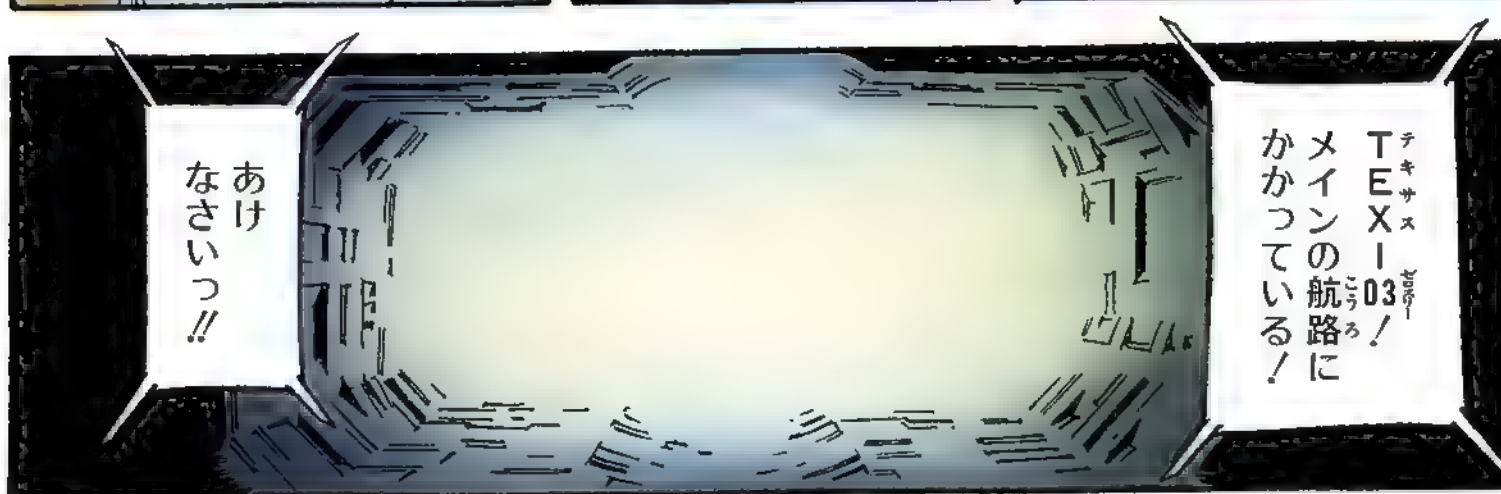
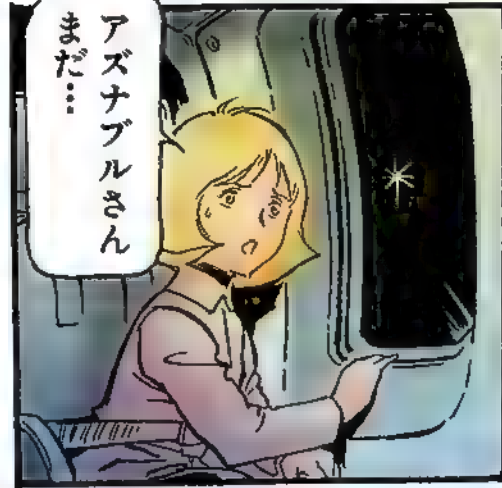
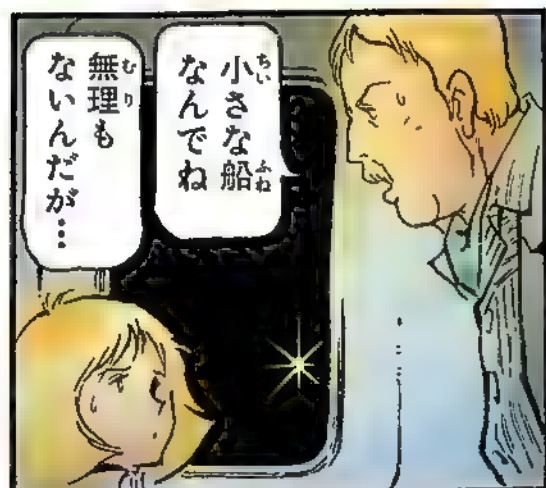
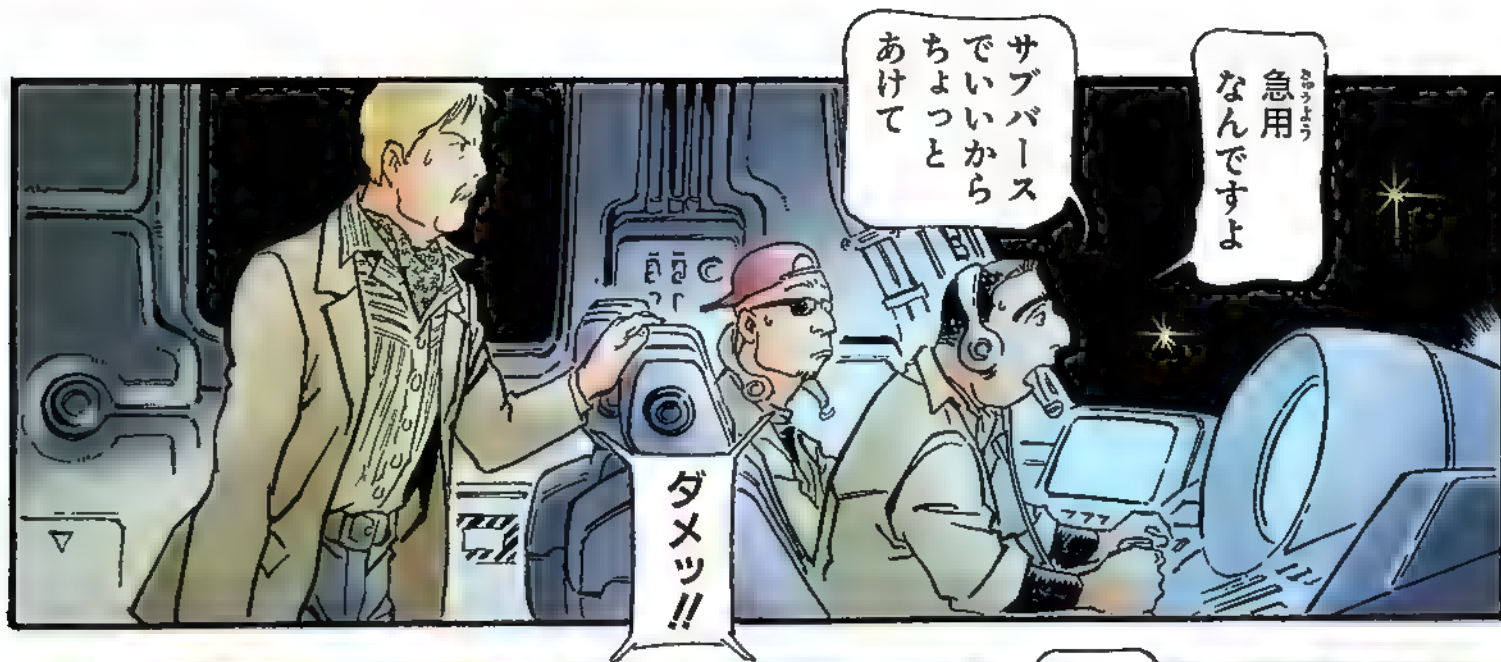


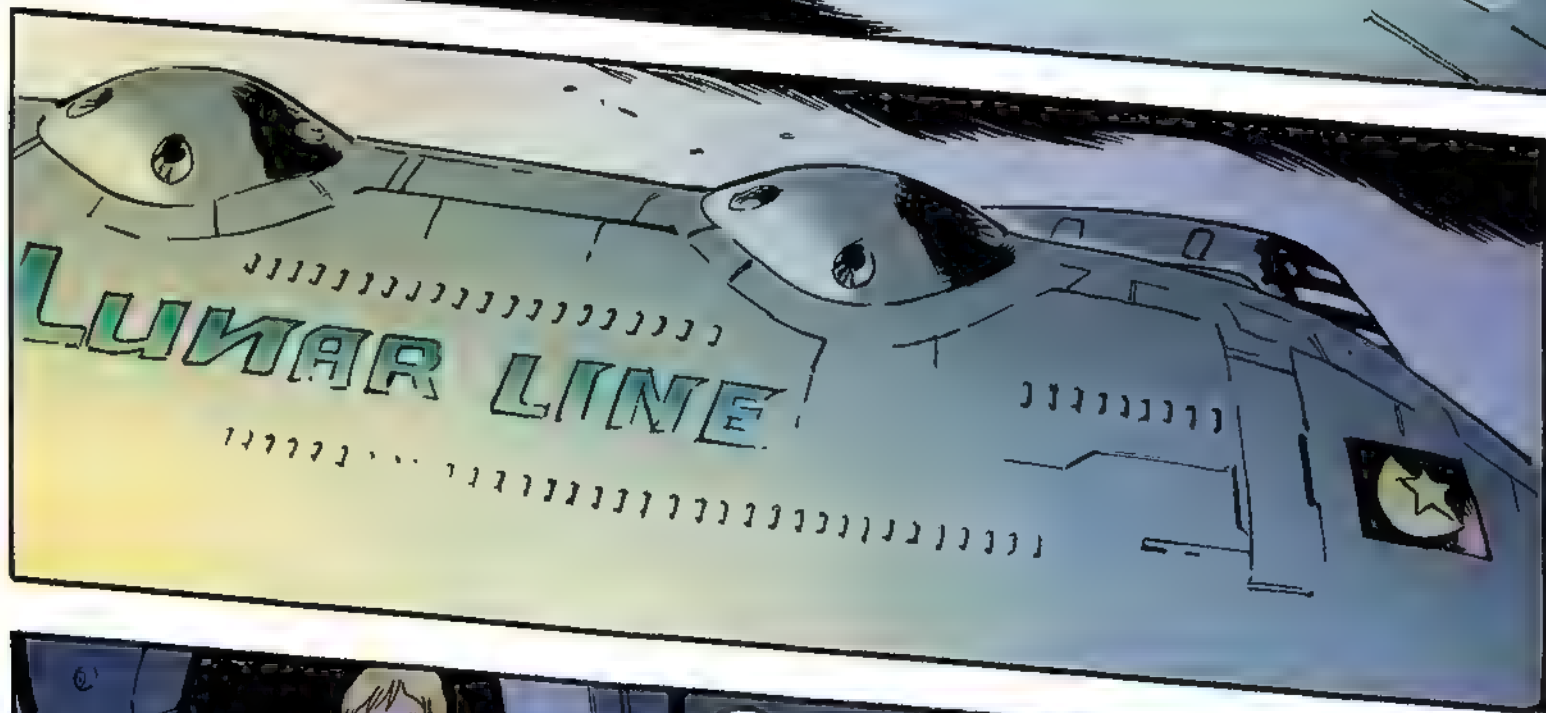
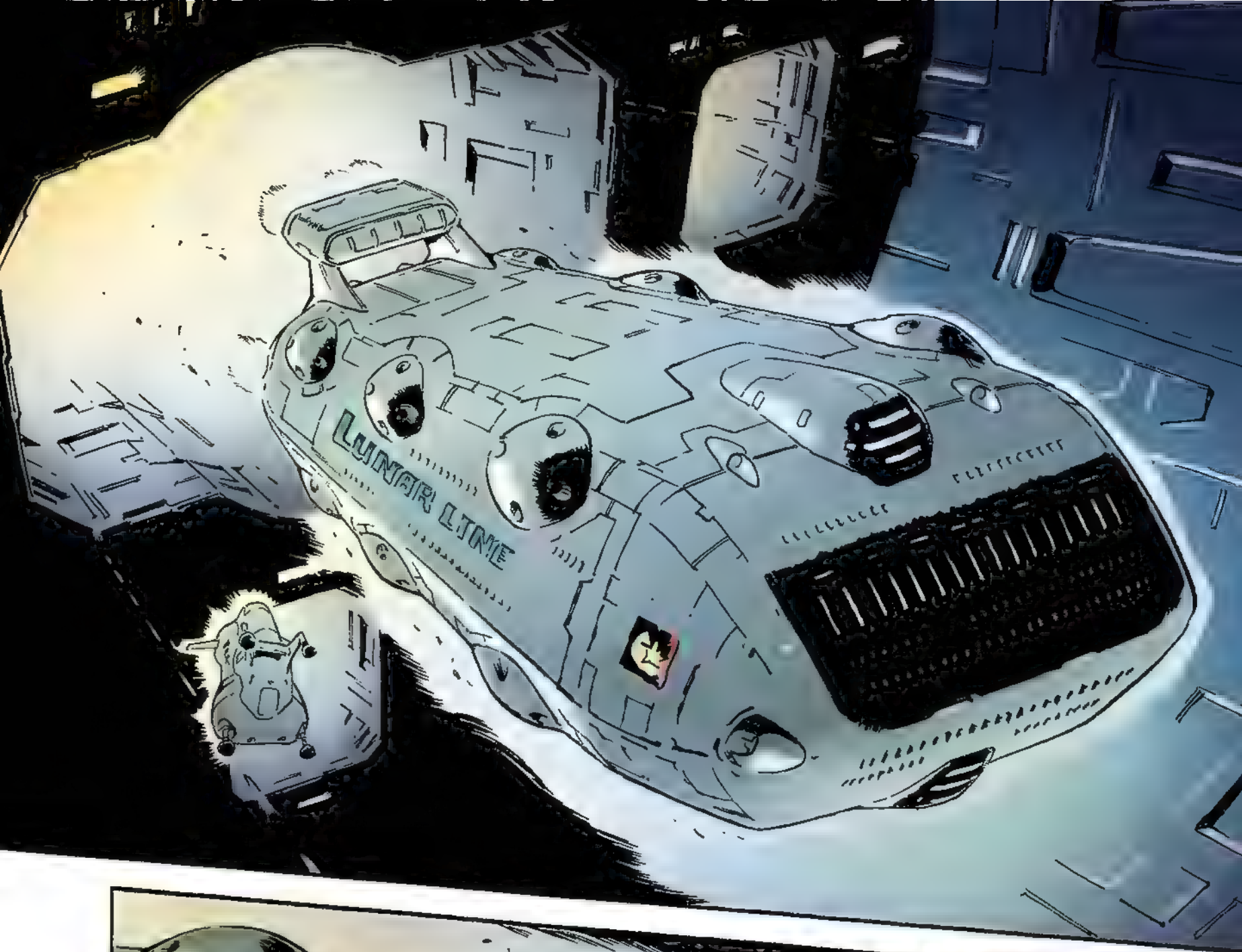
「予定どおり」
だ

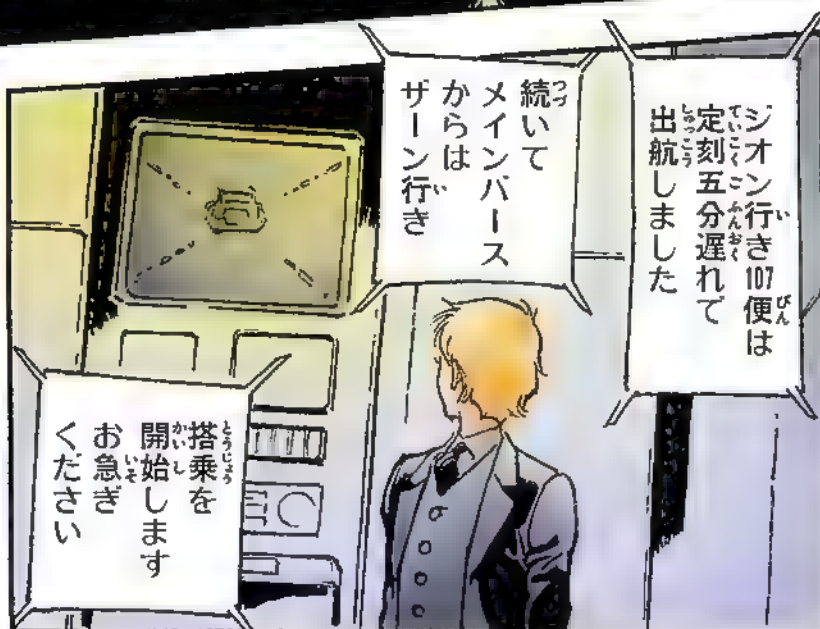
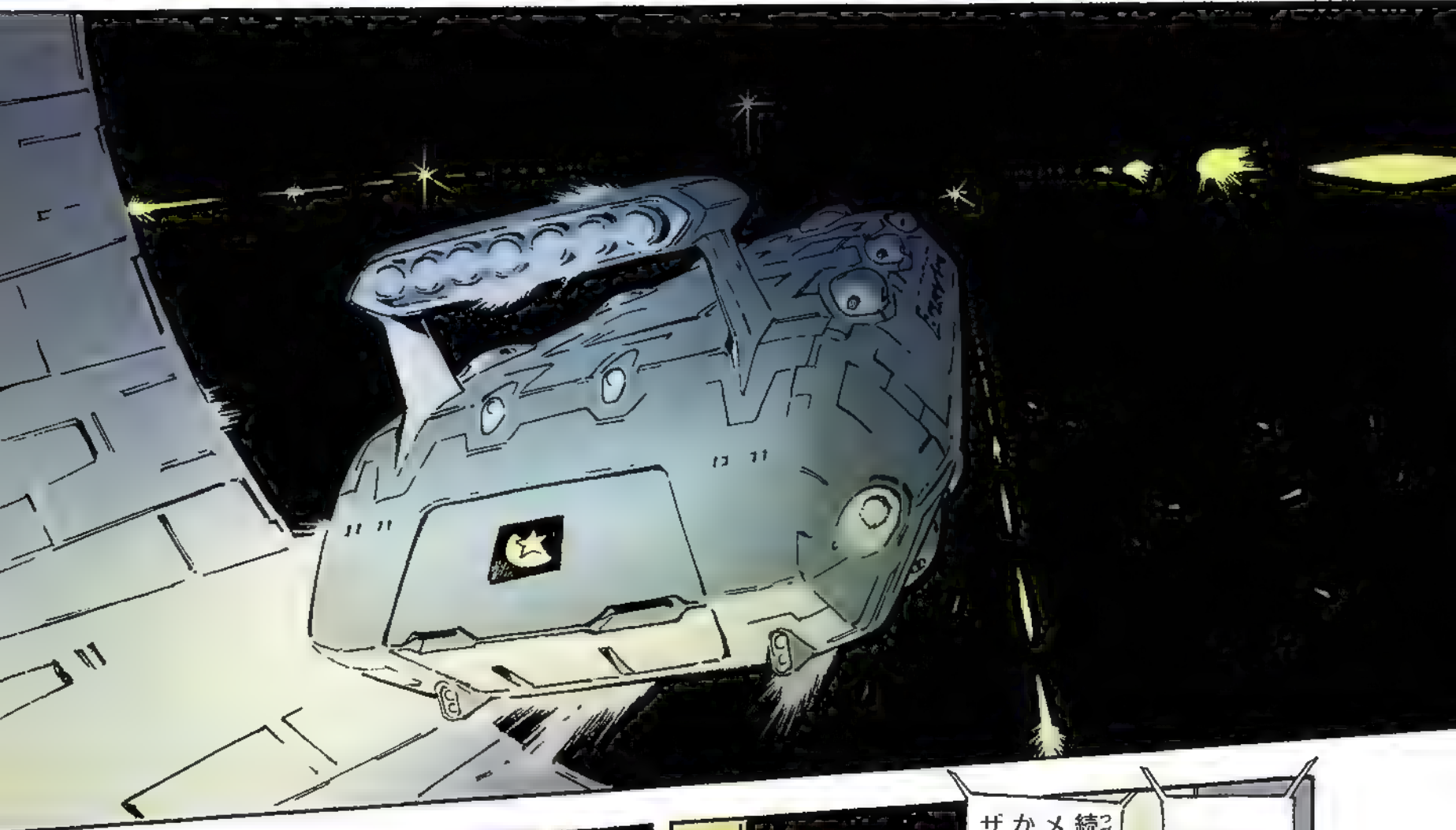
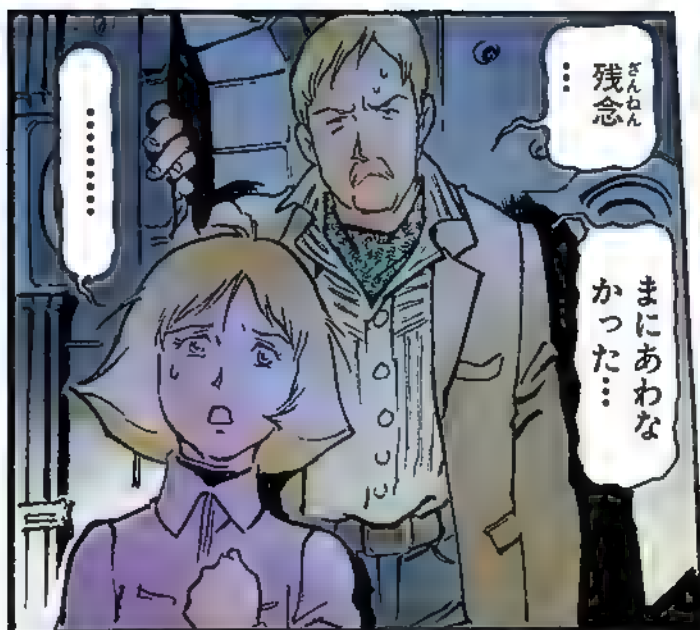
よし

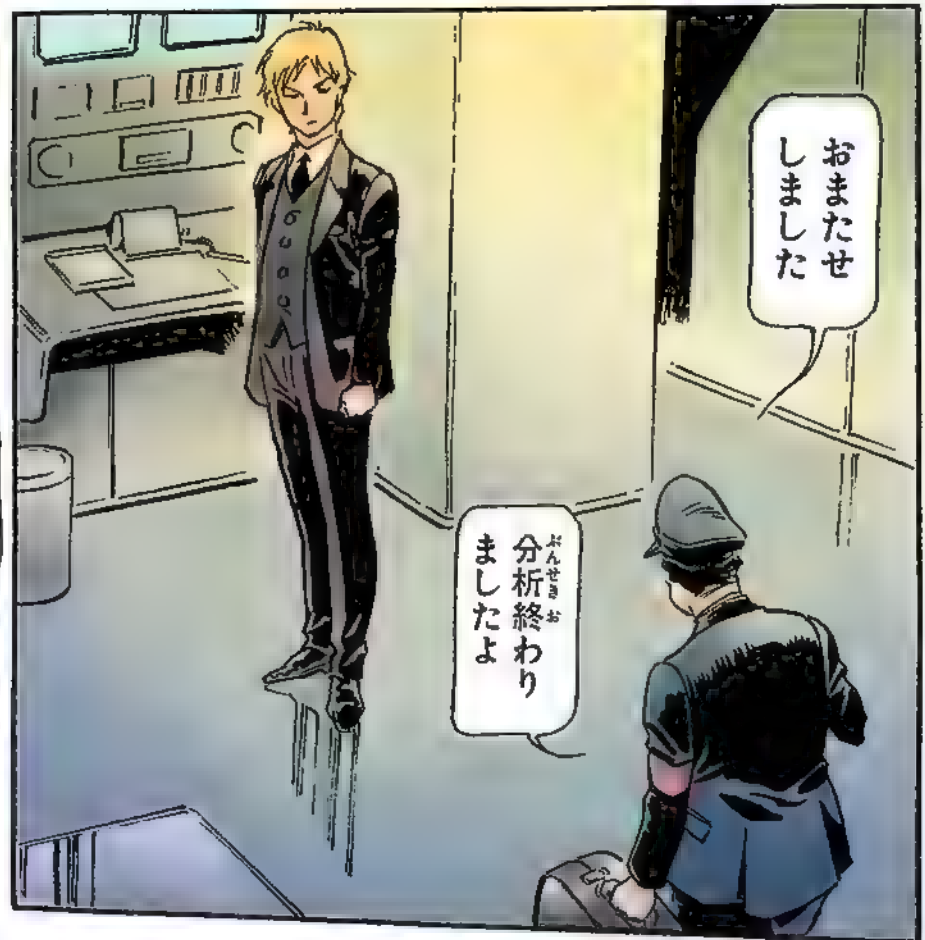
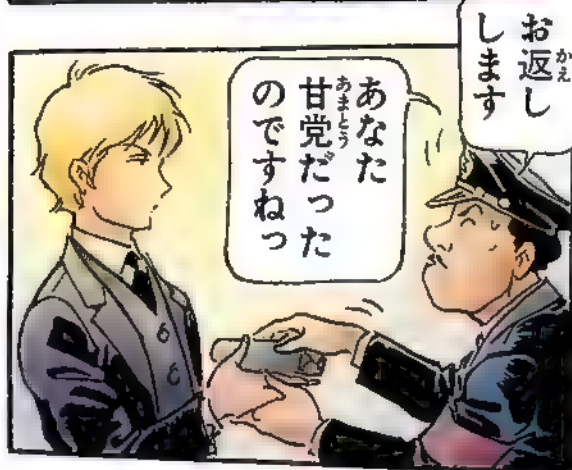
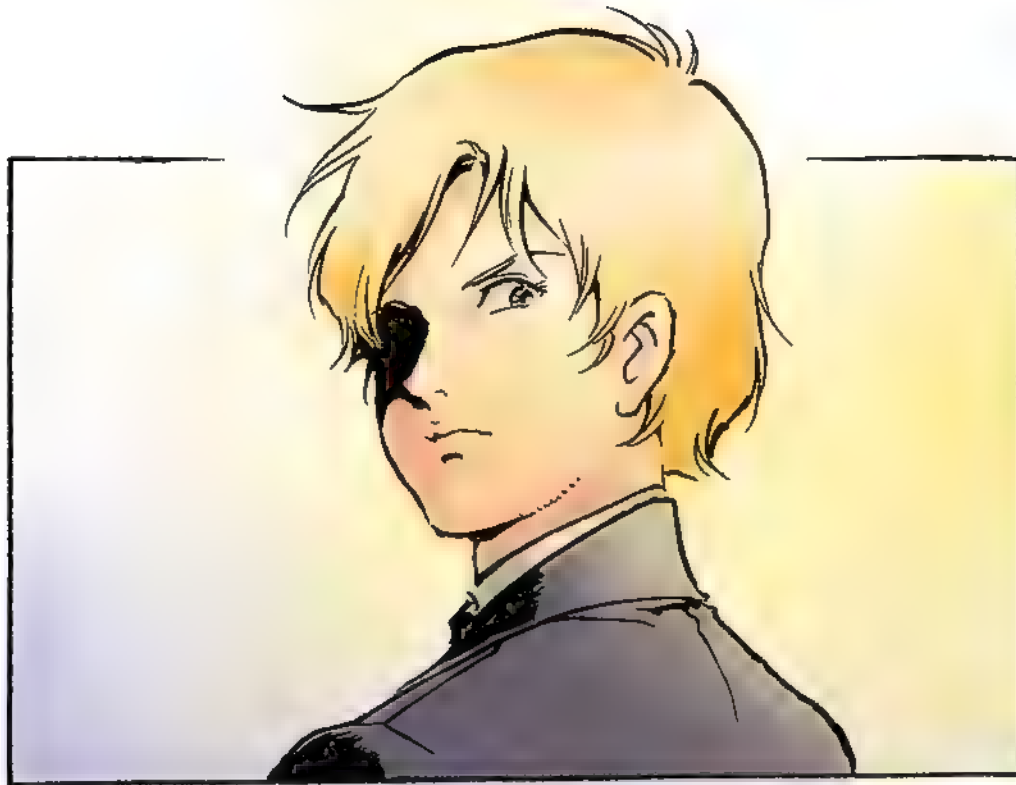
連れのほうは結局
乗るのをあきらめた
ようです

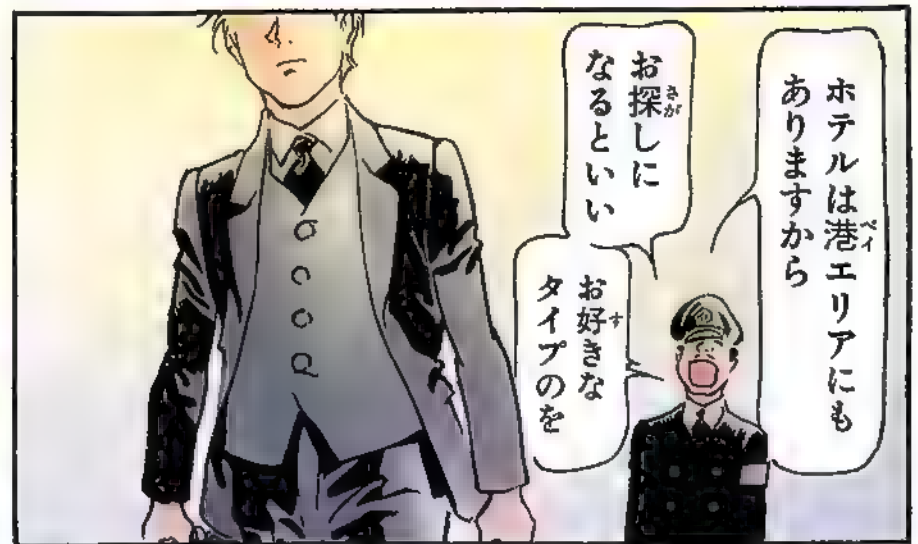
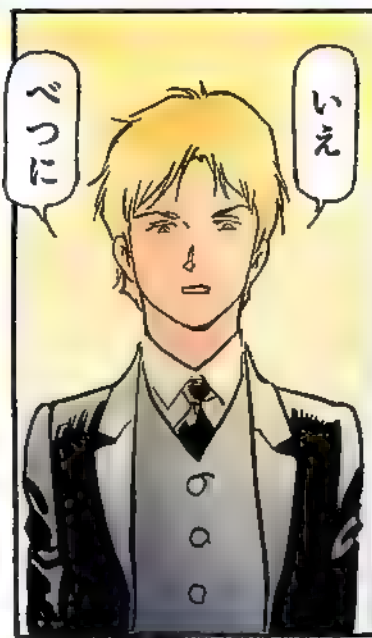


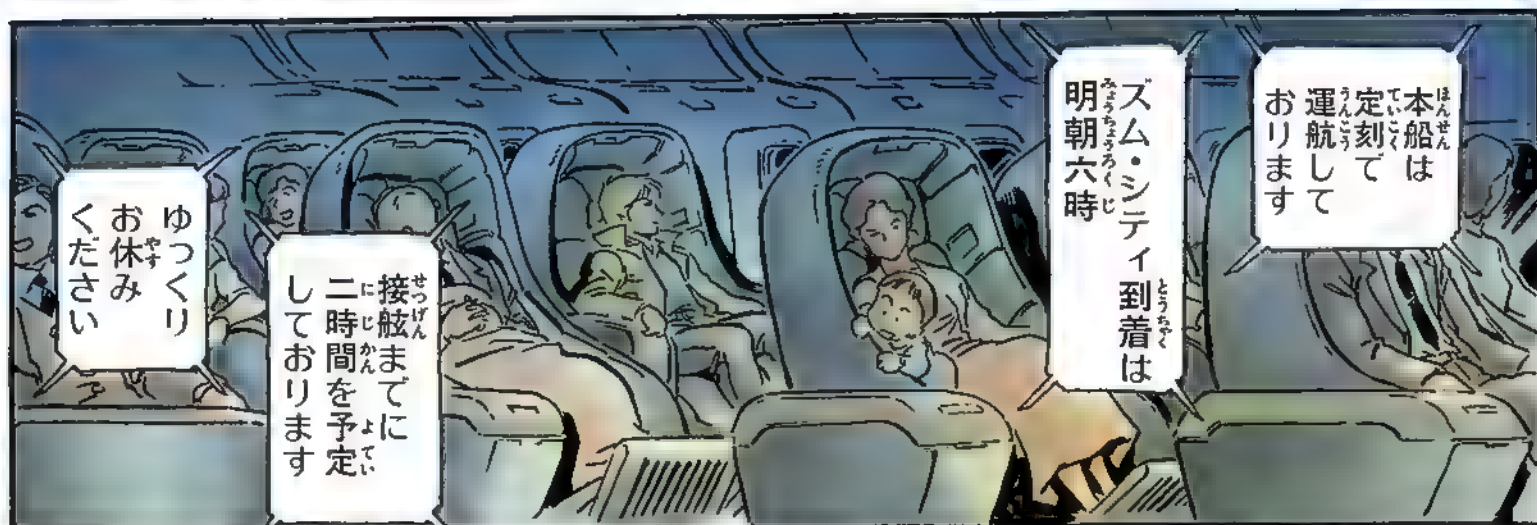












本船は
定刻で
運航して
おります

スム・シティ到着は
明朝六時

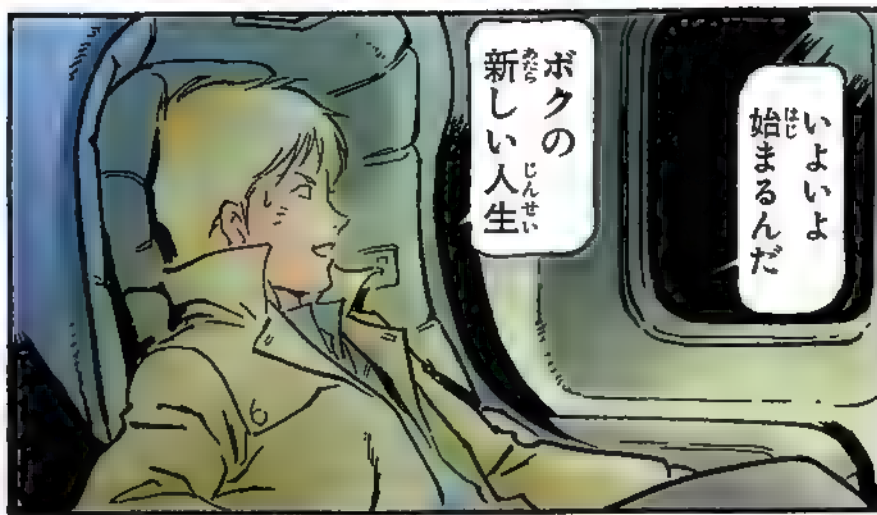
接続まで
二時間を
予定して
おります

ゆつくり
お休み
ください



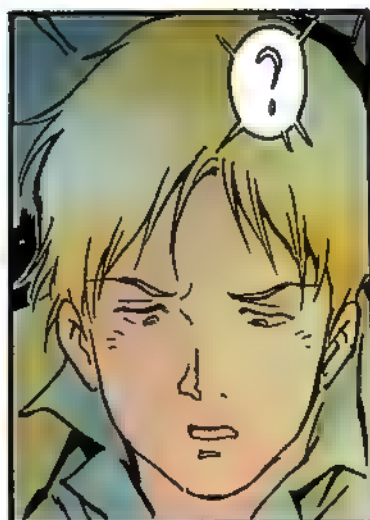
コースは何を
選択しようかな

本省勤務も
いいけど
軍艦乗りも
いいな



いよいよ
始まるんだ

ボクの
新しい人生

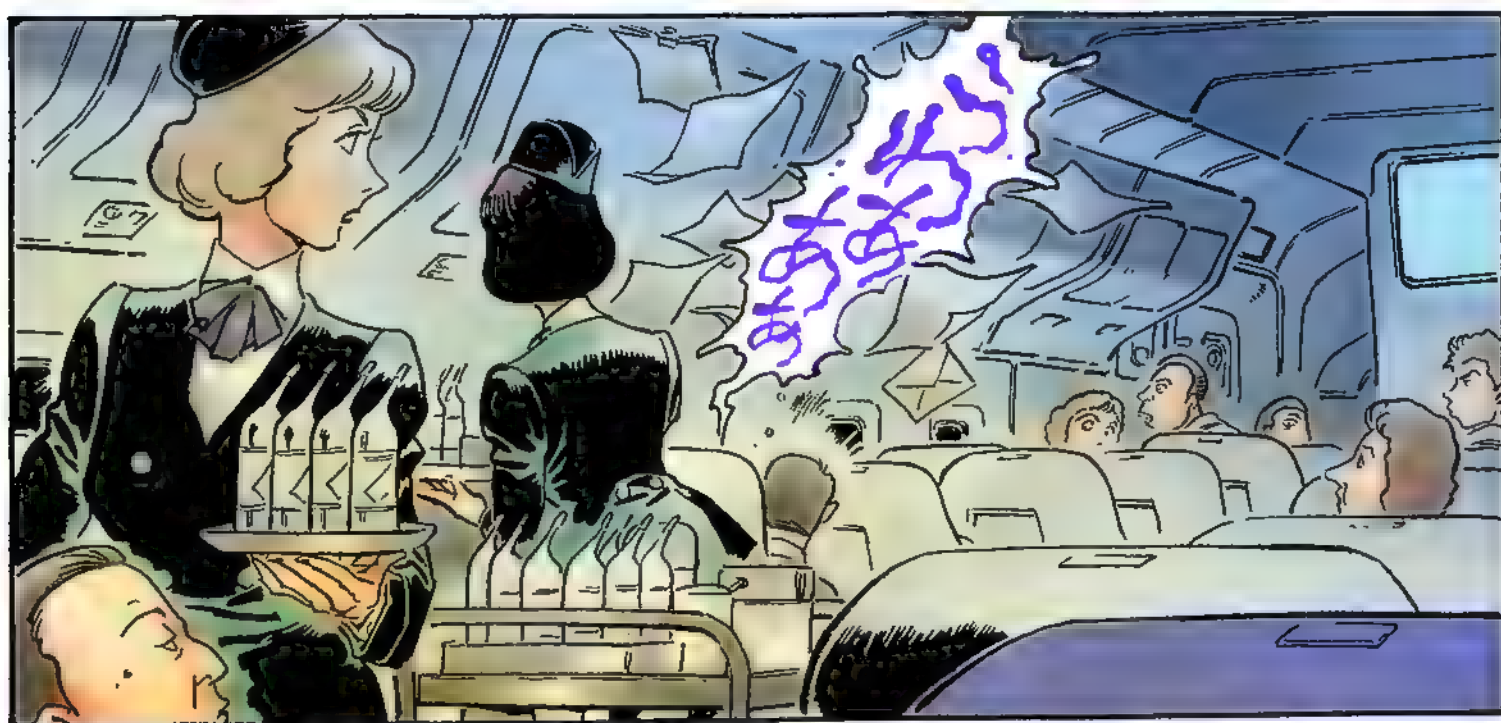


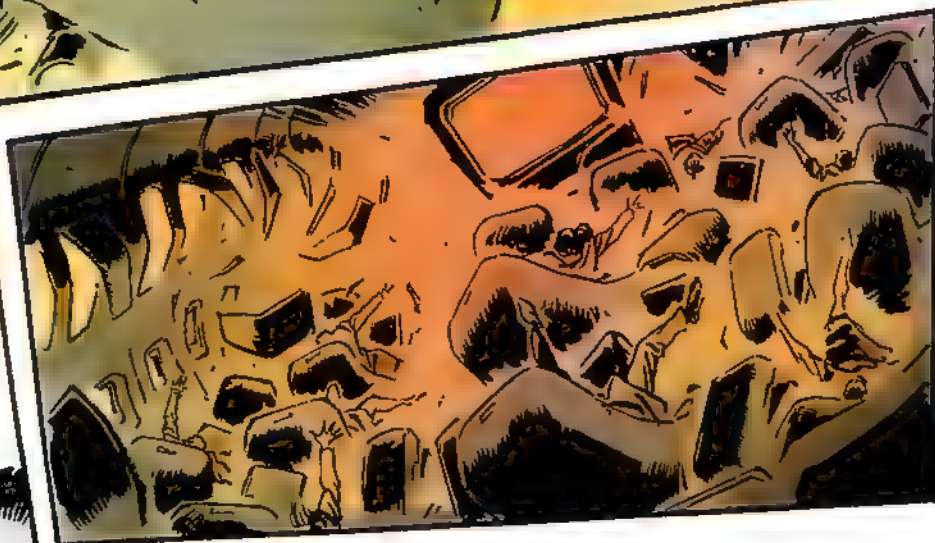
どうするか
じっくり
考え...

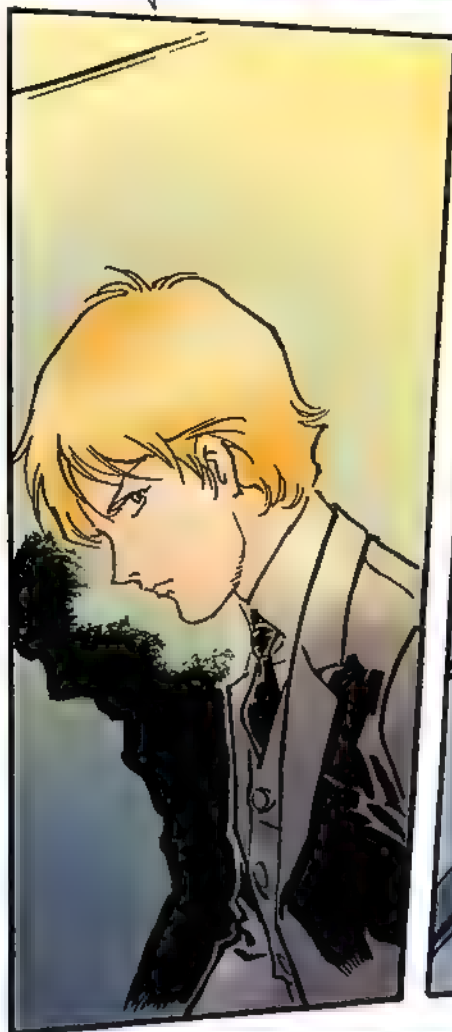
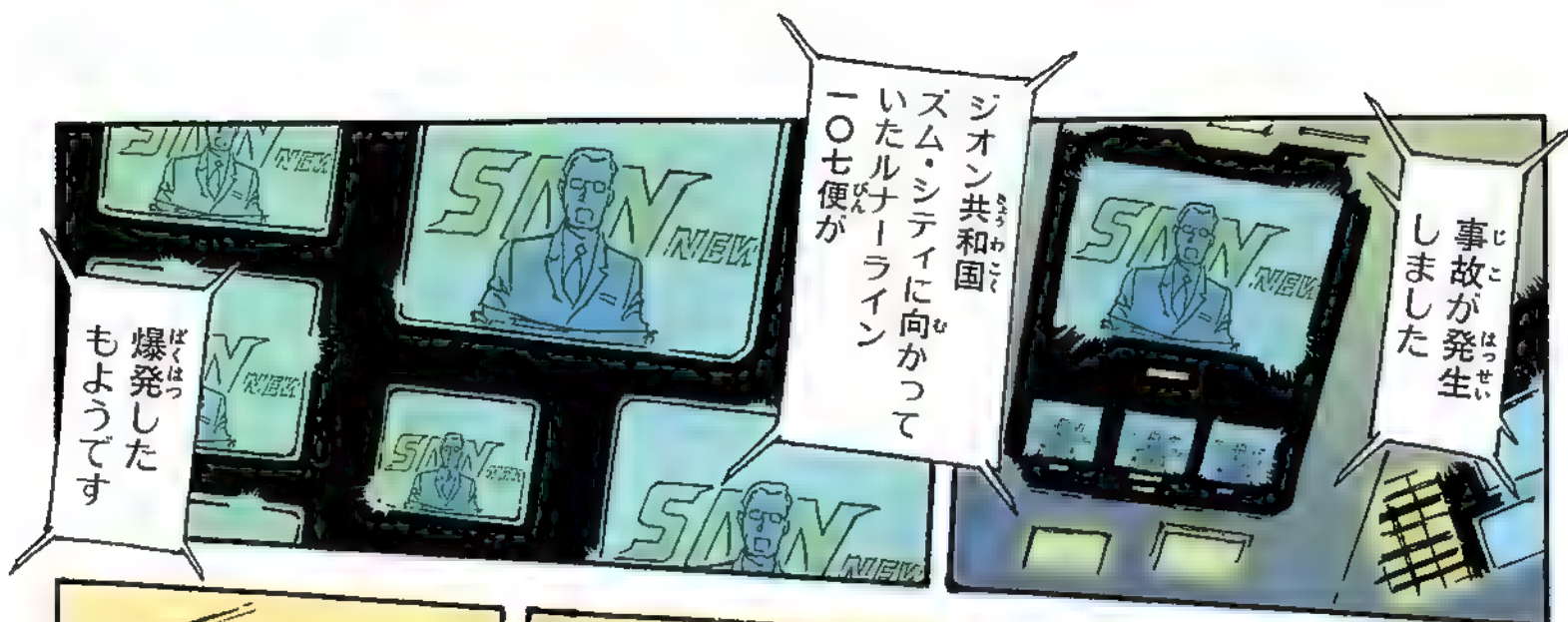


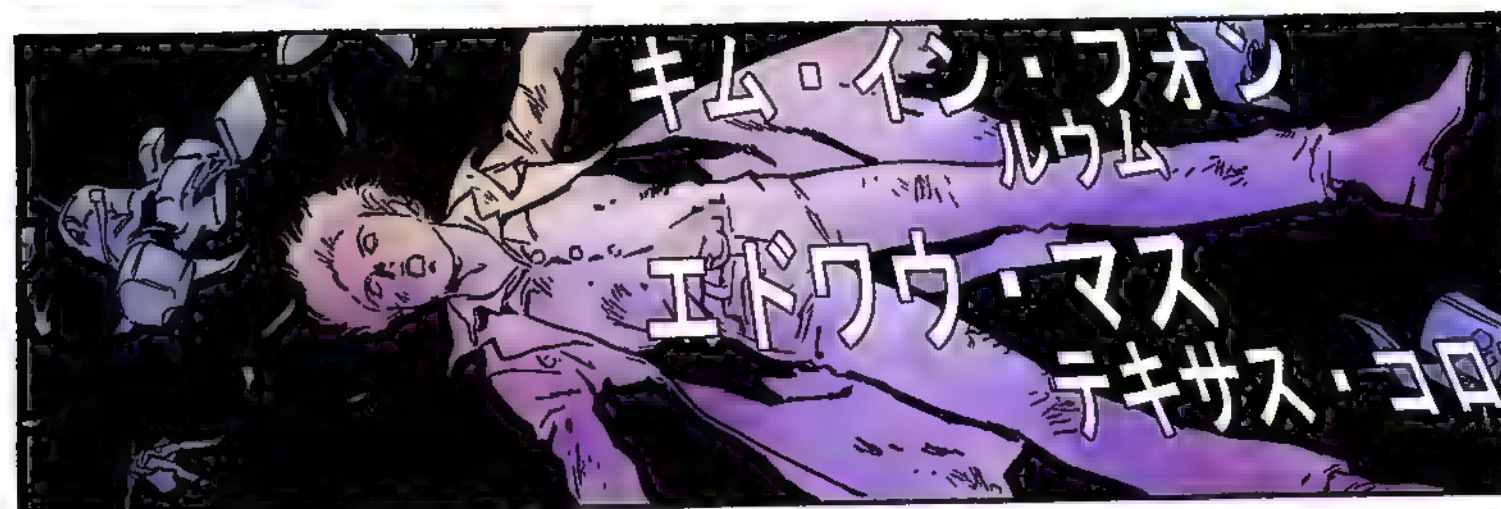
とにかく
着いたらすぐ
手続きをして

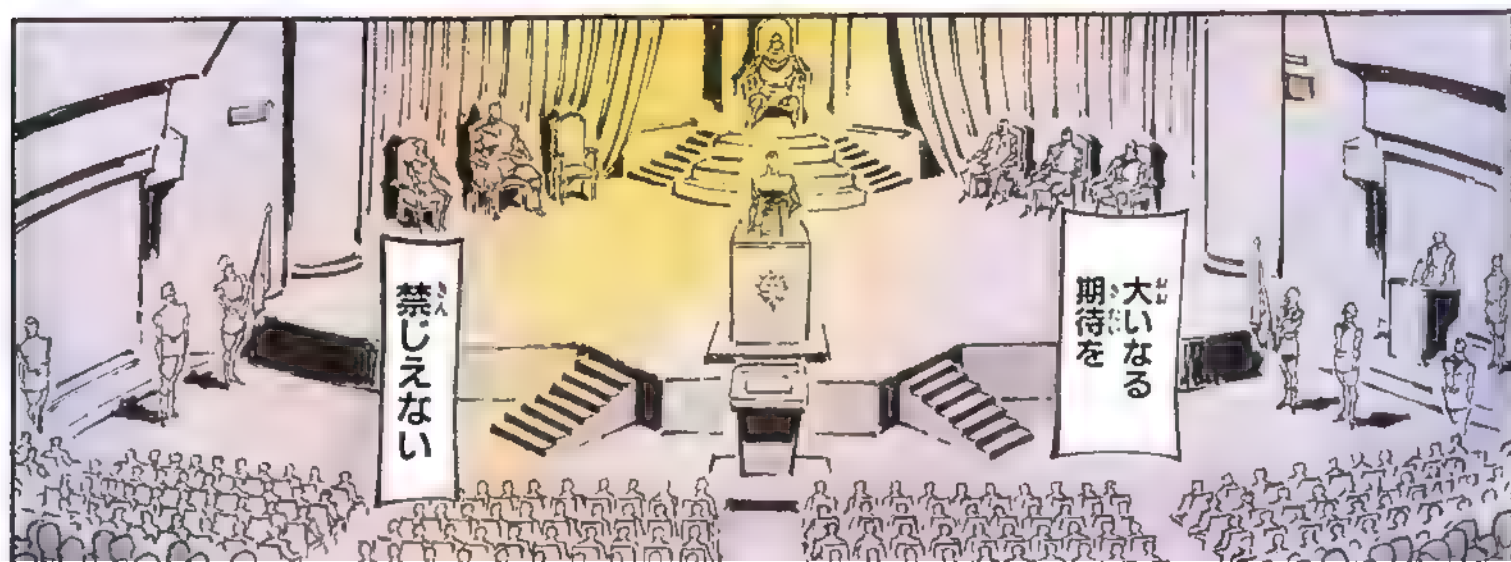
それから

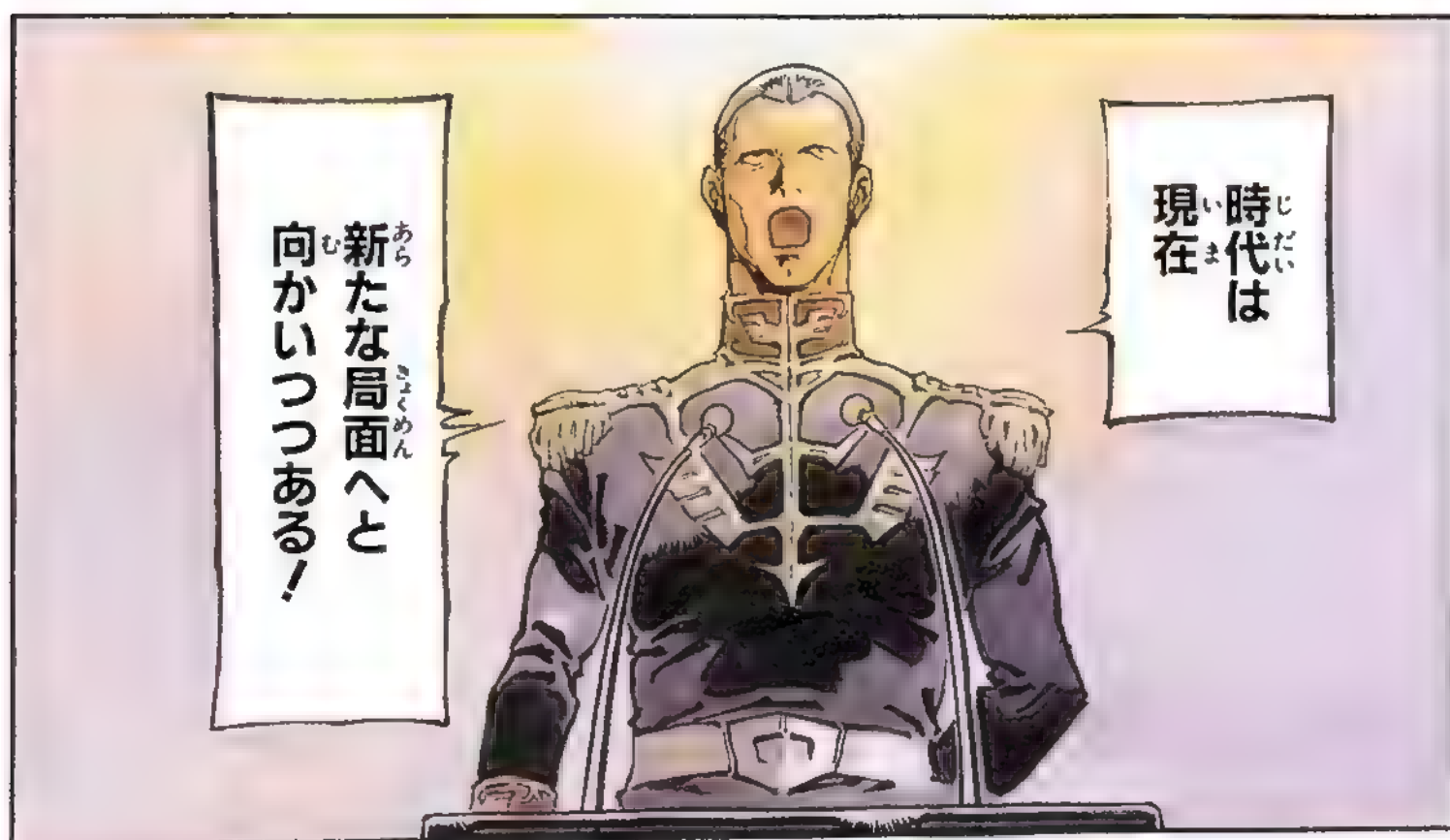






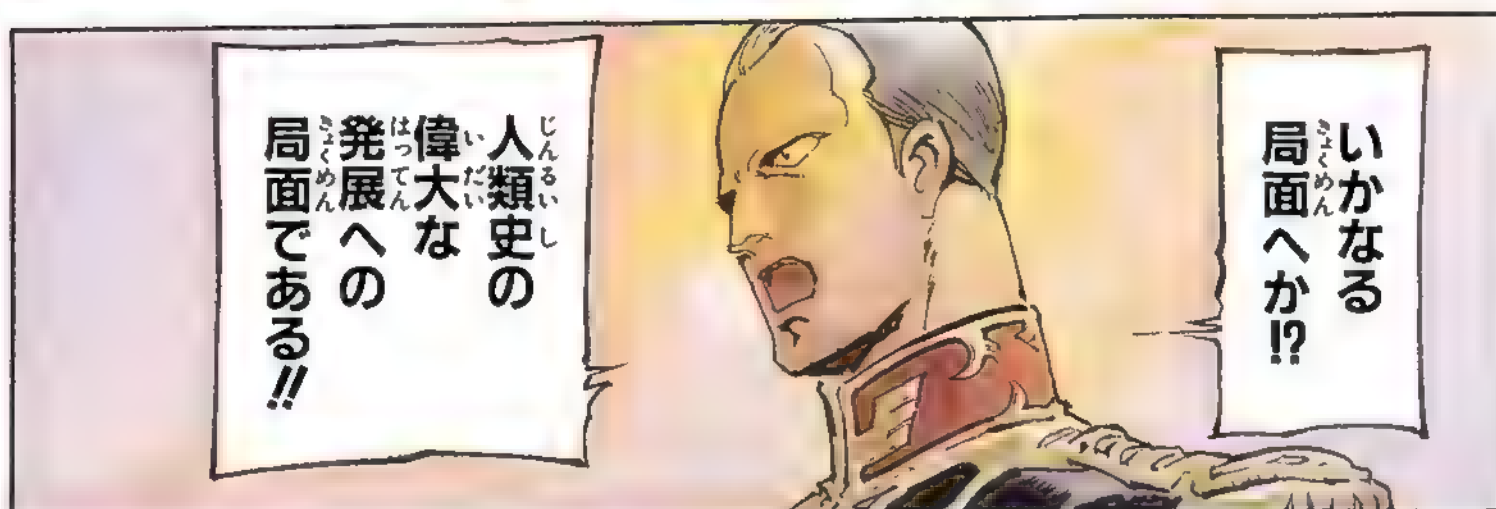






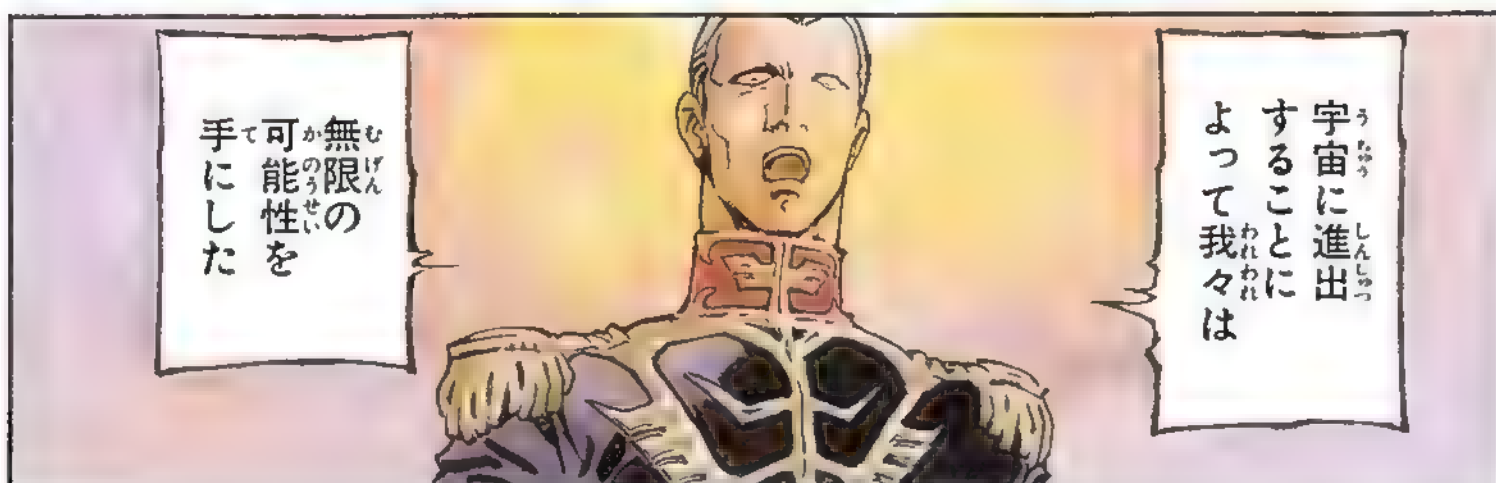
時代は
現在

あら
新たな局面へと
向かいつつある！



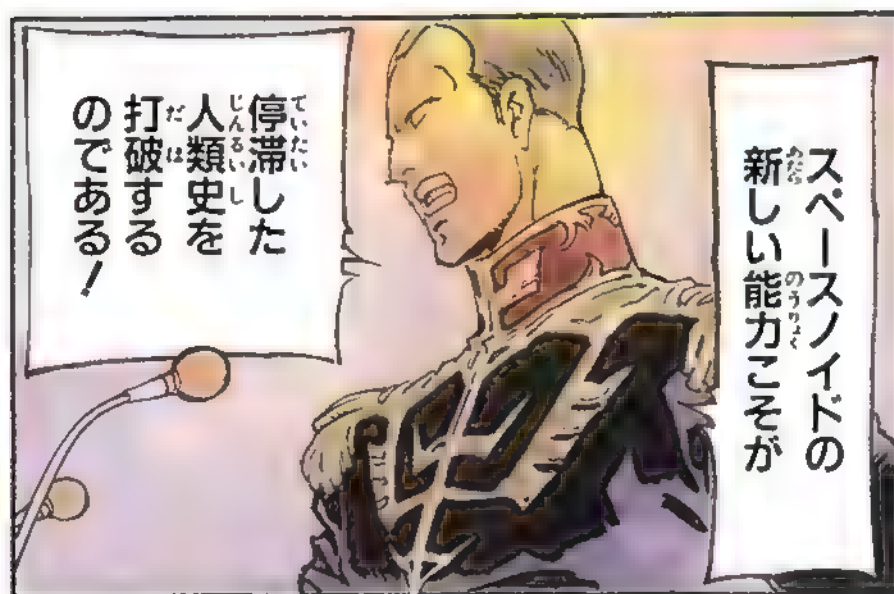
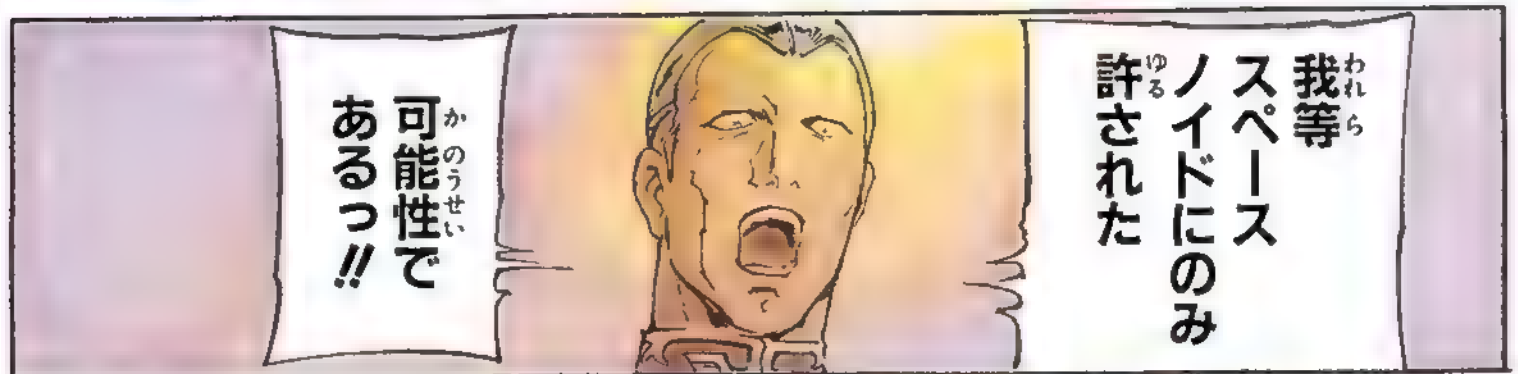
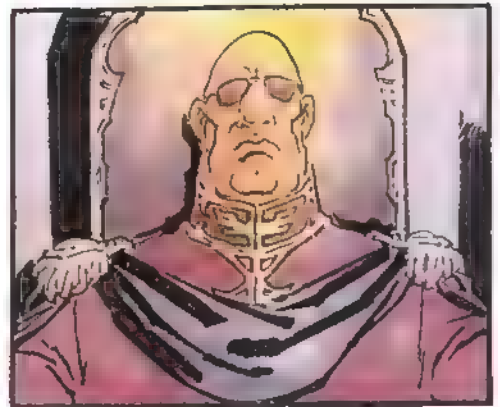
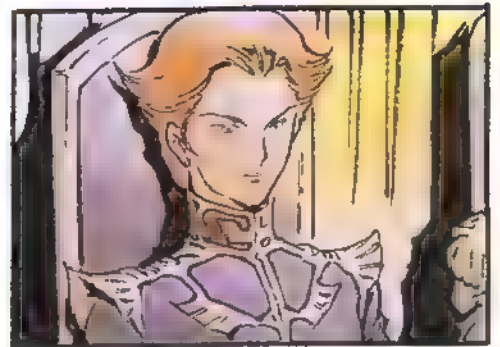
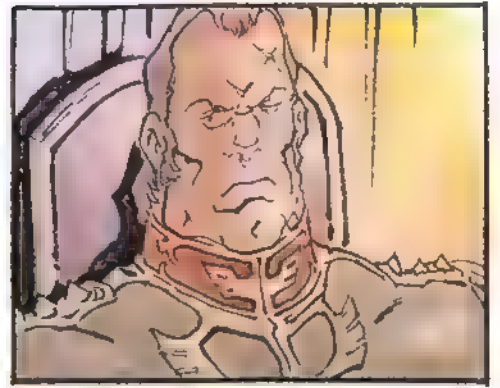
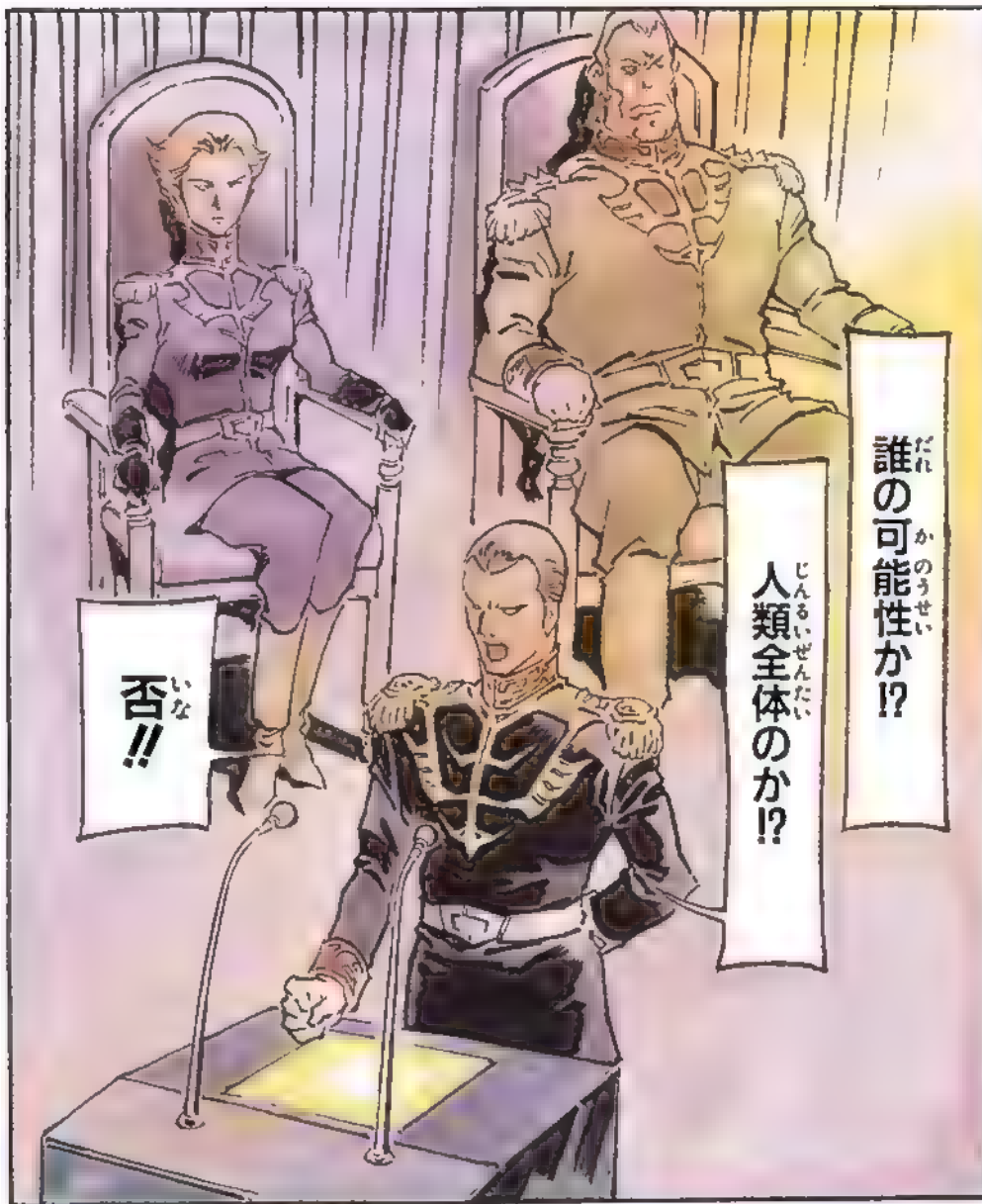
いかなる
局面へか！

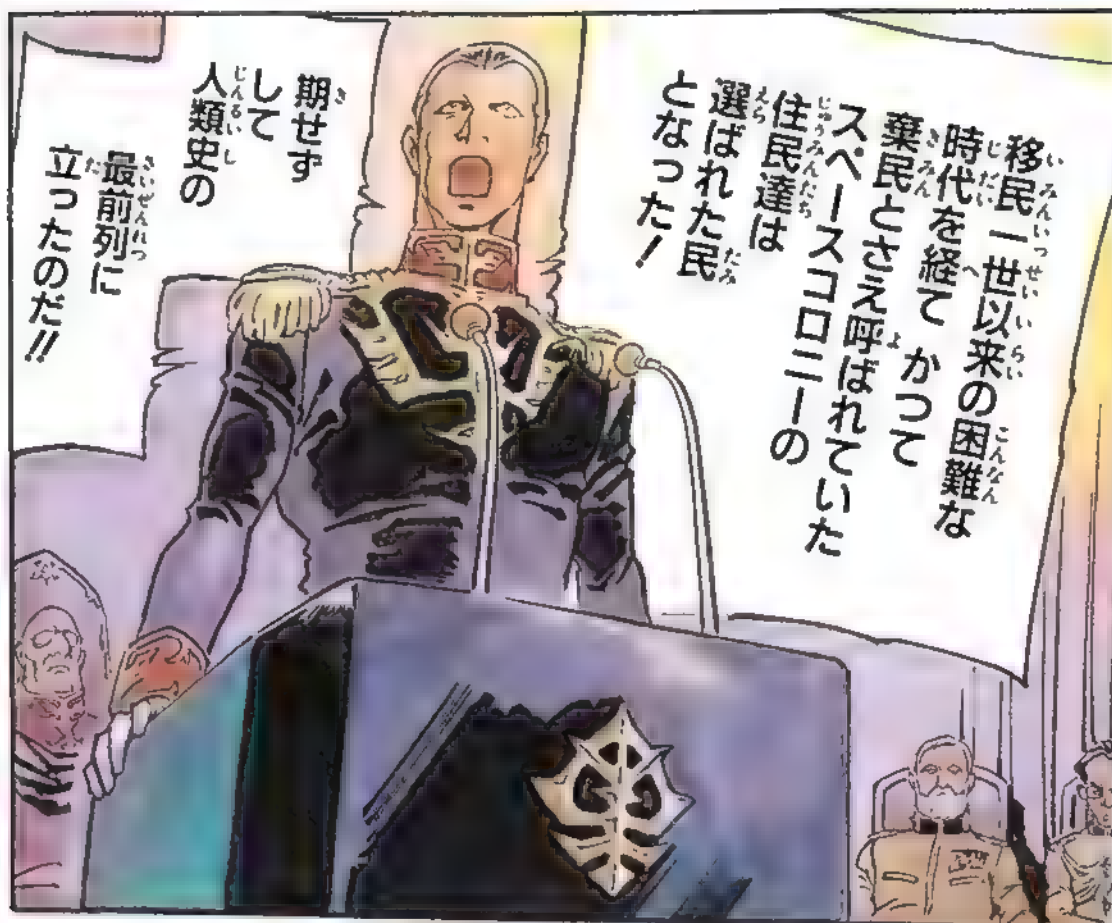
人類史の
偉大な
発展への
局面である！！



宇宙に進出
することに
よって我々は

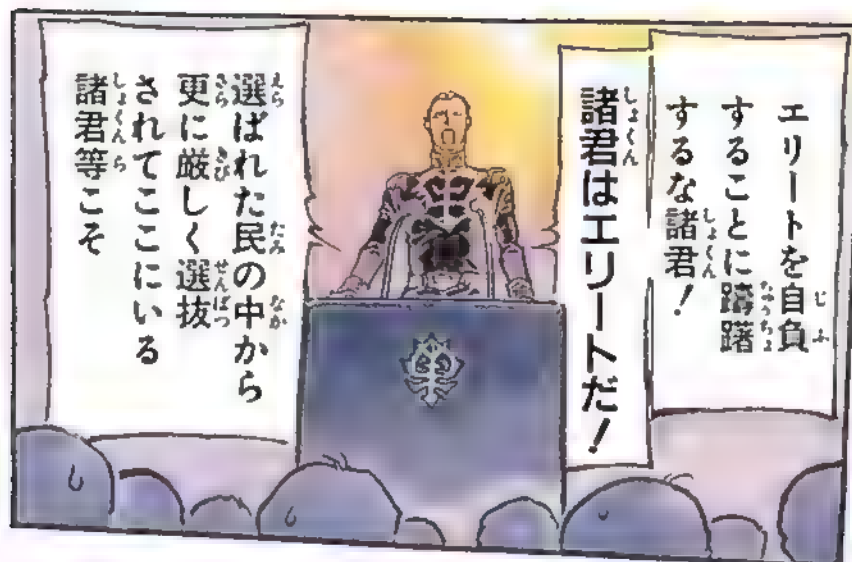
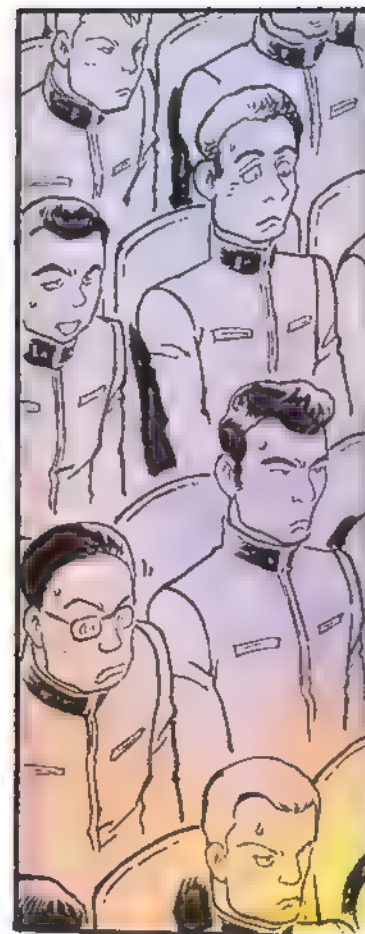
無限の
可能性を
手にした





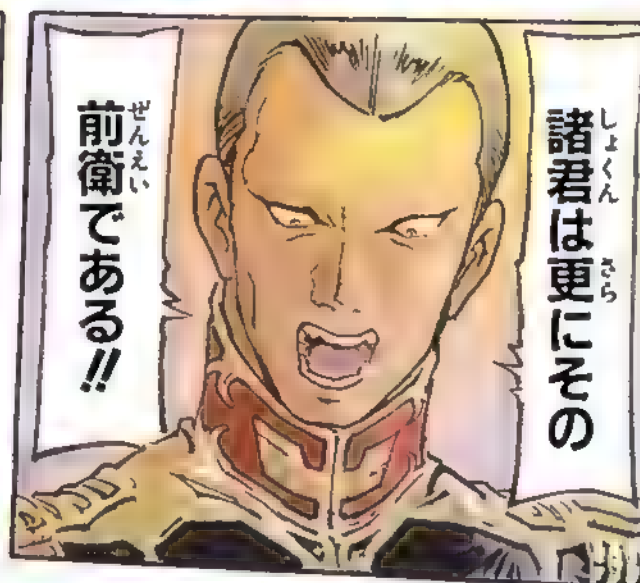
移民一世以来の困難な
時代を経てかつて
棄民とさえ呼ばれていた
住民達は
選ばれた民
となった!

期せず
して
人類史の
最前列に
立ったのだ!!



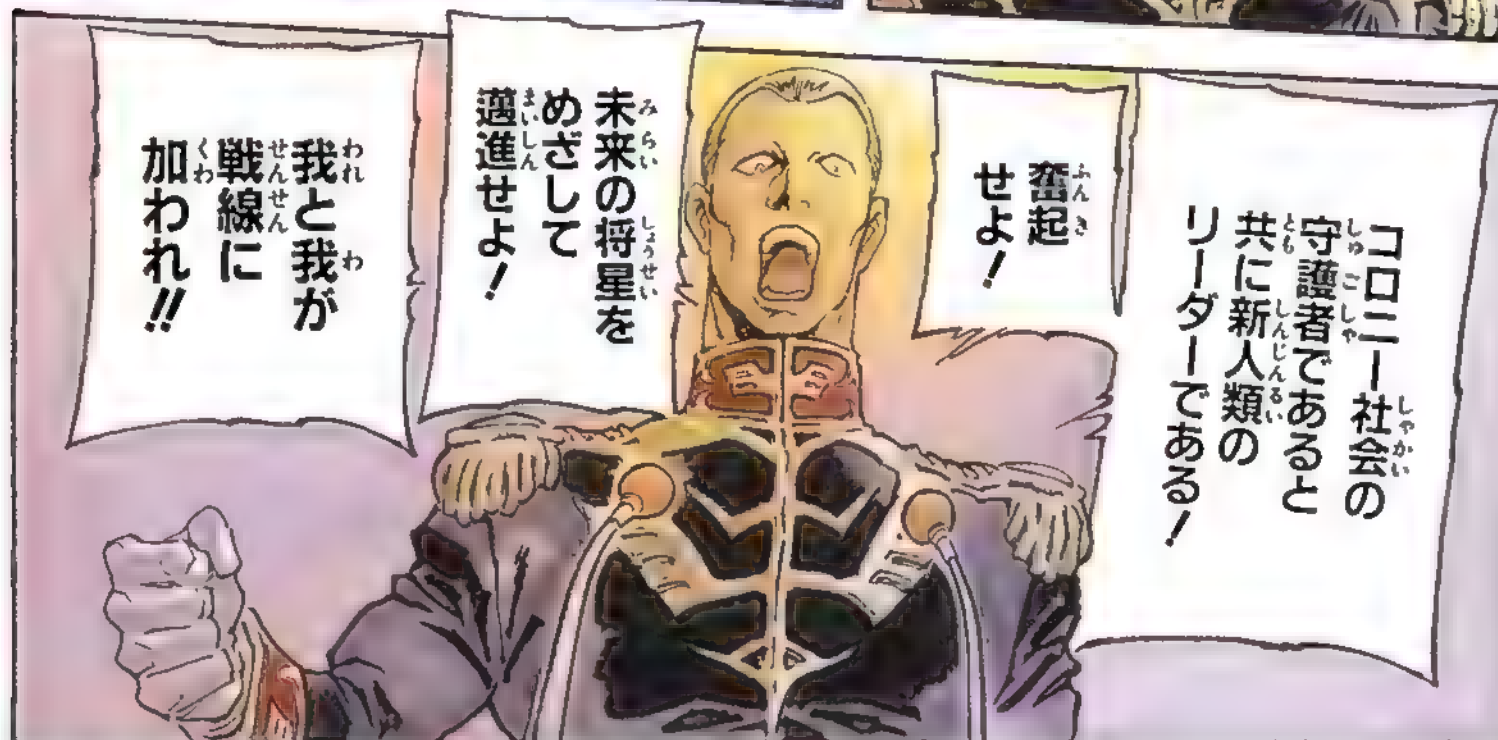
エリートを自負
することに躊躇
するな諸君!
諸君はエリートだ!

選ばれた民の中から
更に厳しく選抜
されてここにいる
諸君等こそ



前衛である!!

諸君は更にその

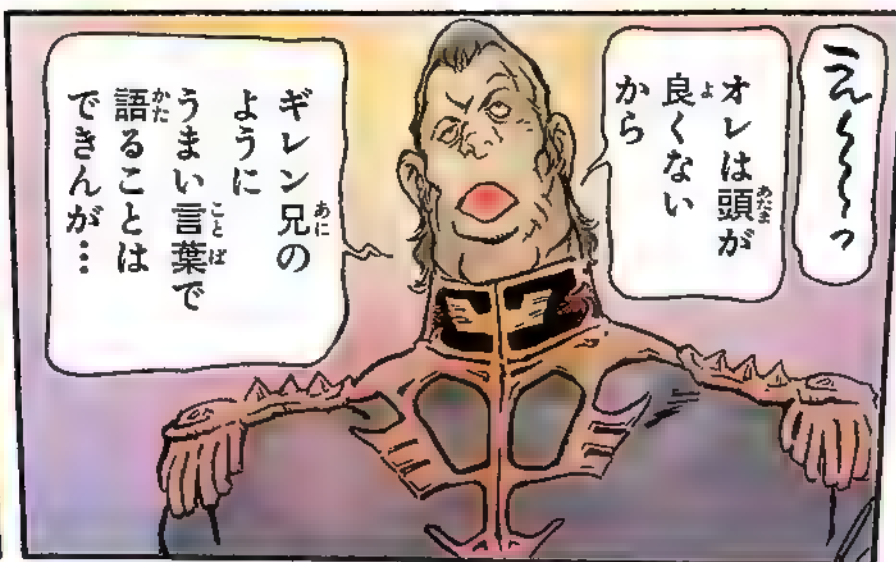
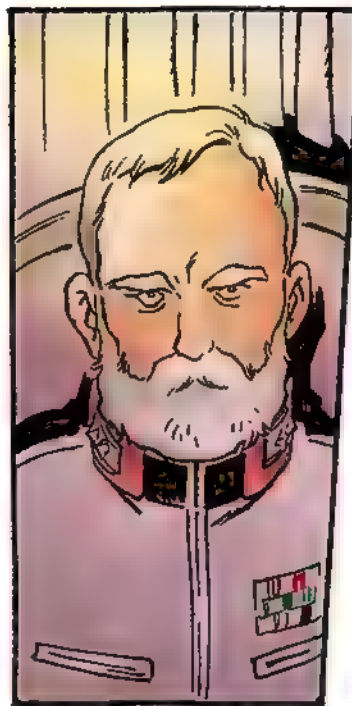
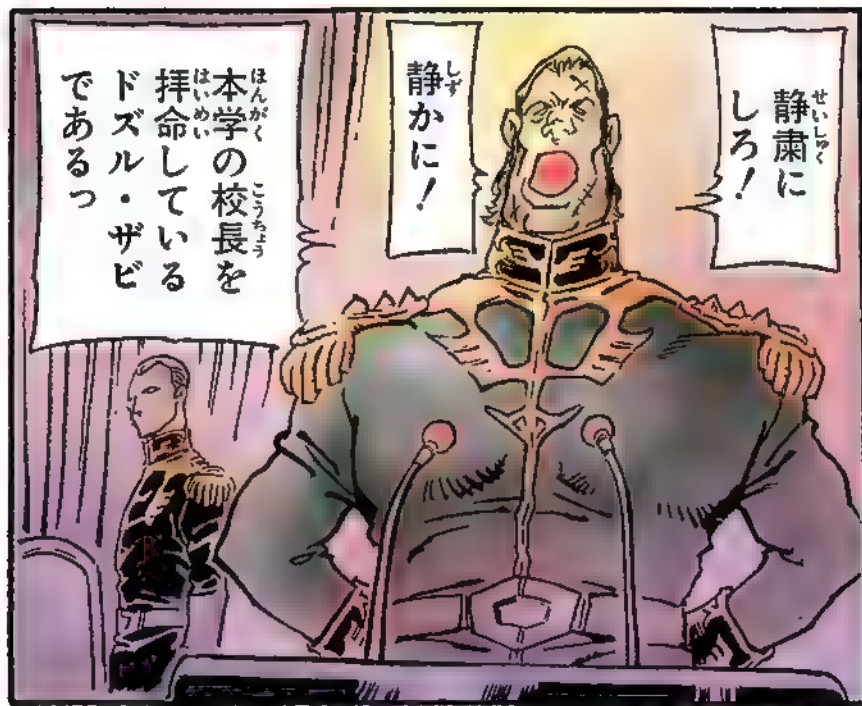


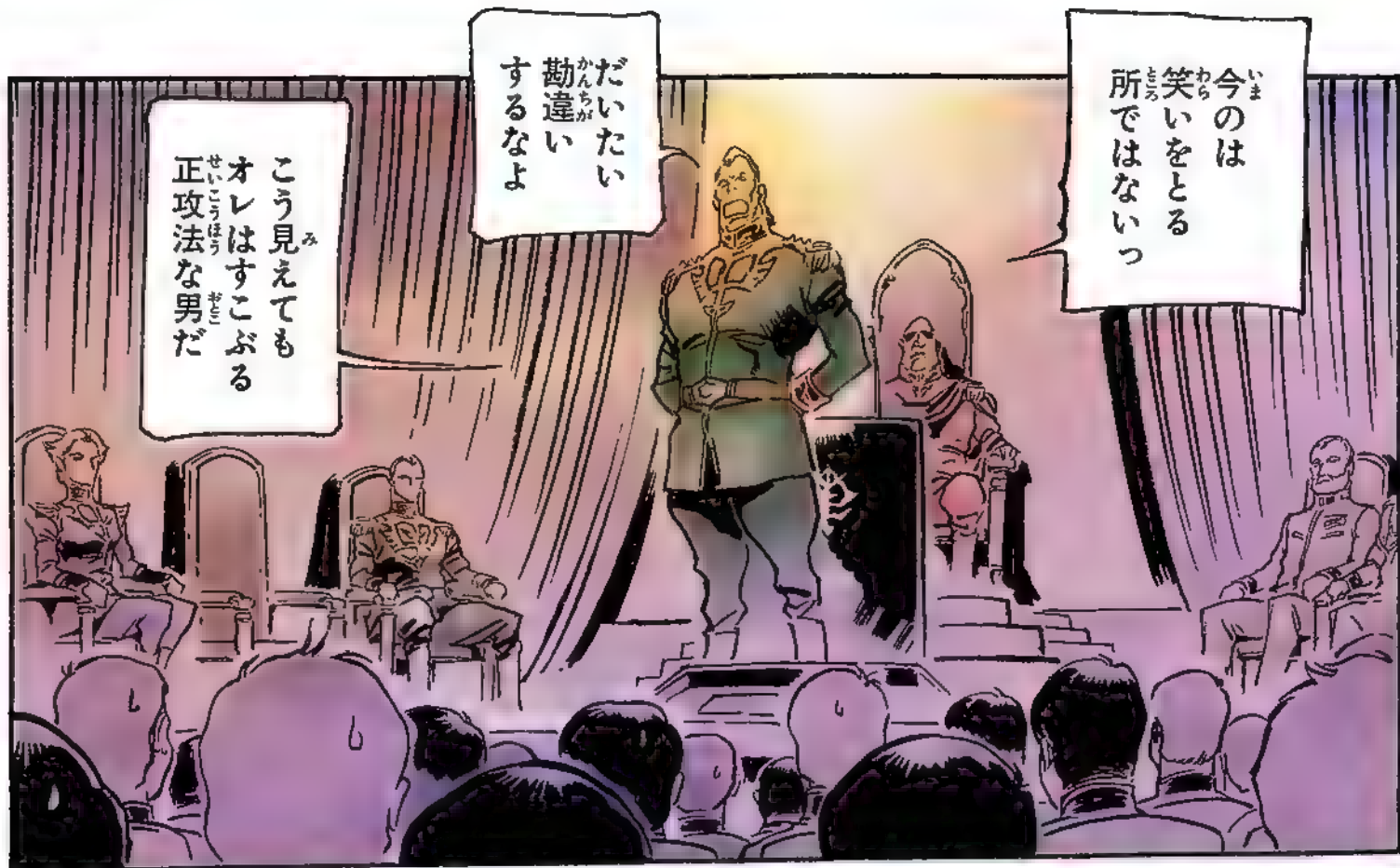
コロニー社会の
守護者であると
共に新人類の
リーダーである!

奮起
せよ!

未来の将星を
めざして
邁進せよ!

我と我が
戦線に
加われ!!

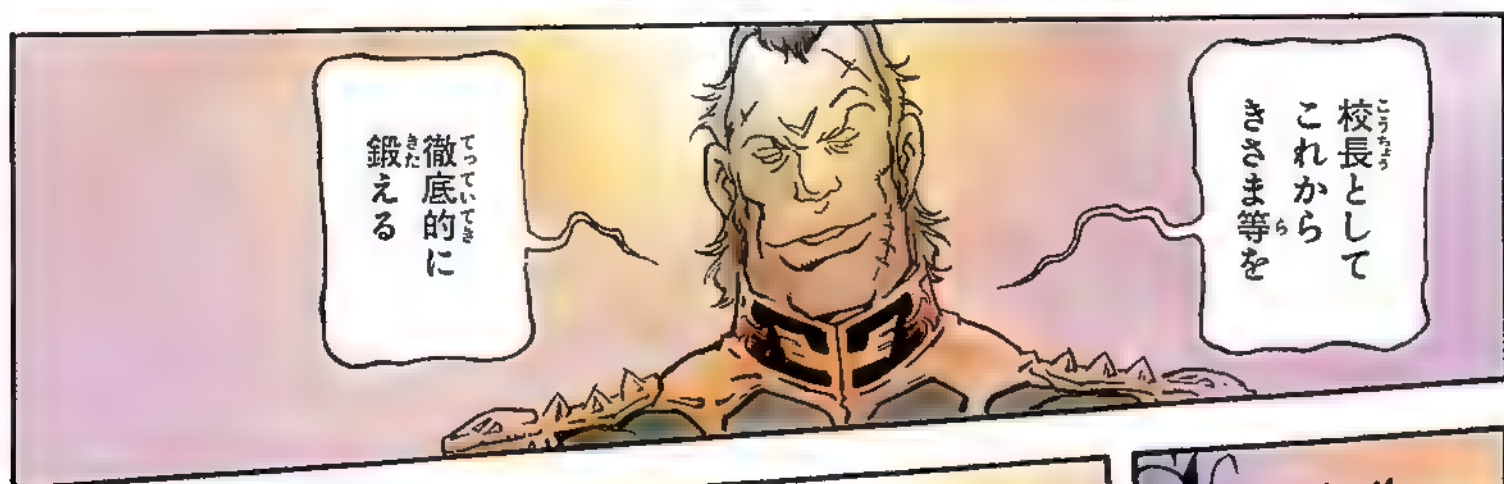




今のは
笑いをとる
所ではないっ

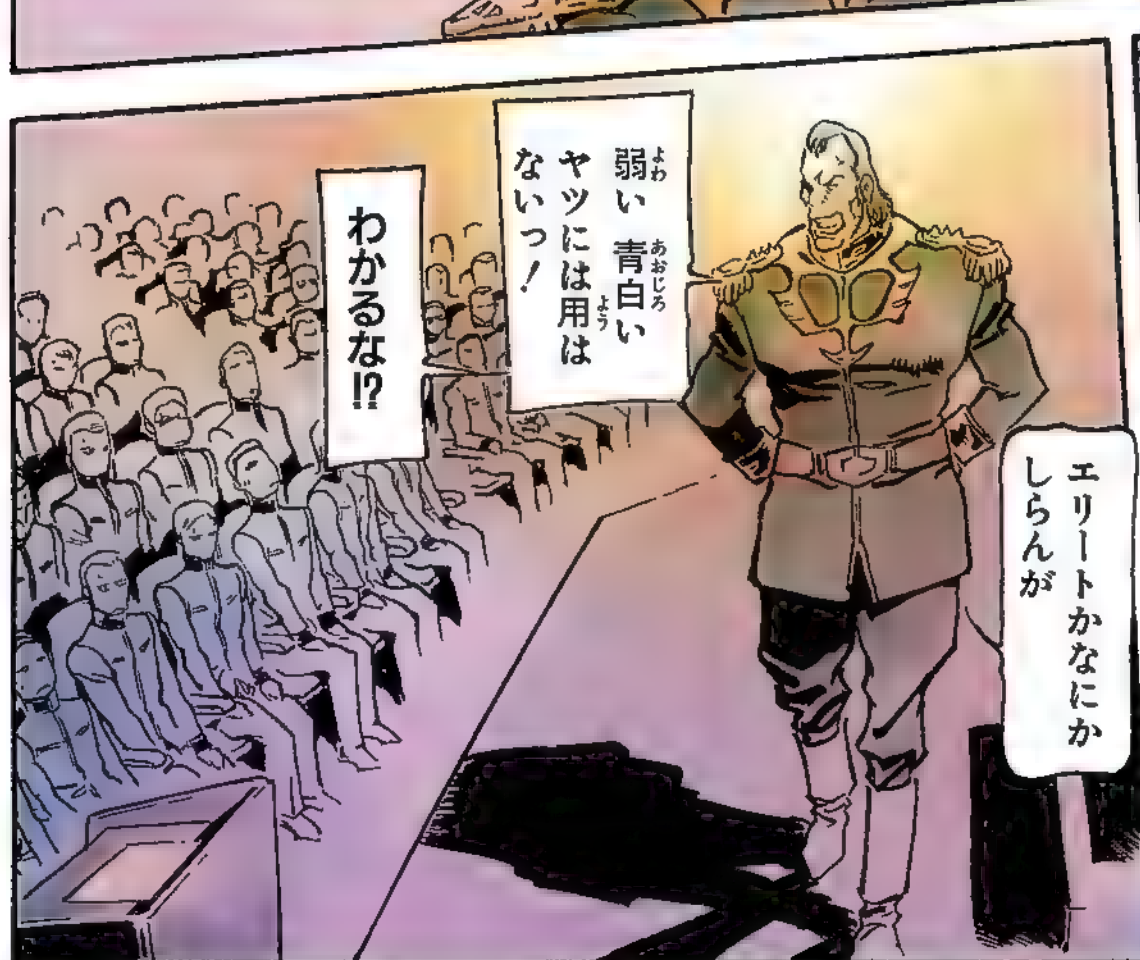
だいたい
勘違い
するなよ

こう見えても
オレはすこぶる
正攻法な男だ



校長として
これから
きさま等を

徹底的に
鍛える



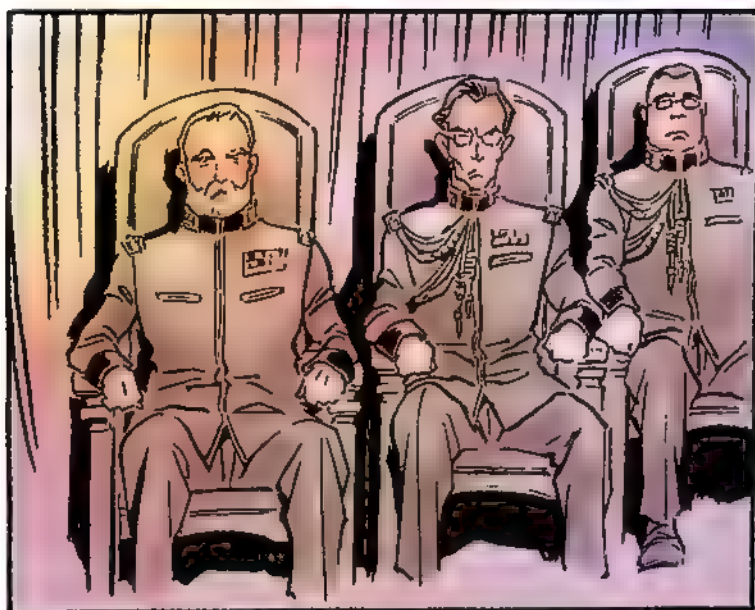
エリートかなにか
しらんが

弱い 青白い
ヤツには用は
ないっ!

わかるな!?

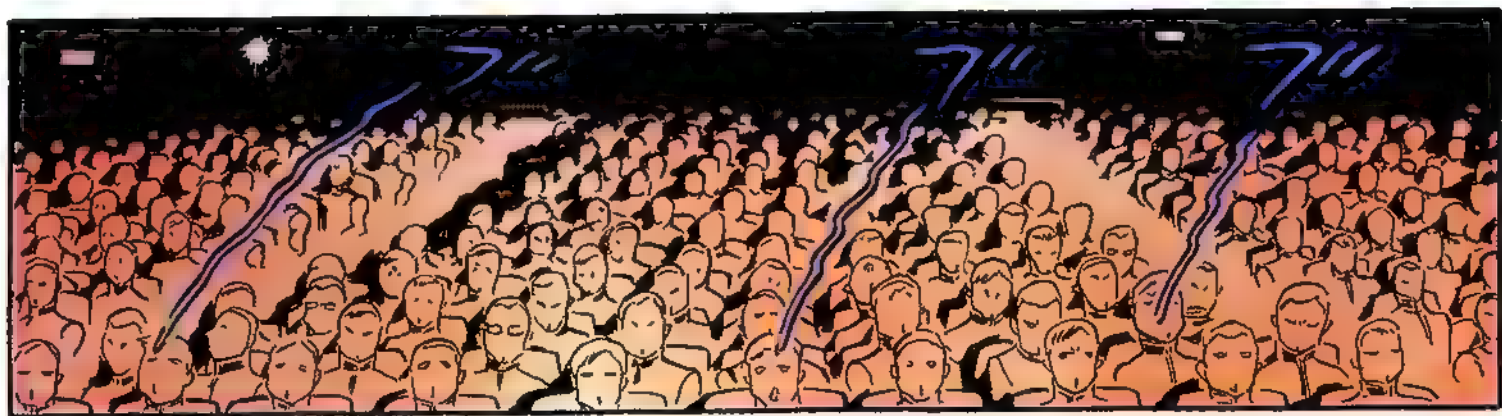


どく...



きょう
今日はここに

とくべつ
特別の来賓として
れんぽう
連邦宇宙軍総司令
レビル中将閣下が
き
来ておられる



おれ
俺は本学の
つと
務めがせいぜい
かいぞくたいじ
海賊退治の
スペシャリスト
ようせい
養成などとは
かんが
考えていない！

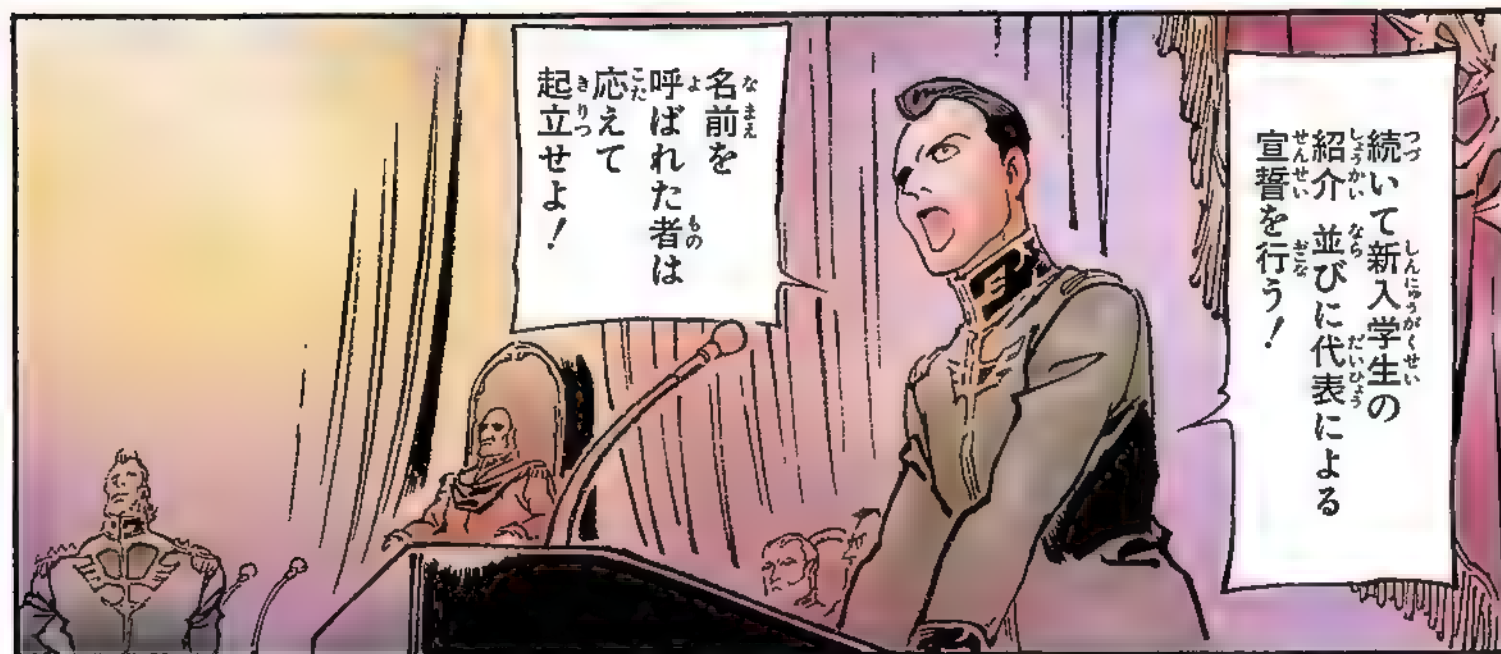
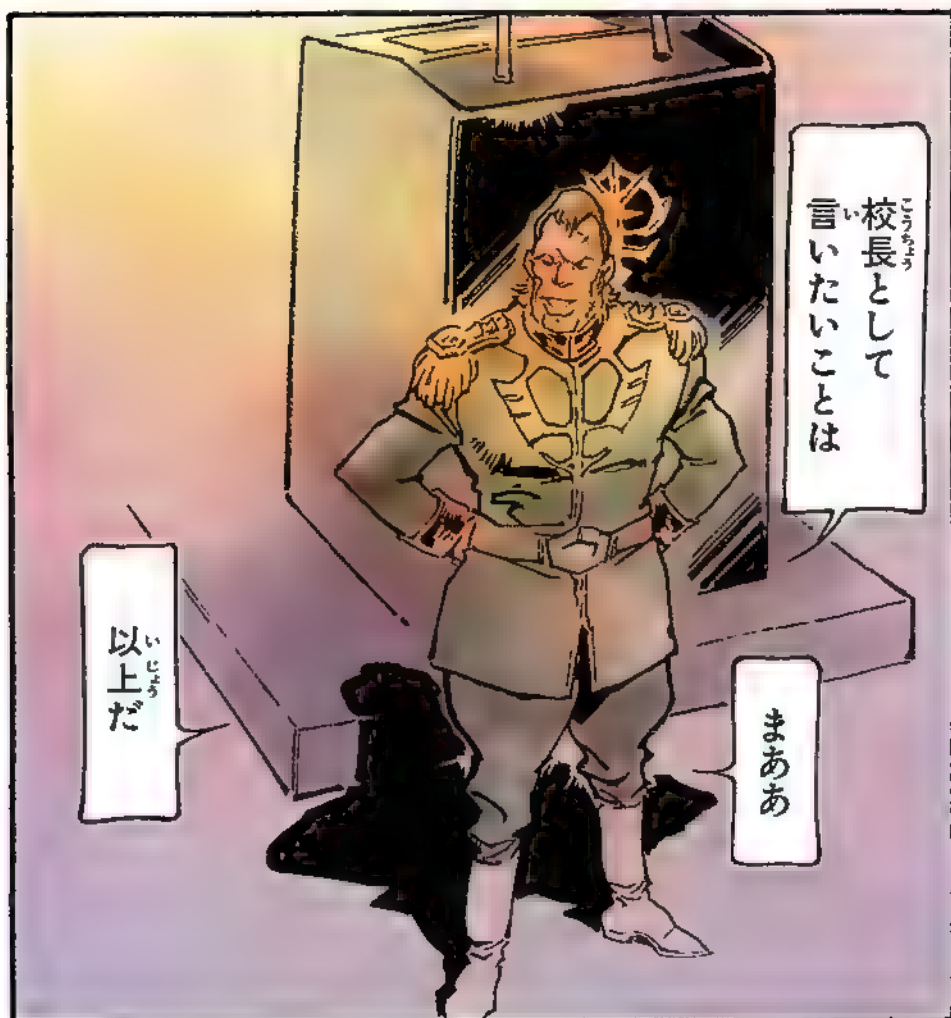
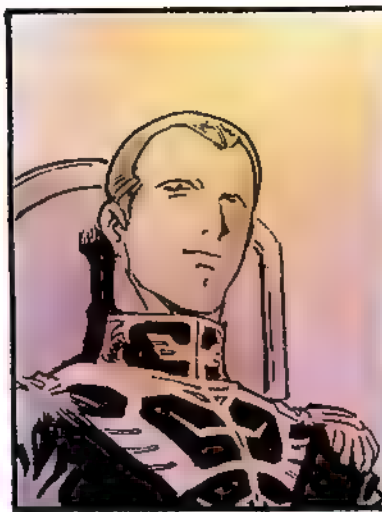
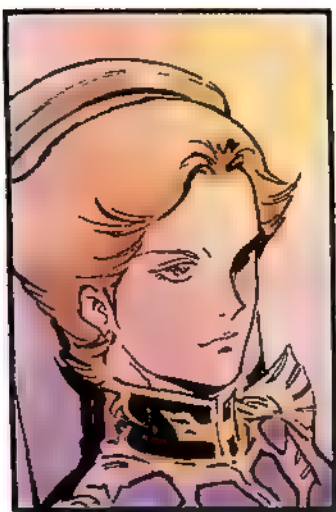
その御前で
くち
口にすることも
ナンだが

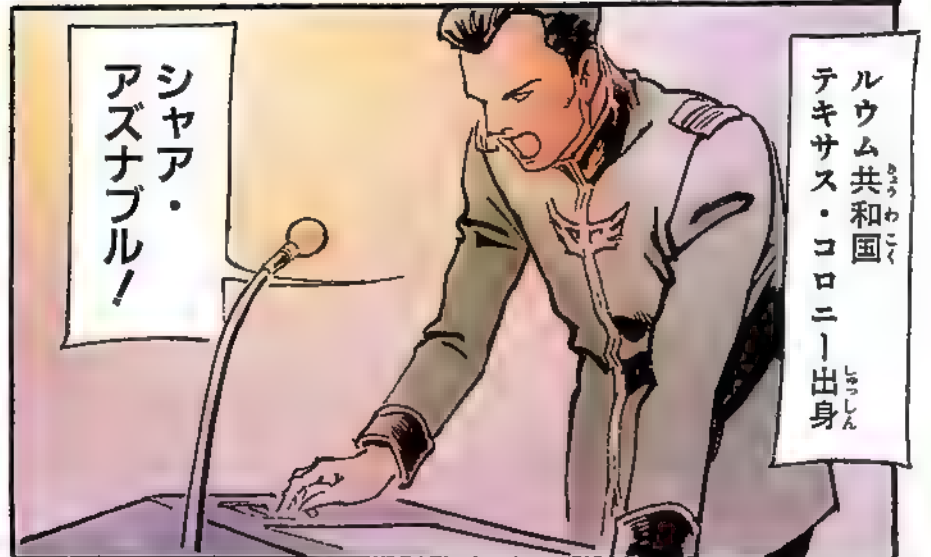
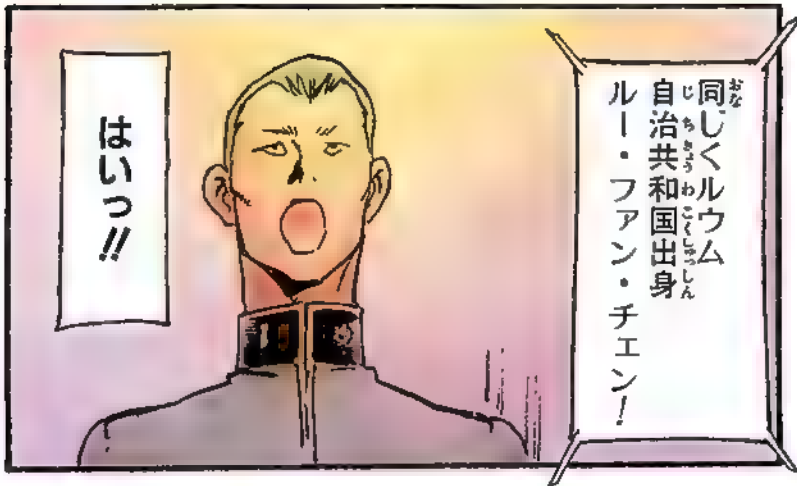
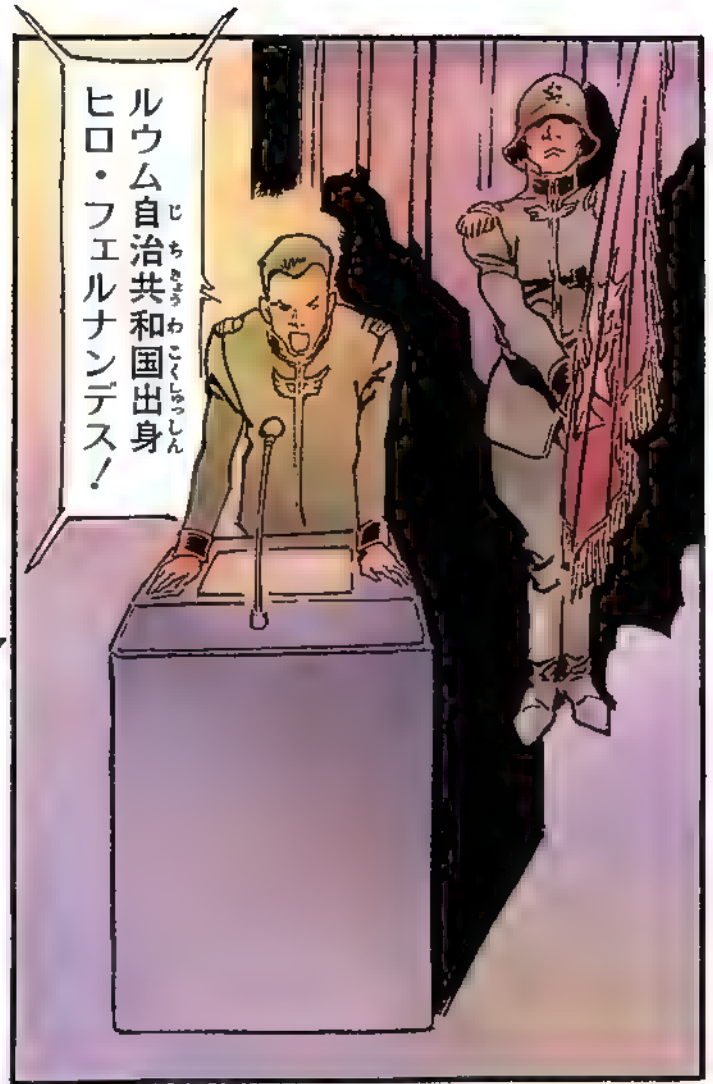
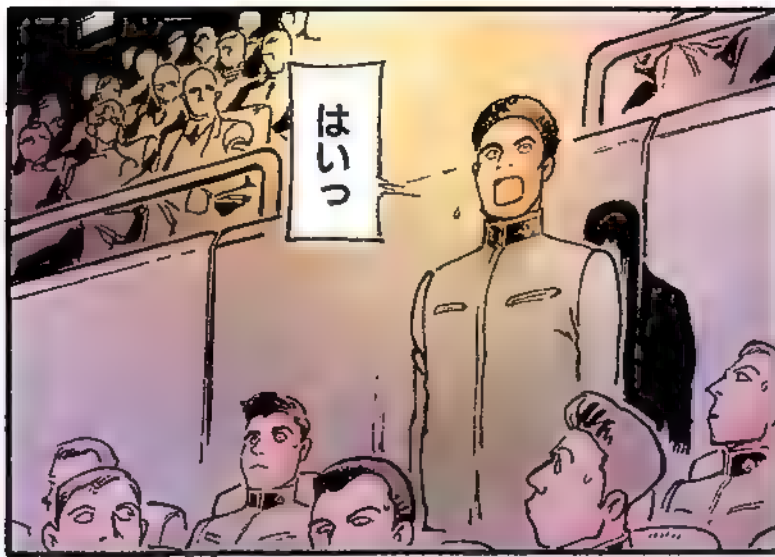


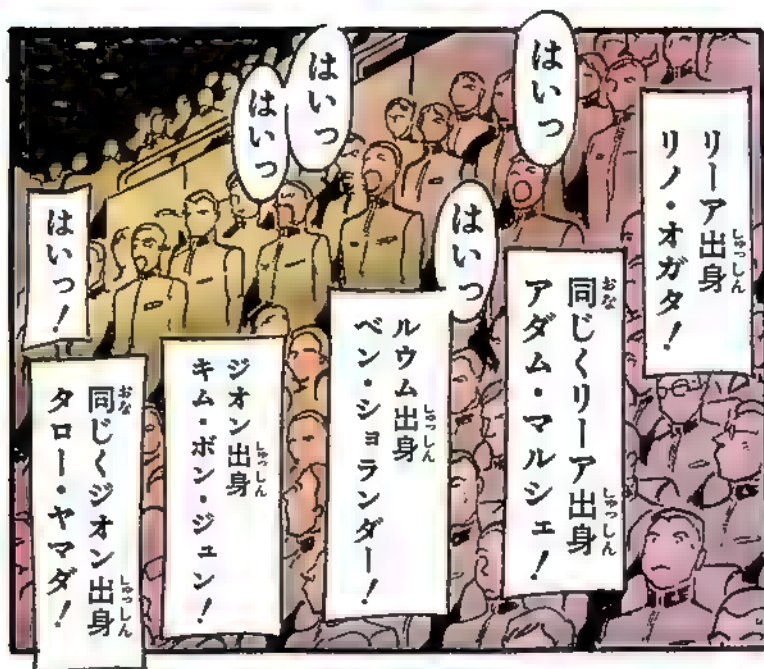
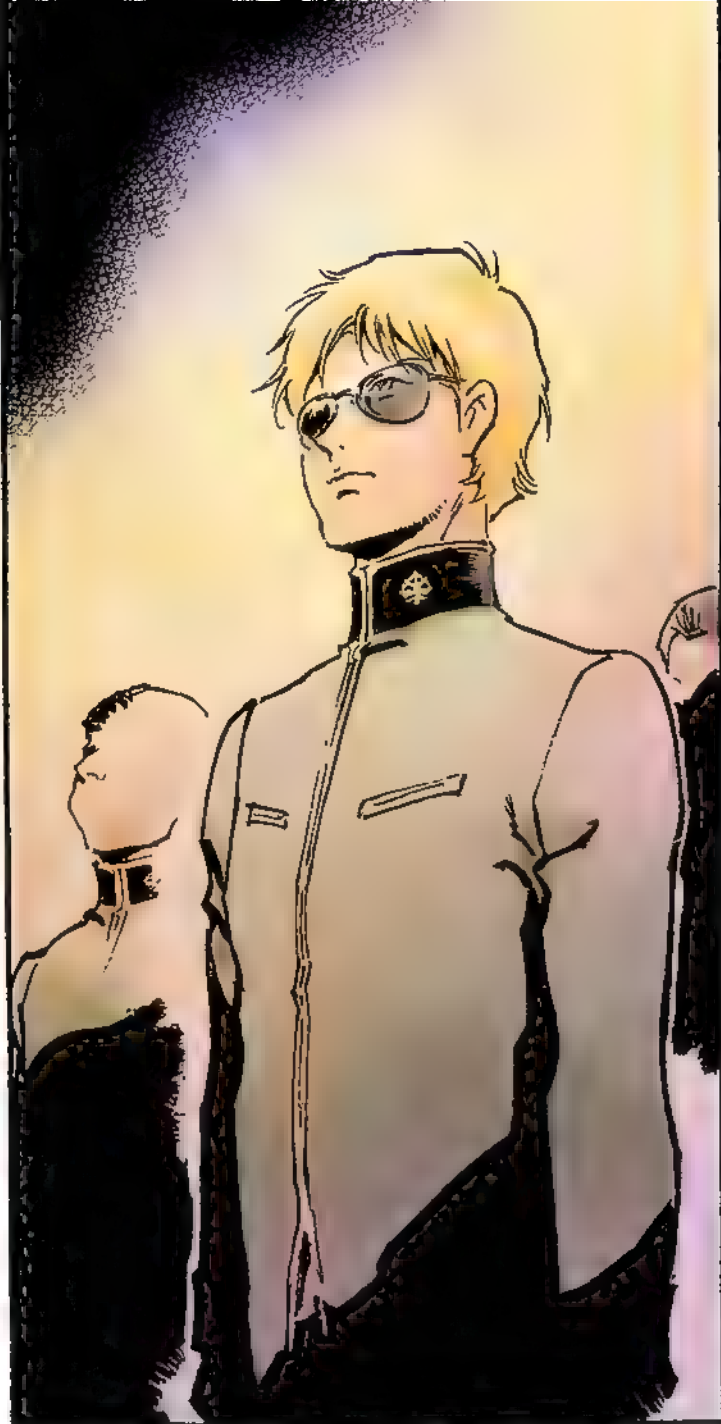
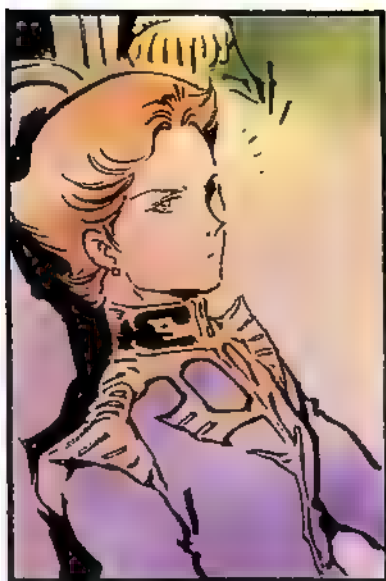
ほんとう
本当の軍人っ

いく
戦のできる！
へい
兵を率い
きんだいへいき
近代兵器を
くし
駆使して戦う
ただか
ことのできる！

うちゅう
宇宙の戦士の
せんとう
先頭に立つ
しかん
士官を育て
そだ
あげることだと
かんが
考えているっ！！

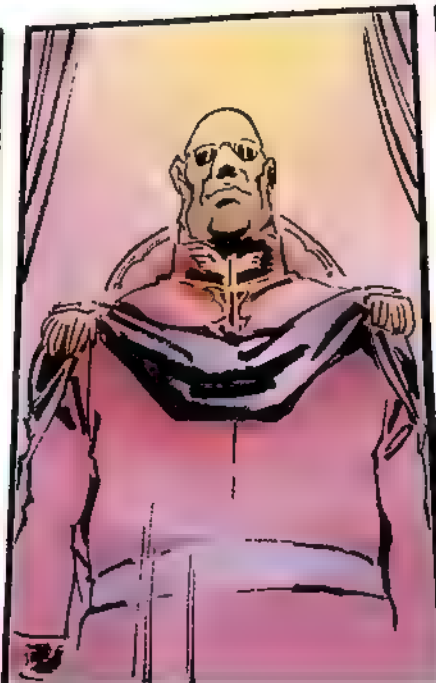
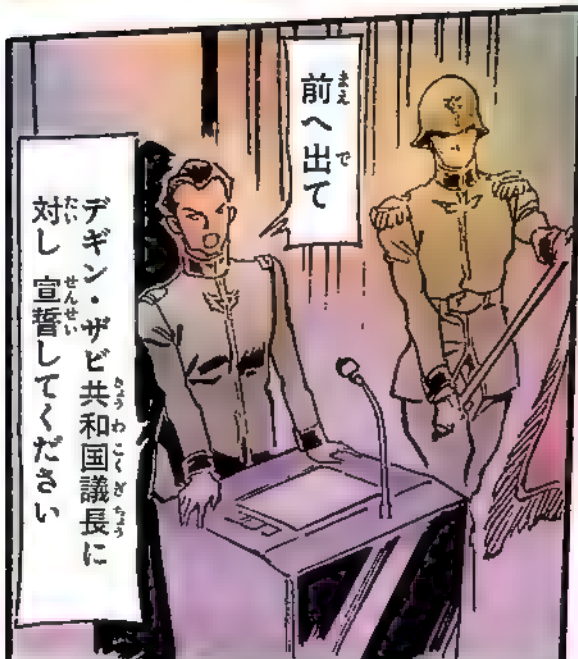
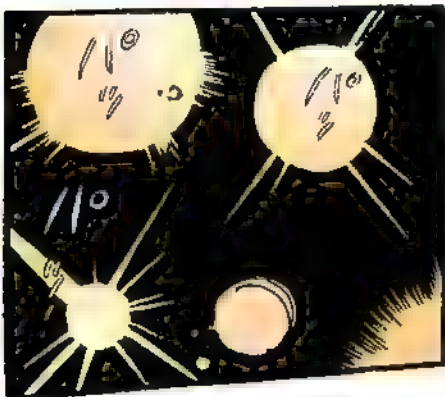
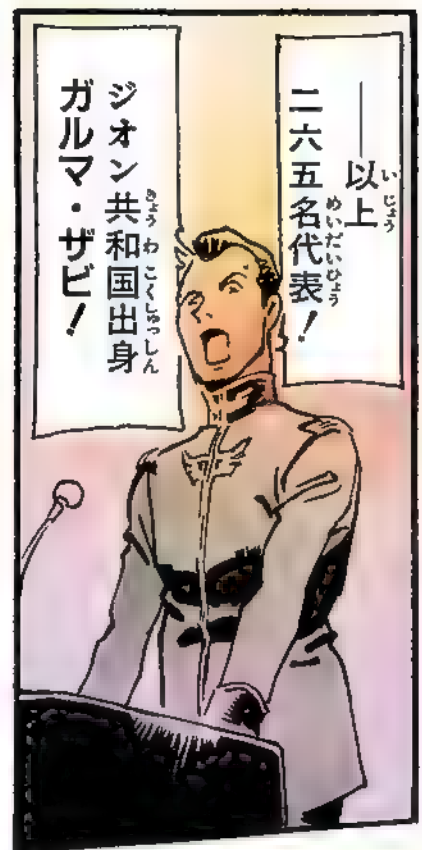


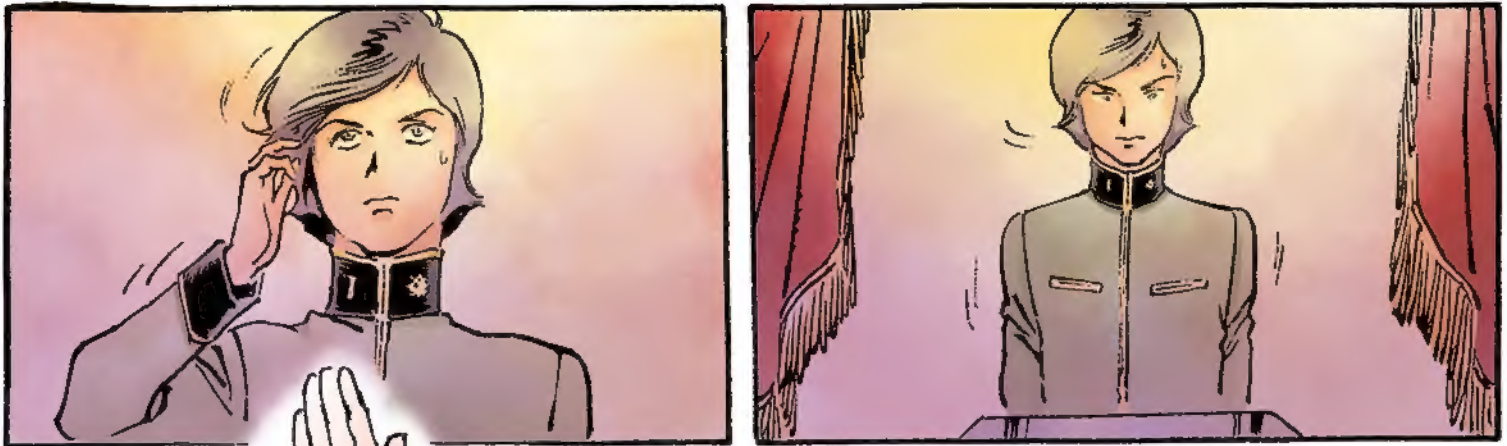
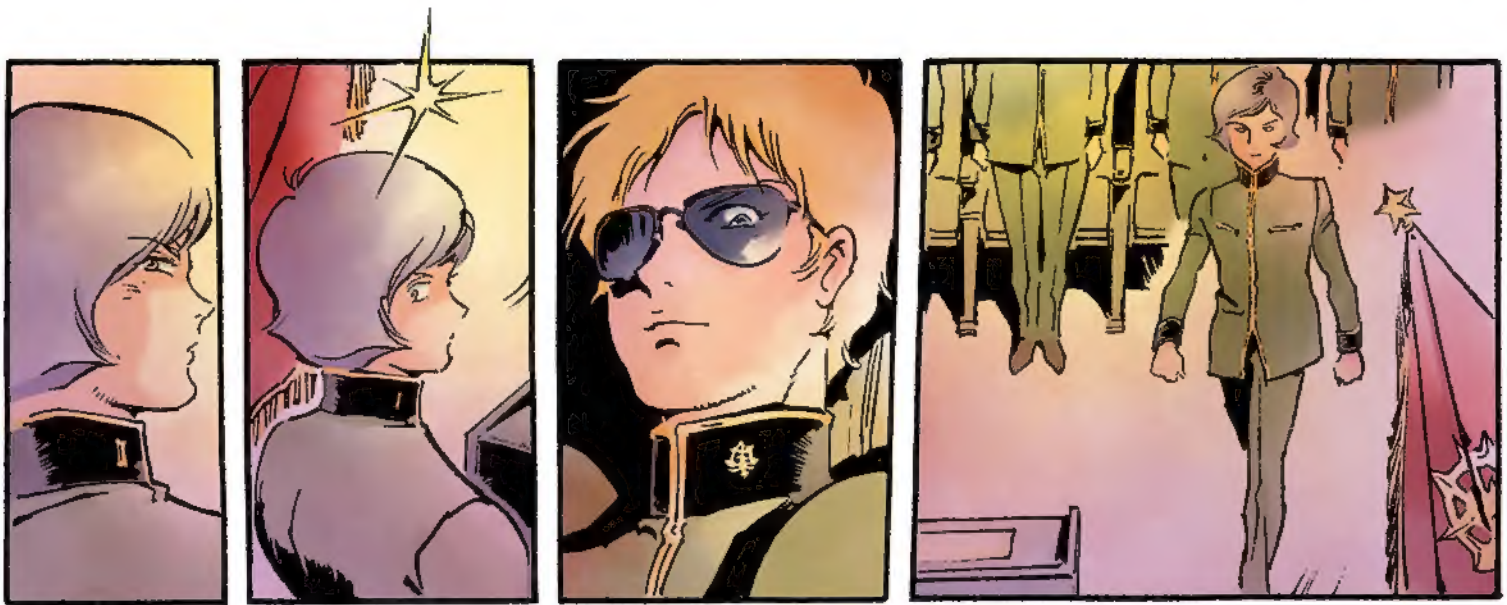






はいっ!





to be continued...

Can you remain alive in spite of the WAR?

角川コミックス・エース

フルカラー版 機動戦士ガンダムTHE ORIGIN^⑩

著者 安彦良和

原案 矢立肇・富野由悠季

メカニックデザイン 大河原邦男

2022年2月26日 発行
ver.001

©Yoshikazu YASUHIKO 2022
©創通・サンライズ

本電子書籍は下記にもとづいて制作しました
『機動戦士ガンダム THE ORIGIN』
(Comic Walker掲載)

発行者 青柳昌行
発行 株式会社KADOKAWA
<https://www.kadokawa.co.jp/>

●お問い合わせ

<https://www.kadokawa.co.jp/> (「お問い合わせ」へお進みください)

※内容によっては、お答えできない場合があります。

※サポートは日本国内のみとさせていただきます。

※Japanese text only

本電子書籍の全部または一部を無断で複製、転載、配信、送信すること、
あるいはウェブサイトへの転載等を禁止します。
また、本電子書籍の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。
本電子書籍購入時にご承諾いただいた規約により、有償・無償にかかわらず
本電子書籍を第三者に譲渡することはできません。
本電子書籍の内容は、底本発行時の取材・執筆内容にもとづきます。
本電子書籍を示すサムネイルなどのイメージ画像は、再ダウンロード時に
予告なく変更される場合があります。
また、ご覧になるリーディングシステムにより、表示の差が認められることがあります。

この物語はフィクションであり、実在の人物・団体名とは関係がございません。

装丁・デザイン 福島トオル(Smile Studio)
カラーリスト 凸版印刷株式会社



BOOK★WALKER